WebSAM vDC Automation ver6.0
ポータル利用者マニュアル
（運用編）

第 2 版
2019 年 3 月

日本電気株式会社

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- SigmaSystemCenter 、WebSAM 、Netvisor 、iStorage 、ESMPRO 、EXPRESSBUILDER 、EXPRESSSCOPE、SIGMABLADE、UNIVERGE、および、ProgrammableFlow は日本電気株式会社の登録商標です。
- VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer、SQL Server および Hyper-V は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Linux は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Red Hat は、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Itanium は、Intel 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apache、Apache Tomcat、Tomcat は、Apache Software Foundation の登録商標または商標です。
- Oracle、Solaris、Java、WebLogic は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、™ マークは本書に明記しておりません。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は、外国為替及び外国貿易法で規定される規制貨物（または役務）に該当することがあります。その場合、日本国外へ輸出する場合には日本国政府の輸出許可が必要です。 なお、輸出許可申請手続にあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください 。

はじめに

本手順書は WebSAM vDC Automation ポータル利用の設定および GUI 操作について説明しています。

関連マニュアル

WebSAM vDC Automation ver6.0 ポータルのインストール方法については、『WebSAM vDC Automation ver6.0 ポータル利用者マニュアル（インストール編）』を参照してください。

本書の構成

本書は、管理者編と利用者編で構成されています。

「WebSAM vDC Automation ポータル利用者マニュアル(運用編)」の更新履歴を以下に記載します。

マニュアル更新履歴

番号	章・項	改版内容
初版		
－	－	－

本書の表記規則

本書では、注意すべき事項、および関連情報を以下のように表記します。

注

機能、操作、設定に関する注意事項、警告事項および補足事項です。

表記一覧

本書では以下の表記方法を使用します。

表記	使用方法	例
[　]角かっこ	画面に表示される項目（テキストボックス チェックボックス タブなど）の前後	[**マシン名**]テキストボックスにマシン名を入力します [**すべて**]チェックボックス
「」かぎかっこ	画面名（ダイアログボックス ウィンドウなど）、マニュアル名の前後	「設定」ウィンドウ 「インストレーションガイド」
コマンドライン中の[]角かっこ	かっこ内の値の指定が省略可能であることを示します	add [/a] Gr1

表記	使用方法	例
モノスペースフォント (courier new)	コマンドライン システムからの出力（メッセージプロンプトなど）	以下のコマンドを実行してください `replace Gr1`
モノスペースフォント斜体 (courier new)	ユーザが有効な値に置き換えて入力する項目 値の中にスペースが含まれる場合は ″ ″（二重引用符）で値を囲んでください	add *GroupName* `InstallPath= ″Install Path″`

目次

第 1 編 概要 1

第 1 章 vDC Automation ポータルとは 3

1.1 vDC Automation ポータルで出来ること 4

1.1.1 vDC Automation RESTful API を利用する範囲 5

1.1.1.1 リソースの払い出し 5

1.1.1.2 リソース利用状況の確認 5

1.1.1.3 リソースに対する操作 5

1.1.2 vDC Automation ポータルが独自で提供する範囲 6

1.1.2.1 ダッシュボード機能 6

1.1.2.2 ユーザ管理/テナント管理 6

1.1.2.3 リクエスト管理 6

第 2 編 運用を開始する前に 7

第 2 章 初期設定 9

2.1 認証方式の設定 10

2.2 設定ファイルの管理方法 11

2.3 クラスタ構成にした場合の共有フォルダの設定 11

2.4 SSC (WebSAM SigmaSystemCenter) のリクエスト設定 12

2.5 ワークフロー ID の設定 14

2.6 サーバサービスカタログの設定 16

2.6.1 VM テンプレート表示名とスペックの設定 16

2.6.2 カタログの公開制限設定 18

2.6.3 カタログのソート設定 20

2.6.4 サービスカタログの設定 21

2.6.4.1 VM テンプレートの設定 21

2.6.4.2 ディスクタグの設定 25

2.6.5 ネットワーク設定 32

2.7 汎用オペレーションの設定 33

2.8 拡張パラメータの設定 34

2.9 ロール設定 37

2.10 拡張処理の設定 39

2.10.1 リクエストの実行前後処理の設定 39

2.10.1.1 拡張処理の有効化 39

2.10.1.2 置換パラメータ 43

2.10.1.3 拡張パラメータ 46

2.10.1.4 実行環境 48

2.10.1.5 成功・失敗判定 48

2.10.1.6 失敗時の動き 53

2.10.1.7 拡張処理の実行ログ 55
2.10.2 テナントの登録または削除前後の設定 60
2.10.2.1 拡張処理の有効化 60
2.10.2.2 置換パラメータ 61
2.10.2.3 実行環境 61
2.10.2.4 成功・失敗判定 61
2.10.2.5 失敗時の動き 63
2.10.2.6 拡張処理の実行ログ 63
第 3 章 ユーザ権限 66
第 3 編 基本操作 68
第 4 章 ログイン 70
4.1 ログインする 71
第 5 章 画面構成 73
第 6 章 ログインユーザの操作 74
6.1 ログインユーザの詳細情報を確認する 75
6.2 ログインユーザ情報を変更する 76
6.3 ログインパスワードを変更する 77
6.4 テナントの代行(システム管理者のみ) 78
第 4 編 管理者の操作 80
第 7 章 ダッシュボード 82
7.1 ウィジェットの表示 83
7.2 ウィジェットの追加 83
7.3 ウィジェットの削除 85
7.4 ウィジェットの表示順・サイズの変更 86
7.5 ウィジェットの設定の保存 88
7.6 ウィジェットの設定の破棄 89
7.7 ダッシュボード(デフォルト) 90
7.7.1 お知らせ 91
7.7.2 未承認リクエスト(管理者) 91
第 8 章 リクエスト(管理者) 93
8.1 リクエスト管理(管理者) 94
8.1.1 リクエスト一覧 94
8.1.2 リクエストの詳細情報を確認する 95
8.1.3 リクエストを承認する 100
8.1.4 リクエストを却下する 101
8.1.5 リクエストのエラー解除 102
8.2 承認フロー設定 103
8.2.1 承認フロー設定の承認パターン 103

8.2.2 システム用承認フロー設定 105
第 9 章 テナント情報(管理者) 108
9.1 テナント管理(管理者) 109
9.1.1 テナント一覧(管理者) 109
9.1.2 テナントを追加する 110
9.1.3 テナントの詳細情報を確認する 112
9.1.4 テナントを編集する 112
9.1.5 テナントを削除する 114
9.2 ユーザ管理 115
9.2.1 ユーザ一覧 115
9.2.2 ユーザを登録する(管理者) 116
9.2.3 ユーザの詳細情報を確認する(管理者) 118
9.2.4 ユーザ情報を変更する 119
9.2.5 パスワードを変更する 121
9.2.6 ユーザを削除する 122
第 10 章 リソース管理 124
10.1 リソース状況 125
10.1.1 リソース状況の確認 125
10.2 サーバ管理(管理者) 126
10.2.1 サーバ一覧 126
10.2.2 サーバの詳細情報を確認する 127
10.2.2.1 【詳細(システム)】 128
10.2.2.2 【詳細(ソフトウェア)】 129
10.2.2.3 【詳細(ネットワーク)】 129
10.2.2.4 【詳細(ディスク)】 130
10.2.2.5 【性能情報】 130
10.2.2.6 【スクリーンショット】 131
10.3 運用作業履歴(管理者) 132
10.3.1 運用作業履歴一覧(管理者) 132
10.3.2 運用作業履歴の詳細情報を確認する(管理者) 133
第 11 章 監視(管理者) 135
11.1 システムメッセージ 136
11.1.1 メッセージ一覧の表示 136
11.1.2 メッセージの検索 138
11.1.3 メッセージ詳細の表示 139
11.1.4 メッセージの確認状態の変更 141
11.1.5 メッセージへのマーク付与 142
11.1.6 メッセージのコメント編集 143
11.2 設定 144
11.2.1 ノード監視 144

11.2.1.1 テナント割り当て 145
11.2.1.2 監視設定削除 146
11.2.1.3 詳細タブ 147
11.2.1.4 監視設定タブ 150
11.2.2 監視設定 151
11.2.2.1 Windows サービス監視 151
11.2.2.2 プロセス監視 152
11.2.2.3 性能監視 153
11.2.2.4 サービスポート監視 154
11.2.2.5 イベントログ監視 156
11.2.2.6 シスログ監視 157
11.2.2.7 アプリケーションログ監視 158
第 12 章 サービス管理 160
12.1 メンテナンス管理 161
12.1.1 メンテナンス一覧 161
12.1.2 メンテナンスを登録する 162
12.1.3 メンテナンス中の動作 164
12.1.4 メンテナンスの詳細情報を確認する 165
12.1.5 メンテナンスを変更する 166
12.1.6 メンテナンスを削除する 167
12.2 お知らせ管理 167
12.2.1 お知らせ一覧 168
12.2.2 お知らせを登録する 169
12.2.3 お知らせの詳細情報を確認する 171
12.2.4 お知らせの内容を変更する 172
12.2.5 お知らせを削除する 173
第 13 章 設定 175
13.1 メール通知 176
13.1.1 メール通知で利用可能な置換文字列 176
13.1.2 メール内容の既定値(メールテンプレート) 177
13.1.3 メール通知用設定項目の編集 182
13.2 運用設定 183
13.2.1 運用設定情報を確認する 183
13.2.2 運用設定を編集する 185
第 5 編 利用者の操作 188
第 14 章 ダッシュボード 190
14.1 ウィジェットの表示 191
14.2 ウィジェットの追加 191
14.3 ウィジェットの削除 193
14.4 ウィジェットの表示順・サイズの変更 194

14.5 ウィジェットの設定の保存 196
14.6 ウィジェットの設定の破棄 197
14.7 ダッシュボード(デフォルト) 198
14.7.1 お知らせ 198
14.7.2 未承認リクエスト(利用者) 198
第 15 章 リクエスト(利用者) 200
15.1 リクエスト管理(利用者) 201
15.1.1 リクエスト一覧(利用者) 201
15.1.2 リクエストを作成する 203
15.1.2.1 サーバ作成リクエスト 209
15.1.2.2 サーバ変更リクエスト 216
15.1.2.3 サーバ削除リクエスト 219
15.1.3 リクエストの詳細情報を確認する 220
15.1.4 リクエストを承認する 224
15.1.5 リクエストを却下する 225
15.1.6 リクエストを再申請する 226
15.2 承認フロー設定(利用者) 227
15.2.1 承認フローのパターン(利用者) 227
15.2.2 テナント用承認フロー設定 画面 228
15.3 メール通知設定 230
15.3.1 メール通知設定 231
15.3.2 メール通知設定変更(入力) 232
第 16 章 テナント情報(利用者) 234
16.1 テナント管理(利用者) 235
16.1.1 テナント一覧(利用者) 235
16.1.2 テナントの詳細情報を確認する(利用者) 235
16.1.3 テナントを編集する(利用者) 236
16.2 ユーザ管理 238
16.2.1 ユーザ一覧 238
16.2.2 ユーザを登録する(利用者) 239
16.2.3 ユーザの詳細情報を確認する(利用者) 241
16.2.4 ユーザの情報を変更する(利用者) 242
16.2.5 パスワードを変更する 244
16.2.6 ユーザを削除する 245
第 17 章 監視(利用者) 246
17.1 ノード 247
17.1.1 ノード一覧の表示 247
17.1.2 ステータスパネルの表示 249
17.1.3 性能グラフの表示 251
17.1.4 グループの作成 252

17.1.5 グループ名の変更 253
17.1.6 グループの移動 254
17.1.7 グループの削除 255
17.1.8 ノードの移動 256
17.1.9 ノードの監視 257
17.1.10 通報フィルタの設定 258
17.1.10.1 フィルター覧の表示 258
17.1.10.2 フィルタの追加・変更 260
17.1.10.3 フィルタの順序変更 263
17.1.10.4 フィルタの削除 265
17.1.11 監視テンプレートの適用(グループ) 265
17.1.12 タスク 267
17.2 メッセージ 270
17.2.1 メッセージ一覧の表示 272
17.2.2 メッセージの検索 273
17.2.3 メッセージ詳細の表示 275
17.2.4 メッセージの確認状態の変更 278
17.2.5 メッセージへのマーク付与 279
17.2.6 メッセージのコメント編集 280
17.2.7 重要度別メッセージ件数の表示 281
17.2.8 カテゴリの操作 282
17.2.9 フィルター覧の表示 284
17.2.10 フィルタの追加・変更 287
17.2.11 フィルタの順序変更 291
17.2.12 フィルタの削除 292
17.2.13 フィルタの一括有効／無効化 293
17.3 分析／レポート 294
17.3.1 分析／レポート ビューの設定 295
17.3.2 性能グラフの設定 298
17.3.3 ランキンググラフの設定 302
17.3.4 稼働状況グラフの設定 306
17.3.4.1 エージェント稼働率の追加 307
17.3.4.2 その他の稼働率の追加 308
17.3.5 分析／レポートビューの削除 310
17.3.6 分析／レポートビューの印刷 311
17.3.7 分析機能 312
17.4 設定 313
17.4.1 ノード監視 313
17.4.1.1 監視状態変更 314
17.4.1.2 監視設定削除 315
17.4.1.3 詳細タブ 315
17.4.1.4 監視設定タブ 318

17.4.1.5 監視テンプレート化 320
17.4.1.6 監視テンプレートの適用(ノード) 321
17.4.2 監視設定 322
17.4.2.1 Windows サービス監視 322
17.4.2.2 プロセス監視 329
17.4.2.3 性能監視 336
17.4.2.4 サービスポート監視 342
17.4.2.5 イベントログ監視 346
17.4.2.6 シスログ監視 354
17.4.2.7 アプリケーションログ監視 362
17.4.3 監視テンプレート 373
17.4.3.1 監視テンプレートの追加 375
17.4.3.2 監視テンプレートの変更 376
17.4.3.3 監視テンプレートの複製 377
17.4.3.4 監視テンプレートの削除 378
17.4.3.5 監視テンプレートの適用 379
17.4.4 自動監視 381
17.4.4.1 自動監視ルールの追加・変更 383
17.4.4.2 自動監視ルールの削除 388
17.4.4.3 自動監視ルールの実行結果の確認 388
17.4.5 メール通報 389
17.4.5.1 メール通報設定の追加・変更 391
17.4.5.2 メール通報設定の削除 395
17.4.6 コマンド 396
17.4.6.1 コマンド設定の追加・変更 397
17.4.6.2 コマンド設定の削除 400
第 18 章 リソース管理 402
18.1 リソース状況 403
18.1.1 リソース状況の確認 403
18.2 トポロジー表示 404
18.2.1 ネットワーク表示名の変更 405
18.3 サーバ管理(利用者) 406
18.3.1 サーバ一覧 406
18.3.2 サーバを作成する 408
18.3.3 サーバの詳細情報を確認する 408
18.3.3.1 【詳細(システム)】 409
18.3.3.2 【詳細(ソフトウェア)】 410
18.3.3.3 【詳細(ネットワーク)】 410
18.3.3.4 【詳細(ディスク)】 411
18.3.3.5 【性能情報】 412
18.3.3.6 【スクリーンショット】 413

18.3.3.7 【付加情報】 413
18.3.4 サーバ構成を変更する 414
18.3.5 サーバを削除する 414
18.3.6 サーバの電源を操作する 414
18.3.7 サーバ一覧を同期する 415
18.4 運用作業履歴(利用者) 416
18.4.1 運用作業履歴一覧(利用者) 416
18.4.2 運用作業履歴の詳細情報を確認する(利用者) 417
第 19 章 お知らせ管理(利用者) 419
19.1 お知らせ一覧(利用者) 420
19.2 お知らせを登録する(利用者) 420
19.3 お知らせの詳細情報を確認する(利用者) 422
19.4 お知らせの内容を変更する(利用者) 422
19.5 お知らせを削除する 423
第 6 編 保守情報 425
第 20 章 バックアップとリストア 427
20.1 バックアップ 428
20.2 リストア 428
第 21 章 ログの出力先 430
第 22 章 メッセージ一覧 431
第 23 章 コマンド 435
23.1 リソース情報更新コマンド 436
23.1.1 リソース情報ファイル 437
23.1.2 リソース情報更新コマンドのエラー一覧 441
23.2 リクエスト履歴出力コマンド 443
23.2.1 リクエスト履歴ファイル 445
23.2.2 リクエスト履歴出力コマンドのエラー一覧 447
第 24 章 注意・制限事項 448
付録 A. カスタマイズ 451
A.1 テンプレートに付加情報を表示する 451
A.2 取り込まれたサーバに付加情報を表示する 452
A.3 GUI 表示のカスタマイズ方法 453
A.4 サーバ起動時のサーバ変更操作可否を設定する 458
付録 B. 権限 459
B.1 ビルトインロールが保有する権限 459

B.2 カスタムロールにて使用可能な権限 467
用語集 472

図目次

図 1-1 vDC Automation ポータルの利用イメージ....4
図 2-1 ディスクタグ適用フロー....28
図 4-1 ログイン画面....71
図 4-2 ダッシュボード画面....72
図 5-1 画面構成....73
図 6-1 ログインユーザ操作ダイアログ....75
図 6-2 ログインユーザ操作ダイアログ....75
図 6-3 ログインユーザ情報詳細画面....75
図 6-4 ログインユーザ操作ダイアログ....76
図 6-5 ログインユーザ変更画面....77
図 6-6 ユーザ変更（確認）画面....77
図 6-7 ログインユーザ操作ダイアログ....78
図 6-8 ログインパスワード変更（入力）画面....78
図 6-9 ログインパスワード変更（確認）画面....78
図 6-10 ログインユーザ操作ダイアログ....79
図 6-11 テナント代行（入力）画面....79
図 6-12 テナント代行（変更）画面....79
図 7-1 「ダッシュボード」画面 ウィジェット表示....83
図 7-2 「ダッシュボード」画面 カスタマイズメニュー....83
図 7-3 「ウィジェット追加」ダイアログ....84
図 7-4 「ダッシュボード」画面 新規ウィジェット表示....85
図 7-5 「ダッシュボード」画面 カスタマイズ....85
図 7-6 ダッシュボードからウィジェットを削除する....86
図 7-7 「ウィジェット削除確認」ダイアログ....86
図 7-8 「ダッシュボード」画面 カスタマイズ....87
図 7-9 ウィジェットの表示順変更....87
図 7-10 ウィジェットの表示順変更....87
図 7-11 ウィジェットのサイズ変更....88
図 7-12 ウィジェットの設定保存....89
図 7-13 「ウィジェット設定保存確認」ダイアログ....89
図 7-14 ウィジェットの設定破棄....90
図 7-15 「キャンセル確認」ダイアログ....90
図 7-16 ダッシュボード画面(デフォルト)....91
図 7-17 お知らせ一覧....91
図 7-18 未承認リクエスト一覧....91
図 8-1 リクエスト管理画面....94

図 8-2 リクエスト詳細画面 96
図 8-3 リクエスト詳細画面(承認) 100
図 8-4 承認ダイアログ 101
図 8-5 リクエスト詳細画面(却下) 101
図 8-6 却下ダイアログ 102
図 8-7 リクエスト詳細画面(エラー状態解除) 102
図 8-8 エラー状態解除ダイアログ 102
図 8-9 システム用承認フロー設定 画面 105
図 8-10 承認フロー設定変更(入力) 画面 105
図 8-11 承認者の選択ダイアログ 106
図 9-1 テナント管理画面 109
図 9-2 テナント一覧画面 110
図 9-3 テナント登録(入力)画面 110
図 9-4 テナント登録(確認)画面 111
図 9-5 テナント情報詳細画面 112
図 9-6 テナント詳細画面 113
図 9-7 テナント変更(入力)画面 113
図 9-8 管理者選択画面 113
図 9-9 テナント変更(確認)画面 114
図 9-10 テナント詳細画面(削除) 114
図 9-11 テナント削除(確認)画面 115
図 9-12 ユーザ管理画面 115
図 9-13 ユーザ一覧画面 116
図 9-14 ユーザ登録(入力)画面 117
図 9-15 カスタマイズダイアログ 118
図 9-16 ユーザ登録(確認)画面 118
図 9-17 ユーザ情報詳細画面 119
図 9-18 ユーザ詳細画面 120
図 9-19 ユーザ変更(入力)画面 120
図 9-20 カスタマイズダイアログ 121
図 9-21 ユーザ変更(確認)画面 121
図 9-22 ユーザ詳細画面 122
図 9-23 パスワード変更(入力)画面 122
図 9-24 パスワード変更(確認)画面 122
図 9-25 ユーザ詳細画面 123
図 9-26 ユーザ削除画面 123
図 10-1 リソース状況画面 125
図 10-2 サーバ一覧画面 126
図 10-3 サーバ詳細画面 127

図 10-4　サーバ情報詳細画面（システム） 128
図 10-5　サーバ情報詳細画面（ソフトウェア） 129
図 10-6　サーバ情報詳細画面（ネットワーク） 129
図 10-7　サーバ情報詳細画面（ディスク） 130
図 10-8　性能情報画面 131
図 10-9　スクリーンショット画面 132
図 10-10　運用作業履歴一覧画面 132
図 10-11　運用作業履歴詳細画面 134
図 11-1　「システムメッセージ」画面 136
図 11-2　メッセージパネルとメッセージ一覧 137
図 11-3　「システムメッセージ」画面 検索 138
図 11-4　「システムメッセージ」画面 メッセージ詳細 140
図 11-5　確認状態の変更 方法 1 141
図 11-6　確認状態の変更 方法 2 141
図 11-7　「確認状態変更」ダイアログ 142
図 11-8　マークの付与 方法 1 142
図 11-9　マークの付与 方法 2 143
図 11-10　「マーク付け」ダイアログ 143
図 11-11　コメント編集 144
図 11-12　「コメント編集」ダイアログ 144
図 11-13　ノード監視画面 145
図 11-14　テナント割り当てダイアログ 146
図 11-15　「監視設定削除」ダイアログ 146
図 11-16　詳細タブ 147
図 11-17　「スケジュール設定」ダイアログ 148
図 11-18　「備考編集」ダイアログ 149
図 11-19　監視設定タブ 150
図 11-20　Windows サービス監視 151
図 11-21　プロセス監視 152
図 11-22　性能監視一覧 153
図 11-23　監視カウンタ詳細 154
図 11-24　サービスポート監視 155
図 11-25　サービスポート詳細 155
図 11-26　イベントログ監視 156
図 11-27　シスログ監視 157
図 11-28　アプリケーションログ監視 158
図 12-1　メンテナンス管理画面 161
図 12-2　メンテナンス一覧画面 162
図 12-3　メンテナンス登録（入力）画面 162

図 12-4　メンテナンス対象選択画面 163
図 12-5　メンテンス登録（確認）画面 164
図 12-6　メンテナンス画面 165
図 12-7　メンテナンス詳細画面 165
図 12-8　メンテナンス詳細画面 166
図 12-9　メンテナンス変更（入力）画面 166
図 12-10　メンテナンス変更（確認）画面 167
図 12-11　メンテナンス詳細画面 167
図 12-12　メンテナンス削除画面 167
図 12-13　お知らせ管理画面 168
図 12-14　お知らせ一覧画面 169
図 12-15　お知らせ登録（入力）画面 169
図 12-16　公開対象の選択ダイアログ 171
図 12-17　お知らせ登録（確認）画面 171
図 12-18　お知らせ詳細画面 172
図 12-19　お知らせ詳細画面 172
図 12-20　お知らせ変更（入力）画面 173
図 12-21　お知らせ変更（確認）画面 173
図 12-22　お知らせ詳細画面 174
図 12-23　お知らせ削除（確認）画面 174
図 13-1　運用設定画面 184
図 13-2　運用設定画面 185
図 13-3　運用設定変更(入力)画面 186
図 14-1　「ダッシュボード」画面 ウィジェット表示 191
図 14-2　「ダッシュボード」画面 カスタマイズメニュー 191
図 14-3　「ウィジェット追加」ダイアログ 192
図 14-4　「ダッシュボード」画面 新規ウィジェット表示 193
図 14-5　「ダッシュボード」画面 カスタマイズ 193
図 14-6　ダッシュボードからウィジェットを削除する 194
図 14-7　「ウィジェット削除確認」ダイアログ 194
図 14-8　「ダッシュボード」画面 カスタマイズ 194
図 14-9　ウィジェットの表示順変更 195
図 14-10　ウィジェットの表示順変更 195
図 14-11　ウィジェットのサイズ変更 196
図 14-12　ウィジェットの設定保存 196
図 14-13　「ウィジェット設定保存確認」ダイアログ 197
図 14-14　ウィジェットの設定破棄 197
図 14-15　「キャンセル確認」ダイアログ 197
図 14-16　ダッシュボード画面(デフォルト) 198

図 14-17　お知らせ一覧 198
図 14-18　未承認リクエスト一覧 199
図 15-1　リクエスト管理画面 202
図 15-2　リクエスト一覧画面 203
図 15-3　リクエスト作成ダイアログ 203
図 15-4　リクエスト種別選択（サーバ作成選択時） 204
図 15-5　ネットワーク作成（入力）画面 205
図 15-6　ネットワーク作成（確認）画面 206
図 15-7　ネットワーク変更選択画面 206
図 15-8　ネットワーク変更（入力）画面 207
図 15-9　ネットワーク変更（確認）画面 208
図 15-10　削除ネットワーク選択画面 208
図 15-11　ネットワーク削除（確認）画面 209
図 15-12　サーバ作成（入力）画面 210
図 15-13　リソースプール選択画面 214
図 15-14　データディスク追加ダイアログ 214
図 15-15　データディスク変更ダイアログ 214
図 15-16　サーバ作成（確認）画面 215
図 15-17　サーバ変更選択画面 216
図 15-18　サーバ変更（入力）画面 217
図 15-19　サーバ変更（確認）画面 218
図 15-20　削除サーバ選択画面 219
図 15-21　サーバ削除（確認）画面 220
図 15-22　リクエスト詳細画面 220
図 15-23　リクエスト詳細画面（承認） 225
図 15-24　承認ダイアログ 225
図 15-25　リクエスト詳細画面（却下） 226
図 15-26　却下ダイアログ 226
図 15-27　リクエスト詳細画面（再申請） 227
図 15-28　テナント用承認フロー設定 画面 229
図 15-29　承認フロー設定変更(入力) 画面 229
図 15-30　承認者の選択ダイアログ 230
図 15-31　メール通知設定 画面 231
図 15-32　メール通知設定変更(入力) 画面 232
図 16-1　テナント管理画面 235
図 16-2　テナント情報詳細画面 236
図 16-3　テナント詳細画面 236
図 16-4　テナント変更（入力）画面 237
図 16-5　管理者選択画面 237

図 16-6　テナント変更（確認）画面 237
図 16-7　ユーザ管理画面 238
図 16-8　ユーザ一覧画面 239
図 16-9　ユーザ登録（入力）画面 239
図 16-10　カスタマイズダイアログ 241
図 16-11　ユーザ登録（確認）画面 241
図 16-12　ユーザ情報詳細画面 241
図 16-13　ユーザ詳細画面 242
図 16-14　ユーザ変更（入力）画面 243
図 16-15　カスタマイズダイアログ 243
図 16-16　ユーザ変更（確認）画面 244
図 16-17　ユーザ詳細画面 244
図 16-18　パスワード変更（入力）画面 244
図 16-19　パスワード変更（確認）画面 245
図 16-20　ユーザ詳細画面 245
図 16-21　ユーザ削除画面 245
図 17-1　「ノード」画面 247
図 17-2　「ノード」画面 ノード一覧パネルとグループツリー 248
図 17-3　「ノード」画面 ノード一覧 248
図 17-4　「ノード詳細」ダイアログ 249
図 17-5　「ノード」画面 ステータスパネル 250
図 17-6　性能グラフ 251
図 17-7　「ノード」画面 グループ作成 252
図 17-8　「グループ作成」ダイアログ 253
図 17-9　「ノード」画面 グループ名変更 253
図 17-10　「グループ名変更」ダイアログ 254
図 17-11　「ノード」画面 グループ移動 254
図 17-12　「グループ移動」ダイアログ 255
図 17-13　「ノード」画面 グループ削除 255
図 17-14　「グループ削除」ダイアログ 256
図 17-15　「ノード」画面 ノード移動 256
図 17-16　「ノード移動」ダイアログ 257
図 17-17　「ノード」画面 ノード監視 257
図 17-18　フィルター一覧 258
図 17-19　「フィルター一覧」画面 フィルタ詳細 259
図 17-20　「メッセージフィルタ追加」画面 261
図 17-21　「メッセージフィルタ追加」画面 - アクション定義 262
図 17-22　「フィルター一覧」画面 順序変更 263
図 17-23　「キャンセル確認」ダイアログ 264

図 17-24 「適用確認」ダイアログ 264
図 17-25 「フィルター一覧」画面 削除 265
図 17-26 「フィルタ削除」ダイアログ 265
図 17-27 「ノード」画面 テンプレート適用 266
図 17-28 「テンプレート選択」ダイアログ 266
図 17-29 タスク一覧 267
図 17-30 「タスク詳細」ダイアログ 267
図 17-31 タスク一覧(直近 24 時間) 268
図 17-32 タスク一覧(履歴) 269
図 17-33 「タスク詳細」ダイアログ 270
図 17-34 「メッセージ」画面 271
図 17-35 メッセージパネルとメッセージ一覧 272
図 17-36 メッセージ検索 274
図 17-37 メッセージ詳細タブ 275
図 17-38 ナレッジタブ 276
図 17-39 アクションタブ 277
図 17-40 確認状態の変更 方法 1 278
図 17-41 確認状態の変更 方法 2 279
図 17-42 「確認状態変更」ダイアログ 279
図 17-43 マークの付与 方法 1 279
図 17-44 マークの付与 方法 2 280
図 17-45 「マーク付け」ダイアログ 280
図 17-46 コメント編集 281
図 17-47 「コメント編集」ダイアログ 281
図 17-48 「メッセージ」画面 重要度別メッセージ件数 281
図 17-49 「メッセージ」画面 カテゴリ一覧 282
図 17-50 「カテゴリ作成」ダイアログ 283
図 17-51 「名前変更」ダイアログ 283
図 17-52 「カテゴリ削除」ダイアログ 283
図 17-53 「フィルター一覧」画面 284
図 17-54 「フィルター一覧」画面 フィルタ詳細 285
図 17-55 「メッセージフィルタ追加」画面 287
図 17-56 「メッセージフィルタ追加」画面 - 表示定義 289
図 17-57 「メッセージフィルタ追加」画面 - アクション定義 290
図 17-58 「フィルター一覧」画面 順序変更 291
図 17-59 「キャンセル確認」ダイアログ 292
図 17-60 「適用確認」ダイアログ 292
図 17-61 「フィルター一覧」画面 削除 293
図 17-62 「フィルタ削除」ダイアログ 293

図 17-63 「フィルター覧」画面 有効/無効 293
図 17-64 「フィルタ状態変更」ダイアログ(有効化) 294
図 17-65 「フィルタ状態変更」ダイアログ(無効化) 294
図 17-66 「分析／レポート」画面 294
図 17-67 分析／レポート「ビュー追加」ダイアログ 296
図 17-68 ビュー追加直後の「分析／レポート」画面 296
図 17-69 「ビュー変更」画面 297
図 17-70 「グラフ設定」ダイアログ 297
図 17-71 「グラフ設定」ダイアログ(性能グラフ) 298
図 17-72 「ビュー変更」画面」(性能グラフ) 299
図 17-73 「カウンタ選択」ダイアログ 300
図 17-74 性能グラフ設定 カウンター覧 300
図 17-75 「カウンタ削除」ダイアログ 301
図 17-76 カウンタ順序変更 301
図 17-77 ランキンググラフ　例 302
図 17-78 「グラフ設定」ダイアログ(ランキング) 303
図 17-79 「ビュー変更」画面(ランキンググラフの設定) 304
図 17-80 稼働状況グラフ　例 306
図 17-81 「グラフ設定」ダイアログ(稼働状況) 306
図 17-82 「ビュー変更」画面(稼働状況) 307
図 17-83 「監視対象選択」ダイアログ 308
図 17-84 その他の稼働率 ダイアログ 309
図 17-85 分析／レポート「ビュー削除」ダイアログ 311
図 17-86 分析／レポート ビューの印刷 311
図 17-87 分析設定ダイアログ 312
図 17-88 分析結果表示 313
図 17-89 ノード監視画面 313
図 17-90 監視状態変更メニュー 314
図 17-91 「有効化」ダイアログ 314
図 17-92 「無効化」ダイアログ 315
図 17-93 「監視設定削除」ダイアログ 315
図 17-94 詳細タブ 316
図 17-95 「スケジュール設定」ダイアログ 317
図 17-96 「備考編集」ダイアログ 318
図 17-97 監視設定タブ 319
図 17-98 「テンプレート化」ダイアログ 320
図 17-99 監視設定タブ テンプレート適用 321
図 17-100 「テンプレート選択」ダイアログ 321
図 17-101 タスク一覧 322

図 17-102 「タスク詳細」ダイアログ 322
図 17-103 Windows サービス監視 323
図 17-104 「Windows サービス監視設定変更」画面 324
図 17-105 ポップアップメニュー 325
図 17-106 「グループ追加」ダイアログ 325
図 17-107 「グループ変更」ダイアログ 326
図 17-108 「グループ削除」ダイアログ 326
図 17-109 「Windows サービス一覧」ダイアログ 327
図 17-110 「Windows サービス追加」ダイアログ 328
図 17-111 「Windows サービス変更」ダイアログ 329
図 17-112 「Windows サービス監視削除」ダイアログ 329
図 17-113 プロセス監視 330
図 17-114 「プロセス監視設定変更」画面 331
図 17-115 ポップアップメニュー 332
図 17-116 「グループ追加」ダイアログ 332
図 17-117 「グループ変更」ダイアログ 333
図 17-118 「グループ削除」ダイアログ 333
図 17-119 「プロセス追加(入力)」画面 334
図 17-120 「起動プロセス一覧」ダイアログ 335
図 17-121 「プロセス監視削除」ダイアログ 336
図 17-122 性能監視一覧 336
図 17-123 監視カウンタ詳細 337
図 17-124 「性能監視設定変更」画面 338
図 17-125 「監視対象カウンタの選択」画面 339
図 17-126 「性能監視設定変更」画面(監視テンプレート) 339
図 17-127 「監視カウンタ追加」ダイアログ 340
図 17-128 「監視カウンタ変更」ダイアログ 340
図 17-129 「監視カウンタ削除」ダイアログ 341
図 17-130 「監視カウンタ変更(入力)」画面 341
図 17-131 サービスポート監視 342
図 17-132 サービスポート詳細 343
図 17-133 「サービスポート監視設定変更」画面 344
図 17-134 「サービスポート追加(入力)」画面 345
図 17-135 「サービスポート変更(入力)」画面 346
図 17-136 「サービスポート監視設定削除」ダイアログ 346
図 17-137 イベントログ監視 347
図 17-138 「イベントログ監視設定変更」画面 348
図 17-139 「イベントログ監視設定変更」画面(監視テンプレート) 348
図 17-140 「イベントログ追加」ダイアログ 349

図 17-141 「イベントログ変更」ダイアログ 349
図 17-142 「イベントログ削除」ダイアログ 349
図 17-143 「ログフィルタ追加(入力)」画面 350
図 17-144 「ログフィルタ追加(入力)」画面 位置指定 351
図 17-145 「ログフィルタ追加(入力)」画面 キー指定 352
図 17-146 「ログフィルタ追加(入力)」画面 表示定義 352
図 17-147 「ログフィルタ追加(入力)」画面 オプション定義 352
図 17-148 「ログフィルタ変更(入力)」画面 353
図 17-149 「ログフィルタ削除」ダイアログ 353
図 17-150 シスログ監視 354
図 17-151 「シスログ監視設定変更」画面 355
図 17-152 「シスログ監視設定変更」画面(監視テンプレート) 356
図 17-153 「シスログ追加」ダイアログ 356
図 17-154 「シスログ変更」ダイアログ 357
図 17-155 「シスログ削除」ダイアログ 357
図 17-156 「ログフィルタ追加(入力)」画面 358
図 17-157 「ログフィルタ追加(入力)」画面 位置指定 359
図 17-158 「ログフィルタ追加(入力)」画面 キー指定 359
図 17-159 「ログフィルタ追加(入力)」画面 表示定義 360
図 17-160 「ログフィルタ追加(入力)」画面 オプション定義 360
図 17-161 「ログフィルタ変更(入力)」画面 361
図 17-162 「ログフィルタ削除」ダイアログ 361
図 17-163 アプリケーションログ監視 362
図 17-164 「アプリケーションログ監視設定変更」画面 364
図 17-165 ポップアップメニュー 365
図 17-166 「グループ追加」ダイアログ 365
図 17-167 「グループ変更」ダイアログ 366
図 17-168 「グループ削除」ダイアログ 366
図 17-169 「アプリケーションログ追加(入力)」画面 367
図 17-170 「アプリケーションログ変更(入力)」画面 368
図 17-171 「アプリケーションログ削除」ダイアログ 368
図 17-172 「ログフィルタ追加(入力)」画面 369
図 17-173 「ログフィルタ追加(入力)」画面 位置指定 370
図 17-174 「ログフィルタ追加(入力)」画面 キー指定 370
図 17-175 「ログフィルタ追加(入力)」画面 表示定義 371
図 17-176 「ログフィルタ追加(入力)」画面 オプション定義 371
図 17-177 「ログフィルタ変更(入力)」画面 372
図 17-178 「ログフィルタ削除」ダイアログ 372
図 17-179 「監視テンプレート」画面 373

図 17-180 「監視テンプレート」画面 検索 374
図 17-181 「監視テンプレート」画面 詳細 375
図 17-182 「監視テンプレート追加」ダイアログ 376
図 17-183 「監視テンプレート変更」ダイアログ 377
図 17-184 「監視テンプレート複製」ダイアログ 378
図 17-185 「監視テンプレート削除」ダイアログ 378
図 17-186 テンプレートの適用 379
図 17-187 テンプレートの適用 379
図 17-188 タスク一覧 380
図 17-189 「タスク詳細」ダイアログ 380
図 17-190 「自動監視」画面 381
図 17-191 「自動監視」画面 自動監視ルール詳細 382
図 17-192 「自動監視ルール登録」画面 383
図 17-193 「自動監視ルール登録」画面 業務グループ選択 385
図 17-194 「業務グループ選択」ダイアログ 386
図 17-195 「自動監視ルール登録」画面 カタログ選択 387
図 17-196 「カタログ選択」ダイアログ 387
図 17-197 「自動監視ルール登録」画面 テンプレート選択 387
図 17-198 「テンプレート選択」ダイアログ 388
図 17-199 「自動監視ルール削除」ダイアログ 388
図 17-200 自動監視ルールの実行結果の確認 389
図 17-201 「メール通報」画面 389
図 17-202 「メール通報」画面 メール通報詳細 390
図 17-203 「メール通報」画面 追加ボタン 391
図 17-204 「メール通報」画面 編集、引用ボタン 391
図 17-205 「メール通報登録」画面 392
図 17-206 URL パラメータ利用時の「ノード」画面の例 394
図 17-207 URL パラメータ利用時の「メッセージ」画面の例 395
図 17-208 「メール通報」画面 削除チェックボックス 396
図 17-209 「メール通報削除」ダイアログ 396
図 17-210 「コマンド」画面 396
図 17-211 「コマンド通報」画面 コマンド設定詳細 397
図 17-212 「コマンド」画面 追加ボタン 398
図 17-213 「コマンド」画面 編集、引用ボタン 398
図 17-214 「コマンド登録」画面 398
図 17-215 「コマンド」画面 削除チェックボックス 400
図 17-216 「コマンド削除」ダイアログ 401
図 18-1 リソース状況画面 403
図 18-2 トポロジー 404

図 18-3　トポロジー 405
図 18-4　ネットワーク名変更画面 406
図 18-5　サーバ一覧画面 406
図 18-6　サーバ一覧画面(作成) 408
図 18-7　サーバ詳細画面 408
図 18-8　サーバ情報詳細画面(システム) 409
図 18-9　サーバ情報詳細画面(ソフトウェア) 410
図 18-10　サーバ情報詳細画面(ネットワーク) 411
図 18-11　サーバ情報詳細画面(ディスク) 411
図 18-12　性能情報画面 412
図 18-13　スクリーンショット画面 413
図 18-14　付加情報画面 413
図 18-15　サーバ一覧画面(変更) 414
図 18-16　サーバ一覧画面(削除) 414
図 18-17　サーバ一覧画面 415
図 18-18　電源操作ダイアログ(起動の場合) 415
図 18-19　サーバ一覧 同期ボタン 415
図 18-20　運用作業履歴一覧画面 416
図 18-21　運用作業履歴詳細画面 417
図 19-1　お知らせ管理画面 420
図 19-2　お知らせ一覧画面 421
図 19-3　お知らせ登録(入力)画面 421
図 19-4　お知らせ登録(確認)画面 422
図 19-5　お知らせ詳細画面 422
図 19-6　お知らせ詳細画面 423
図 19-7　お知らせ変更(入力)画面 423
図 19-8　お知らせ変更(確認)画面 423
図 19-9　お知らせ詳細画面 424
図 19-10　お知らせ削除(確認)画面 424
図 A-1　カスタマイズ可能箇所 453

表目次

マニュアル更新履歴 ii
表 2-1 両サーバに設定、管理が必要なファイル 11
表 2-2 共有フォルダに置く必要があるファイル 11
表 2-3 SSC リクエスト設定 13
表 2-4 項目一覧 15
表 2-5 項目一覧 24
表 2-6 ディスクタグ機能を使用しない場合のデフォルトパラメータ 25
表 2-7 ディスクタグ設定項目一覧 26
表 2-8 項目一覧 33
表 2-9 拡張パラメータ種別 35
表 2-10 拡張パラメータキー 36
表 2-11 汎用オペレーション定義ファイルの設定項目例 37
表 2-12 汎用オペレーション定義ファイルの設定項目 38
表 3-1 ユーザ権限 66
表 3-2 リクエスト一覧・詳細表示のユーザ権限 67
表 6-1 項目一覧(ログインユーザ詳細) 76
表 6-2 項目一覧(ログインユーザ変更画面) 77
表 7-1 項目一覧(「ウィジェット追加」ダイアログ) 84
表 7-2 項目一覧(お知らせ) 91
表 7-3 項目一覧(未承認リクエスト) 91
表 8-1 項目一覧(リクエスト管理画面) 94
表 8-2 項目一覧(リクエスト一覧検索画面) 95
表 8-3 項目一覧(リクエスト) 96
表 8-4 承認フロー設定と承認動作の一覧 104
表 8-5 承認可能権限の一覧 104
表 8-6 システム用承認フロー設定 画面 105
表 8-7 承認フロー設定変更(入力) 画面 105
表 8-8 承認者の選択ダイアログ 画面 106
表 9-1 項目一覧(テナント管理画面) 109
表 9-2 項目一覧(テナント一覧検索画面) 109
表 9-3 項目一覧(テナント登録画面) 110
表 9-4 項目一覧(テナント詳細) 112
表 9-5 項目一覧(ユーザ管理画面) 115
表 9-6 項目一覧(ユーザ一覧検索画面) 115
表 9-7 項目一覧(ユーザ登録画面) 117
表 9-8 項目一覧(ユーザ詳細) 119

表 10-1　項目一覧(リソース状況) 125
表 10-2　項目一覧(サーバ一覧画面) 126
表 10-3　項目一覧(サーバ一覧検索画面) 126
表 10-4　項目一覧(システム) 128
表 10-5　項目一覧(ソフトウェア) 129
表 10-6　項目一覧(ネットワーク) 130
表 10-7　項目一覧(ディスク) 130
表 10-8　項目一覧(ソフトウェア) 131
表 10-9　項目一覧(スクリーンショット) 132
表 10-10　項目一覧(運用作業履歴) 133
表 10-11　項目一覧(運用作業履歴一覧検索画面) 133
表 10-12　項目一覧(運用作業履歴詳細) 134
表 11-1　項目一覧(「システムメッセージ」画面 メッセージパネル) 137
表 11-2　項目一覧(「システムメッセージ」画面 メッセージ一覧) 137
表 11-3　項目一覧(「システムメッセージ」画面 検索) 138
表 11-4　項目一覧(「システムメッセージ」画面 メッセージ詳細) 140
表 11-5　項目一覧(監視一覧) 145
表 11-6　項目一覧(テナント割り当て) 146
表 11-7　項目一覧(「監視設定削除」ダイアログ) 146
表 11-8　項目一覧(詳細タブ) 147
表 11-9　項目一覧(「スケジュール設定」ダイアログ) 148
表 11-10　項目一覧(「備考編集」ダイアログ) 149
表 11-11　項目一覧(監視設定タブ) 150
表 11-12　項目一覧(Windows サービス) 151
表 11-13　項目一覧(Windows サービス詳細) 152
表 11-14　項目一覧(監視プロセス) 152
表 11-15　項目一覧(監視プロセス詳細) 153
表 11-16　項目一覧(性能監視) 154
表 11-17　項目一覧(監視カウンタ詳細) 154
表 11-18　項目一覧(サービスポート監視) 155
表 11-19　項目一覧(サービスポート詳細) 155
表 11-20　項目一覧(イベントログ詳細) 156
表 11-21　項目一覧(ログフィルタ) 156
表 11-22　項目一覧(シスログ詳細) 157
表 11-23　項目一覧(ログフィルタ) 158
表 11-24　項目一覧(アプリケーションログ詳細) 159
表 11-25　項目一覧(ログフィルタ) 159
表 12-1　項目一覧(メンテナンス一覧) 161
表 12-2　項目一覧(メンテナンス一覧検索画面) 161

表 12-3　項目一覧(メンテナンス登録画面) 162
表 12-4　項目一覧(メンテナンス詳細) 165
表 12-5　項目一覧(お知らせ一覧) 168
表 12-6　項目一覧(お知らせ一覧検索画面) 168
表 12-7　項目一覧(お知らせ登録) 169
表 12-8　項目一覧(お知らせ詳細) 172
表 13-1　置換文字列一覧 176
表 13-2　実行完了時の$REQUEST_SUMMARY$表示項目 177
表 13-3　メール通知内容一覧 177
表 13-4　メール内容の既定値(メールテンプレート) 178
表 13-5　メール通知用設定項目 182
表 13-6　項目一覧(運用設定) 184
表 13-7　項目一覧(運用設定変更) 186
表 14-1　項目一覧(「ウィジェット追加」ダイアログ) 192
表 14-2　項目一覧(お知らせ) 198
表 14-3　項目一覧(未承認リクエスト) 199
表 15-1　項目一覧(リクエスト管理画面) 202
表 15-2　項目一覧(リクエスト一覧検索画面) 202
表 15-3　項目一覧(ネットワーク作成画面) 205
表 15-4　項目一覧(サーバ作成画面) 211
表 15-5　サーバ作成(確認)画面 215
表 15-6　項目一覧(リクエスト) 220
表 15-7　承認フロー設定と承認動作の一覧 227
表 15-8　承認可能権限の一覧 228
表 15-9　テナント用承認フロー設定 画面 229
表 15-10　承認フロー設定変更(入力) 画面 229
表 15-11　承認者の選択ダイアログ 画面 230
表 15-12　メール通知設定 画面 231
表 15-13　メール通知設定変更(入力) 画面 232
表 16-1　項目一覧(テナント管理画面) 235
表 16-2　項目一覧(テナント詳細) 236
表 16-3　項目一覧(ユーザ管理画面) 238
表 16-4　項目一覧(ユーザ一覧検索画面) 238
表 16-5　項目一覧(ユーザ登録画面) 240
表 16-6　項目一覧(ユーザ詳細) 241
表 17-1　項目一覧(「ノード」画面 ノード一覧パネルとグループツリー) 248
表 17-2　項目一覧(「ノード」画面 ノード一覧) 249
表 17-3　項目一覧(「ノード詳細」ダイアログ) 249
表 17-4　項目一覧(「ノード」画面 ステータスパネル) 250

表 17-5　項目一覧(性能グラフ) 251
表 17-6　間引きなしに表示できる期間 252
表 17-7　項目一覧(「グループ作成」ダイアログ) 253
表 17-8　項目一覧(グループ名変更) 254
表 17-9　項目一覧(フィルタ一覧画面) 258
表 17-10　項目一覧(「フィルタ一覧」画面 フィルタ詳細) 259
表 17-11　項目一覧(「フィルタ一覧」画面 フィルタ詳細 - アクション定義) 260
表 17-12　項目一覧(「メッセージフィルタ追加」画面) 261
表 17-13　項目一覧(「メッセージフィルタ追加」画面 アクション定義) 262
表 17-14　項目一覧(「フィルタ一覧」画面 順序変更) 263
表 17-15　項目一覧(「キャンセル確認」ダイアログ) 264
表 17-16　項目一覧(「適用確認」ダイアログ) 264
表 17-17　タスク一覧 267
表 17-18　項目一覧(タスク一覧(直近 24 時間)) 268
表 17-19　項目一覧(タスク一覧(履歴)) 269
表 17-20　項目一覧(「タスク詳細」ダイアログ) 270
表 17-21　項目一覧(「メッセージ」画面 カテゴリ一覧) 271
表 17-22　項目一覧(メッセージパネル) 272
表 17-23　項目一覧(メッセージ一覧) 273
表 17-24　項目一覧(メッセージ検索) 274
表 17-25　項目一覧(メッセージ詳細タブ) 275
表 17-26　項目一覧(ナレッジタブ) 276
表 17-27　項目一覧(アクションタブ - メール通報) 277
表 17-28　項目一覧(アクションタブ - コマンド実行) 277
表 17-29　項目一覧(「カテゴリ作成」ダイアログ) 283
表 17-30　項目一覧(「名前変更」ダイアログ) 283
表 17-31　項目一覧(「フィルタ一覧」画面) 284
表 17-32　項目一覧(「フィルタ一覧」画面 フィルタ詳細) 285
表 17-33　項目一覧(「フィルタ一覧」画面 フィルタ詳細 - アクション定義) 286
表 17-34　項目一覧(「フィルタ一覧」画面 フィルタ詳細 - 表示定義) 287
表 17-35　項目一覧(「メッセージフィルタ追加」画面) 288
表 17-36　項目一覧(「メッセージフィルタ追加」画面 表示定義) 289
表 17-37　項目一覧(置換文字列) 289
表 17-38　項目一覧(「メッセージフィルタ追加」画面 アクション定義) 290
表 17-39　項目一覧(「フィルタ一覧」画面 順序変更) 291
表 17-40　項目一覧(「キャンセル確認」ダイアログ) 292
表 17-41　項目一覧(「適用確認」ダイアログ) 292
表 17-42　項目一覧(表示期間) 295
表 17-43　項目一覧(「グラフ設定」ダイアログ) 298

表 17-44　項目一覧(「グラフ設定」ダイアログ(性能グラフ)) 299
表 17-45　「カウンタ選択」ダイアログ 300
表 17-46　カウンタ順序変更 301
表 17-47　間引きなしに表示できる期間 302
表 17-48　項目一覧(「グラフ設定」ダイアログ(ランキング)) 303
表 17-49　項目一覧(「ビュー変更」画面(ランキンググラフの設定)) 305
表 17-50　対象カウンタ(プリセット) 305
表 17-51　項目一覧(「グラフ設定」ダイアログ(稼働状況)) 307
表 17-52　稼働状況表示情報一覧 310
表 17-53　項目一覧(「分析設定]」ダイアログ) 312
表 17-54　項目一覧(監視一覧) 313
表 17-55　項目一覧(「有効化」ダイアログ) 314
表 17-56　項目一覧(「無効化」ダイアログ) 315
表 17-57　項目一覧(「監視設定削除」ダイアログ) 315
表 17-58　項目一覧(詳細タブ) 316
表 17-59　項目一覧(「スケジュール設定」ダイアログ) 317
表 17-60　項目一覧(「備考編集」ダイアログ) 318
表 17-61　項目一覧(監視設定タブ) 319
表 17-62　項目一覧(「テンプレート化」ダイアログ) 320
表 17-63　項目一覧(Windows サービス) 323
表 17-64　項目一覧(Windows サービス詳細) 323
表 17-65　項目一覧(「グループ追加」ダイアログ) 325
表 17-66　項目一覧(「グループ変更」ダイアログ) 326
表 17-67　項目一覧(「グループ削除」ダイアログ) 326
表 17-68　項目一覧(「Windows サービス一覧」ダイアログ) 327
表 17-69　項目一覧(「Windows サービス追加」ダイアログ) 328
表 17-70　項目一覧(「Windows サービス削除」ダイアログ) 329
表 17-71　項目一覧(監視プロセス) 330
表 17-72　項目一覧(監視プロセス詳細) 330
表 17-73　項目一覧(「グループ追加」ダイアログ) 332
表 17-74　項目一覧(「グループ変更」ダイアログ) 333
表 17-75　項目一覧(「グループ削除」ダイアログ) 333
表 17-76　項目一覧(「プロセス追加(入力)」画面) 334
表 17-77　項目一覧(「起動プロセス一覧」ダイアログ) 335
表 17-78　項目一覧(「プロセス削除」ダイアログ) 336
表 17-79　項目一覧(性能監視) 336
表 17-80　項目一覧(監視カウンタ詳細) 337
表 17-81　項目一覧(「監視カウンタ追加」ダイアログ) 340
表 17-82　項目一覧(「監視カウンタ変更(入力)」画面) 341

表 17-83　項目一覧(サービスポート監視) 342
表 17-84　項目一覧(サービスポート詳細) 343
表 17-85　項目一覧(「サービスポート監視設定変更」画面) 344
表 17-86　項目一覧(「サービスポート追加(入力)」画面) 345
表 17-87　項目一覧(「サービスポート監視設定削除」ダイアログ) 346
表 17-88　項目一覧(イベントログ詳細) 347
表 17-89　項目一覧(ログフィルタ) 347
表 17-90　項目一覧(「イベントログ追加」ダイアログ) 349
表 17-91　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面) 350
表 17-92　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 位置指定) 351
表 17-93　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 キー指定) 352
表 17-94　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 表示定義) 352
表 17-95　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 オプション定義) 352
表 17-96　項目一覧(「ログフィルタ削除」ダイアログ) 354
表 17-97　項目一覧(シスログ詳細) 354
表 17-98　項目一覧(ログフィルタ) 355
表 17-99　項目一覧(「シスログ追加」ダイアログ) 356
表 17-100　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面) 358
表 17-101　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 位置指定) 359
表 17-102　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 キー指定) 359
表 17-103　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 表示定義) 360
表 17-104　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 オプション定義) 360
表 17-105　項目一覧(「ログフィルタ削除」ダイアログ) 361
表 17-106　項目一覧(アプリケーションログ詳細) 362
表 17-107　項目一覧(ログフィルタ) 363
表 17-108　項目一覧(「グループ追加」ダイアログ) 365
表 17-109　項目一覧(「グループ変更」ダイアログ) 366
表 17-110　項目一覧(「グループ削除」ダイアログ) 366
表 17-111　項目一覧(「アプリケーションログ追加(入力)」画面) 367
表 17-112　項目一覧(バックアップファイル) 367
表 17-113　項目一覧(「アプリケーションログ削除」ダイアログ) 368
表 17-114　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面) 369
表 17-115　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 位置指定) 370
表 17-116　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 位置指定) 370
表 17-117　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 表示定義) 371
表 17-118　項目一覧(「ログフィルタ追加(入力)」画面 オプション定義) 371
表 17-119　項目一覧(「ログフィルタ削除」ダイアログ) 372
表 17-120　項目一覧(「監視テンプレート」画面) 373
表 17-121　項目一覧(「監視テンプレート」画面 監視テンプレート一覧) 374

表 17-122　項目一覧(「監視テンプレート」画面 検索) 374
表 17-123　項目一覧(「監視テンプレート」画面 監視テンプレート詳細) 375
表 17-124　項目一覧(「監視テンプレート追加」ダイアログ) 376
表 17-125　項目一覧(「監視テンプレート変更」ダイアログ) 377
表 17-126　項目一覧(「監視テンプレート複製」ダイアログ) 378
表 17-127　項目一覧(「監視テンプレート適用」ダイアログ) 380
表 17-128　項目一覧(「自動監視」画面) 381
表 17-129　項目一覧(「自動監視」画面 自動監視ルール一覧) 381
表 17-130　項目一覧(「自動監視」画面 自動監視ルール詳細) 382
表 17-131　項目一覧(「自動監視ルール登録」画面) 384
表 17-132　項目一覧(「メール通報」画面) 389
表 17-133　項目一覧(「メール通報」画面 メール通報詳細) 390
表 17-134　項目一覧(「メール通報登録」画面) 392
表 17-135　項目一覧(置換文字列) 393
表 17-136　「ノード」画面 URL パラメータ 394
表 17-137　「メッセージ」画面 URL パラメータ 395
表 17-138　項目一覧(「コマンド」画面) 396
表 17-139　項目一覧(「コマンド」画面 コマンド設定詳細) 397
表 17-140　項目一覧(「コマンド登録」画面) 398
表 17-141　項目一覧(置換文字列) 399
表 17-142　項目一覧(「コマンド登録」画面 Windows の例) 399
表 17-143　項目一覧(「コマンド登録」画面 UNIX の例) 400
表 18-1　項目一覧(リソース状況) 403
表 18-2　トポロジー 404
表 18-3　ネットワーク名変更画面 406
表 18-4　項目一覧(サーバ一覧画面) 407
表 18-5　項目一覧(サーバ一覧検索画面) 407
表 18-6　項目一覧(システム) 409
表 18-7　項目一覧(ソフトウェア) 410
表 18-8　項目一覧(ネットワーク) 411
表 18-9　項目一覧(ディスク) 411
表 18-10　項目一覧(ソフトウェア) 412
表 18-11　項目一覧(スクリーンショット) 413
表 18-12　項目一覧(付加情報) 413
表 18-13　項目一覧(運用作業履歴) 416
表 18-14　項目一覧(運用作業履歴一覧検索画面) 416
表 18-15　項目一覧(運用作業履歴詳細) 417
表 19-1　項目一覧(お知らせ一覧) 420
表 19-2　項目一覧(お知らせ一覧検索画面) 420

表 19-3　項目一覧（お知らせ登録）..... 421
表 19-4　項目一覧（お知らせ詳細）..... 422
表 23-1　リソース情報更新コマンド出力結果..... 436
表 23-2　取込項目一覧 439
表 23-3　更新対象一覧 440
表 23-4　エラー一覧..... 441
表 23-5　エラー詳細一覧 441
表 23-6　出力対象リクエスト一覧 443
表 23-7　リクエスト履歴出力コマンドの引数 444
表 23-8　リクエスト履歴コマンド出力結果 444
表 23-9　ファイル出力項目一覧 445
表 23-10　エラー一覧..... 447
表 24-1　エラーコード別事象補足..... 450
表 A-1　付加情報設定項目 451
表 B-1　システム管理者が保有する権限一覧 459
表 B-2　テナント管理者が保有する権限一覧..... 461
表 B-3　テナントユーザが保有する権限一覧 464
表 B-4　リクエスト承認者が保有する権限一覧 466
表 B-5　権限の一覧..... 467

第 1 編
概要

目次

第 1 章　vDC Automation ポータルとは 3

本章では、vDC Automation ポータルの概要を説明します。

第 1 章
vDC Automation ポータルとは

目次

1.1 vDC Automation ポータルで出来ること 4

vDC Automation ポータルは、vDC Automation の機能を利用するための Web ベースの GUI です。vDC Automation ポータルを利用する事で、以下の効果を期待できます。

- IaaS 利用者/テナントが自ら利用申請、仮想マシン操作、稼働状況（使用率等）の参照を行う事が可能になります
- 上記に伴い、リソース払い出しが早く行えるようになり、かつ IaaS 事業者の負担が軽減されます
- IaaS 事業者は、データセンター全体の状況、利用者の申請状況を容易に把握する事が可能になります

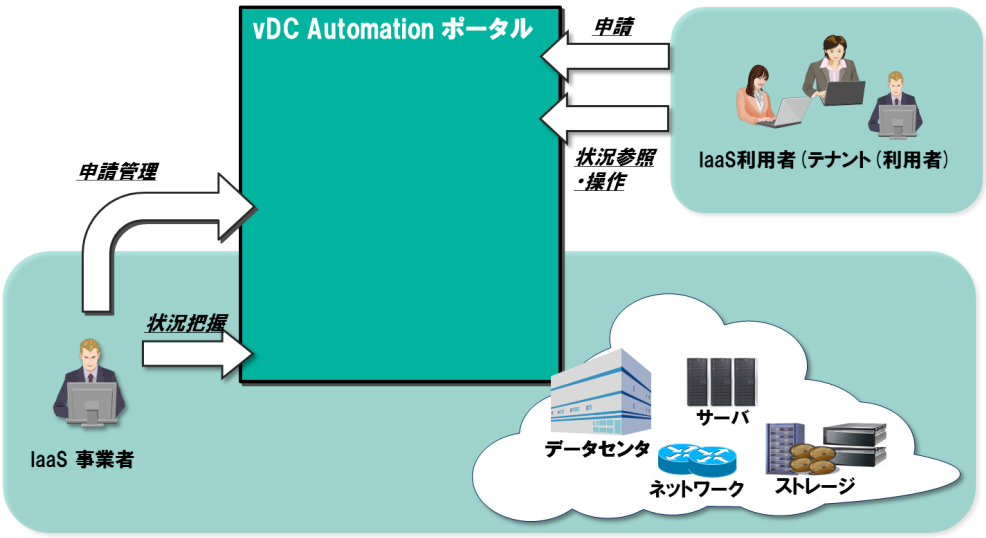


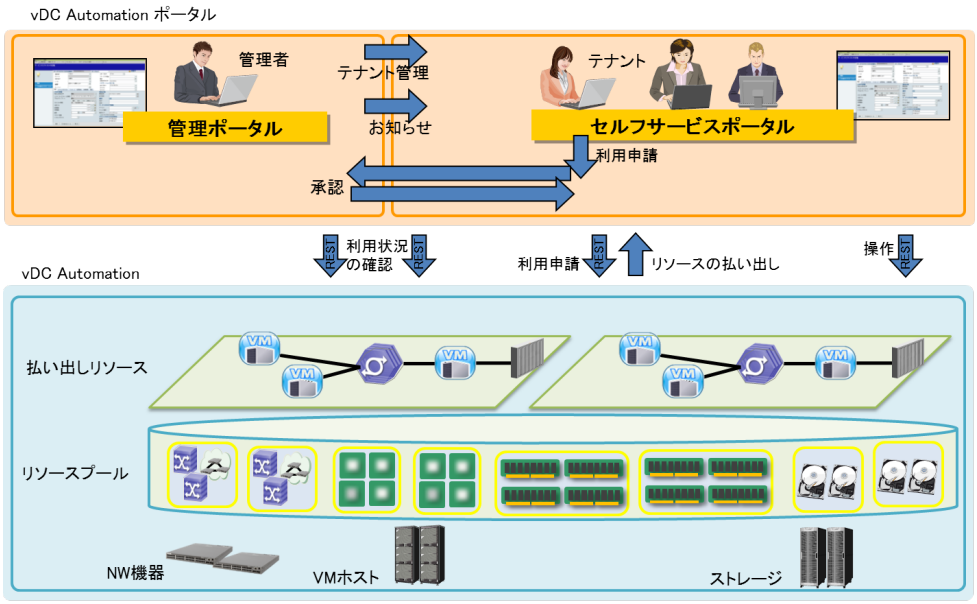
図 1-1　vDC Automation ポータルの利用イメージ

1.1　vDC Automation ポータルで出来ること

vDC Automation にはさまざまな機能があります。vDC Automation ポータルは、vDC Automation が RESTful API で提供している機能の一部を利用して、典型的なユースケースに対応した GUI を提供します。

vDC Automation ポータルが対応するユースケースは以下となります。

1. リソースの払い出し
2. リソース利用状況の確認
3. リソースに対する操作
4. リソース払い出し利用申請の管理および承認
5. 管理者からテナントへの通知(ダッシュボード機能)
6. テナント/ユーザの管理機能



それぞれの機能に対して以降で説明します。

1.1.1　vDC Automation RESTful API を利用する範囲

1.1.1.1　リソースの払い出し

vDC Automation が提供するリソース払い出し機能を利用する事ができます。

リソース種別ごとに必要なパラメータを画面から指定して申請することで、 vDC Automation RESTful API を使ってリソースの払い出しを実行します。

なお、払い出しの申請はリクエストとして管理され、「8.1　リクエスト管理（管理者）（94 ページ）」の管理機能で承認を経なければ実際の処理は開始されません。

払い出しが可能なリソース種別は「15.1　リクエスト管理（利用者）（201 ページ）」を参照してください。

1.1.1.2　リソース利用状況の確認

払い出したリソースおよび払い出しに利用するリソースプールの状況を確認する事ができます。

リソースプールについては総量と現在の使用値が、払い出したリソースについては構成情報と性能情報が確認できます。確認可能な項目の詳細は「10.1.1　リソース状況の確認（125 ページ）」および を参照してください。

1.1.1.3　リソースに対する操作

払い出したリソース、例えば仮想マシンであれば、電源操作やスクリーンショット取得などの操作を行う事が可能です。

操作可能な項目の詳細は、「10.2　サーバ管理（管理者）（126 ページ）」および「18.3　サーバ管理（利用者）（406 ページ）」を参照してください。

1.1.2　vDC Automation ポータルが独自で提供する範囲

1.1.2.1　ダッシュボード機能

ユーザがログインした際に、ウィジェットを表示します。ウィジェットの配置は、ユーザ毎に保存することができます。

ウィジェットとして表示する内容については、事業者があらかじめ定義しておくことができます。

詳細は「第 7 章　ダッシュボード（82 ページ）」および「第 14 章　ダッシュボード（190 ページ）」を参照してください。

1.1.2.2　ユーザ管理/テナント管理

vDC Automation ポータルの利用者に対して、ID とパスワードを発行してユーザ管理を行う事が可能です。

ユーザはテナントの属性を持ち所属するテナントの範囲でリソース払い出しや利用状況の確認、操作が可能です。また、ユーザ毎にログインを制限する事も可能です。

詳細は「第 9 章　テナント情報（管理者）（108 ページ）」を参照してください。

1.1.2.3　リクエスト管理

リソース払い出し、更新、削除の申請はリクエストとして管理します。リクエストは IaaS 利用者/テナントが申請後、実行される前に管理者が確認、承認する事ができます。

また、過去に申請されたリクエストは履歴として保存され、後から確認することが可能です。詳細は「8.1　リクエスト管理（管理者）（94 ページ）」を参照してください。

第 2 編
運用を開始する前に

目次

第 2 章　初期設定 9
第 3 章　ユーザ権限 66

本編では、以下について説明します。

- 初期設定
- ユーザ権限

第 2 章
初期設定

目次

2.1 認証方式の設定 10
2.2 設定ファイルの管理方法 11
2.3 クラスタ構成にした場合の共有フォルダの設定 11
2.4 SSC（WebSAM SigmaSystemCenter）のリクエスト設定 12
2.5 ワークフロー ID の設定 14
2.6 サーバサービスカタログの設定 16
2.7 汎用オペレーションの設定 33
2.8 拡張パラメータの設定 34
2.9 ロール設定 37
2.10 拡張処理の設定 39

本章では、初期設定について説明します。

運用前に以下を設定します。

1. 認証方式の設定(LDAP 認証を利用する場合)
2. 設定ファイルの管理方法(冗長構成、もしくはクラスタ構成の場合)
3. クラスタ構成にした場合の共有フォルダ設定(冗長構成、もしくはクラスタ構成の場合)
4. SSC(WebSAM SigmaSystemCenter)のリクエスト設定
5. ワークフロー ID の設定
6. VM テンプレートの表示名とスペックの設定
7. サービスカタログの設定
8. 汎用オペレーションの設定
9. 拡張パラメータの設定
10. 監視機能の設定

本章では、インストールパスを C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM として説明します。適宜読み替えて設定してください。

¥(バックスラッシュ)を使用する際は、¥でエスケープしてください。

2.1　認証方式の設定

注

vDC Automation ポータルは、ActiveDirectory には対応していません。

LDAP 認証を行う場合は、

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM ¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties

を開き、以下を設定します。

```
portal.login.authentication.mechanism=ldap
ldap-server.reflect-changes=true
ldap-server.url=ldap://ID 管理サーバのホスト名:1389/ou=edseidm,c=JP
ldap-server.credentials=管理者ユーザのパスワード
```

ID 管理サーバの管理者ユーザのパスワードは、『WebSAM vDC Automation インストレーションガイド』を参照してください。

注

ldap-server.reflect-changes を true にする場合は全ユーザの再登録が必要になります。

また LDAP 連携前に全ユーザ(ビルトインユーザを除く)を削除してから、再登録をしてご利用下さい。

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存し、アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、 サービスから[Apache Tomcat 8.0 ServiceGovernor]を右クリック し、[サービスの再起動]を選択します。

注

webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

2.2　設定ファイルの管理方法

ポータルを冗長構成、もしくはクラスタ構成で運用する場合、設定ファイルは現用系と待機系の両方で管理されます。

そのため、設定ファイルを変更する場合は、現用系と待機系の両方に行う必要があります。なお、一部はクラスタ共有フォルダに置くことで両方で管理できるものもあります。

以下は、インストールパスを(インストールディレクトリ)として説明します。インストール時の設定に合わせ、適宜読み替えて設定してください。

表 2-1　両サーバに設定、管理が必要なファイル

設定ファイル	(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties
ディスクタグ設定ファイル	(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥diskTags.json
タイムゾーン設定ファイル	(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥timezones.json
ユーザ定義 CSS ファイル	(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥userdefined.css
カスタマイズ用外部リンク設定ファイル(任意)	(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥extlinks.json
カスタマイズ用アイコン (任意)	(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥webapps¥images¥***

表 2-2　共有フォルダに置く必要があるファイル

汎用オペレーション用設定ファイル(任意) ※「2.7　汎用オペレーションの設定(33 ページ)」参照	GenericOperation.json

2.3　クラスタ構成にした場合の共有フォルダの設定

冗長構成、もしくはクラスタ構成にした場合、『WebSAM vDC Automation クラスタ構築ガイド Windows/CLUSTERPRO X 環境用』の「共有ディスク / ミラーディスク設定」にて設定したディスクを webframework.properties に追記する必要があります。

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM

¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。

以下を参照し、追記してください。

```
product.cloudportal.file.save.path=共有ディスク・ミラーディスクのパス
```

設定例

```
product.cloudportal.file.save.path=E:¥¥
```

2.4　SSC（WebSAM SigmaSystemCenter）のリクエスト設定

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM

¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。

1. 必要に応じて以下を修正してください。

   設定例

```
# - createhost
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.installmanually=false
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.cpu.share=normal
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.cpu.reservation=0
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.cpu.limit=0
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.memory.share=norm
al
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.memory.reservatio
n=0
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.memory.limit=0
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.disks.disktype=th
in
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.account=Administrato
r
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.domaintype=workgroup
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.networkname=workgrou
p
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.domainaccount=Admini
strator
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.licensemode=PerServe
r
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.maxconnection=5
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.domainsuffix=example
.local
# - reconfigurehost
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.cpu.share=no
rmal
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.cpu.reservat
ion=0
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.cpu.limit=0
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.memory.share
=normal
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.memory.reser
vation=0
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.memory.limit
=0
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.disks.diskty
pe=thin
# - deletehost
product.cloudportal.provider.ssc.request.deletehost.deletedisk=true
```

表 2-3　SSC リクエスト設定

設定項目	設定内容
createhost	
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.installmanually	OS を手動でインストールする場合は true にする
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.cpu.share	CPU シェアを設定する lowest：最低 low：低 normal：通常 high：高 highest：最高
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.cpu.reservation	CPU 予約を設定する 有効な値: 0-99999
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.cpu.limit	CPU リミットを設定する 有効な値: 0-99999 (0=無制限)
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.memory.share	メモリシェアを設定する low：低 normal：通常 high：高
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.memory.reservation	メモリ予約を設定する 有効な値: 0-99999
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.memory.limit	メモリリミットを設定する 有効な値: 0-99999 (0=無制限)
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.disks.disktype	ディスクタイプを設定する thin：Thin ディスク thick：Thick ディスク
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.account	管理者アカウントを設定する
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.domaintype	※　WindowsClient、WindowsServer の場合に設定 ワークグループかドメインかを設定する workgroup：ワークグループ domain：ドメイン
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.networkname	※　WindowsClient、WindowsServer の場合に設定 ワークグループ名またはドメイン名を設定する
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.domainaccount	※　WindowsClient、WindowsServer の場合に設定 ドメインアカウントを設定する
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.licensemode	※WindowsServer の場合に設定 ライセンスモードを設定する PerServer：同時接続サーバ数 PerSeat：接続クライアント

設定項目	設定内容
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.maxconnection	※WindowsServer の場合に設定 同時接続サーバ数を設定する 有効な値: 1-99999 LicenseMode=PerServer の場合のみ
product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.hostprofile.domainsuffix	※Linux の場合に設定 ドメインサフィックスを設定する
reconfigurehost	
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.cpu.share	CPU シェアを設定する lowest：最低 low：低 normal：通常 high：高 highest：最高
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.cpu.reservation	CPU 予約を設定する 有効な値: 0-99999
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.cpu.limit	CPU リミットを設定する 有効な値: 0-99999 (0=無制限)
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.memory.share	メモリシェアを設定する low：低 normal：通常 high：高
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.memory.reservation	メモリ予約を設定する 有効な値: 0-99999
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.memory.limit	メモリリミットを設定する 有効な値: 0-99999 (0=無制限)
product.cloudportal.provider.ssc.request.reconfigurehost.machineprofile.disks.disktype	ディスクタイプを設定する thin：Thin ディスク thick：Thick ディスク
deletehost	
product.cloudportal.provider.ssc.request.deletehost.deletedisk	VM の仮想ディスクを削除するかどうかを設定する

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存し、アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、 サービスから「Apache Tomcat 8.0 ServiceGovernor」を右クリック し、「サービスの再起動」を選択します。

注

webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

2.5　ワークフロー ID の設定

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM

¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開き、ワークフロー ID を設定します。

MCOperations のシナリオ制御ビューで確認したシナリオ ID を指定してください。

```
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vm.create=40000001
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vm.update=40000003
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vm.delete=40000002
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tnw.create=40030001
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tnw.delete=40030016
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tfw.create=40030019
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tfw.update=40030009
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tfw.delete=40030020
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tlb.create=40030003
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tlb.update=40030010
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tlb.delete=40030006
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.ssl.create=40030004
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.ssl.delete=40030017
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.nat.create=40030005
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.nat.delete=40030011
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vlan.create=40030002
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vlan.delete=40030018
```

表 2-4　項目一覧

項目名	説明
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vm.create	VM 作成
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vm.update	VM 変更
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vm.delete	VM 削除
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tnw.create	テナント NW 作成
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tnw.delete	テナント NW 削除
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tfw.create	テナント FW 作成
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tfw.update	テナント FW 変更

項目名	説明
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tfw.delete	テナント FW 削除
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tlb.create	テナント LB 作成
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tlb.update	テナント LB 変更
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.tlb.delete	テナント LB 削除
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.ssl.create	SSL-VPN 作成
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.ssl.delete	SSL-VPN 削除
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.nat.create	NAT 作成
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.nat.delete	NAT 削除
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vlan.create	VLAN 作成
product.cloudportal.provider.vdc.wfid.vlan.delete	VLAN 削除

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存し、アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、 サービスから[Apache Tomcat 8.0 ServiceGovernor]を右クリック し、[サービスの再起動]を選択します。

注

webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

注

webframework.properties ファイルの各行の最後には空白を含めないでください。

2.6　サーバサービスカタログの設定

本章ではサーバ利用申請(リクエスト)に必要なカタログの運用設定について説明します。

2.6.1　VM テンプレート表示名とスペックの設定

ここで設定した VM テンプレート表示名とスペックが、VM のリクエスト作成画面の選択肢として表示されます。

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM

¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。

1. VM テンプレートの表示名を指定します。VM テンプレートの数に応じて記載してください。

```
product.cloudportal.template.display.Template name=Display name
```

Template name:WebSAM vDC Automation に登録されている VM テンプレートの名前

例:Template-WindowsServer2012R2STD

Display name:VM テンプレートのポータル画面上での表示名

例: Windows Server/2012R2/Standard Edition

※「/」は改行コードに変換されます。

2. その VM テンプレートから作成する VM のスペックの選択肢を指定します。選択肢は後述のスペックの定義で記載したものを使用します。

   Spec name:選択できるスペックの名前を任意の数列挙します。

```
product.cloudportal.template.spec.Template name=Spec name,Spec name,...
```

3. 作成する VM のスペックを定義します。様々なバリエーションで任意の数を作成することができます。

   number of CPU:CPU の数(ソケット数)

   Memory size(GB):メモリサイズ GB 単位

   System disk size(GB):システムディスクのサイズ GB 単位

   VM 作成時に、上記とは別に任意のサイズの拡張ディスクを追加することができます。

```
product.cloudportal.template.spec.Spec name=number of CPU,Memory size(GB),System disk size(GB)
```

   設定例

```
# Template & SPEC.
# - product.cloudportal.template.display.Template name=Display name
product.cloudportal.template.display.Template-WindowsServer2012R2STD = Windows Server/2012R2/Standard Edition
# - product.cloudportal.template.spec.Template name=Spec name,Spec name,...
product.cloudportal.template.spec.Template-WindowsServer2012R2STD=specName001,specName002,specName003,specName004
# - product.cloudportal.template.spec.Spec name=number of CPU,Memory size(GB),System disk size(GB)
product.cloudportal.template.spec.detail.specName001=1,1,100
product.cloudportal.template.spec.detail.specName002=1,2,100
product.cloudportal.template.spec.detail.specName003=2,3,100
product.cloudportal.template.spec.detail.specName004=2,4,100
# - product.cloudportal.osName.display.Template Name=Abbreviation
product.cloudportal.template.displayomit.Template-WindowsServer2012R2STD = W2K12 STD
```

4. 同期機能により取り込まれたサーバの構成変更用スペックを指定します。選択肢はスペックの定義で記載したものを使用します。

   取り込まれたサーバはテンプレート情報を持たないため、構成変更時にはテンプレートによらず以下で定義したスペックの選択肢が表示されます。

```
product.cloudportal.template.spec.default.parameter=Spec name,Spec name,...
```

上記の設定は、ポータルの全テナント共通のデフォルトのスペックとして扱われます。

このデフォルト値ではなく、テナントに固有のスペックの選択肢を指定させる場合は、以下のように定義します。

```
product.cloudportal.template.spec.default.parameter.Tenant name=Spec name,Spec name,
...
```

例:

```
product.cloudportal.template.spec.default.parameter=specName001,specName002
product.cloudportal.template.spec.default.TenantA=specName003,specName004
```

ヒント

同期したサーバのスペックを変更させない場合は、上記の値を空欄にします。

```
product.cloudportal.template.spec.default.parameter=
```

注

- システムディスクサイズは、WebSAM vDC Automation 上の VM テンプレートよりも小さいサイズは指定しないでください
- システムディスクのサイズは縮小することができないため、1つの VM テンプレート内で設定するディスクサイズは同じサイズにすることを推奨します
- 運用開始後は VM テンプレートの設定済みスペック定義を変更しないでください。新規に定義を追加することは可能です

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存します。

注

webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

2.6.2　カタログの公開制限設定

ここで設定したカタログを VM テンプレートごとに公開制限ができます。

(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。

1. VM テンプレートの公開制限を指定します。VM テンプレートの数に応じて記載してください。

```
product.cloudportal.template.visible.Template name=Tenant ID
```

項目	説明
Template name	SigmaSystemCenter に登録されている VM テンプレートの名前
Template ID	VM テンプレートのポータル画面上でのテナント ID

例:

```
product.cloudportal.template.visible.Template-WindowsServer2012R2STD=+TenantA
```

webframework.properties にて「product.cloudportal.template.visible.VM テンプレート名」を下記のように設定します。

```
product.cloudportal.template.visible.Template name=([+][-])テナント ID1,([+][-])テナント ID2,...,([+][-])テナント IDn
```

- テナントに公開する場合「+」

  省略可

- テナントに非公開にする場合「-」

  省略不可

- 複数のテナントを設定する場合は,(カンマ)区切りで列挙する
- 「+」「-」「,」は半角
- product.cloudportal.template.display.(VM テンプレート)を設定して、product.cloudportal.template.visible.(VM テンプレート名) を設定しない場合には、全テナントに対して公開します。

以下が設定例になります。ポータルに TenantA、TenantB、TenantC、TenantD というテナントがあるとします。

・設定例 1

```
product.cloudportal.template.visible.Template-WindowsServer2012R2STD = +TenantA,+TenantB
```

この場合、TenantA と TenantB では明示的に公開になります。

TenantC,TenantD では暗黙的に非公開になります。

・設定例 2

```
product.cloudportal.template.visible.Template-WindowsServer2012R2STD = -TenantA,-TenantB
```

この場合、TenantA と TenantB では明示的に非公開になります。

TenantC,TenantD では暗黙的に公開になります。

・設定例 3

```
product.cloudportal.template.visible.Template-WindowsServer2012R2STD = -TenantA,-TenantB,TenantC,TenantD
```

この場合、TenantA と TenantB では明示的に非公開になります。

TenantC,TenantD では明示的に公開になります。

・設定例 4

```
product.cloudportal.template.visible.Template-WindowsServer2012R2STD = TenantA,TenantB,TenantC
```

この場合、TenantA と TenantB と TenantC では明示的に公開になります。

TenantD では暗黙的に非公開になります。

・設定例 5

```
product.cloudportal.template.visible.Template-WindowsServer2012R2STD = -TenantA,-TenantB,TenantC
```

この場合、TenantA と TenantB は明示的に非公開です。

TenantC では明示的に公開になります。

TenantD では暗黙的に公開になります。※+(符号なし)、-の混在の場合、記載なしのテナントは公開になります。

・設定例 6

```
product.cloudportal.template.visible.Template-WindowsServer2012R2STD = -TenantA,TenantB,+TenantC
```

この場合、TenantA では明示的に非公開になります。

TenantB,TenantC では明示的に公開になります。

TenantD では暗黙的に公開になります。※+(符号なし)、-の混在の場合、記載なしのテナントは公開になります。

注

・カタログの公開制限を行う場合は、必ず product.cloudportal.template.display.*Template name=Display name* を設定してください。

2.6.3　カタログのソート設定

ここで設定したカタログを VM テンプレートごとにソート順ができます。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. VM テンプレートのソート順を指定します。VM テンプレートの数に応じて記載してください。

```
product.cloudportal.template.sortkey.Template name=Sort Key
```

項目	説明
Template name	SigmaSystemCenter に登録されている VM テンプレートの名前
Sort Key	カタログソートキー 省略可

項目	説明
	※省略する場合、SigmaSystemCenter に登録されているテンプレート表示名を使用してソートする 半角記号・英数字のみ利用可能

3. 例:

```
product.cloudportal.template.sortkey.Template-WindowsServer2012R2STD=1
```

ヒント

ソートキー設定あり英字>ソートキー設定あり英字数字>ソートキー設定なし英字>ソートキー設定なし数字の順にソートされます

重複したものがある場合は、テンプレート名の昇順になります。また、抜けている数値は無視されます

2.6.4　サービスカタログの設定

本項ではカタログの運用設定について説明します。

ポータルでは、テナント利用者はカタログと、カタログに設定されたスペック及びディスクタグを選択して仮想マシンの払い出しサービスを受けることが出来ます。ここではサービスとしてテナントに提供するカタログに、VM テンプレートとスペック、ディスクタグを設定する方法について説明します。

2.6.4.1　VM テンプレートの設定

WebSAM vDC Automation に登録されている「VM テンプレート」の情報を設定します。WebSAM vDC Automation の VM テンプレート作成方法については、『WebSAM vDC Automation コンフィグレーションガイド』の「VM テンプレート作成」を参照してください。

以下はインストールパスを C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM として説明します。適宜読み替えて設定してください。

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM

¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開き、以下を設定します。

VM テンプレートの各初期値を設定します。

```
product.cloudportal.template.osTypeNumber.<OS Type>=<OS ID>

product.cloudportal.template.osType.<Template name>=<OS Type>

product.cloudportal.template.osName.<Template name>=<OS name>

product.cloudportal.template.account.<Template name>=<Account>

product.cloudportal.template.password.<Template name>=<Password>

product.cloudportal.template.cpuCount.<Template name>=<Number of CPU>
```

```
product.cloudportal.template.memorySize.<Template name>=<Memory size(MB)>

product.cloudportal.template.disk.<Template name>=<Disk name>,<Disk name>,..

product.cloudportal.template.disk.deviceSlot.<Template name>.<Disk name>=<Number of Device
 slot>

product.cloudportal.template.disk.type.<Template name>.<Disk name>=<Disk Type>

product.cloudportal.template.disk.diskType.<Template name>.<Disk name>=<Provisioning Type>

product.cloudportal.template.disk.diskSize.<Template name>.<Disk name>=<Disk size(MB)>

product.cloudportal.template.disk.name.<Template name>.<Disk name>=<Display disk name>
```

設定例

```
# - product.cloudportal.template.osTypeNumber.OS 種別=OS 種別番号

product.cloudportal.template.osTypeNumber.WindowsServer=1

product.cloudportal.template.osTypeNumber.Linux=2

# - product.cloudportal.template.osType.テンプレート名=OS タイプ

 product.cloudportal.template.osType.xxx=WindowsServer

 product.cloudportal.template.osType.win2012-dm-t2=WindowsServer

 product.cloudportal.template.osType.TestTemplate001=WindowsServer


 # - product.cloudportal.template.osName.テンプレート名=OS 名

 product.cloudportal.template.osName.xxx=Windows

 product.cloudportal.template.osName.win2012-dm-t2=win2012-dm-t2

 product.cloudportal.template.osName.TestTemplate001=TestTemplate001


 # - product.cloudportal.template.account.テンプレート名=アカウント

 product.cloudportal.template.account.xxx=

 product.cloudportal.template.account.win2012-dm-t2=Administrator

 product.cloudportal.template.account.TestTemplate001=Administrator


 # - product.cloudportal.template.password.テンプレート名=パスワード

 product.cloudportal.template.password.xxx=

 product.cloudportal.template.password.win2012-dm-t2=password

 product.cloudportal.template.password.TestTemplate001=password
```

```
# - product.cloudportal.template.cpuCount.テンプレート名=cpu カウント
product.cloudportal.template.cpuCount.xxx=1
product.cloudportal.template.cpuCount.win2012-dm-t2=1
product.cloudportal.template.cpuCount.TestTemplate001=1

# - product.cloudportal.template.memorySize.テンプレート名=メモリサイズ
product.cloudportal.template.memorySize.xxx=1024
product.cloudportal.template.memorySize.win2012-dm-t2=1024
product.cloudportal.template.memorySize.TestTemplate001=1024

# - product.cloudportal.template.disk.テンプレート名=ディスク名の一覧*1
product.cloudportal.template.disk.xxx=disk1,disk2
product.cloudportal.template.disk.win2012-dm-t2=disk1
product.cloudportal.template.disk.TestTemplate001=disk1

# - product.cloudportal.template.disk.deviceSlot.テンプレート名.ディスク名=デバイススロット*2
product.cloudportal.template.disk.deviceSlot.xxx.disk1=1
product.cloudportal.template.disk.deviceSlot.win2012-dm-t2.disk1=1
product.cloudportal.template.disk.deviceSlot.TestTemplate001.disk1=1

# - product.cloudportal.template.disk.type.テンプレート名.ディスク名=タイプ
product.cloudportal.template.disk.type.xxx.disk1=systemdisk
product.cloudportal.template.disk.type.win2012-dm-t2.disk1=systemdisk
product.cloudportal.template.disk.type.TestTemplate001.disk1=systemdisk

# - product.cloudportal.template.disk.diskType.テンプレート名.ディスク名=ディスクタイプ*3
product.cloudportal.template.disk.diskType.xxx.disk1=thin
```

*1　ディスク名には、半角英数字のみを使用してください。

*2　テンプレートの元となっているマスター VM のシステムディスクに割り当てられているデバイススロット名を記載します。通常、SCSI0:0、SCSI0:1 のように、順に割り当てられています。

*3　システムで一意であり、WebSAM vDC Automation のテンプレートで設定したディスクタイプと同じディスクタイプであること

```
product.cloudportal.template.disk.diskType.win2012-dm-t2.disk1=thin

product.cloudportal.template.disk.diskType.TestTemplate001.disk1=thin

# - product.cloudportal.template.disk.diskSize.テンプレート名.ディスク名=ディスクサイズ

product.cloudportal.template.disk.diskSize.xxx.disk1=

product.cloudportal.template.disk.diskSize.win2012-dm-t2.disk1=15360

product.cloudportal.template.disk.diskSize.TestTemplate001.disk1=15360

# - product.cloudportal.template.disk.name.テンプレート名.ディスク名=ディスク表示名

product.cloudportal.template.disk.name.xxx.disk1=disk1

product.cloudportal.template.disk.name.win2012-dm-t2.disk1=disk1

product.cloudportal.template.disk.name.TestTemplate001.disk1=disk1
```

表 2-5　項目一覧

項目	説明
OS Type	OS の種類別名 固定値 • WindowsServer • Linux
Number of OS	OS の種別番号 固定値 • WindowsServer=1 • Linux=2
Template name	SigmaSystemCenter に登録されている VM テンプレートの名前
OS name	ポータルに表示する OS 名
Account	Template name のログインアカウント
Password	Template name のログインパスワード
Number of CPU	Template name の CPU 数
Memory size	Template name のメモリサイズ(MB 単位)
Disk name	Template name のディスク識別名 ※半角英数字のみ
Name of Device slot	Template name の Disk name のデバイススロット名 テンプレートの元となっているマスター VM のシステムディスクに割り当てられているデバイススロット名を記載します。 通常、SCSI0:0、SCSI0:1 のように、順に割り当てられています。
Disk Type	Template name の Disk name のディスクの種類

項目	説明
	固定値 • システム用→systemdisk
Provisioning Type	Template name の Disk name のプロビジョニングの種類 固定値 • シンプロビジョニング→thin • シックプロビジョニング→thick システムで一意であり、WebSAM vDC Automation のテンプレートで設定したディスクタイプと同じディスクタイプであること
Disk size(MB)	Template name の Disk name のディスクサイズ(MB 単位)
Display disk name	ポータルに表示するディスク名

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存します。

注

webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

注

運用中に VM テンプレートの変更が必要になった場合（新しい OS の追加など）は、上記の設定を変更した場合に Web サーバ(Tomcat)の再起動を行ってください。

2.6.4.2　ディスクタグの設定

カタログで使用するディスクタグを設定します。

ディスクタグとは、プライベートクラウド上でのサーバ作成時に、プロビジョニングのディスクタイプと SigmaSystemCenter で設定されている作成先のデータストアタグの組み合わせを指定するためのタグです。ユーザは指定したカタログで利用可能なディスクタグの中から適切なものを選択します。

サーバ作成時にこれらのパラメータを指定しない場合は本設定は不要で、自動的に以下のデフォルトパラメータで実行されます。

表 2-6　ディスクタグ機能を使用しない場合のデフォルトパラメータ

項目	デフォルトパラメータ
表示タグのリスト	「なし」のみ。
ディスクタイプ	（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties の″product.cloudportal.provider.ssc.request.createhost.machineprofile.disks.disktype″で指定されている値。 インストール時のデフォルトでは、″thin″が指定されている。
データストアタグ	未指定。 テナントで使用可能なすべてのデータストアを対象とする。

ヒント

データストアタグについては、『SigmaSystemCenter リファレンスガイド』を参照してください。

サーバ作成時にディスクタグを利用する場合は、以下の手順で設定します。

ディスクタグ設定ファイルを作成する

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥MoM¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥diskTags.json.sample を同じディレクトリ配下にコピーし、「diskTags.json」にリネームします。

ファイルには Json 形式のテンプレートとしてタグの定義とカタログ選択時の表示に関する設定例が書かれており、これを運用に合わせて編集します。

ファイル内の各設定項目については、以下の「表 2-7　ディスクタグ設定項目一覧(26 ページ)」を参照してください。

表 2-7　ディスクタグ設定項目一覧

項目名		入力規則	説明
tags		―	入力画面に表示するタグ情報が設定された配列 後述の default_tags、catalogs の設定を省略することで、すべてのカタログに対し配列で定義されたすべてのタグが表示される
	name	1～64 文字 システムで一意とする マルチバイト文字指定可能	タグとして表示するタグ名(タグ情報を示す)
	diskType	以下のいずれかを指定する ・thin ・thick	タグに設定するディスクタイプを設定する
	datastoreTags	SSC に設定されたデータストアタグ	タグに関連付けするデータストアタグを指定する 複数のデータストアタグを指定した場合は、指定したすべてのタグを設定してあるデータストアが選択される(AND 検索)
default_tags		―	すべてのカタログにデフォルトで表示する、共通ディスクタグが設定された配列
	tags	1～64 文字 tags[].name で定義したタグ名を指定 マルチバイト文字指定可能	サーバ作成画面で、すべてのカタログに対して選択時に利用できるディスクタグの配列 何も指定しない場合、「表 2-6　ディスクタグ機能を使用しない場合のデフォルトパラメータ(25 ページ)」と同値を用いる
catalogs		―	カタログ指定時に表示されるディスクタグを個別に指定した、個別ディスクタグが設定された配列
	name	SigmaSystemCenter に登録されている VM テンプレートの名前	表示するディスクタグを個別に指定する、対象カタログのテンプレート名

項目名		入力規則	説明
	tags	1～64 文字 tags[].name で定義したタグ名を指定 マルチバイト文字指定可能	サーバ作成画面で、catalogs[].name で指定したカタログを選択した時に利用できるタグの配列 何も指定しない場合、「表 2-6　ディスクタグ機能を使用しない場合のデフォルトパラメータ（25 ページ）」と同値を用いる 対象のカタログについては、default_tags[].tags で指定した値を上書きする

設定ファイルにはディスクタグを作成してパラメータを定義する項目と、作成したディスクタグをどのようなカタログを選択した時に表示するかの規則を定義する項目があります。

ディスクタグ機能を利用する場合ディスクタグの作成は必須ですが、表示規則の設定については任意です。規則の定義方式には以下の二つがあり、定義しない場合はどのカタログに対しても作成した全ディスクタグを表示します。

- 共通ディスクタグ

  すべてのカタログに対して共通で表示される、デフォルトのディスクタグです。個別ディスクタグ設定があるカタログでは、設定が上書きされます。

- 個別ディスクタグ

  指定したカタログに対してのみ表示されるディスクタグです。対象カタログに関しては、共通ディスクタグの設定より優先して適用されます。

ディスクタグの表示規則の適用優先度は、以下の「図 2-1　ディスクタグ適用フロー（28 ページ）」のようになっています。

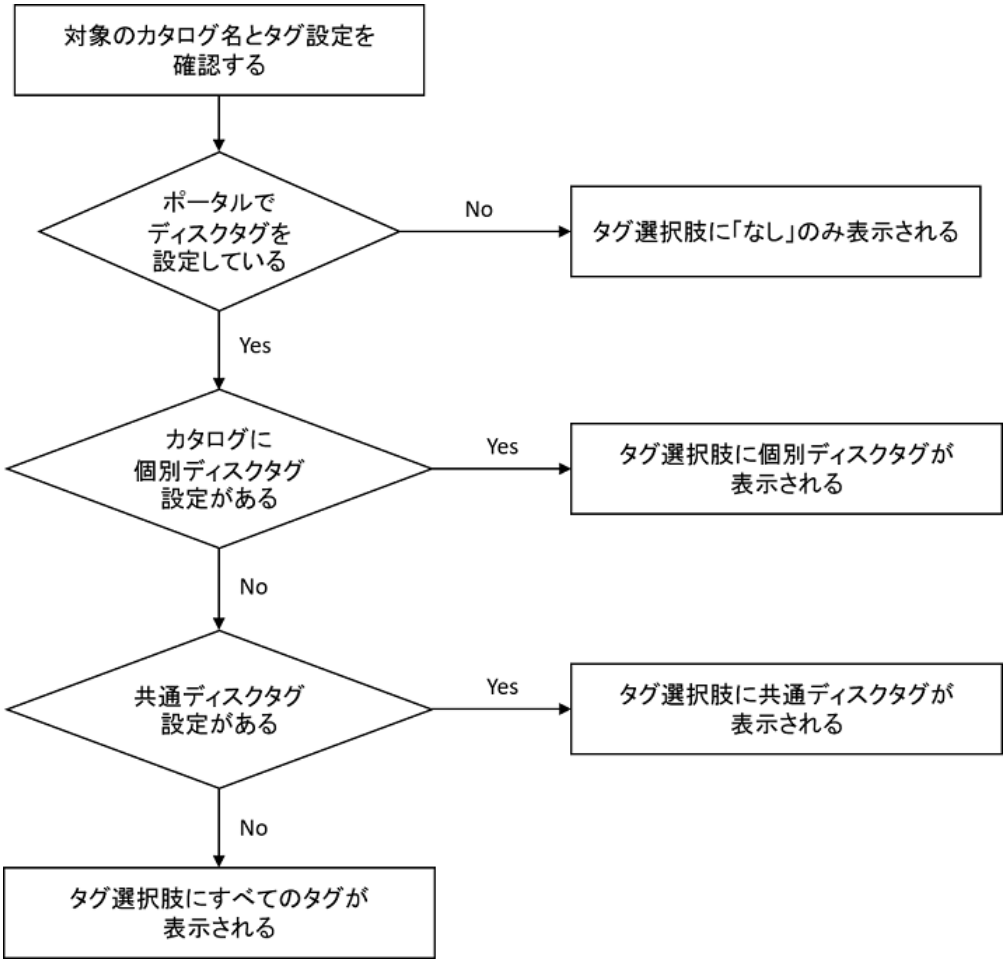


図 2-1　ディスクタグ適用フロー

以下にディスクタグの定義手順を説明します。

注

diskTags.json の配置、ファイル名を変更する場合は、(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties に以下を追記します。

※「:」と「¥」は「¥」を付加してエスケープして下さい

product.cloudportal.disk.tags.json=*変更後のパス*

【設定例】

```
product.cloudportal.disk.tags.json=C¥:¥¥tmp¥¥diskTags_updated.json
```

ディスクタグ表示を定義する

リネームした「diskTags.json」を編集し、ディスクタグのパラメータと表示規則を定義します。

ディスクタグを作成する

サーバ作成時に使用するディスクタグを定義します。ここで設定したディスクタグは、すべてのカタログのディスクタグ選択ボックスに表示せさることができます。

以下の設定例では、TagA、TagB、TagC の 3 つのディスクタグを定義し、それぞれに対してサーバ作成時のディスクタイプと作成先データストアのタグを指定しています。

【設定例】

```
{
  "tags": [
    {
      "name": "TagA",
      "diskType": "thin",
      "datastoreTags": [
        "gold"
      ]
    },
    {
      "name": "TagB",
      "diskType": "thin",
      "datastoreTags": [
        "silver"
      ]
    },
    {
      "name": "TagC",
      "diskType": "thick",
      "datastoreTags": [
        "gold",
        "sla1"
      ]
    }
  ]
}
```

この設定を適用すると、これら 3 つのディスクタグはポータルのすべてのカタログのディスクタグ選択肢に表示されます。

共通ディスクタグを定義する

ディスクタグとして定義したタグの中で、すべてのカタログに対して共通で表示されるタグを共通ディスクタグといいます。

以下の設定例では、3 つのタグのうち"TagA"と"TagB"を共通ディスクタグとして指定しています。

【設定例】

```
{
  "tags": [
    {
      "name": "TagA",
```

```
      "diskType": "thin",
      "datastoreTags": [
        "gold"
      ]
    },
    {
      "name": "TagB",
      "diskType": "thin",
      "datastoreTags": [
        "silver"
      ]
    },
    {
      "name": "TagC",
      "diskType": "thick",
      "datastoreTags": [
        "gold",
        "sla1"
      ]
    }
  ],
  "default_tags": [
    {
      "tags": [
        "TagA",
        "TagB"
      ]
    }
  ]
}
```

この設定を適用すると、すべてのカタログに対して"TagA"と"TagB"のみが選択肢に表示され、"TagC"は表示されなくなります。

個別ディスクタグを定義する

カタログに対して、個別に指定されたディスクタグを個別ディスクタグといいます。この設定をしたカタログは、共通設定に関係なく指定したカタログのみが表示されます。

以下の設定例では共通ディスクタグの設定に加え、CatalogA にの個別ディスクタグとして、"TagB"と"TagC"を指定しています。

【設定例】

```
{
  "tags": [
    {
      "name": "TagA",
      "diskType": "thin",
      "datastoreTags": [
        "gold"
      ]
    },
    {
      "name": "TagB",
```

```
      "diskType": "thin",
      "datastoreTags": [
        "silver"
      ]
    },
    {
      "name": "TagC",
      "diskType": "thick",
      "datastoreTags": [
        "gold",
        "sla1"
      ]
    }
  ],
  "default_tags": [
    {
      "tags": [
        "TagA",
        "TagB"
      ]
    }
  ],
  "catalogs": [
    {
      "name": "Catalog01",
      "tags": [
        "TagB",
        "TagC"
      ]
    }
  ]
}
```

この設定を適用すると、CatalogA に対しては"TagB"と"TagC"が、そのほかのカタログには"TagA"と"TagB"が表示されます。

また、catalog[].tags や default_tags[].tags に何も指定しない場合、「表 2-6　ディスクタグ機能を使用しない場合のデフォルトパラメータ(25 ページ)」と同値でサーバを作成します。

以下の設定例では共通ディスクタグの設定に加え、CatalogA はディスクタグを使わず設定ファイルのデフォルトパラメータを使うよう、個別に設定しています。

【設定例】

```
{
  "tags": [
    {
      "name": "TagA",
      "diskType": "thin",
      "datastoreTags": [
        "gold"
      ]
    },
    {
      "name": "TagB",
      "diskType": "thin",
```

```
      "datastoreTags": [
        "silver"
      ]
    },
    {
      "name": "TagC",
      "diskType": "thick",
      "datastoreTags": [
        "gold",
        "sla1"
      ]
    }
  ],
  "default_tags": [
    {
      "tags": [
        "TagA",
        "TagB"
      ]
    }
  ],
  "catalogs": [
    {
      "name": "Catalog01",
      "tags": [
      ]
    }
  ]
}
```

この設定を適用すると、CatalogA に対しては"なし"が、そのほかのカタログには"TagA"と"TagB"が表示されます。

編集後はファイルの文字コードを UTF-8 で保存し、ポータルの画面を更新します。

2.6.5　ネットワーク設定

ポータルのネットワーク管理機能を有効化します。以下の手順に従って実施してください。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. ネットワーク利用申請やネットワークリソースの管理機能はデフォルトでは利用できません。ライセンスを有効化することで利用可能になります。以下を設定してください。

   ```
   license.cloudportal.networkprovisioning=true
   ```

3. 設定ファイルの文字コードを UTF-8 で保存してください。アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、サービスから「Apache Tomcat 8.5 ServiceGovernor」を右クリック し、[サービスの再起動]を選択します。

2.7　汎用オペレーションの設定

汎用オペレーションは、vDC Automation にてユーザが作成したシナリオを json ファイルにて指定することで、サーバ起動やサーバ停止以外のバックアップやリストアなどの操作をポータルから実現することが出来ます。

※vDC Automation シナリオ作成方法は WebSAM MCOperations ヘルプを参照してください。

1. 汎用オペレーション用設定ファイルのパスを、C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM ¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties に設定します。

   設定例

```
product.cloudportal.generic.operation.json.path = D:¥¥tmp¥¥GenericOperation.json
```

2. 以下を参照し、GenericOperation.json ファイルを作成します。

表 2-8　項目一覧

項目	説明
DisplayName	汎用オペレーションの表示名 ※一意な値の設定が必要
WorkFlowId	vDC Automation にて作成したシナリオのシナリオ ID
KeyNameUUID	汎用オペレーション実行時に UUID を渡すためのキー名 ※省略可。省略した場合は CMTargetUUID の値に uuid がセットされる
KeyNameServerName	汎用オペレーション実行時にサーバ名を渡すためのキー名 ※省略可。省略した場合は CMTargetNodeName の値にサーバ名がセットされる
KeyNameTenantID	汎用オペレーション実行時にテナント ID を渡すためのキー名 ※省略可。省略した場合は CMTargetNodeName の値にサーバ名がセットされる
Parameters	実行パラメータ設定
Key	vDC Automation にて作成したシナリオで使用するローカルオブジェクト名
Value	vDC Automation シナリオにて使用するローカルオブジェクトに指定する値

作成したファイルを手順 1 で指定したパスに格納します。

記載例

```
{
  "GenericOperations": [
    {
      "DisplayName": "バックアップ",
      "WorkFlowId": "11111",
      "KeyNameUUID": "UUID",
```

```
      "KeyNameServerName" : "ServerName",
      "KeyNameTenantID" : "TenantID",
      "Parameters": [
        {
          "Key": "キー1",
          "Value": "値1"
        },
        {
          "Key": "キー2",
          "Value": "値2"
        }
      ]
    },
    {
      "DisplayName": "リストア",
      "WorkFlowId": "22222",
      "Parameters": [
        {
          "Key": "キー1",
          "Value": "値1"
        },
        {
          "Key": "キー2",
          "Value": "値2"
        }
      ]
    }
  ]
}
```

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存します。

注

webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

2.8　拡張パラメータの設定

拡張パラメータは、ポータルから vDC Automation の各ワークフロー（CreateVM や CreateTenantNW など）に渡すローカルオブジェクトを設定できる機能です。

※将来的に vDC Automation の各ワークフローで使用するローカルオブジェクトが新規追加される場合を想定した機能となります。

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM

¥FW¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開き、以下を設定します。

1. 拡張パラメータ名(表示名)の設定

   パラメータ名として画面に表示する表示名を設定します。設定可能な拡張パラメータ名(表示名)は 64 文字以内です。

   ※表示名が指定されていない(空白のみも含む)、または、65 文字以上の表示名が指定された場合は、表示する拡張パラメータとみなさない(無視する)。

※paramXX となっている設定名(XX)については 01 から 100 までとする(設定可能なパラメータ数は、各種別で 100 個とする)。

各種別は以下のように指定します。

表 2-9　拡張パラメータ種別

種別名	設定内容
サーバ作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.vm.extended.param*XX*.name=*表示名*
テナントネットワーク作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantnw.extended.param*XX*.name=*表示名*
テナントファイアウォール作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantfw.extended.param*XX*.name=*表示名*
テナントロードバランサー作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantlb.extended.param*XX*.name=*表示名*
SSL-VPN 作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.sslvpn.extended.param*XX*.name=*表示名*
業務 VLAN 作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.businessvlan.extended.param*XX*.name=*表示名*
パブリック VLAN 作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.publicvlan.extended.param*XX*.name=*表示名*
WAN サービス VLAN 作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.wanservicevlan.extended.param*XX*.name=*表示名*
サーバ変更	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.vm.extended.param*XX*.name=*表示名*
テナントファイアウォール変更	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.tenantfw.extended.param*XX*.name=*表示名*
テナントロードバランサー変更	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.tenantlb.extended.param*XX*.name=*表示名*

設定例

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.vm.extended.param01.name= サーバ作成拡張パラメータ 01
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.vm.extended.param02.name= サーバ作成拡張パラメータ 02
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.vm.extended.param01.name= サーバ構成変更拡張パラメータ 01
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.vm.extended.param02.name= サーバ構成変更拡張パラメータ 02
…
```

2. 拡張パラメータキー(ローカルオブジェクト名)の設定

種別ごとのパラメータキー(ローカルオブジェクト名)を設定します。設定可能なキーは 64 文字以内です。

※キー名が指定されていない(空白のみも含む)、または、65 文字以上のキー名が指定されていた場合は、表示する拡張パラメータとみなさない(無視する)。

※「paramXX」となっている設定名(XX)については 01 から 100 までとする(設定可能なパラメータ数は、各ワークフローで 100 個とする)。

表 2-10　拡張パラメータキー

種別名	設定内容
サーバ作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.vm.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
テナントネットワーク作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantnw.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
テナントファイアウォール作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantfw.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
テナントロードバランサー作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantlb.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
SSL-VPN 作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.sslvpn.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
業務 VLAN 作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.businessvlan.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
パブリック VLAN 作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.publicvlan.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
WAN サービス VLAN 作成	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.wanservicevlan.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
サーバ変更	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.vm.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
テナントファイアウォール変更	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.tenantfw.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*
テナントロードバランサー変更	product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.tenantlb.extended.param*XX*.key=*ローカルオブジェクト名*

設定例

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.vm.extended.param01.key=CreateVMExtendedKey01
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.vm.extended.param02.key=CreateVMExtendedKey02
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.vm.extended.param01.key=EditVMExtendedKey01
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.vm.extended.param02.key=EditVMExtendedKey02
…
```

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存し、アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、 サービスから[Apache Tomcat 8.0 ServiceGovernor]を右クリック し、[サービスの再起動]を選択します。

注

webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

2.9　ロール設定

ポータルでは、ユーザに役割を与えることでそのユーザが利用できる機能を制限します。

ユーザに与える役割を「ロール」と表記します。ポータルに組み込まれているロールは以下の通りです。

- システム管理者
- テナント管理者
- テナントユーザ
- リクエスト承認者

本書ではこれらをビルトインロールと表記します。

「ロール」は複数の「権限」の集合として表現されます。権限を保有するか否かでそのロールが利用できる機能が制限されます。

ビルトインロールが保有する権限とその権限にて利用できる機能の対応については、「B.1　ビルトインロールが保有する権限(459 ページ)」を参照してください。

ポータルでは、ビルトインロールとは別に任意の権限の集合をロールとして定義することができます。本書ではこれらをカスタムロールと表記します。 本章ではカスタムロールの設定方法について説明します。カスタムロールを作成する必要がない場合には本章の設定は不要です。

設定方法を以下に示します。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥custom 配下に「application.json」という名前の空ファイルを作成します。
2. 「application.json」ファイルをテキストエディタで開き、カスタムロールを定義します。JSON フォーマットで入力を行います。

   本書では JSON キーを.(ピリオド)で連結した形で表現します。例として、以下のような設定項目の場合には

表 2-11　汎用オペレーション定義ファイルの設定項目例

設定項目	型	必須	設定内容
roles[n].name	string	○	カスタムロールのロール名 ファイル中で一意となるロール名を入力してください。 ・ 使用可能文字:半角英数字および「_」のみ ・ 最大長:100 文字

以下のようにファイル上の位置を読み替えて設定を確認・変更してください。

```
{
  roles [
    {
      name: "role1",
      省略
    }
```

```
  ]
}
```

表の[必須]列の凡例は次の通りです。

- ○: 必須
- ×: 省略可
- △: 条件によっては必須

表 2-12　汎用オペレーション定義ファイルの設定項目

設定項目	型	必須	設定内容
name	string	○	プロダクト名 「CloudPortalExtension_CustomRole」と入力してください。
version	string	○	バージョン 「1.0」と入力してください。
description	string	×	「 CloudPortalExtension_CustomRoleDescription 」と入力してください。
roles[n].name	string	○	カスタムロールのロール名 ファイル中で一意となるロール名を入力してください。 • 使用可能文字:半角英数字および「_」のみ • 最大長:100 文字
roles[n].authorities	string[]	×	許可権限のリスト 許可する権限を記入します。権限を複数指定したい場合には,(カンマ)区切りで記入してください。何も設定しない場合は空のリスト[]を記入してください。 ※ 記入可能な権限については、「B.1　ビルトインロールが保有する権限(459 ページ)」を参照してください。
roles[n].denies	string[]	×	禁止権限のリスト 禁止する権限を記入します。権限を複数指定したい場合には,(カンマ)区切りで記入してください。何も設定しない場合は空のリスト[]を記入してください。 ※ 記入可能な権限については、「B.1　ビルトインロールが保有する権限(459 ページ)」を参照してください。

設定例を以下に示します。

```
{
  "name": "CloudPortalExtension_CustomRole",
  "version": "V1.0",
  "description": "",
  "roles" : [
    {
      "name" : "NOA_SERVER_POWER_OPERATION",
      "authorities" : [],
      "denies" : ["ROLE_SERVER_STARTUP",
```

```
                    "ROLE_SERVER_SHUTDOWN",
                    "ROLE_SERVER_POWEROFF",
                    "ROLE_SERVER_REBOOT"]
        }
    ]
}
```

3. 設定ファイルの文字コードを UTF8 で保存してください。アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、サービスから「Apache Tomcat 8.5 ServiceGovernor」を右クリック し、[サービスの再起動]を選択します。

注

※

- 「authorities」と「denies」に設定する権限に「ROLE_SYSTEM_ADMIN」、「ROLE_TENANT_ADMIN」、「ROLE_TENANT_USER」、「ROLE_LOGINUSER_ACTFORTENANT」を使用することはできません。使用した場合は無視されます。
- 権限は「denies」、「authorities」の順で評価されます。「denies」と「authorities」の両方に設定した権限は禁止権限となります。

2.10　拡張処理の設定

ポータルでは、以下のタイミングでシステム管理者が指定する任意のコマンドを呼び出す機能をサポートしています。

- リクエストの実行前後
- テナントの登録または削除前後

本書ではこれらを拡張処理と表記します。

本章では拡張処理の設定手順について説明します。拡張処理を行う必要がない場合には本章の設定は不要です。

2.10.1　リクエストの実行前後処理の設定

リクエスト実行前後に拡張処理を行う際の設定手順や運用設計時の注意点について説明します。

2.10.1.1　拡張処理の有効化

リクエスト実行前後の拡張処理は設定ファイルに対象とする「リクエストの種類および実行タイミング」に対応するコマンドラインを定義することで有効化されます。以下に設定手順を記載します。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. 下記を参照し、設定を行いたい「リクエストの種類と実行タイミング」に対応する記述を追記してください。

- サーバ作成リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.create.pre.command=Command line※1
```

- サーバ作成リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.create.post.command=Command line
```

- サーバ変更リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.modify.pre.command=Command line※1
```

- サーバ変更リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.modify.post.command=Command line
```

- サーバ削除リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.delete.pre.command=Command line※1
```

- サーバ削除リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.delete.post.command=Command line
```

- テナントネットワーク作成リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.create.pre.command=Command line※1
```

- テナントネットワーク作成リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.create.post.command=Command line
```

- テナントネットワーク削除リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.delete.pre.command=Command line※1
```

- テナントネットワーク削除リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.delete.post.command=Command line
```

- テナント FW 作成リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.create.pre.command=Command line※1
```

- テナント FW 作成リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.create.post.command=Command line
```

- テナント FW 変更リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.modify.pre.command=Command line※1
```

- テナント FW 変更リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.modify.post.command=Command /ine
```

- テナント FW 削除リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.delete.pre.command=Command /ine※1
```

- テナント FW 削除リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.delete.post.command=Command /ine
```

- テナント LB 作成リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.create.pre.command=Command /ine※1
```

- テナント LB 作成リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.create.post.command=Command /ine
```

- テナント LB 変更リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.modify.pre.command=Command /ine※1
```

- テナント LB 変更リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.modify.post.command=Command /ine
```

- テナント LB 削除リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.delete.pre.command=Command /ine※1
```

- テナント LB 削除リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.delete.post.command=Command /ine
```

- SSL-VPN 作成リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.create.pre.command=Command /ine※1
```

- SSL-VPN 作成リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.create.post.command=Command /ine
```

- SSL-VPN 削除リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.delete.pre.command=Command /ine※1
```

- SSL-VPN 削除リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.delete.post.command=Command /ine
```

- 業務 VLAN 作成リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.create.pre.command=Command line
※1
```

- 業務 VLAN 作成リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.create.post.command=Command lin
e
```

- 業務 VLAN 削除リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.delete.pre.command=Command line
※1
```

- 業務 VLAN 削除リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.delete.post.command=Command lin
e
```

- WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.create.pre.command=Command li
ne※1
```

- WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.create.post.command=Command l
ine
```

- WAN サービス VLAN 削除リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.delete.pre.command=Command li
ne※1
```

- WAN サービス VLAN 削除リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.delete.post.command=Command l
ine
```

- パブリック VLAN 作成リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.create.pre.command=Command line※
1
```

- パブリック VLAN 作成リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.create.post.command=Command line
```

- パブリック VLAN 削除リクエストの実行前に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.delete.pre.command=Command line※
1
```

- パブリック VLAN 削除リクエストの実行後に拡張処理を行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.delete.post.command=Command line
```

Command line に記述するコマンドラインフォーマットを以下に示します。

コマンド オプション

以下の詳細を記載します。

項目	説明
コマンド	実行したいコマンドのファイルパス(フルパス)を記述します。 コマンドに¥(バックスラッシュ)を含む場合には、¥(バックスラッシュ)の直前にエスケープ文字(¥)を追加してください。 実行ユーザに対して実行権限がある実行可能ファイルを指定してください。また、終了コードが整数で返却されるコマンドを指定してください。 実行ユーザの PATH 環境変数が設定されているコマンドについてはフルパスで指定する必要はありません。
パラメータ	実行したいコマンドに渡す引数を記述します。複数を指定したい場合には半角スペース区切りで記述してください。 半角スペースを含む文字列をパラメータに指定したい場合には、"(ダブルクォーテーション)で囲んでください。 ポータルでは、コマンドライン実行時に展開される置換パラメータを指定することもできます。 指定可能な置換パラメータは実行タイミングにより異なります。 詳細は「2.10.1.2　置換パラメータ(43 ページ)」を参照してください。

記述例は以下の通りです。

```
product.cloudportal.extension.point.vm.create.pre.command=C:¥¥extention¥¥notification.bat $EXTENSION_POINT$ $EXTENSION_TIMING$ $TENANT_ID$ $SERVER_NAME$
```

ヒント

拡張処理の実行タイミングがリクエストの実行前の場合、リクエスト作成時に入力された拡張パラメータがコマンド実行時の最後尾に追加されます。

詳細は「2.10.1.3　拡張パラメータ(46 ページ)」を参照してください。

⚠ 注意

- コマンド実行時の最大文字数は 8191 文字です。 コマンド、パラメータ、展開後の置換パラメータ、展開後の拡張パラメータの文字数合計が 8191 文字を超えないように設定してください。
- ※1 リクエストの実行前の拡張処理はブラウザでの操作の延長で実行されます。コマンドの実行時間が長い場合、ユーザに対する操作のレスポンスが遅くなることがあります。

2.10.1.2　置換パラメータ

置換パラメータとは、ポータルがコマンド実行時に展開するパラメータです。

サポートする置換パラメータを以下に記載します。

項目	説明
$UUID$	サーバ の「UUID」に置換されるパラメータ※1
$SERVER_NAME$	サーバ の「サーバ名」に置換されるパラメータ※1
$RESOURCE_POOL_NAME$	サーバ の「リソースプール」に置換されるパラメータ※1
$CATEGORY_NAME$	サーバ の「カテゴリ名(運用グループパス)」に置換されるパラメータ※1
$NETWORK_ID$	ネットワーク の「リソース ID」に置換されるパラメータ※2
$NETWORK_NAME$	ネットワーク の「ネットワーク名」に置換されるパラメータ※2
$TENANT_ID$	対象となるテナントの「テナント ID」に置換されるパラメータ
$TENANT_NAME$	対象となるテナントの「テナント名」に置換されるパラメータ
$EXTENSION_POINT$	拡張処理の対象となるリソースの種別番号に置換されるパラメータ • サーバ作成…1 • サーバ変更…2 • サーバ削除…3 • ネットワーク作成…101 • ネットワーク削除…103
$EXTENSION_TIMING$	拡張処理の実行タイミングに置換されるパラメータ • 前処理…1 • 後処理…2
$REQUEST_ID$	対象となるリクエストの「リクエスト ID」に置換されるパラメータ
$TENANT_APPROVAL_COMPLETION_CONDITION_KIND$	対象となる申請リクエストの承認フローの完了条件に置換されるパラメータ 承認不要の場合は空文字 • 承認権限を持ついずれかのユーザが承認すること…1 • 承認フローに設定されている全ての承認者が承認すること…2
$TENANT_APPROVE_ROLE_USERS_ID$	対象となる申請リクエストのテナント承認フローに登録されたユーザの「ユーザ ID」に置換されるパラメータ
$TENANT_APPROVE_ROLE_USERS_NAME$	対象となる申請リクエストに対するテナント承認フローに登録されたユーザの「ユーザ名」に置換されるパラメータ
$TENANT_APPROVE_ROLE_USERS_API_KEY$	対象となる申請リクエストに対するテナント承認フローに登録されたユーザの「API キー」に置換されるパラメータ
$SYSTEM_APPROVAL_COMPLETION_CONDITION_KIND$	対象となる申請リクエストのシステム承認フローの完了条件 に置換されるパラメータ 承認不要の場合は空文字 • 承認権限を持ついずれかのユーザが承認すること…1 • 承認フローに設定されている全ての承認者が承認すること…2
$SYSTEM_APPROVE_ROLE_USERS_ID$	対象となる申請リクエストのシステム承認フローに登録されたユーザの「ユーザ ID」に置換されるパラメータ
$SYSTEM_APPROVE_ROLE_USERS_NAME$	対象となる申請リクエストのシステム承認フローに登録されたユーザの「ユーザ名」に置換されるパラメータ
$SYSTEM_APPROVE_ROLE_USERS_API_KEY$	対象となる申請リクエストのシステム承認フローに登録されたユーザの「API キー」に置換されるパラメータ
$USER_ID$	対象となる承認、却下、キャンセルリクエストのアクションを行うユーザの「ユーザ ID」に置換されるパラメータ
$USER_NAME$	対象となる承認、却下、キャンセルリクエストのアクションを行うユーザの「ユーザ名」に置換されるパラメータ

注

※1 リクエストの種類がサーバの場合のみ指定可能です。

※2 リクエストの種類がネットワークの場合のみ指定可能です。

利用できるタイミングは以下を参照してください。

置換文字	リクエストの種類	利用できるタイミング
$UUID$	サーバ	リクエスト実行前後
$SERVER_NAME$	サーバ	リクエスト実行前後
$RESOURCE_POOL_NAME$	サーバ	リクエスト実行前後
$CATEGORY_NAME$	サーバ	リクエスト実行前後
$NETWORK_ID$	ネットワーク	リクエスト実行前後
$NETWORK_NAME$	ネットワーク	リクエスト実行前後
$TENANT_ID$	共通	すべてのタイミング
$TENANT_NAME$	共通	すべてのタイミング
$EXTENSION_POINT$	共通	すべてのタイミング
$EXTENSION_TIMING$	共通	すべてのタイミング
$REQUEST_ID$	共通	リクエスト申請前後 リクエスト承認前後 リクエスト却下前後 リクエストキャンセル前後
$TENANT_APPROVAL_COMPLETION_CONDITION_KIND$	共通	リクエスト申請前後
$TENANT_APPROVE_ROLE_USERS_ID$	共通	リクエスト申請前後
$TENANT_APPROVE_ROLE_USERS_NAME$	共通	リクエスト申請前後
$SYSTEM_APPROVAL_COMPLETION_CONDITION_KIND$	共通	リクエスト申請前後
$SYSTEM_APPROVE_ROLE_USERS_ID$	共通	リクエスト申請前後
$SYSTEM_APPROVE_ROLE_USERS_NAME$	共通	リクエスト申請前後
$USER_ID$	共通	リクエスト承認前後 リクエスト却下前後 リクエストキャンセル前後
$USER_NAME$	共通	リクエスト承認前後 リクエスト却下前後 リクエストキャンセル前後

注

※2 リクエストの種類がサーバの場合のみ指定可能です。

※3 リクエストの種類がネットワークの場合のみ指定可能です。

2.10.1.3　拡張パラメータ

拡張パラメータとは、拡張処理に渡すパラメータの値についてテナントユーザがリクエスト時に指定できるようにするための仕組みです。以下に設定手順を記載します。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. 下記を参照し、拡張パラメータを利用したい「リクエストの種類と実行タイミング」に対応する記述を追記してください。

- サーバ作成リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.vm.extended.paramXX.name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.vm.extended.paramXX.key=Key name
```

- サーバ変更リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.vm.extended.paramXX.name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.vm.extended.paramXX.key=Key name
```

- テナントネットワーク作成リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.network.extended.paramXX.name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantnw.extended.paramXX.key=Key name
```

- テナント FW 作成リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantfw.extended.paramXX.name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantfw.extended.paramXX.key=Key name
```

- テナント FW 変更リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.tenantfw.extended.paramXX.name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.tenantfw.extended.paramXX.key=Key name
```

- テナント LB 作成リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantlb.extended.paramXX.name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.tenantlb.extended.paramXX.key=Key name
```

- テナント LB 変更リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.tenantlb.extended.paramXX.name
=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.edit.tenantlb.extended.paramXX.key=
Key name
```

- SSL-VPN 作成リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.sslvpn.extended.paramXX.name
=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.sslvpn.extended.paramXX.key=
Key name
```

- 業務 VLAN 作成リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.businessvlan.extended.paramX
X.name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.businessvlan.extended.paramX
X.key=Key name
```

- WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.wanservicevlan.extended.para
mXX.name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.wanservicevlan.extended.para
mXX.key=Key name
```

- パブリック VLAN 作成リクエストの実行前後に拡張パラメータを利用したい場合

```
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.publicvlan.extended.paramXX.
name=Display name
product.cloudportal.provider.vdc.workflow.id.create.publicvlan.extended.paramXX.
key=Key name
```

各項目の説明は以下の通りです。

項目	説明
XX	拡張パラメータの番号を設定します。設定可能な番号は 01～99 までです。
Display name	パラメータ名として画面に表示する表示名を設定します。設定可能な拡張パラメータ名(表示名)は 64 文字以内です。 表示名が指定されていない(空白のみも含む)、または、65 文字以上の表示名が指定された場合は、表示する拡張パラメータとみなされません(無視する)
Key name	拡張処理にオプションとして渡す際のキー名を設定します。設定可能なキー名は 64 文字以内です。※4 キー名が指定されていない(空白のみも含む)、または、65 文字以上の表示名が指定された場合は、表示する拡張パラメータとみなされません(無視する)

拡張パラメータはコマンドラインの最後尾に *Key name* とリクエスト時に入力された値※5 が:(コロン)で連結され、"(ダブルクォーテーション)で囲まれて渡されます。

実行時のコマンドラインのイメージの例を以下に記載します。(*Key name* が ExtendedParamKey01 の場合)

```
C:¥extention¥notification.bat $EXTENSION_POINT$ $EXTENSION_TIMING$ $TENANT_ID$ $SERVER_NAM
E$ "ExtendedParamKey01:ExtendedParamValue01"
```

ヒント

- ※4 キーの値に:(コロン)が含まれる場合、:(コロン)の直前にエスケープ文字(¥)が付与された状態でコマンドラインの最後尾に追加されます。
- ※5 リクエスト時に入力された値に:(コロン)が含まれる場合、:(コロン)の直前にエスケープ文字(¥)が付与された状態でコマンドラインの最後尾に追加されます。

2.10.1.4　実行環境

拡張処理で定義されたコマンドラインの実行環境は以下の通りです。

項目	説明
実行ユーザ	Apache Tomcat 8.5 ServiceGovernor サービスのログオンで指定されているアカウント デフォルトでは Local System(ビルトイン・アカウント)
実行ディレクトリ	(インストールディレクトリ)¥Tomcat

2.10.1.5　成功・失敗判定

ポータルでの拡張処理の成功・失敗を以下のように判定します。

判定	条件
成功	コマンドが返却する終了コードが「0」の場合※4
失敗	以下のいずれかに一致 ・ コマンドが返却する終了コードが「0」以外の場合 ・ コマンドの実行が 300 秒を超えた(タイムアウトが発生した)場合※6

成功とみなすコマンドの終了コードや、失敗と判断するタイムアウトはコマンドの実装にあわせてカスタマイズすることができます。以下に設定手順を記載します。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. 下記を参照し、設定を行いたい「リクエストの種類と実行タイミング」に対応する記述を追記してください。
   - サーバ作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.create.pre.command.exit.code.success=Succ
ess exit status
product.cloudportal.extension.point.vm.create.pre.command.timeout=Time out
```

   - サーバ作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.create.post.command.exit.code.success=Suc
cess exit status
product.cloudportal.extension.point.vm.create.post.command.timeout=Time out
```

- サーバ変更リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.modify.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.vm.modify.pre.command.timeout=Time out
```

- サーバ変更リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.modify.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.vm.modify.post.command.timeout=Time out
```

- サーバ削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.vm.delete.pre.command.timeout=Time out
```

- サーバ削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.vm.delete.post.command.timeout=Time out
```

- テナントネットワーク作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.create.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.create.pre.command.timeout=Time out
```

- テナントネットワーク作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.create.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.create.post.command.timeout=Time out
```

- テナントネットワーク削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.delete.post.command.timeout=Time out
```

- テナントネットワーク削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.network.tenantnw.post.command.timeout=Time out
```

- テナント FW 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.create.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.create.pre.command.timeout=Time out
```

- テナント FW 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.create.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.create.post.command.timeout=Time out
```

- テナント FW 変更リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.modify.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.modify.pre.command.timeout=Time out
```

- テナント FW 変更リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.modify.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.modify.post.command.timeout=Time out
```

- テナント FW 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.delete.pre.command.timeout=Time out
```

- テナント FW 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.delete.post.command.timeout=Time out
```

- テナント LB 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.create.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.create.pre.command.timeout=Time out
```

- テナント LB 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.create.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.create.post.command.timeout=Time out
```

- テナント LB 変更リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.modify.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.modify.pre.command.timeout=Time out
```

- テナント LB 変更リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.modify.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.modify.post.command.timeout=Time out
```

- テナント LB 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.delete.pre.command.timeout=Time out
```

- テナント LB 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.delete.post.command.timeout=Time out
```

- SSL-VPN 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.create.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.create.pre.command.timeout=Time out
```

- SSL-VPN 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.create.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.create.post.command.timeout=Time out
```

- SSL-VPN 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.delete.post.command.timeout=Time out
```

- SSL-VPN 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.network.sslvpn.post.command.timeout=Time out
```

- 業務 VLAN 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.create.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.create.pre.command.timeout=Time out
```

- 業務 VLAN 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.create.post.command.exit.code.success=Success exit status
```

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.create.post.command.timeout=Time out
```

- 業務 VLAN 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.delete.post.command.timeout=Time out
```

- 業務 VLAN 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.network.businessvlan.post.command.timeout=Time out
```

- WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.create.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.create.pre.command.timeout=Time out
```

- WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.create.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.create.post.command.timeout=Time out
```

- WAN サービス VLAN 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.delete.post.command.timeout=Time out
```

- WAN サービス VLAN 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.network.wanservicevlan.post.command.timeout=Time out
```

- パブリック VLAN 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.create.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.create.pre.command.timeout=Time out
```

- パブリック VLAN 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.create.post.command.exit.code.success=Success exit status
```

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.create.post.command.timeout=Time out
```

- パブリック VLAN 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.delete.post.command.timeout=Time out
```

- パブリック VLAN 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
product.cloudportal.extension.point.network.publicvlan.post.command.timeout=Time out
```

各カスタマイズ項目の詳細を記載します。

項目	説明
Success exit status	コマンドが正常に終了したと判断する終了コード(整数)を指定する。 終了コードを複数指定したい場合には、,(カンマ)区切りで列挙する。いずれか一つに一致すれば正常に終了したと判断する。 設定を省略した場合、0 が設定される。
Time out	コマンド実行時のタイムアウト(秒)を指定する。 設定を省略した場合、300 が設定される。

記述例は以下の通りです。

```
product.cloudportal.extension.point.vm.create.pre.command.exit.code.success=0,1,2
product.cloudportal.extension.point.vm.create.pre.command.timeout=600
```

⚠注意

※6 タイムアウトが発生した場合、拡張処理は失敗と判定されますがコマンドの実行自体は強制終了されません。コマンドの実装においてタイムアウトが発生しないように考慮する、または、発生した場合、手動にて強制終了するといった対応を行ってください。

2.10.1.6　失敗時の動き

拡張処理が失敗した場合の扱いについて説明します。実行タイミングによって失敗の扱いは異なります。以下に特定の実行タイミングで拡張処理が失敗した場合の動きについて記載します。

失敗のタイミング	失敗後の扱い
• サーバ作成リクエストの実行前 • サーバ変更リクエストの実行前 • サーバ削除リクエストの実行前 • テナントネットワーク作成リクエストの実行前 • テナントネットワーク削除リクエストの実行後	• リクエストの状態をエラーに遷移する。 • リクエストのエラーメッセージは「リクエスト実行前処理に失敗しました」に設定される。 • メールにて実行エラーが通知される。

失敗のタイミング	失敗後の扱い
• テナント FW 作成リクエストの実行前 • テナント FW 変更リクエストの実行前 • テナント FW 削除リクエストの実行前 • テナント LB 作成リクエストの実行前 • テナント LB 変更リクエストの実行前 • テナント LB 削除リクエストの実行前 • SSL-VPN 作成リクエストの実行前 • SSL-VPN 削除リクエストの実行後 • 業務 VLAN 作成リクエストの実行前 • 業務 VLAN 削除リクエストの実行後 • WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行前 • WAN サービス VLAN 削除リクエストの実行後 • パブリック VLAN 作成リクエストの実行前 • パブリック VLAN 削除リクエストの実行後	
• サーバ作成リクエストの実行後※7※8 • サーバ変更リクエストの実行後※7※8 • サーバ削除リクエストの実行後※7 • テナントネットワーク作成リクエストの実行後※7※8 • テナントネットワーク削除リクエストの実行後※7 • テナント FW 作成リクエストの実行後※7※8 • テナント FW 変更リクエストの実行後※7※8 • テナント FW 削除リクエストの実行後※7 • テナント LB 作成リクエストの実行後※7※8 • テナント LB 変更リクエストの実行後※7※8 • テナント LB 削除リクエストの実行後※7	• リクエストの状態を完了に遷移する。

失敗のタイミング	失敗後の扱い
• SSL-VPN 作成リクエストの実行後※7※8 • SSL-VPN 削除リクエストの実行後※7 • 業務 VLAN 作成リクエストの実行後※7※8 • 業務 VLAN 削除リクエストの実行後※7 • WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行後※7※8 • WAN サービス VLAN 削除リクエストの実行後※7 • パブリック VLAN 作成リクエストの実行後※7※8 • パブリック VLAN 削除リクエストの実行後※7	

⚠注意

- ※7 リクエストの実行後の拡張処理にて失敗しても実行エラー通知が行われません。 拡張処理の実行ログを参照し、成否を確認のうえ、必要であれば対処を行ってください。
- ※8 リクエストの実行後の拡張処理にて失敗しても作成されたリソースはテナントに公開されます。

2.10.1.7　拡張処理の実行ログ

拡張処理が実行された場合、実行時のログが以下のファイルに出力されます。

```
（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥logs¥extention.log
```

拡張処理の実行ログは 5 世代まで保存されます。ファイルサイズが 10 MB を超えた場合は、「extension-*1-5*.log.zip」に圧縮されてローテーションされます。

ログの出力フォーマットは以下の通りです。2 行に分けて出力されます。

```
Date time I cloudportal Thread name : Command line
Date time I cloudportal Thread name : Resource Method Timing Exit code Result Standard output Standard error output
```

各項目の詳細は以下の通りです。

項目	説明
Date time	コマンドを実行した日時 yyyy-MM-dd’T’HH:mm:ss.SSSZ フォーマットで出力されます。
Thread name	コマンドを実行したスレッドの名前
Command line	実際に実行したコマンドライン 置換パラメータおよび拡張パラメータが展開された状態で出力されます
Resource	拡張処理を実行した対象のリソース 以下のいずれかが出力されます

項目	説明
	• SERVER • TENANT_NETWORK • TENANT_FW • TENANT_LB • SSL_VPN • BUSINESS_VLAN • WAN_SERVICE_VLAN • PUBLIC_VLAN
Method	拡張処理を実行した対象の操作 以下のいずれかが出力されます • CREATE • MODIFY • DELETE
Timing	拡張処理を実行したタイミング 以下のいずれかが出力されます • PRE • POST
Exit code	拡張処理で指定したコマンドの終了コード
Result	拡張処理で指定したコマンドの終了コードから判定した実行結果 以下のいずれかが出力されます • OK • NG • TIMEOUT
Standard output	拡張処理で指定したコマンドの標準出力 UTF-8 にて出力を行います。
Standard error output	拡張処理で指定したコマンドの標準エラー出力 UTF-8 にて出力を行います。

出力例を以下に記載します。

```
2018-03-08T13:17:31.405+0900 I cloudportal [http-nio-12080-exec-8] : C:¥extention¥notifica
tion.bat 3 0 TenantE Server01 422f38a2-8b94-262d-87e2-e437c73b5058
2018-03-08T13:17:32.647+0900 I cloudportal [http-nio-12080-exec-8] : SERVER DELETE PRE 0 O
K Output Test Error Out Test
```

拡張処理で指定されたコマンドの標準出力および標準エラーのログ出力時の文字コードはコマンドの実装にあわせてカスタマイズすることができます。以下に設定手順を記載します。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. 下記を参照し、設定を行いたい「リクエストの種類と実行タイミング」に対応する記述を追記してください。

   • サーバ作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

   ```
   product.cloudportal.extension.point.vm.create.pre.command.charset=Charset
   ```

   • サーバ作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.create.post.command.charset=Charset
```

- サーバ変更リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.modify.pre.command.charset=Charset
```

- サーバ変更リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.modify.post.command.charset=Charset
```

- サーバ削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.delete.pre.command.charset=Charset
```

- サーバ削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.vm.delete.post.command.charset=Charset
```

- テナントネットワーク作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.create.pre.command.charset=Charset
```

- テナントネットワーク作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.create.post.command.charset=Charset
```

- テナントネットワーク削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.delete.post.command.charset=Charset
```

- テナントネットワーク削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantnw.delete.post.command.charset=Charset
```

- テナント FW 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.create.pre.command.charset=Charset
```

- テナント FW 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.create.post.command.charset=Charset
```

- テナント FW 変更リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.modify.pre.command.charset=Charset
```

- テナント FW 変更リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.modify.post.command.charset=Charset
```

- テナント FW 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.delete.pre.command.charset=Charset
```

- テナント FW 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantfw.delete.post.command.charset=Charset
```

- テナント LB 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.create.pre.command.charset=Charset
```

- テナント LB 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.create.post.command.charset=Charset
```

- テナント LB 変更リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.modify.pre.command.charset=Charset
```

- テナント LB 変更リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.modify.post.command.charset=Charset
```

- テナント LB 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.delete.pre.command.charset=Charset
```

- テナント LB 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.tenantlb.delete.post.command.charset=Charset
```

- SSL-VPN 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.create.pre.command.charset=Charset
```

- SSL-VPN 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.create.post.command.charset=Charset
```

- SSL-VPN 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.delete.post.command.charset=Charset
```

- SSL-VPN 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.sslvpn.delete.post.command.charset=Charset
```

- 業務 VLAN 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.create.pre.command.charset=Charset
```

- 業務 VLAN 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.create.post.command.charset=Charset
```

- 業務 VLAN 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.delete.post.command.charset=Charset
```

- 業務 VLAN 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.businessvlan.delete.post.command.charset=Charset
```

- WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.create.pre.command.charset=Charset
```

- WAN サービス VLAN 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.create.post.command.charset=Charset
```

- WAN サービス VLAN 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.delete.post.command.charset=Charset
```

- WAN サービス VLAN 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.wanservicevlan.delete.post.command.charset=Charset
```

- パブリック VLAN 作成リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.create.pre.command.charset=Charset
```

- パブリック VLAN 作成リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.create.post.command.charset=Charset
```

- パブリック VLAN 削除リクエストの実行前のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.delete.post.command.charset=Charset
```

- パブリック VLAN 削除リクエストの実行後のカスタマイズを行う場合

```
product.cloudportal.extension.point.publicvlan.delete.post.command.charset=Charset
```

以下の詳細を記載します。

項目	説明
Charset	実行したいコマンドの標準出力および標準エラー出力の文字コード記述します。以下で定義されているものから指定してください。

項目	説明
	https://www.iana.org/assignments/character-sets/character-sets.xhtml

記述例は以下の通りです。

```
product.cloudportal.extension.point.vm.create.pre.command.out.charset=Shift_JIS
```

2.10.2　テナントの登録または削除前後の設定

テナントの登録または削除前後に拡張処理を行う際の設定手順や運用設計時の注意点について説明します。

2.10.2.1　拡張処理の有効化

テナントの登録または削除前後の拡張処理は設定ファイルに実行タイミングに対応するコマンドラインを定義することで有効化されます。以下に設定手順を記載します。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. 下記を参照し、設定を行いたい実行のタイミングに対応する記述を追記してください。
   - テナント登録の実行前に拡張処理を行う場合

     ```
     product.cloudportal.extension.point.tenant.create.pre.command=Command line
     ```

   - テナント登録の実行後に拡張処理を行う場合

     ```
     product.cloudportal.extension.point.tenant.create.post.command=Command line
     ```

   - テナント削除の実行前に拡張処理を行う場合

     ```
     product.cloudportal.extension.point.tenant.delete.pre.command=Command line
     ```

   - テナント削除の実行後に拡張処理を行う場合

     ```
     product.cloudportal.extension.point.tenant.delete.post.command=Command line
     ```

Command line に記述するコマンドラインフォーマットを以下に示します。

```
コマンド オプション
```

以下の詳細を記載します。

項目	説明
コマンド	実行したいコマンドのファイルパス(フルパス)を記述します。 コマンドに¥(バックスラッシュ)を含む場合には、¥(バックスラッシュ)の直前にエスケープ文字(¥)を追加してください。 実行ユーザに対して実行権限がある実行可能ファイルを指定してください。また、終了コードが整数で返却されるコマンドを指定してください。

項目	説明
	実行ユーザの PATH 環境変数が設定されているコマンドについてはフルパスで指定する必要はありません。
パラメータ	実行したいコマンドに渡す引数を記述します。複数を指定したい場合には半角スペース区切りで記述してください。 半角スペースを含む文字列をパラメータに指定したい場合には、"(ダブルクォーテーション)で囲んでください。 ポータルでは、コマンドライン実行時に展開される置換パラメータを指定することもできます。 詳細は「2.10.1.2　置換パラメータ(43 ページ)」を参照してください。

記述例は以下の通りです。

```
product.cloudportal.extension.point.tenant.create.post.command=C:¥¥extention¥¥notification.bat $EXTENSION_POINT$ $EXTENSION_TIMING$ $TENANT_ID$ $TENANT_NAME$
```

⚠ 注意

- コマンド実行時の最大文字数は 8191 文字です。 コマンド、パラメータ、展開後の置換パラメータ、展開後の拡張パラメータの文字数合計が 8191 文字を超えないように設定してください。
- 拡張処理はブラウザでの操作の延長で実行されます。コマンドの実行時間が長い場合、ユーザに対する操作のレスポンスが遅くなることがあります。

2.10.2.2　置換パラメータ

置換パラメータとは、ポータルがコマンド実行時に展開するパラメータです。

サポートする置換パラメータを以下に記載します。

項目	説明
$TENANT_ID$	対象となるテナントの「テナント ID」に置換されるパラメータ
$TENANT_NAME$	対象となるテナントの「テナント名」に置換されるパラメータ
$EXTENSION_POINT$	拡張処理の対象となるリソースの種別番号に置換されるパラメータ • テナント登録…201 • テナント削除…203
$EXTENSION_TIMING$	拡張処理の実行タイミングに置換されるパラメータ • 前処理…1 • 後処理…2

2.10.2.3　実行環境

「2.10.1.4　実行環境(48 ページ)」を参照してください。

2.10.2.4　成功・失敗判定

ポータルでの拡張処理の成功・失敗を以下のように判定します。

判定	条件
成功	コマンドが返却する終了コードが「0」の場合※3
失敗	以下のいずれかに一致 • コマンドが返却する終了コードが「0」以外の場合 • コマンドの実行が 300 秒を超えた(タイムアウトが発生した)場合※5

成功とみなすコマンドの終了コードや、失敗と判断するタイムアウトはコマンドの実装にあわせてカスタマイズすることができます。以下に設定手順を記載します。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. 下記を参照し、設定を行いたい実行のタイミングに対応する記述を追記してください。

   • テナント登録の実行前のカスタマイズを行う場合

   ```
   product.cloudportal.extension.point.tenant.create.pre.command.exit.code.success=Success exit status
   product.cloudportal.extension.point.tenant.create.pre.command.timeout=Time out
   ```

   • テナント登録の実行後のカスタマイズを行う場合

   ```
   product.cloudportal.extension.point.tenant.create.post.command.exit.code.success=Success exit status
   product.cloudportal.extension.point.tenant.create.post.command.timeout=Time out
   ```

   • テナント削除の実行前のカスタマイズを行う場合

   ```
   product.cloudportal.extension.point.tenant.delete.pre.command.exit.code.success=Success exit status
   product.cloudportal.extension.point.tenant.delete.pre.command.timeout=Time out
   ```

   • テナント削除の実行後のカスタマイズを行う場合

   ```
   product.cloudportal.extension.point.tenant.delete.post.command.exit.code.success=Success exit status
   product.cloudportal.extension.point.tenant.delete.post.command.timeout=Time out
   ```

   各カスタマイズ項目の詳細を記載します。

項目	説明
Success exit status	コマンドが正常に終了したと判断する終了コード(整数)を指定する。 終了コードを複数指定したい場合には、,(カンマ)区切りで列挙する。いずれか一つに一致すれば正常に終了したと判断する。 設定を省略した場合、0 が設定される。
Time out	コマンド実行時のタイムアウト(秒)を指定する。 設定を省略した場合、300 が設定される。

記述例は以下の通りです。

```
product.cloudportal.extension.point.tenant.create.pre.command.exit.code.success=0,1,2
product.cloudportal.extension.point.tenant.create.pre.command.timeout=600
```

⚠ 注意

※5 タイムアウトが発生した場合、拡張処理は失敗と判定されますがコマンドの実行自体は強制終了されません。コマンドの実装においてタイムアウトが発生しないように考慮する、または、発生した場合、手動にて強制終了するといった対応を行ってください。

2.10.2.5　失敗時の動き

拡張処理が失敗した場合の扱いについて説明します。実行タイミングによって失敗の扱いは異なります。以下に特定の実行タイミングで拡張処理が失敗した場合の動きについて記載します。

失敗のタイミング	失敗後の扱い
テナント登録の実行前	• ポータルのテナント登録処理を中断する。 • SigmaSystemCenter に対するテナント登録処理を中断する。
テナント登録の実行後	• ポータルに登録したテナントを削除(ロールバック)する。※1
テナント削除の実行前	• ポータルのテナント削除処理を中断する。 • SigmaSystemCenter に対するテナント削除処理を中断する。
テナント登録の実行後	• ポータルで削除したテナントを復活(ロールバック)する。※2

⚠ 注意

- ※1 テナント登録の実行後に失敗しても、SigmaSystemCenter には既に対象テナントが登録された状態となります。
- ※2 テナント削除の実行後に失敗しても、SigmaSystemCenter には既に対象テナントが削除された状態となります。

2.10.2.6　拡張処理の実行ログ

拡張処理が実行された場合、実行時のログが以下のファイルに出力されます。

```
（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥logs¥extention.log
```

拡張処理の実行ログは 5 世代まで保存されます。ファイルサイズが 10 MB を超えた場合は、「extension-*1-5*.log.zip」に圧縮されてローテーションされます。

ログの出力フォーマットは以下の通りです。2 行に分けて出力されます。

```
Date time I cloudportal Thread name : Command line
Date time I cloudportal Thread name : Resource Method Timing Exit code Result Standard output Standard error output
```

各項目の詳細は以下の通りです。

項目	説明
Date time	コマンドを実行した日時 yyyy-MM-dd'T'HH:mm:ss.SSSZ フォーマットで出力されます。

項目	説明
Thread name	コマンドを実行したスレッドの名前
Command line	実際に実行したコマンドライン 置換パラメータおよび拡張パラメータが展開された状態で出力されます
Resource	拡張処理を実行した対象のリソース Tenant が出力されます
Method	拡張処理を実行した対象の操作 以下のいずれかが出力されます • CREATE • DELETE
Timing	拡張処理を実行したタイミング 以下のいずれかが出力されます • PRE • POST
Exit code	拡張処理で指定したコマンドの終了コード
Result	拡張処理で指定したコマンドの終了コードから判定した実行結果 以下のいずれかが出力されます • OK • NG • TIMEOUT
Standard output	拡張処理で指定したコマンドの標準出力 UTF-8 にて出力を行います。
Standard error output	拡張処理で指定したコマンドの標準エラー出力 UTF-8 にて出力を行います。

拡張処理で指定されたコマンドの標準出力および標準エラーのログ出力時の文字コードはコマンドの実装にあわせてカスタマイズすることができます。以下に設定手順を記載します。

1. (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開きます。
2. 下記を参照し、設定を行いたい実行のタイミングに対応する記述を追記してください。
   - テナント登録の実行前のカスタマイズを行う場合

     ```
     product.cloudportal.extension.point.tenant.create.pre.command.charset=Charset
     ```

   - テナント登録の実行後のカスタマイズを行う場合

     ```
     product.cloudportal.extension.point.tenant.create.post.command.charset=Charset
     ```

   - テナント削除の実行前のカスタマイズを行う場合

     ```
     product.cloudportal.extension.point.tenant.delete.pre.command.charset=Charset
     ```

   - テナント削除の実行後のカスタマイズを行う場合

     ```
     product.cloudportal.extension.point.tenant.delete.post.command.charset=Charset
     ```

項目	説明
Charset	実行したいコマンドの標準出力および標準エラー出力の文字コード記述します。以下で定義されているものから指定してください。 https://www.iana.org/assignments/character-sets/character-sets.xhtml

記述例は以下の通りです。

```
product.cloudportal.extension.point.tenant.create.pre.command.charset=Shift_JIS
```

第 3 章
ユーザ権限

本システムはユーザ種別によって機能および画面表示が制限されます。

以下の表を参照し、ユーザ作成・管理を行ってください。

ユーザ作成・管理については「9.2　ユーザ管理(115 ページ)」を参照してください。

表 3-1　ユーザ権限

機能	操作	システム管理者	テナント管理者	テナントユーザ
ダッシュボード	ダッシュボード(お知らせ)表示	○	○	○
リクエスト管理	リクエスト一覧・詳細表示	※1	※1	※1
リクエスト管理	リクエスト作成	× テナント代行することにより○	○	○
リクエスト管理	リクエスト再申請	× テナント代行することにより○	○	○
リクエスト管理	サーバ作成・変更・削除・引用	× テナント代行することにより○	○	○
リクエスト管理	ネットワーク作成・変更・削除	× テナント代行することにより○	○	○
リクエスト管理	リクエスト代理承認・代理却下	× テナント代行することにより○	○	×
リクエスト管理	リクエストエラー状態解除	○	×	×
テナント管理	テナント一覧・詳細表示	○	○	×
テナント管理	テナント登録	○	×	×
テナント管理	テナント変更	○	○	×
テナント管理	テナント削除	○	×	×
ユーザ管理	ユーザ一覧・詳細表示	○	○	○
ユーザ管理	ユーザ登録・変更・削除	○	○	×
リソース状況	リソース状況表示	○	○	○
サーバ管理	サーバ一覧・詳細表示	○	○	○
サーバ管理	サーバ作成・変更・削除・電源操作 性能表示・スクリーンショット表示・汎用オペレーション	× テナント代行することにより○	○	○

機能	操作	システム管理者	テナント管理者	テナントユーザ
運用作業履歴	運用作業履歴一覧・詳細表示	○	○	○
トポロジー	トポロジー表示	×	○	○
トポロジー	ネットワーク表示名変更	×	○	×
メンテナンス管理	メンテナンス一覧・詳細表示・登録・変更・削除	○	×	×
お知らせ管理	お知らせ一覧・詳細表示・登録・変更・削除	○	○	×
設定	運用設定一覧表示・設定変更	○	×	×
ログインユーザ操作	ログインユーザ詳細表示・ユーザ情報変更 パスワード変更	○	○	○
ログインユーザ操作	ログインユーザテナント代行	○	×	×
承認フロー	承認フロー一覧表示・設定変更	○	○	×
メール通知	メール通知一覧表示・設定変更	×	○	×
監視	エージェント管理	○	×	×
監視	監視設定参照	○	○	○
監視	監視設定変更・監視操作・メッセージ参照	×	○	○

※1 リクエスト一覧・詳細表示のユーザ権限は以下です。

表 3-2　リクエスト一覧・詳細表示のユーザ権限

ユーザ種別	リクエスト承認権なし	リクエスト承認権あり
テナントユーザ	自分自身が申請したリクエスト	所属するテナントの全リクエスト
テナント管理者	所属するテナントの全リクエスト	所属するテナントの全リクエスト
システム管理者	全リクエスト	全リクエスト
システム管理者(テナント代行)	代行先テナントの全リクエスト	代行先テナントの全リクエスト

なお、以下はユーザ種別に限らず、ユーザ作成時にリクエスト承認を可能とした場合に操作できます。

- ダッシュボードへの未承認リクエストの表示
- リクエストの承認・却下

第 3 編
基本操作

目次

第 4 章　ログイン 70
第 5 章　画面構成 73
第 6 章　ログインユーザの操作 74

本編では、以下について説明します。

- ログイン方法
- 画面構成
- ログインユーザ操作

第 4 章
ログイン

目次

4.1 ログインする 71

本章では、GUI へのログイン方法について説明します。

4.1　ログインする

ログイン方法を以下に示します。

1. ブラウザにて以下のURLにアクセスします。

   http://*広域管理サーバのホスト名:ポート*(既定値 12080)/portal/

2. ユーザ ID、パスワードを入力後、[ログイン]ボタンを押下します。

   初回ログイン時のビルトインユーザ名:admin　パスワード:admin

注

初回ログイン後、新しいシステム管理者ユーザを登録し、ビルトインユーザ(admin)を無効にしてください。

ユーザ登録方法については、「9.2.2　ユーザを登録する(管理者)(116 ページ)」を、ビルトインユーザを無効にする方法については「9.2.4　ユーザ情報を変更する(119 ページ)」を参照してください。

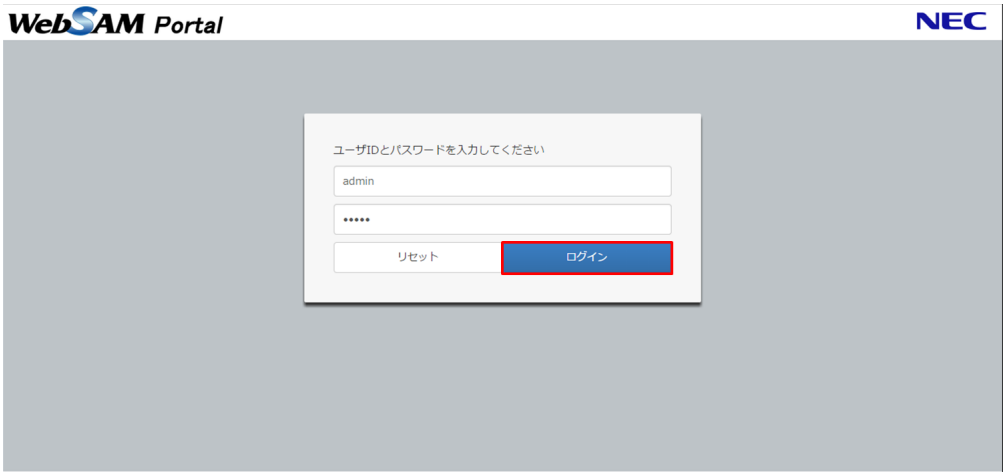


図 4-1　ログイン画面

3. ログイン後、ダッシュボード画面が表示されます。

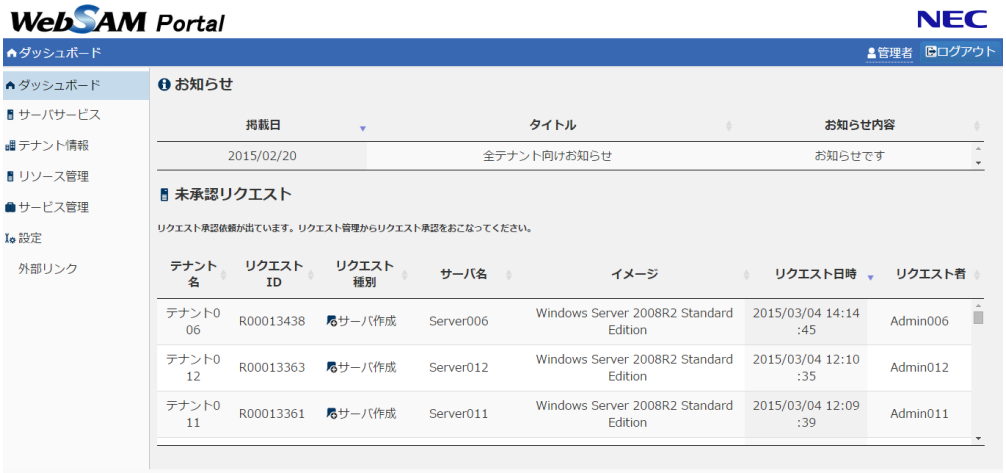


図 4-2　ダッシュボード画面

注

・ログインパスワード入力に 10 回失敗した場合、ロック状態になり、ログインできなくなります。

※入力失敗 9 回までは、10 分経過後に失敗回数がリセットされます。

解除する場合は、システム管理者および所属するテナント管理者によって対象ユーザを有効にすることで解除できます。

・管理者ユーザが全てロック状態または無効状態になり、ログインできなくなってしまった場合

以下のコマンドを実行し、admin ユーザを有効にします。

```
>sqlcmd -E -S localhost¥FWCMDB -i "C:¥Program Files(x86)¥NEC¥vDCA¥GM¥FW¥Tomcat¥portal¥sql¥enable_admin.sql"
```

※SQL Server のインスタンス名（FWCMDB）、インストールパスを既定値から変更している場合は読み替えてください。

第 5 章
画面構成

本章では、画面の構成について説明します。

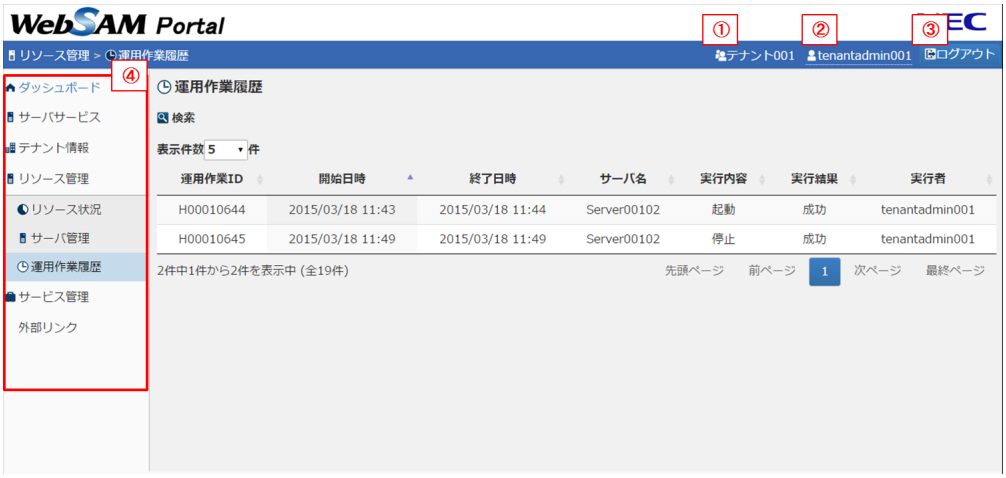


図 5-1　画面構成

①テナント名：ログインしているユーザのテナント名を表示します。

②ログインユーザ名：ログインしているユーザ名を表示します。

③ログアウトボタン：クリックすることでログアウトします。

④メニュー：各機能メニューツリーです。クリックすることにより各機能の画面に遷移します。

第 6 章
ログインユーザの操作

目次

6.1 ログインユーザの詳細情報を確認する 75
6.2 ログインユーザ情報を変更する 76
6.3 ログインパスワードを変更する 77
6.4 テナントの代行(システム管理者のみ) 78

ログインユーザ名をクリックすることにより、ログインユーザ操作ダイアログが表示されます。

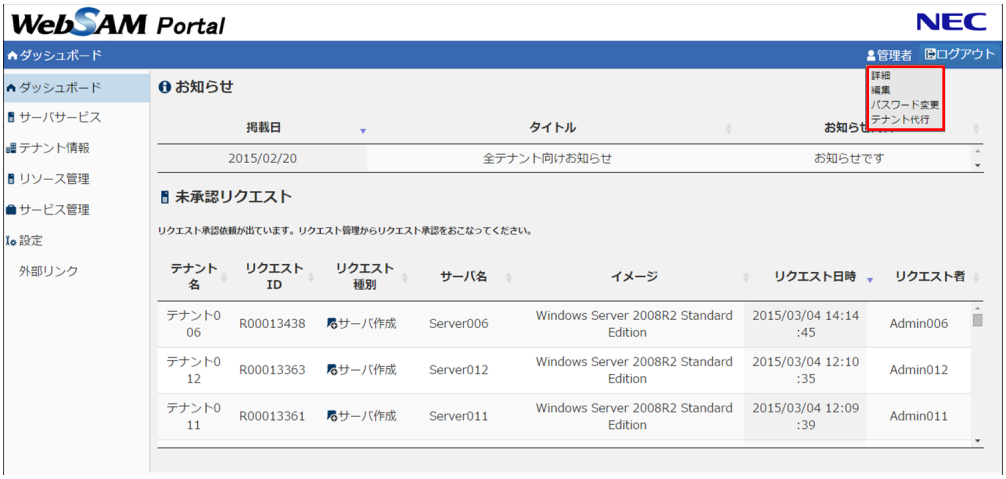


図 6-1　ログインユーザ操作ダイアログ

6.1　ログインユーザの詳細情報を確認する

1. ログインユーザ操作ダイアログの[詳細]をクリックします。

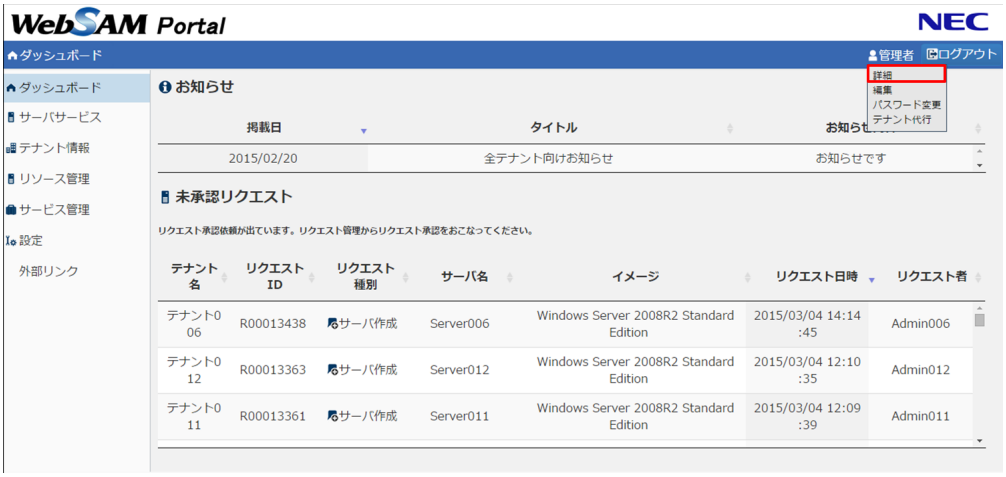


図 6-2　ログインユーザ操作ダイアログ

2. 「ログインユーザ詳細」画面が表示されます。

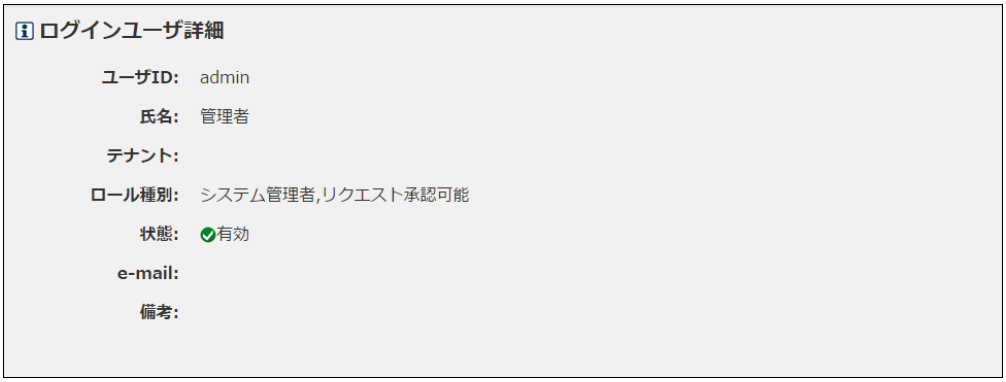


図 6-3　ログインユーザ情報詳細画面

表 6-1　項目一覧（ログインユーザ詳細）

項目名	説明
ユーザ ID	ログインユーザの ID
氏名	氏名(ユーザ名)
テナント	ログインユーザが所属するテナント名
ロール種別	ユーザ種別、リクエスト承認可否
状態	・有効 ・無効 使用不可状態 ・ロック中 パスワードロック（パスワード入力に10回失敗）状態 のいずれか
e-mail	ユーザのメールアドレス
備考	備考

6.2　ログインユーザ情報を変更する

ログインユーザ情報の変更方法を以下に示します。

1. ユーザ名をクリックし、[編集]をクリックします。

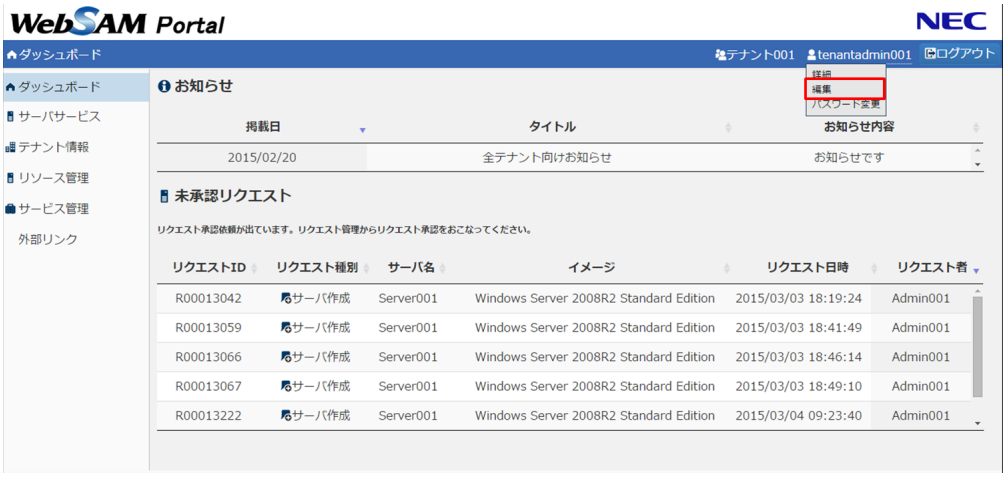


図 6-4　ログインユーザ操作ダイアログ

2. 「ログインユーザ変更（入力）」画面が表示されます。下記の表を参照し、各項目を編集後[次へ]ボタンを押下します。



図 6-5　ログインユーザ変更画面

表 6-2　項目一覧（ログインユーザ変更画面）

項目名	入力規則	説明
氏名	1024 文字以内	氏名(ユーザ名)を入力する
e-mail	e-mail 形式	メールアドレスを入力する
備考	255 文字以内	備考を入力する

3. 「ユーザ変更（確認）」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 6-6　ユーザ変更（確認）画面

6.3　ログインパスワードを変更する

ログインパスワードの変更方法を以下に示します。

1. ユーザ名をクリックし、[パスワード変更]をクリックします。

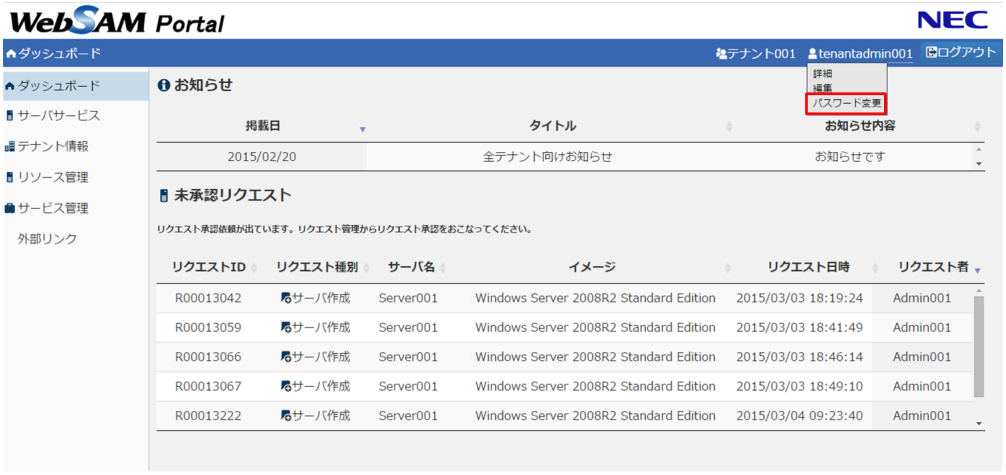


図 6-7　ログインユーザ操作ダイアログ

2. 「ログインパスワード変更（入力）」画面が表示されます。パスワードは 6 文字以上 16 文字以下で編集し、変更後［次へ］ボタンを押下します。



図 6-8　ログインパスワード変更（入力）画面

3. 「ログインパスワード変更（確認）」画面が表示されます。［確定］ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 6-9　ログインパスワード変更（確認）画面

6.4　テナントの代行（システム管理者のみ）

テナント代行方法を以下に示します。

本機能はシステム管理者がテナント管理者およびテナントユーザの代わりにリクエストを作成・再申請する場合などに利用します。

1. ユーザ名をクリックし、［テナント代行］をクリックします。

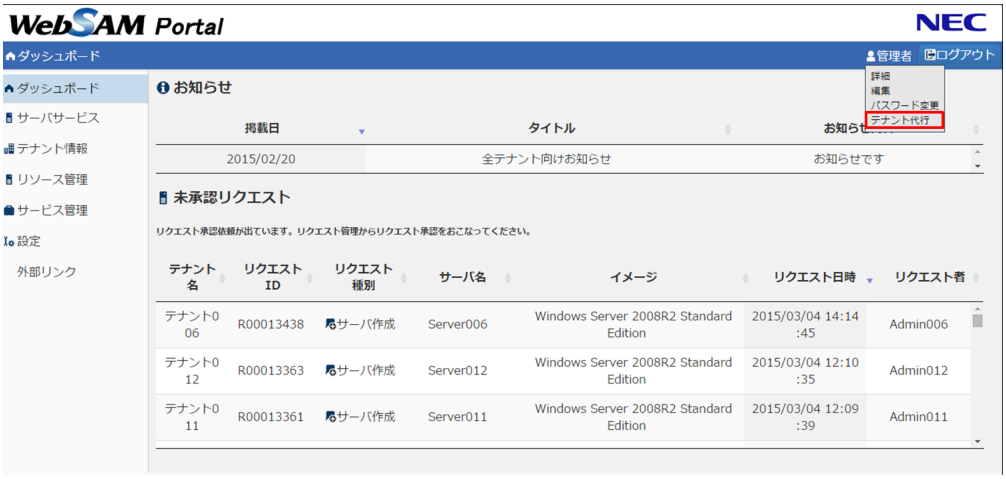


図 6-10　ログインユーザ操作ダイアログ

2. 「テナント代行（入力）」画面が表示されます。代行するテナントを選択後［次へ］ボタンを押下します。



図 6-11　テナント代行（入力）画面

3. 「テナント代行（確認）」画面が表示されます。［確定］ボタンを押下することにより対象テナントの代行操作が可能になります。



図 6-12　テナント代行（変更）画面

テナント代行を解除するには、上記手順 2 にて［テナント代行をしない］を選択して確定するか、再ログインしてください。

第 4 編
管理者の操作

目次

第 7 章　ダッシュボード 82
第 8 章　リクエスト(管理者) 93
第 9 章　テナント情報(管理者) 108
第 10 章　リソース管理 124
第 11 章　監視(管理者) 135
第 12 章　サービス管理 160
第 13 章　設定 175

本製品は、以下のメニュー構成になっています。

- ダッシュボード
- リクエスト
- テナント情報
- リソース管理
- サービス管理
- 設定

本編では、システム管理者が操作するメニューについて説明します。

なお、本編の操作説明は、以下の権限を持つシステム管理者の説明をしています。

テナント代行　：　しない

リクエスト承認：可能

第 7 章
ダッシュボード

目次

7.1 ウィジェットの表示 83
7.2 ウィジェットの追加 83
7.3 ウィジェットの削除 85
7.4 ウィジェットの表示順・サイズの変更 86
7.5 ウィジェットの設定の保存 88
7.6 ウィジェットの設定の破棄 89
7.7 ダッシュボード(デフォルト) 90

「ダッシュボード」画面では、ユーザの好みにあわせ、ウィジェットを配置することができます。

本章では、ウィジェットの参照、配置、削除等、ウィジェットに対する操作について説明します。

配置できるウィジェットの種類は、サーバ側の設定とユーザの権限によって異なります。

7.1　ウィジェットの表示

メニューから、[ダッシュボード]をクリックすることにより、「ダッシュボード」画面が表示され、ダッシュボード上にウィジェットを表示します。



図 7-1　「ダッシュボード」画面 ウィジェット表示

各ウィジェットは、マウスで操作することができます。

各ウィジェットを操作した後、ウィジェットの初期表示に戻りたい場合は、ページの再読み込みを行ってください。

7.2　ウィジェットの追加

ダッシュボードにウィジェットを追加する方法を説明します。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[カスタマイズ]をクリックします。

   「ダッシュボード」画面がカスタマイズモードに切り替わり、カスタマイズメニューが表示されます。



図 7-2　「ダッシュボード」画面 カスタマイズメニュー

2. 「ダッシュボード」画面にて、[ウィジェット追加]をクリックします。

「ウィジェット追加」ダイアログが表示されます。



図 7-3　「ウィジェット追加」ダイアログ

3. 「ウィジェット追加」ダイアログに、追加したいウィジェットの情報を入力し[OK]をクリックします。

表 7-1　項目一覧（「ウィジェット追加」ダイアログ）

項目名	入力規則	初期値	説明
ウィジェット名	0～64 文字	-	ウィジェットのタイトルとして表示する名前を指定します。 どのようなウィジェットであるか判別が容易である名称をご指定下さい。 ウィジェット名を省略した場合"(名前なし)"と表示されます。 なお、同じ名前のウィジェットは複数登録可能です。
URL	-	-	ウィジェットとして表示する項目を選択します。 なお、同じ URL のウィジェットは複数登録可能です。
URL パラメータ	0～2048 文字	-	ウィジェットの URL にオプションパラメータを指定する場合に利用します。 オプションパラメータは *key=value* の形式で指定して下さい。複数のパラメータがある場合、"&"で区切ってください。 文字列はエンコード済である必要があります。

新しいウィジェットがダッシュボードの既に表示されているウィジェットの最後に表示されます。

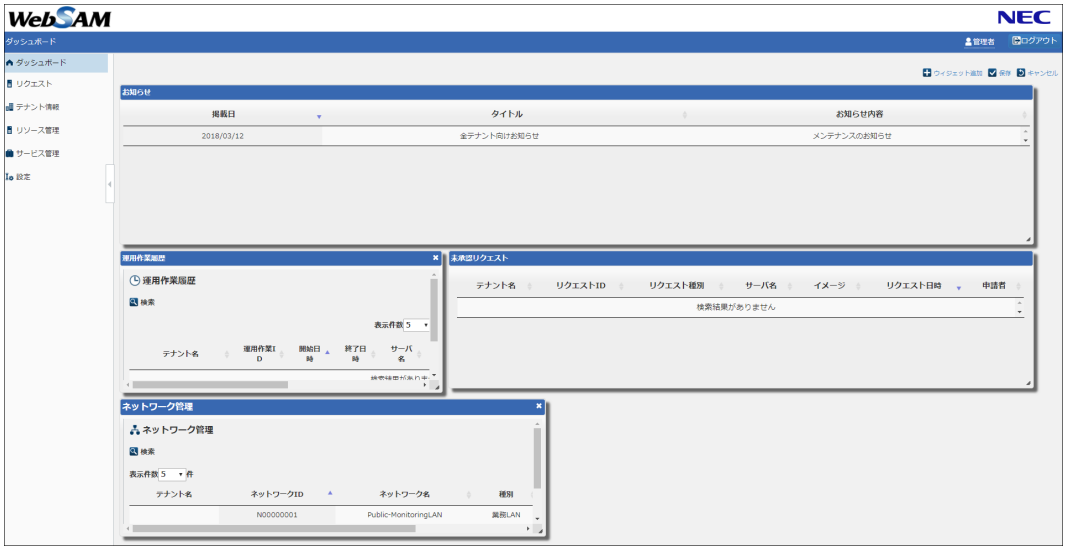


図 7-4　「ダッシュボード」画面 新規ウィジェット表示

ウィジェット追加操作後、保存操作を行ってください。手順については「7.5　ウィジェットの設定の保存 (88 ページ)」を参照してください。

7.3　ウィジェットの削除

ダッシュボードからウィジェットを削除する方法を説明します。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[カスタマイズ]をクリックします。

   「ダッシュボード」画面がカスタマイズモードに切り替わります。



図 7-5　「ダッシュボード」画面 カスタマイズ

2. 削除したいウィジェットの右上に表示されている✖をクリックします。



図 7-6　ダッシュボードからウィジェットを削除する

「ウィジェット削除確認」ダイアログが表示されます。



図 7-7　「ウィジェット削除確認」ダイアログ

3. 「ウィジェット削除確認」ダイアログの内容を確認し、削除してもよい場合は、[OK]をクリックします。

   削除を取りやめたい場合は、[キャンセル]をクリックします。

   「ウィジェット削除確認」ダイアログが閉じます。

[OK]をクリックした場合、選択したウィジェットが削除されます。

ウィジェット削除操作後、保存操作を行ってください。手順については「7.5　ウィジェットの設定の保存 (88 ページ)」を参照してください。

7.4　ウィジェットの表示順・サイズの変更

ダッシュボードに表示されているウィジェットの表示順やサイズを変更する方法を説明します。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[カスタマイズ]をクリックします。

   「ダッシュボード」画面がカスタマイズモードに切り替わります。



図 7-8　「ダッシュボード」画面 カスタマイズ

2. ウィジェットの表示順を変更したい場合、ウィジェットをマウスでドラッグ & ドロップします。

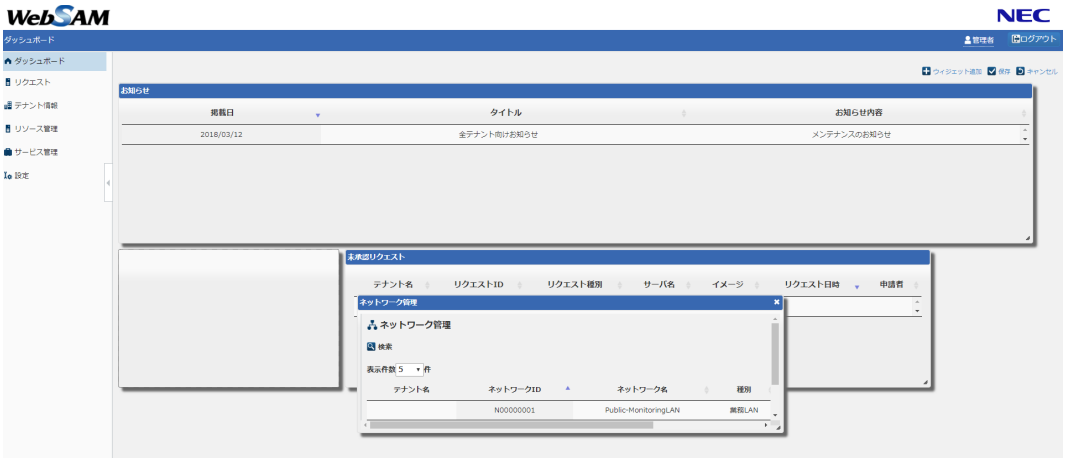


図 7-9　ウィジェットの表示順変更

ウィジェットの表示順序が変更されます。

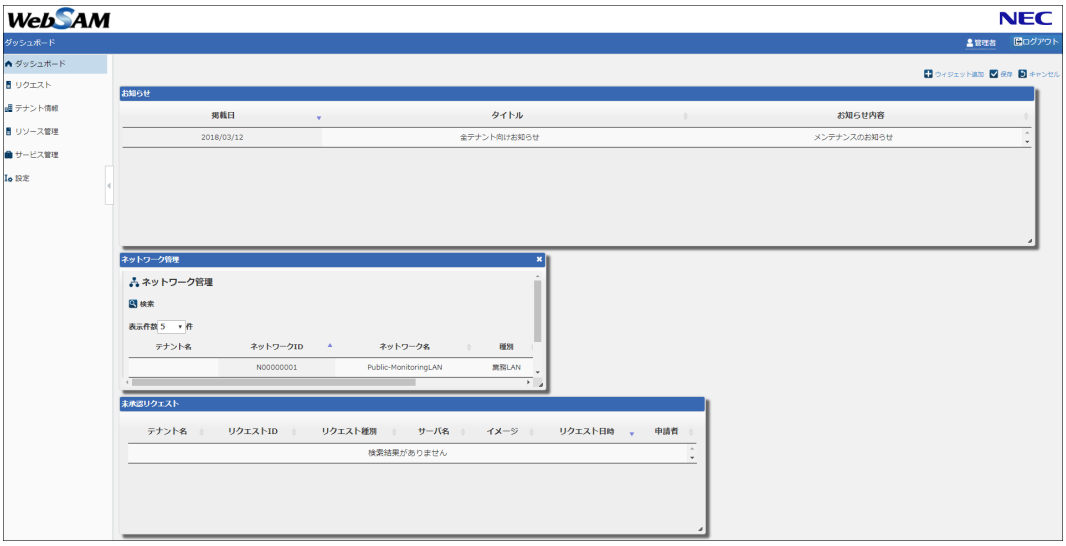


図 7-10　ウィジェットの表示順変更

3. ウィジェットのサイズを変更したい場合、ウィジェットの端をマウスでドラッグします。
   - ウィジェットの縦幅を変更したい場合、ウィジェットの下端をマウスでドラッグします。
   - ウィジェットの横幅を変更したい場合、ウィジェットの右端をマウスでドラッグします。

- ウィジェットの縦幅と横幅を同時に変更したい場合、ウィジェットの右下角をマウスでドラッグします。

ウィジェットのサイズが変更されます。

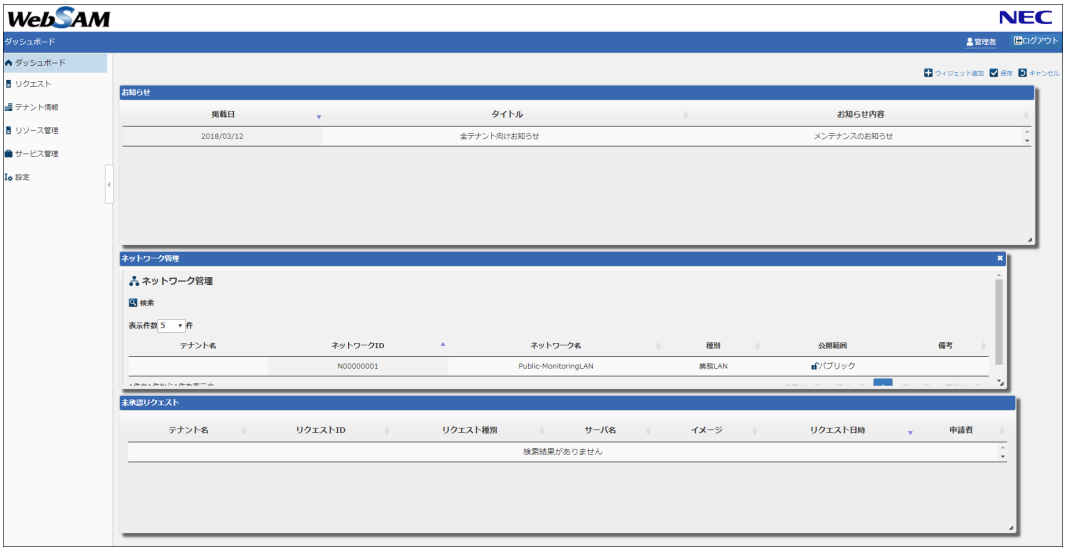


図 7-11　ウィジェットのサイズ変更

ウィジェットの表示順やサイズの変更後、保存操作を行ってください。手順については「7.5　ウィジェットの設定の保存(88 ページ)」を参照してください。

7.5　ウィジェットの設定の保存

ダッシュボードのウィジェットの設定を保存する方法を説明します。

ダッシュボードは既にカスタマイズモードになっており、ウィジェットに対する操作が行われている状態とします。ウィジェットに対する操作については、

- 「7.2　ウィジェットの追加(83 ページ)」
- 「7.3　ウィジェットの削除(85 ページ)」
- 「7.4　ウィジェットの表示順・サイズの変更(86 ページ)」

を参照してください。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[保存]をクリックします。

   「ウィジェット設定保存確認」ダイアログが表示されます。

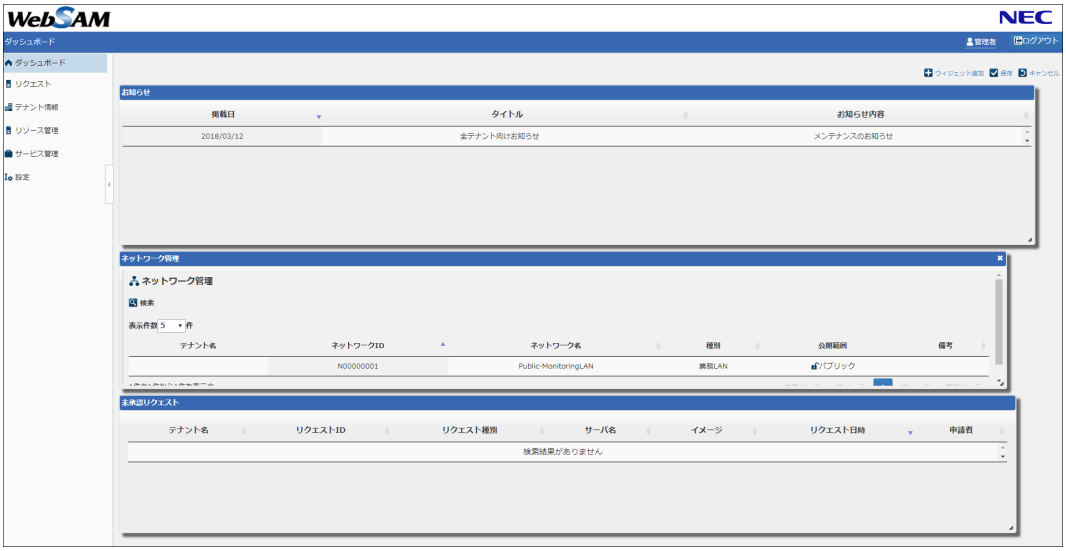


図 7-12　ウィジェットの設定保存

2. 「ウィジェット設定保存確認」ダイアログの内容を確認し、保存してもよい場合は、[OK]をクリックします。

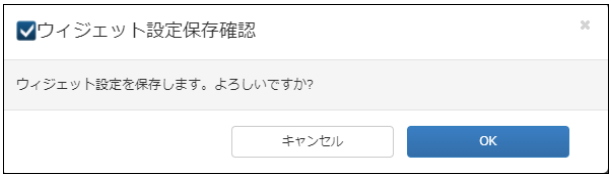


図 7-13　「ウィジェット設定保存確認」ダイアログ

保存を取りやめたい場合は、[キャンセル]をクリックします。

「ウィジェット設定保存確認」ダイアログが閉じます。

追加・削除したウィジェットの情報や、表示順・サイズが保存されます。

7.6　ウィジェットの設定の破棄

ダッシュボードのウィジェットの設定を破棄する手順を説明します。

ダッシュボードは既にカスタマイズモードになっており、ウィジェットに対する操作が行われている状態とします。ウィジェットに対する操作については、

- 「7.2　ウィジェットの追加(83 ページ)」
- 「7.3　ウィジェットの削除(85 ページ)」
- 「7.4　ウィジェットの表示順・サイズの変更(86 ページ)」

を参照してください。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[キャンセル]をクリックします。

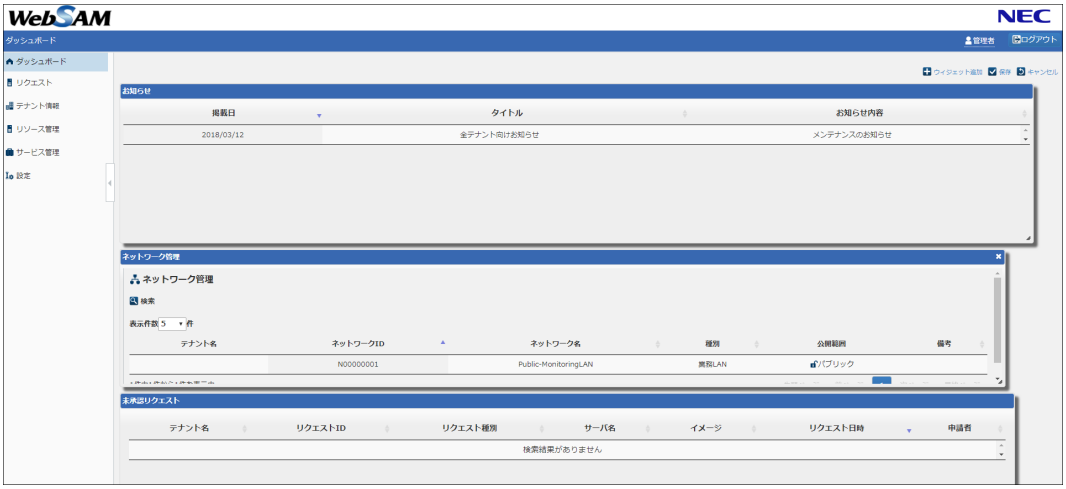


図 7-14　ウィジェットの設定破棄

「キャンセル確認」ダイアログが表示されます。

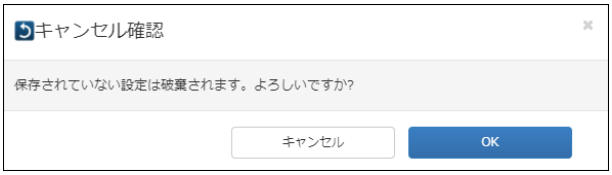


図 7-15　「キャンセル確認」ダイアログ

2. 「キャンセル確認」ダイアログの内容を確認し、設定を破棄してもよい場合は、[OK]をクリックします。

   キャンセルを取りやめたい場合は、[キャンセル]をクリックします。

   「キャンセル確認」ダイアログが閉じます。

保存されていないウィジェットの編集内容が破棄され、ウィジェットの表示が前回保存時の状態に戻ります。

7.7　ダッシュボード(デフォルト)

ダッシュボード画面(デフォルト)では、以下の情報が確認できます。

- 掲載中のお知らせ一覧
- 未承認リクエスト一覧

なお、未承認リクエスト一覧は、リクエスト承認が可能なユーザのみ表示されます。



図 7-16　ダッシュボード画面（デフォルト）

7.7.1　お知らせ

お知らせ管理機能で登録したお知らせが表示されます。

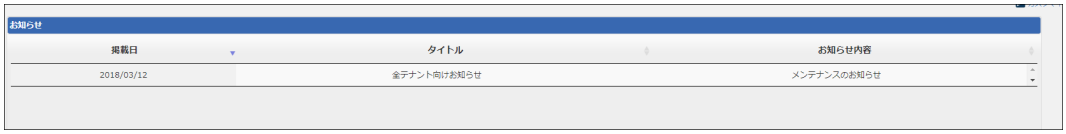


図 7-17　お知らせ一覧

表 7-2　項目一覧（お知らせ）

項目名	説明
掲載日	掲載日
タイトル	お知らせタイトル
お知らせ内容	お知らせ内容 添付ファイルがある場合には、文末にファイルへのリンクアイコンが表示される

7.7.2　未承認リクエスト（管理者）

ログインユーザが次の承認者である全テナントのリクエストが表示されます。



図 7-18　未承認リクエスト一覧

表 7-3　項目一覧（未承認リクエスト）

項目名	説明
テナント名	リクエスト対象のテナント名 ※システム管理者の場合のみ表示
リクエスト ID	クリックすることで対象のリクエスト画面に遷移する
リクエスト種別	・サーバ作成 ・サーバ変更

項目名	説明
	・サーバ削除 ・論理ネットワーク作成 ・論理ネットワーク削除 カスタムオペレーション実行 ・スタック作成 ・スタック削除 のいずれか
サーバ名	作成サーバ名、または変更・削除リクエスト対象サーバ名
イメージ	作成または変更・削除するサーバの OS 名
リクエスト日時	申請した日時
申請者	申請者名

第 8 章
リクエスト（管理者）

目次

8.1 リクエスト管理(管理者) 94
8.2 承認フロー設定 103

本章では、リクエストメニューについて説明します。

8.1　リクエスト管理（管理者）

リクエスト管理画面では、作成されたリクエスト情報を参照することができます。

また、リクエスト承認可能となっているユーザの場合、未承認リクエストの承認・却下ができます。

なお、テナント代行をしているシステム管理者はリクエストの作成・変更・削除が行えます。

リクエスト方法については、「15.1　リクエスト管理(利用者) (201 ページ)」を参照してください。

8.1.1　リクエスト一覧

メニューから、[リクエスト]－[リクエスト管理]をクリックすることにより、「リクエスト一覧」画面を表示します。

注

リクエスト一覧表示時は、ログインユーザが申請したリクエスト一覧が表示されます。

ログインユーザのリクエスト以外を表示する場合は、検索条件から[申請者]のログインユーザ名を削除して検索するなど、適宜検索してください。



図 8-1　リクエスト管理画面

表 8-1　項目一覧（リクエスト管理画面）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
リクエスト作成	リクエスト作成画面を呼び出す
リクエスト一覧	リクエストの一覧を表示する (テナント管理者、テナントユーザの場合は[テナント名]列は非表示) 一覧の[状態]がエラーとなっている場合、[エラー]リンクをクリックすることにより、エラーメッセージが表示される

リクエストを検索する場合は、リクエスト一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。
なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 8-2　項目一覧（リクエスト一覧検索画面）

項目名	説明
テナント名	テナント名
リクエスト ID	リクエスト ID
リクエスト種別	・作成 ・変更 ・削除 サーバ テナントネットワーク 業務 VLAN パブリック VLAN WAN サービス VLAN SSL-VPN テナント Firewall テナント LoadBalancer を指定して検索(複数選択可)
キーワード	・サーバ名 ・ネットワーク名 を入力して指定(部分指定可)
状態	・承認待ち ・実行待機 ・却下 ・キャンセル済み ・実行中 ・完了 ・エラー を指定して検索(複数選択可)
リクエスト期間	リクエスト期間を指定
申請者	申請者を入力して指定(部分指定可)
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

8.1.2　リクエストの詳細情報を確認する

リクエスト一覧の確認したいリクエスト行をクリックすることにより、詳細情報を表示します。



図 8-2　リクエスト詳細画面

表 8-3　項目一覧（リクエスト）

項目名	説明
テナント名	対象テナント名 ※システム管理者のみ表示
リクエスト ID	リクエスト ID
リクエスト種別	・サーバ作成 ・テナントネットワーク作成 ・業務 VLAN 作成 ・パブリック VLAN 作成 ・WAN サービス VLAN 作成 ・SSL-VPN 作成 ・テナント Firewall 作成 ・テナント LoadBalancer 作成 ・サーバ変更 ・テナント Firewall 変更 ・テナント LoadBalancer 変更 ・サーバ削除 ・テナントネットワーク削除 ・業務 VLAN 削除 ・パブリック VLAN 削除 ・WAN サービス VLAN 削除 ・SSL-VPN 削除 ・テナント Firewall 削除 ・テナント LoadBalancer 削除 のいずれか
テンプレート名	選択されたカタログに使用されている VM テンプレート名
カタログ名	選択されたカタログ名
付加情報	設定ファイルに設定されたテンプレートの付加情報を表示 ※付加情報が設定されていない場合は非表示
リクエスト実行種別	リクエスト申請時に設定した以下のリクエスト実行種別を表示する

項目名	説明
	自動・手動のいずれか
シナリオ実行 ID	ジョブ ID(ワークフロー実行時のシナリオ実行 ID)を表示する
状態	・承認待ち ・実行待機 ・却下 ・キャンセル済み ・実行中 ・完了 ・エラー のいずれか
進捗率	「状態」が実行中・完了の時に進捗率を表示する
サーバ名	作成サーバ名、または変更・削除リクエスト対象サーバ名 ※サーバの場合のみ表示
リソースプール	リソースプール ※サーバ、テナントネットワークの場合のみ表示
リソース状況確認	リクエストで選択済みのリソースプールを初期選択した状態でダイアログを表示するボタン
OS 名	作成または変更・削除するサーバの OS 名 ※サーバの場合のみ表示
業務グループ	申請時に選択した業務グループ 申請時に指定しなかった場合は「指定しない」が表示される ※SE 版のみ
スペック	作成または変更・削除するサーバのスペック ※サーバの場合のみ表示
ディスク	作成または変更・削除するサーバのデータディスク ※サーバの場合のみ表示
ネットワーク	作成または変更・削除するサーバのネットワーク ※サーバの場合のみ表示 「オプション」をクリックすると申請時に設定したオプション項目が表示される
タイムゾーン	申請時に設定したタイムゾーン ※Windows 系 OS のカタログを選択した場合のみ
管理者アカウント	管理者アカウント名
管理者初期パスワード	管理者初期パスワード アイコンをクリックすることによりパスワードの表示・非表示が切り替わる
プロダクトキー	プロダクトキーを表示する Windows 系 OS の場合のみ
ドメインサフィックス	申請時に入力したドメインサフィックス Linux 系 OS の場合のみ
ワークグループ名(ドメイン名)	ワークグループ名もしくはドメイン名 Windows 系 OS のみ表示
ドメインアカウント	ドメインアカウントを指定 Windows 系 OS でワークグループタイプがドメインの場合のみ表示

項目名	説明
ドメインパスワード	ドメインパスワードをマスク表示する Windows 系 OS でワークグループタイプがドメインの場合のみ表示
備考	備考
接続 VLAN	接続 VLAN の以下の情報をリスト表示する ・VLAN 名 ・種別 ・IP アドレス ※パブリック VLAN のサブネットアドレスとサブネットマスクは非表示 ・サブネットマスク ※テナント Firewall、テナント LoadBalancer のみ表示
その他	拡張パラメータの以下の情報をリスト表示する ・パラメータ名 パラメータ値 ※拡張パラメータ設定がされている場合のみ表示
リクエスト日時	リクエストした日時
申請者	リクエストの申請者名
申請コメント	申請時のコメント
次の承認者	次の承認者を表示する。次の承認者がいない場合は、表示しない。(*1) ※リアルタイム更新する ※承認中状態のみに表示
承認者(テナント)	承認フロー設定がパターン1(*2)の場合のみ、承認者名を表示する ※リアルタイム更新する
承認コメント(テナント)	承認フロー設定がパターン1(*2)の場合のみ、承認コメントを表示する ※リアルタイム更新する
承認状態(テナント)一覧 承認フロー設定がパターン2(*2)の場合のみ、承認者の状態を表示する(テナント用承認フロー) ※リアルタイム更新する	
承認順	承認フローの承認順を表示する
承認者	承認者名を表示する。未承認の状態の場合は現時点のユーザ名を表示する。(*3) 承認済みの場合は、承認した時点のユーザ名を表示する。
メールアドレス	承認者のメールアドレスを表示する。(詳細は上記承認者を参照。)
状態	承認者の承認状態を表示する 以下の状態のいずれか 未(未承認/保留中) 済(承認済) 否(否認) －(スキップ)
コメント	承認者のコメントを表示する
承認状態(システム)一覧 承認フロー設定がパターン2(*2)の場合のみ、承認者の状態を表示する(システム用承認フロー) ※リアルタイム更新する	
承認順	承認フローの承認順を表示する
承認者	承認者名を表示する。未承認の状態の場合は現時点のユーザ名を表示する。(*3) 承認済みの場合は、承認した時点のユーザ名を表示する。

項目名	説明
メールアドレス	承認者のメールアドレスを表示する。(詳細は上記承認者を参照。)
状態	承認者の承認状態を表示する 以下の状態のいずれかを表示する 未(未承認/保留中) 済(承認済) 否(否認) -(スキップ)
コメント	承認者のコメントを表示する
操作メニュー	
リクエスト承認	リクエスト承認ダイアログをモーダル表示する ※リアルタイム更新する ※承認者、かつ承認待ち状態でのみ表示
リクエスト却下	リクエスト却下ダイアログをモーダル表示する ※リアルタイム更新する ※承認者、かつ承認待ち状態でのみ表示
再申請	以下の各画面に遷移する サーバ作成(入力)画面 サーバ変更(入力)画面 サーバ削除(確認)画面 ※リアルタイム更新する ※却下リクエストまたはキャンセルリクエストを選択した場合のみ表示する。また、システム管理者(テナントに所属していないユーザ)は表示しない。
リクエスト実行	リクエスト実行ダイアログをモーダル表示する ※リアルタイム更新する ※「実行待機」状態の場合のみ表示する ※申請者、またはテナント管理者のみ表示
キャンセル	キャンセルダイアログをモーダル表示する ※以下の状態の場合のみ表示する 承認待ち 承認済み 実行待機 エラー ※リアルタイム更新する ※申請者、またはテナント管理者のみ表示
エラー状態解除	エラー状態解除ダイアログをモーダル表示する。 ※リアルタイム更新する ※システム管理者、且つエラー状態でのみ表示

*1 承認フロー設定により、そもそも承認者が設定されていない場合は、次の承認者を表示しない。ただし、承認者は設定されているが削除されている場合や、別テナント(事業者含む)に所属している場合は、以下のように表示する

- テナント用承認フローの承認者の順の場合

  (一覧)テナント管理者

  (詳細)存在しないユーザです。テナント管理者に代理承認を依頼してください。

- システム用承認フローの承認者の順の場合

  (一覧)システム管理者

  (詳細)存在しないユーザです。システム管理者に代理承認を依頼してください。

*2 承認フローのパターンについては、「8.2　承認フロー設定(103 ページ)」を参照してください。

*3 未承認状態かつ承認者が削除されている場合や、別テナント(事業者含む)に所属している場合は、「存在しないユーザ」と表示する。

注

システム管理者でログインしテナント代行でリクエスト承認後、リクエスト一覧の「リクエスト作成」リンクが非表示になる場合があります。その場合は、リクエスト管理画面を再表示してください。

注

接続 VLAN の IP アドレスは、常に最新の IP アドレスが表示されます。

8.1.3　リクエストを承認する

1. 「リクエスト詳細」画面にて[リクエスト承認]をクリックします。

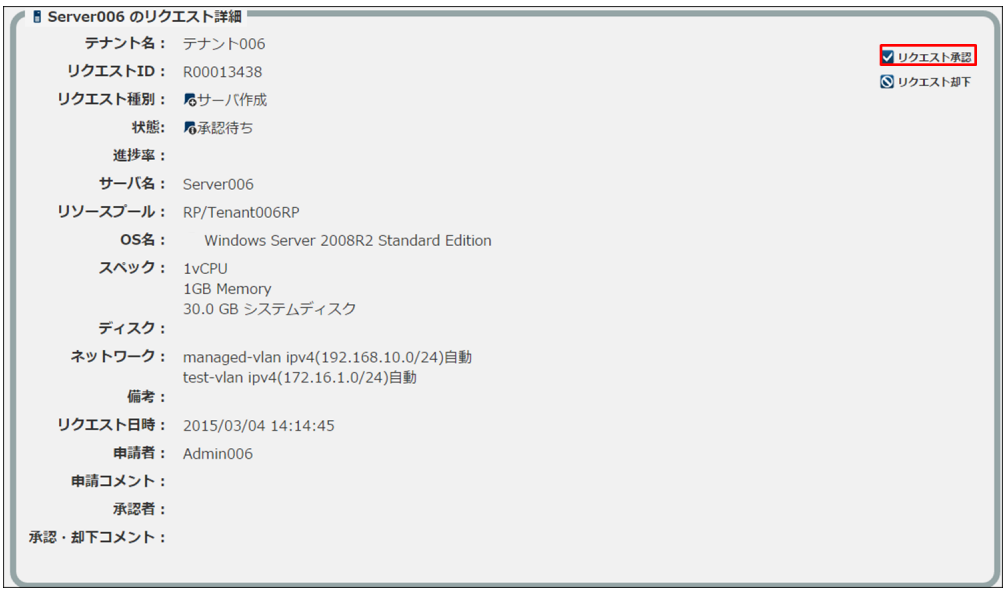


図 8-3　リクエスト詳細画面（承認）

2. リクエスト承認ダイアログを表示します。申請者へのコメントを入力(任意)し、[確認]ボタンを押下することでリクエストを承認します。



図 8-4　承認ダイアログ

注

SSL-VPN の作成、削除と、テナント Firewall の作成、更新、削除を同時に実行することはできません。

8.1.4　リクエストを却下する

1. 「リクエスト詳細」画面にて[リクエスト却下]をクリックします。

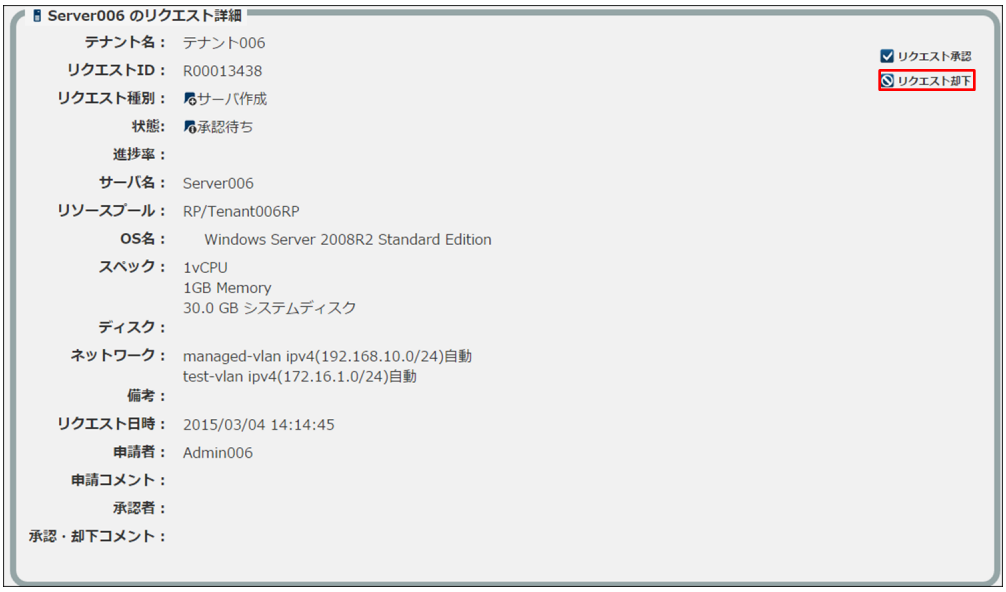


図 8-5　リクエスト詳細画面（却下）

2. リクエスト却下ダイアログが表示されます。申請者へのコメントを入力(任意)し、[確認]ボタンを押下することでリクエストを却下します。



図 8-6　却下ダイアログ

8.1.5　リクエストのエラー解除

システム管理者はリクエストがエラーになった場合、エラー状態解除を実行できます。エラー状態を解除したリクエストは実行待機状態になります。

1. エラーになったリクエストの詳細画面にて「エラー状態解除」をクリックします。



図 8-7　リクエスト詳細画面（エラー状態解除）

2. エラー状態解除ダイアログが表示されます。「確認」ボタンを押下することでエラー状態を解除し実行待機状態にします。

   なお、キャンセルしたリクエストは、リクエスト詳細画面から再申請することが可能です。

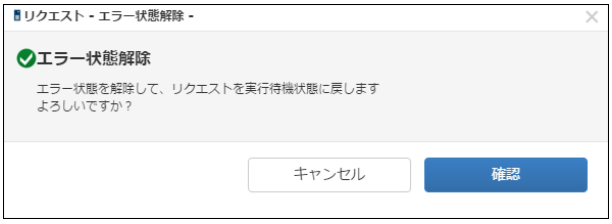


図 8-8　エラー状態解除ダイアログ

8.2　承認フロー設定

本章では、承認フロー設定について説明します。

申請されたリクエストを承認する際、承認者不在時の対応や、組織体系によっては複数人の承認者を設定することが求められます。

本機能は、複数の承認者を登録し、場面に応じた承認の手順を管理します。

また、承認フローを設定することにより、申請者・承認者にメール通知によって承認を促す機能を実現します。

メール通知については、「13.1　メール通知(176 ページ)」を参照してください。

承認フローには「システム用 承認フロー」「テナント用 承認フロー」の 2 種類があります。

- システム用 承認フロー

  本機能は、システム管理者権限を持つユーザのみが操作可能です。

  システム管理者が、システムの承認依頼のフローを設定する際に使用します。

- テナント用 承認フロー

  本機能は、テナント管理者権限を持つユーザのみが操作可能です。

  テナント管理者が、テナント内の承認依頼のフローを設定する際に使用します。

  なお、テナント代行することにより、システム管理者がテナント用承認フローを設定することも可能です。

「システム用承認フロー」の設定方法については「8.2.1　承認フロー設定の承認パターン(103 ページ)」を、「テナント用 承認フロー」の設定方法については「15.2.1　承認フローのパターン(利用者)(227 ページ)」を参照してください。

8.2.1　承認フロー設定の承認パターン

承認フロー設定の承認パターンについて説明します。

- 承認要否設定

  リクエストに対する、承認の要・否を設定します。

  承認を不要とした場合、リクエストを申請すると直ちに自動実行されます。

- 承認条件設定

  承認要否設定が「不要」の場合には操作はありません。

  承認の条件を、承認権限を持つ「全てのユーザ」または「いずれかのユーザ」に設定します。

  「全てのユーザ」を選択した場合は、承認者の登録順に処理が進みます。

  ※システム用承認フローでは「いずれかのユーザ」は設定できません。

表 8-4　承認フロー設定と承認動作の一覧

承認要否	承認条件	承認動作
不要	-	承認操作なし
必要	いずれかのユーザ	承認権限を持ついずれかのユーザが承認することで承認済みとみなす ※システム用承認フローでは設定できません
必要	全てのユーザ	承認フローに設定されている全ての承認者が承認することで承認済みとみなす

- 承認権限および代理承認権限

  リクエストに対する承認動作(承認、却下)は、「承認権限」を保有しているユーザが行います。

  ただし、テナント管理者は、代理で自テナントの承認動作を行うことが可能です。

表 8-5　承認可能権限の一覧

ユーザ	承認フロー設定	テナント用承認フロー		システム用承認フロー	
		承認	却下	承認	却下
(承認権限なし) テナントユーザ	-	-	-	-	-
(承認権限あり) テナントユーザ または テナント管理者	全てのユーザ	可能	可能	-	-
(承認権限あり) テナントユーザ または テナント管理者	いずれかのユーザ	可能	可能	-	-
(承認権限なし) システム管理者	-	-	-	-	-
(承認権限あり) システム管理者	全てのユーザ	-	-	可能	可能
テナント管理者	-	代理	代理	-	-
システム管理者 (テナント代行)	-	代理	代理	-	-

注

- リクエストの申請中に承認フローが変更された場合には、リクエスト申請時点の設定が優先されます。
- 人事異動等で承認者が削除された場合は、その承認者を飛ばして次の承認者へと処理が進みます。
- 承認者ユーザが無効の場合やロック中、承認権がはく奪されていた場合は、有効と同様に処理されます。ただし、承認・却下はできないため、ユーザ編集もしくは代理承認をおこなう必要があります。

8.2.2　システム用承認フロー設定

「システム用承認フロー」は、リクエストに対する「承認要否設定」「承認条件設定」を設定します。承認者は、最大 5 名を登録することが可能です。

1. メニューから、「リクエスト」ー「承認フロー設定」をクリックすることにより、「承認フロー設定」画面が表示されます。

   以下の表を参照し、編集対象のテナントを選択後、「編集」ボタンをクリックします。



図 8-9　システム用承認フロー設定 画面

表 8-6　システム用承認フロー設定 画面

項目名	説明
テナント	編集対象のテナントをプルダウンリストから選択する
承認要否	現在設定されている承認要否
承認完了条件 ※承認要否が「必要」の場合のみ表示	現在の承認完了条件
承認者 ※承認要否が「必要」の場合のみ表示	承認が必要な承認者のユーザ名とメールアドレス(承認順)
編集	承認フロー設定変更(入力)画面を表示する

2. 「承認フロー設定変更(入力)」 画面が表示されます。以下の表を参照し、各項目を設定後、「確定」ボタンをクリックすることにより編集が反映されます。



図 8-10　承認フロー設定変更(入力) 画面

表 8-7　承認フロー設定変更(入力) 画面

項目名	入力規則	初期値	説明
テナント	―	―	編集対象のテナント名

項目名	入力規則	初期値	説明
承認要否	「必要」または「不要」のいずれか	現在の設定状態	承認要否を選択する
承認完了条件 ※承認要否が「必要」の場合のみ表示	―	―	※システム用承認フロー設定の場合は「承認フローに設定されている全ての承認者が承認すること」固定
承認者選択	―	―	承認者の選択ダイアログを開く 「表 8-7　承認フロー設定変更(入力) 画面(105 ページ)」を参照し、承認者を選択する
戻る	―	―	現在の入力内容を破棄し、承認フロー設定画面に遷移する
確定	―	―	承認フロー設定を更新する

承認者選択は5名まで指定可能です。「使用可能」から承認者を選択し、「追加」ボタンをクリックすることで「構成済み」に追加されます。設定したいすべての承認者を選択後、「選択」をクリックします。



図 8-11　承認者の選択ダイアログ

表 8-8　承認者の選択ダイアログ 画面

項目名	説明
使用可能	承認者に設定できるユーザ名一覧
構成済み	承認者として追加されたユーザ名
追加ボタン	「使用可能」にて選択したユーザを「構成済み」に追加する

項目名	説明
除去ボタン	「構成済み」にて選択したユーザを承認者から除外する
キャンセル	現在の設定内容を破棄し、承認フロー設定画面に遷移する
確定	現在の構成済み内容で、承認者を設定する

第 9 章
テナント情報（管理者）

目次

9.1 テナント管理（管理者）..... 109
9.2 ユーザ管理..... 115

本章では、テナント情報メニューについて説明します。

テナント情報メニューには、以下の機能があります。

・テナント管理　：　新規テナントの登録や、登録テナントの確認・編集・削除を行う

・ユーザ管理　：　新規ユーザの登録や、登録ユーザの確認・編集・パスワード変更・削除を行う

9.1　テナント管理（管理者）

本節ではテナント管理メニューについて説明します。

9.1.1　テナント一覧（管理者）

メニューから、[テナント情報]－[テナント管理]をクリックすることにより、テナント一覧画面を表示します。



図 9-1　テナント管理画面

表 9-1　項目一覧（テナント管理画面）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
テナント追加	テナント追加画面を表示する
テナント一覧	テナントの一覧を表示する (テナント管理者、テナントユーザの場合は[テナント名]列は非表示)

テナントを検索する場合は、テナント一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 9-2　項目一覧（テナント一覧検索画面）

項目名	説明
テナント ID	テナント ID
テナント名	テナント名
状態	・有効 ・無効

項目名	説明
	のいずれか
登録日時	登録した日時
備考	備考
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

9.1.2　テナントを追加する

テナントの追加方法を以下に示します。

1. テナント管理画面にて、[テナント追加]をクリックします。



図 9-2　テナント一覧画面

2. 「テナント登録(入力)」画面が表示されます。下記の表を参照し、各項目を入力後[次へ]ボタンを押下します。



図 9-3　テナント登録（入力）画面

表 9-3　項目一覧（テナント登録画面）

項目名	入力規則	初期値	説明
テナント ID	1～15 文字 半角英数字のみ使用可能 ※「root」は使用不可	―	テナント ID ※一意であること
テナント名	1～100 文字	―	テナント名

項目名	入力規則	初期値	説明
	以下は使用不可 ¥ / : . ; * ? ″ < > |		※重複可
状態	―	有効 無効	テナントの有効／無効を選択する
備考	―	―	備考

3. 「テナント登録（確認）」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することによりテナントが追加されます。



図 9-4　テナント登録（確認）画面

4. テナントにサブリソースプールを専有させたい場合は、SigmaSystemCenter からのテナント作成・サブリソースプール設定をします。『SigmaSystemCenter コンフィグレーションガイド』を参照のうえ、以下の手順で設定してください。専有させない場合は本手順は不要です。

   a. SigmaSystemCenter でテナントを作成する

      - 運用ビューからテナント追加を選択し、以下のように入力して登録する
        - 名前：2.でポータルに登録したテナント ID
        - リソース管理 ID：2.でポータルに登録したテナント ID
        - その他の項目は任意で指定する

   b. 専有するサブリソースプールを作成する

      - サブリソースプールを切り出し、以下のように入力して登録する
        - 種別:専有
        - 割当先テナント:a.で作成したテナントを選択
        - その他の項目は任意

また、テナントに割り当てるリソースプールを新たに拡張した場合（ルートリソースプールを作成した場合）、WebSAM vDC Automation にて管理グループにリソースプールを追加する必要があります。リソースプールの追加方法については、『WebSAM vDC Automation コンフィグレーションガイド』の「リソースグループを作成する」を参照してください。

注

テナント ID は 14 文字以下で登録することを推奨します。15 文字で登録した場合、ネットワーク機器の機種によって処理に失敗する場合があります。

9.1.3　テナントの詳細情報を確認する

テナント一覧の確認したいテナント列をクリックすることにより、テナント詳細情報を表示します。



図 9-5　テナント情報詳細画面

表 9-4　項目一覧（テナント詳細）

項目名	説明
テナント ID	テナント ID
テナント名	テナント名
状態	以下の状態のいずれか ・有効 ・無効
登録ユーザ数	当該テナントに登録されているユーザ数
登録日時	登録した日時
備考	備考
管理者	当該テナントの管理者名
テナント変更	[テナント変更(入力)]画面を表示する
テナント削除	[テナント削除(確認)]画面を表示する

9.1.4　テナントを編集する

テナントの編集方法を以下に示します。

1.　テナント詳細画面にて、[テナント編集]をクリックします。



図 9-6　テナント詳細画面

2. 「テナント変更(入力)」画面が表示されます。「9.1.2　テナントを追加する(110 ページ)」の「表 9-3　項目一覧(テナント登録画面)(110 ページ)」を参照し、各項目を編集後[次へ]ボタンを押下します。



図 9-7　テナント変更（入力）画面

[管理者選択]ボタンを押下することにより、「テナント管理者の選択」画面が表示されます。テナントに所属するユーザから管理者を選択します。

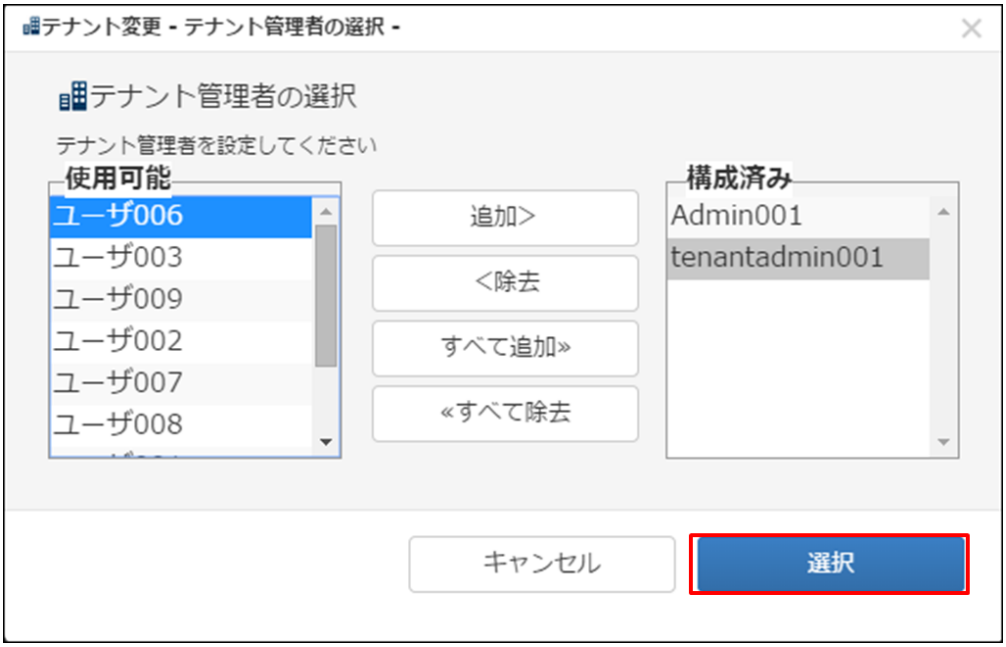


図 9-8　管理者選択画面

3. 「テナント変更（確認）」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 9-9　テナント変更（確認）画面

9.1.5　テナントを削除する

テナントの削除方法を以下に示します。

注

テナントを削除する際は、対象テナント配下の以下を削除してから行ってください。

・サーバ

・ネットワーク

・お知らせ

・ユーザ

・メンテナンス

※なお、お知らせとメンテナンスについては、削除対象テナントを公開先として選択しているお知らせ・メンテナンスのみ削除必須です（全テナント向けのものは削除不要）。

1. テナント詳細画面にて[テナント削除]をクリックします。



図 9-10　テナント詳細画面（削除）

2. 「テナント削除（確認）」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することでテナントを削除します。

   なお、WebSAM vDC Automation に登録されているリソースプールは削除されません。不要な場合は削除してください。



図 9-11　テナント削除（確認）画面

9.2　ユーザ管理

本節では、ユーザ管理メニューについて説明します。

9.2.1　ユーザー覧

メニューから、[テナント情報]－[ユーザ管理]をクリックすることにより、ユーザー覧画面を表示します。

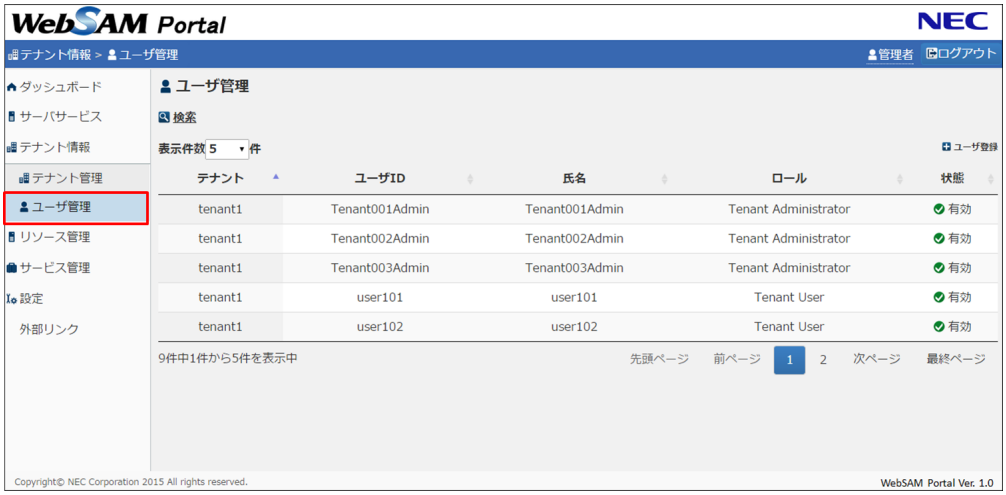


図 9-12　ユーザ管理画面

表 9-5　項目一覧（ユーザ管理画面）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
ユーザ登録	ユーザ登録画面を表示する ※テナントユーザの場合は非表示
ユーザー覧	ユーザの一覧を表示する

ユーザを検索する場合は、ユーザー覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 9-6　項目一覧（ユーザー覧検索画面）

項目名	説明
テナント名	テナント名
氏名	氏名

項目名	説明
ユーザ ID	ユーザ ID
ロール	以下の状態を選択する ・システム管理者 ・テナント管理者 ・テナントユーザ ・リクエスト承認可能
追加するロール	カスタムロールを選択する ロールに「テナントユーザ」を選択した場合のみ有効 カスタムロールが割り当てていないユーザを条件にしたい場合には、「設定されない」を選択する
状態	以下の状態を選択する ・有効 ・無効 ・ロック中
クリア	入力（指定）した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

9.2.2　ユーザを登録する（管理者）

ユーザの追加方法を以下に示します。

1. ユーザ一覧画面にて、[ユーザ登録]をクリックします。

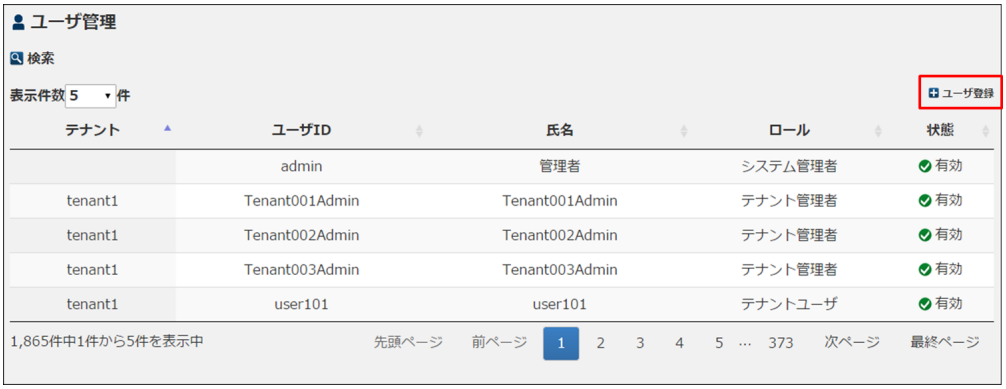


図 9-13　ユーザー一覧画面

2. 「ユーザ登録（入力）」画面が表示されます。下記の表を参照し、各項目を入力後[次へ]ボタンを押下します。

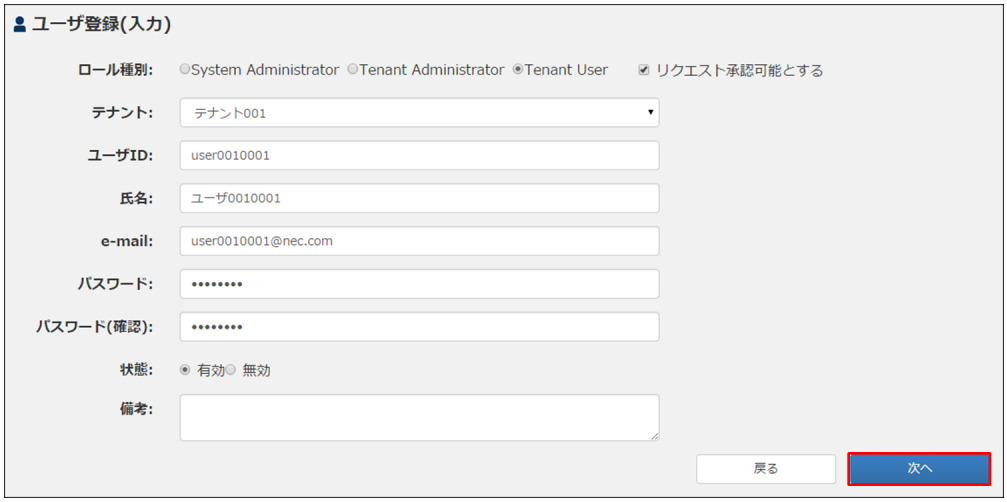


図 9-14　ユーザ登録（入力）画面

表 9-7　項目一覧（ユーザ登録画面）

項目名	入力規則	初期値	説明
テナント	―	―	ユーザを所属させるテナントを選択する ※ロール種別に[システム管理者]を選択した場合は非表示 ※有効になっているテナントのみ表示
ユーザ ID	3～16 文字 半角英数と_(アンダースコア)、-(ハイフン)が使用可能	―	ユーザ ID を入力する
氏名	1024 文字以内	―	氏名(ユーザ名)を入力する
e-mail	e-mail 形式	―	メールアドレスを入力する
パスワード	6 文字以上 16 文字以下 半角英数字と　!"#$%&'()*+,./:;<=>?@[¥]^_`{|}~ - が使用可能	―	ユーザのパスワードを入力する
パスワード(確認)	上記と同じであること	―	ユーザのパスワードを入力する(確認)
ロール種別	―	テナントユーザ	ユーザに付与するロールを選択する ・システム管理者 ・テナント管理者 ・テナントユーザ ・リクエスト承認を可能とする
状態	―	有効	ユーザの状態を選択する ・有効 ・無効
備考	255 文字以内	―	備考

【カスタマイズ】

ロール種別に「テナントユーザ」を選択した場合、カスタムロールを追加することができます。カスタムロールの詳細については、「2.9　ロール設定(37 ページ)」を参照してください。

「使用可能」欄から追加するロールを選択して「追加」ボタンを押下します。追加するロールをすべて選択後、「選択」ボタンを押下します。

なお、すべてのロールを対象とする場合は「すべて追加」ボタンにより全ロールが追加されます。



図 9-15　カスタマイズダイアログ

3. 「ユーザ登録(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することによりユーザが追加されます。

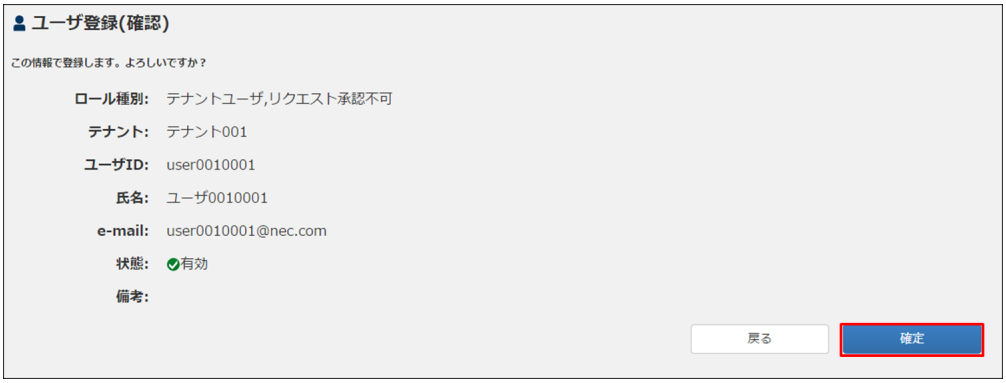


図 9-16　ユーザ登録（確認）画面

9.2.3　ユーザの詳細情報を確認する（管理者）

ユーザ一覧の確認したいユーザ列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。

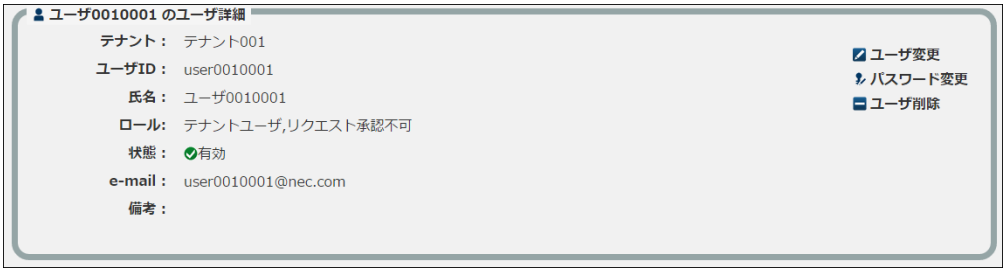


図 9-17　ユーザ情報詳細画面

表 9-8　項目一覧（ユーザ詳細）

項目名	説明
テナント	テナント名 ※システム管理者の場合のみ表示
ユーザ ID	ユーザ ID
氏名	氏名(ユーザ名)
ロール	ユーザ種別、リクエスト承認可否
追加するロール	カスタムロール 種別がテナントユーザの場合のみ表示 カスタムロールが複数の場合にはカンマ区切りで表示
状態	・有効 ・無効 ・ロック中 のいずれか
e-mail	ユーザのメールアドレス
備考	備考
ユーザ変更	ユーザ変更画面を表示する ※ビルトインユーザ、テナントユーザの場合は非表示
パスワード変更	パスワード変更画面を表示する ※ビルトインユーザ、テナントユーザの場合は非表示
ユーザ削除	ユーザ削除画面を表示する ※ビルトインユーザ、テナントユーザの場合は非表示

9.2.4　ユーザ情報を変更する

ユーザ情報の変更方法を以下に示します。

1. ユーザ詳細画面にて、[ユーザ変更]をクリックします。

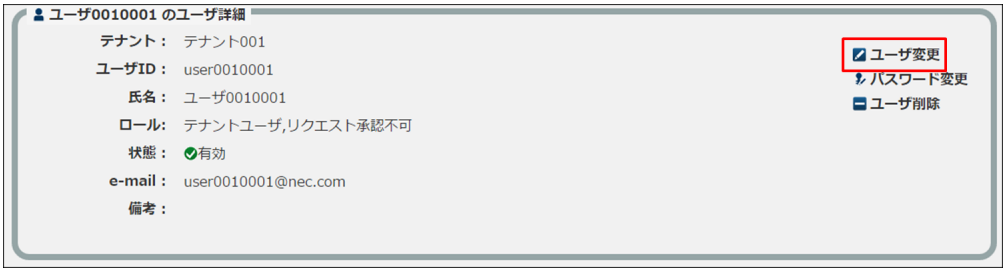


図 9-18　ユーザ詳細画面

2. 「ユーザ変更(入力)」画面が表示されます。「9.2.2　ユーザを登録する(管理者)(116 ページ)」の「表 9-7　項目一覧(ユーザ登録画面)(117 ページ)」を参照し、各項目を編集後[次へ]ボタンを押下します。



図 9-19　ユーザ変更（入力）画面

【カスタマイズ】

ロール種別に「テナントユーザ」を選択した場合、カスタムロールを変更することができます。

「使用可能」欄から追加するロールを選択して「追加」ボタンを押下します。すべてのロールを対象とする場合は「すべて追加」ボタンにより全ロールが追加されます。「構成済み」欄から除去するロールを選択して「除去」ボタンを押下します。すべてのロールを対象とする場合は「すべて除去」ボタンにより全ロールが除去されます。 追加または除去するロールをすべて選択後、「選択」ボタンを押下します。



図 9-20　カスタマイズダイアログ

注

ビルトインユーザのユーザ情報変更は、システム管理者のみ操作可能、状態のみ変更可能です。

3. 「ユーザ変更(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 9-21　ユーザ変更（確認）画面

注

ユーザの氏名を変更しても、それ以前に登録されたリクエスト、メンテナンス、お知らせ、運用作業履歴の登録者情報には反映されません。

9.2.5　パスワードを変更する

パスワードの変更方法を以下に示します。

1. ユーザ詳細画面にて、[パスワード変更]をクリックします。



図 9-22　ユーザ詳細画面

2. 「パスワード変更(入力)」画面が表示されます。「9.2.2　ユーザを登録する(管理者)(116 ページ)」のパスワード入力規則を参照して変更後[次へ]ボタンを押下します。



図 9-23　パスワード変更（入力）画面

3. 「パスワード変更(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 9-24　パスワード変更（確認）画面

9.2.6　ユーザを削除する

ユーザの削除方法を以下に示します。

1. ユーザ詳細画面にて、[ユーザ削除]をクリックします。

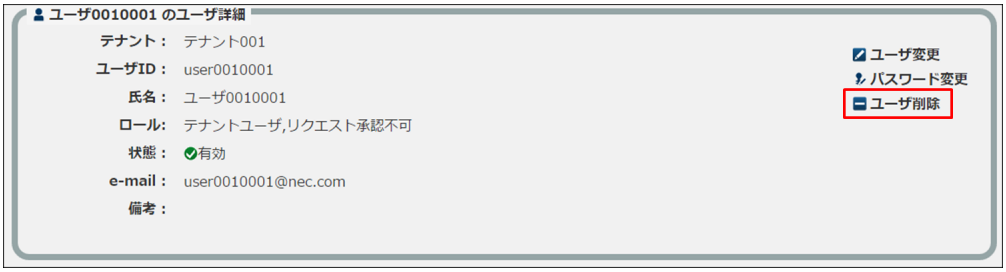


図 9-25　ユーザ詳細画面

2. 「ユーザ削除(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することでユーザを削除します。



図 9-26　ユーザ削除画面

第 10 章
リソース管理

目次

10.1 リソース状況 125
10.2 サーバ管理(管理者) 126
10.3 運用作業履歴(管理者) 132

本章では、リソース管理メニューについて説明します。

リソース管理メニューには、以下の機能があります。

- リソース状況　：　リソースプールの状況確認を行う
- サーバ管理　：　サーバの管理を行う
- 運用作業履歴　：　運用作業履歴を確認する

10.1　リソース状況

リソースプール状況を表示します。

また、各リソースプールが保持しているリソースの消費情報を確認することができます。

10.1.1　リソース状況の確認

メニューから、「リソース管理」－「リソース状況」をクリックすることにより、リソース状況画面を表示します。

リソースプールツリーのリソースプールをクリックすることにより、右枠にリソースプール詳細が表示されます。

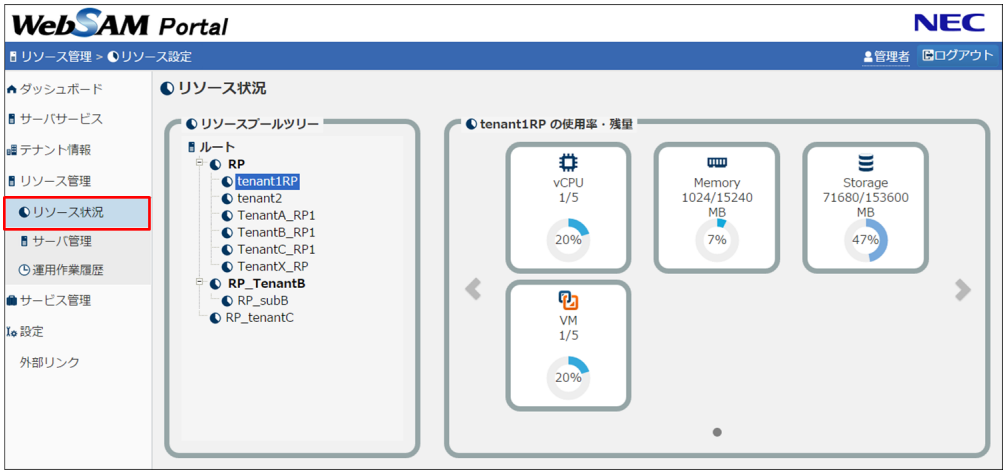


図 10-1　リソース状況画面

表 10-1　項目一覧（リソース状況）

項目名	説明
リソースプールツリー	リソースプール一覧 クリックで選択およびリソース消費情報を表示する
リソーススライダー	スライダーで各リソースを表示する
リソース名	リソース名 ※リソース名の横に旗マークがあるリソースは専有リソースを表す
リソース使用値	リソースの使用値を以下の形式で表示する 使用値／総量
リソース単位	リソースの単位

項目名	説明
リソース使用率(円グラフ)	リソースの使用率を円グラフで表示する

10.2　サーバ管理（管理者）

本節では、サーバ管理メニューについて説明します。

システム管理者は、登録されたサーバの一覧・詳細確認を行うことができます。

なお、テナント代行をしているシステム管理者はサーバの作成・変更・削除・電源操作が行えるようになります。

詳細は、「18.3　サーバ管理(利用者) (406 ページ)」を参照してください。

10.2.1　サーバー覧

メニューから、[リソース管理]－[サーバ管理]をクリックすることにより、サーバ一覧画面を表示します。



図 10-2　サーバー覧画面

表 10-2　項目一覧（サーバー覧画面）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
サーバ一覧	サーバ一覧を表示する 一覧の[状態]がエラーとなっている場合、[エラー]リンクをクリックすることにより、エラーメッセージが表示される

サーバを検索する場合は、サーバ一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 10-3　項目一覧（サーバー覧検索画面）

項目名	説明
テナント名	テナント名
サーバ ID	サーバ ID
サーバ名	サーバ名
業務グループ ※	業務グループ名

項目名	説明
ロケーション	当該サーバの所在地
状態(複数選択可)	・起動中 ・停止中 ・電源オフ中 ・再起動中 ・サスペンド ・その他 ・削除済み ・エラー を選択する
OS	OS
リソースプール	当該サーバのリソースプール名
備考	備考
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

※ WebSAM vDC Automation ポータルでは、業務グループ名の取得・表示はできません。

10.2.2　サーバの詳細情報を確認する

サーバ一覧の確認したいサーバ列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。

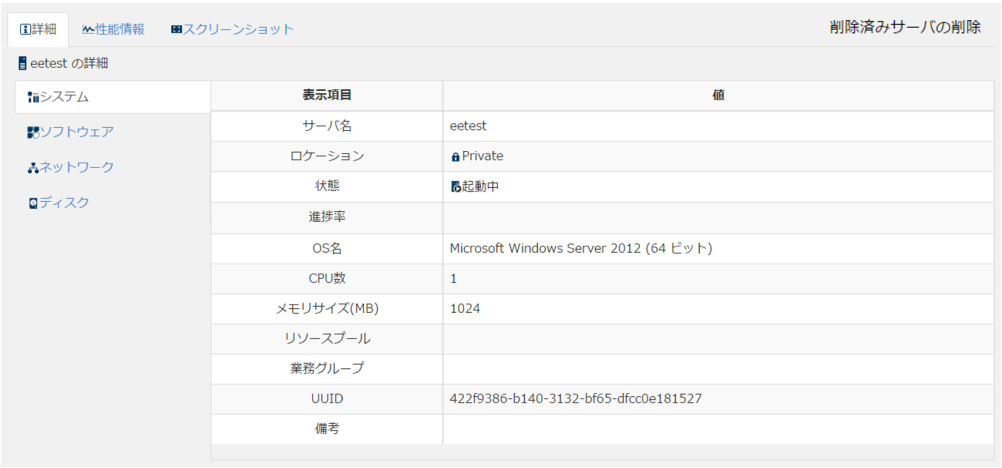


図 10-3　サーバ詳細画面

詳細情報では以下の情報が確認できます。

●詳細タブ

- システム
- ソフトウェア
- ネットワーク
- ディスク

●性能情報タブ

●スクリーンショットタブ

10.2.2.1　【詳細（システム）】

一覧からサーバをクリックした初期画面、または詳細画面表示中に[システム]タブをクリックすることにより、システム情報を表示します。

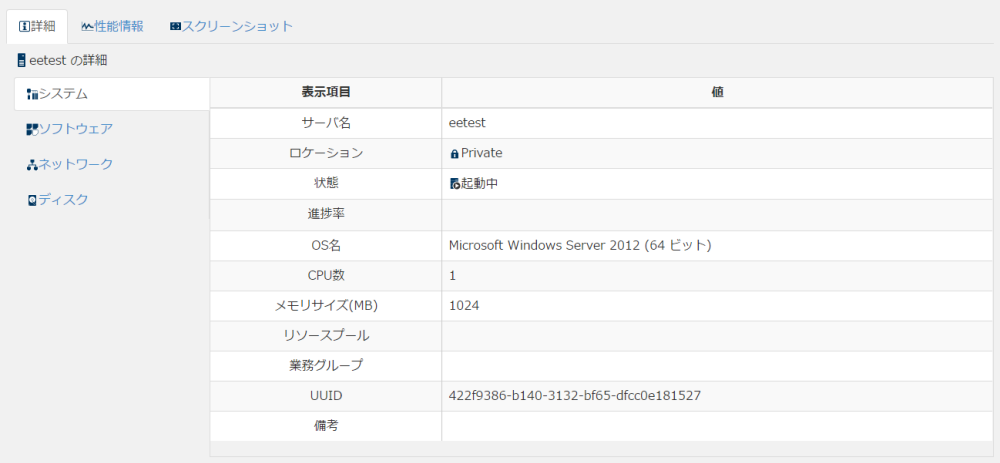


図 10-4　サーバ情報詳細画面（システム）

表 10-4　項目一覧（システム）

項目名	説明
サーバ名	サーバ名
ロケーション	当該サーバの所在地
状態	以下のいずれか 起動中 停止中 電源オフ中 再起動中 サスペンド 削除済み
進捗率	上記の状態に対する進捗率
OS 名	OS 名
CPU 数	CPU 数
メモリサイズ(MB)	メモリサイズ を MB で表示する
リソースプール	リソースプール名
業務グループ※	業務グループ名
UUID	サーバの UUID
備考	備考

※ WebSAM vDC Automation ポータルでは、業務グループ名の取得・表示はできません。

10.2.2.2　【詳細（ソフトウェア）】

一覧からサーバをクリックした初期画面、または詳細画面表示中に[ソフトウェア]タブをクリックすることにより、ソフトウェア情報を表示します。



図 10-5　サーバ情報詳細画面（ソフトウェア）

表 10-5　項目一覧（ソフトウェア）

項目名	説明
ソフトウェア名	選択したソフトウェア名
バージョン	ソフトウェアのバージョン
種類	ソフトウェアの種類を表示する 以下のいずれか ・アプリケーション ・パッチ

10.2.2.3　【詳細（ネットワーク）】

詳細画面表示中に[ネットワーク]タブをクリックすることにより、ネットワーク情報を表示します。



図 10-6　サーバ情報詳細画面（ネットワーク）

表 10-6　項目一覧（ネットワーク）

項目名	説明
インターフェース名	インターフェース名
IP アドレス	IP アドレス
MAC アドレス	MAC アドレス

10.2.2.4　【詳細（ディスク）】

詳細画面表示中に[ディスク]タブをクリックすることにより、ディスク情報を表示します。



図 10-7　サーバ情報詳細画面（ディスク）

表 10-7　項目一覧（ディスク）

項目名	説明
スロット	ディスク位置
タイプ	ディスクの種類 ・システムディスク ・拡張ディスク
ディスクタイプ	ディスクタイプ ・Thin ディスク ・Thick ディスク
ディスクファイル名	LUN 名またはディスクファイル名
総量(KB)	総量を KB で表示する

10.2.2.5　【性能情報】

一覧からサーバをクリックし、詳細画面表示中に[性能情報]タブをクリックすることにより、性能情報を表示します。

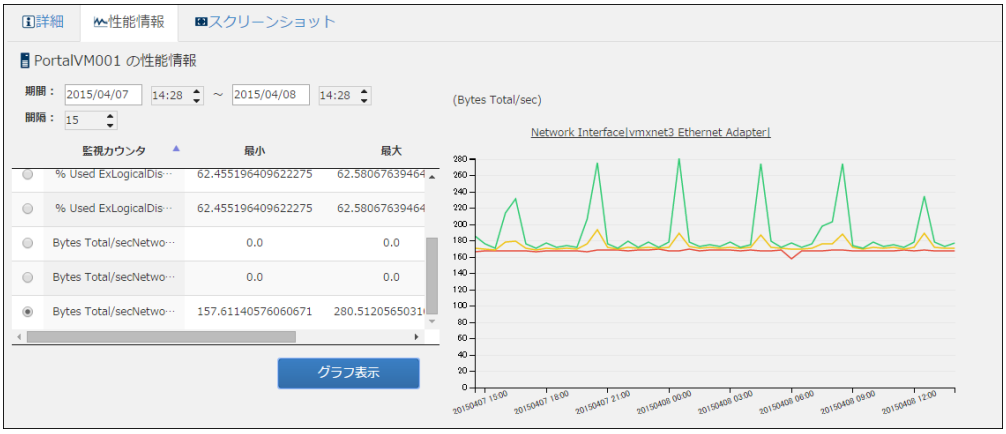


図 10-8　性能情報画面

表 10-8　項目一覧（ソフトウェア）

項目名	説明
期間	サーバ性能情報を表示する期間を設定する
間隔	グラフ情報を取得する間隔を設定する (1-1440 まで　単位:分)
カウンター一覧	
監視カウンタ	グラフ表示可能なカウンタ名 ラジオボタンにて表示するカウンタを選択する
最小	最小グラフの最小値を表示する
最大	最大グラフの最大値を表示する
平均	平均グラフの平均値を表示する
グラフ表示	すべての最小、最大、平均をクリアする 期間、間隔、選択中のカウンタの性能情報を取得し、更新してグラフ表示する
性能グラフ	カウンター一覧で選択されたカウンタのグラフを表示する マウスオーバーすることにより、以下を表示する ・カウンタ値 ・プロット値 ・当該グラフの最小、最大、平均値 X 軸は日時、Y 軸は単位値を表示する

10.2.2.6　【スクリーンショット】

一覧からサーバをクリックし、詳細画面表示中に[スクリーンショット]タブをクリックすることにより、サーバのスクリーンショットを表示します。

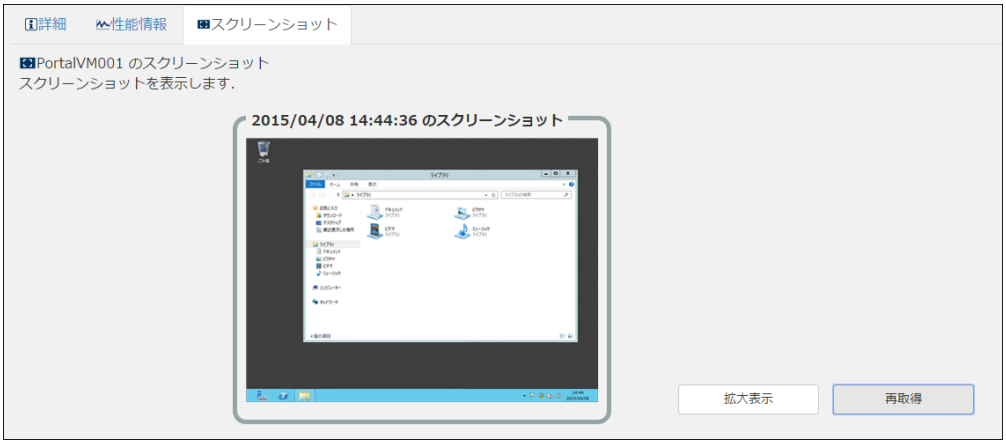


図 10-9　スクリーンショット画面

表 10-9　項目一覧（スクリーンショット）

項目名	説明
スクリーンショット画像	[スクリーンショット]タブ押下時、または[再取得]ボタン押下時に取得したスクリーンショットを表示する 画像をクリックすることで拡大表示する
拡大表示	スクリーンショットを拡大表示する 拡大表示後は[閉じる]ボタンでダイアログを閉じる
再取得	再度スクリーンショットを取得して表示する

10.3　運用作業履歴（管理者）

運用作業履歴では、全ユーザのサーバ電源操作履歴を参照できます。

10.3.1　運用作業履歴一覧（管理者）

メニューから、[リソース管理]－[運用作業履歴]をクリックすることにより、運用作業履歴一覧画面を表示します。



図 10-10　運用作業履歴一覧画面

表 10-10　項目一覧（運用作業履歴）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
運用作業履歴	運用作業履歴一覧を表示する

運用作業履歴を検索する場合は、運用作業履歴一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 10-11　項目一覧（運用作業履歴一覧検索画面）

項目名	説明
テナント名	テナント名
運用作業 ID	運用作業 ID ※複数サーバに対して操作を実施した場合は、同一の運用作業 ID とする
運用作業期間	運用作業期間
サーバ名	サーバ名
リソースプール	当該サーバのリソースプール名
ロケーション	当該サーバの所在地
実行内容	以下の実行内容から選択する ・起動 ・シャットダウン ・電源オフ ・再起動 ・同期(追加) ・同期(更新) ・同期(削除) ・その他
実行結果	実行結果を選択する ・成功 ・失敗
実行者	実行者
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

10.3.2　運用作業履歴の詳細情報を確認する（管理者）

運用作業履歴一覧の確認したい作業履歴列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。



図 10-11　運用作業履歴詳細画面

表 10-12　項目一覧（運用作業履歴詳細）

項目名	説明
テナント名	テナント名 ※システム管理者のみ表示
運用作業 ID	運用作業 ID
開始日時	開始日時
終了日時	終了日時
サーバ名	サーバ名
リソースプール	当該サーバのリソースプール名
ロケーション	当該サーバの所在地
実行内容	以下のいずれかの実行内容を表示する ・起動 ・シャットダウン ・電源オフ ・再起動 ・汎用オペレーションで設定した操作
実行結果	以下のいずれかの実行結果を表示する ・成功 ・失敗
実行結果詳細	実行結果の詳細
実行者	実行者

第 11 章
監視(管理者)

目次

11.1 システムメッセージ 136
11.2 設定 144

本章では監視メニュー(管理者)について説明します。

11.1　システムメッセージ

本項ではシステムメッセージについて記載します。

メニューから、[監視]－[システムメッセージ]をクリックすることにより、「システムメッセージ」画面が表示されます。

「システムメッセージ」画面では、システムの稼働状況等のシステムに関するメッセージの閲覧と、メッセージに対する確認状態変更、マーク付与、コメント編集の操作をすることができます。 条件を指定してメッセージを検索することもできます。

[自動更新]チェックボックスをオンにすると、システムメッセージの一覧が 30 秒毎に自動更新されます。



図 11-1　「システムメッセージ」画面

11.1.1　メッセージ一覧の表示

本項ではシステムメッセージの一覧を表示させる方法および各項目の内容を説明します。

メニューから、[監視]－[システムメッセージ]をクリックすることにより、「システムメッセージ」画面が表示されます。

「システムメッセージ」画面には未確認状態のシステムメッセージの一覧が表示されます。

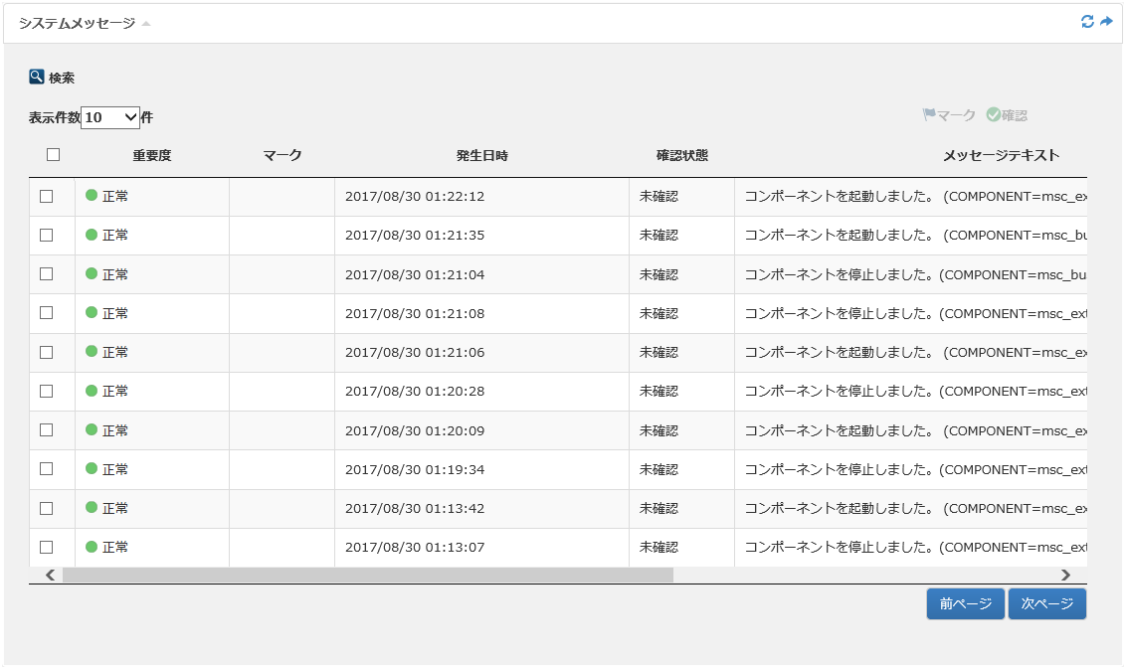


図 11-2　メッセージパネルとメッセージ一覧

「システムメッセージ」画面に表示される項目、ボタンは以下の通りです。

表 11-1　項目一覧（「システムメッセージ」画面 メッセージパネル）

項目名	説明
メッセージトグル	メッセージパネルを開閉します。
更新ボタン	メッセージパネルを更新します。
ウィジェット追加ボタン	現在表示されているメッセージパネルをダッシュボードにウィジェットとして貼り付けます。
検索トグル	検索条件を開閉します。初期表示時は閉じています。
表示件数	一覧に表示されるメッセージの1ページ当たりの表示件数です。 表示件数は 10, 100, 500, 1000 のいずれかから選択可能です。
マークボタン	選択したメッセージにマークを付けます。
確認ボタン	選択したメッセージの確認状態を変更します。
前ページボタン	表示されているメッセージより新しいメッセージを表示します。
次ページボタン	表示されているメッセージより古いメッセージを表示します。

「システムメッセージ」画面のメッセージ一覧に表示される項目、ボタンは以下の通りです。

表 11-2　項目一覧（「システムメッセージ」画面 メッセージ一覧）

項目名	説明
チェックボックス	チェックされたメッセージが操作対象となります。
重要度	重要度を表示します。
マーク	マークを表示します。
発生日時	発生日時を表示します。
確認状態	確認状態を表示します。
メッセージテキスト	メッセージテキストを表示します。

項目名	説明
アプリケーション	アプリケーションを表示します。
オブジェクト	オブジェクトを表示します。
メッセージ ID	メッセージ ID を表示します。

11.1.2　メッセージの検索

本項ではシステムメッセージを検索する方法を説明します。

「システムメッセージ」画面の[検索]トグルを押下することで検索条件を指定できる項目が表示されます。

検索条件を指定し[検索]ボタンを押下することで検索条件に該当するメッセージが一覧で表示されます。 検索条件として文字列を指定する項目（メッセージテキスト、メッセージ概要）は、正規表現で検索されます。

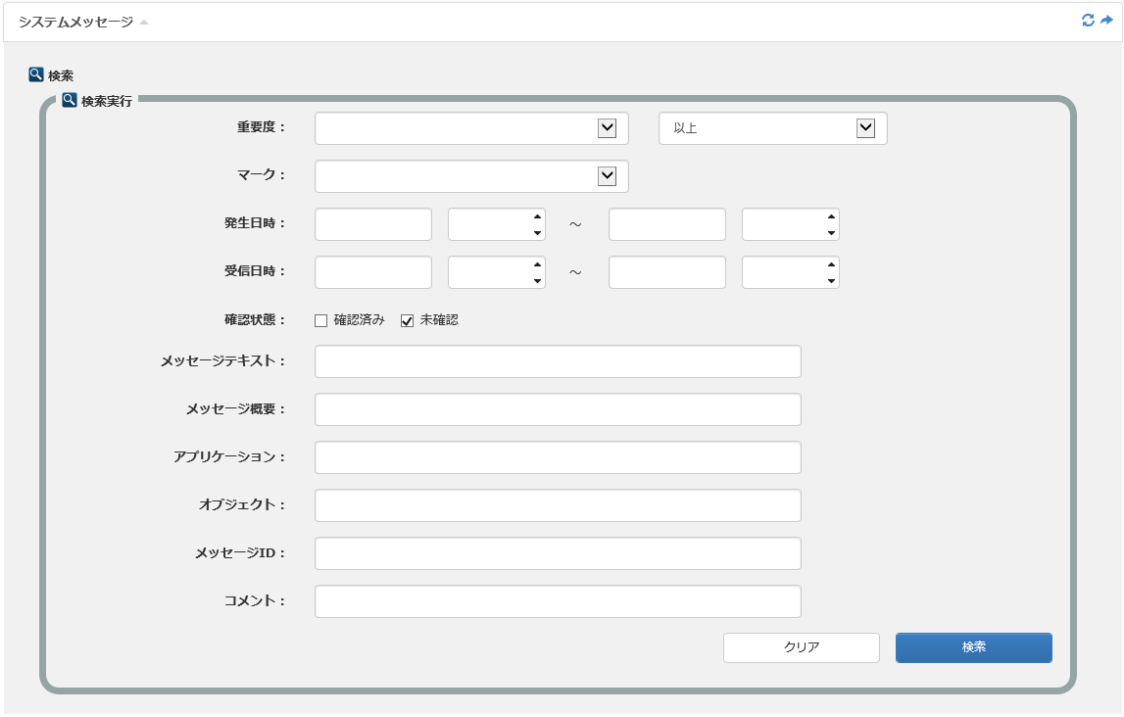


図 11-3　「システムメッセージ」画面 検索

表 11-3　項目一覧（「システムメッセージ」画面 検索）

項目名	入力規則	説明
重要度	―	選択された重要度と重要度の範囲（以上、等しい、以下）が検索対象となります。選択されない場合は、全ての重要度が検索対象となります。
マーク	―	選択されたマークが検索対象となります。選択されない場合は、全てのマークが検索対象となります。
発生日時	1970/01/01　00:00:00　～ 2999/12/31 23:59:59	選択、もしくは入力した発生日時が検索対象となります。 監視対象のサーバマシンで、エージェントがメッセージを生成した日時です。 タイムゾーンは、マネージャ（Manager）のシステム時刻に依存します。

項目名	入力規則	説明
受信日時	1970/01/01　00:00:00　～ 2999/12/31 23:59:59	選択、もしくは入力した受信日時が検索対象となります。監視対象のサーバマシンで生成されたメッセージを、マネージャが受信した日時です。タイムゾーンは、マネージャ(Manager)のシステム時刻に依存します。
確認状態	―	チェックされた確認状態(確認済み、未確認)が検索対象となります。必ず 1 つ以上にチェックを入れる必要があります。
メッセージテキスト	1024 文字以内	入力したメッセージテキストが検索対象となります。
メッセージ概要	256 文字以内	入力したメッセージ概要が検索対象となります。
アプリケーション	1024 文字以内	入力したアプリケーションが検索対象となります。
オブジェクト	1024 文字以内	入力したオブジェクトが検索対象となります。
メッセージ ID	128 文字以内	入力したメッセージ ID が検索対象となります。
コメント	1024 文字以内	入力されたコメントが検索対象となります。
クリア	―	入力(指定)した値を初期値へ戻します。
検索	―	ボタン押下で検索を実施します。

11.1.3　メッセージ詳細の表示

本項ではシステムメッセージの詳細を表示させる方法および各項目の内容を説明します。

「システムメッセージ」画面のメッセージ一覧に表示されているメッセージを選択すると、メッセージ詳細が表示されます。

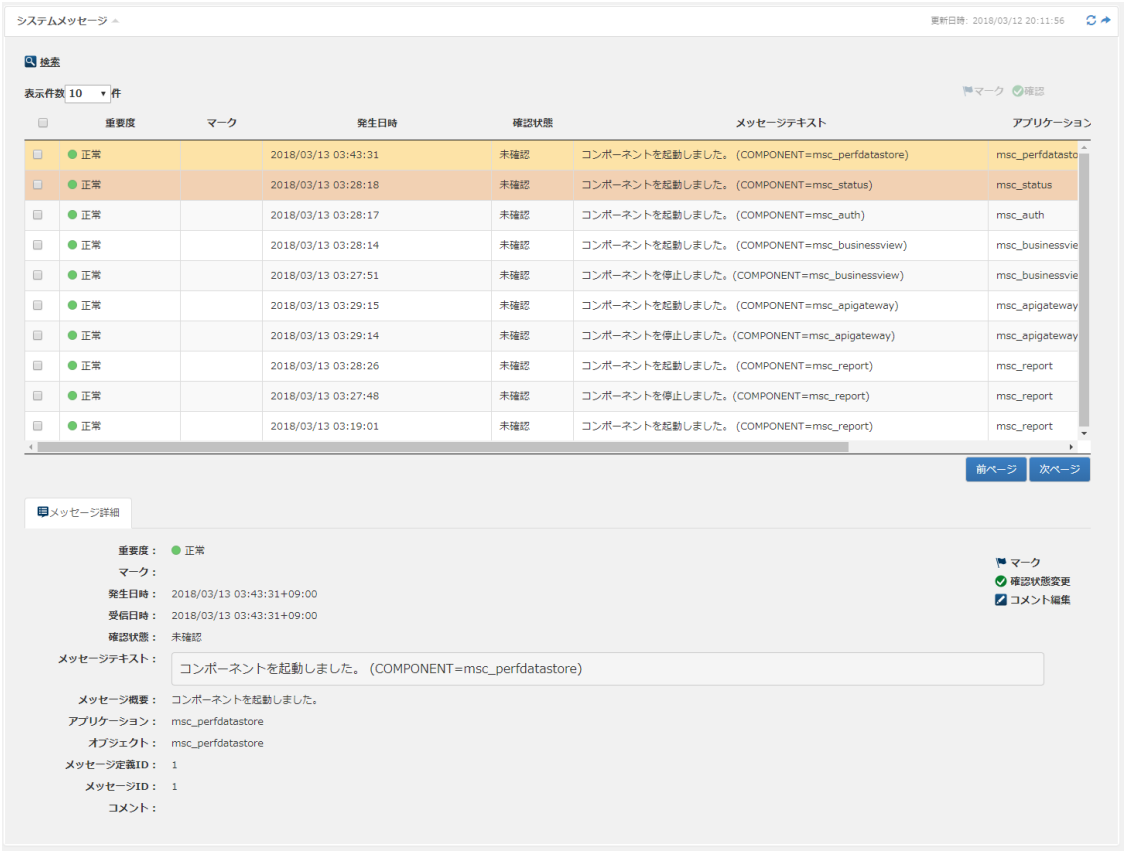


図 11-4　「システムメッセージ」画面 メッセージ詳細

メッセージ詳細に表示される項目の内容は以下の通りです

表 11-4　項目一覧（「システムメッセージ」画面 メッセージ詳細）

項目名	説明
重要度	重要度を表示します。
マーク	マークを表示します。
発生日時	発生日時を表示します。監視対象のサーバマシンで、エージェントがメッセージを生成した日時です。
受信日時	受信日時を表示します。監視対象のサーバマシンで生成されたメッセージを、マネージャが受信した日時です。
確認状態	確認状態を表示します。
メッセージテキスト	メッセージテキストを表示します。
メッセージ概要	メッセージ概要を表示します。
アプリケーション	アプリケーションを表示します。
オブジェクト	オブジェクトを表示します。
メッセージ定義 ID	メッセージ定義 ID を表示します。
メッセージ ID	メッセージ ID を表示します。
コメント	コメントを表示します。
マークボタン	マークを付けます。
確認状態変更ボタン	確認状態を変更します。
コメント編集ボタン	コメントを編集します。

11.1.4　メッセージの確認状態の変更

本項ではメッセージの確認状態の変更方法を説明します。

メッセージの確認状態の変更方法は以下の 2 種類の方法が存在します。

- 変更方法 1

1. メッセージ一覧の操作対象メッセージのチェックボックスにチェックを入れ、[確認]ボタンを押下します。
2. [確認]ボタンの下に確認状態が表示されるため、変更したい状態を押下します。

   なお、複数のメッセージに対してチェックを入れることで同時に複数のメッセージの確認状態を変更することが可能です。



図 11-5　確認状態の変更 方法 1

- 変更方法 2

1. メッセージ一覧の操作対象メッセージを押下します。
2. メッセージ詳細が表示されるため、[確認状態変更]ボタンを押下します。



図 11-6　確認状態の変更 方法 2

3. 「確認状態変更」ダイアログが表示されるため、[確定]ボタンを押下します。

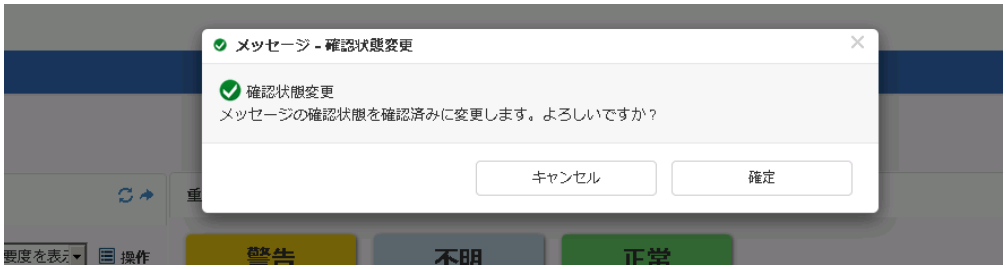


図 11-7　「確認状態変更」ダイアログ

11.1.5　メッセージへのマーク付与

本項ではメッセージに対するマークの付与方法を説明します。

メッセージに対するマークの付与方法は以下の 2 種類の方法が存在します。

- 付与方法 1

  1. メッセージ一覧の操作対象メッセージのチェックボックスにチェックを入れ、[マーク]ボタンを押下します。
  2. 「マーク付け」ダイアログが表示されるため、付与したいマークを選択し、[確定]ボタンを押下します。

     なお、複数のメッセージに対してチェックを入れることで同時に複数のメッセージにマークを付与することが可能です。



図 11-8　マークの付与 方法 1

- 付与方法 2

  1. メッセージ一覧の操作対象メッセージを押下します。
  2. メッセージ詳細が表示されるため、[マーク]ボタンを押下します。



図 11-9　マークの付与 方法 2

3. 「マーク付け」ダイアログが表示されるため、付与したいマークを選択し、[確定]ボタンを押下します。

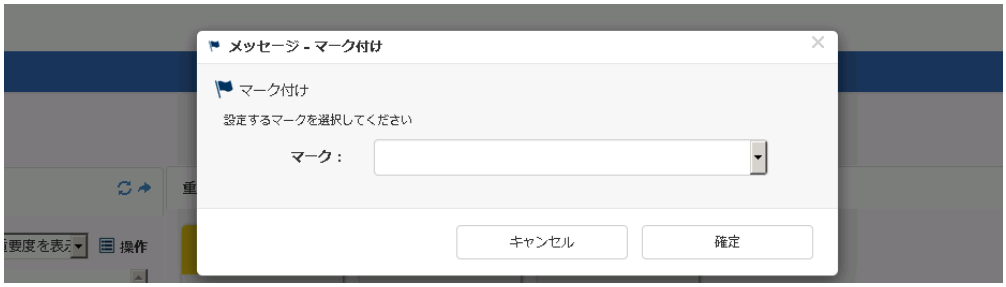


図 11-10　「マーク付け」ダイアログ

11.1.6　メッセージのコメント編集

本項ではメッセージのコメントの編集方法を説明します。

1. メッセージ一覧の操作対象メッセージを押下します。
2. メッセージ詳細が表示されるため、[コメント編集]ボタンを押下します。



図 11-11　コメント編集

3. 「コメント編集」ダイアログが表示されるため、コメントを入力し、[確定]ボタンを押下します。



図 11-12　「コメント編集」ダイアログ

11.2　設定

本項では設定機能について説明します。

メニューから、[監視]－[設定]をクリックすることにより、「設定」画面が表示されます。

11.2.1　ノード監視

本項では監視対象のノードの一覧を表示するための「ノード監視」画面について説明します。

メニューから、[監視]-[設定]-[ノード監視]タブをクリックすることにより、「ノード監視」画面が表示されます。

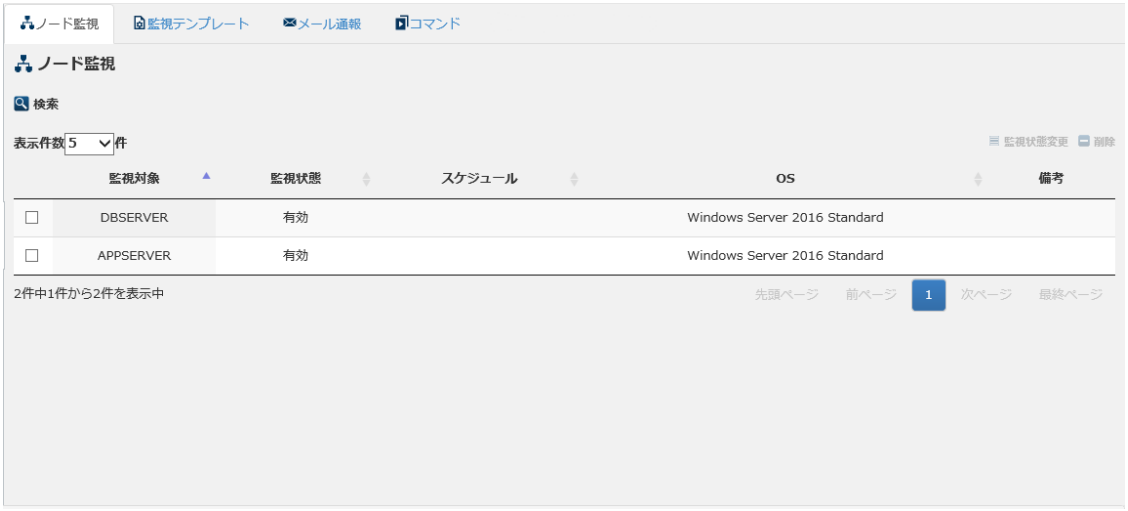


図 11-13　ノード監視画面

表 11-5　項目一覧（監視一覧）

項目名	説明
監視対象	監視対象サーバの監視エージェント名を表示します。
監視状態	監視の状態を表示します。 • 有効 • 無効
スケジュール	監視スケジュールの定義名を表示します。
OS	監視対象サーバの OS を表示します。
備考	監視設定に対する備考を表示します。

注

- ノード監視画面には、SystemManager G 8.0 ビュー上で「未登録のホスト」として登録されているノードは表示されません。「未登録のホスト」に登録されているノードは任意のトポロジグループに移動してください。

11.2.1.1　テナント割り当て

監視一覧画面には、監視一覧表右上部にテナント割り当てリンクがあります。監視一覧で監視対象のチェックボックスをチェックするとテナント割り当てリンクが有効になります。（複数の監視対象をチェック可能）

テナント割り当てリンクをクリックすると、以下のようなテナント割り当てダイアログが表示されます。本ダイアログを使用して、監視対象（監視エージェント）をテナントに割り当てることで、割り当て先のテナントユーザがその監視対象の監視設定を行えるようになります。

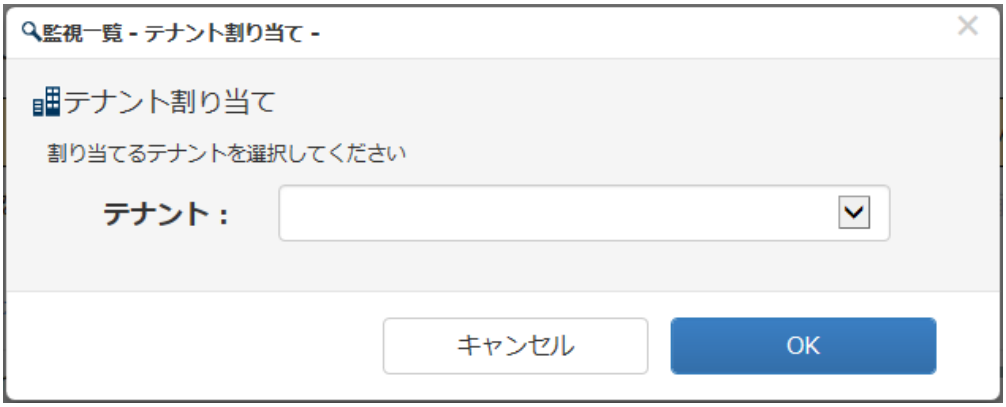


図 11-14　テナント割り当てダイアログ

表 11-6　項目一覧（テナント割り当て）

項目名	説明
テナント	割り当てるテナントをプルダウンリストから選択する。 空欄を選択した場合、割り当てを解除する。
キャンセル	テナント割り当てをせずにダイアログを終了する
OK	テナント割り当てを行いダイアログを終了する

11.2.1.2　監視設定削除

本項では監視設定の削除方法について説明します。

「ノード監視」画面には、監視一覧表右上部に[削除]リンクがあります。ノード一覧で監視対象のチェックボックスをチェックすると[削除]リンクが有効になります。(複数の監視対象をチェックした場合も有効になります。)

[削除]リンクをクリックすると、以下のような「監視設定削除」ダイアログが表示され、選択中の監視対象の監視設定を全て削除することができます。

注

- 削除した監視設定は元に戻せません。誤って削除してしまった場合、全ての監視設定を登録し直す必要がありますのでご注意ください。

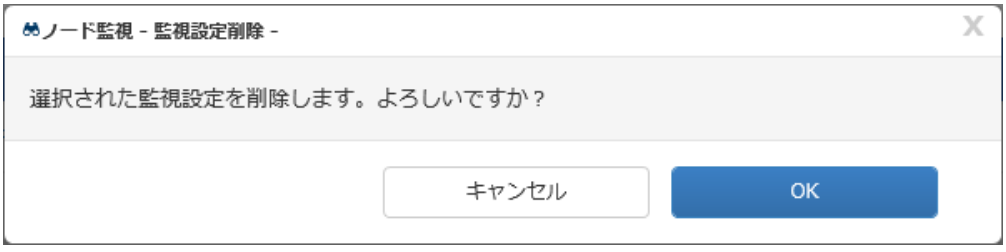


図 11-15　「監視設定削除」ダイアログ

表 11-7　項目一覧（「監視設定削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	監視設定を削除せずにダイアログを閉じます。

項目名	説明
OK	監視設定を削除してダイアログを閉じます。

11.2.1.3　詳細タブ

本項では監視設定の詳細情報の参照方法について説明します。

ノード監視一覧で監視対象の行をクリックすると、該当する監視設定の詳細情報が詳細タブに表示されます。

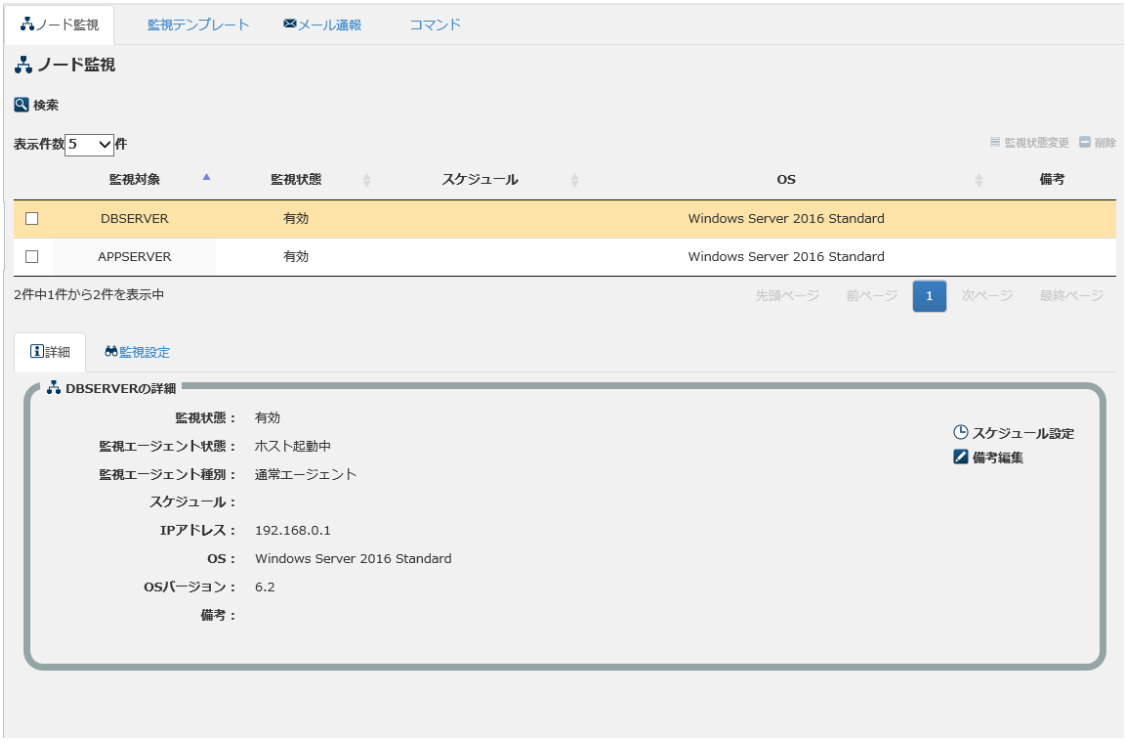


図 11-16　詳細タブ

表 11-8　項目一覧（詳細タブ）

項目名	説明
監視状態	監視の状態を表示します。 • 有効 • 無効
監視エージェントの状態	監視エージェントの状態を表示します。エージェントが存在しない場合は、[削除済み]と表示されます。
監視エージェント種別	監視エージェントの種別を表示します。 • 通常エージェント 通常の監視エージェント • リモートホスト エージェントレスのホスト(リモート監視エージェントにより監視されます)
スケジュール	監視スケジュールの定義名を表示します。
スケジュール状態	スケジュールが設定されている場合その状態を示します。以下のいずれかの状態を表示します。

項目名	説明
	• 稼働中 • 停止中
IP アドレス	監視対象サーバの IP アドレスを表示します。
OS	監視対象サーバの OS を表示します。
備考	監視設定に対する備考を表示します。
スケジュール設定	クリックすると「スケジュール設定」ダイアログを表示します。
備考編集	クリックすると「備考編集」ダイアログを表示します。

スケジュール設定

本項では監視のスケジュール設定方法について説明します。

[スケジュール設定]リンクをクリックすると、以下のような「スケジュール設定」ダイアログが表示されます。本ダイアログを利用して、監視対象(監視エージェント)にスケジュールを設定することで、指定した期間に監視を行うことができます。

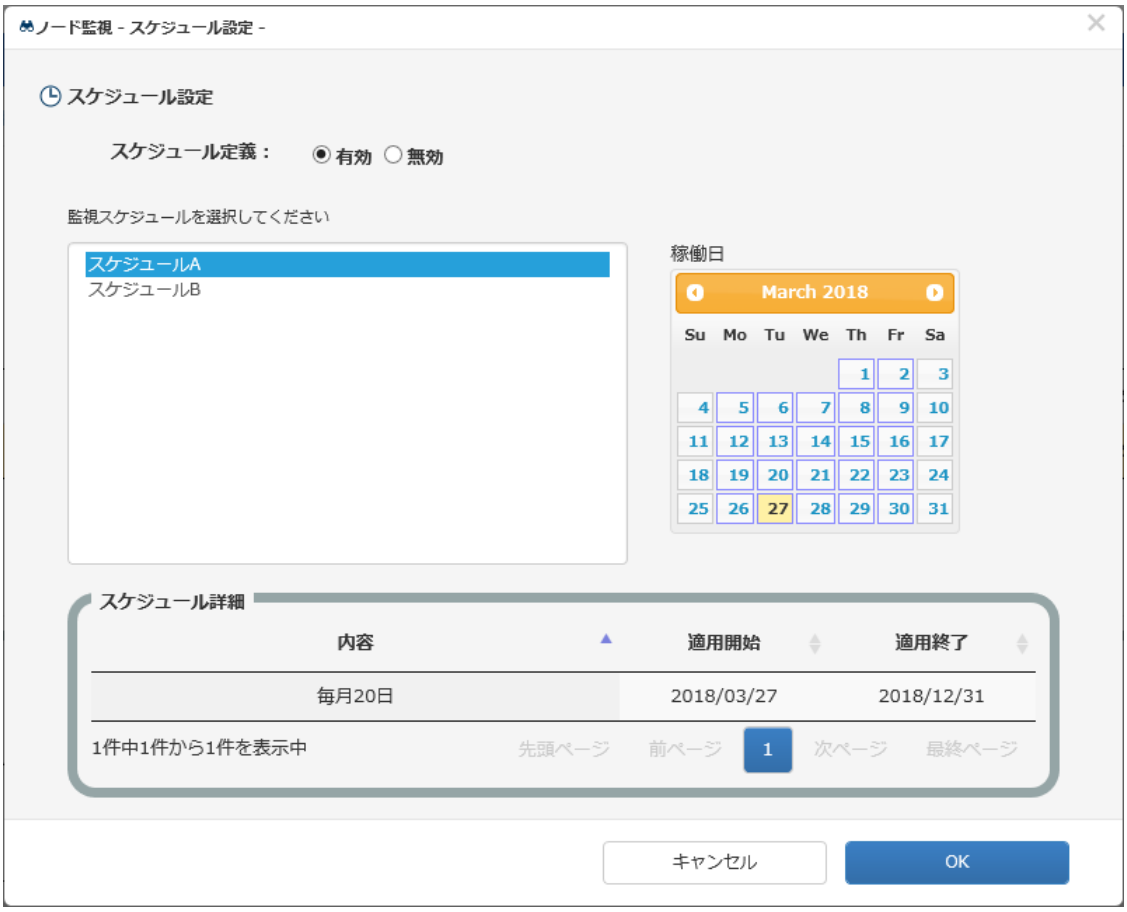


図 11-17　「スケジュール設定」ダイアログ

表 11-9　項目一覧（「スケジュール設定」ダイアログ）

項目名	説明
スケジュール定義	以下のいずれかを選択します。 • 有効

項目名	説明
	• 無効 有効を選択した場合にはさらにスケジュール定義をリストボックスから選択します。
稼働日	選択されているスケジュールの稼働日をカレンダー上に表示します。稼働日を示す日は枠線が青で表示されます。稼働日以外は枠線がグレーで表示されます。
スケジュール詳細	選択されたスケジュール定義に登録されているスケジュールの一覧を表形式で表示します。スケジュール詳細には以下の項目があります。 • 内容 スケジュールの内容を表示します。 • 適用開始 定期スケジュールの場合に、スケジュールの適用開始日を表示します。 • 適用終了 定期スケジュールの場合に、スケジュールの適用終了日を表示します。空の場合は終了日はありません。
キャンセル	スケジュールの設定を破棄してダイアログを閉じます。
OK	スケジュールの設定を反映してダイアログを閉じます。

ヒント

スケジュールは SystemManager G で設定されたものが表示されます。 表示されているスケジュール以外のスケジュールを設定したい場合は、システム管理者にスケジュールの追加を申請してください。

備考編集

本項では監視設定の備考の編集方法について説明します。

詳細タブで[備考編集]をクリックすると以下に示す「備考編集」ダイアログが表示されます。本ダイアログで監視設定の備考を編集できます。



図 11-18　「備考編集」ダイアログ

表 11-10　項目一覧（「備考編集」ダイアログ）

項目名	説明
備考編集	備考の内容を 255 文字以内で入力します。
キャンセル	備考の編集を破棄し、ダイアログを閉じます。
OK	備考の編集を反映してダイアログを閉じます。

11.2.1.4　監視設定タブ

監視設定タブをクリックすると、監視設定の大項目が表示されます。各項目をクリックするとアコーディオンが開き、監視設定の参照および監視項目の設定を行うことができます。



図 11-19　監視設定タブ

表 11-11　項目一覧（監視設定タブ）

項目名	説明
テンプレート化	ノードに設定されている監視設定を監視テンプレートとして登録します。 詳細は「17.4.1.5　監視テンプレート化 (320 ページ)」を参照してください。
テンプレート適用	監視テンプレートの備考が表示されます。詳細は「17.4.1.6　監視テンプレートの適用(ノード) (321 ページ)」を参照してください。
Windows サービス監視パネル	ノードの Windows サービス監視設定を表示します。OS 種別が Windows の場合にのみ表示されます。 詳細は「11.2.2.1　Windows サービス監視 (151 ページ)」を参照してください。
プロセス監視パネル	ノードのプロセス監視設定を表示します。詳細は「11.2.2.2　プロセス監視 (152 ページ)」を参照してください。
性能監視パネル	ノードの性能監視設定を表示します。 詳細は「11.2.2.3　性能監視 (153 ページ)」を参照してください。
サービスポート監視パネル	ノードのサービスポート監視設定を表示します。 詳細は「11.2.2.4　サービスポート監視 (154 ページ)」を参照してください。
イベントログ監視パネル	ノードのイベントログ監視設定を表示します。OS 種別が Windows の場合にのみ表示されます。 詳細は「11.2.2.5　イベントログ監視 (156 ページ)」を参照してください。
シスログ監視パネル	ノードのシスログ監視設定を表示します。OS 種別が Linux/Unix の場合にのみ表示されます。 詳細は「11.2.2.6　シスログ監視 (157 ページ)」を参照してください。

項目名	説明
アプリケーションログ監視パネル	ノードのアプリケーションログ監視設定を表示します。詳細は「11.2.2.7　アプリケーションログ監視(158 ページ)」を参照してください。

11.2.2　監視設定

本項では「ノード監視」画面の監視設定タブおよび「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細から 操作可能な監視設定機能について説明します。

11.2.2.1　Windows サービス監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[Windows サービス監視]をクリックすると Windows サービス監視設定パネルが開きます。Windows サービス監視設定パネルでは Windows サービスの監視状況を確認することができます。

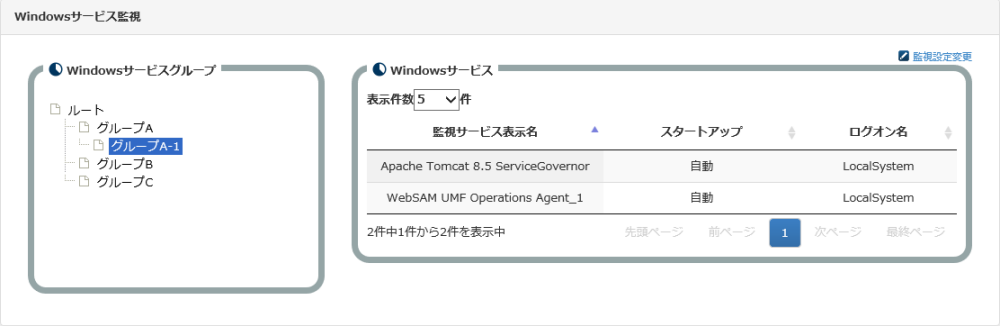


図 11-20　Windows サービス監視

本パネルは左に Windows サービスグループのツリーを表示します。ツリー上で Windows サービスグループを選択すると、右側に選択されたグループに属するサービスの一覧が表示されます。表には以下の項目があります。

表 11-12　項目一覧（Windows サービス）

項目名	説明
監視サービス表示名	監視対象サービスの表示名を表示します。
スタートアップ	監視対象サービスのスタートアップ状態を表示します。 • システム • 自動 • 手動 • 無効 • 不明
ログオン名	監視対象サービスのログオン名を表示します。

Windows サービスの一覧から Windows サービスを選択すると、下部に Windows サービス詳細が表示されます。

表 11-13　項目一覧（Windows サービス詳細）

項目名	説明
監視サービス表示名	監視対象サービスの表示名を表示します。
監視サービス名	監視対象サービスのサービス名を表示します。
スタートアップ	監視対象サービスのスタートアップ状態を表示します。 • システム • 自動 • 手動 • 無効 • 不明
ログオン名	監視対象サービスのログオン名を表示します。
サービス説明	監視対象サービスの説明を表示します。

11.2.2.2　プロセス監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[プロセス監視]をクリックすると プロセス監視設定パネルが開きます。プロセス監視設定パネルではプロセスの監視状況を確認することができます。



図 11-21　プロセス監視

本パネルは左にプロセスグループのツリーを表示します。ツリー上でプロセスグループを選択すると、右側に選択されたグループに属する監視サービスの一覧が表示されます。表には以下の項目があります。

表 11-14　項目一覧（監視プロセス）

項目名	説明
表示名	監視対象プロセスの表示名を表示します。
監視種別	監視方法を表示します。以下のいずれかが表示されます。 • プロセスパス • コマンドライン
下限プロセス数	プロセス数の下限値を表示します。
上限プロセス数	プロセス数の上限値を表示します。
プロセス ID 変化監視	プロセス ID の変化監視の有無を表示します。以下のいずれかが表示されます。 • あり • なし

監視プロセスの一覧から監視プロセスを選択すると、下部に監視プロセス詳細が表示されます。

監視プロセス詳細には以下の項目があります。

表 11-15　項目一覧（監視プロセス詳細）

項目名	説明
表示名	監視対象プロセスの表示名を表示します。
監視種別	監視方法を表示します。以下のいずれかが表示されます。 • プロセスパス • コマンドライン
プロセスパス	監視種別がプロセスパスの場合はプロセスパスを表示します。
コマンドライン	監視種別がコマンドラインの場合はコマンドラインを表示します。
下限プロセス数	プロセス数の下限値を表示します。
上限プロセス数	プロセス数の上限値を表示します。
プロセス ID 変化監視	プロセス ID の変化監視の有無を表示します。以下のいずれかが表示されます。 • あり • なし
起動コマンド	起動コマンドのアプリケーションを表示します。
起動コマンドディレクトリ	起動コマンドの作業ディレクトリを表示します。
起動コマンドオプション	起動コマンドのオプションを表示します。
停止コマンド	停止コマンドのアプリケーションを表示します。
停止コマンドディレクトリ	停止コマンドの作業ディレクトリを表示します。
停止コマンドオプション	停止コマンドのオプションを表示します。

11.2.2.3　性能監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[性能監視]をクリックすると 性能監視設定パネルが開きます。性能監視設定パネルでは性能情報の監視状況を確認することができます。

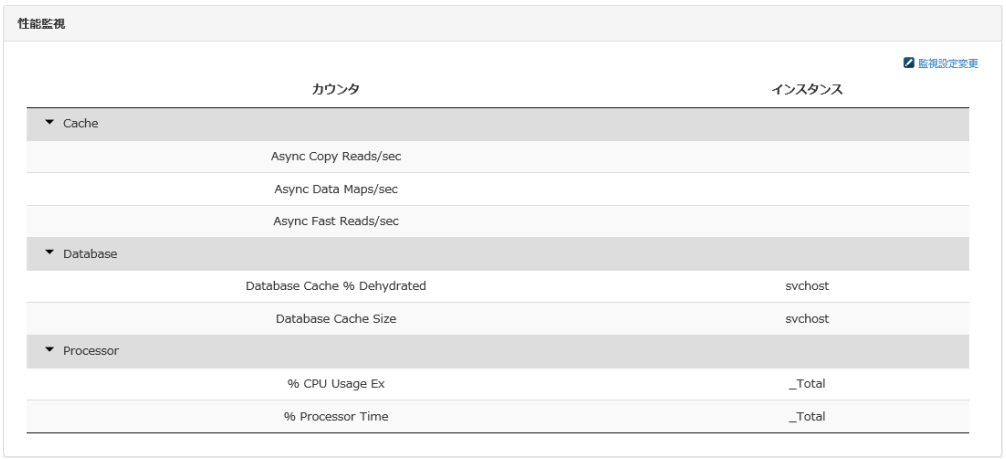


図 11-22　性能監視一覧

表 11-16　項目一覧（性能監視）

項目名	説明
カウンタ	監視対象の項目を表示します。
インスタンス	監視対象のインスタンスを表示します。

カウンタをクリックすると、以下に示す監視カウンタ詳細が表示されます。



図 11-23　監視カウンタ詳細

表 11-17　項目一覧（監視カウンタ詳細）

項目名	説明
カウンタ	監視対象の項目を表示します。
監視タイプ	以下のいずれかを表示します。 • 逐次 • 連続 • 平均
判定回数	連続と平均の場合のみ表示します。連続の場合は閾値を何回超えた場合に通知するかを示し、平均の場合は過去何回分の平均値を使用するかを示します。
上限異常値監視	上限異常閾値を表示します。上限異常値監視をしない場合は空欄です。
上限警告値監視	上限警告閾値を表示します。上限警告値監視をしない場合は空欄です。
下限異常値監視	下限異常閾値を表示します。下限異常値監視をしない場合は空欄です。
下限警告値監視	下限警告閾値を表示します。下限警告値監視をしない場合は空欄です。

11.2.2.4　サービスポート監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[サービスポート監視]をクリックすると サービスポート監視設定パネルが開きます。サービスポート監視設定パネルではサービスポートの監視状況を確認することができます。



図 11-24　サービスポート監視

表 11-18　項目一覧（サービスポート監視）

項目名	説明
表示名	サービスポートの表示名を表示します。
ポート番号	サービスポートのポート番号を表示します。
プロトコル	以下のいずれかを表示します。 • TCP • UDP
正常なポート状態	以下のいずれかを表示します。 • オープン • クローズ

サービスポート監視の一覧表からサービスポートを選択すると、以下に示すサービスポート監視設定詳細が表示されます。



図 11-25　サービスポート詳細

表 11-19　項目一覧（サービスポート詳細）

項目名	説明
表示名	サービスポートの表示名を表示します。
ポート番号	サービスポートのポート番号を表示します。
プロトコル	以下のいずれかを表示します。 • TCP • UDP
正常なポート状態	以下のいずれかを表示します。 • オープン • クローズ

項目名	説明
監視間隔	ポートを監視する間隔(秒)を表示します。
接続タイムアウト	接続タイムアウトと判断する時間(秒)を表示します。
リトライ回数	接続タイムアウト時のリトライ回数を表示します。
監視アドレス	監視対象アドレスを表示します。IP アドレス(IPv4/IPv6)形式または localhost が表示されます。

11.2.2.5　イベントログ監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[イベントログ監視]をクリックするとイベントログ監視設定パネルが開きます。イベントログ監視設定パネルではイベントログの監視状況を確認することができます。

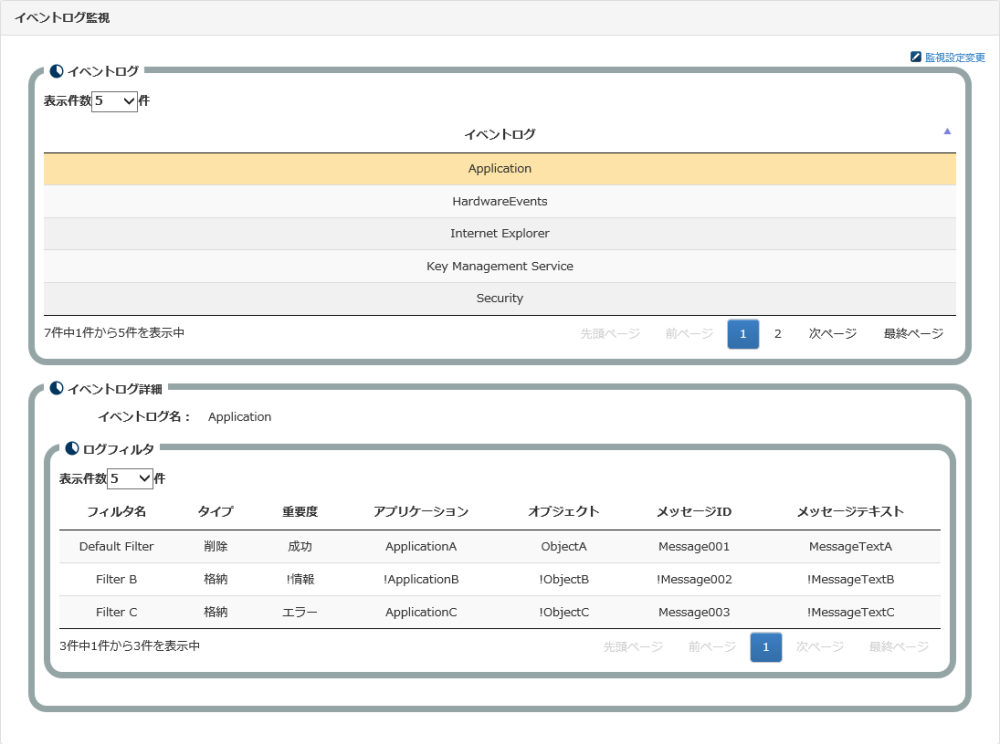


図 11-26　イベントログ監視

イベントログの一覧からイベントログを選択すると、下部にイベントログ詳細が表示されます。イベントログ詳細には以下の項目があります。

表 11-20　項目一覧（イベントログ詳細）

項目名	説明
イベントログ名	イベントログの名前を表示します。
ログフィルタ	ログフィルタの一覧を表示します。

表 11-21　項目一覧（ログフィルタ）

項目名	説明
フィルタ名	ログフィルタ名を表示します。

項目名	説明
タイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納 • 削除 [格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
重要度	イベントログの種類のフィルタ条件を表示します。
アプリケーション	イベントログのソースのフィルタ条件を表示します。
オブジェクト	イベントログのタスクのカテゴリまたは分類のフィルタ条件を表示します。
メッセージ ID	イベントログのイベント ID のフィルタ条件を表示します。
メッセージテキスト	メッセージ本文に対するフィルタ条件を表示します。

11.2.2.6　シスログ監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[シスログ監視]をクリックするシスログ監視設定パネルが開きます。シスログ監視設定パネルではシスログの監視状況を確認することができます。

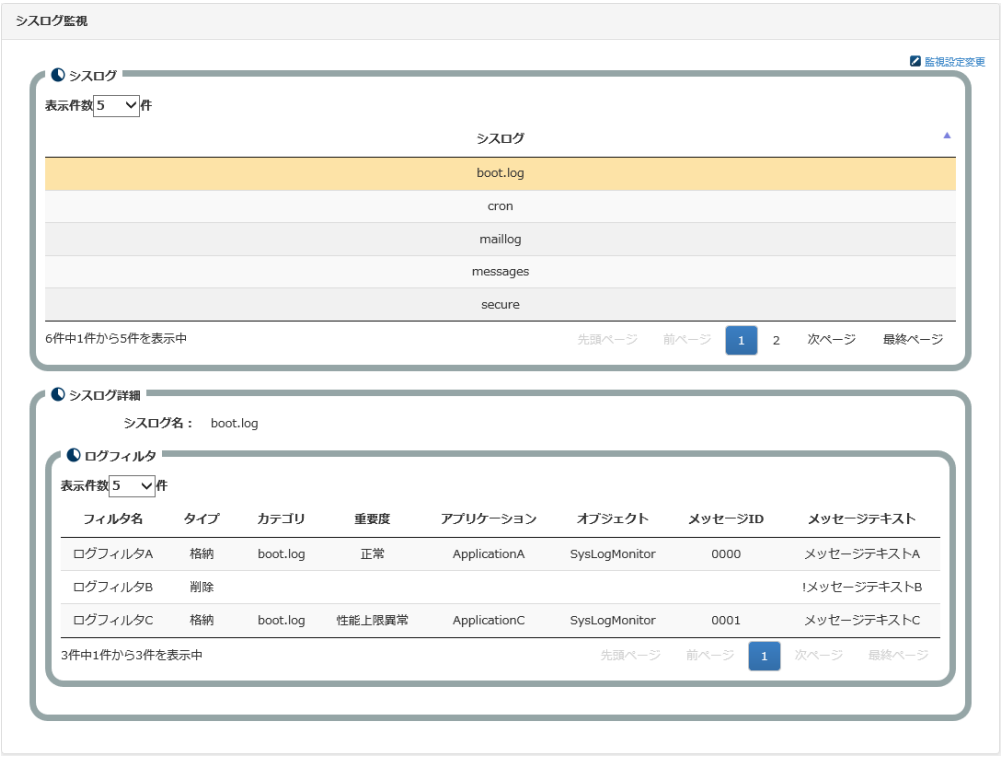


図 11-27　シスログ監視

シスログの一覧からシスログを選択すると、下部にシスログ詳細が表示されます。シスログ詳細には以下の項目があります。

表 11-22　項目一覧（シスログ詳細）

項目名	説明
シスログ名	シスログの名前を表示します。

項目名	説明
ログフィルタ	ログフィルタの一覧を表示します。

表 11-23　項目一覧（ログフィルタ）

項目名	説明
フィルタ名	ログフィルタ名を表示します。
タイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納 • 削除 [格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
カテゴリ	シスログのカテゴリを表示します。
重要度	ログをメッセージ通知する際に付与される重要度を表示します。
アプリケーション	ログをメッセージ通知する際に付与されるアプリケーション名を表示します。
オブジェクト	ログをメッセージ通知する際に付与されるオブジェクト名を表示します。
メッセージ ID	ログをメッセージ通知する際に付与されるメッセージ ID を表示します。
メッセージテキスト	メッセージ本文に対するフィルタ条件を表示します。

11.2.2.7　アプリケーションログ監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[アプリケーションログ監視]をクリックするとアプリケーションログ監視設定パネルが開きます。アプリケーションログ監視設定パネルではアプリケーションログの監視状況を確認することができます。



図 11-28　アプリケーションログ監視

表 11-24　項目一覧（アプリケーションログ詳細）

項目名	説明
アプリケーションログ名	アプリケーションログの名前を表示します。
ログファイル名	アプリケーションログのファイルパスを表示します。
ログファイル文字コード	アプリケーションログの文字コードです。 • US-ASC Ⅱ • Unicode(UTF-8) • Unicode(Big-Endian) • Unicode • Japanese(Shift-JIS) • Japanese(JIS) • Japanese(JIS 0208-1990 and 0212-1990) • Chinese Traditional(Big5) • Chinese Simplified(GB2312) • Chinese Simplified(GB18030)
ログフィルタ	ログフィルタの一覧を表示します。

本パネルは左にアプリケーショングループのツリーを表示します。ツリー上でアプリケーショングループを選択すると、右側に選択されたグループに属するアプリケーションログの一覧が表示されます。アプリケーションログの一覧からアプリケーションログを選択すると、下部にアプリケーションログ詳細が表示されます。アプリケーションログ詳細には以下の項目があります。

表 11-25　項目一覧（ログフィルタ）

項目名	説明
フィルタ名	ログフィルタ名を表示します。
タイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納 • 削除 [格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
カテゴリ	ログをメッセージ通知する際に付与されるカテゴリを表示します。
重要度	ログをメッセージ通知する際に付与される重要度を表示します。
アプリケーション	ログをメッセージ通知する際に付与されるアプリケーション名を表示します。
オブジェクト	ログをメッセージ通知する際に付与されるオブジェクト名を表示します。
メッセージ ID	ログをメッセージ通知する際に付与されるメッセージ ID を表示します。
メッセージテキスト	メッセージ本文に対するフィルタ条件を表示します。

第 12 章
サービス管理

目次

12.1 メンテナンス管理 161
12.2 お知らせ管理..... 167

本章では、サービス管理メニューについて説明します。

サービス管理メニューには、以下の機能があります。

- メンテナンス管理
- お知らせ管理

12.1　メンテナンス管理

本節では、メンテナンス管理機能について説明します。

12.1.1　メンテナンス一覧

メニューから、[サービス管理]－[メンテナンス管理]をクリックすることにより、メンテナンス一覧画面を表示します。

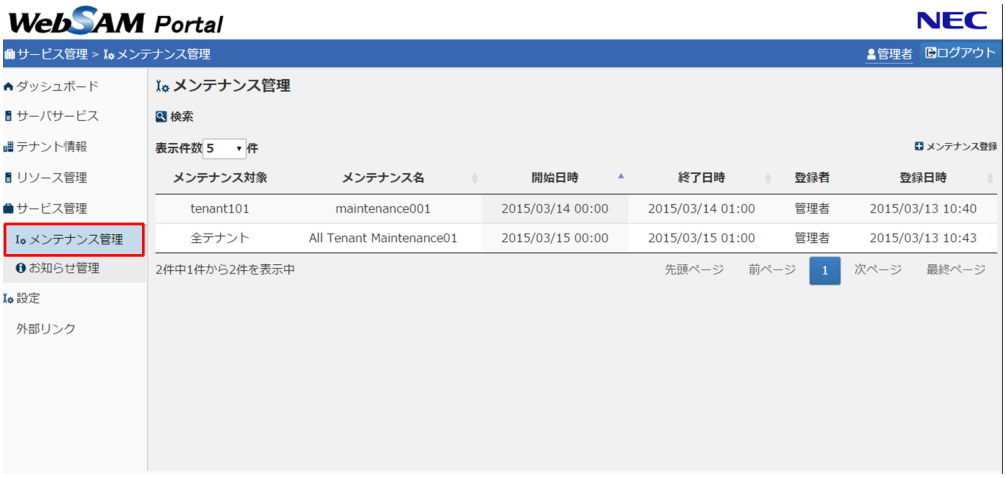


図 12-1　メンテナンス管理画面

表 12-1　項目一覧（メンテナンス一覧）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
メンテナンス登録	メンテナンス登録(入力)画面を表示する
メンテナンス一覧	メンテナンス一覧を表示する

メンテナンスを検索する場合は、メンテナンス一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 12-2　項目一覧（メンテナンス一覧検索画面）

項目名	説明
メンテナンス対象	メンテナンス対象
メンテナンス名	メンテナンス名
メンテナンス期間	メンテナンス期間
登録者	メンテナンスの登録者

項目名	説明
登録期間	メンテナンスの登録期間
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

12.1.2　メンテナンスを登録する

メンテナンスの追加方法を以下に示します。

1. メンテナンス一覧画面にて、「メンテナンス登録」をクリックします。



図 12-2　メンテナンス一覧画面

2. メンテナンス登録(入力)画面が表示されます。下記の表を参照し、各項目を入力後「次へ」ボタンを押下します。



図 12-3　メンテナンス登録（入力）画面

表 12-3　項目一覧（メンテナンス登録画面）

項目名	入力規則	説明
メンテナンス対象	―	対象選択ボタンを押下して選択ダイアログを表示し、メンテナンス対象のテナントを選択する 下図参照
全テナントを対象	―	チェックした場合、全テナント選択状態となる
メンテナンス名	64 文字	メンテナンス名を入力する
表示メッセージ	―	表示メッセージを入力する

項目名	入力規則	説明
開始日時	1970/01/01/ 00:00(UTC) ～ 2999/12/31 23:59(UTC)	開始日時を入力する
終了日時	1970/01/01/ 00:00(UTC) ～ 2999/12/31 23:59(UTC)	終了日時を入力する
メンテナンス中のシステム管理者操作の可否	―	・操作可能 ・操作不可能 のいずれか 【メンテナンス中の管理者操作を不可にした場合】 メンテナンス対象が全テナントの場合:ログイン不可 メンテナンス対象がテナントを指定している場合:該当テナントのテナント代行不可

【メンテナンス対象の選択】

「使用可能」欄からメンテナンス対象のテナントを選択して「追加」ボタンを押下します。対象テナントをすべて選択後、「選択」ボタンを押下します。

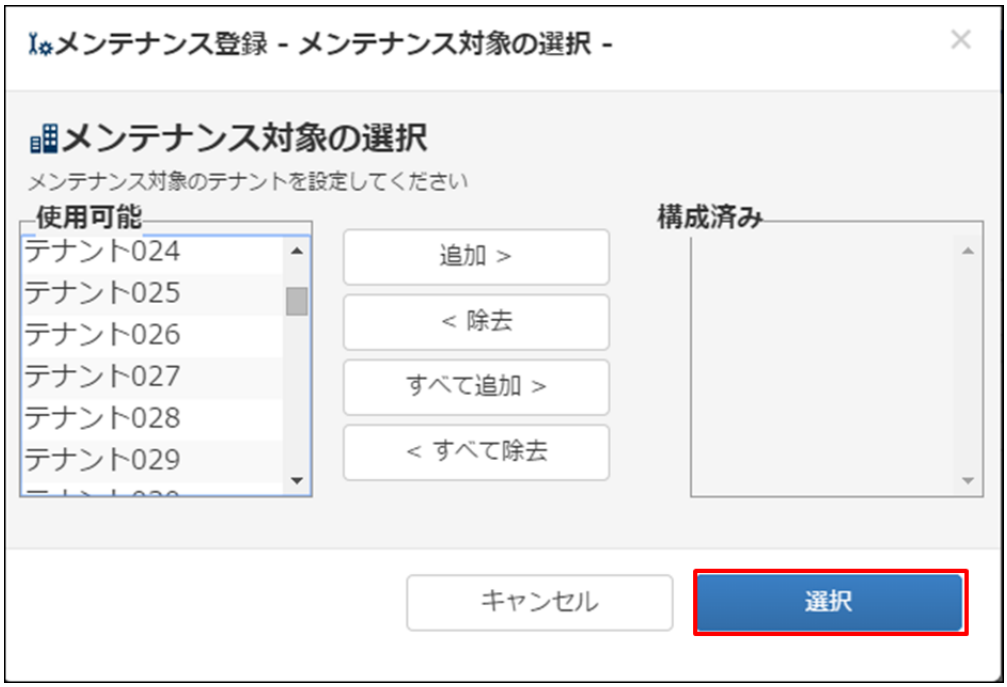


図 12-4　メンテナンス対象選択画面

3. メンテンス登録(確認)画面が表示されます。「確定」ボタンを押下することによりメンテナンスが登録されます。

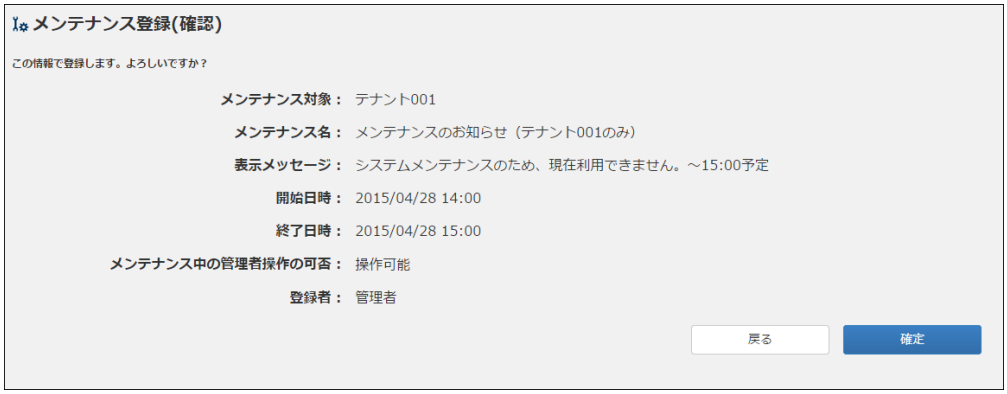


図 12-5　メンテンス登録（確認）画面

注

・メンテナンスの「内容」に記載した文字列は、そのまま HTML のコードとしてメンテナンス中画面に埋め込まれます。 従って、メンテナンス中画面上でメッセージを改行させたい場合は
や<p>等の HTML タグを使用する必要があります。また、HTML での特殊文字については、適切にエスケープしてください。

・メンテナンスの開始時、終了時には最大 5 分の誤差が発生します。

・誤って管理者によるログインを不可にしてしまった場合

以下のコマンドを実行し、全てのメンテナンスの「メンテナンス中の管理者操作の可否」を操作可能に変更します。

```
>sqlcmd -E -S localhost¥FWCMDB -i "（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥portal¥sql¥login_during_maintenance.sql"
```

※SQL Server のインスタンス名（FWCMDB）、インストールパス（(インストールディレクトリ)）が異なる場合は読み替えてください。

12.1.3　メンテナンス中の動作

メンテナンス中にログインした場合、メンテナンス登録時に設定したメッセージが表示されます。

また、ログイン中にメンテナンス期間に入った場合は次の画面遷移時にメンテナンスの画面に切り替わります。



図 12-6　メンテナンス画面

メンテナンス中の管理者操作を可能にしている場合は、システム管理者のみ通常操作が可能です。

また、メンテナンス期間中にシステム管理者が対象メンテナンスを削除した場合、メンテナンス期間は終了し、通常運用に戻ります。

12.1.4　メンテナンスの詳細情報を確認する

メンテナンス一覧の確認したいメンテナンス列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。



図 12-7　メンテナンス詳細画面

表 12-4　項目一覧（メンテナンス詳細）

項目名	説明
メンテナンス対象	メンテナンス対象
メンテナンス名	メンテナンス名
開始日時	メンテナンスの開始日時
終了日時	メンテナンスの終了日時
登録者	メンテナンスの登録者
登録日時	メンテナンスを登録した日時
表示メッセージ	メンテナンス画面に表示するメッセージ
メンテナンス中の管理者操作の可否	メンテナンス中にシステム管理者が操作可能か ・操作可能 ・操作不可能

項目名	説明
メンテナンス変更	メンテナンス変更画面を表示する
メンテナンス削除	メンテナンス削除画面を表示する

12.1.5　メンテナンスを変更する

メンテナンスの変更方法を以下に示します。

1. メンテナンス詳細画面にて、[メンテナンス変更]をクリックします。



図 12-8　メンテナンス詳細画面

2. 「メンテナンス変更(入力)」画面が表示されます。「12.1.2　メンテナンスを登録する(162 ページ)」の「表 12-3　項目一覧(メンテナンス登録画面)(162 ページ)」を参照し、各項目を編集後[次へ]ボタンを押下します。



図 12-9　メンテナンス変更（入力）画面

3. 「メンテナンス変更(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 12-10　メンテナンス変更（確認）画面

12.1.6　メンテナンスを削除する

メンテナンスの削除方法を以下に示します。

1. メンテナンス詳細画面にて[メンテナンス削除]をクリックします。



図 12-11　メンテナンス詳細画面

2. 「メンテナンス削除(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することでメンテナンスを削除します。



図 12-12　メンテナンス削除画面

12.2　お知らせ管理

本節では、お知らせ管理機能について説明します。

ダッシュボードにて対象者に通知するお知らせを管理することができます。

システム管理者は公開先のテナントを指定することが可能です。テナント管理者は自テナントのお知らせのみ管理可能です。

12.2.1　お知らせ一覧

メニューから、[サービス管理]－[お知らせ管理]をクリックすることにより、お知らせ一覧画面を表示します。



図 12-13　お知らせ管理画面

表 12-5　項目一覧（お知らせ一覧）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
お知らせ登録	お知らせ登録画面を表示する
お知らせ一覧	お知らせ一覧を表示する

お知らせを検索する場合は、お知らせ一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 12-6　項目一覧（お知らせ一覧検索画面）

項目名	説明
公開先	公開先
掲載期間	掲載期間
状態	状態のいずれか ・掲載終了 ・掲載中 ・未掲載
タイトル	タイトル
お知らせ内容	お知らせ内容
添付	添付ファイルの有無 ・あり

項目名	説明
	・なし
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

12.2.2　お知らせを登録する

お知らせの追加方法を以下に示します。

1. お知らせ管理画面にて、[お知らせ登録]をクリックします。



図 12-14　お知らせ一覧画面

2. 「お知らせ登録(入力)」画面が表示されます。下記の表を参照し、各項目を入力後[確定]ボタンを押下します。



図 12-15　お知らせ登録（入力）画面

表 12-7　項目一覧（お知らせ登録）

項目名	入力規則	説明
公開先	―	公開範囲選択ボタンを押下して公開対象選択ダイアログを表示し、公開対象を選択する 下図[公開先の選択ダイアログ]参照 全テナント対象のチェックボックスにチェックすることで全テナント選択状態となる

項目名	入力規則	説明
開始日時	1970/01/01/ 00:00(UTC) ～ 2999/12/31 23:59(UTC)	開始日時を入力する
終了日時	1970/01/01/ 00:00(UTC) ～ 2999/12/31 23:59(UTC)	終了日時を入力する
タイトル	1～64 文字	タイトルを入力する
お知らせ内容	1～255 文字	お知らせ内容を入力する
添付ファイル	－	添付ファイル名を表示する
ファイルを選択	－	添付ファイルを選択するダイアログを表示する 添付ファイルは 10MB まで添付可能 ※0byte のファイルは添付できません

注

お知らせの添付ファイルに巨大なファイルを指定するとアップロード処理に非常に時間がかかります。10M バイト以上のファイルをアップロードしても登録はエラーになりますので 10M バイト以上のファイルを指定しないようにしてください。

【公開対象の選択】

[使用可能]欄から公開対象のテナントを選択して[追加]ボタンを押下します。対象テナントをすべて選択後、[選択]ボタンを押下します。

なお、すべてのテナントを対象とする場合は[すべて追加]ボタンにより全テナントが追加されます。



図 12-16　公開対象の選択ダイアログ

3. お知らせが登録され、「お知らせ登録（確認）」画面が表示されます。[確認]ボタンを押下します。



図 12-17　お知らせ登録（確認）画面

12.2.3　お知らせの詳細情報を確認する

お知らせ一覧の確認したいお知らせ列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。



図 12-18　お知らせ詳細画面

表 12-8　項目一覧（お知らせ詳細）

項目名	説明
公開先	公開先のテナント ※システム管理者の場合のみ表示
開始日時	開始日時
終了日時	終了日時
状態	・掲載終了 ・掲載中 ・未掲載 のいずれか
タイトル	タイトル
お知らせ内容	お知らせ内容
添付ファイル	添付ファイル名および添付ファイルへのリンク
登録者	登録者
登録日時	登録日時
お知らせ変更	お知らせ変更画面を表示する
お知らせ削除	お知らせ削除画面を表示する

12.2.4　お知らせの内容を変更する

お知らせの変更方法を以下に示します。

1. お知らせ詳細画面にて、「お知らせ変更」をクリックします。



図 12-19　お知らせ詳細画面

2. お知らせ変更(入力)画面が表示されます。「12.2.2　お知らせを登録する(169 ページ)」の「表 12-7　項目一覧(お知らせ登録)(169 ページ)」を参照し、各項目を編集してください。「確定」ボタンを押下することにより、変更が反映されます。

   添付ファイルを削除する場合は「添付ファイル削除」のチェックボックスにチェックしてください。

注

添付ファイル削除にチェックを付けた場合は、ファイル選択は無効になり、ファイルを選択していた場合も未選択状態になります。



図 12-20　お知らせ変更（入力）画面

3. お知らせ変更(確認)画面が表示されます。「確認」ボタンを押下します。



図 12-21　お知らせ変更（確認）画面

12.2.5　お知らせを削除する

お知らせの削除方法を以下に示します。

1. お知らせ詳細画面にて[お知らせ削除]をクリックします。



図 12-22　お知らせ詳細画面

2. 「お知らせ削除(確認)」画面が表示されます。[確認]ボタンを押下することでお知らせを削除します。



図 12-23　お知らせ削除（確認）画面

第 13 章
設定

目次

13.1 メール通知 176
13.2 運用設定 183

本章では、設定メニューについて説明します。

設定メニューでは運用設定機能を操作することができます。

13.1　メール通知

メール通知機能は、リクエストが状態遷移（承認・却下など）した際、適任者へ次のアクションを促すための通知を実現します。

本機能は以下の設定が必要です。

- システム管理者は以下を設定する必要があります。
  - 設定ファイルにてメール通知機能に使用するパラメータの設定を行う

    設定方法については、「13.1.3　メール通知用設定項目の編集（182 ページ）」を参照してください。
  - 運用設定から本機能を有効にし、メールサーバなどの設定を行う

    設定方法については、「13.2.2　運用設定を編集する（185 ページ）」を参照してください。
- テナント管理者がメール通知設定から通知タイミングに応じたメール内容を設定する

  設定方法については、「13.1.1　メール通知で利用可能な置換文字列（176 ページ）」「13.1.2　メール内容の既定値(メールテンプレート)（177 ページ）」を参照してください。

13.1.1　メール通知で利用可能な置換文字列

メール通知内容を設定する際、表題およびメール内容に置換文字列を設定することが可能です。

利用可能な置換文字列は、以下の通りです。

表 13-1　置換文字列一覧

置換文字列	置換内容
$REQUEST_KIND$	リクエスト種別を示す文字列(英語) メール通知の契機となったリクエストの種別文字列 ・Server ・Network
$OPERATION_KIND$	操作種別を示す文字列(英語) メール通知の契機となったリクエストの操作種別文字列 ・Create ・Modify ・Delete
$PRODUCT_NAME$	製品名示す文字列 置換される製品名は、「13.1.3　メール通知用設定項目の編集（182 ページ）」を参照
$NOTICE_DATE$	メール通知をおこなった際の現在日時を示す文字列 YYYY/MM/DD HH:MM:SS
$APPLICANT$	申請者を示す文字列

置換文字列	置換内容
$APPROVER$	承認者を示す文字列 複数人居る場合には、最終承認者
$REQUEST_SUMMARY$	リクエストの概要を示す文字列(英語) ■実行完了以外 ・Request Date : YYYY/MM/DD HH:MM:SS ・Request Type : Server or Network ・Operation Type : Create, Modify, Deletek ■実行完了 「表 13-2　実行完了時の$REQUEST_SUMMARY$表示項目 (177 ページ)」を参照
$REQUEST_DETAIL_URL$	メール通知でのリクエスト詳細が参照可能な URL を示す文字列
$TENANT_NAME$	対象のテナント・ユーザが所属するテナントの表示名
$TENANT_ID$	対象のテナント・ユーザが所属するテナントのテナント ID
$USER_NAME$	対象のユーザの表示名
$USER_ID$	対象のユーザのユーザ ID
$LOGIN_URL$	ポータルにログインするための URL

表 13-2　実行完了時の$REQUEST_SUMMARY$表示項目

表示内容	サーバ			ネットワーク		
	作成	変更	削除	作成	変更	削除
リクエスト日時	○	○	○	○	○	○
リクエスト種別	○	○	○	○	○	○
操作種別	○	○	○	○	○	○
サーバ名	○	○	○	×	×	×
ログイン情報	×	×	×	×	×	×
ネットワーク名	×	×	×	○	○	○

注

メール通知内容の変換(文字列の置換)処理でエラー発生時は、置換文字列がそのままメール内容として送付されます。

13.1.2　メール内容の既定値(メールテンプレート)

1. 通知タイミングに応じたメールの表題や本文をあらかじめ設定することが可能です。なお、置換文字列を利用する場合は「13.1.1　メール通知で利用可能な置換文字列(176 ページ)」を参照してください。

表 13-3　メール通知内容一覧

通知タイミング	宛先	メール内容種別
承認待ち	承認者	A
承認完了	申請者	B

通知タイミング	宛先	メール内容種別
却下	申請者	C
キャンセル	承認者	D
実行完了	申請者	E
実行エラー	申請者	F
テナント管理者選択時	テナント管理者	G
テナントユーザ作成時	テナントユーザ	H

注

以下のタイミングで送信されるメール（表題・本文）はテナント承認者向けと事業者承認者向けともに同じ内容になります。

・承認待ち

・キャンセル

2. メール通知時の通知内容は、テナント作成時にあらかじめ、外部ファイルとして以下の通り設定します。

表 13-4　メール内容の既定値（メールテンプレート）

通知タイミング	記載内容	ファイル名
承認待ち	表題	approval-waiting-subject.txt
	本文	approval-waiting-body.txt
承認完了	表題	approval-completion-subject.txt
	本文	approval-completion-body.txt
却下	表題	reject-subject.txt
	本文	reject-body.txt
キャンセル	表題	cancel-subject.txt
	本文	cancel-body.txt
実行完了	表題	execution-completion-subject.txt
	本文	execution-completion-body.txt
実行エラー	表題	execution-error-subject.txt
	本文	execution-error-body.txt
テナント管理者選択時	表題	tenant-admin-created-subject.txt
	本文	tenant-admin-created-body.txt
テナントユーザ作成時	表題	tenant-user-created-subject.txt
	本文	tenant-user-created-body.txt

3. メールテンプレートの内容は、以下の通りです。

- メールテンプレート(メール内容種別：A)

承認待ち時に承認者に対するメール通知

表題

```
[$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
```

本文

```
$PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

$NOTICE_DATE$ に $APPLICANT$からの承認依頼が届いています。

リクエスト概要は、以下の通りです。
$REQUEST_SUMMARY$
URL にアクセスし、リクエスト承認してください。
$REQUEST_DETAIL_URL$
```

- メールテンプレート(メール内容種別:B)

  承認完了時に申請者に対するメール通知

  表題

  ```
  [$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
  ```

  本文

  ```
  $PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

  $APPLICANT$から申請されたリクエストが、$NOTICE_DATE$ に承認完了しました。

  リクエスト概要は、以下の通りです。
  $REQUEST_SUMMARY$
  URL にアクセスし、リクエスト詳細の確認、もしくはリクエスト実行してください。
  $REQUEST_DETAIL_URL$
  ```

- メールテンプレート(メール内容種別:C)

  却下時に申請者に対するメール通知

  表題

  ```
  [$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
  ```

  本文

```
$PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

$NOTICE_DATE$ に $APPROVER$によってリクエストが却下されました。

リクエスト概要は、以下の通りです。
$REQUEST_SUMMARY$
URL にアクセスし、リクエスト詳細を確認してください。
$REQUEST_DETAIL_URL$
```

- メールテンプレート(メール内容種別:C)

  却下時に申請者に対するメール通知

  表題

  ```
  [$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
  ```

  本文

  ```
  $PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

  $NOTICE_DATE$ に $APPROVER$　によってリクエストが却下されました。

  リクエスト概要は、以下の通りです。
  $REQUEST_SUMMARY$
  URL　にアクセスし、リクエスト詳細を確認してください。
  $REQUEST_DETAIL_URL$
  ```

- メールテンプレート(メール内容種別:D)

  キャンセル時に承認者に対するメール通知

  表題

  ```
  [$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
  ```

  本文

  ```
  $PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

  $NOTICE_DATE$ に $APPLICANT$ によってリクエストがキャンセルされました。

  リクエスト概要は、以下の通りです。
  $REQUEST_SUMMARY$
  URL　にアクセスし、リクエスト詳細を確認してください。
  $REQUEST_DETAIL_URL$
  ```

- メールテンプレート(メール内容種別:E)

  実行完了時に申請者に対するメール通知

  表題

  ```
  [$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
  ```

  本文

  ```
  $PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

  $APPLICANT$　　から申請されたリクエストが、$NOTICE_DATE$ に実行完了しました。

  リクエストの概要は、以下の通りです。
  $REQUEST_SUMMARY$
  URL にアクセスし、リクエスト詳細を確認してください。
  $REQUEST_DETAIL_URL$
  ```

- メールテンプレート(メール内容種別:F)

  実行エラー時に申請者に対するメール通知

  表題

  ```
  [$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
  ```

  本文

  ```
  $PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

  $APPLICANT$ から申請されたリクエストが、$NOTICE_DATE$ に実行エラーしました。

  リクエスト概要は、以下の通りです。
  $REQUEST_SUMMARY$
  URL にアクセスし、リクエスト詳細を確認してください。
  $REQUEST_DETAIL_URL$
  ```

- メールテンプレート(メール内容種別:G)

  テナント管理者選択時にテナント管理者に対するメール通知

  表題

  ```
  [$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
  ```

  本文

```
$PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

テナント管理者に選択されました

テナント名: $TENANT_NAME$
テナント ID: $TENANT_ID$

以下の URL からログインしてください
$LOGIN_URL$
```

- メールテンプレート(メール内容種別:H)

  テナントユーザ作成選択時にテナントユーザに対するメール通知

  表題

```
[$REQUEST_KIND$$OPERATION_KIND$ メール通知]
```

  本文

```
$PRODUCT_NAME$ から自動送信されています。

テナント「$TENANT_NAME$($TENANT_ID$)」にテナントユーザを作成しました

ユーザ名: $USER_NAME$
ユーザ ID: $USER_ID$

以下の URL からログインしてください
$LOGIN_URL$
```

注

メールテンプレートファイルのパスは、設定ファイルで指定可能です。設定項目および設定値の詳細については、「13.1.3　メール通知用設定項目の編集(182 ページ)」を参照してください。

13.1.3　メール通知用設定項目の編集

メール通知機能を利用する場合は、(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開き、以下を設定します。

表 13-5　メール通知用設定項目

設定項目	設定内容
product.cloudportal.base.url=*メール通知のアクセス URL を生成するためのベース URL* [必須]	外部から実際にアクセスできる URL を設定する
product.cloudportal.mail.notice.product.name=*メール通知テンプレート内の $PRODUCT_NAME$ に置換する製品名* [必須]	「13.1.2　メール内容の既定値(メールテンプレート)(177 ページ)」を参照

設定項目	設定内容
product.cloudportal.mail.notice.template.path=*テンプレートファイルへのパス*	メール通知テンプレートファイルへのパスを設定する 未設定時はデフォルトテンプレートファイルが使用される
product.cloudportal.operationoptions.secretkeyfile=*SMTP 認証パスワードをデータベースに保存する際の暗号化キーファイルのパス*	運用設定で設定した SMTP 認証パスワードをデータベースに保存する際の暗号化キーファイルのパスを設定する※1 未設定時は conf/NEC/secretkey.txt に自動生成される

※1 クラスタ構成の場合、キーファイルを共通にする必要があります。

【設定例】

```
# Base URL
product.cloudportal.base.url=http¥://example.com/portal/

# メール通知製品名
product.cloudportal.mail.notice.product.name=[WebSAM]

# メール通知設定
product.cloudportal.mail.notice.template.path=C¥:¥¥Tmp
product.cloudportal.operationoptions.secretkeyfile=C¥:¥¥Tmp¥¥secretkey.txt
```

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存し、アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、 サービスから「Apache Tomcat 8.5 ServiceGovernor」を右クリックし、[サービスの再起動]を選択します。

13.2　運用設定

本節では、運用設定について説明します。

運用設定では、テンプレート一覧取得や論理ネットワークの一覧取得、メール通知のサーバ設定などをおこないます。

13.2.1　運用設定情報を確認する

メニューから、「設定」－「運用設定」をクリックすることにより、運用設定画面を表示します。



図 13-1　運用設定画面

表 13-6　項目一覧（運用設定）

項目名	説明
ジョブ取得間隔(秒)	ジョブの進捗を問い合わせる間隔を設定する ※間隔を短くするとより正確な情報になるが、負荷が高くなるため注意すること
テンプレート一覧取得時刻	定期的にテンプレート一覧を取得する時刻
今すぐ更新ボタン(テンプレート一覧取得)	押下することでテンプレート一覧を更新する
論理ネットワーク一覧取得時刻	定期的に論理ネットワーク一覧を取得する時刻
今すぐ更新ボタン(論理ネットワーク一覧取得)	押下することで論理ネットワークを更新する
運用作業履歴保持期間(日)	運用作業履歴を保持する期間
運用作業履歴削除時刻	ここで設定した時刻に作業履歴をチェックし、運用作業履歴保持期間を過ぎた履歴を削除する
サーバ初期パスワード	サーバ作成時の管理者ユーザの初期パスワード(●●●で表示)
サーバ初期ドメインパスワード	サーバ作成時の初期ドメインパスワード(●●●で表示)
メール通知	メール通知の有無 ※「通知しない」が設定されている場合は、以下のメール通知設定項目は非表示
メール通知テスト送信	サーバ設定の正当性を確認するためにテストメールを送信する
メールサーバホスト名	メール通知で使用するメールサーバのホスト名
メールサーバポート番号	メール通知で使用するメールサーバのポート番号
送信元メールアドレス	メール通知で使用する送信元メールアドレス
送信エラー時の転送有無	メール送信にエラーした場合のメール転送の有無 ※「転送しない」設定の場合には、「転送先メールアドレス」は非表示
転送先メールアドレス	メール通知で送信エラーが起こった場合の転送先メールアドレス ※送信エラー時の転送有無が「転送しない」設定の場合は非表示
SMTP 認証の使用	メール通知でメール送信時の SMTP 認証の有無 ※「転送しない」設定の場合には、「転送先メールアドレス」は非表示

項目名	説明
認証方式	SMTP 認証時の認証方式 ※SMTP 認証の使用が「使用しない」設定の場合は非表示
ユーザ名	SMTP 認証時に使用するユーザ名
パスワード	SMTP 認証時に使用するパスワード（●●●で表示）
パスワード更新	チェックがある場合はパスワードの入力チェックを実施し、チェックが無い場合にはパスワードチェックを実施せず、パスワード未変更とする
編集	押下することにより「運用設定変更(入力)画面」を表示する

13.2.2　運用設定を編集する

運用設定の編集方法を以下に示します。

1. 運用設定画面にて、「編集」をクリックします。



図 13-2　運用設定画面

2. 運用設定変更(入力)画面が表示されます。下記の表を参照し、各項目を編集後「確定」ボタンを押下することにより変更が反映されます。

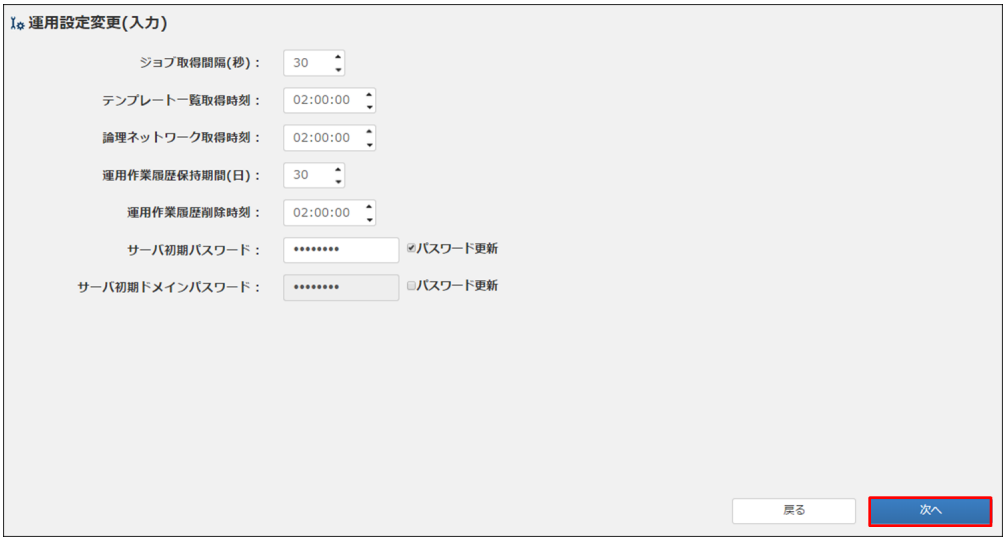


図 13-3　運用設定変更(入力)画面

表 13-7　項目一覧（運用設定変更）

項目名	入力規則	初期値	説明
ジョブ取得間隔	1-3600	30	ジョブ取得間隔(秒)
テンプレート一覧取得時刻	―	02:00:00	HH:MM:SS 形式で時刻を入力する
論理ネットワーク一覧取得時刻	―	02:00:00	HH:MM:SS 形式で時刻を入力する
運用作業履歴保持期間	1-365	30	運用作業履歴保持期間(日数)
運用作業履歴削除時刻	―	02:00:00	HH:MM:SS 形式で時刻を入力する
サーバ初期パスワード	ダブルクォート(″)とカンマ(,)を除く半角英数字、記号 1～256 文字	―	編集する場合は「パスワード更新」にチェックして編集を有効にする。サーバ作成時の初期パスワードを入力する
サーバ初期ドメインパスワード	セミコロン(;)とカンマ(,)を除く英数字 256 文字以内	―	編集する場合は「パスワード更新」にチェックして編集を有効にする。サーバ作成時のドメイン初期パスワードを入力する
メール通知	―	チェックなし	メール通知の有無を設定する ※チェックを外している場合は、以下のメール通知設定項目は非表示
メールサーバホスト名	1～64 文字 RFC 952 に準拠 アルファベット(a-zA-Z)、数字(0-9)、マイナス(-)、ピリオド(.)の半角文字	―	メール通知で使用するメールサーバのホスト名を入力する

項目名	入力規則	初期値	説明
メールサーバポート番号	0～65535	25	メール通知で使用するメールサーバのポート番号を入力する
送信元メールアドレス	3～255 文字 e-mail 形式(RFC2822 に準拠)	－	メール通知で使用する送信元メールアドレスを入力する
送信エラー時の転送有無	－	チェックなし	メール送信にエラーした場合のメール転送の有無を設定する ※「転送しない」設定の場合には、「転送先メールアドレス」は非表示
転送先メールアドレス	3～255 文字 e-mail 形式(RFC2822 に準拠)	－	メール通知で送信エラーが起こった場合の転送先メールアドレスを入力する ※送信エラー時の転送有無が「転送しない」設定の場合は非表示
SMTP 認証の使用	－	チェックなし	メール送信時の SMTP 認証の有無を入力する ※「転送しない」設定の場合には、「転送先メールアドレス」は非表示
認証方式	・CRAM-MD5 ・PLAIN	CRAM-MD5	SMTP 認証時の認証方式を設定する ※SMTP 認証の使用が「使用しない」設定の場合は非表示
ユーザ名	1～32 文字	－	SMTP 認証時に使用するユーザ名を入力する
パスワード	1～32 文字	－	SMTP 認証時に使用するパスワード(●●●で表示)を入力する

第 5 編
利用者の操作

目次

第 14 章　ダッシュボード 190
第 15 章　リクエスト(利用者) 200
第 16 章　テナント情報(利用者) 234
第 17 章　監視(利用者) 246
第 18 章　リソース管理 402
第 19 章　お知らせ管理(利用者) 419

本編では、利用者（テナント管理者およびテナントユーザ）が操作する機能について説明します。

第 14 章
ダッシュボード

目次

14.1 ウィジェットの表示 191
14.2 ウィジェットの追加 191
14.3 ウィジェットの削除 193
14.4 ウィジェットの表示順・サイズの変更 194
14.5 ウィジェットの設定の保存 196
14.6 ウィジェットの設定の破棄 197
14.7 ダッシュボード(デフォルト) 198

「ダッシュボード」画面では、ユーザの好みにあわせ、ウィジェットを配置することができます。

本章では、ウィジェットの参照、配置、削除等、ウィジェットに対する操作について説明します。

配置できるウィジェットの種類は、サーバ側の設定とユーザの権限によって異なります。

14.1　ウィジェットの表示

メニューから、[ダッシュボード]をクリックすることにより、「ダッシュボード」画面が表示され、ダッシュボード上にウィジェットを表示します。



図 14-1　「ダッシュボード」画面 ウィジェット表示

各ウィジェットは、マウスで操作することができます。

各ウィジェットを操作した後、ウィジェットの初期表示に戻りたい場合は、ページの再読み込みを行ってください。

14.2　ウィジェットの追加

ダッシュボードにウィジェットを追加する方法を説明します。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[カスタマイズ]をクリックします。

   「ダッシュボード」画面がカスタマイズモードに切り替わり、カスタマイズメニューが表示されます。



図 14-2　「ダッシュボード」画面 カスタマイズメニュー

2. 「ダッシュボード」画面にて、[ウィジェット追加]をクリックします。

   「ウィジェット追加」ダイアログが表示されます。



図 14-3　「ウィジェット追加」ダイアログ

3. 「ウィジェット追加」ダイアログに、追加したいウィジェットの情報を入力し[OK]をクリックします。

表 14-1　項目一覧（「ウィジェット追加」ダイアログ）

項目名	入力規則	初期値	説明
ウィジェット名	0～64 文字	-	ウィジェットのタイトルとして表示する名前を指定します。 どのようなウィジェットであるか判別が容易である名称をご指定下さい。 ウィジェット名を省略した場合"(名前なし)"と表示されます。 なお、同じ名前のウィジェットは複数登録可能です。
URL	-	-	ウィジェットとして表示する項目を選択します。 なお、同じ URL のウィジェットは複数登録可能です。
URL パラメータ	0～2048 文字	-	ウィジェットの URL にオプションパラメータを指定する場合に利用します。 オプションパラメータは *key=value* の形式で指定して下さい。複数のパラメータがある場合、"&"で区切ってください。 文字列はエンコード済である必要があります。

新しいウィジェットがダッシュボードの既に表示されているウィジェットの最後に表示されます。

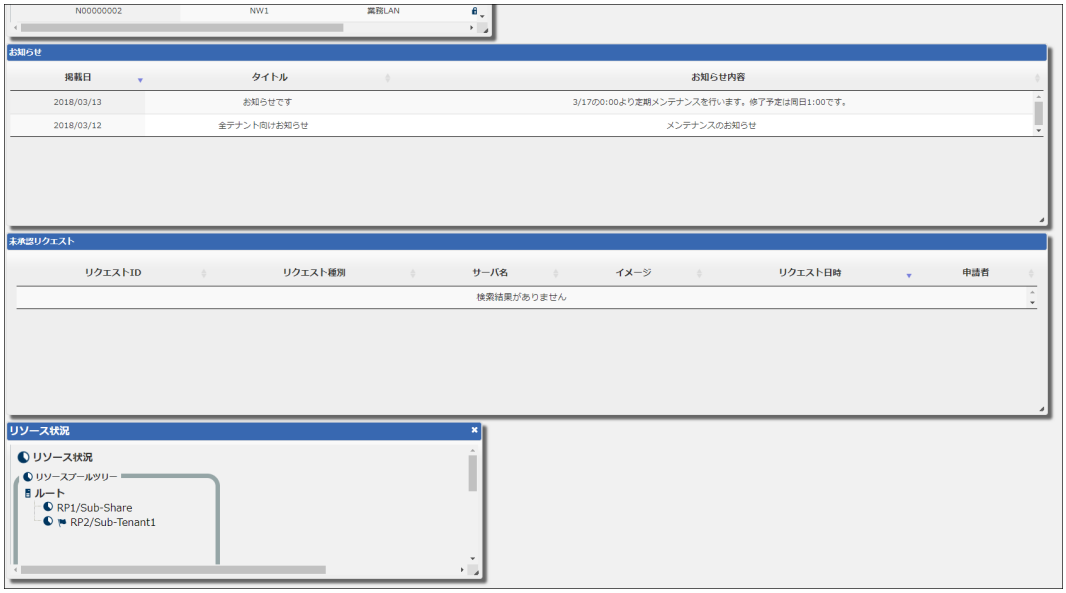


図 14-4　「ダッシュボード」画面 新規ウィジェット表示

ウィジェット追加操作後、保存操作を行ってください。手順については「14.5　ウィジェットの設定の保存（196 ページ）」を参照してください。

14.3　ウィジェットの削除

ダッシュボードからウィジェットを削除する方法を説明します。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[カスタマイズ]をクリックします。

   「ダッシュボード」画面がカスタマイズモードに切り替わります。



図 14-5　「ダッシュボード」画面 カスタマイズ

2. 削除したいウィジェットの右上に表示されている✖をクリックします。

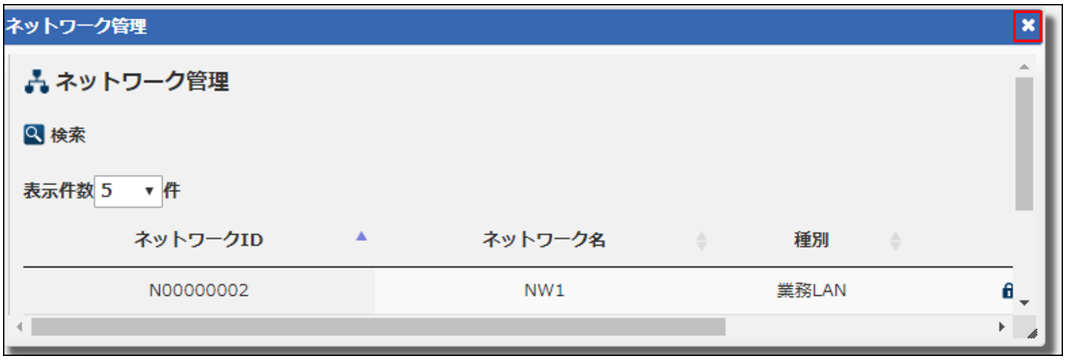


図 14-6　ダッシュボードからウィジェットを削除する

「ウィジェット削除確認」ダイアログが表示されます。

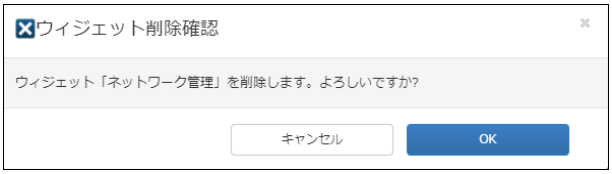


図 14-7　「ウィジェット削除確認」ダイアログ

3. 「ウィジェット削除確認」ダイアログの内容を確認し、削除してもよい場合は、[OK]をクリックします。

   削除を取りやめたい場合は、[キャンセル]をクリックします。

   「ウィジェット削除確認」ダイアログが閉じます。

[OK]をクリックした場合、選択したウィジェットが削除されます。

ウィジェット削除操作後、保存操作を行ってください。手順については「14.5　ウィジェットの設定の保存(196 ページ)」を参照してください。

14.4　ウィジェットの表示順・サイズの変更

ダッシュボードに表示されているウィジェットの表示順やサイズを変更する方法を説明します。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[カスタマイズ]をクリックします。

   「ダッシュボード」画面がカスタマイズモードに切り替わります。

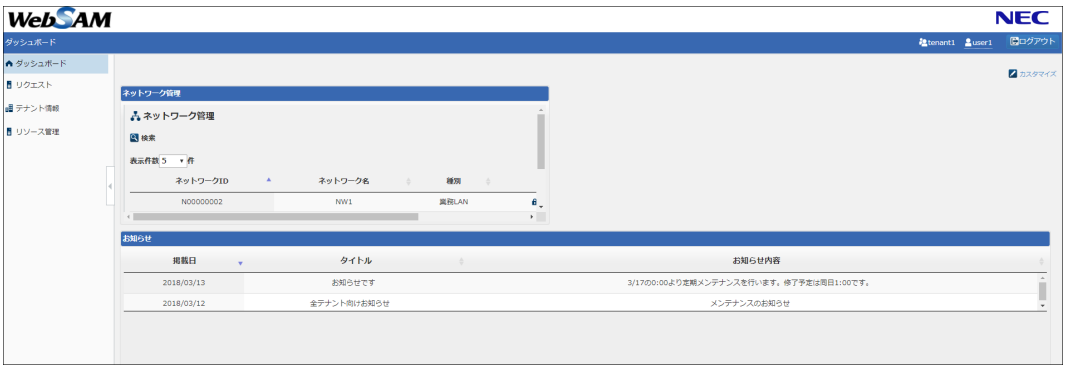


図 14-8　「ダッシュボード」画面 カスタマイズ

2. ウィジェットの表示順を変更したい場合、ウィジェットをマウスでドラッグ & ドロップします。

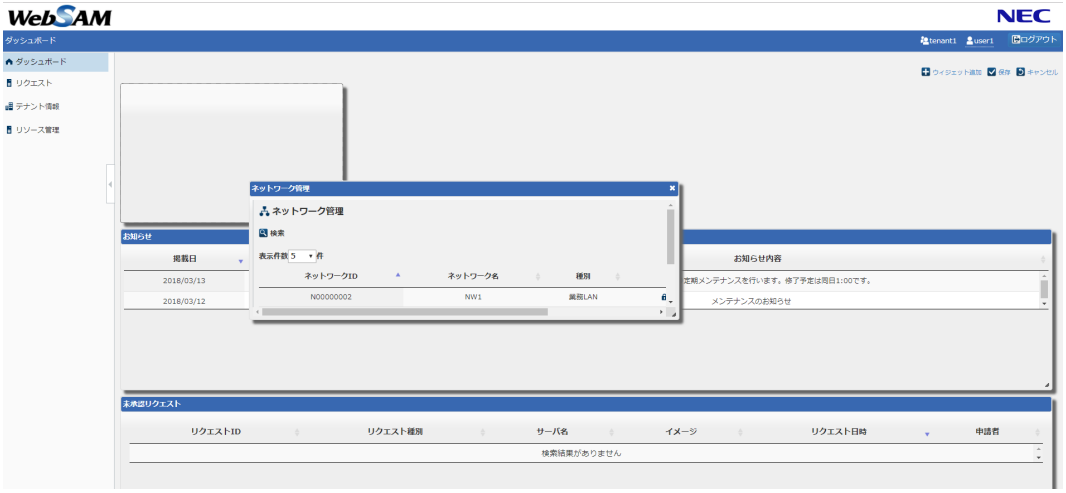


図 14-9　ウィジェットの表示順変更

ウィジェットの表示順序が変更されます。

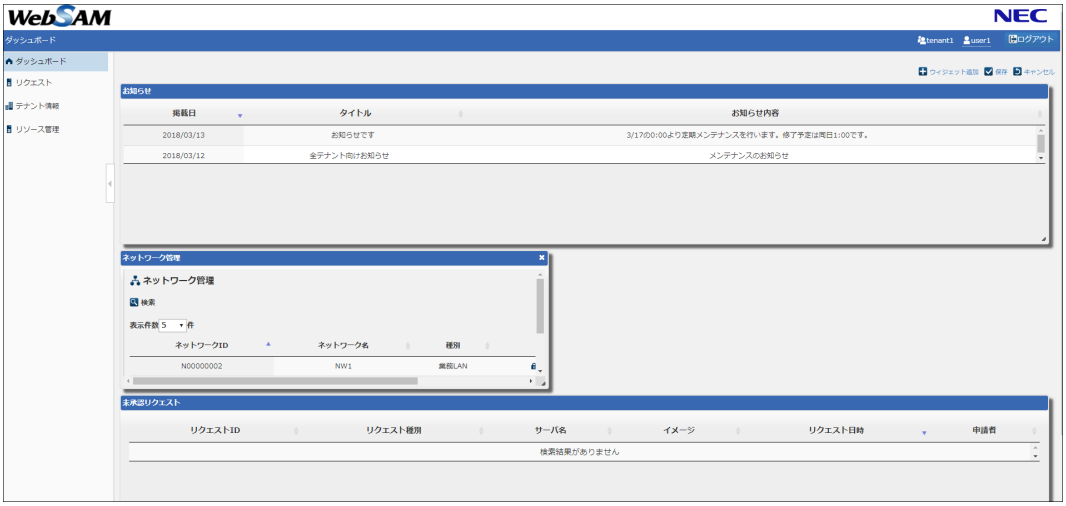


図 14-10　ウィジェットの表示順変更

3. ウィジェットのサイズを変更したい場合、ウィジェットの端をマウスでドラッグします。
   - ウィジェットの縦幅を変更したい場合、ウィジェットの下端をマウスでドラッグします。
   - ウィジェットの横幅を変更したい場合、ウィジェットの右端をマウスでドラッグします。
   - ウィジェットの縦幅と横幅を同時に変更したい場合、ウィジェットの右下角をマウスでドラッグします。

   ウィジェットのサイズが変更されます。



図 14-11　ウィジェットのサイズ変更

ウィジェットの表示順やサイズの変更後、保存操作を行ってください。手順については「14.5　ウィジェットの設定の保存（196 ページ）」を参照してください。

14.5　ウィジェットの設定の保存

ダッシュボードのウィジェットの設定を保存する方法を説明します。

ダッシュボードは既にカスタマイズモードになっており、ウィジェットに対する操作が行われている状態とします。ウィジェットに対する操作については、

- 「14.2　ウィジェットの追加（191 ページ）」
- 「14.3　ウィジェットの削除（193 ページ）」
- 「14.4　ウィジェットの表示順・サイズの変更（194 ページ）」

を参照してください。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[保存]をクリックします。

   「ウィジェット設定保存確認」ダイアログが表示されます。

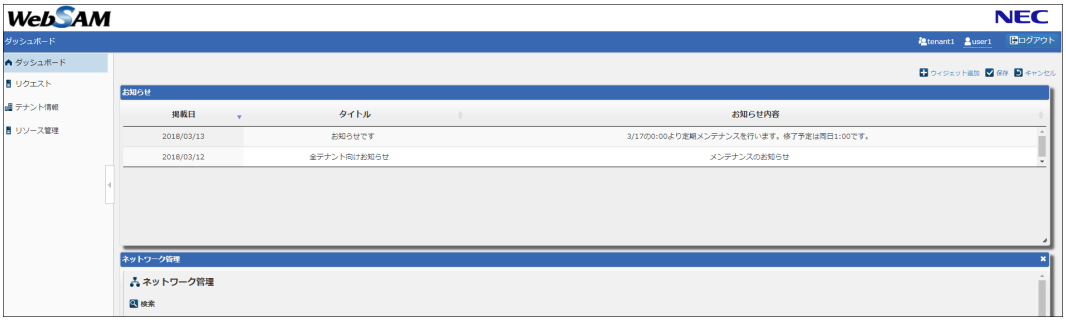


図 14-12　ウィジェットの設定保存

2. 「ウィジェット設定保存確認」ダイアログの内容を確認し、保存してもよい場合は、[OK]をクリックします。

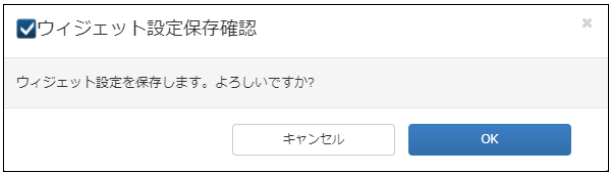


図 14-13　「ウィジェット設定保存確認」ダイアログ

保存を取りやめたい場合は、[キャンセル]をクリックします。

「ウィジェット設定保存確認」ダイアログが閉じます。

追加・削除したウィジェットの情報や、表示順・サイズが保存されます。

14.6　ウィジェットの設定の破棄

ダッシュボードのウィジェットの設定を破棄する手順を説明します。

ダッシュボードは既にカスタマイズモードになっており、ウィジェットに対する操作が行われている状態とします。ウィジェットに対する操作については、

- 「14.2　ウィジェットの追加(191 ページ)」
- 「14.3　ウィジェットの削除(193 ページ)」
- 「14.4　ウィジェットの表示順・サイズの変更(194 ページ)」

を参照してください。

1. 「ダッシュボード」画面にて、[キャンセル]をクリックします。

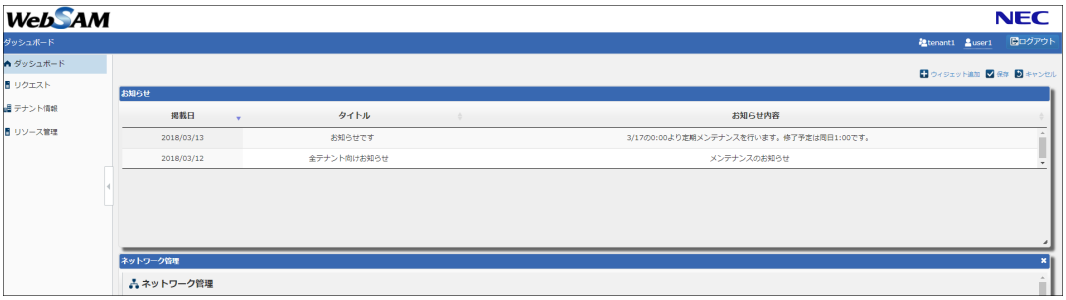


図 14-14　ウィジェットの設定破棄

「キャンセル確認」ダイアログが表示されます。

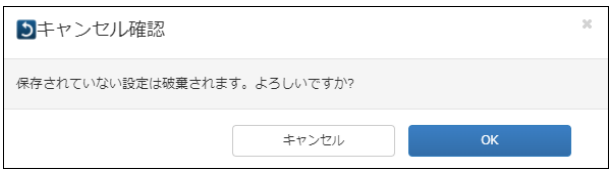


図 14-15　「キャンセル確認」ダイアログ

2. 「キャンセル確認」ダイアログの内容を確認し、設定を破棄してもよい場合は、[OK]をクリックします。

   キャンセルを取りやめたい場合は、[キャンセル]をクリックします。

「キャンセル確認」ダイアログが閉じます。

保存されていないウィジェットの編集内容が破棄され、ウィジェットの表示が前回保存時の状態に戻ります。

14.7　ダッシュボード(デフォルト)

ダッシュボード画面(デフォルト)では、以下の情報が確認できます。

- 掲載中のお知らせ一覧
- 未承認リクエスト一覧

なお、未承認リクエスト一覧は、リクエスト承認が可能なユーザのみ表示されます。



図 14-16　ダッシュボード画面(デフォルト)

14.7.1　お知らせ

お知らせ管理機能で登録したお知らせが表示されます。

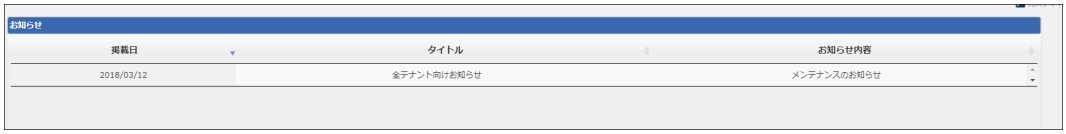


図 14-17　お知らせ一覧

表 14-2　項目一覧（お知らせ）

項目名	説明
掲載日	掲載日
タイトル	お知らせタイトル
お知らせ内容	お知らせ内容 添付ファイルがある場合には、文末にファイルへのリンクアイコンが表示される

14.7.2　未承認リクエスト（利用者）

承認フローに設定されている承認完了条件によって表示されるリクエストが変わります。

- 「承認権限を持ついずれかのユーザが承認すること」が設定されている場合

  同一テナント内のリクエスト状態が「承認待ち」であるリクエストが表示されます(ただし、次の承認者がシステム管理者であるリクエストは表示されません)。

- 「承認フローに設定されている全ての承認者が承認すること」が設定されている場合

  ログインユーザが次の承認者であるリクエストが表示されます。



図 14-18　未承認リクエスト一覧

表 14-3　項目一覧（未承認リクエスト）

項目名	説明
リクエスト ID	クリックすることで対象のリクエスト画面に遷移する
リクエスト種別	・サーバ作成 ・サーバ変更 ・サーバ削除 ・論理ネットワーク作成 ・論理ネットワーク削除 カスタムオペレーション実行 ・スタック作成 ・スタック削除 のいずれか
サーバ名	作成サーバ名、または変更・削除リクエスト対象サーバ名
イメージ	作成または変更・削除するサーバの OS 名
リクエスト日時	リクエストした日時
申請者	申請者名

第 15 章
リクエスト（利用者）

目次

15.1 リクエスト管理(利用者) 201
15.2 承認フロー設定(利用者) 227
15.3 メール通知設定 230

本章では、リクエストメニューについて説明します。

15.1　リクエスト管理（利用者）

リクエスト管理機能では、サーバリクエストの管理を行うことができます。

本節では、リクエスト承認可能となっているテナント管理者・テナントユーザとしての操作を説明します。

リクエスト可能なリソース種別は以下です。

1. サーバ
2. テナントネットワーク
3. 業務 VLAN
4. パブリック VLAN
5. WAN サービス VLAN
6. SSL-VPN
7. テナント Firewall
8. テナント LoadBalancer

15.1.1　リクエスト一覧（利用者）

メニューから、「リクエスト」－「リクエスト管理」をクリックすることにより、リクエスト一覧画面を表示します。

注

リクエスト一覧表示時は、ログインユーザが申請したリクエスト一覧が表示されます。

ログインユーザのリクエスト以外を表示する場合は、検索条件から「申請者」のログインユーザ名を削除して検索するなど、適宜検索してください。



図 15-1　リクエスト管理画面

表 15-1　項目一覧（リクエスト管理画面）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
リクエスト作成	リクエスト作成画面を呼び出す
リクエスト一覧	リクエストの一覧を表示する 一覧の[状態]がエラーとなっている場合、[エラー]リンクをクリックすることにより、エラーメッセージが表示される

リクエストを検索する場合は、リクエスト一覧画面の「検索」をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 15-2　項目一覧（リクエスト一覧検索画面）

項目名	説明
リクエスト ID	リクエスト ID
リクエスト種別	・作成 ・変更 ・削除 サーバ テナントネットワーク 業務 VLAN パブリック VLAN WAN サービス VLAN SSL-VPN テナント Firewall テナント LoadBalancer を指定して検索(複数選択可)
キーワード	・サーバ名 ・ネットワーク名 を入力して指定(部分指定可)
状態	・承認待ち ・実行待機

項目名	説明
	・却下 ・キャンセル済み ・実行中 ・完了 ・エラー を指定して検索(複数選択可)
リクエスト期間	リクエスト期間を指定
申請者	申請者を入力して指定(部分指定可)
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

15.1.2　リクエストを作成する

リクエストの作成方法を以下に示します。

1. リクエスト一覧画面にて、「リクエスト作成」をクリックします。



図 15-2　リクエスト一覧画面

2. リクエスト作成ダイアログが表示されます。



図 15-3　リクエスト作成ダイアログ

3. 作成するリクエスト種別をクリックします。



図 15-4　リクエスト種別選択（サーバ作成選択時）

- サーバを作成する前に、サーバを接続するネットワークを作成する必要があります。
- サーバはテナントネットワーク、業務 VLAN に接続することができます。
- サーバ作成後に業務 VLAN を追加する場合、サーバ変更リクエストにより接続することができます(接続を解除することも可能です)。
- サーバが接続しているネットワークは削除することができません。

リクエストの基本的な流れは以下の順になります。

ネットワーク作成

↓

サーバ作成

↓

(サーバ・ネットワークの構成変更)

↓

サーバ削除

↓

ネットワーク削除

4. 以下の各手順に従ってリクエストを登録します。
   - ネットワーク作成時
     a. 下記の表を参照し、各項目を入力後「次へ」ボタンを押下します。



図 15-5　ネットワーク作成（入力）画面

表 15-3　項目一覧（ネットワーク作成画面）

項目名	入力規則	説明
ネットワーク種別選択	―	作成するネットワーク種別を以下から選択する ・テナントネットワーク ・業務 VLAN ・パブリック VLAN ・WAN サービス VLAN ・SSL-VPN ・テナント Firewall ・テナント LoadBalancer
情報パネル		
リソースグループ（テナントネットワーク作成時のみ）	―	「リソースグループ選択」ボタンをクリックすることにより、リソースグループ選択画面を表示する 割当て先のリソースグループを選択し、「選択」ボタンをクリックすることにより作成画面に選択される
接続 VLAN	―	接続可能な VLAN リストの中からネットワーク機器を接続する VLAN にチェックする ※テナント Firewall、テナント LoadBalancer 選択時のみ表示 ※パブリック VLAN のサブネットアドレスとサブネットマスクは非表示
備考	255 文字以内	備考を入力する
その他パネル		
拡張パラメータ（設定されていない場合は非表示）	1024 文字以内	設定ファイルに設定された拡張パラメータ名が表示される 拡張パラメータ名が表示されているボックスに値を入力する 入力値を省略した場合には、値なしのパラメータが送付される

・最初にテナントネットワークを作成してください。

・テナント Firewall は VLAN のいずれかを作成後に作成可能です。

・テナント LoadBalancer は業務 VLAN 作成後に作成可能です。

・テナントネットワーク、SSL-VPN、テナント Firewall、テナント LoadBalancer は、テナントで一つのみ作成可能です。

注

ネットワークにつける任意の名前については重複して登録することが可能です。ネットワークを識別させる必要がある場合は、重複しない名前を付与するようにしてください。

b. 確認画面が表示されます。「確定」ボタンを押下することによりリクエストが登録されます。



図 15-6　ネットワーク作成（確認）画面

- ネットワーク変更時

ネットワーク変更はテナント Firewall とテナント LoadBalancer のみ変更可能です。

a. 構成を変更するネットワークを一覧にてクリックし、「選択」ボタンを押下します。

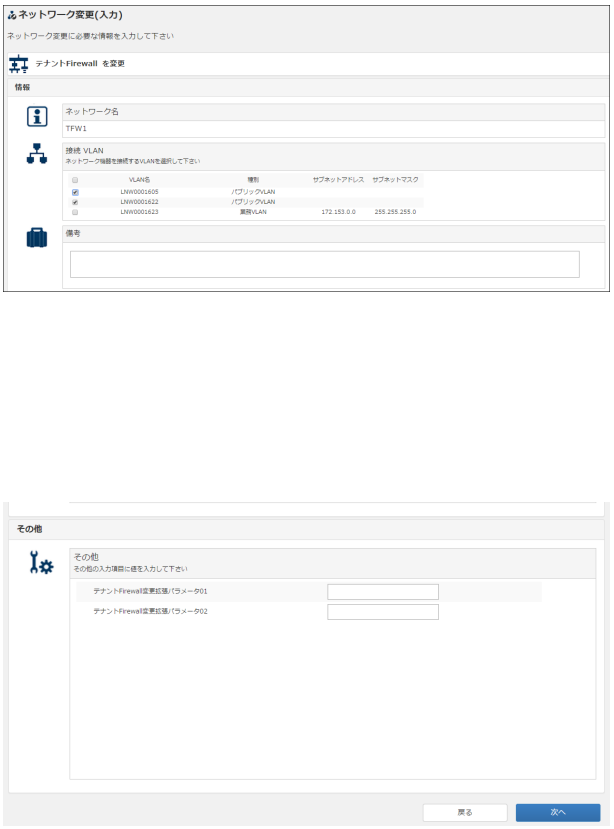


図 15-7　ネットワーク変更選択画面

b. ネットワーク変更(入力)画面が表示されます。

接続 VLAN の選択(チェックボックス)、備考欄、拡張パラメータの値(設定されている場合)を変更することが可能です。

各項目を適宜変更後、「次へ」ボタンを押下します。



-
- ・中略
-

図 15-8　ネットワーク変更（入力）画面

c. ネットワーク変更(確認)画面が表示されます。「確定」ボタンを押下することによりリクエストが登録されます。



-
- ・中略
-



図 15-9　ネットワーク変更（確認）画面

- ネットワーク削除時

a. 削除するネットワークを一覧にてクリックし、「選択」ボタンを押下します。



図 15-10　削除ネットワーク選択画面

b. ネットワーク削除（確認）画面が表示されます。「確定」ボタンを押下することにより リクエストが登録されます。



・

・中略

・



図 15-11　ネットワーク削除（確認）画面

注

サーバやテナント Firewall、テナント LoadBalancer が接続されている VLAN は削除できません。テナントネットワークを削除する場合、当該テナント内の全てのサーバ、ネットワークが削除されている必要があります。作成済みのものだけでなく、作成中のものや、未承認の作成リクエストが存在する場合等も同様です。

サーバリクエストについては以下を参照してください。

- サーバ作成

  「15.1.2.1　サーバ作成リクエスト(209 ページ)」

- サーバ変更

  「15.1.2.2　サーバ変更リクエスト(216 ページ)」

- サーバ削除

  「15.1.2.3　サーバ削除リクエスト(219 ページ)」

15.1.2.1　サーバ作成リクエスト

以下の各手順に従ってサーバ作成リクエストを登録します。

- サーバ作成時

  1. 以下の表を参照し、各項目を入力後「次へ」ボタンを押下します。

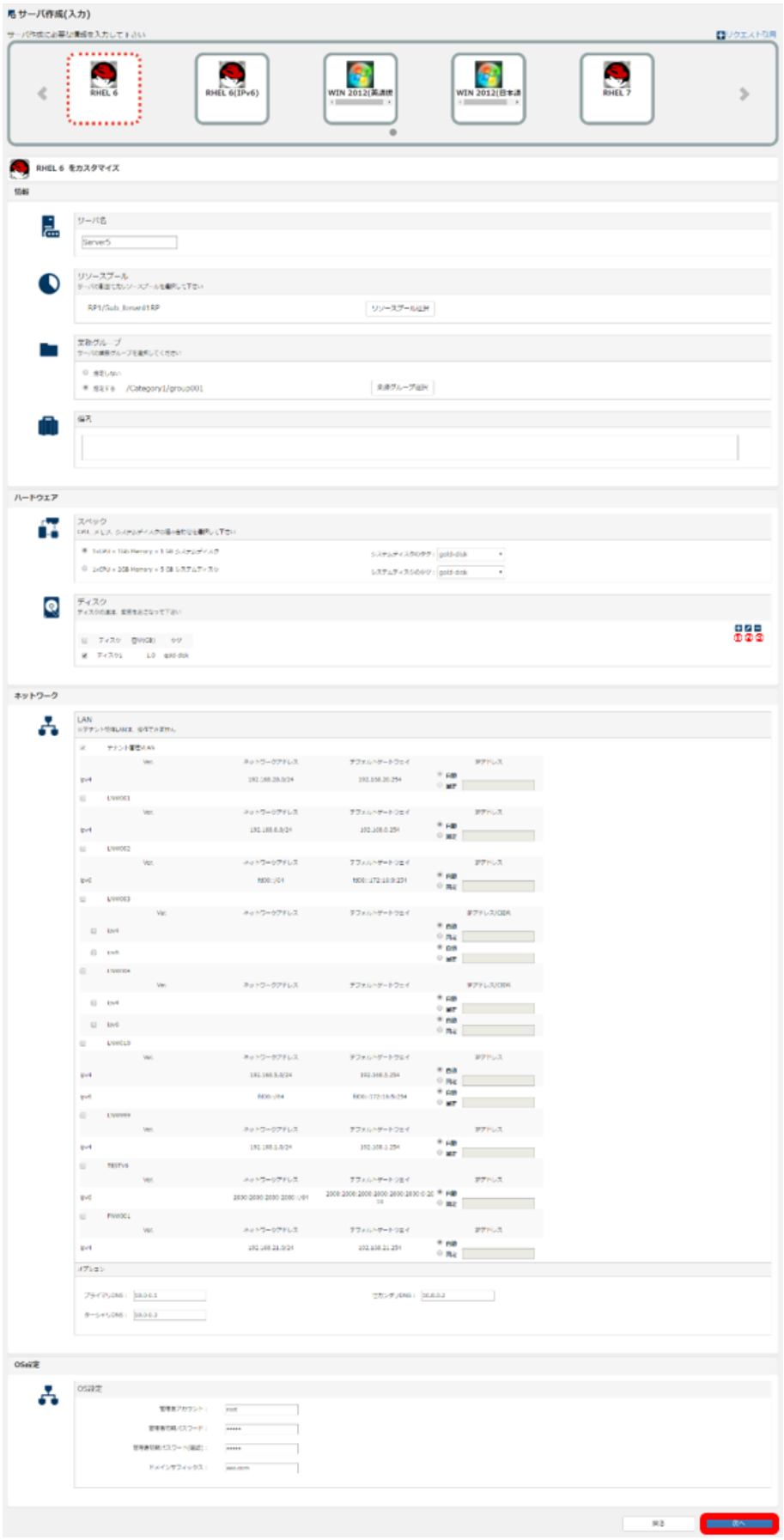


図 15-12　サーバ作成（入力）画面

表 15-4　項目一覧（サーバ作成画面）

項目名	入力規則	説明
リクエスト引用	―	クリックすることにより、過去のサーバ作成リクエストの一覧を表示する 引用するリクエストを一覧から選択することで入力画面に引用される
OS イメージ選択	―	作成するサーバの OS イメージを選択する
情報パネル		
付加情報	設定ファイルに設定されたテンプレートの付加情報 ※付加情報が設定されていない場合は非表示	サーバ名(ホスト名)を入力する
サーバ名	英数字と-(ハイフン).(ピリオド)が使用可能 Linux:24 文字まで windows:15 文字まで ただし、頭文字はアルファベットであること	
リソースプール	―	「リソースプール選択」ボタンをクリックすることにより、リソースプール選択画面を表示する 割当て先のリソースプールを選択し、「選択」ボタンをクリックすることにより作成画面に選択される 「図 15-13　リソースプール選択画面 (214 ページ)」
業務グループ	―	業務グループを指定するかしないかを選択する ※SE 版のみ有効
業務グループ選択	―	業務グループ選択ダイアログを開く ※SE 版のみ有効
備考	255 文字以内	備考を入力する
ハードウェア		
スペック	―	CPU、メモリ、システムディスクの組み合わせ選択とシステムディスクのタグを選択する
ディスク	0.01～97656.249(GB) 小数点以下第 3 位まで入力可能	ディスクの追加、変更を行う 追加アイコン(①)をクリックすることによりデータディスク追加ダイアログを表示する 「図 15-14　データディスク追加ダイアログ (214 ページ)」 編集アイコン(②)をクリックすることによりデータディスク編集ダイアログを表示する 「図 15-15　データディスク変更ダイアログ (214 ページ)」

項目名	入力規則	説明
		チェックボックスにチェックし、削除アイコン(③)をクリックすることによりディスクを削除する
ネットワークパネル		
ネットワーク有効チェック	ー	チェックすることによりネットワークを有効にする ※管理 LAN が複数表示された場合は、一番上に表示されている LAN が管理 LAN として使用されます
IP バージョン	ー	IP アドレスを入力したい IP バージョンを選択する
ネットワークアドレス	ー	論理ネットワークの IP アドレスプールから計算したネットワークアドレス 当該論理ネットワークの IP アドレスプールが設定されていない場合は空表示
デフォルトゲートウェイ	ー	論理ネットワークの IP アドレスプールに設定されているデフォルトゲートウェイ 当該論理ネットワークの IP アドレスプールが設定されていない場合は空表示
IP アドレス/CIDR	ー	IP アドレスプールが設定されていない場合には、「IP アドレス/CIDR」形式で入力する
IP アドレス	ー	IP アドレスの割り当てが固定の場合に IP アドレスを入力する ※複数入力不可
オプション		クリックすることによりオプション項目を表示する
プライマリ DNS	最小:0 文字 最大:64 文字 IP アドレス形式 (IPv4,IPv6 に対応)	プライマリ DNS を指定する
セカンダリ DNS	最小:0 文字 最大:64 文字 IP アドレス形式 (IPv4,IPv6 に対応)	セカンダリ DNS を指定する
ターシャリ DNS	最小:0 文字 最大:64 文字 IP アドレス形式 (IPv4,IPv6 に対応)	ターシャリ DNS を指定する Linux 系 OS のカタログを選択した場合のみ
プライマリ WINS	最小:0 文字 最大:64 文字 IP アドレス形式 (IPv4,IPv6 に対応)	プライマリ WINS を指定する Windows 系 OS のカタログを選択した場合のみ
セカンダリ WINS	最小:0 文字	セカンダリ WINS を指定する

項目名	入力規則	説明
	最大:64 文字 IP アドレス形式 (IPv4,IPv6 に対応)	Windows 系 OS のカタログを選択した場合のみ
OS 設定パネル		
タイムゾーン	設定ファイルに指定されたタイムゾーン	Windows 系 OS のカタログを選択した場合のみ
管理者アカウント	最小:1 文字 最大:128 文字 半角英数記号	OS のデフォルト管理者アカウントを指定する※
管理者初期パスワード	最小:1 文字 最大:256 文字 ASCII 文字(0x20-0x7E「″,」は除く)	管理者初期パスワードを指定する
管理者初期パスワード(確認)	最小:1 文字 最大:256 文字 ASCII 文字(0x20-0x7E「″,」は除く)	管理者初期パスワードを指定する(確認)
プロダクトキー	最小:0 文字 最大:128 文字 半角英数記号	Windows 系 OS のカタログを選択した場合のみ
ドメインサフィックス	文字列 最小:0 文字 最大:63 文字 ASCII 文字(0x20-0x7E「″#$&'();<>¥`|」は除く)	Linux 系 OS のカタログを選択した場合のみ
タイプ	・ワークグループ ・ドメイン	ワークグループのタイプを選択する Windows 系 OS カタログのみ表示
ワークグループ名(ドメイン名)	ワークグループの場合 最小:1 文字 最大:15 文字 ASCII 文字(0x20-0x7E「″*+,:;<=>?¥|」は除く) ドメインの場合 最小:1 文字 最大:155 文字 ASCII 文字(0x20-0x7E「″*,/:;<>?[¥]|」及び半角スペースは除く)	ワークグループ名もしくはドメイン名を指定 ラジオボタンの選択で「ワークグループ名」か「ドメイン名」のラベルを切り替える Windows 系 OS カタログのみ表示
ドメインアカウント	最小:1 文字 最大:255 文字 ASCII 文字(0x20-0x7E「″*,/:;<>?[¥]|」は除く)	ドメインアカウントを指定 Windows 系 OS カタログでワークグループタイプがドメインの場合のみ表示
ドメインパスワード	最小:1 文字 最大:256 文字 ASCII 文字(0x20-0x7E「″*,/:;<>?[¥]|」は除く)	ドメインパスワードを指定 Windows 系 OS カタログでワークグループタイプがドメインの場合のみ表示

※デフォルトアカウント名(Administrator または root)から変更しないでください。変更しても OS のデフォルトのアカウント名が設定されます。

【リソースプール選択】

割当て先のリソースプールを選択し、「選択」ボタンをクリックする

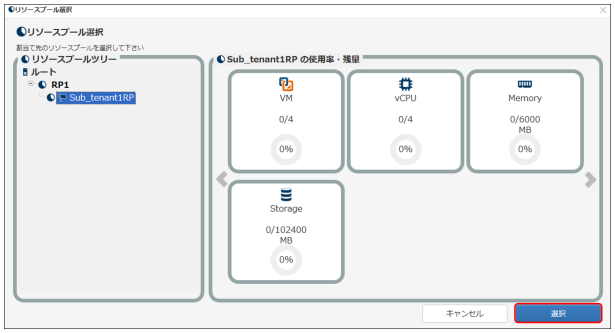


図 15-13　リソースプール選択画面

【データディスク追加】

容量、タグを選択し「追加」ボタンをクリックする



図 15-14　データディスク追加ダイアログ

【データディスク変更】

容量、タグを選択し「確認」ボタンをクリックする



図 15-15　データディスク変更ダイアログ

2. 確認画面が表示されます。申請コメント、リクエスト実行オプションを設定し、「確定」ボタンを押下することによりリクエストが登録されます。

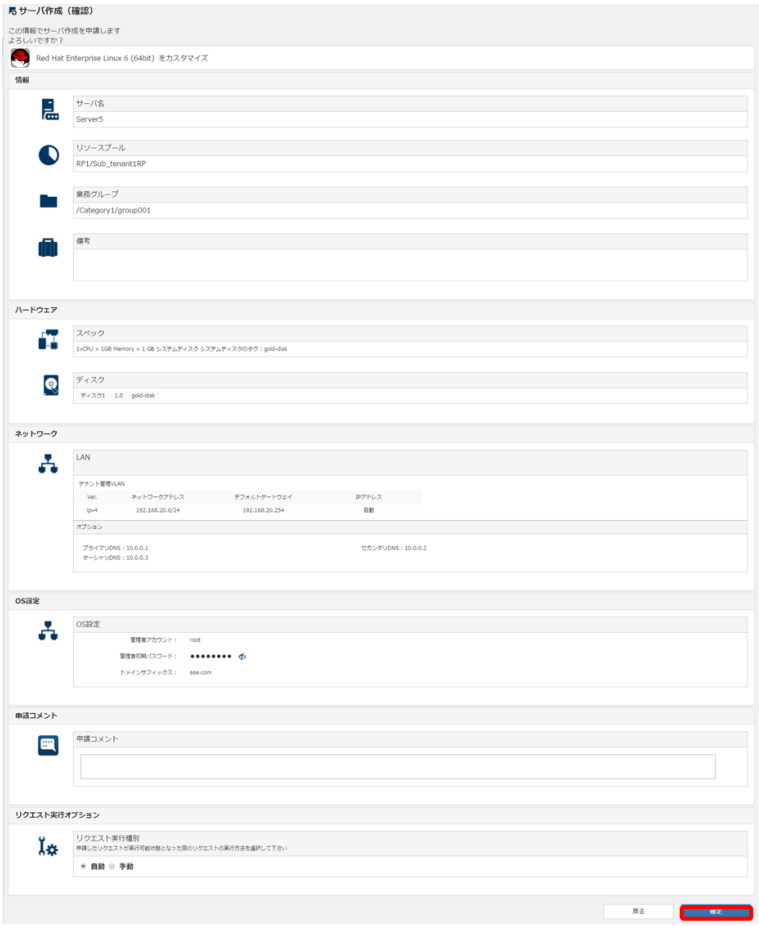


図 15-16　サーバ作成（確認）画面

表 15-5　サーバ作成（確認）画面

項目名	入力規則	説明
申請コメント	0～255 文字	承認者へのコメントまたは申請時のメモなどを入力する
リクエスト実行オプション	自動・手動	申請したリクエストが実行可能状態になった際のリクエスト実行方法を選択する

注

サーバ作成リクエストをする際は、以下の点に注意してください。

- サスペンド状態のサーバを選択して引用リクエストを作成することはできません。引用する場合にはサスペンド状態から復帰させて行ってください。
- サーバ作成、変更リクエスト申請において、指定可能な拡張ディスクの数は VM ホストに依存します。あまりにも大きな数を指定した場合、エラーが発生する可能性があります。
- 拡張ディスク付きのテンプレートを使用して VM 作成を行った場合、その拡張ディスクの削除やサイズ変更を行うことはできません。変更が必要な場合には VM 作成のオプションで拡張ディスクを追加してください。
- サーバ変更のリクエストでネットワークを削除する(チェックボックスを外す)場合、他のネットワークに対して変更(ネットワークの追加、IP アドレスの変更等)を加えないでください。

- サーバ構成変更のリクエストが却下された後、再申請時に IP アドレスを追加しようとするとエラーになります。IP アドレスを追加する際にはリクエストを新規作成してください。
- 管理用ネットワークを運用途中で追加した場合、それまでに作成したネットワークが削除できなくなります。
- サーバの IP アドレスの変更は直接 VM にログインして行ってください。
- 1 つのネットワークに対して「自動」IP アドレスを複数設定することはできません。
- 1 つのネットワークに対して既に「固定」IP アドレスが設定されている場合、「自動」IP アドレスを追加することはできません。

注

パブリッククラウド上にサーバを作成することはできません。

15.1.2.2　サーバ変更リクエスト

以下の各手順に従ってサーバ作成リクエストを登録します。

- サーバ変更時

1. 構成を変更するサーバを一覧にてクリックし、「選択」ボタンを押下します。

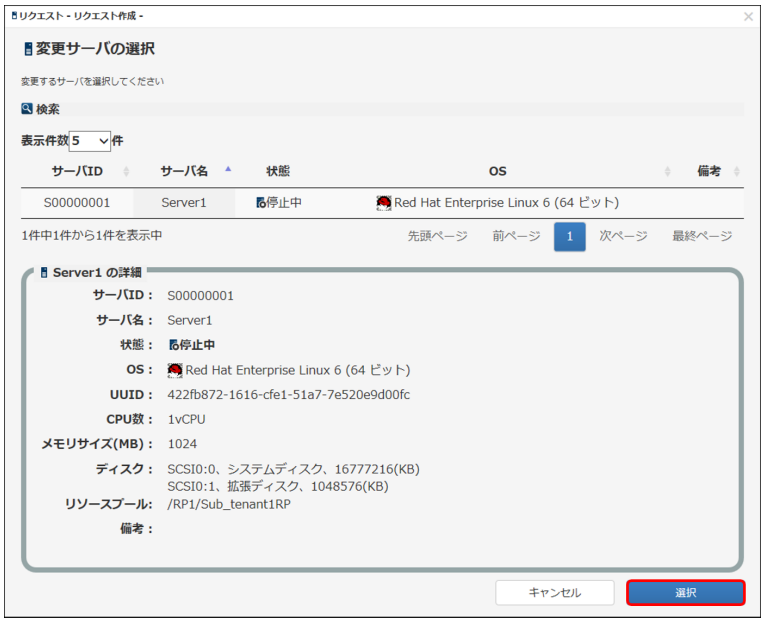


図 15-17　サーバ変更選択画面

2. サーバ変更(入力)画面が表示されます。「表 15-4　項目一覧(サーバ作成画面)(211 ページ)」を参照して各項目を編集後、「次へ」ボタンを押下します。

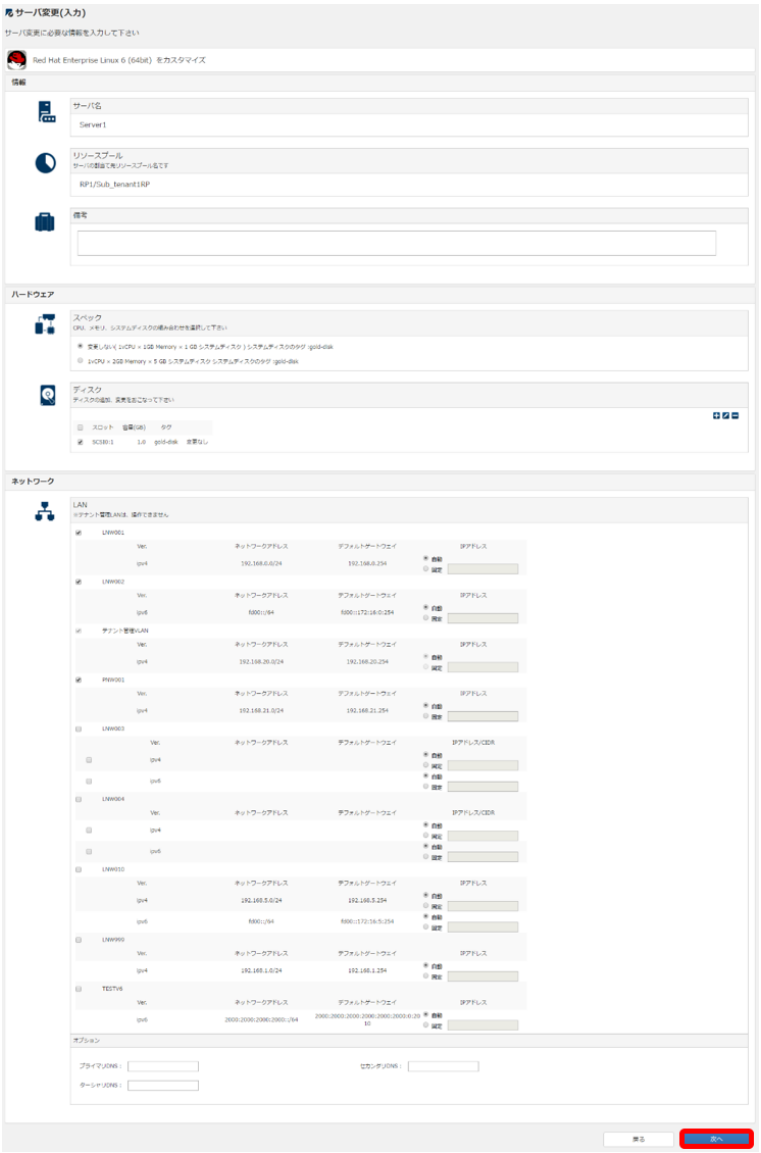


図 15-18　サーバ変更（入力）画面

3. サーバ変更(確認)画面が表示されます。「表 15-4　項目一覧(サーバ作成画面)(211 ページ)」を参照して申請コメント、リクエスト実行オプションを設定します。「確定」ボタンを押下することによりリクエストが登録されます。

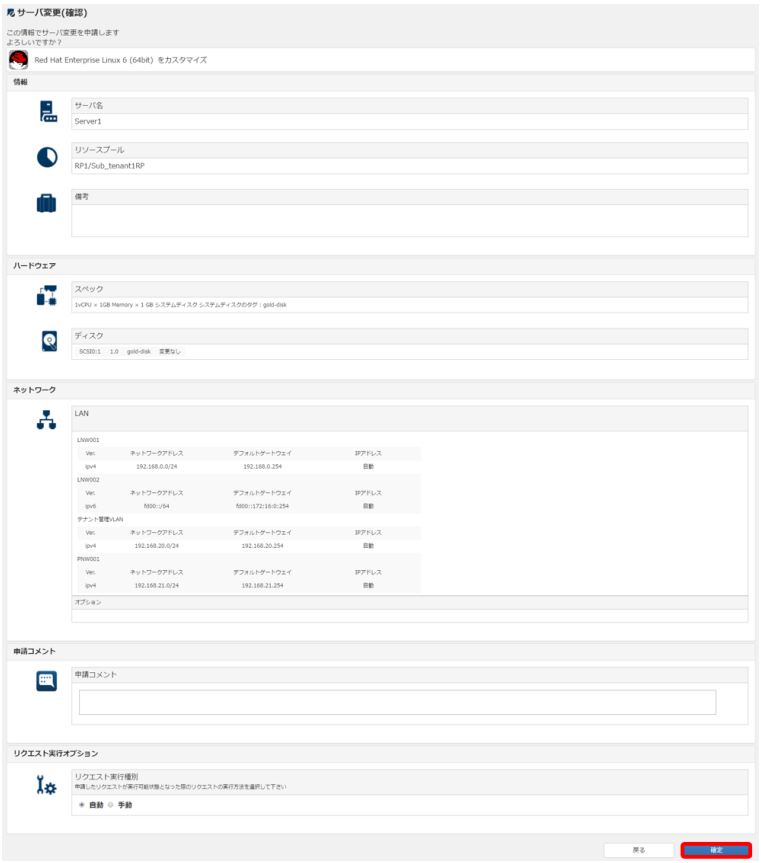


図 15-19　サーバ変更（確認）画面

注

サーバ変更リクエストをする際は、以下の点に注意してください。

- サスペンド状態のサーバを選択して引用リクエストを作成することはできません。引用する場合にはサスペンド状態から復帰させて行ってください。
- サーバ作成、変更リクエスト申請において、指定可能な拡張ディスクの数は VM ホストに依存します。あまりにも大きな数を指定した場合、エラーが発生する可能性があります。
- 拡張ディスク付きのテンプレートを使用して VM 作成を行った場合、その拡張ディスクの削除やサイズ変更を行うことはできません。変更が必要な場合には VM 作成のオプションで拡張ディスクを追加してください。
- サーバ変更のリクエストでネットワークを削除する(チェックボックスを外す)場合、他のネットワークに対して変更(ネットワークの追加、IP アドレスの変更等)を加えないでください。
- サーバ構成変更のリクエストが却下された後、再申請時に IP アドレスを追加しようとするとエラーになります。IP アドレスを追加する際にはリクエストを新規作成してください。
- 管理用ネットワークを運用途中で追加した場合、それまでに作成したネットワークが削除できなくなります。
- サーバの IP アドレスの変更は直接 VM にログインして行ってください。
- 1 つのネットワークに対して「自動」IP アドレスを複数設定することはできません。

- 1 つのネットワークに対して既に「固定」IP アドレスが設定されている場合、「自動」IP アドレスを追加することはできません。
- IP アドレスの「追加」「削除」をおこなう場合、下位の IP アドレスから順におこなう必要があります(複数の IP アドレスを同時に操作しないでください)

15.1.2.3　サーバ削除リクエスト

以下の各手順に従ってサーバ削除リクエストを登録します。

- サーバ削除時

1. 削除するサーバのチェックボックスにチェックし、「選択」ボタンを押下します。

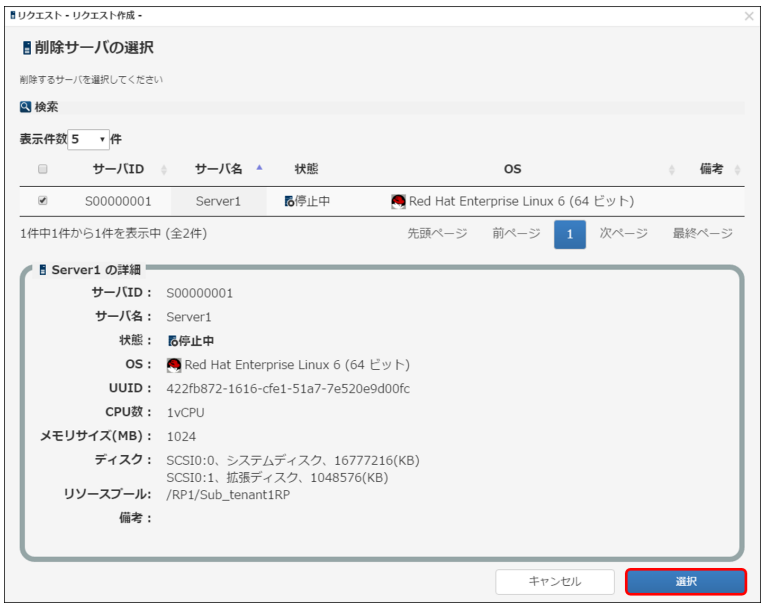


図 15-20　削除サーバ選択画面

2. サーバ削除(確認)画面が表示されます。「表 15-4　項目一覧(サーバ作成画面)(211 ページ)」を参照して申請コメント、リクエスト実行オプションを設定します。「確定」ボタンを押下することによりリクエストが登録されます。



図 15-21　サーバ削除（確認）画面

15.1.3　リクエストの詳細情報を確認する

リクエスト一覧の確認したいリクエスト行をクリックすることにより、詳細情報を表示します。



図 15-22　リクエスト詳細画面

表 15-6　項目一覧（リクエスト）

項目名	説明
テナント名	対象テナント名 ※システム管理者のみ表示
リクエスト ID	リクエスト ID
リクエスト種別	・サーバ作成 ・テナントネットワーク作成 ・業務 VLAN 作成 ・パブリック VLAN 作成 ・WAN サービス VLAN 作成 ・SSL-VPN 作成

項目名	説明
	・テナント Firewall 作成 ・テナント LoadBalancer 作成 ・サーバ変更 ・テナント Firewall 変更 ・テナント LoadBalancer 変更 ・サーバ削除 ・テナントネットワーク削除 ・業務 VLAN 削除 ・パブリック VLAN 削除 ・WAN サービス VLAN 削除 ・SSL-VPN 削除 ・テナント Firewall 削除 ・テナント LoadBalancer 削除 のいずれか
カタログ名	選択されたカタログ名
付加情報	設定ファイルに設定されたテンプレートの付加情報を表示 ※付加情報が設定されていない場合は非表示
リクエスト実行種別	リクエスト申請時に設定した以下のリクエスト実行種別を表示する 自動・手動のいずれか
シナリオ実行 ID	ジョブ ID(ワークフロー実行時のシナリオ実行 ID)を表示する
状態	・承認待ち ・実行待機 ・却下 ・キャンセル済み ・実行中 ・完了 ・エラー のいずれか
進捗率	「状態」が実行中・完了の時に進捗率を表示する
サーバ名	作成サーバ名、または変更・削除リクエスト対象サーバ名 ※サーバの場合のみ表示
リソースプール	リソースプール ※サーバ、テナントネットワークの場合のみ表示
リソース状況確認	リクエストで選択済みのリソースプールを初期選択した状態でダイアログを表示するボタン
OS 名	作成または変更・削除するサーバの OS 名 ※サーバの場合のみ表示
業務グループ	申請時に選択した業務グループ 申請時に指定しなかった場合は「指定しない」が表示される ※SE 版のみ
スペック	作成または変更・削除するサーバのスペック ※サーバの場合のみ表示
ディスク	作成または変更・削除するサーバのデータディスク

項目名	説明
	※サーバの場合のみ表示
ネットワーク	作成または変更・削除するサーバのネットワーク ※サーバの場合のみ表示 「オプション」をクリックすると申請時に設定したオプション項目が表示される
タイムゾーン	申請時に設定したタイムゾーン ※Windows 系 OS のカタログを選択した場合のみ
管理者アカウント	管理者アカウント名
管理者初期パスワード	管理者初期パスワード アイコンをクリックすることによりパスワードの表示・非表示が切り替わる
プロダクトキー	プロダクトキーを表示する Windows 系 OS の場合のみ
ドメインサフィックス	申請時に入力したドメインサフィックス Linux 系 OS の場合のみ
ワークグループ名(ドメイン名)	ワークグループ名もしくはドメイン名 Windows 系 OS のみ表示
ドメインアカウント	ドメインアカウントを指定 Windows 系 OS でワークグループタイプがドメインの場合のみ表示
ドメインパスワード	ドメインパスワードをマスク表示する Windows 系 OS でワークグループタイプがドメインの場合のみ表示
備考	備考
接続 VLAN	接続 VLAN の以下の情報をリスト表示する ・VLAN 名 ・種別 ・IP アドレス ※パブリック VLAN のサブネットアドレスとサブネットマスクは非表示 ・サブネットマスク ※テナント Firewall、テナント LoadBalancer のみ表示
その他	拡張パラメータの以下の情報をリスト表示する ・パラメータ名 パラメータ値 ※拡張パラメータ設定がされている場合のみ表示
リクエスト日時	リクエストした日時
申請者	リクエストの申請者名
申請コメント	申請時のコメント
次の承認者	次の承認者を表示する。次の承認者がいない場合は、表示しない。(*1) ※リアルタイム更新する ※承認中状態のみに表示
承認者(テナント)	承認フロー設定がパターン1(*2)の場合のみ、承認者名を表示する ※リアルタイム更新する
承認コメント(テナント)	承認フロー設定がパターン1(*2)の場合のみ、承認コメントを表示する ※リアルタイム更新する
承認状態(テナント)一覧	

項目名	説明
承認フロー設定がパターン2(*2)の場合のみ、承認者の状態を表示する(テナント用承認フロー) ※リアルタイム更新する	
承認順	承認フローの承認順を表示する
承認者	承認者名を表示する。未承認の状態の場合は現時点のユーザ名を表示する。(*3) 承認済みの場合は、承認した時点のユーザ名を表示する。
メールアドレス	承認者のメールアドレスを表示する。(詳細は上記承認者を参照。)
状態	承認者の承認状態を表示する 以下の状態のいずれか 未(未承認/保留中) 済(承認済) 否(否認) －(スキップ)
コメント	承認者のコメントを表示する
承認状態(システム)一覧 承認フロー設定がパターン2(*2)の場合のみ、承認者の状態を表示する(システム用承認フロー) ※リアルタイム更新する	
承認順	承認フローの承認順を表示する
承認者	承認者名を表示する。未承認の状態の場合は現時点のユーザ名を表示する。(*3) 承認済みの場合は、承認した時点のユーザ名を表示する。
メールアドレス	承認者のメールアドレスを表示する。(詳細は上記承認者を参照。)
状態	承認者の承認状態を表示する 以下の状態のいずれかを表示する 未(未承認/保留中) 済(承認済) 否(否認) -(スキップ)
コメント	承認者のコメントを表示する
操作メニュー	
リクエスト承認	リクエスト承認ダイアログをモーダル表示する ※リアルタイム更新する ※承認者、かつ承認待ち状態でのみ表示
リクエスト却下	リクエスト却下ダイアログをモーダル表示する ※リアルタイム更新する ※承認者、かつ承認待ち状態でのみ表示
再申請	以下の各画面に遷移する サーバ作成(入力)画面 サーバ変更(入力)画面 サーバ削除(確認)画面 ※リアルタイム更新する ※却下リクエストまたはキャンセルリクエストを選択した場合のみ表示する。また、システム管理者(テナントに所属していないユーザ)は表示しない。
リクエスト実行	リクエスト実行ダイアログをモーダル表示する ※リアルタイム更新する ※「実行待機」状態の場合のみ表示する ※申請者、またはテナント管理者のみ表示
キャンセル	キャンセルダイアログをモーダル表示する

項目名	説明
	※以下の状態の場合のみ表示する 承認待ち 承認済み 実行待機 エラー ※リアルタイム更新する ※申請者、またはテナント管理者のみ表示
エラー状態解除	エラー状態解除ダイアログをモーダル表示する。 ※リアルタイム更新する ※システム管理者、且つエラー状態でのみ表示

*1 承認フロー設定により、そもそも承認者が設定されていない場合は、次の承認者を表示しない。ただし、承認者は設定されているが削除されている場合や、別テナント(事業者含む)に所属している場合は、以下のように表示する

- テナント用承認フローの承認者の順の場合

  (一覧)テナント管理者

  (詳細)存在しないユーザです。テナント管理者に代理承認を依頼してください。

- システム用承認フローの承認者の順の場合

  (一覧)システム管理者

  (詳細)存在しないユーザです。システム管理者に代理承認を依頼してください。

*2 承認フローのパターンについては、「8.2　承認フロー設定(103 ページ)」を参照してください。

*3 未承認状態かつ承認者が削除されている場合や、別テナント(事業者含む)に所属している場合は、「存在しないユーザ」と表示する。

注

システム管理者でログインしテナント代行でリクエスト承認後、リクエスト一覧の「リクエスト作成」リンクが非表示になる場合があります。その場合は、リクエスト管理画面を再表示してください。

注

接続 VLAN の IP アドレスは、常に最新の IP アドレスが表示されます。

15.1.4　リクエストを承認する

1. 「リクエスト詳細」画面にて[リクエスト承認]をクリックします。

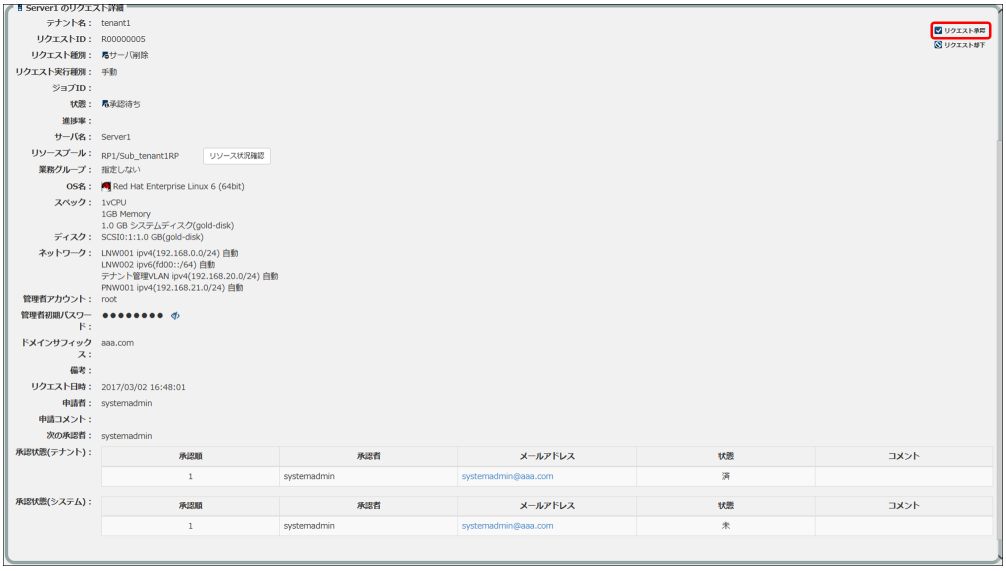


図 15-23　リクエスト詳細画面（承認）

2. リクエスト承認ダイアログを表示します。申請者へのコメントを入力(任意)し、[確認]ボタンを押下することでリクエストを承認します。



図 15-24　承認ダイアログ

注

SSL-VPN の作成、削除と、テナント Firewall の作成、更新、削除を同時に実行することはできません。

15.1.5　リクエストを却下する

1. 「リクエスト詳細」画面にて[リクエスト却下]をクリックします。

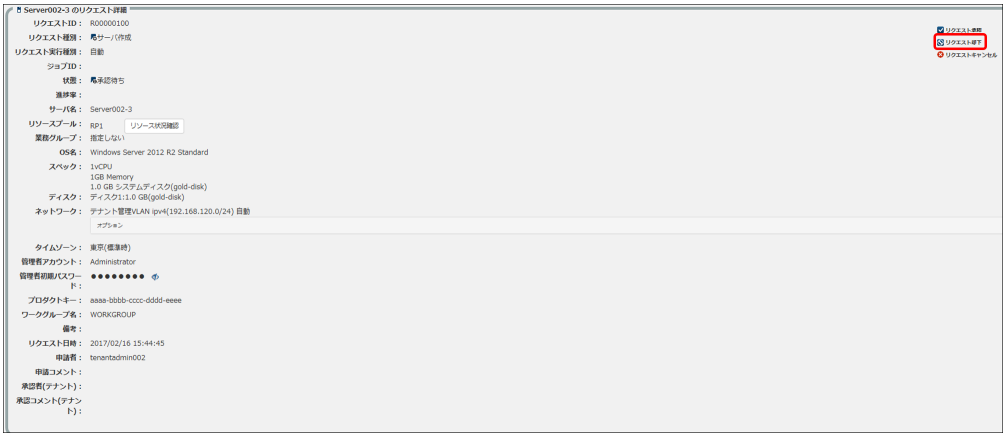


図 15-25　リクエスト詳細画面（却下）

2. リクエスト却下ダイアログが表示されます。申請者へのコメントを入力(任意)し、[確認]ボタンを押下することでリクエストを却下します。

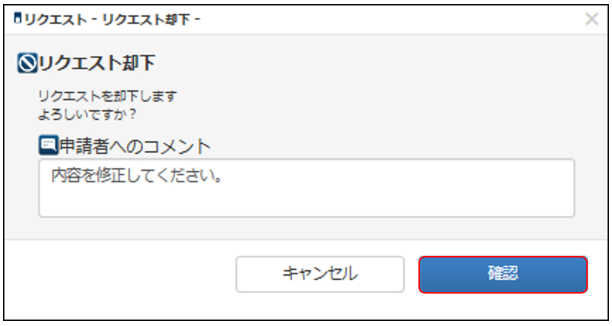


図 15-26　却下ダイアログ

15.1.6　リクエストを再申請する

一度却下されたリクエストを再申請する場合、リクエスト詳細画面の「再申請」をクリックすることにより、再度リクエスト作成画面が表示されます。

適宜修正・確認をおこない、再申請します。

※再申請アイコンは却下されたリクエストのみ表示されます。



図 15-27　リクエスト詳細画面（再申請）

15.2　承認フロー設定(利用者)

本章では、テナント用承認フロー設定について説明します。

15.2.1　承認フローのパターン(利用者)

本機能は、テナント管理者が利用可能です。システム管理者はテナント代行することにより利用可能です。

「テナント用承認フロー」では、承認者を最大 5 名登録することが可能です。

- 承認要否設定

  リクエストに対する、承認の要・否を設定します。

  承認を不要とした場合、リクエストを申請すると直ちに自動実行されます。

- 承認条件設定

  承認要否設定が「不要」の場合には操作はありません(表示されません)。

  承認の条件を、承認権限を持つ「全てのユーザ」または「いずれかのユーザ」に設定します。

  「全てのユーザ」を選択した場合は、承認者の登録順に承認処理が進みます。

表 15-7　承認フロー設定と承認動作の一覧

承認要否	承認条件	承認動作
不要	-	承認操作なし
必要	いずれかのユーザ	承認権限を持ついずれかのユーザが承認することで承認済みとみなす
必要	全てのユーザ	承認フローに設定されている全ての承認者が承認することで承認済みとみなす

- 承認権限および代理承認権限

  リクエストに対する承認動作(承認、却下)は、原則として「承認権限」を保有しているユーザ本人がおこないます。

  ただし、テナント管理者は代理で自テナントの承認動作をおこなうことが可能です。

表 15-8　承認可能権限の一覧

ユーザ	承認フロー設定	テナント用承認フロー	
		承認	却下
(承認権限なし) テナントユーザ	-	-	-
(承認権限あり) テナントユーザまたはテナント管理者	全てのユーザ	可能	可能
(承認権限あり) テナントユーザ または テナント管理者	いずれかのユーザ	可能	可能
(承認権限なし) システム管理者	-	-	-
(承認権限あり) システム管理者	全てのユーザ	-	-
テナント管理者	-	代理	代理
システム管理者 (テナント代行)	-	代理	代理

注

- リクエストの申請中に承認フローが変更された場合には、リクエスト申請時点の設定が優先されます。
- 人事異動等で承認者が削除された場合は、その承認者を飛ばして次の承認者へと処理が進みます。
- 承認者ユーザが無効やロック中、承認権がはく奪されていた場合は、有効と同様に処理されます。ただし、承認・却下はできないため、ユーザ編集もしくは代理承認をおこなう必要があります。

15.2.2　テナント用承認フロー設定 画面

1. メニューから、「リクエスト」－「承認フロー設定」をクリックすることにより、「承認フロー設定」画面が表示されます。

   以下の表を参照し、編集対象のテナントを選択後、「編集」ボタンをクリックします。



図 15-28　テナント用承認フロー設定 画面

表 15-9　テナント用承認フロー設定 画面

項目名	説明
承認要否	現在設定されている承認要否
承認完了条件 ※承認要否が「必要」の場合のみ表示	現在の承認完了条件
承認者 ※承認要否が「必要」の場合のみ表示	承認が必要な承認者のユーザ名とメールアドレス(承認順)
編集	承認フロー設定変更(入力)画面を表示する

2. 「承認フロー設定変更(入力)」画面が表示されます。以下の表を参照し、各項目を設定後、「確定」ボタンをクリックすることにより編集が反映されます。



図 15-29　承認フロー設定変更(入力) 画面

表 15-10　承認フロー設定変更(入力) 画面

項目名	入力規則	初期値	説明
承認要否	「必要」または「不要」のいずれか	現在の設定状態	承認要否を選択する
承認完了条件 ※承認要否が「必要」の場合のみ表示	―	「承認権限を持ついずれかのユーザが承認すること」	「承認権限を持ついずれかのユーザが承認すること」 「承認フローに設定されている全ての承認者が承認すること」 のいずれかを選択
承認者選択	―	―	承認者の選択ダイアログを開く 「表 15-11　承認者の選択ダイアログ 画面(230 ペー

項目名	入力規則	初期値	説明
			ジ)」を参照し、承認者を選択する
戻る	―	―	現在の入力内容を破棄し、承認フロー設定画面に遷移する
確定	―	―	承認フロー設定を更新する

承認者選択は5名まで指定可能です。「使用可能」から承認者を選択し、「追加」ボタンをクリックすることで「構成済み」に追加されます。設定したいすべての承認者を選択後、「選択」をクリックします。



図 15-30　承認者の選択ダイアログ

表 15-11　承認者の選択ダイアログ 画面

項目名	説明
使用可能	承認者に設定できるユーザ名一覧
構成済み	承認者として追加されたユーザ名
追加ボタン	「使用可能」にて選択したユーザを「構成済み」に追加する
除去ボタン	「構成済み」にて選択したユーザを承認者から除外する
キャンセル	現在の設定内容を破棄し、承認フロー設定画面に遷移する
確定	現在の構成済み内容で、承認者を設定する

15.3　メール通知設定

メール通知機能は、リクエストが状態遷移(承認・却下など)した際、適任者へ次のアクションを促すための通知を実現します。

本機能は、システム管理者が本機能を有効にしている場合のみ利用可能です。

15.3.1　メール通知設定

メール通知の内容を確認します。

本機能は、テナント管理者権限を保有するユーザが利用可能です。

システム管理者はテナント代行機能により、代行テナントの情報を確認することができます。

メニューから、「リクエスト」－「メール通知設定」をクリックすることにより、「メール通知設定」画面が表示されます。



図 15-31　メール通知設定 画面

表 15-12　メール通知設定 画面

項目名	説明	
通知タイミング	次のうちのいずれか 承認待ち 承認完了 却下 キャンセル 実行完了 実行エラー テナント管理者選択時 テナントユーザ作成時	
To:	承認待ち	承認フロー内の承認者
	承認完了	申請者
	却下	申請者および承認フロー内の承認者で既に承認した承認者
	キャンセル	承認フロー内の承認者で既に承認した承認者
	実行完了	申請者
	実行エラー	申請者およびテナント管理者とシステム管理者
	テナント管理者選択時	テナント管理者
	テナントユーザ作成時	テナントユーザ
Cc:	メール通知内容で設定されている Cc:のメールアドレス	

項目名	説明
Bcc:	メール通知内容で設定されている Bcc:のメールアドレス
表題	メール通知内容で設定されている表題
本文	メール通知内容で設定されている本文
編集ボタン	メール通知内容を編集するため、 メール通知設定変更(入力)画面を表示する

注

承認フローが「承認権限を持ついずれかのユーザが承認すること」に設定されている場合は、テナント内の承認権限を持つ全てのユーザに送信されます。ただし、テナント内に承認者がいない場合はテナント管理者に送信されます。

15.3.2　メール通知設定変更(入力)

メール通知の内容を編集する機能です。

本機能は、テナント管理者権限を保有するユーザが利用可能です。

システム管理者はテナント代行機能により、代行テナントの情報を編集することができます。

「メール通知設定」画面にて「編集」をクリックすることにより、「メール通知設定変更(入力)」画面を表示します。



図 15-32　メール通知設定変更(入力) 画面

表 15-13　メール通知設定変更(入力) 画面

項目名	必須	入力規則	初期値	説明
To:	-	-	-	通知先
Cc:	×	e-mail 形式	空白	Cc:に設定するメールアドレスを入力する ※1 メールアドレスのみ設定可能
Bcc:	×	e-mail 形式	空白	Bcc:に設定するメールアドレスを入力する ※1 メールアドレスのみ設定可能
表題	○	1 文字以上 128 文字以内 ※1 バイト、2 バイト、制御文字含む文字数	設定されている表題	表題に設定する内容を入力する

項目名	必須	入力規則	初期値	説明
本文	○	1 文字以上 2048 文字以内 ※1 バイト、2 バイト、制御文字含む文字数	設定されている本文	表題に設定する内容を入力する
戻るボタン	－	－	－	現在の入力内容を破棄し、メール通知設定画面に遷移する
確定ボタン	－	－	－	現在の入力内容で、メール通知設定を更新し、メール通知設定画面に遷移する ※入力エラー時には該当箇所にエラーが表示される

各項目を入力後、「確定」ボタンをクリックすることによりメール通知内容が変更されます。

ヒント

「13.1.1　メール通知で利用可能な置換文字列(176 ページ)」が利用可能です。

第 16 章
テナント情報（利用者）

目次

16.1 テナント管理(利用者) 235
16.2 ユーザ管理 238

本章では、テナント管理者・テナントユーザのテナント情報メニュー操作について説明します。

テナント情報メニューには、以下の機能があります。

・テナント管理(テナントユーザは利用不可) ： テナントの詳細確認・編集を行う

・ユーザ管理(テナント管理者) ： 新規ユーザの登録や、登録ユーザの確認・編集・パスワード変更・削除を行う

・ユーザ管理(テナントユーザ) ： 登録ユーザの確認

16.1　テナント管理（利用者）

本節ではテナント管理メニューについて説明します。

16.1.1　テナント一覧（利用者）

メニューから、[テナント情報]－[テナント管理]をクリックすることにより、テナント一覧画面を表示します。



図 16-1　テナント管理画面

表 16-1　項目一覧（テナント管理画面）

項目名	説明
テナント一覧	自テナントの情報を表示する

16.1.2　テナントの詳細情報を確認する（利用者）

テナント一覧の確認したいテナント列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。



図 16-2　テナント情報詳細画面

表 16-2　項目一覧（テナント詳細）

項目名	説明
テナント ID	テナント ID
テナント名	テナント名
状態	以下の状態のいずれか ・有効 ・無効
登録ユーザ数	当該テナントに登録されているユーザ数
登録日時	登録した日時
備考	備考
管理者	当該テナントの管理者名
テナント編集	[テナント変更(入力)]画面を表示する

16.1.3　テナントを編集する（利用者）

テナントの編集方法を以下に示します。

1. テナント詳細画面にて、[テナント編集]をクリックします。



図 16-3　テナント詳細画面

2. 「テナント変更(入力)」画面が表示されます。各項目を編集後[次へ]ボタンを押下します。



図 16-4　テナント変更（入力）画面

なお、テナント変更画面ではテナントの管理者を指定できます。あらかじめ作成されたテナント管理ユーザを指定してください。



図 16-5　管理者選択画面

3. 「テナント変更(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 16-6　テナント変更（確認）画面

16.2　ユーザ管理

本節では、ユーザ管理メニューについて説明します。

16.2.1　ユーザー覧

メニューから、[テナント情報]－[ユーザ管理]をクリックすることにより、ユーザ一覧画面を表示します。

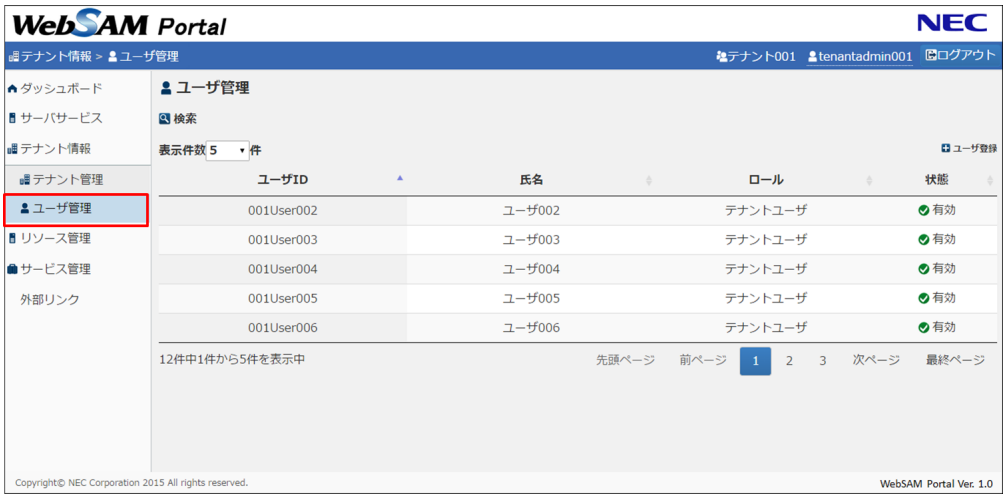


図 16-7　ユーザ管理画面

表 16-3　項目一覧（ユーザ管理画面）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
ユーザ登録	ユーザ登録画面を表示する ※テナントユーザの場合は非表示
ユーザ一覧	ユーザの一覧を表示する

ユーザを検索する場合は、ユーザ一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 16-4　項目一覧（ユーザー覧検索画面）

項目名	説明
テナント名	テナント名
氏名	氏名
ユーザ ID	ユーザ ID
ロール	以下の状態を選択する ・システム管理者 ・テナント管理者 ・テナントユーザ ・リクエスト承認可能
追加するロール	カスタムロールを選択する ロールに「テナントユーザ」を選択した場合のみ有効

項目名	説明
	カスタムロールが割り当てていないユーザを条件にしたい場合には、「設定されない」を選択する
状態	以下の状態を選択する ・有効 ・無効 ・ロック中
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

16.2.2　ユーザを登録する（利用者）

ユーザの追加方法を以下に示します。

1. ユーザ一覧画面にて、[ユーザ登録]をクリックします。

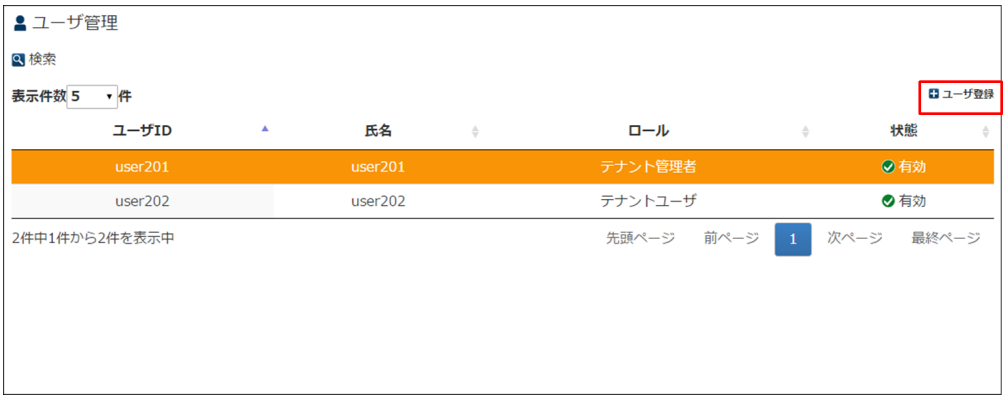


図 16-8　ユーザー覧画面

2. 「ユーザ登録(入力)」画面が表示されます。下記の表を参照し、各項目を入力後[次へ]ボタンを押下します。



図 16-9　ユーザ登録（入力）画面

表 16-5　項目一覧（ユーザ登録画面）

項目名	入力規則	初期値	説明
ユーザ ID	3～16 文字 半角英数と_(アンダースコア)、-(ハイフン)が使用可能	―	ユーザ ID を入力する
氏名	1024 文字以内	―	氏名(ユーザ名)を入力する
e-mail	e-mail 形式	―	メールアドレスを入力する
パスワード	6 文字以上 16 文字以下 半角英数字と　!"#$%&'()*+,./:;<=>?@[¥]^_`{|}~ - が使用可能	―	ユーザのパスワードを入力する
パスワード(確認)	上記と同じであること	―	ユーザのパスワードを入力する(確認)
ロール種別	―	テナントユーザ	ユーザに付与するロールを選択する ・テナント管理者 ・テナントユーザ ・リクエスト承認を可能とする
状態	―	有効	ユーザの状態を選択する ・有効 ・無効
備考	255 文字以内	―	備考

【カスタマイズ】

ロール種別に「テナントユーザ」を選択した場合、カスタムロールを追加することができます。カスタムロールの詳細については、「2.9　ロール設定(37 ページ)」を参照してください。

「使用可能」欄から追加するロールを選択して「追加」ボタンを押下します。追加するロールをすべて選択後、「選択」ボタンを押下します。

なお、すべてのロールを対象とする場合は「すべて追加」ボタンにより全ロールが追加されます。



図 16-10　カスタマイズダイアログ

3. 「ユーザ登録(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することによりユーザが追加されます。



図 16-11　ユーザ登録（確認）画面

16.2.3　ユーザの詳細情報を確認する（利用者）

ユーザ一覧の確認したいユーザ列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。

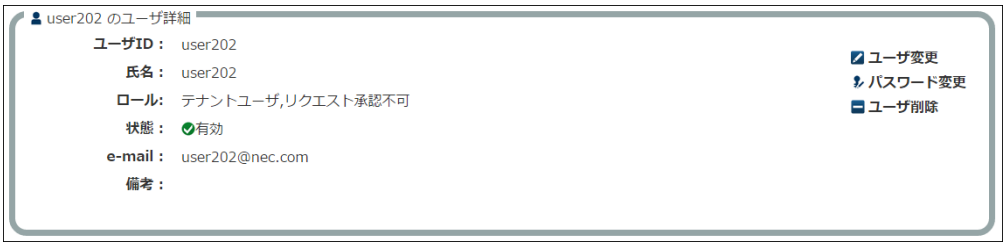


図 16-12　ユーザ情報詳細画面

表 16-6　項目一覧（ユーザ詳細）

項目名	説明
ユーザ ID	ユーザ ID

項目名	説明
氏名	氏名(ユーザ名)
ロール	ユーザ種別、リクエスト承認可否
追加するロール	カスタムロール 種別がテナントユーザの場合のみ表示 カスタムロールが複数の場合にはカンマ区切りで表示
状態	・有効 ・無効 ・ロック中 のいずれか
e-mail	ユーザのメールアドレス
備考	備考
ユーザ変更	ユーザ変更画面を表示する ※テナントユーザの場合は非表示
パスワード変更	パスワード変更画面を表示する ※テナントユーザの場合は非表示
ユーザ削除	ユーザ削除画面を表示する ※テナントユーザの場合は非表示

16.2.4　ユーザの情報を変更する（利用者）

ユーザ情報の変更方法を以下に示します。

1. ユーザ詳細画面にて、[ユーザ変更]をクリックします。

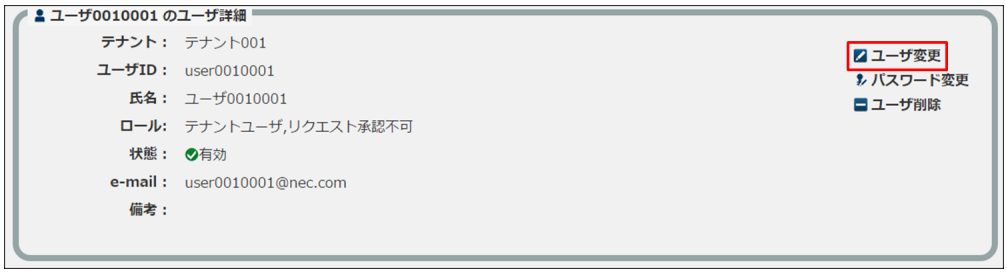


図 16-13　ユーザ詳細画面

2. 「ユーザ変更(入力)」画面が表示されます。「16.2.2　ユーザを登録する(利用者)(239 ページ)」の「表 16-5　項目一覧(ユーザ登録画面)(240 ページ)」を参照し、各項目を編集後[次へ]ボタンを押下します。



図 16-14　ユーザ変更（入力）画面

【カスタマイズ】

ロール種別に「テナントユーザ」を選択した場合、カスタムロールを変更することができます。

「使用可能」欄から追加するロールを選択して「追加」ボタンを押下します。すべてのロールを対象とする場合は「すべて追加」ボタンにより全ロールが追加されます。「構成済み」欄から除去するロールを選択して「除去」ボタンを押下します。すべてのロールを対象とする場合は「すべて除去」ボタンにより全ロールが除去されます。 追加または除去するロールをすべて選択後、「選択」ボタンを押下します。



図 16-15　カスタマイズダイアログ

3. 「ユーザ変更(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 16-16　ユーザ変更（確認）画面

注

ユーザの氏名を変更しても、それ以前に登録されたリクエスト、メンテナンス、お知らせ、運用作業履歴の登録者情報には反映されません。

16.2.5　パスワードを変更する

パスワードの変更方法を以下に示します。

1. ユーザ詳細画面にて、[パスワード変更]をクリックします。

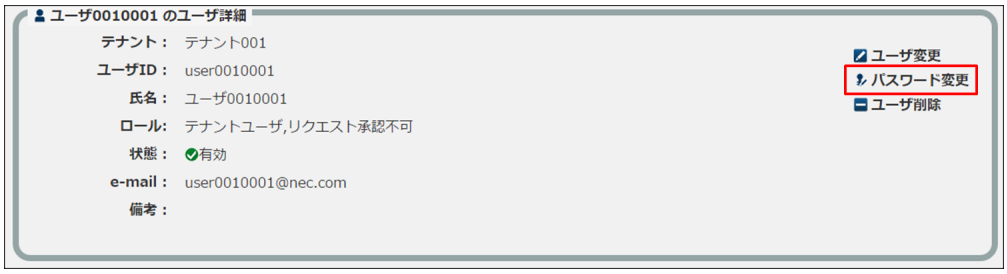


図 16-17　ユーザ詳細画面

2. 「パスワード変更(入力)」画面が表示されます。「9.2.2　ユーザを登録する(管理者)(116 ページ)」のパスワード入力規則を参照して変更後[次へ]ボタンを押下します。



図 16-18　パスワード変更（入力）画面

3. 「パスワード変更(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することにより変更が反映されます。



図 16-19　パスワード変更（確認）画面

16.2.6　ユーザを削除する

ユーザの削除方法を以下に示します。

1. ユーザ詳細画面にて、[ユーザ削除]をクリックします。



図 16-20　ユーザ詳細画面

2. 「ユーザ削除(確認)」画面が表示されます。[確定]ボタンを押下することでユーザを削除します。



図 16-21　ユーザ削除画面

第 17 章
監視(利用者)

目次

17.1 ノード 247
17.2 メッセージ 270
17.3 分析／レポート 294
17.4 設定 313

本章では監視メニューについて説明します。

17.1　ノード

本項ではノード機能について説明します。

メニューから、[監視]－[ノード]をクリックすることにより、「ノード」画面が表示されます。

「ノード」画面にはノード一覧パネル、ステータスパネル(初期非表示)、メッセージパネル(初期非表示)が表示されます。

ノード一覧パネル、ステータスパネルでは、監視対象ノードの現在の状況を表示します。 ノードの重要度は、そのノードの各監視項目(プロセスや性能情報等)のうち、最も緊急度の高い項目の重要度になります。 また、ノードは任意の階層のグループにまとめることができます。グループの重要度は、配下のノード(グループ)のうち最も緊急度の高い重要度になるため、グループツリーのトップ階層から重要度の高いグループを辿っていくことで、障害が発生しているノードを特定することができます。

グループツリーのルートでは、特定のメッセージが発生した場合に、あらかじめ登録された設定で通報を行うための、フィルタ設定ができます。フィルタ設定画面の表示方法は「17.1.1　ノード一覧の表示(247 ページ)」を、フィルタ設定の詳細は「17.1.10　通報フィルタの設定(258 ページ)」を参照してください。

メッセージパネルでは、ノード一覧パネルで選択したノードもしくはグループのメッセージの一覧表示、メッセージの操作を行えます。 表示内容の詳細は「17.2.1　メッセージ一覧の表示(272 ページ)」を参照してください。

[自動更新]チェックボックスをオンにすると各パネルが 30 秒毎に自動更新されます。

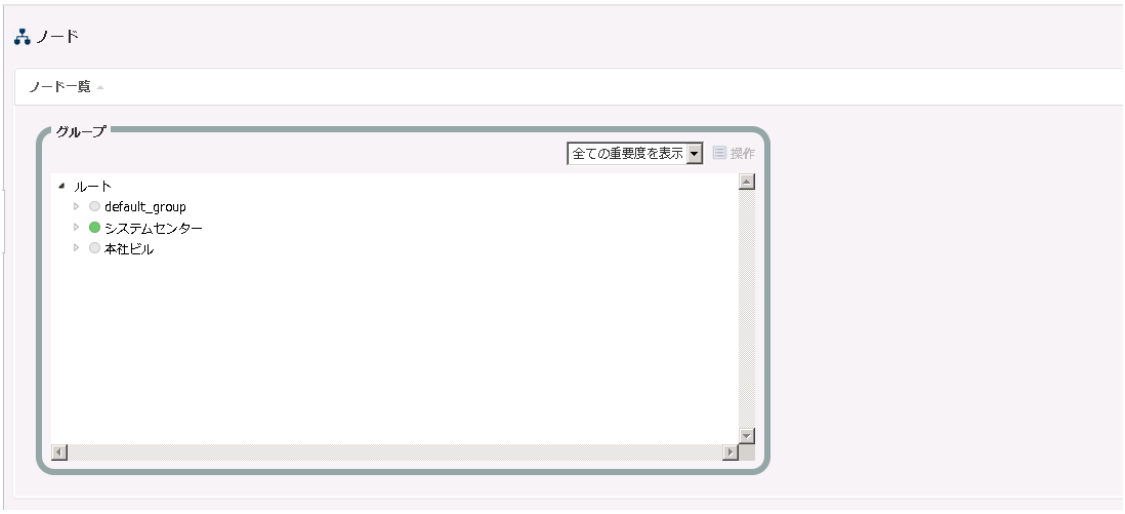


図 17-1　「ノード」画面

17.1.1　ノード一覧の表示

本項ではノード一覧を表示するための「ノード一覧」パネルについて説明します。

メニューから、[監視]－[ノード]をクリックすることにより、「ノード」画面にノード一覧パネルが表示されます。ノード一覧パネルの左側にはグループツリーが表示されます。



図 17-2　「ノード」画面 ノード一覧パネルとグループツリー

表 17-1　項目一覧（「ノード」画面 ノード一覧パネルとグループツリー）

項目名	説明
ノード一覧トグル	ノード一覧パネルを開閉します。
更新ボタン	ノード一覧パネルを更新します。
ウィジェット追加ボタン	現在表示されているノード一覧パネルをダッシュボードにウィジェットとして貼り付けます。
重要度選択	選択した重要度より緊急性の高いグループに絞り込んでツリー表示します。
操作メニューボタン	選択したグループに対する操作メニューを表示します。 • 「17.1.4　グループの作成(252 ページ)」 • 「17.1.5　グループ名の変更(253 ページ)」 • 「17.1.6　グループの移動(254 ページ)」 • 「17.1.7　グループの削除(255 ページ)」 • 「17.1.11　監視テンプレートの適用(グループ) (265 ページ)」 • 「17.1.10.1　フィルター一覧の表示(258 ページ)」 「17.1.10.1　フィルター一覧の表示(258 ページ)」は選択したグループがルートの場合のみ有効です。

また、ノード一覧パネルのグループツリーからグループを選択するとノードの一覧が表示されます。



図 17-3　「ノード」画面 ノード一覧

表 17-2　項目一覧（「ノード」画面 ノード一覧）

項目名	説明
操作チェックボックス	チェックボックスをオンにすると、ノードの移動操作ができるようになります。詳細は「17.1.8　ノードの移動(256 ページ)」を参照してください。
検索フィールド	ノード名を検索します。入力した文字列がノード名に含まれる行のみ抽出されます。
重要度	重要度を表示します。
ノード名	ノード名を表示します。
詳細アイコン	アイコンをクリックすることで、「ノード詳細」ダイアログを表示します。

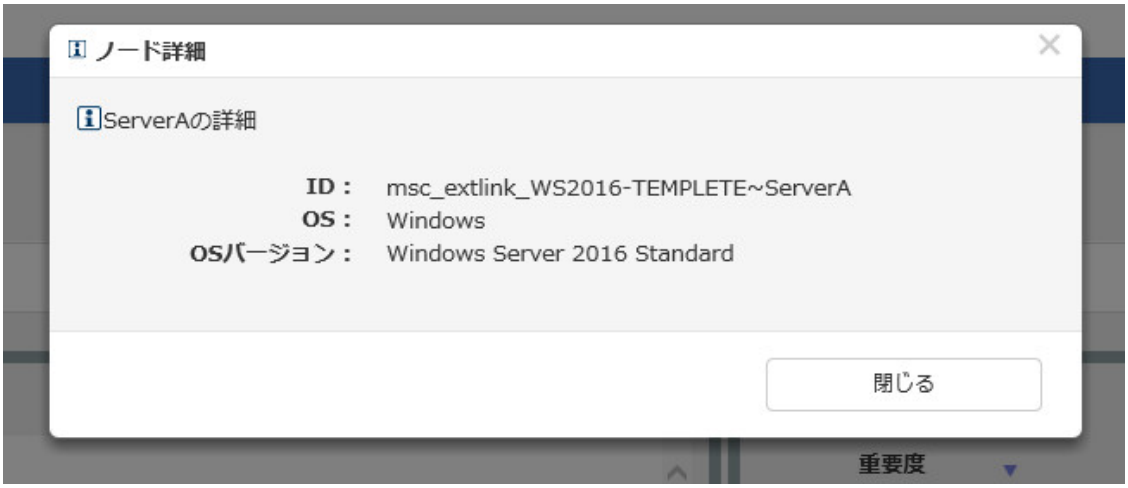


図 17-4　「ノード詳細」ダイアログ

表 17-3　項目一覧（「ノード詳細」ダイアログ）

項目名	説明
ID	ノードを一意に識別する ID です（ノード ID、またはエージェント ID と表記される場合があります）。
OS	OS 種別を表示します。
OS バージョン	OS のバージョンを表示します。

17.1.2　ステータスパネルの表示

本項ではグループあるいはノードのステータスを表示するための「ステータス」パネルについて説明します。

グループツリー上でグループを選択することでグループのステータスが表示されます。

また、ノード一覧上でノードを選択することでノードのステータスも表示できます。



図 17-5　「ノード」画面 ステータスパネル

表 17-4　項目一覧（「ノード」画面 ステータスパネル）

項目名	説明
ステータストグル	ステータスパネルを開閉します。
更新ボタン	ステータスパネルを更新します。
ウィジェット追加ボタン	現在表示されているステータスパネルをダッシュボードにウィジェットとして貼り付けます。 グループのステータスを表示している場合、重要度別件数とステータス一覧のいずれか、または両方表示するかを選択することができます。
重要度別件数	グループ内のノードを重要度別に集計して表示します。グループを選択した場合にのみ表示します。
重要度	重要度を表示します。
ノード名	名称を表示します。グループに対する詳細表示の場合のみ表示します。
種別	種別を表示します。
対象	対象を表示します。
発生日時	発生日時を表示します。
状態	状態を表示します。
アクション	アクションアイコンを表示します。ノードを選択した場合にのみ表示されます。 • 種別が[性能]の場合、性能グラフ表示アイコンが表示されます。性能グラフ表示の詳細は「17.1.3　性能グラフの表示 (251 ページ)」を参照してください。 • 種別が[プロセス]の場合、プロセスの復旧を行うための[起動][停止]アイコンが表示されます。[運用管理操作権]を持つユーザにのみ表示されます。 • 種別が[Windows サービス]の場合、Windows サービスの復旧を行うための[起動][停止][その他の操作]アイコンが表示されます。[運用管理操作権]を持つユーザにのみ表示されます。[その他の操作]アイコンをクリックすると、プルダウンメニューが表示され、[一時停止][再開]等の、その他の操作を選択することができます。 Windows サービスを停止する際、依存するサービスが存在すると停止に失敗します。依存サービスも含めて全て停止する場合は[その他の操作]から、[強制停止]を選択してください。

項目名	説明
	復旧操作を実行すると、一定時間(約 20 秒)、その監視項目に対する操作ができなくなります。

17.1.3　性能グラフの表示

本項では取得した性能値をもとに作成される「性能グラフ」について説明します。

エージェントの監視ステータスから性能グラフアイコンをクリックすることにより、性能グラフを表示します。

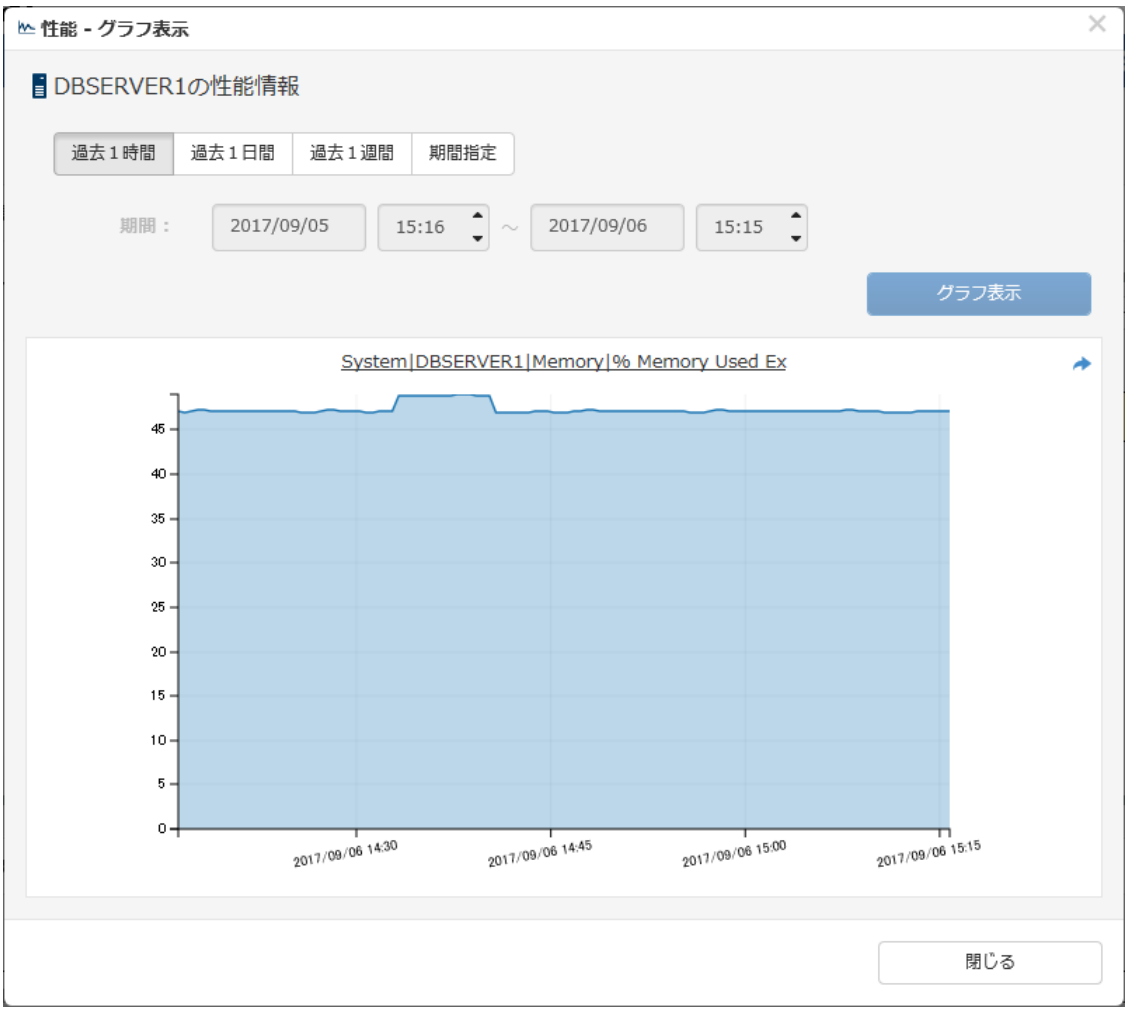


図 17-6　性能グラフ

表 17-5　項目一覧（性能グラフ）

項目名	説明
過去 1 時間	過去 1 時間のグラフを表示します。初期表示時はこのボタンが選択されています。
過去 1 日間	過去 1 日間のグラフを表示します。
過去 1 週間	過去 1 週間のグラフを表示します。
期間指定	開始時刻、終了時刻を指定して[グラフ表示]ボタンをクリックすると、指定された期間のグラフを表示します。

項目名	説明
	開始時刻、終了時刻ともに 1971/01/01　00:00 ～ 2037/12/31 23:59 の範囲で指定します。 開始時刻と終了時刻の間隔は 1 週間まで指定することができます。
ウィジェット追加ボタン	現在表示されている性能グラフをダッシュボードにウィジェットとして貼り付けます。

注

描画領域の制限により表示する期間によってはデータが間引かれます。間引きなしに表示できる期間は以下の通りです。

表 17-6　間引きなしに表示できる期間

監視間隔	期間
30 秒(default)	3 時間7分 30 秒(11250 秒)
10 秒(min)	1 時間 2 分 30 秒(3750 秒)

17.1.4　グループの作成

本項ではグループの作成方法について説明します。

1. 作成先の親グループをグループツリーから選択します。
2. 選択すると操作メニューの[グループ作成]が有効になるため、[グループ作成]を押下します。

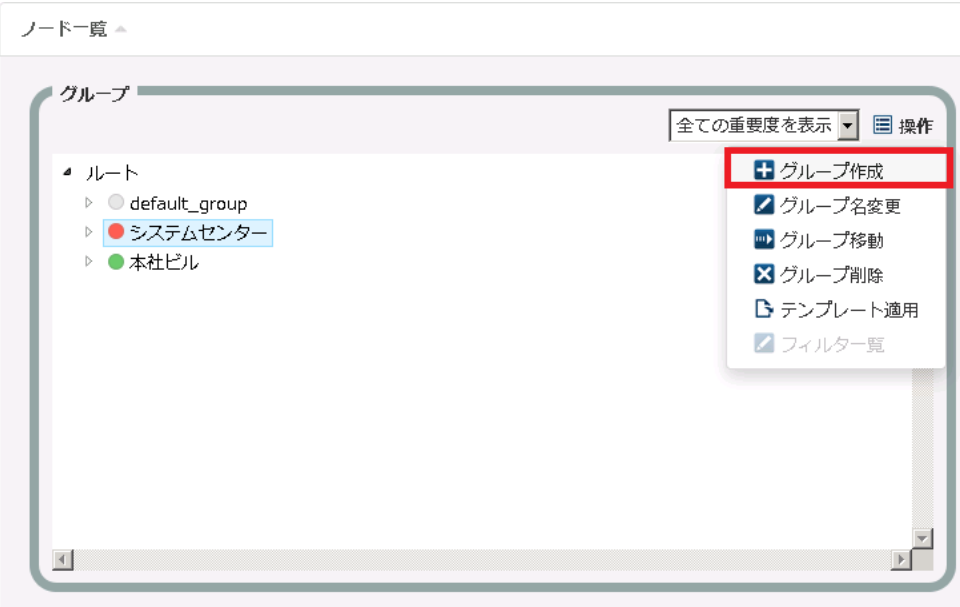


図 17-7　「ノード」画面 グループ作成

3. 「グループ作成」ダイアログが表示されるため、グループ名を入力し、[OK]ボタンを押下するとグループが作成されます。

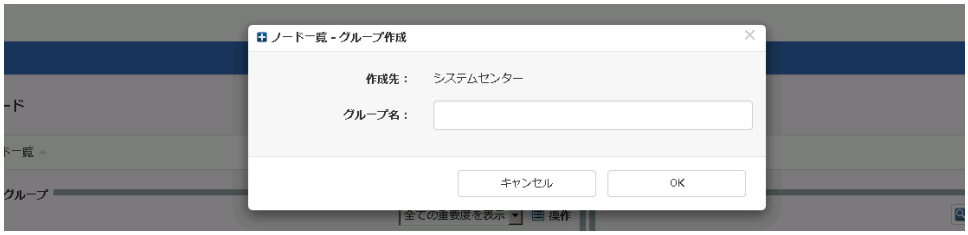


図 17-8　「グループ作成」ダイアログ

表 17-7　項目一覧（「グループ作成」ダイアログ）

項目名	入力規則	説明
グループ名	128 文字以内	作成するグループの名称となります。

17.1.5　グループ名の変更

本項ではグループ名の変更方法について説明します。

1. 名称を変更したいグループをグループツリーから選択します。
2. 選択すると操作メニューの[グループ名変更]が有効になるため、[グループ名変更]を押下します。



図 17-9　「ノード」画面 グループ名変更

3. 「グループ名変更」ダイアログが表示されるため、グループ名を入力し、[OK]ボタンを押下するとグループ名が変更されます。



図 17-10　「グループ名変更」ダイアログ

表 17-8　項目一覧（グループ名変更）

項目名	入力規則	説明
グループ名	128 文字以内	変更後のグループの名称となります。

17.1.6　グループの移動

本項ではグループの移動方法について説明します。

1. 移動対象のグループをグループツリーから選択します。
2. 操作メニューの[グループ移動]が有効となるため、[グループ移動]を押下します。



図 17-11　「ノード」画面 グループ移動

3. 「グループ移動」ダイアログが表示されるため、移動先のグループを選択し、[OK]ボタンを押下するとグループが移動されます。

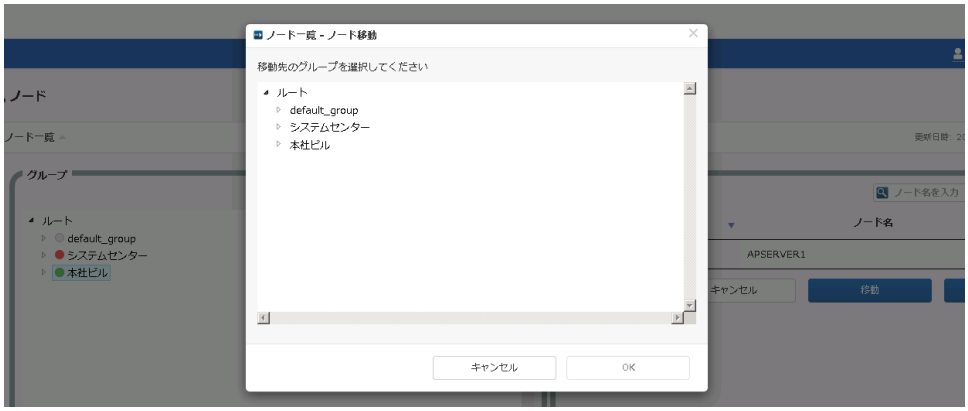


図 17-12　「グループ移動」ダイアログ

17.1.7　グループの削除

本項ではグループの削除方法について説明します。

注

- 削除対象のグループ配下にグループが存在している場合はグループを削除することができません。
- 削除対象のグループ配下にノードが存在している場合、グループを削除するとノードは default_group 配下に移動します。

1. 削除対象のグループをグループツリーから選択します。
2. 選択すると操作メニューの[グループ削除]が有効になるため、[グループ削除]を押下します。

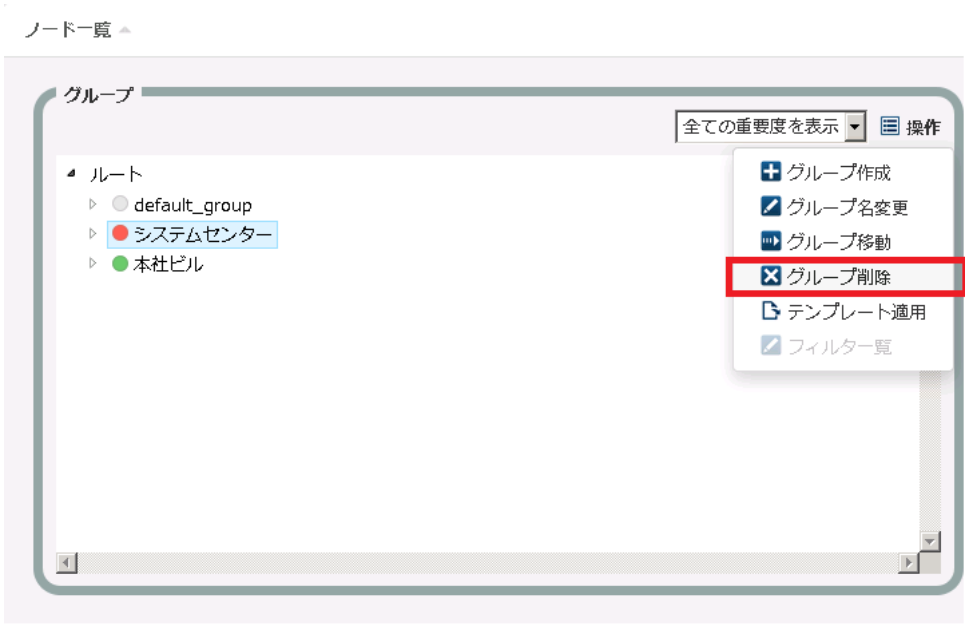


図 17-13　「ノード」画面 グループ削除

3. 「グループ削除」ダイアログが表示されるため、[OK]ボタンを押下するとグループが削除されます。



図 17-14　「グループ削除」ダイアログ

17.1.8　ノードの移動

本項ではノードの移動方法について説明します。

1. ノード一覧テーブル上部にある[編集]チェックボックスをオンにします。
2. 移動対象のノードをチェックします。
3. ノード一覧テーブル下部にある[移動]ボタンを押下します。

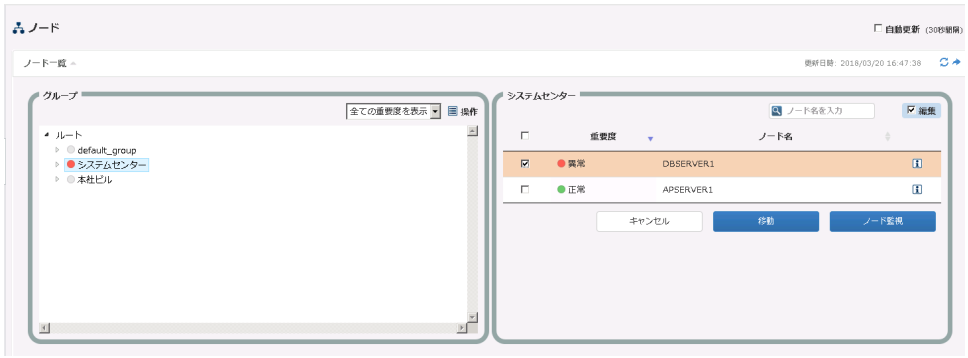


図 17-15　「ノード」画面 ノード移動

4. 「ノード移動」ダイアログが表示されるため、移動先のグループを選択し、[OK]ボタンを押下するとノードが移動されます。

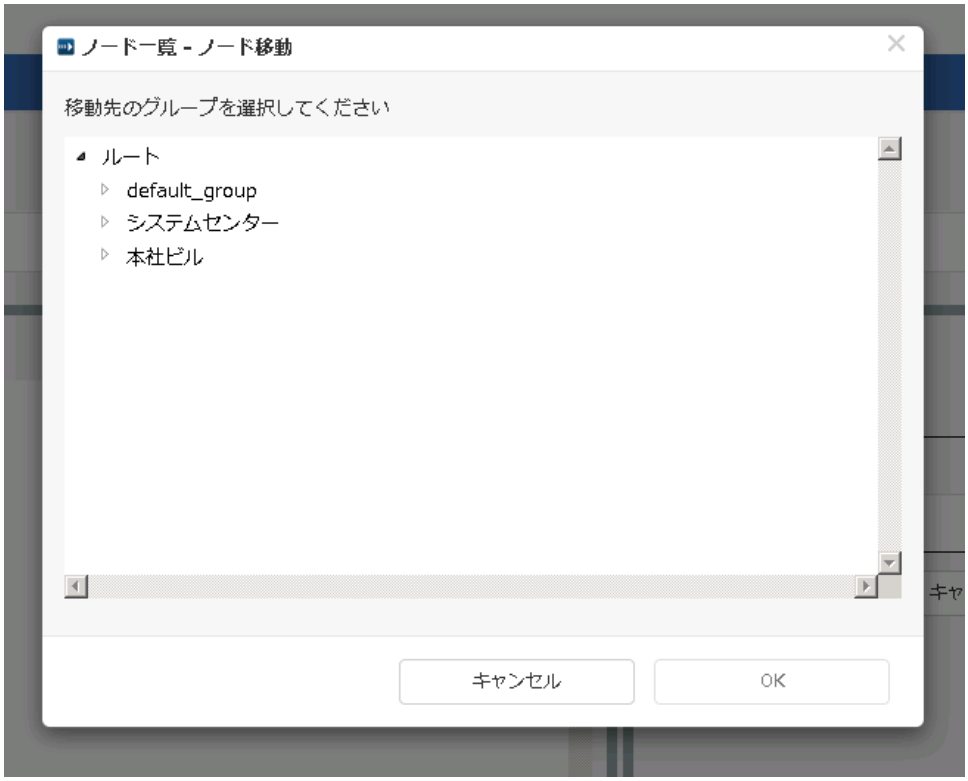


図 17-16　「ノード移動」ダイアログ

17.1.9　ノードの監視

本項ではノードの監視設定について説明します。

1. ノード一覧テーブル上部にある[編集]チェックボックスをオンにします。
2. 監視設定対象のノードをチェックします。
3. ノード一覧テーブル下部にある[ノード監視]ボタンを押下すると「ノード監視」画面に遷移します。

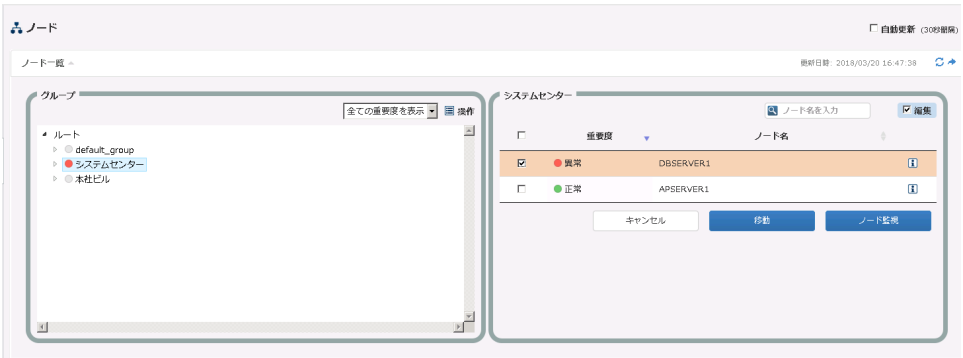


図 17-17　「ノード」画面 ノード監視

4. 監視設定の詳細は「11.2.2　監視設定(151 ページ)」を参照してください。

17.1.10　通報フィルタの設定

本項ではノード画面で通報を行うためのメッセージフィルタ機能について説明します。

「ノード」画面のルートノードでは、システム内のエージェントのハードウェア／ソフトウェアのメッセージを一元管理し照会することができ、特定のメッセージが発生した場合に、あらかじめ登録された設定で通報を行い、オペレータに通知することができます。

通報を行うためには、システムで発生するメッセージが通報の対象かどうかを判定するフィルタを設定する必要があります。

17.1.10.1　フィルター覧の表示

本項ではノード画面で通報を行うためのメッセージフィルタの設定方法について説明します。

フィルタの設定はフィルター覧画面から行います。

フィルター覧画面の表示方法は「17.1.1　ノード一覧の表示(247 ページ)」を参照してください。

フィルタは優先順位順に表示されます。メッセージが出力されると、優先順位の高い順にメッセージがフィルタリングされ、最初に条件に一致したフィルタに設定されているアクションが実行されます。

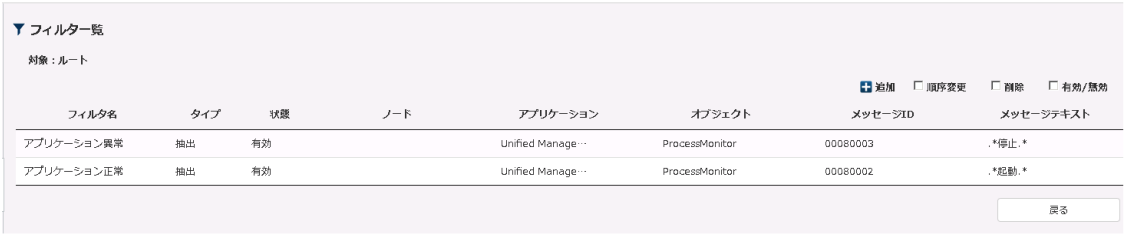


図 17-18　フィルター覧

表 17-9　項目一覧（フィルター覧画面）

項目名	説明
追加	フィルタを追加します。
順序変更	チェックボックスをオンにすることでフィルタの順序を変更できるようになります。
削除	チェックボックスをオンにすることでフィルタの削除操作ができるようになります。
有効/無効	チェックボックスをオンにすることでフィルタの有効/無効が変更できるようになります。
フィルタ名	フィルタ名を表示します。
タイプ	フィルタのタイプを表示します。 抽出：条件に一致したメッセージが通報の対象になります。 除外：条件に一致したメッセージは通報の対象になりません。(以降のフィルタは処理されません)。
状態	フィルタの状態を表示します。 有効：フィルタリングの条件として有効であることを示します。

項目名	説明
	無効:一時的にフィルタリングの条件から外されていることを示します。
ノード	ノード名の条件文(正規表現)を表示します。
アプリケーション	アプリケーションの条件文(正規表現)を表示します。
オブジェクト	オブジェクトの条件文(正規表現)を表示します。
メッセージ ID	メッセージ ID の条件文(正規表現)を表示します
メッセージテキスト	メッセージテキストの条件文(正規表現)を表示します。
[戻る]ボタン	「ノード」画面に戻ります。

フィルター一覧のフィルタをクリックすると、フィルタ詳細が表示されます。



図 17-19　「フィルター一覧」画面 フィルタ詳細

表 17-10　項目一覧（「フィルター一覧」画面 フィルタ詳細）

項目名	説明
フィルタ名	フィルタ名を表示します。
状態	フィルタの状態を表示します。 有効:フィルタリングの条件として有効であることを示します。 無効:一時的にフィルタリングの条件から外されていることを示します。
タイプ	フィルタのタイプ [抽出]を指定した場合、フィルタに一致したメッセージが通報の対象になります。 [除外]を指定した場合、フィルタに一致したメッセージは通報の対象になりません。(以降のフィルタは処理されません)。除外フィルタには、アクション定義を設定できません。
グループ	グループの条件を表示します。
ノード	ノード名の条件文(正規表現)を表示します。
アプリケーション	アプリケーションの条件文(正規表現)を表示します。
オブジェクト	オブジェクトの条件文(正規表現)を表示します。
メッセージ ID	メッセージ ID の条件文(正規表現)を表示します。

項目名	説明
メッセージテキスト	メッセージテキストの条件文(正規表現)を表示します。
メッセージ概要	メッセージ概要の条件文(正規表現)を表示します。
メッセージ定義 ID	メッセージ定義 ID の条件文(正規表現)を表示します。
重要度	重要度の条件を表示します。
編集ボタン	フィルタの条件を変更します。 詳細は「17.1.10.2　フィルタの追加・変更(260 ページ)」を参照してください。
引用ボタン	詳細表示中のフィルタ情報を引用してフィルタを追加します。 詳細は「17.1.10.2　フィルタの追加・変更(260 ページ)」を参照してください。 追加したフィルタは、引用元のフィルタの一つ上に挿入されます。

注

[否定](条件に該当しないものを対象とする)条件の場合、条件の先頭に[≠]を表示します。

格納タイプのフィルタで、アクション定義設定がされている場合、フィルタ詳細画面に、以下のアクション定義一覧が表示されます。

表 17-11　項目一覧(「フィルター覧」画面 フィルタ詳細 - アクション定義)

項目名	説明
状態	アクション定義の状態を設定します。 有効:フィルタに合致するメッセージが発生した場合に定義されているアクション(メール通報、コマンド実行)が行われる状態です。 無効:フィルタに合致するメッセージが発生した場合でも定義されているアクション(メール通報、コマンド実行)が行われない状態です。一時的にアクションの実行を停止したい場合に利用します。
電子メール通報	フィルタに合致した際に実行される、メール通報設定の通報設定名を表示します。
メール通報 情報ボタン	メール通報設定の設定内容をダイアログ画面に表示します。 メール通報設定の設定内容については「17.4.5.1　メール通報設定の追加・変更(391 ページ)」を参照してください。
コマンド実行	フィルタに合致した際に実行される、コマンド設定の通報設定名を表示します。
コマンド 情報ボタン	コマンド設定の設定内容をダイアログ画面に表示します。 コマンド設定の設定内容については「17.4.6.1　コマンド設定の追加・変更(397 ページ)」を参照してください。

17.1.10.2　フィルタの追加・変更

本項ではメッセージフィルタの追加・変更方法について説明します。

「フィルター覧」画面にて[追加]をクリックする、または「フィルター覧」画面にてフィルタを選択し、[引用]をクリックすることにより、「メッセージフィルタ追加」画面を表示します。[引用]を選択した場合、各条件の入力フィールドには選択したフィルタの条件がセットされた状態で表示されます。

「フィルター一覧」画面にてフィルタを選択し、[変更]をクリックすることにより、「メッセージフィルタ変更」画面を表示します。

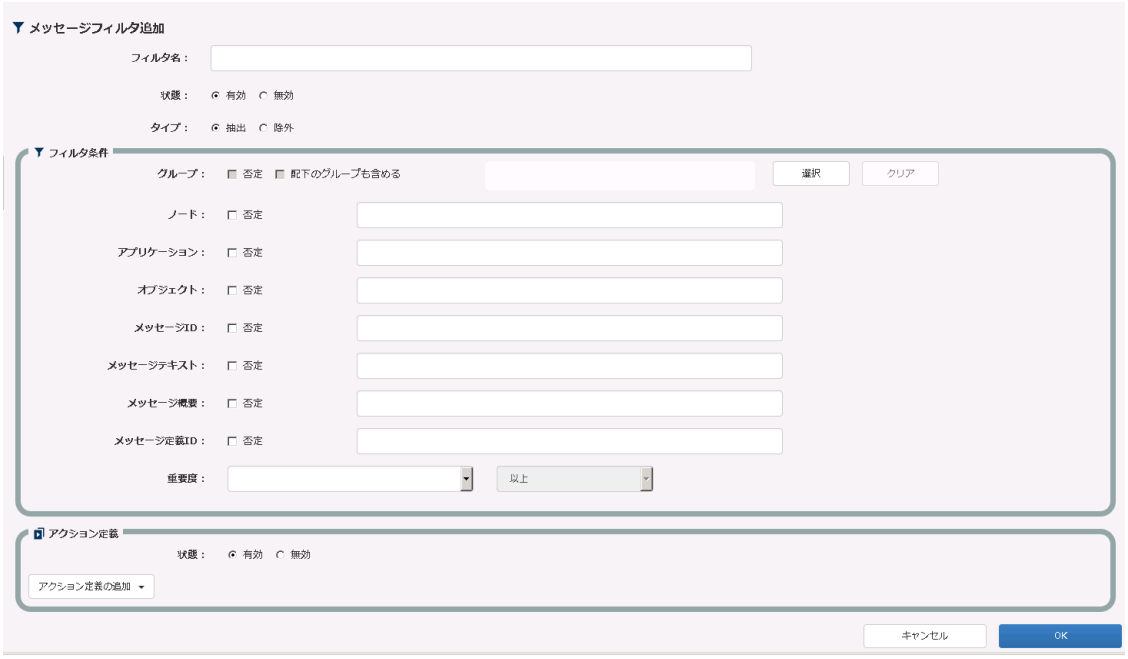


図 17-20　「メッセージフィルタ追加」画面

表 17-12　項目一覧（「メッセージフィルタ追加」画面）

項目名	説明
フィルタ名	フィルタの名前を 0～128 文字で入力します
状態	[有効]を指定した場合、フィルタの状態を有効とします。 [無効]を指定した場合、フィルタの状態を無効とします。
タイプ	フィルタのタイプ [抽出]を指定した場合、フィルタに一致したメッセージが通報の対象になります。 [除外]を指定した場合、フィルタに一致したメッセージは通報の対象になりません。(以降のフィルタは処理されません)。除外フィルタには、アクション定義を設定できません。
グループ	グループを選択します。選択したグループ配下のノードのメッセージを対象とします。
配下のグループを含める	チェックを入れた場合、指定したグループ配下のすべてグループを対象とします。
否定 (グループ)	チェックが入った場合、選択したグループ以外を対象とします。[配下のグループも含める]もチェックした場合、選択したグループ配下の全てのグループ以外のグループが対象になります。
否定 (ノード名)	チェックが入った場合、ノード名に対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
ノード名	ノード名に対するフィルタ条件を正規表現で指定します。

項目名	説明
否定 (アプリケーション)	チェックが入った場合、アプリケーションに対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
アプリケーション	アプリケーションに対するフィルタ条件を指定します。
否定 (オブジェクト)	チェックが入った場合、オブジェクトに対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
オブジェクト	オブジェクト(メッセージ発生元のオブジェクト名)に対するフィルタ条件を正規表現で指定します。
否定 (メッセージ ID)	チェックが入った場合、メッセージ ID に対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
メッセージ ID	メッセージ ID に対するフィルタ条件を指定します。
否定 (メッセージテキスト)	チェックが入った場合、メッセージテキストに対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
メッセージテキスト	メッセージテキストに対するフィルタ条件を指定します。
否定 (メッセージ概要)	チェックが入った場合、メッセージ概要に対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
メッセージ概要	メッセージ概要に対するフィルタ条件を指定します。
否定 (メッセージ定義 ID)	チェックが入った場合、メッセージ定義 ID に対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
メッセージ定義 ID	メッセージ本文の生成に使用するメッセージ定義を表す ID に対するフィルタ条件。
重要度	重要度に対するフィルタ条件を指定します。
重要度の範囲	重要度に対して、[以上][等しい][以下]の中から選択します。



図 17-21　「メッセージフィルタ追加」画面 - アクション定義

表 17-13　項目一覧（「メッセージフィルタ追加」画面 アクション定義）

項目名	説明
状態	アクションの状態を設定します。 有効:フィルタに合致するメッセージが発生した場合に定義されているアクション(メール通報、コマンド実行)が行われる状態です。 無効:フィルタに合致するメッセージが発生した場合でも定義されているアクション(メール通報、コマンド実行)

項目名	説明
	が行われない状態です。一時的にアクションの実行を停止したい場合に利用します。
アクション定義の追加	フィルタに合致するメッセージが発生する際に実行するアクションを追加します。 アクションは以下から選択します。 メール通報:メッセージ発生時に設定されたメールを送信します。 コマンド実行:メッセージ発生時に設定されたコマンドを実行します。 アクションは 1 つのフィルタに対して複数設定することが可能です。 設定したアクション定義を削除する場合は、各アクション設定の右上の「×」を選択してください。
メール通報	フィルタに合致するメッセージが発生した場合に、あらかじめ登録された内容でメールを送信します。 「選択」ボタンを押すと表示されるメール通報設定選択ダイアログから、選択した設定名が表示されます。 送信するメール内容の設定方法については「17.4.5.1　メール通報設定の追加・変更 (391 ページ)」を参照してください。
コマンド実行	フィルタに合致するメッセージが発生した場合に、あらかじめ登録された設定でコマンドを実行します。 「選択」ボタンを押すと表示されるコマンド実行設定選択ダイアログから、選択した設定名が表示されます。 実行するコマンドの定義方法については「17.4.6.1　コマンド設定の追加・変更 (397 ページ)」を参照してください。

条件の入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックして登録します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合、入力内容は破棄して「フィルター一覧」画面に戻ります。

17.1.10.3　フィルタの順序変更

本項ではメッセージフィルタの順序変更方法について説明します。

「フィルター一覧」画面にて[順序変更]をチェックすることにより、順序変更操作が可能になります。

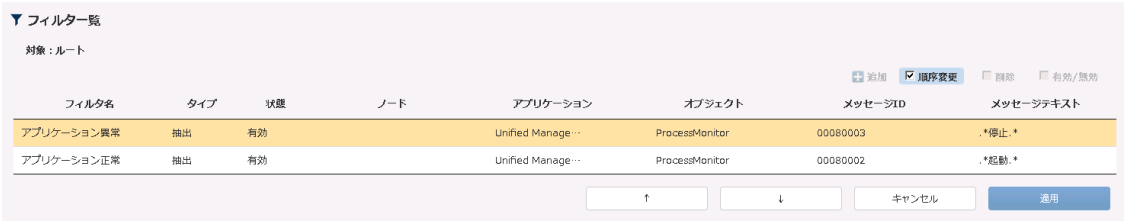


図 17-22　「フィルター一覧」画面 順序変更

表 17-14　項目一覧（「フィルター一覧」画面 順序変更）

項目名	説明
↑	選択行を上へ移動します

項目名	説明
↓	選択行を下へ移動します
キャンセル	キャンセル確認ダイアログを表示します 「表 17-15　項目一覧(「キャンセル確認」ダイアログ)(264 ページ)」
適用	適用確認ダイアログを表示します 「表 17-16　項目一覧(「適用確認」ダイアログ)(264 ページ)」

「キャンセル確認」ダイアログ



図 17-23　「キャンセル確認」ダイアログ

表 17-15　項目一覧（「キャンセル確認」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	キャンセルせずにダイアログを閉じます (順序変更操作へ戻ります)
OK	順序変更を中止しフィルター一覧表示へ戻ります

「適用確認」ダイアログ



図 17-24　「適用確認」ダイアログ

表 17-16　項目一覧（「適用確認」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	順序変更を適用せずにダイアログを閉じます (順序変更操作へ戻ります)

項目名	説明
OK	順序変更を適用しダイアログを閉じます

17.1.10.4　フィルタの削除

本項ではメッセージフィルタの削除方法について説明します。

「フィルター一覧」画面にて[削除]をチェックすることにより、削除操作が可能になります。

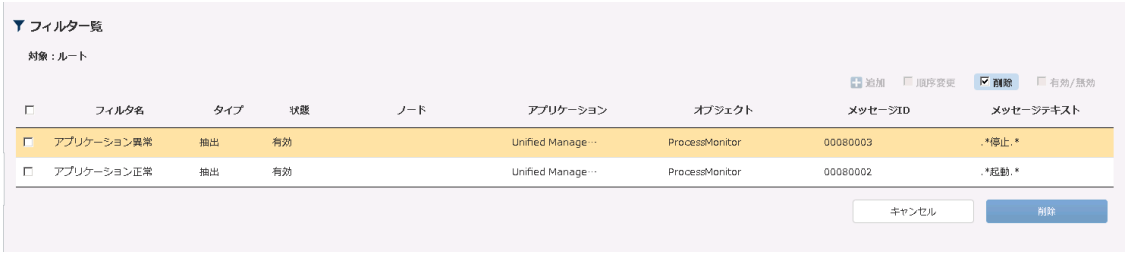


図 17-25　「フィルター一覧」画面 削除

フィルター一覧の削除対象にチェックし、[削除]ボタンをクリックすることにより「フィルタ削除」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしフィルタを削除します。

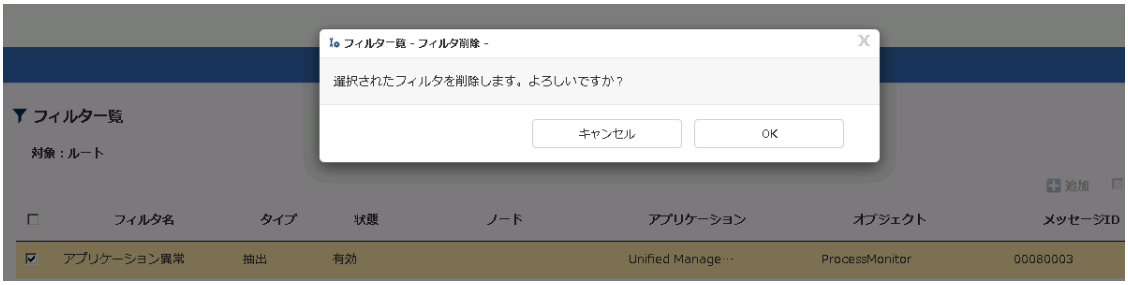


図 17-26　「フィルタ削除」ダイアログ

17.1.11　監視テンプレートの適用(グループ)

本項ではノード一覧からの監視テンプレートの適用方法について説明します。

1. 「ノード」画面にてテンプレートを適用したいグループをグループツリーから選択します。
2. 操作メニューの[テンプレート適用]をクリックします。

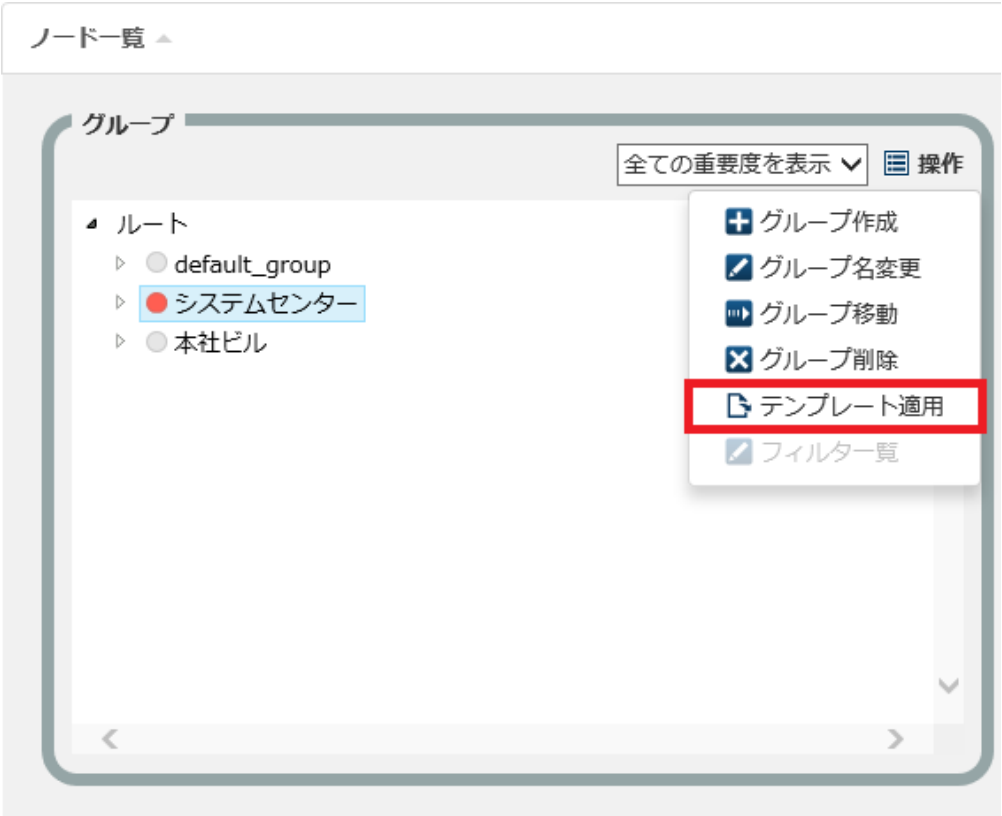


図 17-27　「ノード」画面 テンプレート適用

3. 「テンプレート選択」ダイアログが表示されます。適用したいテンプレートを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

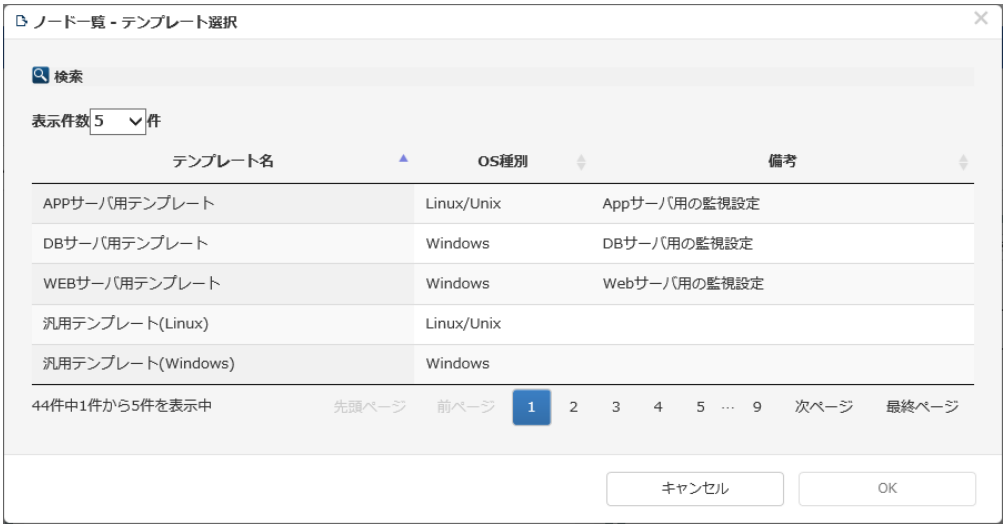


図 17-28　「テンプレート選択」ダイアログ

4. テンプレートの適用状況を示すタスク一覧が表示されます。タスク一覧に表示される項目については「17.1.12　タスク(267 ページ)」を参照してください。



図 17-29　タスク一覧

5. タスク一覧からタスクを選択すると「タスク詳細」ダイアログが表示され、テンプレートの適用の実行ログを参照することができます。タスク詳細に表示される項目については「17.1.12　タスク(267 ページ)」を参照してください。



図 17-30　「タスク詳細」ダイアログ

17.1.12　タスク

本項ではタスクについて説明します。

「ノード」画面下部の[タスク]をクリックするとタスク一覧が表示されます。テンプレート適用など、新たなタスクが発生した際は、自動的に表示されます。

表 17-17　タスク一覧

項目名	説明
直近 24 時間ボタン	直近の 24 時間分のタスクを表示します。
履歴ボタン	実行したタスクの履歴を表示します。

[直近 24 時間]ボタンをクリックすると直近 24 時間に実行されたタスクの一覧が表示されます。



図 17-31　タスク一覧(直近 24 時間)

表 17-18　項目一覧（タスク一覧(直近 24 時間)）

項目名	初期値	説明
表示件数	5	5,10,50,100 から選択します。タスク一覧に表示する件数を指定します。 直近の実行タスクから要求時刻の順に指定された件数のタスクをリストに表示します。
全てのユーザのタスクを表示	未選択	チェックオフの場合、ログインしたユーザが実行したタスクの一覧が表示されます。 チェックをすると、他のユーザが実行したタスク情報を表示します。 管理者の場合、ユーザが登録したタスク情報も表示されます。
タスク名		実施したタスクの種類が表示されます。 本バージョンではテンプレート適用のみ表示されます。
対象		タスクを実行した対象のノードを表示します。
状態		一覧表示時の状態を示します。 • 待機 • 実行中 • 完了
進捗率		タスク実行の進捗状況を示します。完了すると 100%で表示されます。
重要度		タスクの状態を表示します。以下のいずれかの重要度が表示されます。 • 異常 • 警告 • 不明 • 正常 • 重要度なし • 監視停止中
要求時刻		タスクの実行要求時刻が hh:dd:ss の形式で表示されます。
完了時刻		タスクが完了していれば、完了時刻が hh:dd:ss の形式で表示されます。未完了の場合は、空欄になります。
実行ユーザ		タスクを実行したユーザ名(氏名)が表示されます。

[履歴]ボタンをクリックするとタスクの履歴を確認することができます。 タスクの履歴ではタスク一覧を重要度や要求日時で絞り込んで表示することができます。

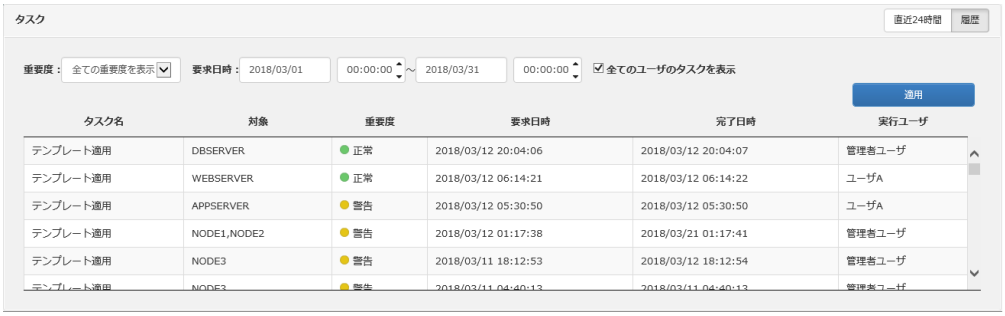


図 17-32　タスク一覧(履歴)

表 17-19　項目一覧（タスク一覧(履歴)）

項目名	初期値	説明
重要度	全ての重要度を表示	タスク一覧の表示を絞り込む場合にこのプルダウンリストから重要度を選択します。選択できるのは一つだけです。 • 全ての重要度を表示 • 異常 • 警告 • 不明 • 正常 • 重要度なし • 監視停止中
要求日時(検索範囲)	24 時間前の時刻	タスク一覧に表示するタスクの範囲を yyyy/mm/dd mm:dd:ss 形式で指定します。
全てのユーザのタスクを表示	チェックなし	他のユーザが実行したタスクを表示するか否かを指定します。初期表示ではチェックがされていないため、ログインしたユーザが実行したタスクのみ一覧に表示されます。
適用ボタン		[重要度]および[要求日時]、[全てのユーザのタスクを表示]に指定された条件でタスク一覧に適用し一覧を再表示します。
タスク名		タスクの種類を表示します。本バージョンでは[テンプレート適用]のみです。
対象		タスクを実行した対象のノードを表示します。
重要度		タスクに設定された重要度を表示します。
要求日時		タスクの要求日時を yyyy/mm/dd mm:dd:ss 形式で表示します。
完了日時		タスクが完了していれば、完了時刻を yyyy/mm/dd mm:dd:ss 形式で表示します。未完了の場合は、空欄になります。
実行ユーザ		タスクを実行したユーザの氏名が表示されます。

タスク一覧からタスクを選択すると「タスク詳細」ダイアログが表示されます。

「タスク詳細」ダイアログではタスクの実行ログを一覧で確認することができます。



図 17-33　「タスク詳細」ダイアログ

表 17-20　項目一覧（「タスク詳細」ダイアログ）

項目名	説明
タスク名	タスクの種類を表示します。本バージョンでは[テンプレート適用]のみです。
対象	タスクを実行した対象のノードを表示します。
重要度	タスクの状態を表示します。以下のいずれかの重要度が表示されます。 • 異常 • 警告 • 不明 • 正常 • 重要度なし • 監視停止中
要求日時	タスクの要求日時を yyyy/mm/dd mm:dd:ss 形式で表示します。
完了時刻	タスクの完了時刻を yyyy/mm/dd mm:dd:ss 形式で表示します。未完了の場合は、空欄になります。
実行ユーザ	タスクを実行したユーザ名(氏名)が表示されます。
実行ログ	タスクの実行ログを一覧で表示します。
時刻	タスクの実行ログにメッセージが出力された時刻が mm:dd:ss 形式で表示されます。
重要度	タスクの実行ログの重要度が表示されます。
メッセージ	タスクの実行ログのメッセージが表示されます。

17.2　メッセージ

本項ではメッセージ機能について説明します。

メニューから、[監視]－[メッセージ]をクリックすることにより、「メッセージ」画面が表示されます。

「メッセージ」画面にはカテゴリー覧パネル、重要度別メッセージ件数一覧パネル(初期非表示)、メッセージ一覧パネル(初期非表示)が表示されます。

「メッセージ」画面では、任意の条件でメッセージをカテゴライズし、カテゴリ単位で監視状況を表示することができます。カテゴリの重要度は、そのカテゴリに振り分けられた未確認状態のメッセージのうち最も緊急度の高い重要度になります。また、カテゴリは任意の階層のグループにまとめることができます。カテゴリグループの重要度は、配下のカテゴリ(カテゴリグループ)のうち最も緊急度の高い重要度になるため、グループツリーのトップ階層から重要度の高いグループを辿っていくことで、障害が発生しているカテゴリを特定することができます。

メッセージパネルでは、カテゴリー覧パネルで選択したカテゴリに振り分けられたメッセージの一覧表示、メッセージの操作を行えます。

[自動更新]チェックボックスをオンにすると各パネルが 30 秒毎に自動更新されます。

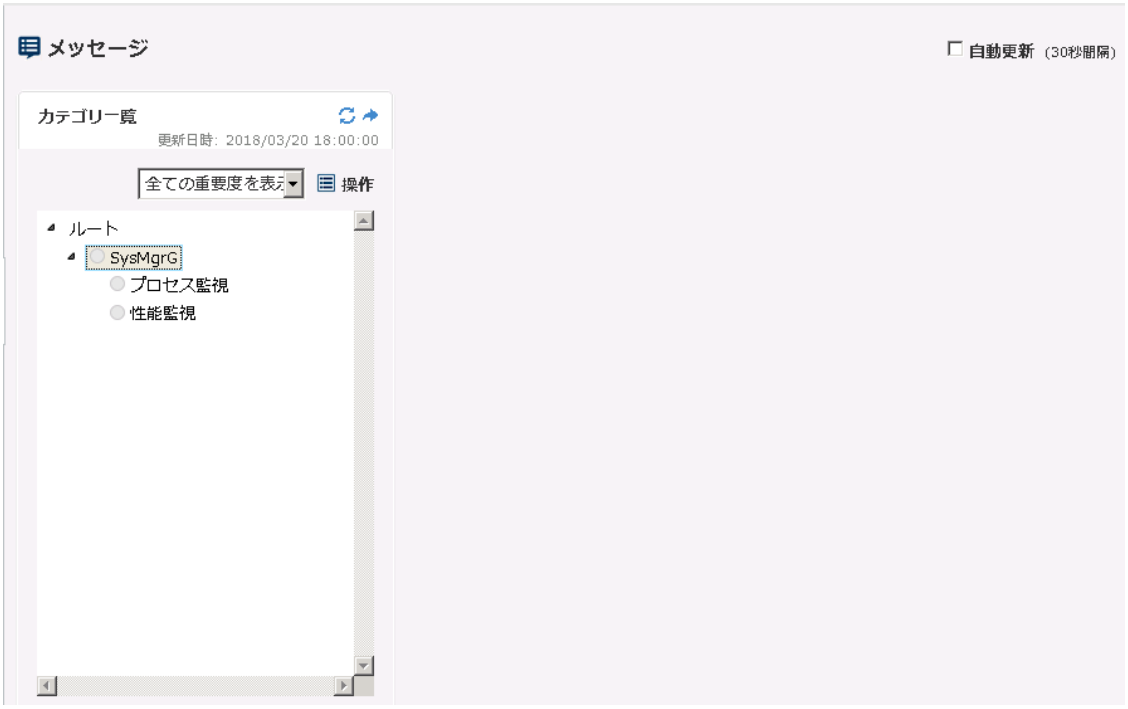


図 17-34　「メッセージ」画面

表 17-21　項目一覧（「メッセージ」画面 カテゴリー覧）

項目名	説明
更新ボタン	カテゴリー覧パネルを更新します。
ウィジェット追加ボタン	カテゴリー覧パネルをダッシュボードにウィジェットとして貼り付けます。
重要度選択	選択した重要度より緊急性の高いカテゴリ(カテゴリグループ)に絞り込んでツリー表示します。
操作	操作プルダウンを表示します。運用管理設定変更権限を持つユーザにのみ表示されます。 詳細は「17.2.8　カテゴリの操作(282 ページ)」を参照してください。
カテゴリグループノード	カテゴリグループ名を重要度アイコン付きで表示します。

項目名	説明
	開閉アイコンで配下のカテゴリの表示／非表示を切り替えることができます。
カテゴリノード	カテゴリ名を重要度アイコン付きで表示します。 カテゴリ名をクリックすることで、そのカテゴリに分類されたメッセージの一覧と、未確認メッセージの重要度別件数を参照することができます。 メッセージの一覧については、「17.2.1　メッセージ一覧の表示(272 ページ)」を参照してください。 未確認メッセージの重要度別件数については、「17.2.7　重要度別メッセージ件数の表示(281 ページ)」を参照してください。

17.2.1　メッセージ一覧の表示

本項ではメッセージの一覧を表示させる方法および各項目の内容を説明します。

「メッセージ」画面のカテゴリ一覧パネルのカテゴリを選択すると、メッセージパネルに選択したカテゴリのメッセージが一覧表示されます。



図 17-35　メッセージパネルとメッセージ一覧

「メッセージ」画面に表示される項目、ボタンは以下の通りです。

表 17-22　項目一覧（メッセージパネル）

項目名	説明
メッセージトグル	メッセージパネルを開閉します。
更新ボタン	メッセージパネルを更新します。
ウィジェット追加ボタン	現在表示されているメッセージパネルをダッシュボードにウィジェットとして貼り付けます。
検索トグル	検索条件を開閉します。初期表示時は閉じています。
表示件数	一覧に表示するメッセージの件数を指定します。 一覧に表示されるメッセージの1ページ当たりの表示件数です。

項目名	説明
	表示件数は 10, 100, 500, 1000 のいずれかから選択可能です。
マークボタン	選択したメッセージにマークを付けます。
確認ボタン	選択したメッセージの確認状態を変更します。
前ページボタン	表示されているメッセージより新しいメッセージを表示します。
次ページボタン	表示されているメッセージより古いメッセージを表示します。

「メッセージ」画面のメッセージ一覧に表示される項目、ボタンは以下の通りです。

表 17-23　項目一覧（メッセージ一覧）

項目名	説明
チェックボックス	チェックされたメッセージが操作対象となります。
ノード	ノードを表示します。グループを選択した場合のみ表示します。
重要度	重要度を表示します。
マーク	マークを表示します。
発生日時	発生日時を表示します。
確認状態	確認状態を表示します。
メッセージテキスト	メッセージテキストを表示します。
アプリケーション	アプリケーションを表示します。
オブジェクト	オブジェクトを表示します。
メッセージ ID	メッセージ ID を表示します。

17.2.2　メッセージの検索

本項ではメッセージを検索する方法を説明します。

「メッセージ」画面の[検索]トグルを押下することで検索条件を指定できる項目が表示されます。

検索条件を指定し[検索]ボタンを押下することで検索条件に該当するメッセージが一覧で表示されます。 検索条件として文字列を指定する項目（ノード、メッセージテキスト、メッセージ概要、コメント）は、正規表現で検索されます。

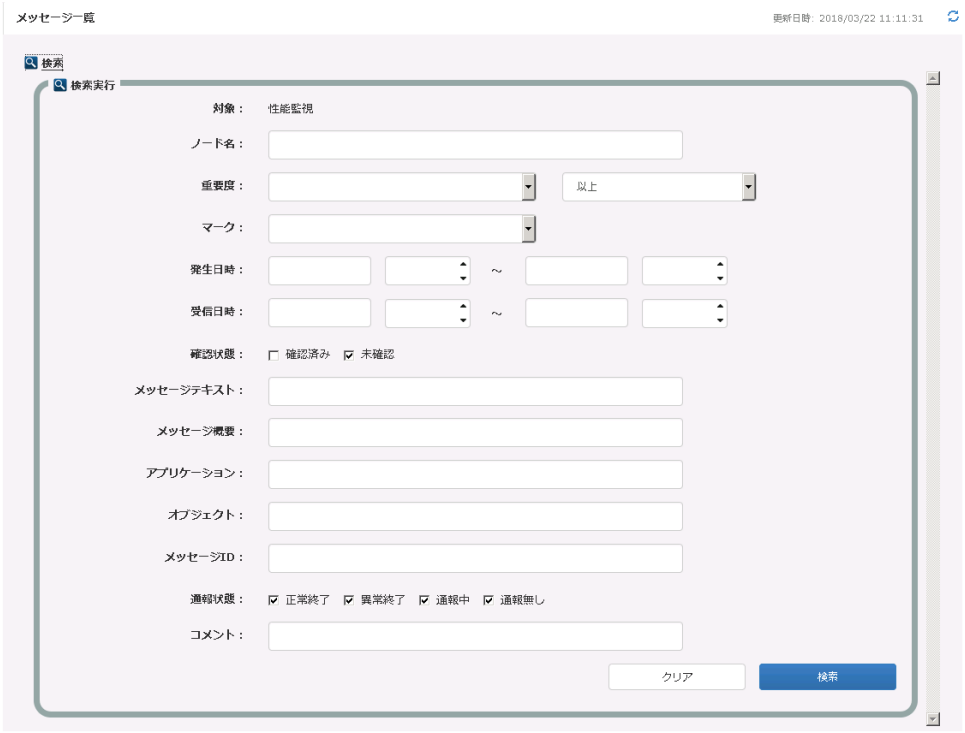


図 17-36　メッセージ検索

表 17-24　項目一覧（メッセージ検索）

項目名	入力規則	説明
対象	―	検索対象が表示されます。グループを選択した場合はグループの配下の再帰的検索の要否を選択するチェックボックスが表示されます。
ノード名	256 文字以内	入力したノード名が検索対象となります。
重要度	―	選択された重要度と重要度の範囲が検索対象となります。選択されない場合は、全ての重要度が検索対象となります。
マーク	―	選択されたマークが検索対象となります。選択されない場合は、全てのマークが検索対象となります。
発生日時	1970/01/01　00:00:00　～ 2999/12/31 23:59:59	選択、もしくは入力した発生日時が検索対象となります。監視対象のサーバマシンで、エージェントがメッセージを生成した日時です。タイムゾーンは、マネージャ(Manager)のシステム時刻に依存します。
受信日時	1970/01/01　00:00:00　～ 2999/12/31 23:59:59	選択、もしくは入力した受信日時が検索対象となります。監視対象のサーバマシンで生成されたメッセージを、マネージャが受信した日時です。タイムゾーンは、マネージャ(Manager)のシステム時刻に依存します。
確認状態	―	チェックされた確認状態(確認済み、未確認)が検索対象となります。必ず 1 つ以上にチェックを入れる必要があります。
メッセージテキスト	1024 文字以内	入力したメッセージテキストが検索対象となります。
メッセージ概要	256 文字以内	入力したメッセージ概要が検索対象となります。
アプリケーション	1024 文字以内	入力したアプリケーションが検索対象となります。

項目名	入力規則	説明
オブジェクト	1024 文字以内	入力したオブジェクトが検索対象となります。
メッセージ ID	128 文字以内	入力したメッセージ ID が検索対象となります。
通報状態	―	チェックされた通報状態（正常終了、異常終了、通報中、通報無し）が検索対象となります。必ず 1 つ以上にチェックを入れる必要があります。
コメント	1024 文字以内	入力されたコメントが検索対象となります。
クリア	―	入力（指定）した値を初期値へ戻します。
検索	―	ボタン押下で検索を実施します。

17.2.3　メッセージ詳細の表示

本項ではメッセージの詳細を表示させる方法および各項目の内容を説明します。

「メッセージ」画面のメッセージ一覧に表示されているメッセージを選択すると、メッセージ詳細、ナレッジ、アクションのタブが表示されます。



図 17-37　メッセージ詳細タブ

メッセージ詳細タブに表示される項目の内容は以下の通りです

表 17-25　項目一覧（メッセージ詳細タブ）

項目名	説明
ノード	ノードを表示します。グループを選択した場合のみ表示します。
重要度	重要度を表示します。
マーク	マークを表示します。
発生日時	発生日時を表示します。 監視対象のサーバマシンで、エージェントがメッセージを生成した日時です。
受信日時	受信日時を表示します。 監視対象のサーバマシンで生成されたメッセージを、マネージャが受信した日時です。
確認状態	確認状態を表示します。
メッセージテキスト	メッセージテキストを表示します。
メッセージ概要	メッセージ概要を表示します。
アプリケーション	アプリケーションを表示します。

項目名	説明
オブジェクト	オブジェクトを表示します。
メッセージ定義 ID	メッセージ定義 ID を表示します。
メッセージ ID	メッセージ ID を表示します。
通報状態	通報状態を表示します。
コメント	コメントを表示します。
マークボタン	マークを付けます。
確認状態変更ボタン	確認状態を変更します。
コメント編集ボタン	コメントを編集します。

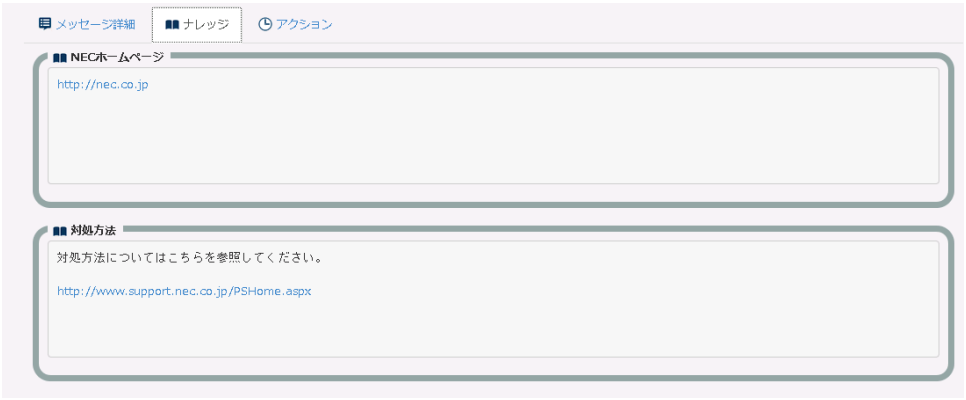


図 17-38　ナレッジタブ

ナレッジタブにはメッセージフィルタの「表示定義」に登録したナレッジの内容を表示します。

表示定義の設定方法は「17.2.10　フィルタの追加・変更 (287 ページ)」を参照してください。

ナレッジタブには、「表示定義」で登録したナレッジ数に応じて、表示エリアをグルーピングして表示します。

各表示グループには以下の項目を表示します。

表 17-26　項目一覧（ナレッジタブ）

項目名	説明
グループタイトル	「表示定義」で登録したナレッジの表示タイトルの内容を表示します。
ナレッジ	登録したナレッジの表示タイプに応じて、テキスト、HTML のいずれかでナレッジに登録した内容を表示します。 メッセージが発生した場合に最初に条件に一致したメッセージフィルタに設定されている定義に従い、表示します。 メッセージフィルタが削除された場合は、表示されません。

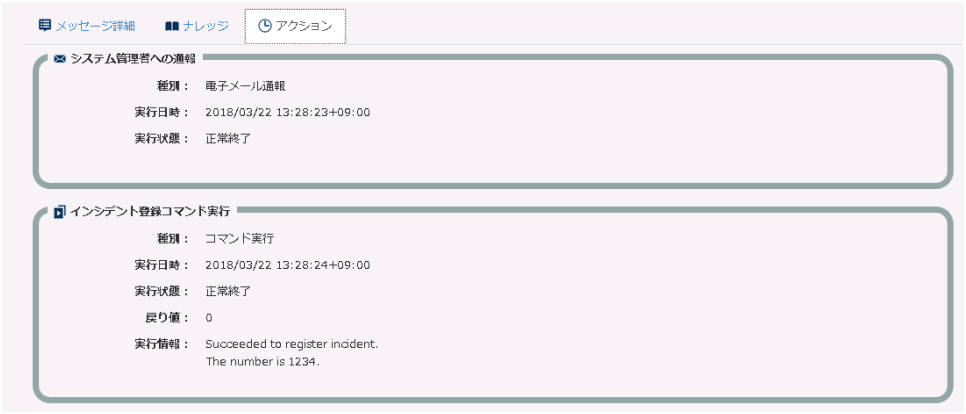


図 17-39　アクションタブ

アクションタブにはメッセージフィルタの「アクション定義」に設定したアクションの実行結果を表示します。

アクション定義の設定方法は「17.2.10　フィルタの追加・変更 (287 ページ)」を参照してください。

表示される項目は実行したアクションの種別によって異なります。

メール通報時は以下の項目を表示します。

表 17-27　項目一覧（アクションタブ - メール通報）

項目名	説明
タイトル	メッセージフィルタに登録した通報設定の名前を表示します。
種別	アクションの種別を表示します。メール通報時は「メール通報」と表示します
実行日時	メール通報を行った日時を表示します。
実行状態	メール通報の実行状態として以下のいずれかを表示します。 ・正常終了 ・通報中 ・異常終了 ・対象外（メッセージ発生時に通報定義が削除されている場合や通報定義が無効化されている場合に表示されます）

表 17-28　項目一覧（アクションタブ - コマンド実行）

項目名	説明
タイトル	メッセージフィルタに登録した通報設定の名前を表示します。
種別	アクションの種別を表示します。コマンド実行時は「コマンド実行」と表示します
実行日時	コマンドを実行した日時を表示します。
実行状態	コマンド実行の実行状態として以下のいずれかを表示します。 ・正常終了 ・通報中 ・異常終了 ・対象外（メッセージ発生時に通報定義が削除されている場合や通報定義が無効化されている場合に表示されます）
戻り値	コマンド実行後の戻り値を表示します。

項目名	説明
実行情報	コマンドの実行結果として「標準出力」、「標準エラー出力」の内容を表示します。コマンドの実行に失敗した場合、そのエラー情報を出力します。

17.2.4　メッセージの確認状態の変更

本項ではメッセージの確認状態の変更方法を説明します。

メッセージの確認状態の変更方法は以下の 2 種類の方法が存在します。

- 変更方法 1

  1. メッセージ一覧の操作対象メッセージのチェックボックスにチェックを入れ、[確認]ボタンを押下します。
  2. [確認]ボタンの下に確認状態が表示されるため、変更したい状態を押下します。

     なお、複数のメッセージに対してチェックを入れることで同時に複数のメッセージの確認状態を変更することが可能です。



図 17-40　確認状態の変更 方法 1

- 変更方法 2

  1. メッセージ一覧の操作対象メッセージを押下します。
  2. メッセージ詳細が表示されるため、[確認状態変更]ボタンを押下します。



図 17-41　確認状態の変更 方法 2

3. 「確認状態変更」ダイアログが表示されるため、[確定]ボタンを押下します。

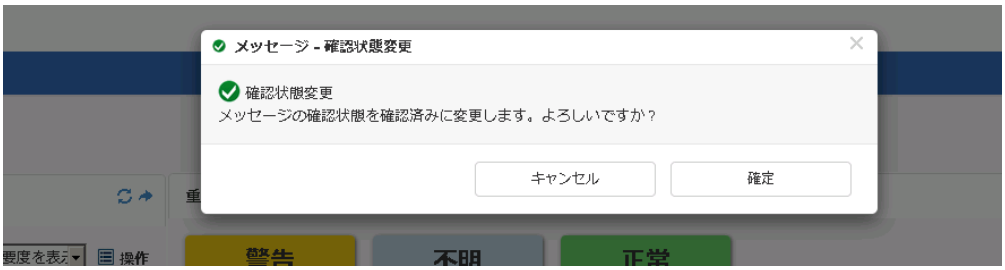


図 17-42　「確認状態変更」ダイアログ

17.2.5　メッセージへのマーク付与

本項ではメッセージに対するマークの付与方法を説明します。

メッセージに対するマークの付与方法は以下の 2 種類の方法が存在します。

- 付与方法 1

  1. メッセージ一覧の操作対象メッセージのチェックボックスにチェックを入れ、[マーク]ボタンを押下します。
  2. 「マーク付け」ダイアログが表示されるため、付与したいマークを選択し、[確定]ボタンを押下します。

     なお、複数のメッセージに対してチェックを入れることで同時に複数のメッセージにマークを付与することが可能です。



図 17-43　マークの付与 方法 1

- 付与方法 2

  1. メッセージ一覧の操作対象メッセージを押下します。

2. メッセージ詳細が表示されるため、[マーク]ボタンを押下します。



図 17-44　マークの付与 方法 2

3. 「マーク付け」ダイアログが表示されるため、付与したいマークを選択し、[確定]ボタンを押下します。

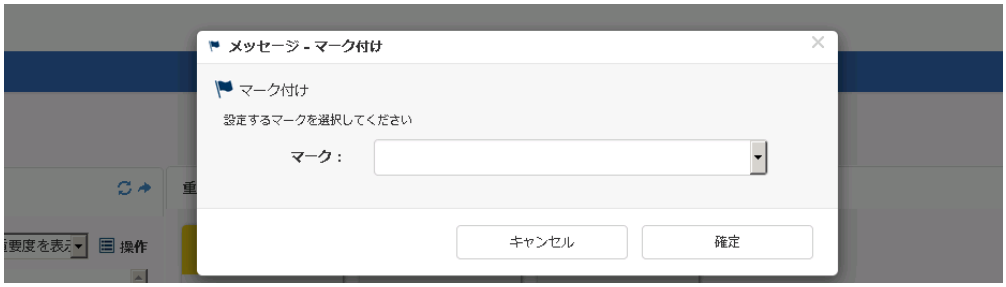


図 17-45　「マーク付け」ダイアログ

17.2.6　メッセージのコメント編集

本項ではメッセージのコメントの編集方法を説明します。

1. メッセージ一覧の操作対象メッセージを押下します。
2. メッセージ詳細が表示されるため、[コメント編集]ボタンを押下します。



図 17-46　コメント編集

3.　「コメント編集」ダイアログが表示されるため、コメントを入力し、[確定]ボタンを押下します。



図 17-47　「コメント編集」ダイアログ

17.2.7　重要度別メッセージ件数の表示

本項では「メッセージ」画面に表示されるメッセージの重要度別件数について説明します。

カテゴリー覧からカテゴリを選択することにより未確認メッセージの重要度別件数を表示します。



図 17-48　「メッセージ」画面 重要度別メッセージ件数

重要度を選択すると、検索画面とメッセージ一覧がその重要度で絞り込み表示（再検索）されます。重要度を複数選択することもできます。選択済みの重要度をもう一度クリックすることで選択状態を解除することができます。

重要度別メッセージ件数をダッシュボードのウィジェットとして表示している場合は、重要度を選択すると「メッセージ」画面に遷移します。メッセージは選択した重要度で絞り込まれた状態で表示されます。

17.2.8　カテゴリの操作

本項では「メッセージ」画面に表示されるカテゴリに対する操作について説明します。

カテゴリ一覧にて[操作]メニューのプルダウンから各操作を選択することにより、各操作ダイアログを表示します。



図 17-49　「メッセージ」画面 カテゴリ一覧

- 作成



図 17-50　「カテゴリ作成」ダイアログ

表 17-29　項目一覧（「カテゴリ作成」ダイアログ）

項目名	説明
作成先	カテゴリグループ/カテゴリを作成する親カテゴリグループ名が表示されます。
種別	作成するカテゴリグループ/カテゴリの種別を選択します
表示名	作成するカテゴリグループ/カテゴリの名前を入力します
キャンセル	カテゴリグループ/カテゴリの作成を中止しダイアログを閉じます
OK	カテゴリグループ/カテゴリの作成を行いダイアログを閉じます

[OK]をクリックすることによりカテゴリを作成します。

- 名前変更



図 17-51　「名前変更」ダイアログ

表 17-30　項目一覧（「名前変更」ダイアログ）

項目名	説明
表示名	変更するカテゴリグループ/カテゴリの名前を入力します
キャンセル	カテゴリグループ/カテゴリの名前変更を中止しダイアログを閉じます
OK	カテゴリグループ/カテゴリの名前変更を行いダイアログを閉じます

[OK]をクリックすることによりカテゴリの名前を変更します。

- 削除

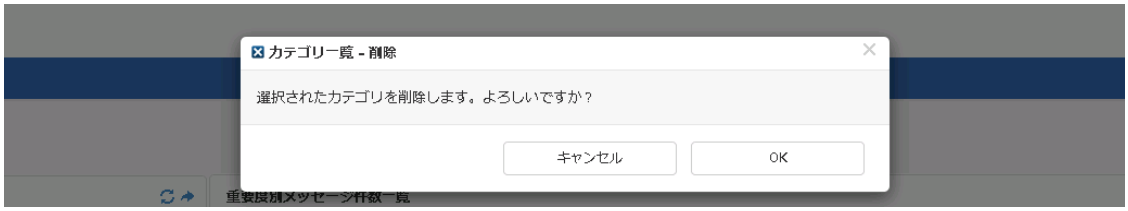


図 17-52　「カテゴリ削除」ダイアログ

[OK]をクリックすることにより選択された[カテゴリグループ/カテゴリ]を削除します。

17.2.9　フィルター一覧の表示

本項ではカテゴリに対して設定できるメッセージフィルタの一覧画面について説明します。

カテゴリ一覧でカテゴリを選択し、[操作]メニューから[フィルター一覧]を選択することにより「フィルター一覧」画面を表示します。

フィルタは優先順位順に表示されます。各フィルタには、メッセージをカテゴリに振り分けるための条件が設定されています。 メッセージが出力されると、優先順位の高い順にメッセージがフィルタリングされ、最初に条件に一致したフィルタのタイプが[格納]であれば そのメッセージはカテゴリに振り分けられます。最初に条件に一致したフィルタのタイプが[除外]の場合、またはどのフィルタの条件にも一致 しなかったメッセージはカテゴリには振り分けられません。



図 17-53　「フィルター一覧」画面

表 17-31　項目一覧（「フィルター一覧」画面）

項目名	説明
追加	フィルタを追加します。詳細は「17.2.10　フィルタの追加・変更(287 ページ)」を参照してください。 フィルター一覧でフィルタを選択して追加すると、選択したフィルタの上に挿入されます。 選択せずに追加した場合、一番上に挿入されます。
順序変更	チェックボックスをオンにすることでフィルタの順序が変更できるようになります。 詳細は「17.2.11　フィルタの順序変更(291 ページ)」を参照
削除	チェックボックスをオンにすることでフィルタの削除操作ができるようになります。 詳細は「17.2.12　フィルタの削除(292 ページ)」を参照
有効/無効	チェックボックスをオンにすることでフィルタの有効/無効操作ができるようになります。 詳細は「17.2.13　フィルタの一括有効／無効化(293 ページ)」を参照
フィルタ名	フィルタ名を表示します。
タイプ	フィルタのタイプを表示します。

項目名	説明
	格納:条件に一致したメッセージがカテゴリに振り分けます。 除外:条件に一致したメッセージはカテゴリに振り分けられません(以降のフィルタは処理されません)。
状態	フィルタの状態を表示します。 有効:フィルタリングの条件として有効であることを示します。 無効:一時的にフィルタリングの条件から外されていることを示します。
ノード	ノード名の条件文(正規表現)を表示します。
アプリケーション	アプリケーションの条件文(正規表現)を表示します。
オブジェクト	オブジェクトの条件文(正規表現)を表示します。
メッセージ ID	メッセージ ID の条件文(正規表現)を表示します。
メッセージテキスト	メッセージテキストの条件文(正規表現)を表示します。
[戻る]ボタン	「メッセージ」画面に戻ります。

フィルター一覧のフィルタをクリックすると、フィルタ詳細が表示されます。



図 17-54　「フィルター一覧」画面 フィルタ詳細

表 17-32　項目一覧(「フィルター一覧」画面 フィルタ詳細)

項目名	説明
フィルタ名	フィルタ名を表示します。
状態	フィルタの状態を表示します。 有効:フィルタリングの条件として有効であることを示します。 無効:一時的にフィルタリングの条件から外されていることを示します。
タイプ	フィルタのタイプを表示します。 格納:条件に一致したメッセージがカテゴリに振り分けます。 除外:条件に一致したメッセージはカテゴリに振り分けられません(以降のフィルタは処理されません)。
グループ	グループの条件を表示します。

項目名	説明
ノード	ノード名の条件文(正規表現)を表示します。
アプリケーション	アプリケーションの条件文(正規表現)を表示します。
オブジェクト	オブジェクトの条件文(正規表現)を表示します。
メッセージ ID	メッセージ ID の条件文(正規表現)を表示します。
メッセージテキスト	メッセージテキストの条件文(正規表現)を表示します。
メッセージ概要	メッセージ概要の条件文(正規表現)を表示します。
メッセージ定義 ID	メッセージ定義 ID の条件文(正規表現)を表示します。
重要度	重要度の条件を表示します。
編集ボタン	フィルタの条件を変更します。 詳細は「17.2.10　フィルタの追加・変更(287 ページ)」を参照してください。
引用ボタン	詳細表示中のフィルタ情報を引用してフィルタを追加します。 詳細は「17.2.10　フィルタの追加・変更(287 ページ)」を参照してください。 追加したフィルタは、引用元のフィルタの一つ上に挿入されます。

注

[否定](条件に該当しないものを対象とする)条件の場合、条件の先頭に[≠]を表示します。

格納タイプのフィルタで、アクション定義設定がされている場合、フィルタ詳細画面に、以下のアクション定義一覧が表示されます。

表 17-33　項目一覧(「フィルター覧」画面 フィルタ詳細 - アクション定義)

項目名	説明
状態	アクション定義の状態を設定します。 有効:フィルタに合致するメッセージが発生した場合に定義されているアクション(メール通報、コマンド実行)が行われる状態です。 無効:フィルタに合致するメッセージが発生した場合でも定義されているアクション(メール通報、コマンド実行)が行われない状態です。一時的にアクションの実行を停止したい場合に利用します。
電子メール通報	フィルタに合致した際に実行される、メール通報設定の通報設定名を表示します。
メール通報 情報ボタン	メール通報設定の設定内容をダイアログ画面に表示します。 メール通報設定の設定内容については「17.4.5.1　メール通報設定の追加・変更(391 ページ)」を参照してください。
コマンド実行	フィルタに合致した際に実行される、コマンド設定の通報設定名を表示します。
コマンド 情報ボタン	コマンド設定の設定内容をダイアログ画面に表示します。 コマンド設定の設定内容については「17.4.6.1　コマンド設定の追加・変更(397 ページ)」を参照してください。

格納タイプのフィルタで、表示定義設定がされている場合、フィルタ詳細画面に、以下の表示定義一覧が表示されます。

表 17-34　項目一覧（「フィルター覧」画面 フィルタ詳細 - 表示定義）

項目名	説明
メッセージ概要の上書き	メッセージ概要の上書き設定がされている場合は、その指定した値が表示されます。 フィルタに合致したメッセージの概要を指定した内容で更新します。
ナレッジ	フィルタに合致した際に、そのメッセージのメッセージ詳細に表示されるナレッジ設定の設定名を表示します。
ナレッジ 情報ボタン	ナレッジ設定の設定内容をダイアログ画面に表示します。 テキストタイプの場合は、指定した表示タイトル枠の中に、指定したナレッジの文字列を表示します。 HTML タイプの場合は、指定した表示タイトル枠の中に、指定した HTML ソースから生成されたページを表示します。

17.2.10　フィルタの追加・変更

本項ではメッセージフィルタの追加・変更方法について説明します。

「フィルター覧」画面にて[追加]をクリックする、または「フィルター覧」画面にてフィルタを選択し、[引用]をクリックすることにより、「メッセージフィルタ追加」画面を表示します。[引用]を選択した場合、各条件の入力フィールドには選択したフィルタの条件がセットされた状態で表示されます。

「フィルター覧」画面にてフィルタを選択し、[編集]をクリックすることにより、「メッセージフィルタ変更」画面を表示します。

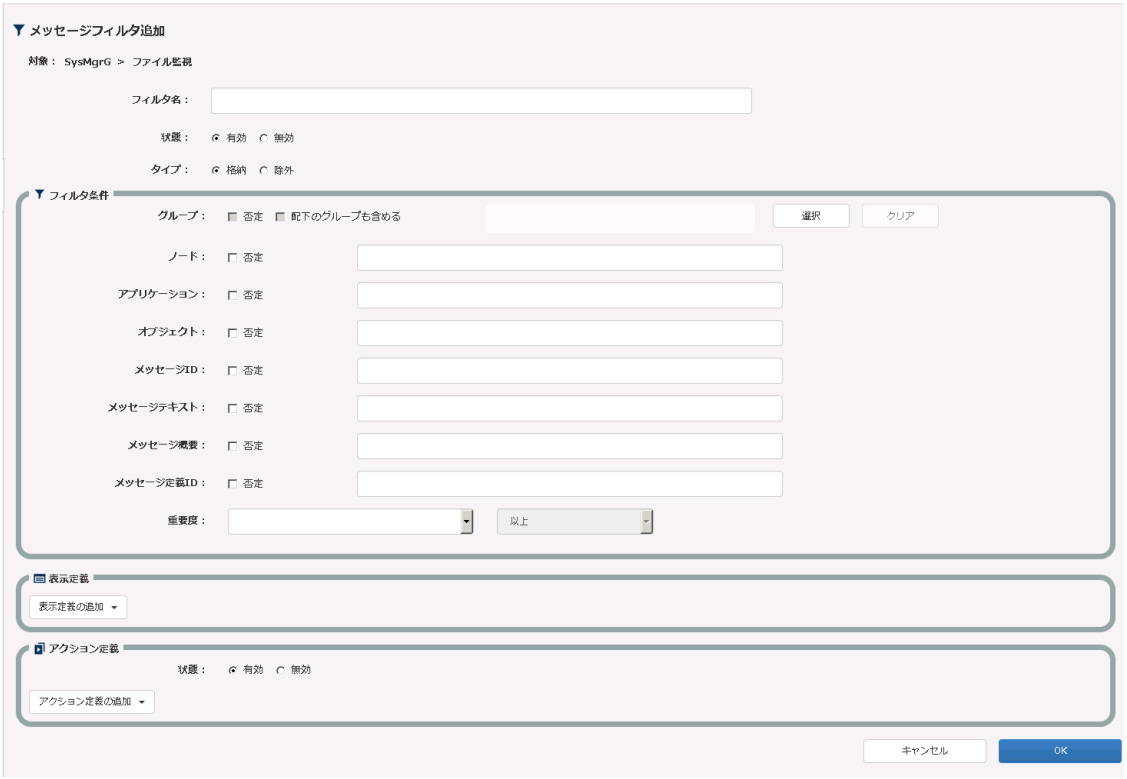


図 17-55　「メッセージフィルタ追加」画面

表 17-35　項目一覧（「メッセージフィルタ追加」画面）

項目名	説明
フィルタ名	フィルタの名前を 0～128 文字で入力します
状態	[有効]を指定した場合、フィルタの状態を有効とします。 [無効]を指定した場合、フィルタの状態を無効とします。
タイプ	フィルタのタイプ [格納]を指定した場合、フィルタに一致したメッセージをカテゴリへのカテゴライズ対象とします。 [除外]を指定した場合、フィルタに一致したメッセージをカテゴリへのカテゴライズ対象としません。また、以降のフィルタ定義との比較も行いません。除外フィルタには、アクション定義および、表示定義を設定できません。
グループ	グループを選択します。選択したグループ配下のノードのメッセージを対象とします。
配下のグループも含める	チェックを入れた場合、指定したグループ配下のすべてグループを対象とします。
否定（グループ）	チェックが入った場合、選択したグループ以外を対象とします。[配下のグループも含める]もチェックした場合、選択したグループ配下の全てのグループ以外のグループが対象になります。
否定（ノード名）	チェックが入った場合、ノード名に対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
ノード名	ノード名に対するフィルタ条件を正規表現で指定します。
否定（アプリケーション）	チェックが入った場合、アプリケーションに対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
アプリケーション	アプリケーションに対するフィルタ条件を指定します。
否定（オブジェクト）	チェックが入った場合、オブジェクトに対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
オブジェクト	オブジェクト（メッセージ発生元のオブジェクト名）に対するフィルタ条件を正規表現で指定します。
否定（メッセージ ID）	チェックが入った場合、メッセージ ID に対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
メッセージ ID	メッセージ ID に対するフィルタ条件を指定します。
否定（メッセージテキスト）	チェックが入った場合、メッセージに対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
メッセージテキスト	メッセージテキストに対するフィルタ条件を指定します。
否定（メッセージ概要）	チェックが入った場合、メッセージ概要に対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。
メッセージ概要	メッセージ概要に対するフィルタ条件を指定します。
否定（メッセージ定義 ID）	チェックが入った場合、メッセージ定義 ID に対するフィルタ条件に一致しないもの全てを条件に一致したとみなします。

項目名	説明
メッセージ定義 ID	メッセージ本文の生成に使用するメッセージ定義を表す ID に対するフィルタ条件。
重要度	重要度に対するフィルタ条件を指定します。
重要度の範囲	重要度に対して、[以上][等しい][以下]の中から選択します。

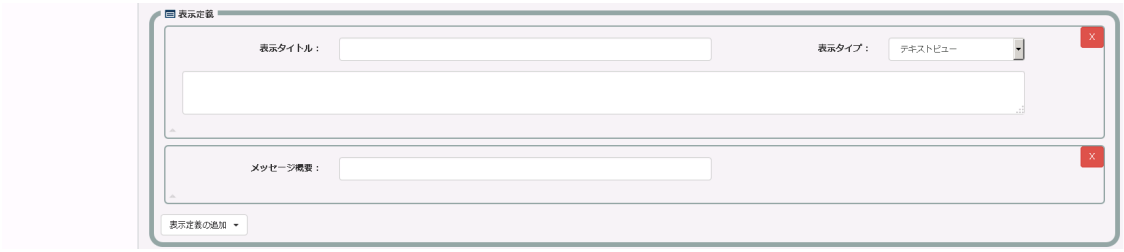


図 17-56　「メッセージフィルタ追加」画面 - 表示定義

表 17-36　項目一覧（「メッセージフィルタ追加」画面 表示定義）

項目名	説明
表示定義の追加	メッセージフィルタに設定する表示定義を以下から選択します。 ・ナレッジ：フィルタに合致したメッセージの詳細画面（ナレッジタブ）に任意の内容を表示する機能です。発生したメッセージへの対処方法や参考となる Web ページのリンクを設定することができます。 ・メッセージ概要の上書きフィルタに合致したメッセージの概要を指定した内容で更新する機能です。 1 つのフィルタに対してナレッジは 2 件まで、メッセージ概要の上書きは 1 件のみ登録が可能です。
表示タイトル	メッセージ詳細画面（ナレッジタブ）に表示するナレッジの表示タイトルを 1024 文字以内で設定します。
表示タイプ	メッセージ詳細画面（ナレッジタブ）に表示するナレッジ情報の形式を以下から選択します。 ・テキストビュー ・HTML ビュー
表示内容	メッセージ詳細画面（ナレッジタブ）に表示する情報を 8192 文字以内で設定します。 置換文字列が指定可能です。置換文字列を指定する場合は、実際に展開される文字数を考慮してください。
メッセージ概要の上書き	メッセージフィルタに合致したメッセージの概要を 256 文字以内で設定します。

表 17-37　項目一覧（置換文字列）

置換文字	説明
$message_id$	メッセージ ID
$definition_code$	メッセージ定義
$tenant_id$	テナント ID
$severity$	重要度

置換文字	説明
$create_time$	発生日時
$system_name$	システム名
$node_id$	ノード ID
$node_type$	ノード種別
$node_name$	ノード名
$object$	オブジェクト
$summary$	メッセージ概要
$message_no$	メッセージ番号
$receive_time$	受信日時
$message_text$	メッセージ本文
$business_node_id$	通報が発生する契機となったフィルタに設定されていたビジネスカテゴリノード ID。

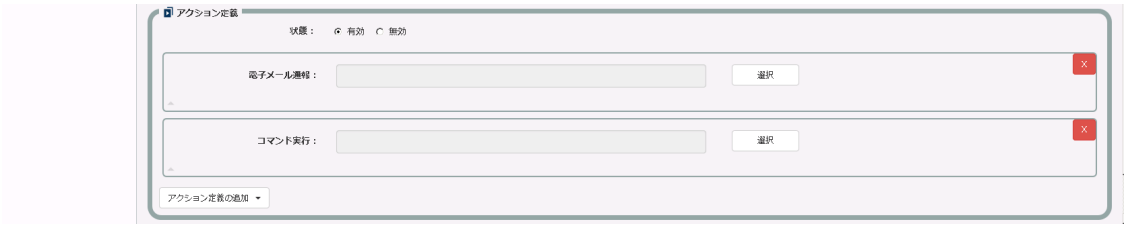


図 17-57　「メッセージフィルタ追加」画面 - アクション定義

表 17-38　項目一覧（「メッセージフィルタ追加」画面 アクション定義）

項目名	説明
状態	アクション定義の状態を設定します。 有効：フィルタに合致するメッセージが発生した場合に定義されているアクション（メール通報、コマンド実行）が行われる状態です。 無効：フィルタに合致するメッセージが発生した場合でも定義されているアクション（メール通報、コマンド実行）が行われない状態です。一時的にアクションの実行を停止したい場合に利用します。
アクション定義の追加	フィルタに合致するメッセージが発生する際に実行するアクションを追加します。 アクションは以下から選択します。 メール通報：メッセージ発生時に設定されたメールを送信します。 コマンド実行：メッセージ発生時に設定されたコマンドを実行します。 アクションは 1 つのフィルタに対して複数設定することが可能です。 設定したアクション定義を削除する場合は、各アクション設定の右上の「×」を選択してください。
電子メール通報	フィルタに合致するメッセージが発生した場合に、あらかじめ登録された内容でメールを送信します。 「選択」ボタンを押すと表示されるメール通報設定選択ダイアログから、選択した設定名が表示されます。

項目名	説明
	送信するメール内容の設定方法については「17.4.5.1　メール通報設定の追加・変更 (391 ページ)」を参照してください。
コマンド実行	フィルタに合致するメッセージが発生した場合に、あらかじめ登録された設定でコマンドを実行します。 「選択」ボタンを押すと表示されるコマンド実行設定選択ダイアログから、選択した設定名が表示されます。 実行するコマンドの定義方法については「17.4.6.1　コマンド設定の追加・変更 (397 ページ)」を参照してください。

条件の入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックして登録します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合、入力内容は破棄して「フィルター一覧」画面に戻ります。

17.2.11　フィルタの順序変更

本項ではメッセージフィルタの順序変更方法について説明します。

「フィルター一覧」画面にて[順序変更]をチェックすることにより、順序変更操作が可能になります。

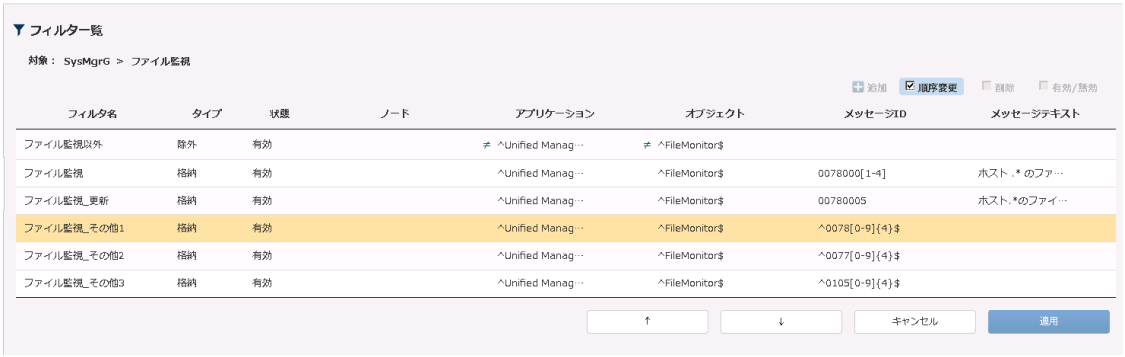


図 17-58　「フィルター覧」画面 順序変更

表 17-39　項目一覧（「フィルター覧」画面 順序変更）

項目名	説明
↑	選択行を上へ移動します
↓	選択行を下へ移動します
キャンセル	キャンセル確認ダイアログを表示します 「表 17-40　項目一覧(「キャンセル確認」ダイアログ) (292 ページ)」
適用	適用確認ダイアログを表示します 「表 17-41　項目一覧(「適用確認」ダイアログ) (292 ページ)」

「キャンセル確認」ダイアログ

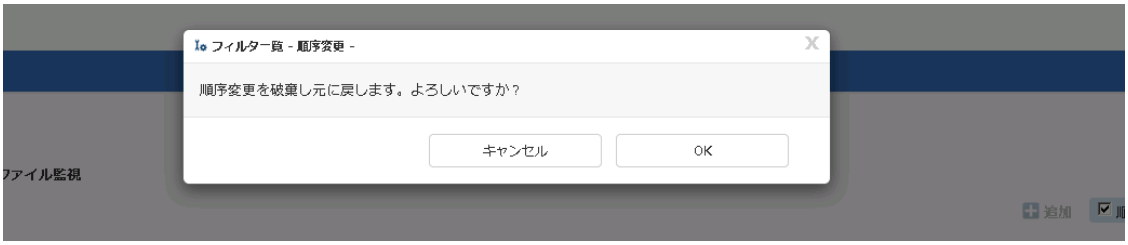


図 17-59　「キャンセル確認」ダイアログ

表 17-40　項目一覧（「キャンセル確認」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	キャンセルせずにダイアログを閉じます (順序変更操作へ戻ります)
OK	順序変更を中止しフィルター覧表示へ戻ります

「適用確認」ダイアログ



図 17-60　「適用確認」ダイアログ

表 17-41　項目一覧（「適用確認」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	順序変更を適用せずにダイアログを閉じます (順序変更操作へ戻ります)
OK	順序変更を適用しダイアログを閉じます

17.2.12　フィルタの削除

本項ではメッセージフィルタの削除方法について説明します。

「フィルター覧」画面にて[削除]をチェックすることにより、削除操作が可能になります。



図 17-61　「フィルター覧」画面 削除

フィルター覧の削除対象にチェックし、[削除]ボタンをクリックすることにより「フィルタ削除」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしフィルタを削除します。

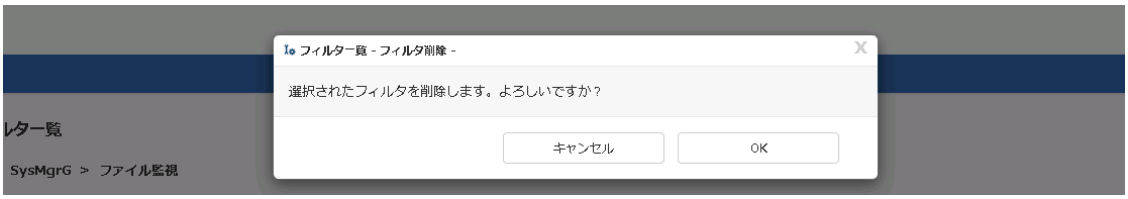


図 17-62　「フィルタ削除」ダイアログ

17.2.13　フィルタの一括有効／無効化

本項ではメッセージフィルタを一括で有効化、または無効化する方法について説明します。

「フィルター覧」画面にて[有効/無効]をチェックすることにより、フィルタの一括有効化/無効化の操作が可能になります。



図 17-63　「フィルター覧」画面 有効/無効

フィルター覧の対象にチェックし、[有効]ボタンをクリックすることにより「フィルタ状態変更」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしフィルタを有効化します。

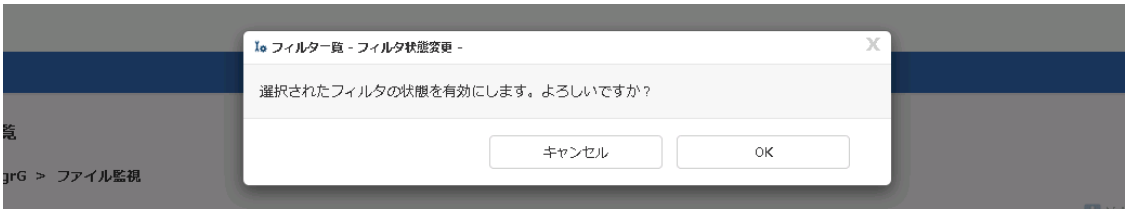


図 17-64　「フィルタ状態変更」ダイアログ（有効化）

フィルター覧の対象にチェックし、[無効]ボタンをクリックすることにより「フィルタ状態変更」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしフィルタを無効化します。

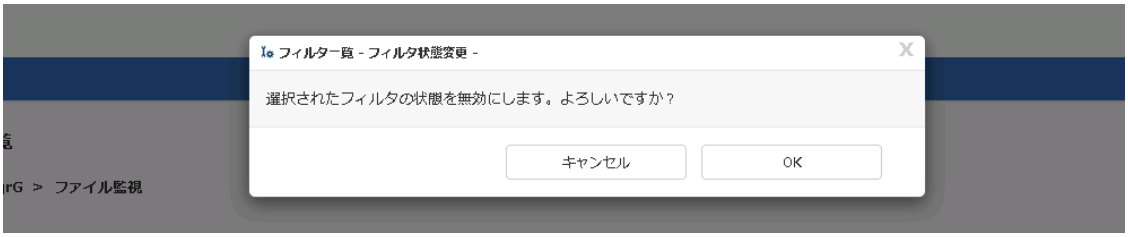


図 17-65　「フィルタ状態変更」ダイアログ（無効化）

17.3　分析／レポート

本項では監視対象の各ノードから取得した各種情報をグラフとして表示する「分析／レポート」画面について説明します。

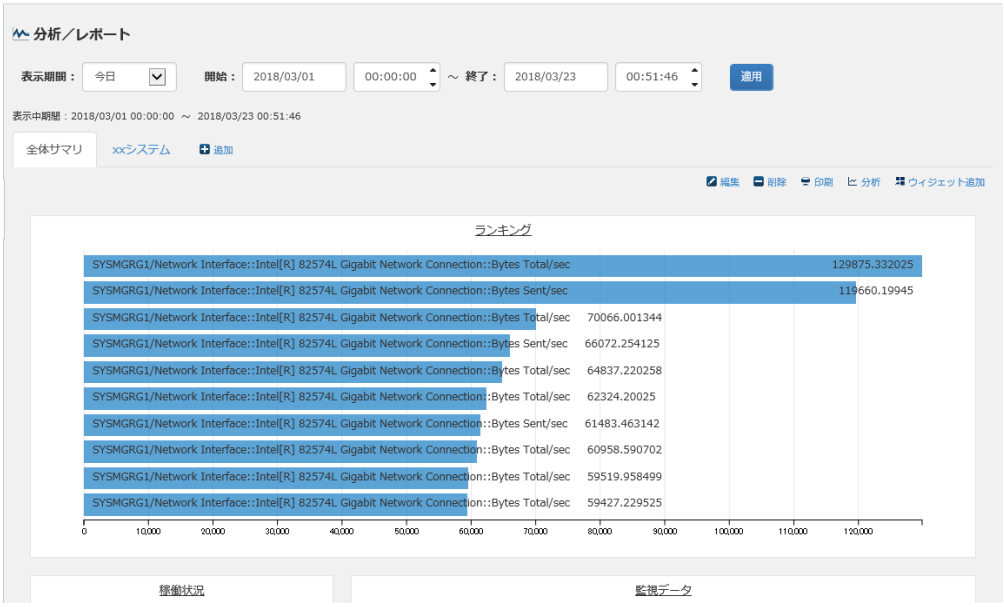


図 17-66　「分析／レポート」画面

分析／レポート機能を使うには、以下の手順で操作をします。ビューとは、グラフや分析結果を表示する領域のことです。

ビューには、複数のグラフを配置することができます。

1.　表示期間の設定をします。

分析／レポートの表示期間を設定します。

表 17-42　項目一覧（表示期間）

項目名	説明
過去 1 時間	各グラフの表示時間を過去 1 時間のグラフを表示します。
今日	本日の 00:00 から現在までのグラフを表示します。初期表示時はこのボタンが選択された状態です
昨日	前日の 00:00 から 23:59 までのグラフを表示します。
n日間	n 日前の 00:00 から前日の 23:59 までの グラフを表示します。n日は、2～6 日までをプルダウンで選択します。
n 週間	過去 n 週間の 00:00 から前日の 23:59 までのグラフを表示します。n 週間は、1～4 までをプルダウンで選択します。
1 ヶ月	先月の同日の 00:00 から 前日の 23:59 までのグラフを表示します。
今月	今月の 1 日 00:00 から現在までのグラフを表示します。
前月	先月の 1 日 00:00 から末日の 23:59 現在までのグラフを表示します。
開 始：終了	グラフの表示の開始時刻、終了時刻を指定します。 開始時刻、終了時刻ともに 1971/01/01 00:00～2037/12/31 23:59 の範囲を指定します。
適用	[適用]ボタンをクリックすると、指定された期間のグラフを表示します。表示中期間の表示内容を更新します。

2. ビューを追加します。(「17.3.1　分析／レポート ビューの設定(295 ページ)」を参照ください。)
3. ビューの編集画面で、グラフ種別の選択をし、グラフ種別ごとに設定をします。詳しくは以下をご覧ください。
   - 「17.3.2　性能グラフの設定(298 ページ)」
   - 「17.3.4　稼働状況グラフの設定(306 ページ)」
   - 「17.3.3　ランキンググラフの設定(302 ページ)」
4. データの分析をする場合の操作は、「17.3.7　分析機能 (312 ページ)」をご覧ください。
5. ビューの印刷は、「17.3.6　分析／レポートビューの印刷(311 ページ)」をご覧ください。

17.3.1　分析／レポート ビューの設定

本項ではビューの追加と編集について記載します。

分析ビューの追加手順を説明します。

「分析／レポート」画面で[追加]ボタンをクリックします。

「ビュー追加」ダイアログが表示されます。ビュー名を入力して、[OK]をクリックします。

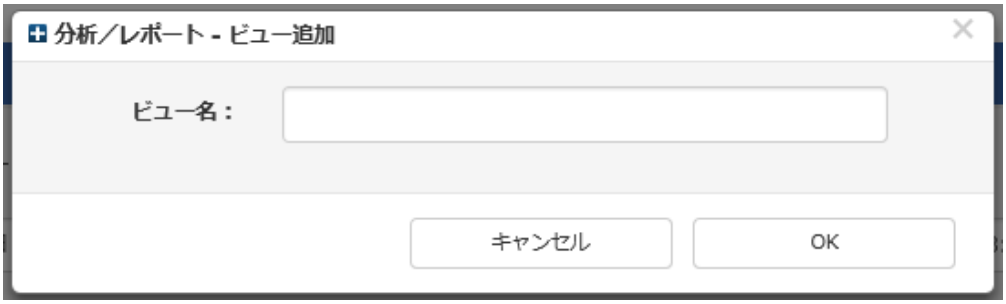


図 17-67　分析／レポート　「ビュー追加」ダイアログ

「分析／レポート」画面にビューが追加されます。



図 17-68　ビュー追加直後の「分析／レポート」画面

[編集]をクリックし、「ビュー変更」画面を開きます。



図 17-69　「ビュー変更」画面

グラフ一覧の [追加]ボタンをクリックし、「グラフ設定」ダイアログを開きます。

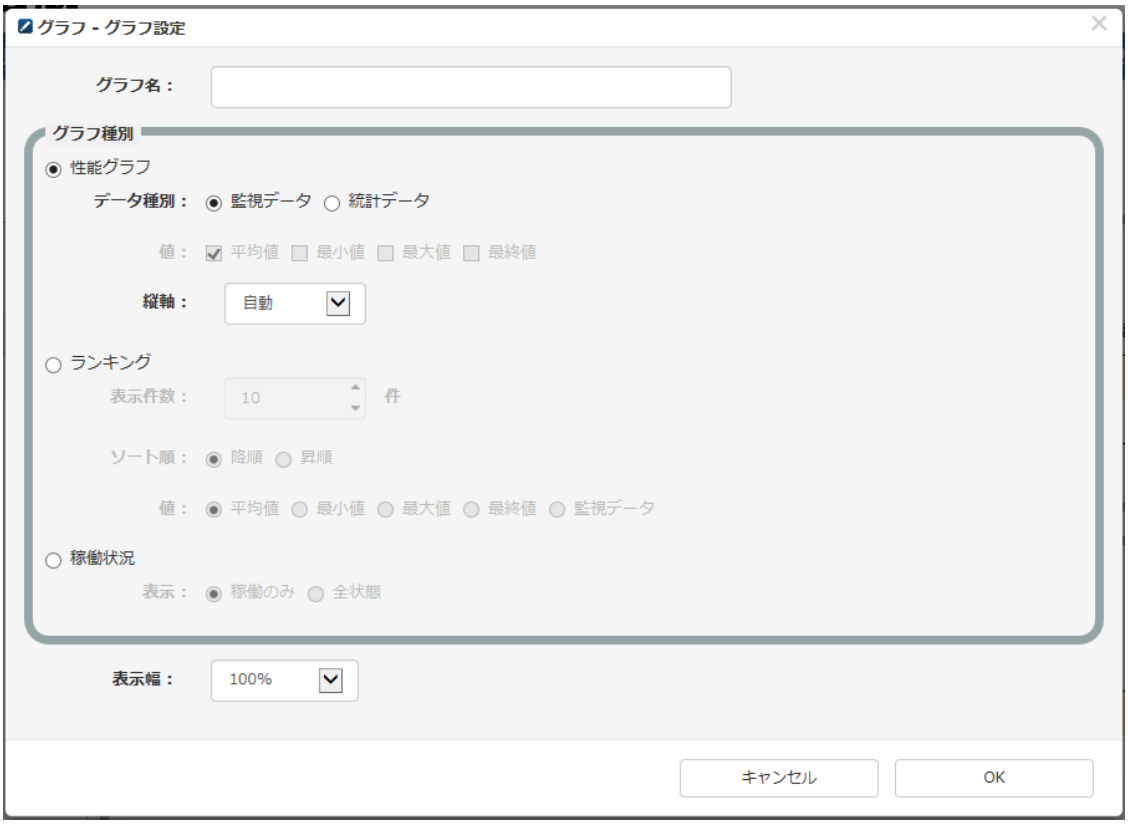


図 17-70　「グラフ設定」ダイアログ

表 17-43　項目一覧（「グラフ設定」ダイアログ）

項目名	必須	説明
グラフ名	○	グラフの名前を 128 文字以内で入力します。
グラフ種別	○	以下のいずれかを選択します。 • 性能グラフ • ランキング • 稼働状況
表示幅	○	グラフの描画サイズを選択します。 • 100% -表示幅いっぱいに描画 • 66% - 表示幅の 2/3 を使用し描画(33%との組み合わせで、2 列のレイアウト) • 50% - 表示幅の半分を使用し描画(2 列のレイアウト) • 33% - 表示幅の 1/3 を使用し描画(3 列のレイアウト)

注

グラフの定義数に上限は設けられていませんが、多数のグラフの描画にはクライアント性能が必要とされます。1 ビューあたり 50 グラフまでを推奨します。ご利用の環境に合わせて定義してください。

17.3.2　性能グラフの設定

本項では、グラフ種別に性能グラフを選択した場合の設定について記載します。



図 17-71　「グラフ設定」ダイアログ（性能グラフ）

表 17-44　項目一覧（「グラフ設定」ダイアログ（性能グラフ））

項目名	必須	説明
データ種別	○	以下のいずれかを選択します。 • 監視データ:サーバー監視間隔毎に収集した性能データをグラフ化します。障害調査目的など短期間のデータ分析に用います。 • 統計データ:1 時間もしくは 1 日単位で生成される統計データ(平均、最小、最大、最終)をグラフ化します。キャパシティプランニングなど長期間のデータ分析に用います。
値	○	統計グラフのときのみ指定できます。以下から 1 つ以上選択してください。 • 平均値 • 最小値 • 最大値 • 最終値 ″平均値″、″最小値″、″最大値″、″最終値″ は、″監視データ″を基に生成された統計データです。
縦軸	○	グラフの目盛の描画方法を指定します。 • 自動:プロットされる値の最小値を下辺、最大値を上辺としてグラフ描画します。 • パーセント:下辺を 0、上辺を 100%として描画します。

[OK]をクリックすると、追加した性能グラフがグラフ一覧に表示されます。

一覧から性能グラフを選択した状態にしてください。グラフ詳細が表示されます。



図 17-72　「ビュー変更」画面」（性能グラフ）

性能グラフに表示するノード及びカウンタを選択します。

性能グラフの詳細から、[追加]ボタンをクリックして、「カウンタ選択」ダイアログを表示します。

右上のフィールドに文字列を入れると、その文字を含むカウンタだけに絞り込まれて表示されます。

既に選択済みのカウンタを追加することはできません

カウンタの表示色はシステムで定められています。

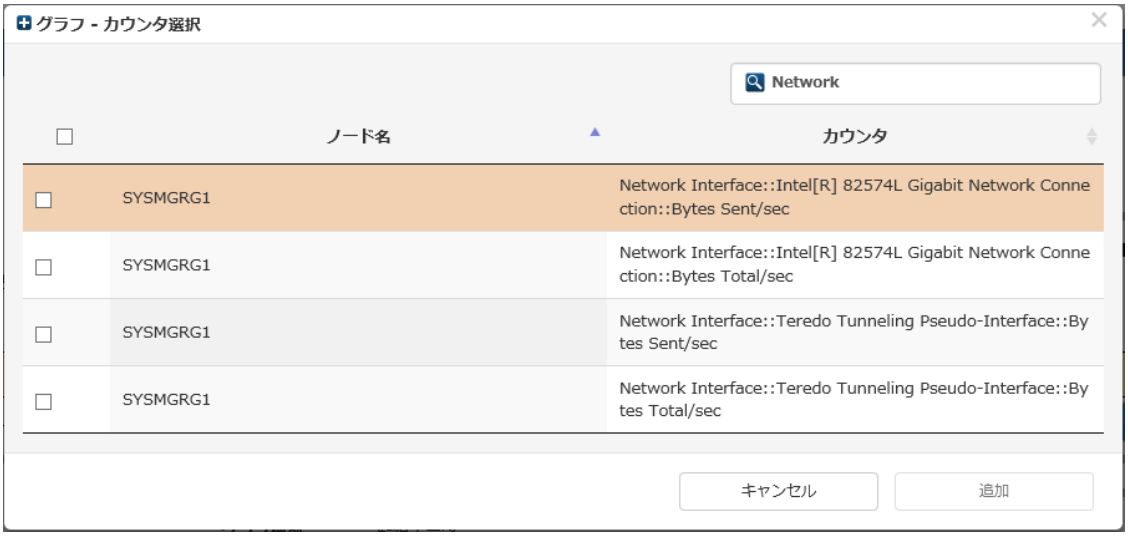


図 17-73　「カウンタ選択」ダイアログ

表 17-45　「カウンタ選択」ダイアログ

項目名	説明
カウンタ	グラフ表示対象のノードと取得対象のデータ(カウンタ)の組み合わせを選択します。複数選択可能です。 同時に選択できるカウンタは 20 件以内です。 一覧のヘッダをクリックすることでノード、カウンタで並び替えをすることができます。

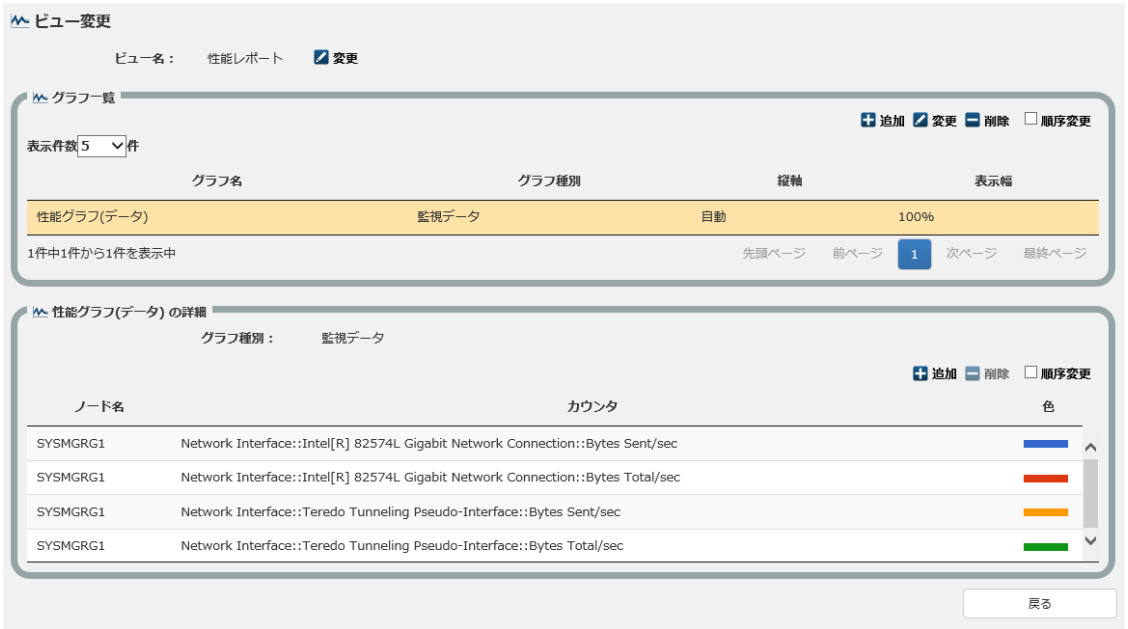


図 17-74　性能グラフ設定 カウンター覧

カウンタの削除は、以下のように操作をします。

1. 該当するカウンタをクリックして、選択状態にします。
2. [削除]ボタンをクリックします。
3. 「カウンタ削除」ダイアログが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。

4.　[キャンセル]ボタンをクリックした場合、カウンタを削除せずにダイアログを閉じます。

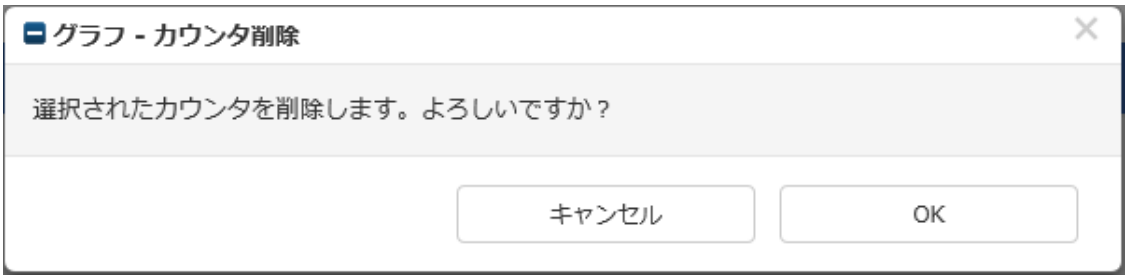


図 17-75　「カウンタ削除」ダイアログ

カウンタの表示順序を変更するには、対象となるカウンタをクリック後、詳細画面の[順序変更]ボタンをクリックします。

順序変更のボタンを操作し、適用をクリックしてください。

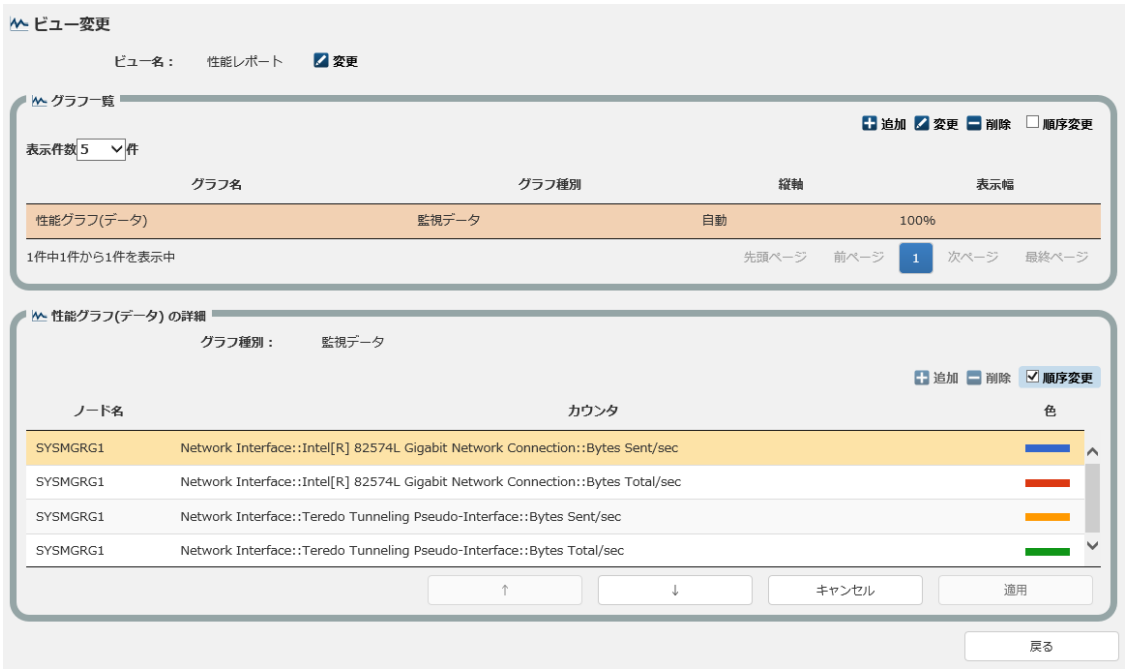


図 17-76　カウンタ順序変更

表 17-46　カウンタ順序変更

項目名	説明
↑	選択した行を上に移動します。クリックした回数分移動します。
↓	選択した行を下に移動します。クリックした回数分移動します。
キャンセル	順序変更の操作を取り消します
適用	順序変更の結果を反映します。

注

描画領域の制限により表示する期間によってはデータが間引かれます。間引きなしに表示できる期間は以下の通りです。

表 17-47　間引きなしに表示できる期間

データ種別	監視間隔	期間			
		表示幅 ： 100%	表示幅 ： 66%	表示幅 ： 50%	表示幅 ： 33%
監視データ	30 秒(default)	6 時間 35 分(23700 秒)	4 時間 18 分 30 秒(15510 秒)	3 時間 10 分(11400 秒)	2 時間 1 分 30 秒(7290 秒)
	10 秒(min)	2 時間 11 分 40 秒(7900 秒)	1 時間 26 分 10 秒(5170 秒)	1 時間 3 分 20 秒(3800 秒)	40 分 30 秒(2430 秒)
統計データ	-	32 日 22 時間(790 時間)	21 日 13 時間(517 時間)	15 日 20 時間(380 時間)	10 日 3 時間(243 時間)

17.3.3　ランキンググラフの設定

本項では、ランキンググラフの設定方法について説明します。

ランキンググラフは、ある指標(カウンタ)の中で指定期間内のトップ項目を指定に従って表示します。

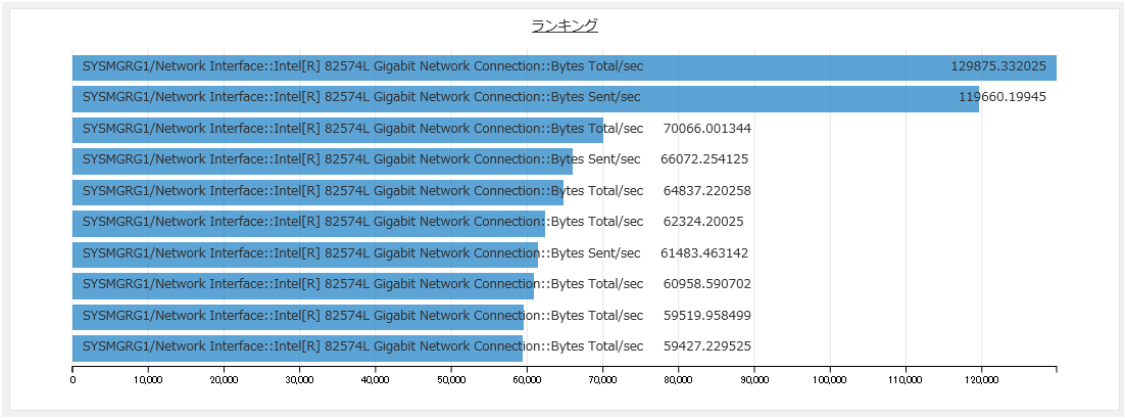


図 17-77　ランキンググラフ　例

グラフ一覧で、[追加]をクリックし、グラフ種別として[ランキング]を選びます。



図 17-78　「グラフ設定」ダイアログ(ランキング)

表 17-48　項目一覧（「グラフ設定」ダイアログ(ランキング)）

項目名	必須	説明
表示件数	○	ランキング表示する件数を設定します。A4 縦で印刷する場合には、40 件程度を目安にしてください。 • 初期設定は 10 件 • 1～100 の範囲で指定します。
ソート順	○	ランキングのソート順を設定します。初期設定は降順です。 • 降順 • 昇順
値	○	ランキング対象とするデータ種別を選択します。 • 平均値 • 最小値 • 最大値 • 最終値 • 監視データ ″監視データ″は監視システムで実際に取得した値です。″平均値″、″最小値″、″最大値″、″最終値″は、″監視データ″を基に生成された統計データです。 ″監視データ″を選択した場合、指定された期間のうち最も新しい監視データのランキングが表示されます。 ″平均値″、″最小値″、″最大値″、″最終値″を選択した場合、指定された期間の統計データのランキングが表示されます。統計データは正時毎に、0 分～59 分 59 秒までの監視データをもとに計算された値のため、開始・終了日時の指定範囲によっては同一カウンタがランキング上に複数回表示されることがあります。同一カウンタがランキング上に複数回表示されるのを避けたい場合、開

項目名	必須	説明
		始・終了日時にランキング対象時刻(同時刻)を指定しランキングを行ってください。 開始・終了日時の指定方法は「17.3　分析／レポート(294 ページ)」をご参照ください。

注

統計データは正時ごとに作成されるため、開始・終了日時の指定範囲と同一カウンタがランキング上に表示される最大件数については、以下の例のとおりです。

- 開始・終了時刻の指定範囲が 12:00:00～12:45:00 の場合、同一カウンタがランキング上に表示される最大件数は 1 件です。
- 開始・終了時刻の指定範囲が 12:00:00～13:00:00 の場合、同一カウンタがランキング上に表示される最大件数は 2 件です。
- 開始・終了時刻の指定範囲が 11:30:00～12:45:00 の場合、同一カウンタがランキング上に表示される最大件数は 1 件です。
- 開始・終了時刻の指定範囲が 12:15:00～12:45:00 の場合、同一カウンタがランキング上に表示される最大件数は 0 件です。

[OK]をクリックすると、追加したランキングがグラフ一覧に表示されます。

一覧からランキングを選択した状態にしてください。グラフ詳細が表示されます。

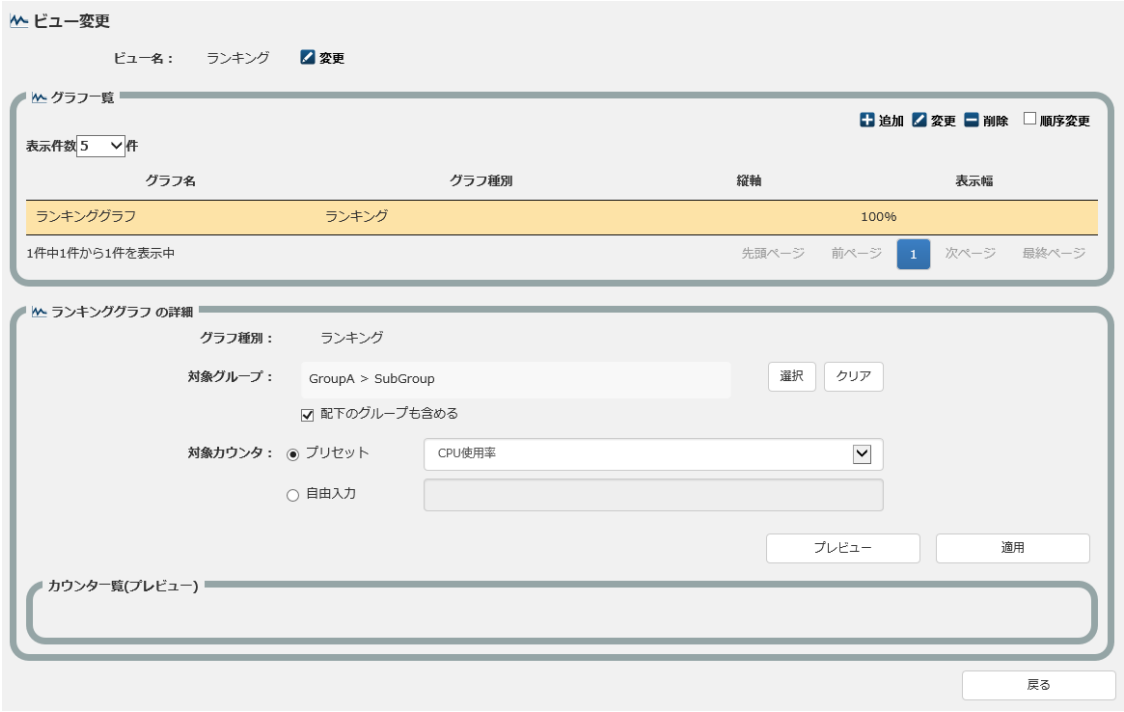


図 17-79　「ビュー変更」画面(ランキンググラフの設定)

表 17-49　項目一覧（「ビュー変更」画面(ランキンググラフの設定)）

項目名	入力値または表示	説明
グラフ種別	ランキング	ランキンググラフであることを示します。
対象グループ	選択したグループ	ランキングを算出したい母集団となるグループが表示されます [選択]をクリックし、表示されるグループ一覧から対象となるグループを選択してください。対象グループおよび対象カウンタのいずれか、もしくは両方を指定します。 配下のグループを含めるをチェックすると、ランキング対象は、選択したグループの下全てのグループが対象となります。
選択ボタン		「グループ選択」ダイアログを表示し、グループを選択します。
クリアボタン		選択済みのグループをクリアします。
対象カウンタ	プリセット	以下のプリセットから選択します。 • メモリ使用率 • ディスク使用率 • CPU 使用率 • CPU 使用率(プロセス単位)
対象カウンタ	自由入力	ランキングの対象としたいカウンタ名を 2048 文字以内の正規表現形式で指定します。
プレビュー		[プレビュー]ボタンをクリックすると対象となるカウンター一覧にリストが表示されます。
カウンター一覧(プレビュー)		ランキング対象のカウンタの一覧を表示します
適用		[適用]ボタンをクリックすると指定内容が保存されます。

[戻る]ボタンをクリックすると、設定したランキングを「分析／レポート」画面に表示します。

対象カウンタのプリセットには以下の正規表現が設定されています。

表 17-50　対象カウンタ（プリセット）

項目名	正規表現
メモリ使用率	^Memory::(% Memory Used Ex|%memusednocached|%MemoryUsedEx)$
ディスク使用率	^LogicalDisk::(?!_Total::).+::(% Used Ex|Use%|%used|Capacity)$
CPU 使用率	^Processor::(_Total::|all::|system::|ALL::)?% CPU Usage Ex$
CPU 使用率(プロセス単位)	^Process::(?!_Total::).+::(% Processor Time|%CPU)$

17.3.4　稼働状況グラフの設定

本項では、稼働状況グラフの設定方法について説明します。稼働状況は監視対象の指定期間内での稼働率を表示します。監査対象を 1 台のみ指定した場合は円グラフ、複数指定した場合は棒グラフで表示します。

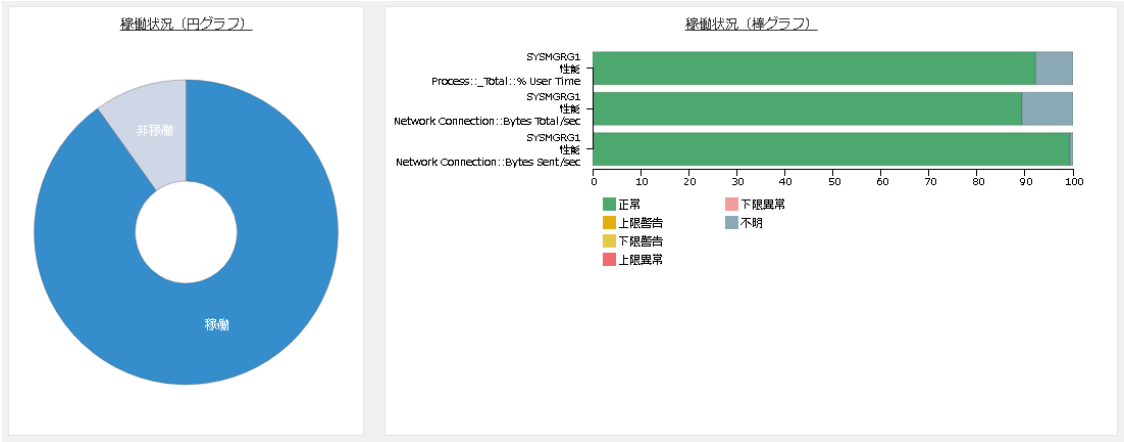


図 17-80　稼働状況グラフ　例

グラフ一覧で[追加]をクリックし「グラフ設定」ダイアログを表示し、グラフ種別として[稼働状況]を選びます。グラフ表示の際、[稼働のみ]または[全状態]を選択して、[OK]をクリックします。



図 17-81　「グラフ設定」ダイアログ(稼働状況)

表 17-51　項目一覧（「グラフ設定」ダイアログ(稼働状況)）

項目名	説明
稼働のみ	稼働中を示す情報だけをグラフに示し、その他の状態は「非稼働」として表示します。
全状態	監視対象のステータスをそれぞれ表示します。

追加したグラフが、グラフ一覧に表示されます。

一覧から稼働状況のグラフを選択した状態にしてください。グラフ詳細が表示されます。

グラフ表示をする情報によって

- エージェント稼働率追加
- その他稼働率追加

のどちらかのボタンをクリックしてください。



図 17-82　「ビュー変更」画面(稼働状況)

17.3.4.1　エージェント稼働率の追加

[エージェント稼働率追加]ボタンをクリックすると「監視対象選択」ダイアログが表示されます。グループツリーからグループを選択し、表示されるノード一覧から監視対象のノードを選択してください。既に選択済みのノードは選択できません。[追加]ボタンをクリックしてください。

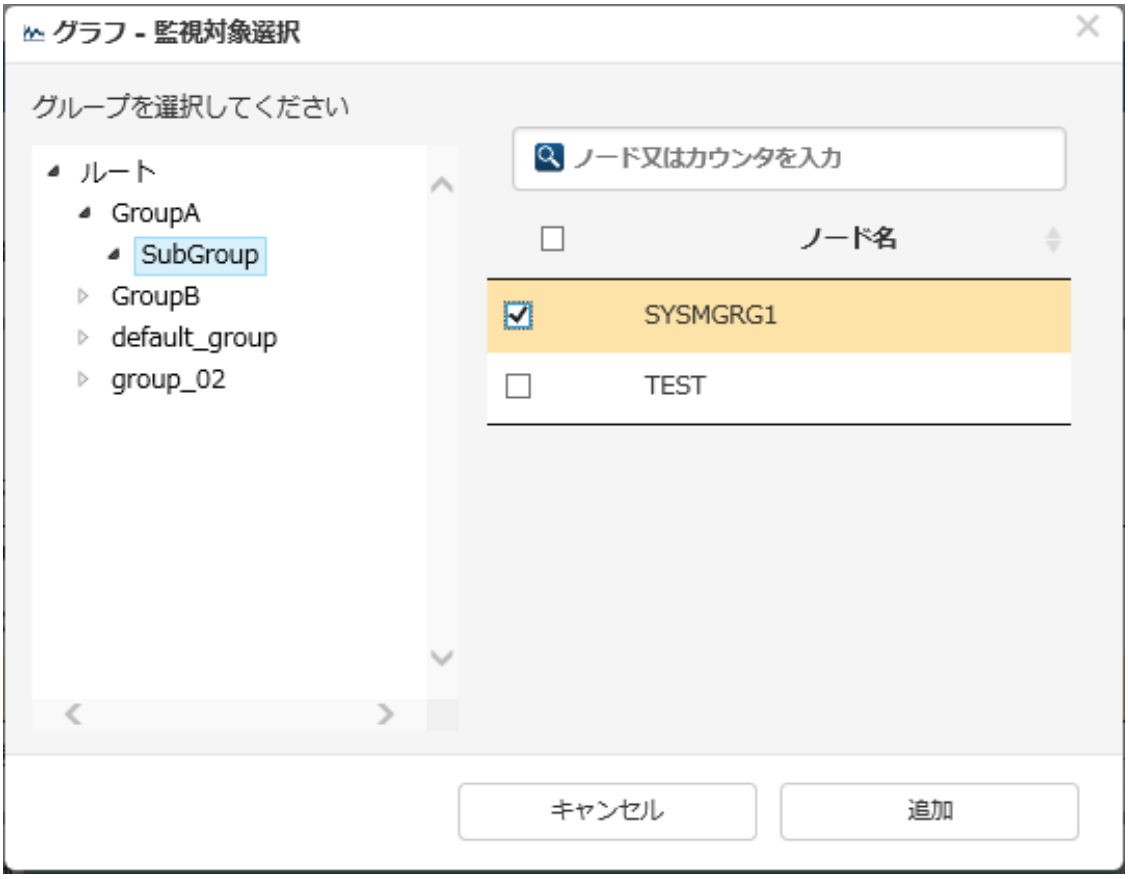


図 17-83　「監視対象選択」ダイアログ

選択したノードが一覧に表示されます。

[戻る]ボタンをクリックすると、「分析／レポート」画面に追加した稼働状況のグラフが表示されます。

17.3.4.2　その他の稼働率の追加

[その他の稼働率追加]ボタンをクリックすると「監視対象選択」ダイアログが表示されます。グループツリーからグループを選択し、表示されるノード一覧から監視対象のノードを選択してください。当該ノードの中からグラフ表示したい監視対象を選択してください。既に選択済みの監視対象は選択できません。

フィルタを選択すると、表示される監視対象が絞りこまれます。

- エージェント
- プロセス
- ファイルサイズ
- TCP/UDP ポート
- Windows サービス
- 性能

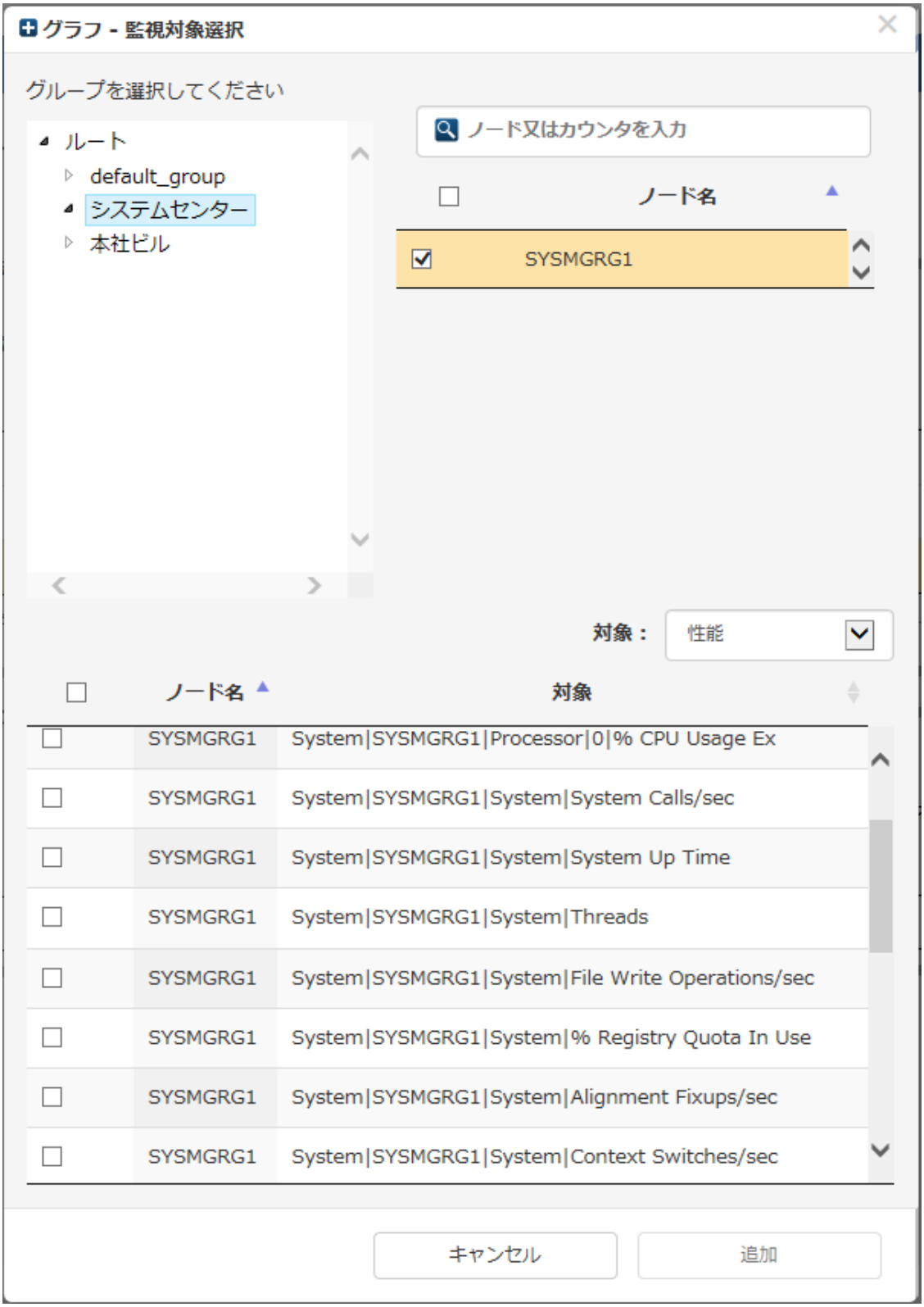


図 17-84　その他の稼働率 ダイアログ

監視対象を選択して、[追加]をクリックします。グラフ詳細にグラフに表示する監視対象の一覧が表示されます。

[戻る]ボタンをクリックすると、「分析／レポート」画面に追加した稼働状況のグラフが表示されます。

稼働状況のグラフに表示されるステータスを以下に示します。

表 17-52　稼働状況表示情報一覧

監視対象	ステータス	
	表示:稼働のみ	表示:全状態
エージェント	• 起動中	• 起動中 • 停止中 • 切断 • 無効 • 機能プロセス停止 • 不明
プロセス	• 起動中	• 起動中 • 上限異常 • 下限異常 • 停止中 • 対象外 • 不明
ファイルサイズ	• 正常	• 正常 • 警告 • 異常 • 不明
TCP/UDP ポート	• オープン	• オープン • クローズ • 不明
Windows サービス	• 起動中	• 起動中 • 停止中 • 不明
性能	• 正常	• 正常 • 上限警告 • 下限警告 • 上限異常 • 下限異常 • 不明

17.3.5　分析／レポートビューの削除

本項では分析／レポートビューの削除方法について説明します。



図 17-85　分析／レポート　「ビュー削除」ダイアログ

「分析／レポート」画面にてタブからビューを選択し、[削除]ボタンをクリックして「ビュー削除」ダイアログを表示します。

[OK]ボタンをクリックしビューを削除します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合はビューを削除せずに「分析／レポート」画面に戻ります。

17.3.6　分析／レポートビューの印刷

本項では分析／レポートビューの印刷方法について説明します。

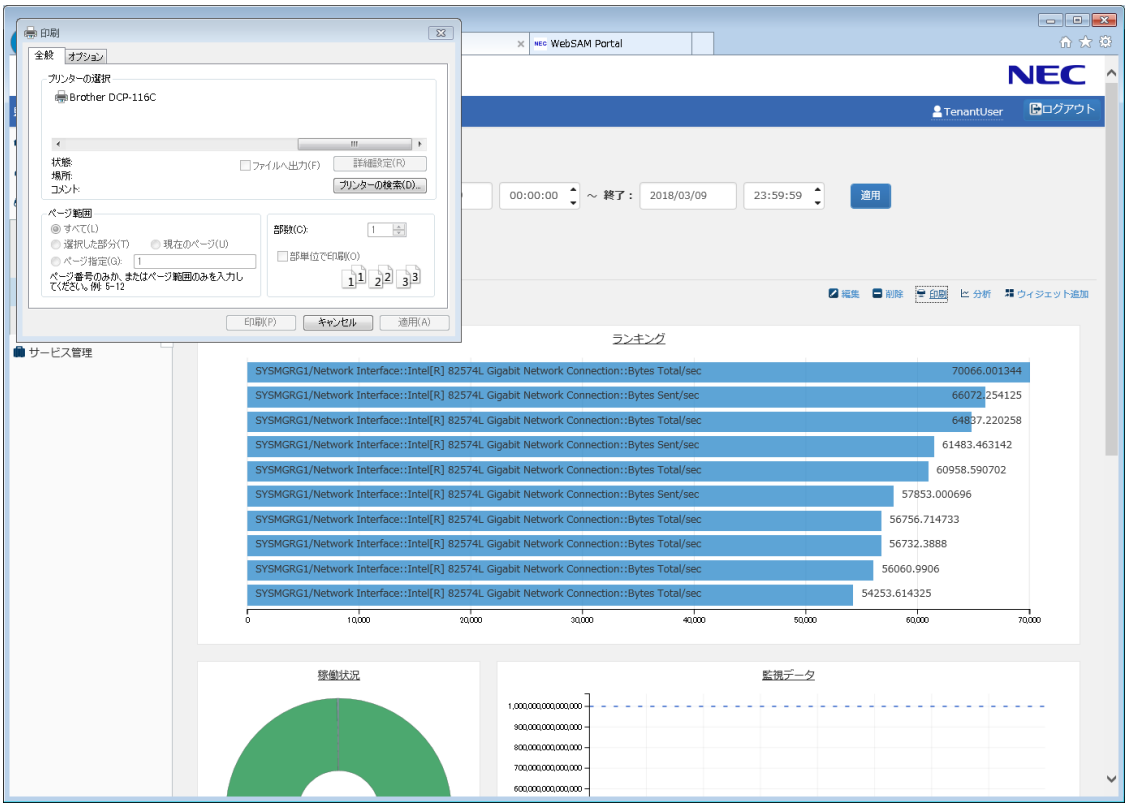


図 17-86　分析／レポート　ビューの印刷

「分析／レポート」画面にてタブからビューを選択し、[印刷]ボタンをクリックします。印刷ダイアログが表示されます

[OK]ボタンをクリックするとビューが印刷されます。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合は印刷をせずに「分析／レポート」画面に戻ります。

17.3.7　分析機能

本項では性能データに基づき将来の予測シミュレーションし、グラフとして表示する分析機能について説明します。



図 17-87　分析設定ダイアログ

未来の予測を行うには、以下のように操作します。

1. 「分析／レポート」画面の表示期間の設定で、表示期間の期限を未来に設定してください。
2. 分析対象のビューを選択した状態にして、[分析]をクリックします。
3. 「分析設定」ダイアログを開きます。
4. 「分析設定」ダイアログでは、データがある分析期間を設定してください
5. [OK]ボタンをクリックすると分析結果が表示されます。
6. 未来の期間については、予測に基づいた近似値直線を示します。
7. 分析を解除するには、「分析設定」ダイアログで、[なし]を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。

表 17-53　項目一覧（「分析設定]」ダイアログ ）

項目名	必須	説明
分析	○	以下のいずれかを選択します。分析を解除する場合は、なしを選択します。 • なし • 近似直線
表示期間		グラフの表示期間を示します。
分析期間		分析対象期間を指定します。分析対象期間から算出された予測シミュレーションの結果をグラフに示します。 「分析」の項目で近似直線を選択した場合は必須です。 分析はグラフ表示データを基に実行されます。表示期間が長い場合、間引かれたデータで分析される可能性があります。詳細は「17.3.2　性能グラフの設定 (298 ページ)」の末尾に記載されている注釈を参照してください。

分析結果の例を示します。

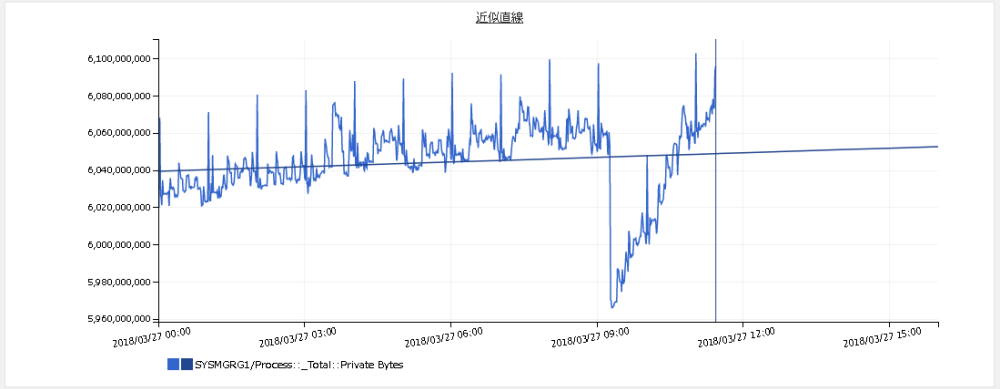


図 17-88　分析結果表示

17.4　設定

本項では設定機能について説明します。

メニューから、[監視]－[設定]をクリックすることにより、「設定」画面が表示されます。

17.4.1　ノード監視

本項では監視対象のノードの一覧を表示するための「ノード監視」画面について説明します。

メニューから、[監視]-[設定]-[ノード監視]タブをクリックすることにより、「ノード監視」画面が表示されます。

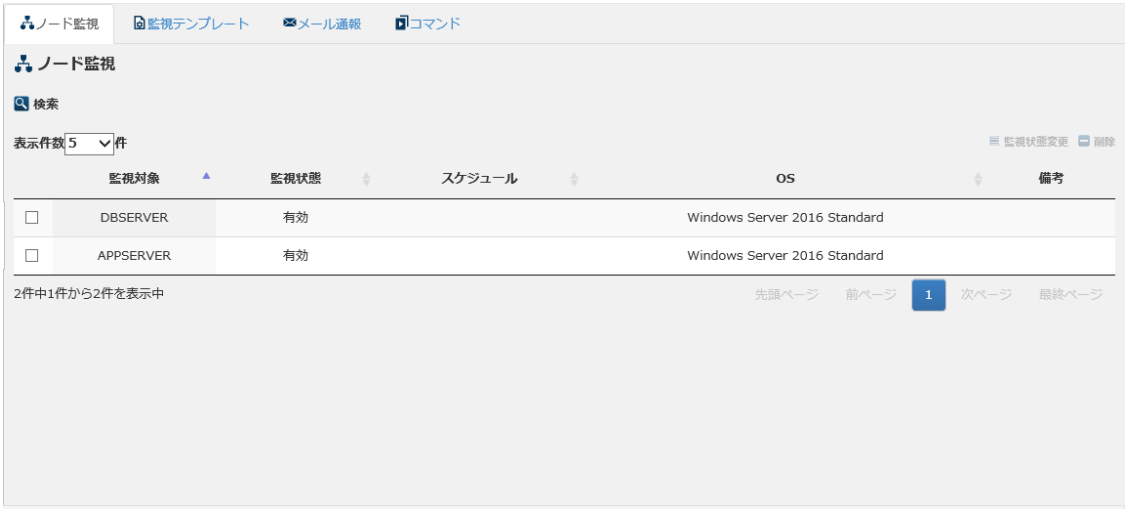


図 17-89　ノード監視画面

表 17-54　項目一覧（監視一覧）

項目名	説明
監視対象	監視対象サーバの監視エージェント名を表示します。
監視状態	監視の状態を表示します。 • 有効

項目名	説明
	• 無効
スケジュール	監視スケジュールの定義名を表示します。
OS	監視対象サーバの OS を表示します。
備考	監視設定に対する備考を表示します。

注

- ノード監視画面には、SystemManager G 8.0 ビュー上で「未登録のホスト」として登録されているノードは表示されません。「未登録のホスト」に登録されているノードは任意のトポロジグループに移動してください。

17.4.1.1　監視状態変更

本項では監視の有効化および無効化方法について説明します。

「ノード監視」画面には、監視一覧表右上部に[監視状態変更]リンクがあります。監視一覧で監視対象のチェックボックスをチェックすると[監視状態変更]リンクが有効になります。(複数の監視対象をチェックした場合は有効になりません。)

[監視状態変更]リンクをクリックすると、以下のようなメニューが表示され、監視の有効化および無効化を行うことができます。

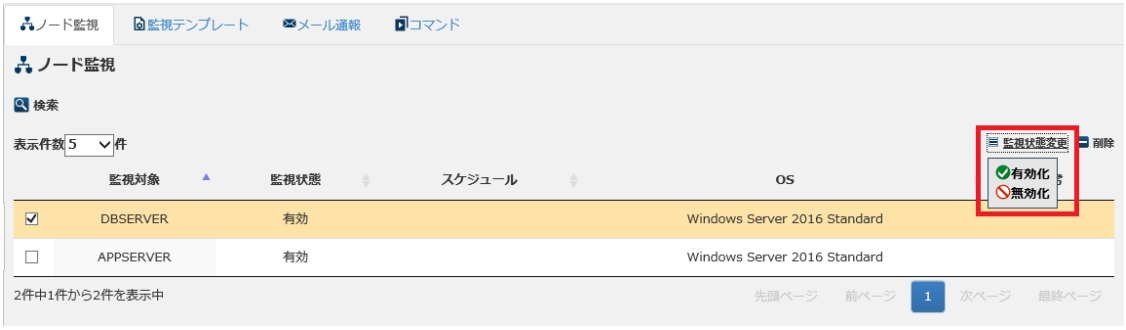


図 17-90　監視状態変更メニュー

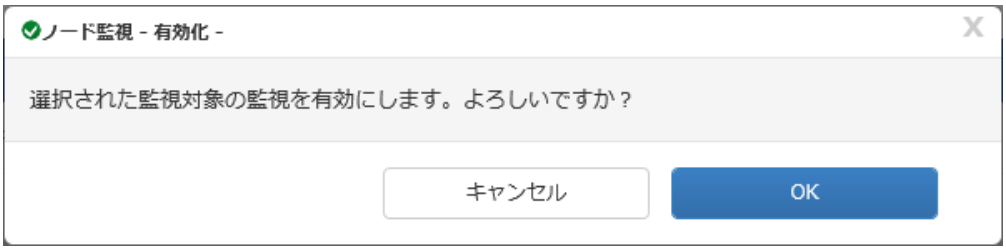


図 17-91　「有効化」ダイアログ

表 17-55　項目一覧（「有効化」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	監視を有効化せずにダイアログを閉じます。
OK	監視を有効化してダイアログを閉じます。

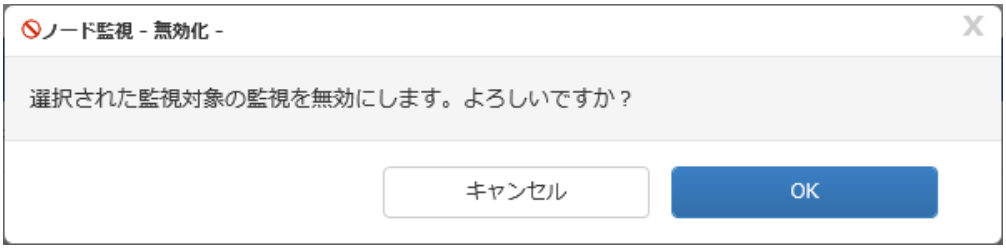


図 17-92　「無効化」ダイアログ

表 17-56　項目一覧（「無効化」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	監視を無効化せずにダイアログを閉じます。
OK	監視を無効化してダイアログを閉じます。

17.4.1.2　監視設定削除

本項では監視設定の削除方法について説明します。

「ノード監視」画面には、監視一覧表右上部に[削除]リンクがあります。ノード一覧で監視対象のチェックボックスをチェックすると[削除]リンクが有効になります。（複数の監視対象をチェックした場合も有効になります。）

[削除]リンクをクリックすると、以下のような「監視設定削除」ダイアログが表示され、選択中の監視対象の監視設定を全て削除することができます。

注

- 削除した監視設定は元に戻せません。誤って削除してしまった場合、全ての監視設定を登録し直す必要がありますのでご注意ください。

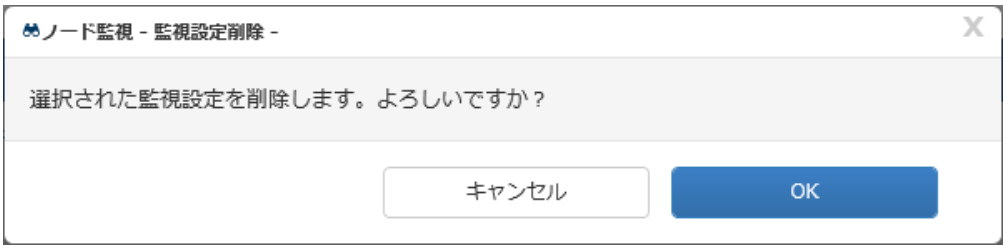


図 17-93　「監視設定削除」ダイアログ

表 17-57　項目一覧（「監視設定削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	監視設定を削除せずにダイアログを閉じます。
OK	監視設定を削除してダイアログを閉じます。

17.4.1.3　詳細タブ

本項では監視設定の詳細情報の参照方法について説明します。

ノード監視一覧で監視対象の行をクリックすると、該当する監視設定の詳細情報が詳細タブに表示されます。

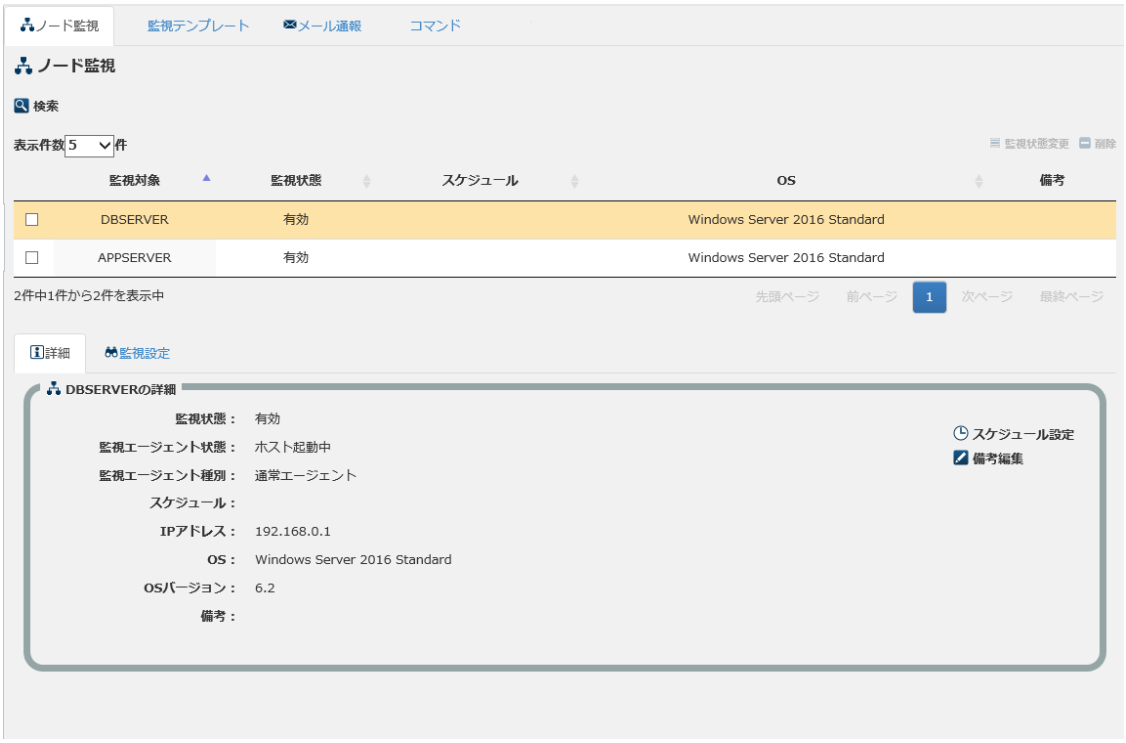


図 17-94　詳細タブ

表 17-58　項目一覧（詳細タブ）

項目名	説明
監視状態	監視の状態を表示します。 • 有効 • 無効
監視エージェントの状態	監視エージェントの状態を表示します。エージェントが存在しない場合は、[削除済み]と表示されます。
監視エージェント種別	監視エージェントの種別を表示します。 • 通常エージェント 通常の監視エージェント • リモートホスト エージェントレスのホスト(リモート監視エージェントにより監視されます)
スケジュール	監視スケジュールの定義名を表示します。
スケジュール状態	スケジュールが設定されている場合その状態を示します。以下のいずれかの状態を表示します。 • 稼働中 • 停止中
IP アドレス	監視対象サーバの IP アドレスを表示します。
OS	監視対象サーバの OS を表示します。
備考	監視設定に対する備考を表示します。
スケジュール設定	クリックすると「スケジュール設定」ダイアログを表示します。

項目名	説明
備考編集	クリックすると「備考編集」ダイアログを表示します。

スケジュール設定

本項では監視のスケジュール設定方法について説明します。

[スケジュール設定]リンクをクリックすると、以下のような「スケジュール設定」ダイアログが表示されます。本ダイアログを利用して、監視対象(監視エージェント)にスケジュールを設定することで、指定した期間に監視を行うことができます。

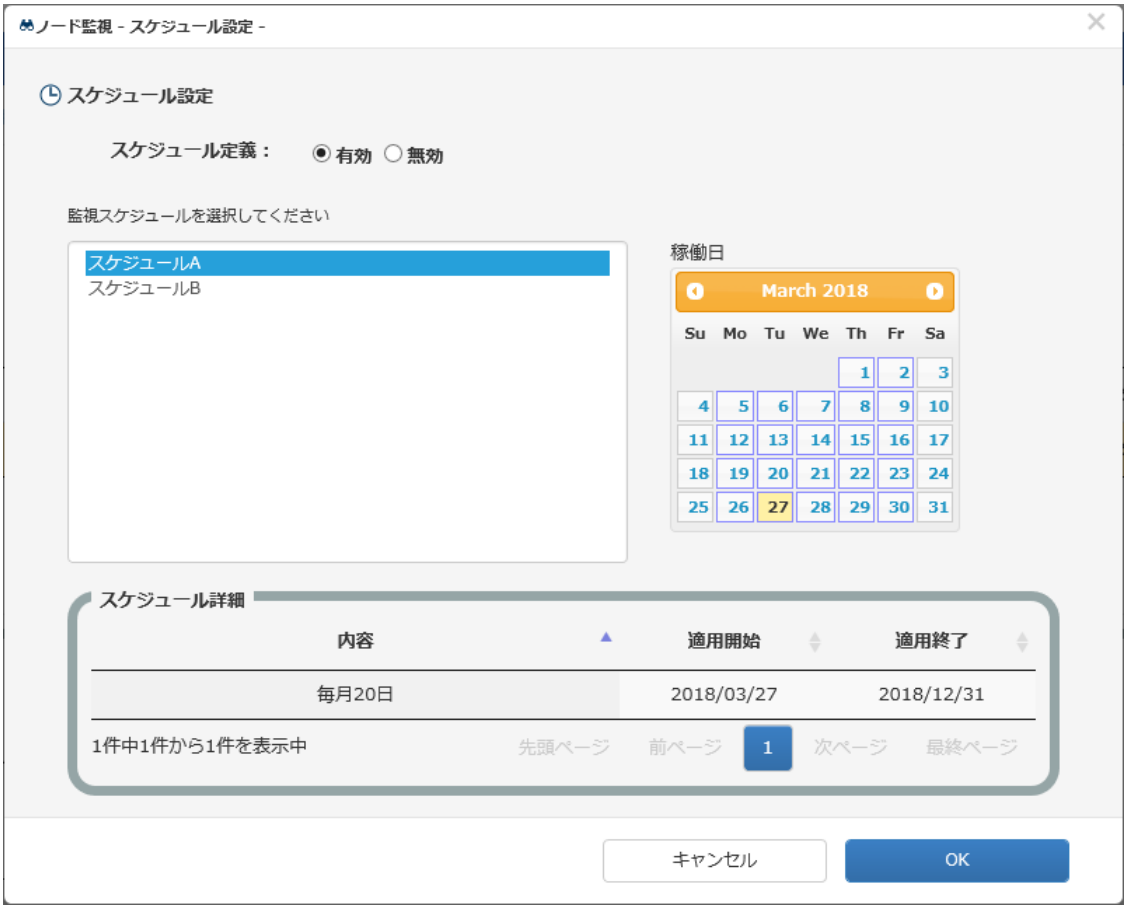


図 17-95　「スケジュール設定」ダイアログ

表 17-59　項目一覧（「スケジュール設定」ダイアログ）

項目名	説明
スケジュール定義	以下のいずれかを選択します。 • 有効 • 無効 有効を選択した場合にはさらにスケジュール定義をリストボックスから選択します。
稼働日	選択されているスケジュールの稼働日をカレンダー上に表示します。稼働日を示す日は枠線が青で表示されます。稼働日以外は枠線がグレーで表示されます。
スケジュール詳細	選択されたスケジュール定義に登録されているスケジュールの一覧を表形式で表示します。スケジュール詳細には以下の項目があります。 • 内容

項目名	説明
	スケジュールの内容を表示します。 • 適用開始 定期スケジュールの場合に、スケジュールの適用開始日を表示します。 • 適用終了 定期スケジュールの場合に、スケジュールの適用終了日を表示します。空の場合は終了日はありません。
キャンセル	スケジュールの設定を破棄してダイアログを閉じます。
OK	スケジュールの設定を反映してダイアログを閉じます。

ヒント

スケジュールは SystemManager G で設定されたものが表示されます。 表示されているスケジュール以外のスケジュールを設定したい場合は、システム管理者にスケジュールの追加を申請してください。

備考編集

本項では監視設定の備考の編集方法について説明します。

詳細タブで[備考編集]をクリックすると以下に示す「備考編集」ダイアログが表示されます。本ダイアログで監視設定の備考を編集できます。



図 17-96　「備考編集」ダイアログ

表 17-60　項目一覧（「備考編集」ダイアログ）

項目名	説明
備考編集	備考の内容を 255 文字以内で入力します。
キャンセル	備考の編集を破棄し、ダイアログを閉じます。
OK	備考の編集を反映してダイアログを閉じます。

17.4.1.4　監視設定タブ

監視設定タブをクリックすると、監視設定の大項目が表示されます。各項目をクリックするとアコーディオンが開き、監視設定の参照および監視項目の設定を行うことができます。

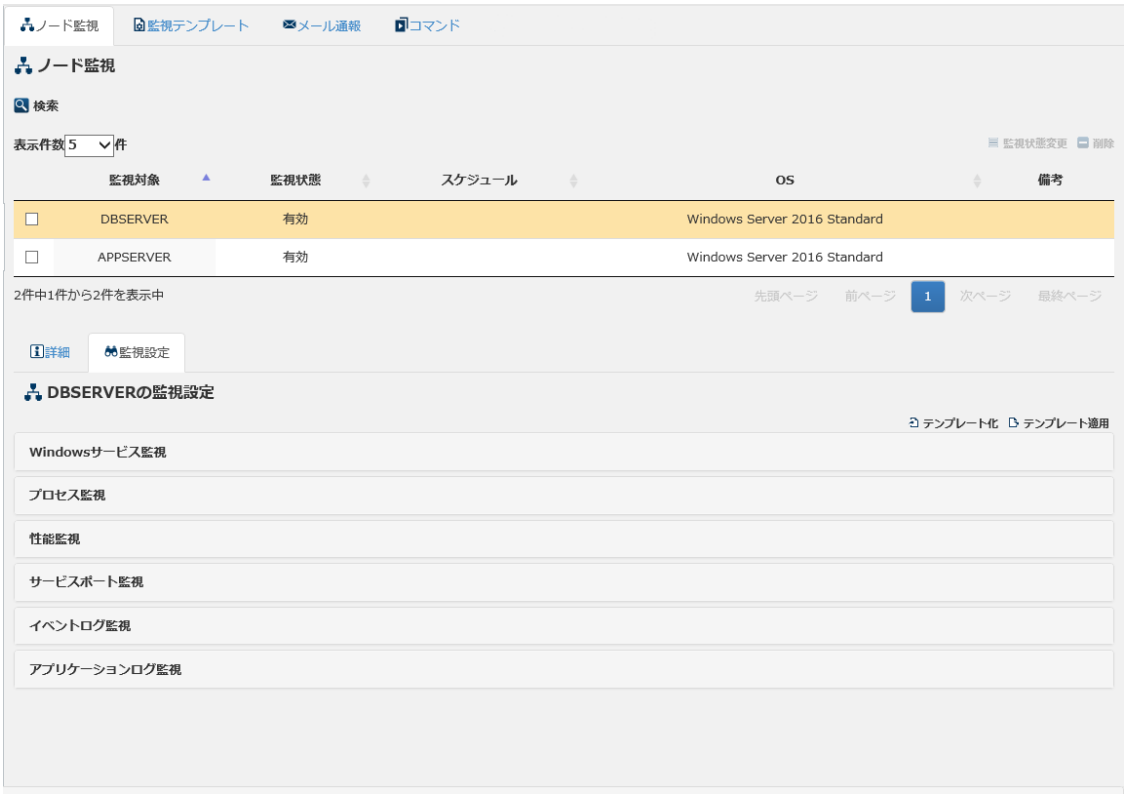


図 17-97　監視設定タブ

表 17-61　項目一覧（監視設定タブ）

項目名	説明
テンプレート化	ノードに設定されている監視設定を監視テンプレートとして登録します。 詳細は「17.4.1.5　監視テンプレート化 (320 ページ)」を参照してください。
テンプレート適用	監視テンプレートの備考が表示されます。詳細は「17.4.1.6　監視テンプレートの適用(ノード) (321 ページ)」を参照してください。
Windows サービス監視パネル	ノードの Windows サービス監視設定を表示します。OS 種別が Windows の場合にのみ表示されます。 詳細は「11.2.2.1　Windows サービス監視 (151 ページ)」を参照してください。
プロセス監視パネル	ノードのプロセス監視設定を表示します。詳細は「11.2.2.2　プロセス監視 (152 ページ)」を参照してください。
性能監視パネル	ノードの性能監視設定を表示します。 詳細は「11.2.2.3　性能監視 (153 ページ)」を参照してください。
サービスポート監視パネル	ノードのサービスポート監視設定を表示します。 詳細は「11.2.2.4　サービスポート監視 (154 ページ)」を参照してください。
イベントログ監視パネル	ノードのイベントログ監視設定を表示します。OS 種別が Windows の場合にのみ表示されます。 詳細は「11.2.2.5　イベントログ監視 (156 ページ)」を参照してください。
シスログ監視パネル	ノードのシスログ監視設定を表示します。OS 種別が Linux/Unix の場合にのみ表示されます。 詳細は「11.2.2.6　シスログ監視 (157 ページ)」を参照してください。
アプリケーションログ監視パネル	ノードのアプリケーションログ監視設定を表示します。 詳細は「11.2.2.7　アプリケーションログ監視 (158 ページ)」を参照してください。

17.4.1.5　監視テンプレート化

本項ではノードの監視設定を監視テンプレート化する方法について説明します。

監視設定タブで[テンプレート化]ボタンをクリックして「テンプレート化」ダイアログを表示します。

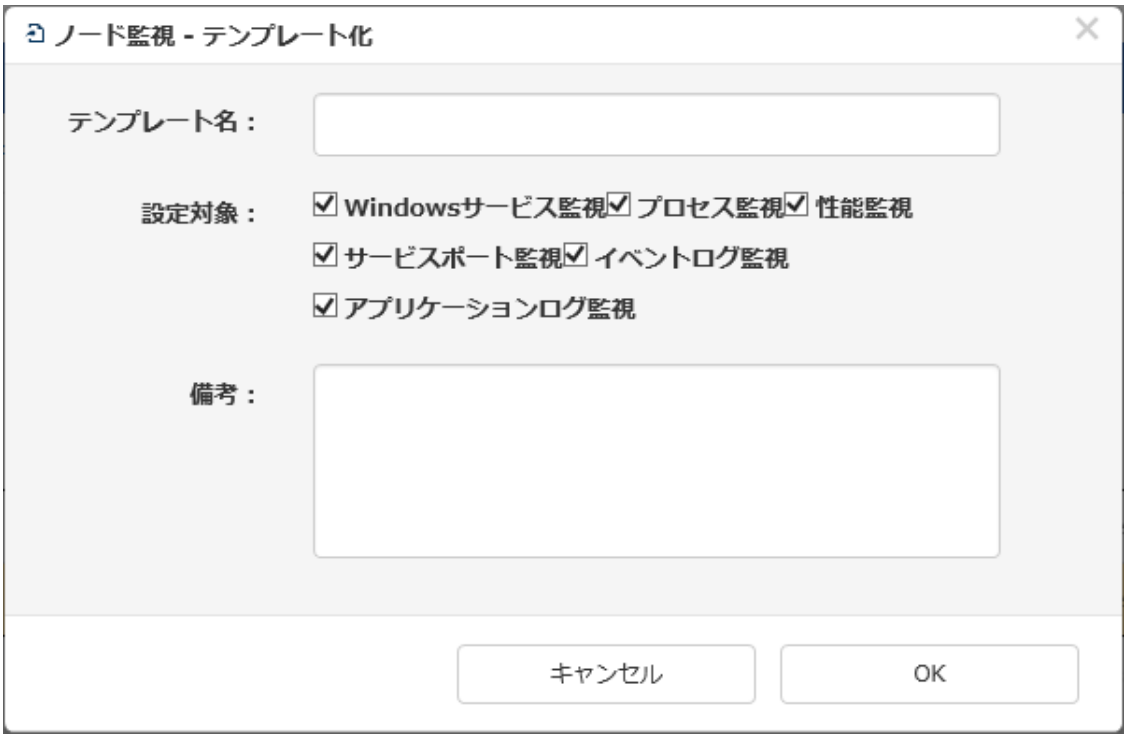


図 17-98　「テンプレート化」ダイアログ

表 17-62　項目一覧（「テンプレート化」ダイアログ ）

項目名	必須	説明
テンプレート名	○	監視テンプレートの名前を 256 文字以内で入力します。
設定対象	○	監視テンプレートに設定する監視設定を選択します。 • Windows サービス監視：Windows サービス監視の監視設定を監視テンプレートに設定します。ノードの OS の種別が Windows の場合に表示されます。 • プロセス監視：プロセス監視の監視設定を監視テンプレートに設定します。 • 性能監視：性能監視の監視設定を監視テンプレートに設定します。 • サービスポート監視：サービスポート監視の監視設定を監視テンプレートに設定します。 • イベントログ監視：イベントログ監視の監視設定を監視テンプレートに設定します。ノードの OS 種別が Windows の場合に表示されます。 • シスログ監視：シスログ監視の監視設定を監視テンプレートに設定します。ノードの OS の種別が Linux もしくは Unix の場合に表示されます。 • アプリケーションログ監視：アプリケーションログ監視の監視設定を監視テンプレートに設定します。
備考		監視テンプレートの備考を 1024 文字以内で入力します。

項目の入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックして監視テンプレート化します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合は入力内容を破棄して監視設定タブに戻ります。

17.4.1.6　監視テンプレートの適用(ノード)

本項では監視設定タブからの監視テンプレートの適用方法について説明します。

1. 監視設定タブで[テンプレート適用]ボタンをクリックします。

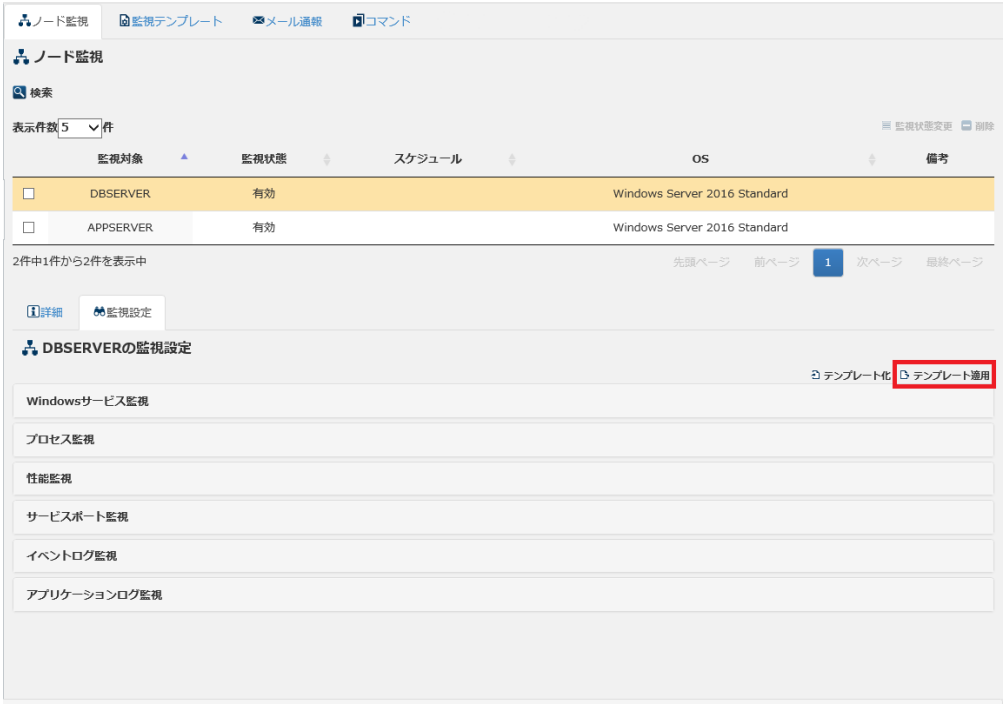


図 17-99　監視設定タブ テンプレート適用

2. 「テンプレート選択」ダイアログが表示されます。適用したいテンプレートを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

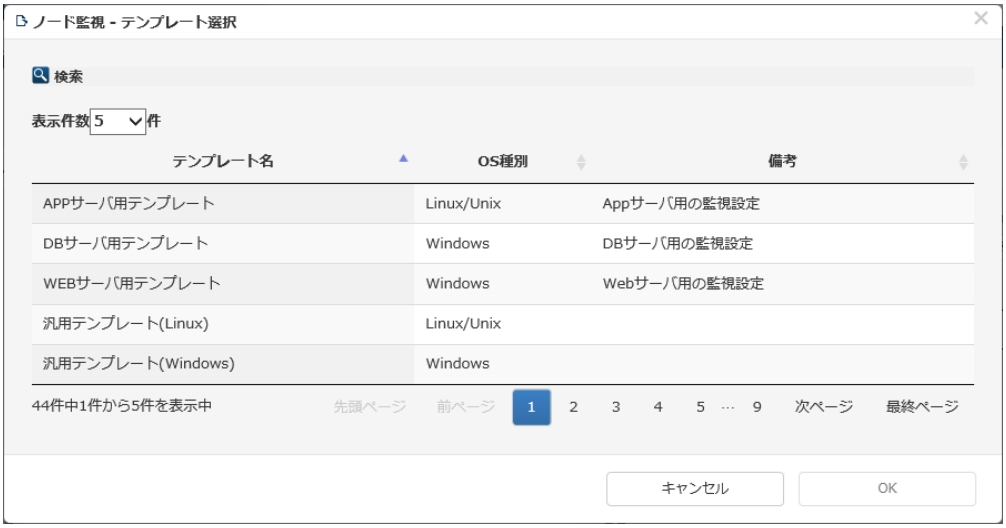


図 17-100　「テンプレート選択」ダイアログ

3. テンプレートの適用状況を示すタスク一覧が表示されます。タスク一覧に表示される項目については「17.1.12　タスク(267 ページ)」を参照してください。



図 17-101　タスク一覧

4. タスク一覧からタスクを選択すると「タスク詳細」ダイアログが表示され、テンプレートの適用の実行ログを参照することができます。タスク詳細に表示される項目については「17.1.12　タスク(267 ページ)」を参照してください。



図 17-102　「タスク詳細」ダイアログ

17.4.2　監視設定

本項では「ノード監視」画面の監視設定タブおよび「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細から 操作可能な監視設定機能について説明します。

17.4.2.1　Windows サービス監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[Windows サービス監視]をクリックすると Windows サービス監視設定パネルが開きます。Windows サービス監視設定パネルでは Windows サービスの監視状況を確認することができます。

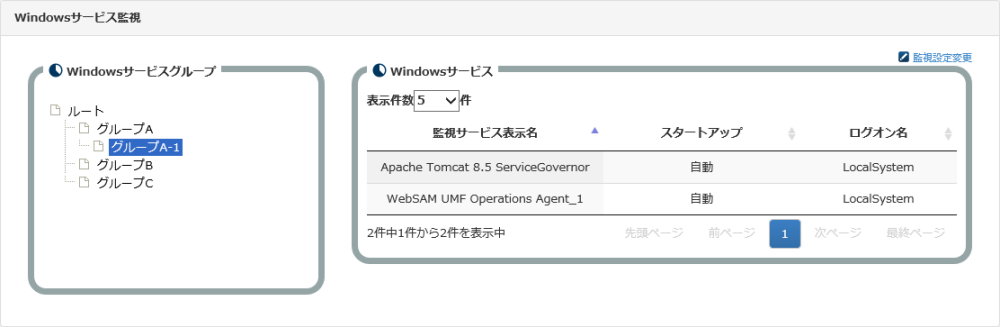


図 17-103　Windows サービス監視

本パネルは左に Windows サービスグループのツリーを表示します。ツリー上で Windows サービスグループを選択すると、右側に選択されたグループに属するサービスの一覧が表示されます。表には以下の項目があります。

表 17-63　項目一覧（Windows サービス）

項目名	説明
監視サービス表示名	監視対象サービスの表示名を表示します。
スタートアップ	監視対象サービスのスタートアップ状態を表示します。 • システム • 自動 • 手動 • 無効 • 不明
ログオン名	監視対象サービスのログオン名を表示します。

Windows サービスの一覧から Windows サービスを選択すると、下部に Windows サービス詳細が表示されます。

表 17-64　項目一覧（Windows サービス詳細）

項目名	説明
監視サービス表示名	監視対象サービスの表示名を表示します。
監視サービス名	監視対象サービスのサービス名を表示します。
スタートアップ	監視対象サービスのスタートアップ状態を表示します。 • システム • 自動 • 手動 • 無効 • 不明
ログオン名	監視対象サービスのログオン名を表示します。
サービス説明	監視対象サービスの説明を表示します。

Windows サービス監視設定変更

Windows サービス監視パネルで[監視設定変更]リンクをクリックすると「Windows サービス監視設定変更」画面が表示されます。

「Windows サービス監視設定変更」画面では Windows サービス監視パネルと同様の Windows サービスグループツリー、Windows サービス一覧、Windows サービス詳細があります。

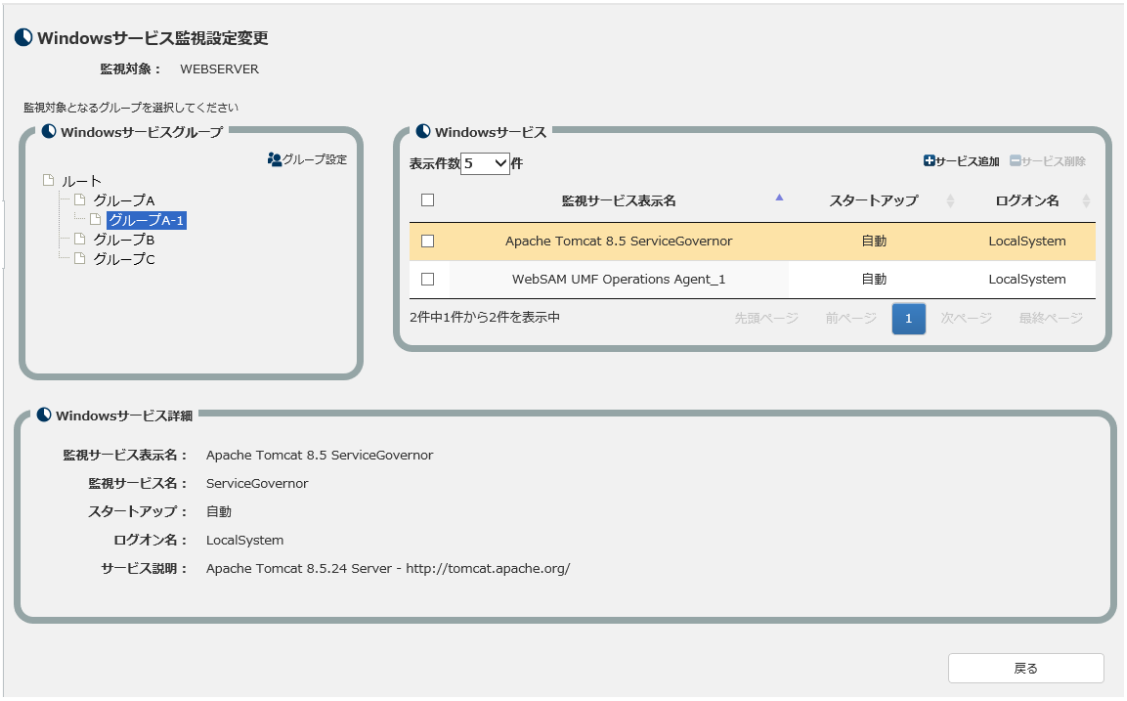


図 17-104　「Windows サービス監視設定変更」画面

グループ追加/変更/削除

「Windows サービス監視設定変更」画面の Windows サービスグループツリーには[グループ設定]リンクがあります。

ここをクリックすると以下のメニューが表示され、グループの追加、変更、削除ができます。

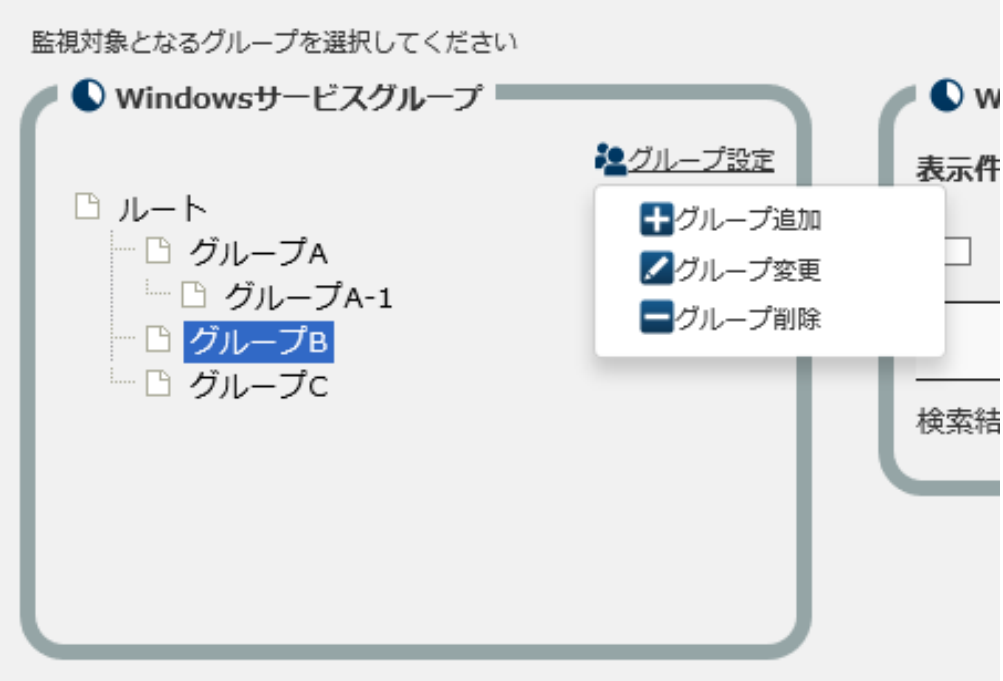


図 17-105　ポップアップメニュー

ポップアップメニューで[グループ追加]を選択すると以下に示す「グループ追加」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用してルート直下または選択されているグループの配下にグループの追加ができます。グループは階層化できます。選択されているグループに既にサービスが登録されている場合には、そのグループに子グループを追加することはできません。



図 17-106　「グループ追加」ダイアログ

表 17-65　項目一覧（「グループ追加」ダイアログ）

項目名	説明
グループ名	追加するグループの名前を 64 文字以内で入力します。
キャンセル	グループを追加せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを追加してダイアログを閉じます。

グループツリーでグループを選択し、ポップアップメニューで[グループ変更]を選択すると以下に示す「グループ変更」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用して、ツリー上で選択されたグループの名前を変更することができます。



図 17-107　「グループ変更」ダイアログ

表 17-66　項目一覧（「グループ変更」ダイアログ）

項目名	説明
グループ名	変更するグループの名前を 64 文字以内で入力します。
キャンセル	グループを変更せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを変更してダイアログを閉じます。

グループツリーでグループを選択し、ポップアップメニューで[グループ削除]を選択すると以下に示す「グループ削除」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用して、ツリー上で選択されたグループを削除することができます。グループを削除すると配下のグループおよびサービスも削除されます。

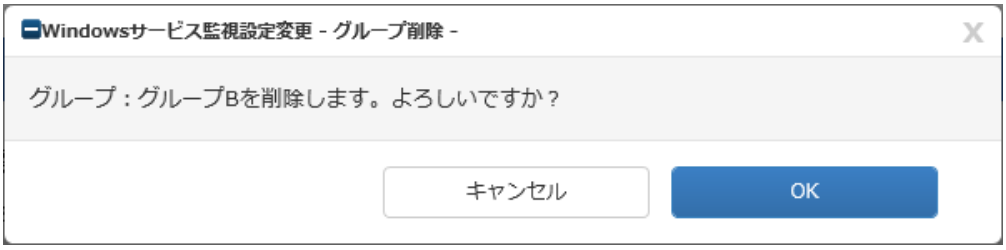


図 17-108　「グループ削除」ダイアログ

表 17-67　項目一覧（「グループ削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	グループを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを削除してダイアログを閉じます。

サービス追加/削除

「Windows サービス監視設定変更」画面の Windows サービスには[サービス追加]リンクがあります。「ノード監視」画面の Windows サービス監視設定ではここをクリックすると以下の「Windows サービス一覧」ダイアログが表示され、チェックした Windows サービスを Windows サービスグループに追加することができます。チェックボックスが表示されていないサービスはすでに追加済みの Windows サービスです。



図 17-109　「Windows サービス一覧」ダイアログ

表 17-68　項目一覧（「Windows サービス一覧」ダイアログ）

項目名	説明
サービス表示名	サービスの表示名を表示します。
サービス名	サービスの名前を表示します。
サービス状態	サービスの状態を表示します。
スタートアップ	スタートアップの種類を表示します。
ログオン名	ログオンアカウントの名前を表示します。
サービス説明	サービスの説明を表示します。
キャンセル	サービスを追加せずにダイアログを閉じます。
OK	サービスを追加してダイアログを閉じます。

「監視テンプレート」画面の Windows サービス監視設定では[サービス追加]リンクをクリックすると以下の「Windows サービス追加」ダイアログが表示され、入力した Windows サービスを Widows サービスグループに追加することができます。



図 17-110　「Windows サービス追加」ダイアログ

表 17-69　項目一覧（「Windows サービス追加」ダイアログ）

項目名	必須	説明
サービス表示名	○	Windows サービスの表示名を 256 文字以内で入力します。
サービス名	○	Windows サービスのサービス名を 256 文字以内で入力します。
サービス説明		Windows サービスの説明を 512 文字以内で入力します。

また、「監視テンプレート」画面の Windows サービス監視設定では[サービス変更]リンクがあります。変更したいサービスを選択した状態で[サービス変更]リンクをクリックすると以下の「Windows サービス変更」ダイアログが表示され、Windows サービスを変更することができます。「Windows サービス変更」ダイアログの入力項目は「Windows サービス追加」ダイアログと同じです。

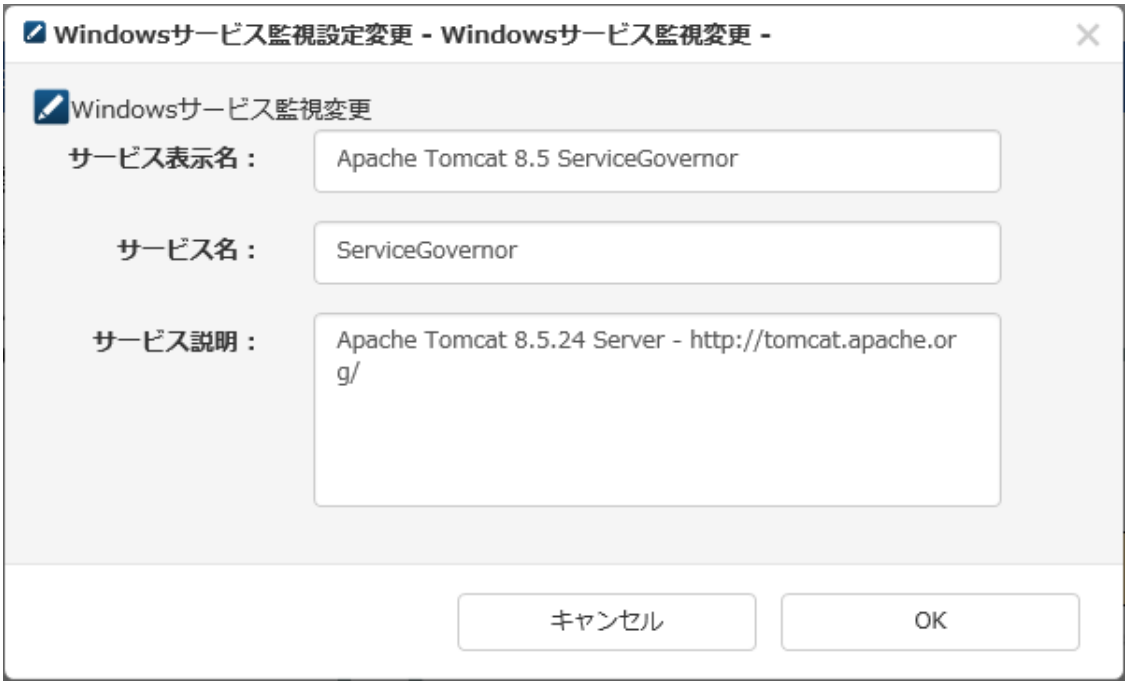


図 17-111　「Windows サービス変更」ダイアログ

「Windows サービス監視設定変更」画面の Windows サービスには[サービス削除]リンクがあります。削除したいサービスのチェックボックスをチェックした状態でここをクリックすると以下の「Windows サービス監視」削除ダイアログが表示され、サービスをグループから削除できます。



図 17-112　「Windows サービス監視削除」ダイアログ

表 17-70　項目一覧（「Windows サービス削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	サービスを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	サービスを削除してダイアログを閉じます。

17.4.2.2　プロセス監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[プロセス監視]をクリックすると プロセス監視設定パネルが開きます。プロセス監視設定パネルではプロセスの監視状況を確認することができます。



図 17-113　プロセス監視

本パネルは左にプロセスグループのツリーを表示します。ツリー上でプロセスグループを選択すると、右側に選択されたグループに属する監視サービスの一覧が表示されます。表には以下の項目があります。

表 17-71　項目一覧（監視プロセス）

項目名	説明
表示名	監視対象プロセスの表示名を表示します。
監視種別	監視方法を表示します。以下のいずれかが表示されます。 • プロセスパス • コマンドライン
下限プロセス数	プロセス数の下限値を表示します。
上限プロセス数	プロセス数の上限値を表示します。
プロセス ID 変化監視	プロセス ID の変化監視の有無を表示します。以下のいずれかが表示されます。 • あり • なし

監視プロセスの一覧から監視プロセスを選択すると、下部に監視プロセス詳細が表示されます。

監視プロセス詳細には以下の項目があります。

表 17-72　項目一覧（監視プロセス詳細）

項目名	説明
表示名	監視対象プロセスの表示名を表示します。
監視種別	監視方法を表示します。以下のいずれかが表示されます。 • プロセスパス • コマンドライン
プロセスパス	監視種別がプロセスパスの場合はプロセスパスを表示します。
コマンドライン	監視種別がコマンドラインの場合はコマンドラインを表示します。
下限プロセス数	プロセス数の下限値を表示します。
上限プロセス数	プロセス数の上限値を表示します。
プロセス ID 変化監視	プロセス ID の変化監視の有無を表示します。以下のいずれかが表示されます。 • あり • なし
起動コマンド	起動コマンドのアプリケーションを表示します。

項目名	説明
起動コマンドディレクトリ	起動コマンドの作業ディレクトリを表示します。
起動コマンドオプション	起動コマンドのオプションを表示します。
停止コマンド	停止コマンドのアプリケーションを表示します。
停止コマンドディレクトリ	停止コマンドの作業ディレクトリを表示します。
停止コマンドオプション	停止コマンドのオプションを表示します。

プロセス監視設定変更

プロセス監視パネルで[監視設定変更]リンクをクリックすると「プロセス監視設定変更」画面が表示されます。

「プロセス監視設定変更」画面ではプロセス監視パネルと同様のプロセスグループツリー、監視プロセス一覧、監視プロセス詳細があります。

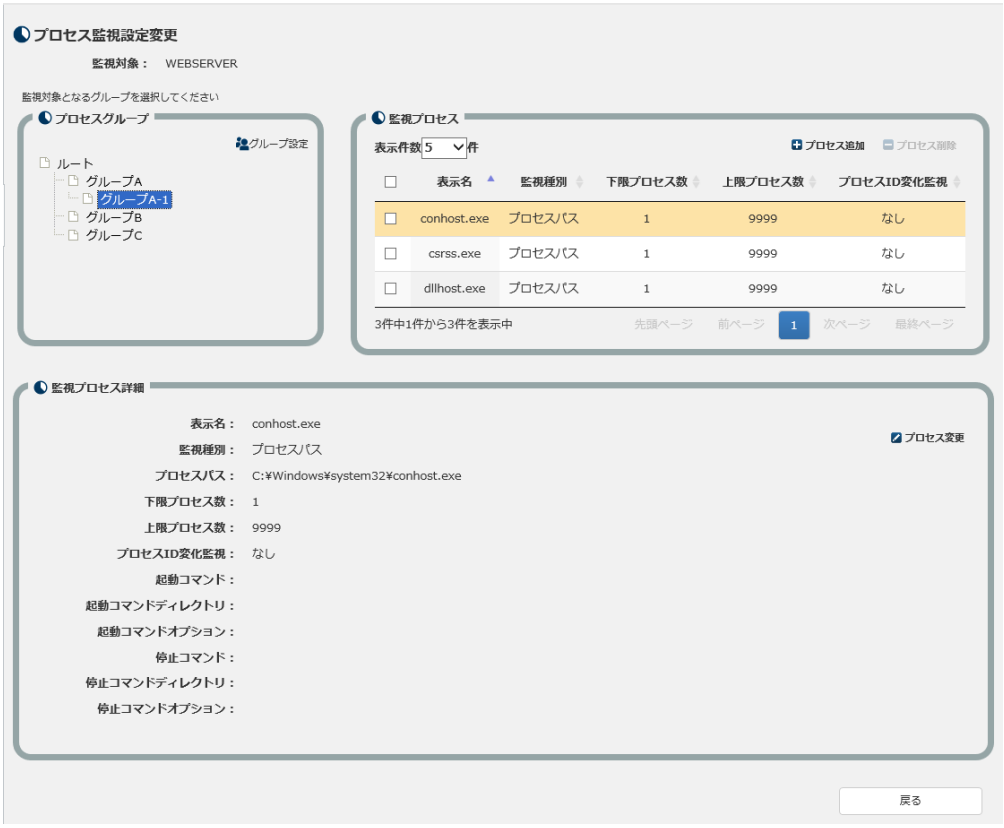


図 17-114　「プロセス監視設定変更」画面

グループ追加/変更/削除

「プロセス監視設定変更」画面のプロセスグループツリーには[グループ設定]リンクがあります。

ここをクリックすると以下のメニューが表示され、グループの追加、変更、削除ができます。

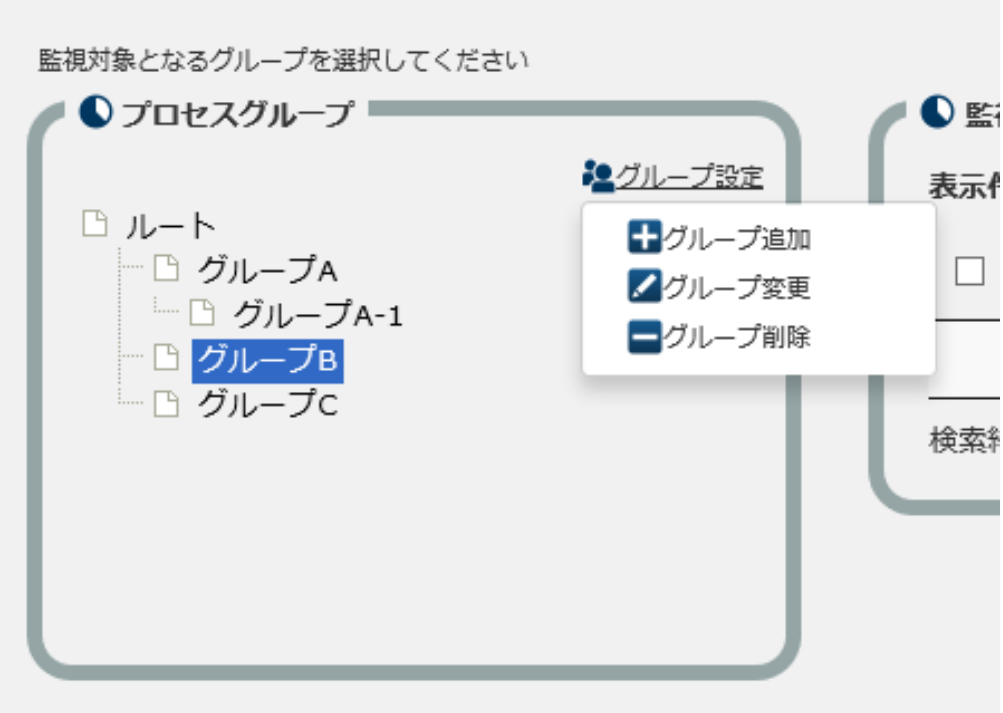


図 17-115　ポップアップメニュー

ポップアップメニューで[グループ追加]を選択すると以下に示す「グループ追加」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用してルート直下または選択されているグループの配下にグループの追加ができます。グループは階層化できます。選択されているグループに既にプロセスが登録されている場合には、そのグループに子グループを追加することはできません。



図 17-116　「グループ追加」ダイアログ

表 17-73　項目一覧（「グループ追加」ダイアログ）

項目名	説明
グループ名	追加するグループの名前を 64 文字以内で入力します。
キャンセル	グループを追加せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを追加してダイアログを閉じます。

グループツリーでグループを選択し、ポップアップメニューで[グループ変更]を選択すると以下に示す「グループ変更」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用して、ツリー上で選択されたグループの名前を変更することができます。



図 17-117　「グループ変更」ダイアログ

表 17-74　項目一覧（「グループ変更」ダイアログ）

項目名	説明
グループ名	変更するグループの名前を 64 文字以内で入力します。
キャンセル	グループを変更せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを変更してダイアログを閉じます。

グループツリーでグループを選択し、ポップアップメニューで[グループ削除]を選択すると以下に示す「グループ削除」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用して、ツリー上で選択されたグループを削除することができます。グループを削除すると配下のグループおよびプロセスも削除されます。

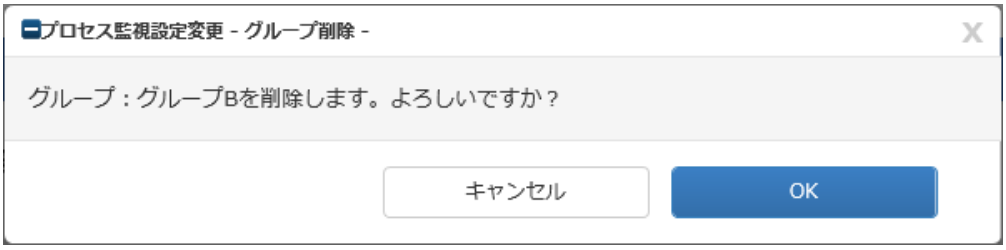


図 17-118　「グループ削除」ダイアログ

表 17-75　項目一覧（「グループ削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	グループを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを削除してダイアログを閉じます。

プロセス追加/削除

「プロセス監視設定変更」画面の監視プロセスには[プロセス追加]リンクがあります。ここをクリックすると以下の「プロセス追加(入力)」画面が表示され、プロセスグループにプロセスを追加する事ができます。

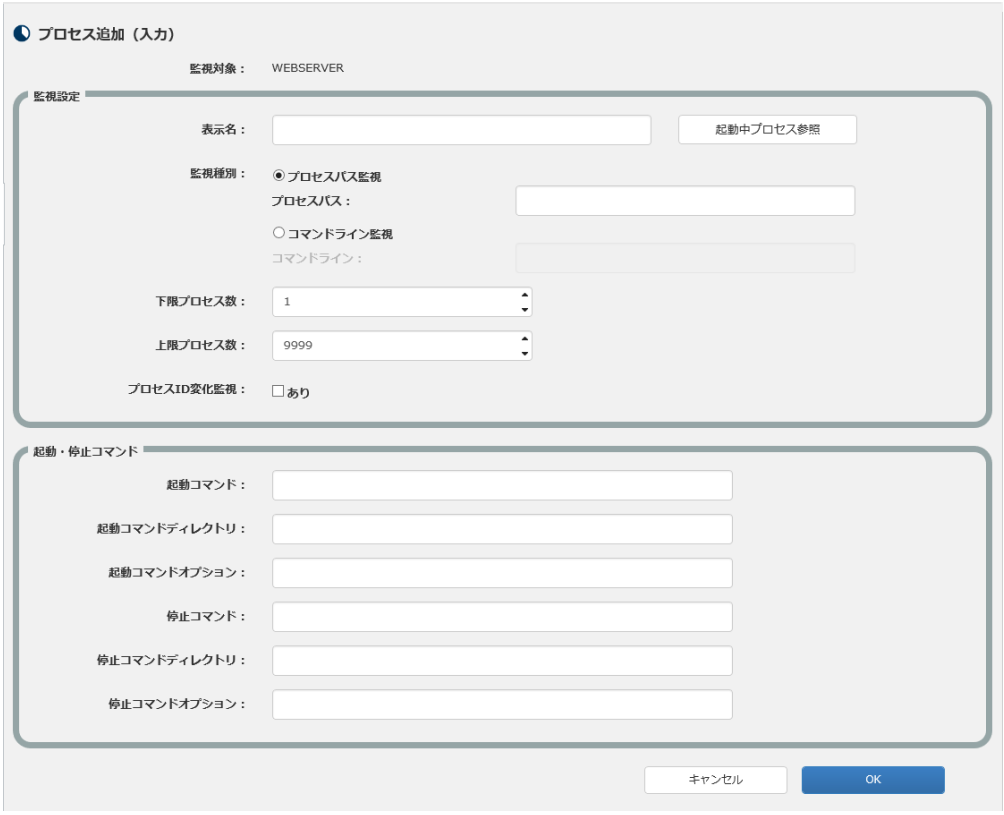


図 17-119　「プロセス追加(入力)」画面

表 17-76　項目一覧（「プロセス追加(入力)」画面）

項目名	説明
表示名	プロセスの表示名を 64 文字以内で入力します。直接入力または起動プロセス一覧でプロセスを選択します。
起動中プロセス参照	「起動プロセス一覧」ダイアログを表示します。「監視テンプレート」画面のプロセス監視設定では当項目は表示されません。
起動種別:プロセスパス監視	プロセスパスの監視を行う場合にはチェックを入れます。
起動種別:プロセスパス	プロセスパス監視にチェックをした場合にはプロセスのパスを 256 文字以内で指定します。直接入力または起動プロセス一覧で選択します。
起動種別:コマンドライン監視	コマンドラインの監視を行う場合にはチェックを入れます。
起動種別:コマンドライン	コマンドライン監視にチェックをした場合にはコマンドラインを 256 文字以内で指定します。直接入力または起動プロセス一覧で選択します。
下限プロセス数	監視プロセス数の下限値を 1-9999 の値で指定します。上限プロセス数以下の値を指定する必要があります。
上限プロセス数	監視プロセス数の上限値を 1-9999 の値で指定します。下限プロセス数以上の値を指定する必要があります。
プロセス ID 変化監視	プロセスの有無だけでなく、プロセス ID の変化も監視する場合にはチェックします。
起動コマンド	プロセスを起動するためのコマンドを 256 文字以内で指定します。
起動コマンドディレクトリ	起動コマンドを実行するディレクトリを 256 文字以内で指定します。
起動コマンドオプション	起動コマンドに渡すオプションを 256 文字以内で指定します。
停止コマンド	プロセスを停止するためのコマンドを 256 文字以内で指定します。

項目名	説明
停止コマンドディレクトリ	停止コマンドを実行するディレクトリを 256 文字以内で指定します。
停止コマンドオプション	停止コマンドに渡すオプションを 256 文字以内で指定します。
キャンセル	プロセスを追加せずに前画面に戻ります。
OK	プロセスを追加して前画面に戻ります。

「プロセス追加(入力)」画面で[起動中プロセス参照]ボタンをクリックすると「起動プロセス一覧」ダイアログを表示します。「起動プロセス一覧」ダイアログから監視対象プロセスを選択することにより、「プロセス追加(入力)」画面の入力項目を一部自動入力する事ができます。

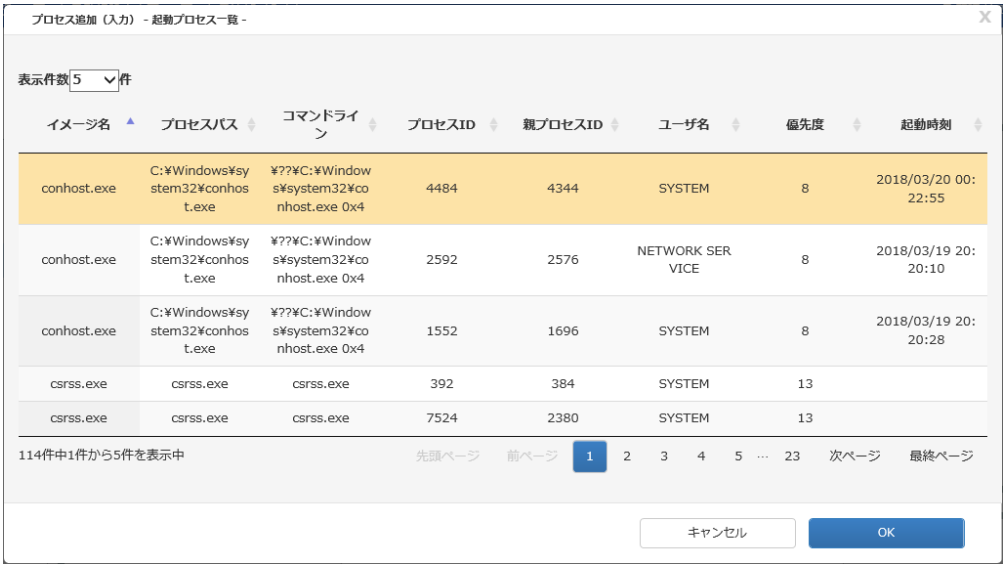


図 17-120　「起動プロセス一覧」ダイアログ

表 17-77　項目一覧（「起動プロセス一覧」ダイアログ）

項目名	説明
表示名	プロセスの表示名を表示します。
プロセスパス	プロセスのパスを表示します。
コマンドライン	プロセスのコマンドラインを表示します。
プロセス ID	プロセス ID を表示します。
親プロセス ID	親プロセス ID を表示します。
ユーザ名	プロセスの実行ユーザの名前を表示します。
優先度	プロセスの優先度を表示します。
起動時刻	プロセスの起動時刻を表示します。
キャンセル	プロセスを選択せずにダイアログを閉じます。
OK	プロセスを選択してダイアログを閉じます。

「プロセス監視設定変更」画面の監視プロセスには[プロセス削除]リンクがあります。 削除したいプロセスのチェックボックスをチェックした状態で[プロセス削除]リンクをクリックすると以下の「プロセス監視削除」ダイアログが表示され、プロセスをグループから削除できます。

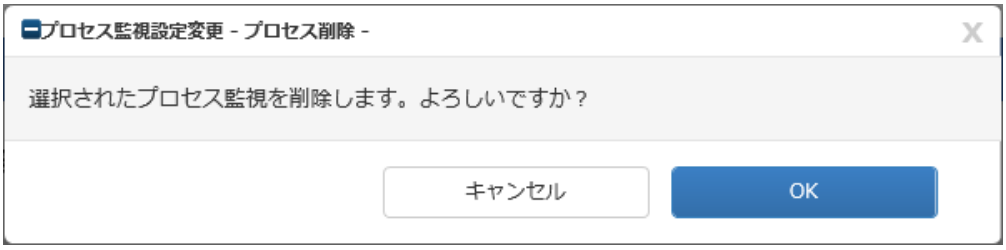


図 17-121　「プロセス監視削除」ダイアログ

表 17-78　項目一覧（「プロセス削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	プロセスを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	プロセスを削除してダイアログを閉じます。

17.4.2.3　性能監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[性能監視]をクリックすると 性能監視設定パネルが開きます。性能監視設定パネルでは性能情報の監視状況を確認することができます。

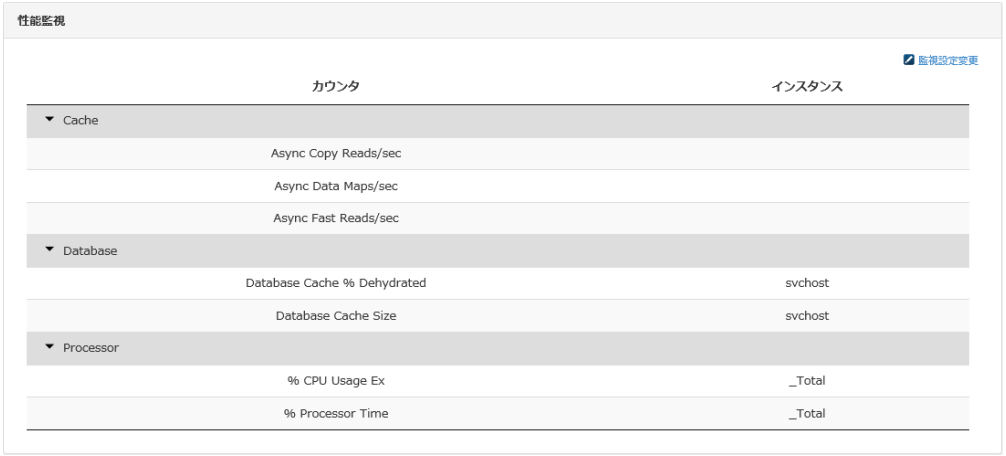


図 17-122　性能監視一覧

表 17-79　項目一覧（性能監視）

項目名	説明
カウンタ	監視対象の項目を表示します。
インスタンス	監視対象のインスタンスを表示します。

カウンタをクリックすると、以下に示す監視カウンタ詳細が表示されます。



図 17-123　監視カウンタ詳細

表 17-80　項目一覧（監視カウンタ詳細）

項目名	説明
カウンタ	監視対象の項目を表示します。
監視タイプ	以下のいずれかを表示します。 • 逐次 • 連続 • 平均
判定回数	連続と平均の場合のみ表示します。連続の場合は閾値を何回超えた場合に通知するかを示し、平均の場合は過去何回分の平均値を使用するかを示します。
上限異常値監視	上限異常閾値を表示します。上限異常値監視をしない場合は空欄です。
上限警告値監視	上限警告閾値を表示します。上限警告値監視をしない場合は空欄です。
下限異常値監視	下限異常閾値を表示します。下限異常値監視をしない場合は空欄です。
下限警告値監視	下限警告閾値を表示します。下限警告値監視をしない場合は空欄です。

性能監視設定変更

性能監視パネルで[監視設定変更]リンクをクリックすると「性能監視設定変更」画面が表示されます。「性能監視設定変更」画面では性能監視パネルと性能カウンター覧、性能カウンタ細詳細があります。

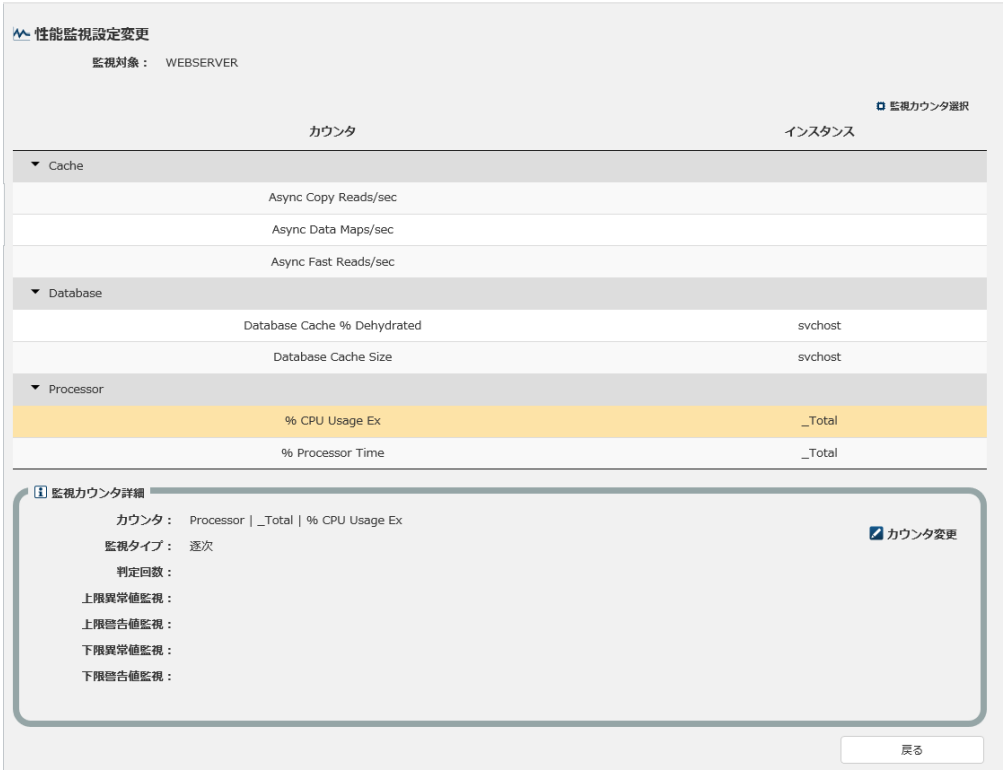


図 17-124　「性能監視設定変更」画面

「ノード監視」画面の性能監視設定では[監視カウンタ選択]をクリックすると以下に示す「監視対象カウンタの選択」画面が表示され、リソースおよびインスタンス、カウンタを選択して監視対象のカウンタをして追加することができます。

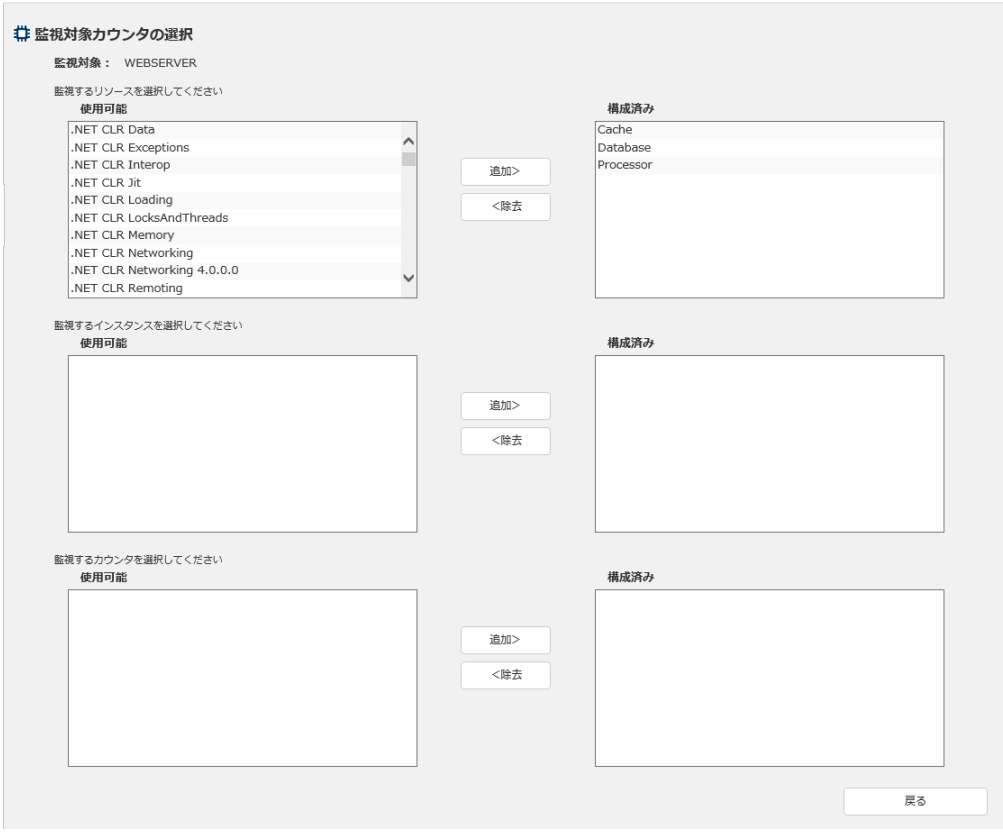


図 17-125　「監視対象カウンタの選択」画面

「監視テンプレート」画面の性能監視設定では性能カウンター覧に以下のリンクが表示されます。

- 監視カウンタ追加
- 監視カウンタ変更
- 監視カウンタ削除

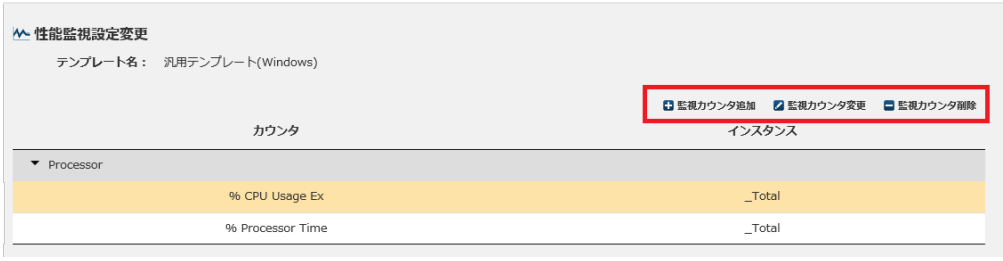


図 17-126　「性能監視設定変更」画面（監視テンプレート）

[監視カウンタ追加]をクリックすると以下に示す「監視カウンタ追加」ダイアログが表示され、入力した監視カウンタを追加することができます。



図 17-127　「監視カウンタ追加」ダイアログ

表 17-81　項目一覧（「監視カウンタ追加」ダイアログ）

項目名	必須	説明
リソース	○	監視カウンタのリソースを 128 文字以内で入力します。
インスタンス		監視カウンタのインスタンスを 128 文字以内で入力します。
カウンタ	○	監視カウンタのカウンタを 128 文字以内で入力します。

変更したい監視カウンタを選択して[監視カウンタ変更]をクリックすると以下に示す「監視カウンタ変更」ダイアログが表示され、監視カウンタを変更することができます。

「監視カウンタ変更」ダイアログの項目は「監視カウンタ追加」ダイアログと同じです。

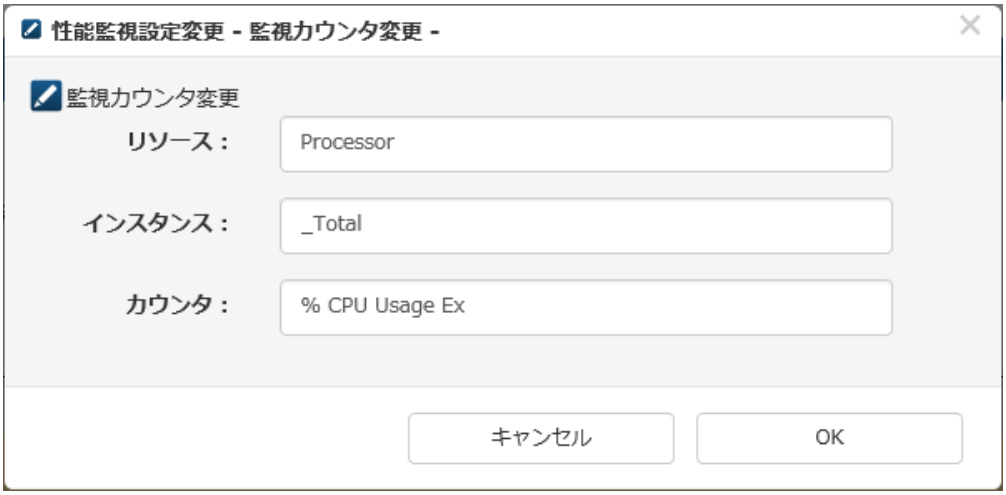


図 17-128　「監視カウンタ変更」ダイアログ

削除したい監視カウンタを選択して[監視カウンタ削除]をクリックすると以下に示す「監視カウンタ削除」ダイアログが表示され、監視カウンタを削除することができます。

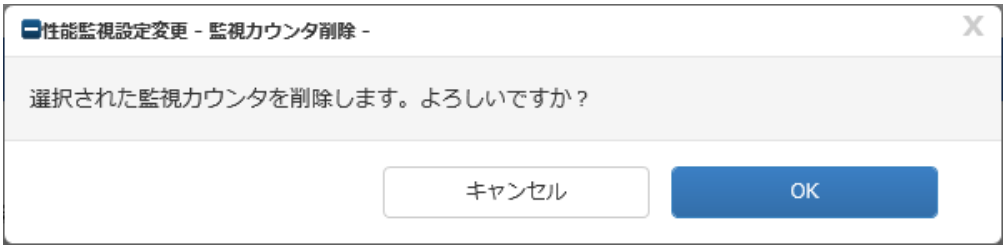


図 17-129　「監視カウンタ削除」ダイアログ

監視カウンタ詳細の「カウンタ変更」リンクをクリックすると以下に示すカウンタ変更(入力)画面が表示され、カウンタの監視設定を変更することができます。



図 17-130　「監視カウンタ変更（入力）」画面

表 17-82　項目一覧（「監視カウンタ変更（入力）」画面）

項目名	説明
カウンタ	カウンタを表示します。
監視タイプ	以下のいずれかを選択します。 • 逐次：取得した性能情報が閾値を超える(一致する)度に、状態変更を通知します • 連続：取得した性能情報が複数回連続して閾値を超えた(一致した)ときに、状態変更を通知します。何回目に通知するかは、[判定回数]で指定します。 • 平均：取得した性能情報の平均値が閾値を超えた(一致した)ときに、状態変更を通知します。平均値は、最新の取得情報からさかのぼって[判定回数]で指定された分までの平均値です
判定回数	連続と平均の場合のみ表示されます。連続の場合は閾値を何回超えた場合に通知するかを示し、平均の場合は過去何回分の平均値を使用するかを示します。 2～16 の範囲で指定可能です。
上限異常値監視	上限異常閾値を監視する場合にはチェックボックスをチェックし、閾値を指定します。 -99999999999999 ～ 999999999999999 の範囲で指定します。
上限警告値監視	上限警告閾値を監視する場合にはチェックボックスをチェックし、閾値を指定します。

項目名	説明
	-99999999999999 ～ 999999999999999 の範囲で指定します。
下限異常値監視	下限異常閾値を監視する場合にはチェックボックスをチェックし、閾値を指定します。 -99999999999999 ～ 999999999999999 の範囲で指定します。
下限警告値監視	下限警告閾値を監視する場合にはチェックボックスをチェックし、閾値を指定します。 -99999999999999 ～ 999999999999999 の範囲で指定します。
キャンセル	入力内容を破棄し、前画面に戻ります。
OK	入力内容を反映し、前画面に戻ります。

17.4.2.4　サービスポート監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[サービスポート監視]をクリックすると サービスポート監視設定パネルが開きます。サービスポート監視設定パネルではサービスポートの監視状況を確認することができます。



図 17-131　サービスポート監視

表 17-83　項目一覧（サービスポート監視）

項目名	説明
表示名	サービスポートの表示名を表示します。
ポート番号	サービスポートのポート番号を表示します。
プロトコル	以下のいずれかを表示します。 • TCP • UDP
正常なポート状態	以下のいずれかを表示します。 • オープン • クローズ

サービスポート監視の一覧表からサービスポートを選択すると、以下に示すサービスポート監視設定詳細が表示されます。



図 17-132　サービスポート詳細

表 17-84　項目一覧（サービスポート詳細）

項目名	説明
表示名	サービスポートの表示名を表示します。
ポート番号	サービスポートのポート番号を表示します。
プロトコル	以下のいずれかを表示します。 • TCP • UDP
正常なポート状態	以下のいずれかを表示します。 • オープン • クローズ
監視間隔	ポートを監視する間隔(秒)を表示します。
接続タイムアウト	接続タイムアウトと判断する時間(秒)を表示します。
リトライ回数	接続タイムアウト時のリトライ回数を表示します。
監視アドレス	監視対象アドレスを表示します。IP アドレス(IPv4/IPv6)形式または localhost が表示されます。

サービスポート監視設定変更

サービスポート監視パネルで[監視設定変更]リンクをクリックすると「サービスポート監視設定変更」画面が表示されます。

「サービスポート監視設定変更」画面ではサービスポート監視パネルと同様のサービスポート一覧、サービスポート監視設定詳細詳細があります。

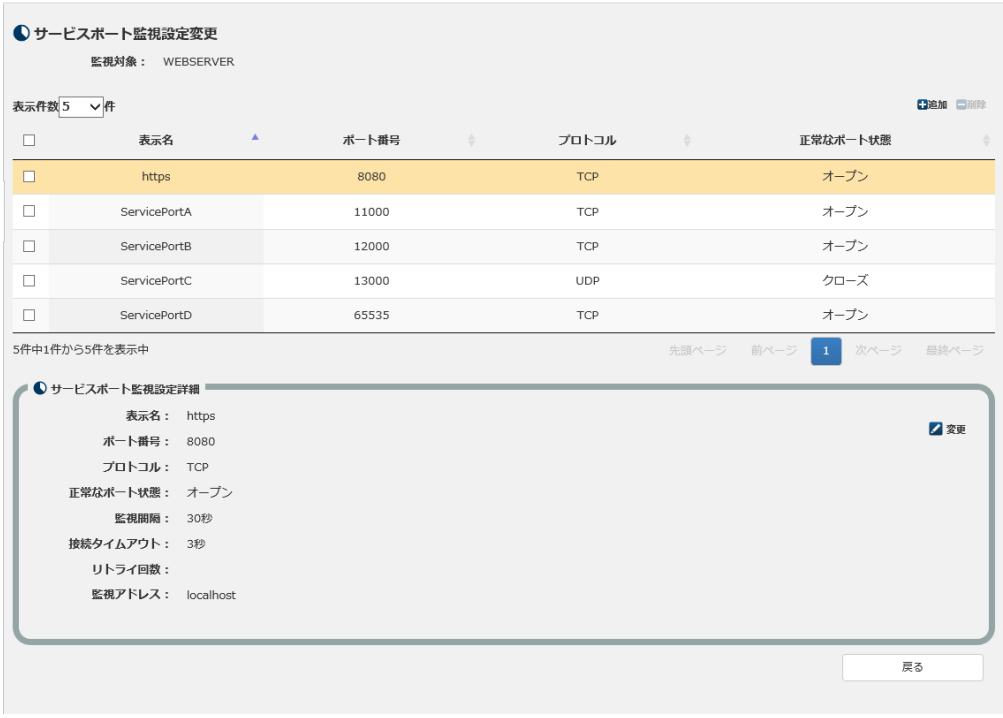


図 17-133　「サービスポート監視設定変更」画面

表 17-85　項目一覧（「サービスポート監視設定変更」画面）

項目名	説明
追加	「サービスポート追加（入力）」画面を表示します。
削除	「サービスポート監視設定削除」ダイアログを表示します。
変更	「サービスポート変更（入力）」画面を表示します。
戻る	前画面に戻ります。

サービスポート追加/変更/削除

「サービスポート監視設定変更」画面の[追加]リンクをクリックすると以下に示す「サービスポート追加(入力)」画面が表示され、サービスポート監視設定を追加することができます。

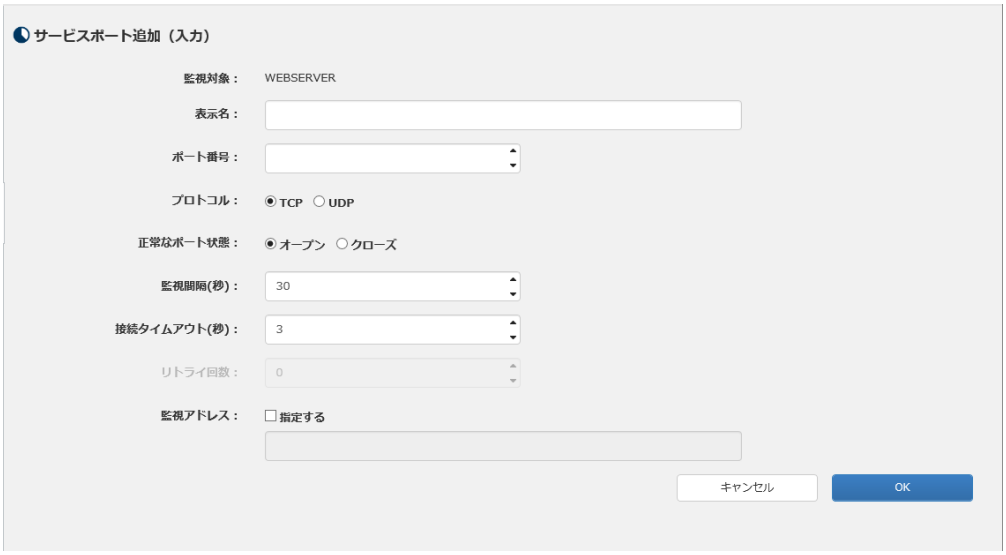


図 17-134　「サービスポート追加（入力）」画面

表 17-86　項目一覧（「サービスポート追加（入力）」画面）

項目名	説明
表示名	サービスポートの表示名を 64 文字以内で入力します。
ポート番号	サービスポートのポート番号を 1-65535 で入力します。
プロトコル	以下のいずれかを表示します。 • TCP • UDP
正常なポート状態	以下のいずれかを表示します。 • オープン • クローズ
監視間隔(秒)	ポートを監視する間隔(秒)を 10-86400 で指定します。
接続タイムアウト(秒)	接続タイムアウトと判断する時間(秒)を 1-60 で指定します。
リトライ回数	接続タイムアウト時のリトライ回数を 0-10 の値で指定します。プロトコルが UDP の場合のみ必須です。
監視アドレス	[指定する]にチェックを入れた場合、監視対象アドレスを IP アドレス(IPv4/IPv6)形式で指定するか localhost を指定します。指定しない場合は localhost として扱われます。
キャンセル	サービスを追加せずに前画面に戻ります。
OK	サービスポートを追加して前画面に戻ります。

「サービスポート監視設定変更」画面の[変更]リンクをクリックすると以下に示す「サービスポート変更(入力)」画面が表示され、サービスポート監視設定を変更することができます。

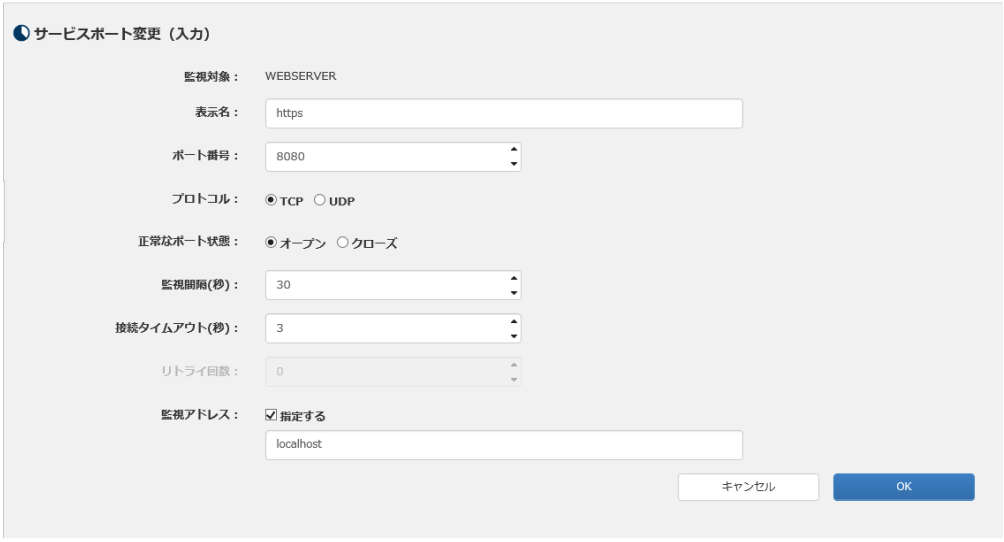


図 17-135　「サービスポート変更（入力）」画面

入力項目については「サービスポート追加（入力）」画面と同じです。

「サービスポート監視設定変更」画面の[削除]リンクをクリックすると以下に示す「サービスポート監視設定削除」ダイアログが表示され、選択中のサービスポート監視設定を削除することができます。

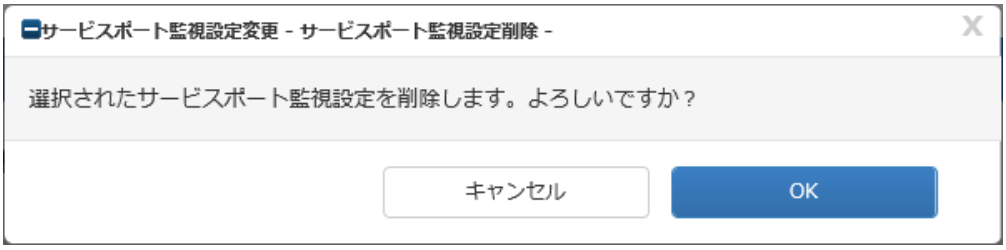


図 17-136　「サービスポート監視設定削除」ダイアログ

表 17-87　項目一覧（「サービスポート監視設定削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	サービスポートを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	サービスポートを削除してダイアログを閉じます。

17.4.2.5　イベントログ監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[イベントログ監視]をクリックするとイベントログ監視設定パネルが開きます。イベントログ監視設定パネルではイベントログの監視状況を確認することができます。

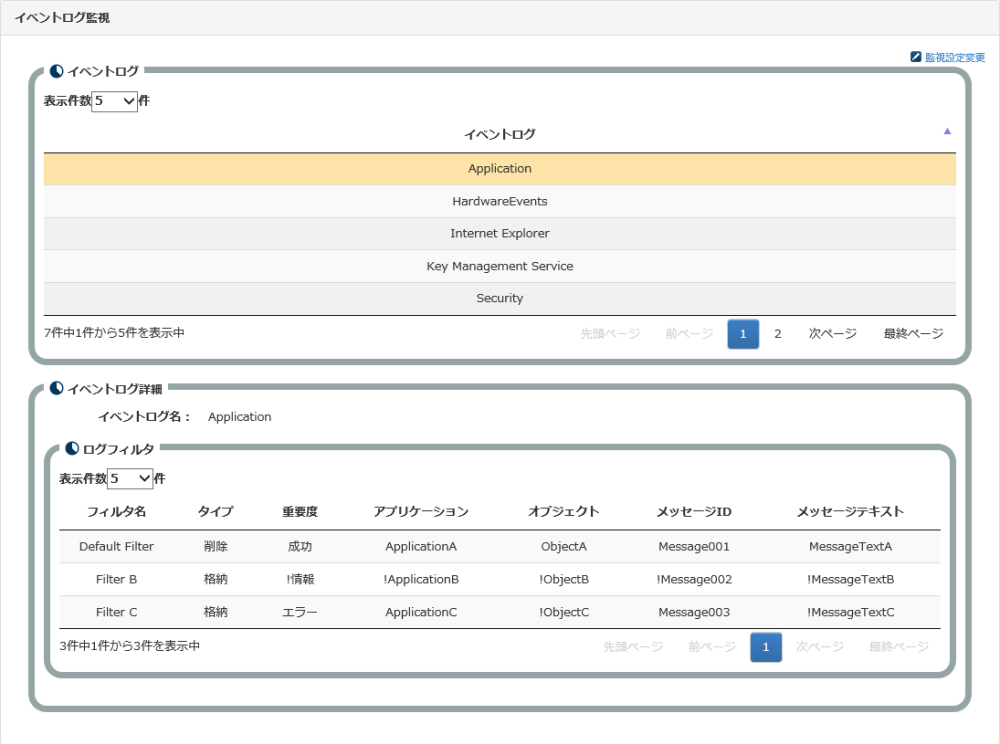


図 17-137　イベントログ監視

イベントログの一覧からイベントログを選択すると、下部にイベントログ詳細が表示されます。イベントログ詳細には以下の項目があります。

表 17-88　項目一覧（イベントログ詳細）

項目名	説明
イベントログ名	イベントログの名前を表示します。
ログフィルタ	ログフィルタの一覧を表示します。

表 17-89　項目一覧（ログフィルタ）

項目名	説明
フィルタ名	ログフィルタ名を表示します。
タイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納 • 削除 [格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
重要度	イベントログの種類のフィルタ条件を表示します。
アプリケーション	イベントログのソースのフィルタ条件を表示します。
オブジェクト	イベントログのタスクのカテゴリまたは分類のフィルタ条件を表示します。
メッセージ ID	イベントログのイベント ID のフィルタ条件を表示します。
メッセージテキスト	メッセージ本文に対するフィルタ条件を表示します。

イベントログ監視設定変更

イベントログ監視パネルで[監視設定変更]リンクをクリックすると「イベントログ監視設定変更」画面が表示されます。「イベントログ監視設定変更」画面ではイベントログ監視パネルと同様のイベントログ一覧、イベントログ詳細があります。

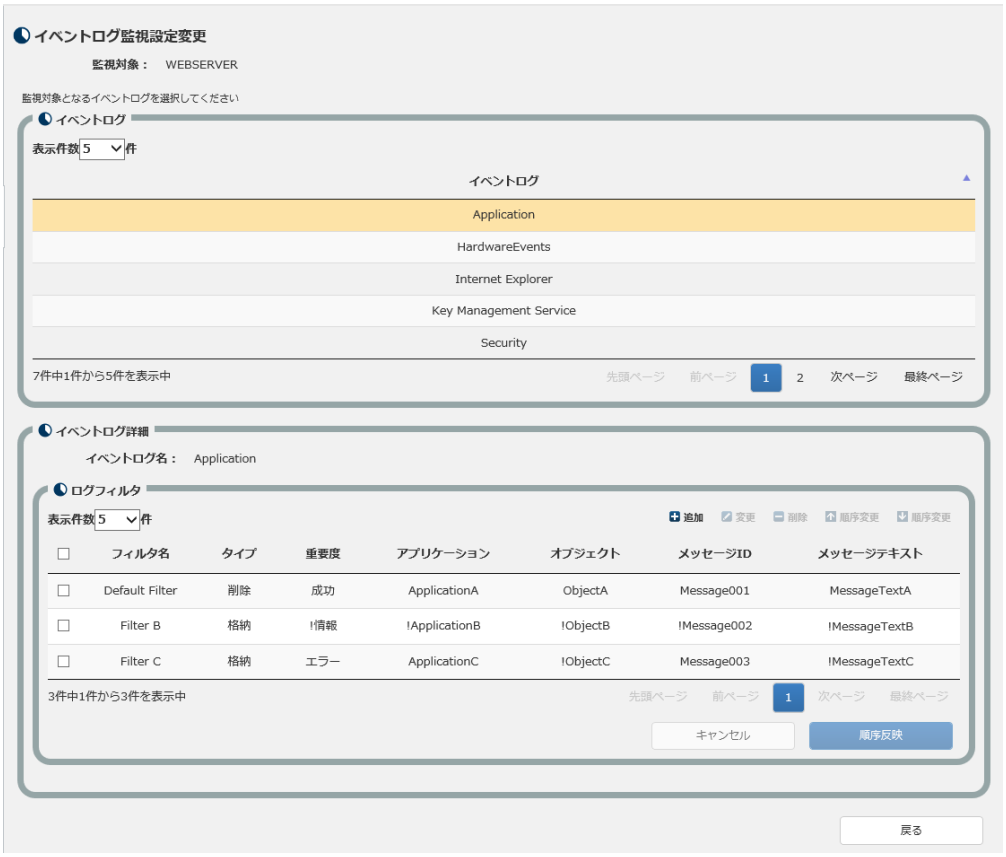


図 17-138　「イベントログ監視設定変更」画面

「監視テンプレート」画面のイベントログ監視設定では以下のリンクが表示されます。

- イベントログ追加
- イベントログ変更
- イベントログ削除

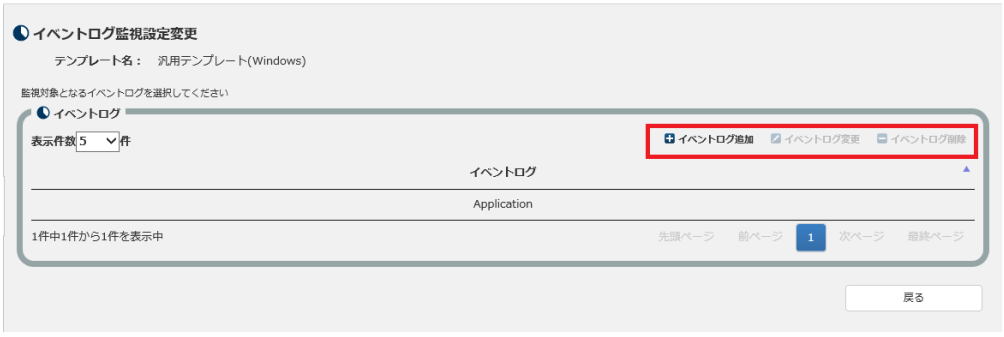


図 17-139　「イベントログ監視設定変更」画面(監視テンプレート)

[イベントログ追加]をクリックすると以下に示す「イベントログ追加」ダイアログが表示され、入力したイベントログを追加することができます。

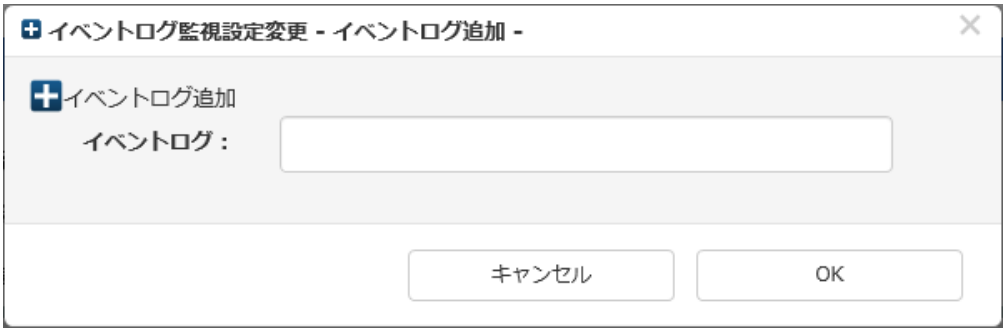


図 17-140　「イベントログ追加」ダイアログ

表 17-90　項目一覧（「イベントログ追加」ダイアログ）

項目名	必須	説明
イベントログ	○	イベントログを 64 文字以内で入力します。

変更したいイベントログを選択して[イベントログ変更]をクリックすると以下に示す「イベントログ変更」ダイアログが表示され、イベントログを変更することができます。

「イベントログ変更」ダイアログの項目は「イベントログ追加」ダイアログと同じです。



図 17-141　「イベントログ変更」ダイアログ

削除したいイベントログを選択して[イベントログ削除]をクリックすると以下に示す「イベントログ削除」ダイアログが表示され、イベントログを削除することができます。

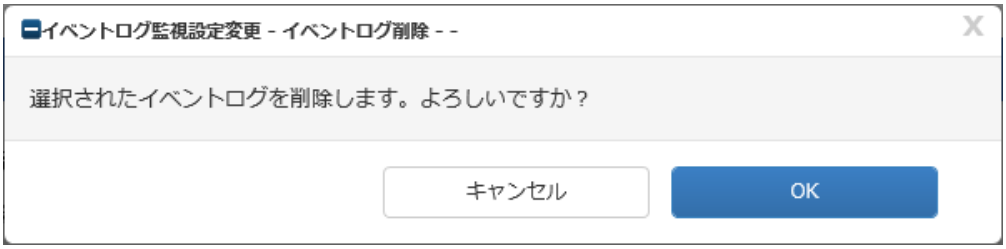


図 17-142　「イベントログ削除」ダイアログ

ログフィルタ追加/変更/削除

「イベントログ監視設定変更」画面のログフィルタには[追加]リンクがあります。[追加]リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ追加（入力）」画面が表示されます。この画面を使用してフィルタ定義を追加することができます。



図 17-143　「ログフィルタ追加（入力）」画面

表 17-91　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面）

項目名	説明
ログフィルタ名	ログフィルタ名を 256 文字以内で入力します。
フィルタタイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納

項目名	説明
	• 削除 [格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
ノード	ノードに対するフィルタ条件を 256 文字以内の正規表現形式で指定します。否定指定した場合、正規表現指定に一致しなかったメッセージが選択対象となります。
アプリケーション	イベントログのソースに当たる項目で、フィルタ条件を 128 文字以内の正規表現形式で指定します。否定指定した場合、正規表現指定に一致しなかったメッセージが選択対象となります。
オブジェクト	イベントログのタスクのカテゴリまたは分類に当たる項目で、フィルタ条件を 128 文字以内の正規表現形式で指定。否定指定した場合、正規表現指定に一致しなかったメッセージが選択対象となります。
メッセージ ID	イベントログのイベント ID に当たる項目で、フィルタ条件を 128 文字以内の正規表現形式で指定します。否定指定した場合、正規表現指定に一致しなかったメッセージが選択対象となります。
メッセージテキスト	メッセージ本文を 1024 文字以内の正規表現で指定します。否定指定した場合、正規表現指定に一致しなかったメッセージが選択対象となります。
位置指定	位置指定情報を指定します。
キー指定	キー情報を指定します。
重要度	イベントログの種類に当たる項目で、検索条件を選択します。否定指定した場合、選択条件に一致しなかったメッセージが対象となります。
表示定義	メッセージの表示に関する定義を指定します。
オプション定義	フィルタのオプション定義を指定します。
キャンセル	設定を破棄して前画面に戻ります。
OK	設定を反映して前画面に戻ります。

位置指定はメッセージテキスト中の位置指定による検索条件を 8 個まで指定します。否定指定した場合、条件に一致しなかったメッセージが選択対象となります。



図 17-144　「ログフィルタ追加（入力）」画面 位置指定

表 17-92　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面 位置指定）

項目名	説明
否定	チェックした場合には条件にマッチしないものが選択対象になります。
比較位置	メッセージテキスト中の位置を指定します。
比較条件	=,<>,>=,>,<=,<から選択します。
比較値	比較値を 64 文字以内で入力します。正規表現は指定できません。

キー指定はログの内容中のキー指定による検索条件を 8 個まで指定します。否定指定した場合、条件に一致しなかったメッセージが選択対象となります。



図 17-145　「ログフィルタ追加（入力）」画面 キー指定

表 17-93　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面 キー指定）

項目名	説明
否定	チェックした場合には条件にマッチしないものが選択対象になります。
キー値	ログの内容中のキーを 64 文字以内で指定します。
比較条件	=,<>,>=,>,<=,<から選択します。
比較値	比較する値を指定します。[条件]に = を指定した場合は[比較値]は正規表現で指定します。

抽出したログをメッセージ通知するときに付与する情報を定義します。



図 17-146　「ログフィルタ追加（入力）」画面 表示定義

表 17-94　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面 表示定義）

項目名	説明
重要度変更	フィルタ条件に一致したメッセージの重要度を、指定した重要度に変更します。

オプション定義では抽出したログに対する拡張設定を定義します。



図 17-147　「ログフィルタ追加（入力）」画面 オプション定義

表 17-95　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面 オプション定義）

項目名	説明
使用する	メッセージ抑制機能を使用する場合にはチェックします。
監視間隔(秒)	最初の 1 件が抽出されてからメッセージ通知しない期間を 1～3600 秒で指定します。この間隔を超えて抽出されたログはメッセージ通知され、再度、通知しない期間が開始されます。
リセットする	通知しない期間内にログを抽出してメッセージ通知を抑止した時に、監視間隔をリセットする場合にチェックします。連続して抽出されたログを抑止し続けたい場合に使用します。

項目名	説明
抑止動作	メッセージ抑止時の動作を指定します。[監視間隔内のメッセージを削除する]監視間隔内に該当フィルタに一致したログが複数検出された場合、最初の 1 件のログのみをメッセージ通知して、以降のログは通知せず削除されます。監視間隔内に該当フィルタに一致したログは、該当フィルタより優先度が低いフィルタの設定があっても無効となります。[監視間隔内のメッセージを以降のフィルタに適用する]監視間隔内に該当フィルタに一致したログが複数検出された場合、最初の 1 件のログのみをメッセージ通知して、以降のログでは該当フィルタが無効となります。監視間隔内に該当フィルタに一致したログは、該当フィルタより優先度が低いフィルタが存在する場合、順番にフィルタのチェックが実施され、一致するとメッセージ通知されます。

「イベントログ監視設定変更」画面のログフィルタには[変更]リンクがあります。変更したいフィルタをチェックし、[変更]リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ変更（入力）」画面を表示します。この画面を使用してフィルタ定義を変更することができます。

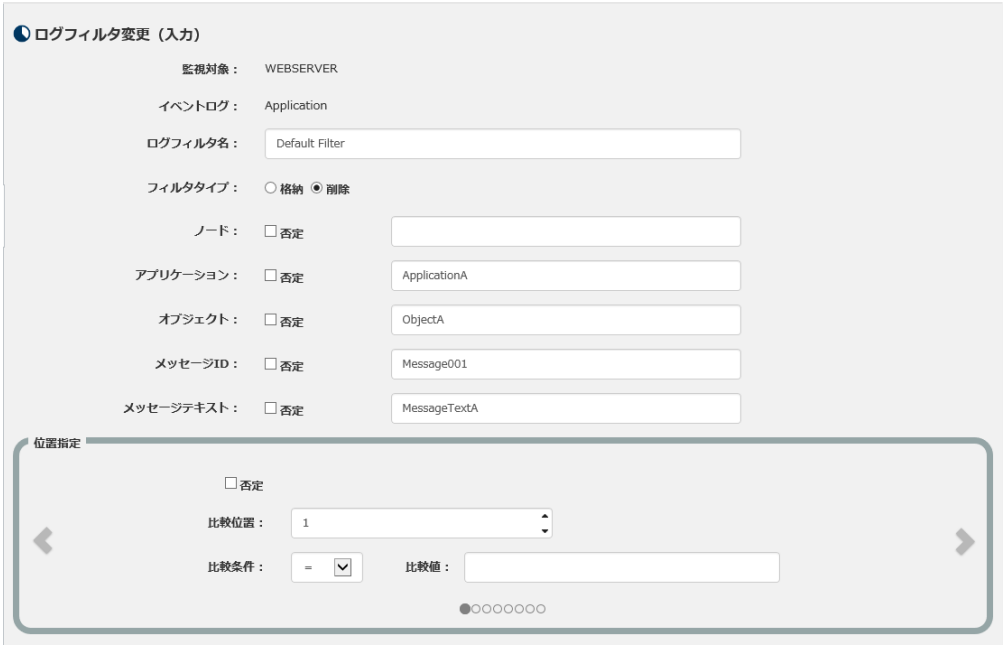


図 17-148　「ログフィルタ変更（入力）」画面

入力項目は「ログフィルタ追加（入力）」画面と同様です。「イベントログ監視設定変更」画面のログフィルタには[削除]リンクがあります。削除したいフィルタをチェックし、[削除]リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ削除」ダイアログを表示します。このダイアログを使用してフィルタ定義を削除することができます。

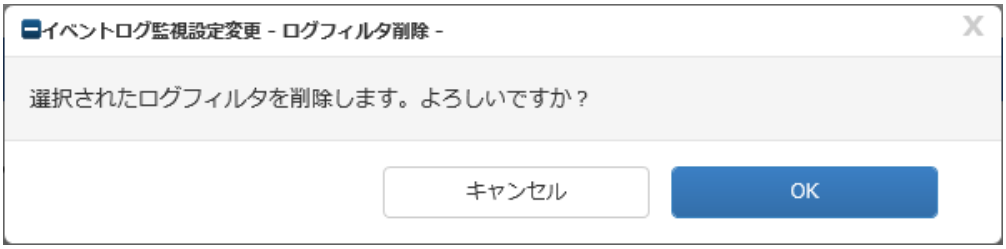


図 17-149　「ログフィルタ削除」ダイアログ

表 17-96　項目一覧（「ログフィルタ削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	フィルタを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	フィルタを削除してダイアログを閉じます。

ログフィルタの順序変更

「イベントログ監視設定変更」画面のログフィルタには[順序変更]リンクがあります。[順序変更]リンクをクリックすると選択中のログの順序を上下に移動することができます。

17.4.2.6　シスログ監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[シスログ監視]をクリックするシスログ監視設定パネルが開きます。シスログ監視設定パネルではシスログの監視状況を確認することができます。

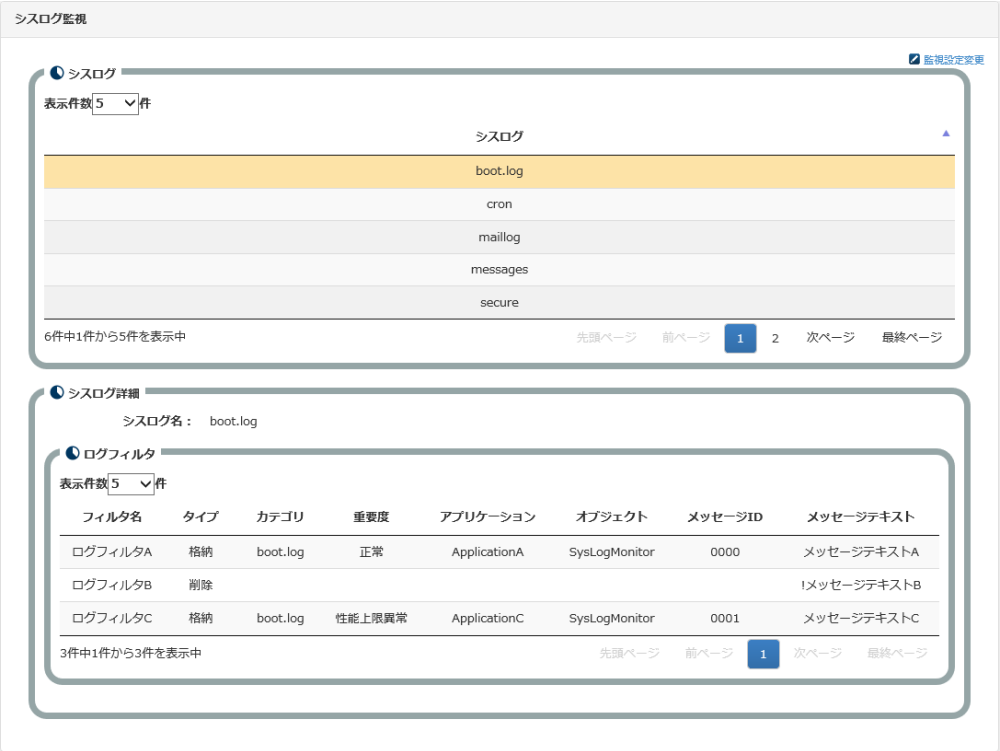


図 17-150　シスログ監視

シスログの一覧からシスログを選択すると、下部にシスログ詳細が表示されます。シスログ詳細には以下の項目があります。

表 17-97　項目一覧（シスログ詳細）

項目名	説明
シスログ名	シスログの名前を表示します。
ログフィルタ	ログフィルタの一覧を表示します。

表 17-98　項目一覧（ログフィルタ）

項目名	説明
フィルタ名	ログフィルタ名を表示します。
タイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納 • 削除 [格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
カテゴリ	シスログのカテゴリを表示します。
重要度	ログをメッセージ通知する際に付与される重要度を表示します。
アプリケーション	ログをメッセージ通知する際に付与されるアプリケーション名を表示します。
オブジェクト	ログをメッセージ通知する際に付与されるオブジェクト名を表示します。
メッセージ ID	ログをメッセージ通知する際に付与されるメッセージ ID を表示します。
メッセージテキスト	メッセージ本文に対するフィルタ条件を表示します。

シスログ監視設定変更

シスログ監視パネルで[監視設定変更]リンクをクリックすると「シスログ監視設定変更」画面が表示されます。「シスログ監視設定変更」画面ではシスログ監視パネルと同様のシスログ一覧、シスログ詳細があります。

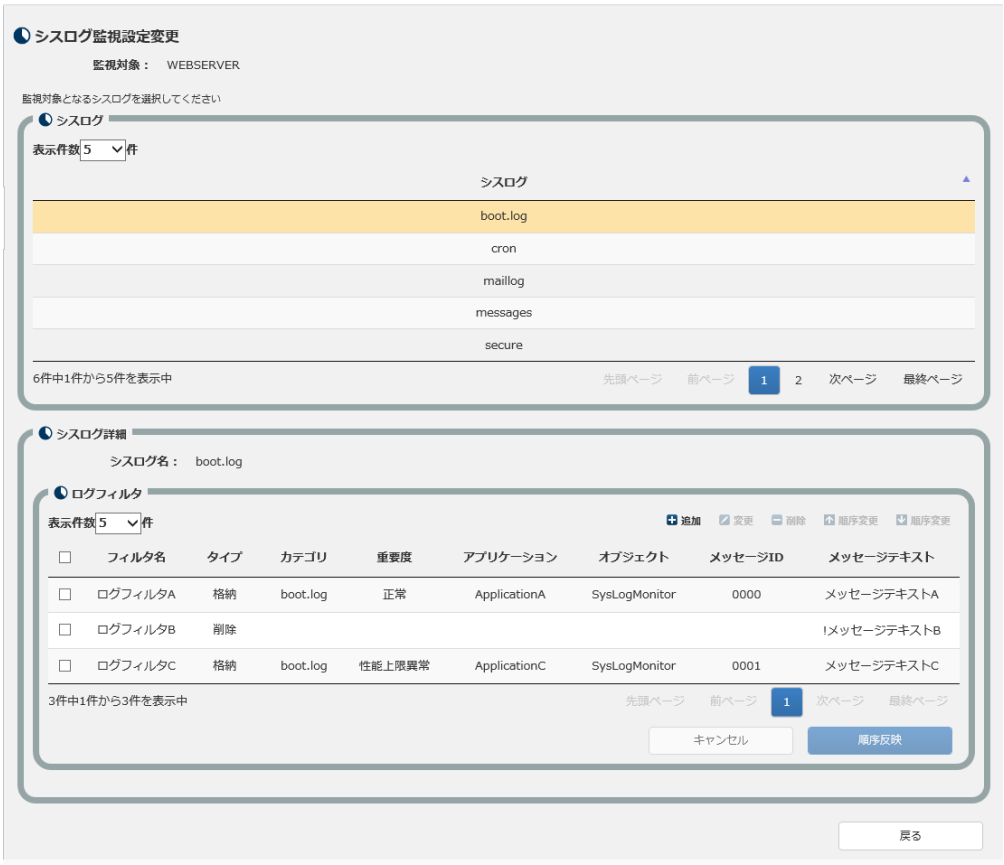


図 17-151　「シスログ監視設定変更」画面

「監視テンプレート」画面の監視設定では以下のリンクが表示されます。

- シスログ追加
- シスログ変更
- シスログ削除



図 17-152　「シスログ監視設定変更」画面（監視テンプレート）

[シスログ追加]をクリックすると以下に示す「シスログ追加」ダイアログが表示され、入力したシスログを追加することができます。

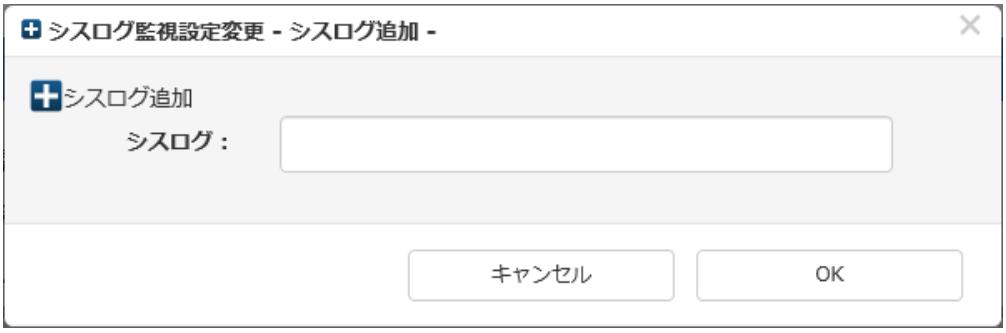


図 17-153　「シスログ追加」ダイアログ

表 17-99　項目一覧（「シスログ追加」ダイアログ）

項目名	必須	説明
シスログ	○	シスログを 256 文字以内で入力します。

変更したいシスログを選択して[シスログ変更]をクリックすると以下に示す「シスログ変更」ダイアログが表示され、シスログを変更することができます。

「シスログ変更」ダイアログの項目は「シスログ追加」ダイアログと同じです。



図 17-154　「シスログ変更」ダイアログ

削除したいシスログを選択して[シスログ削除]をクリックすると以下に示す「シスログ削除」ダイアログが表示され、シスログを削除することができます。

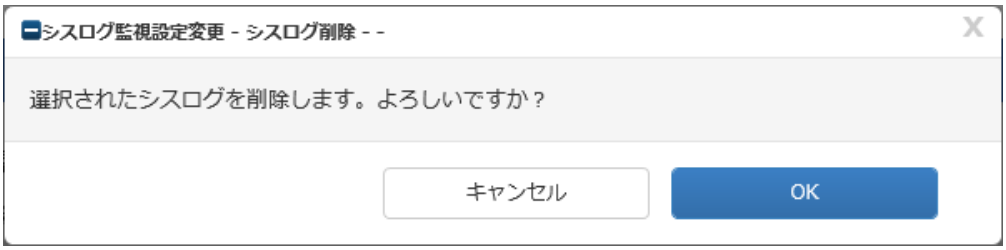


図 17-155　「シスログ削除」ダイアログ

ログフィルタ追加/変更/削除

「イベントログ監視設定変更」画面のログフィルタには[追加]リンクがあります。[追加]リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ追加（入力）」画面を表示します。この画面を使用してフィルタ定義を追加することができます。



図 17-156　「ログフィルタ追加（入力）」画面

表 17-100　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面）

項目名	説明
ログフィルタ名	ログフィルタ名を表示します。
フィルタタイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納 • 削除 [格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
メッセージテキスト	メッセージ本文を 1024 文字以内の正規表現で指定します。否定指定した場合、正規表現指定に一致しなかったメッセージが選択対象となります。
位置指定	位置指定情報を指定します。

項目名	説明
キー指定	キー情報を指定します。
表示定義	メッセージの表示に関する定義を指定します。
オプション定義	フィルタのオプション定義を指定します。
キャンセル	設定を破棄して前画面に戻ります。
OK	設定を反映して前画面に戻ります。

位置指定はメッセージテキスト中の位置指定による検索条件を 8 個まで指定します。否定指定した場合、条件に一致しなかったメッセージが選択対象となります。



図 17-157　「ログフィルタ追加（入力）」画面 位置指定

表 17-101　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面 位置指定）

項目名	説明
否定	チェックした場合には条件にマッチしないものが選択対象になります。
比較位置	メッセージテキスト中の位置を指定します。
比較条件	=,<>,>=,>,<=,<から選択します。
比較値	比較値を 64 文字以内で入力します。正規表現は指定できません。

キー指定はログの内容中のキー指定による検索条件を 8 個まで指定します。否定指定した場合、条件に一致しなかったメッセージが選択対象となります。



図 17-158　「ログフィルタ追加（入力）」画面 キー指定

表 17-102　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面 キー指定）

項目名	説明
否定	チェックした場合には条件にマッチしないものが選択対象になります。
キー値	ログの内容中のキーを 64 文字以内で指定します。
比較条件	=,<>,>=,>,<=,<から選択します。
比較値	比較する値を指定します。[条件]に = を指定した場合は[比較値]は正規表現で指定します。

抽出したログをメッセージ通知するときに付与する情報を定義します。



図 17-159　「ログフィルタ追加（入力）」画面 表示定義

表 17-103　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面 表示定義）

項目名	説明
重要度変更	ログをメッセージ通知する際に付与する重要度を選択します。
カテゴリ	ログをメッセージ通知する際に付与するカテゴリ情報を 32 文字以内で指定するか、または監視対象となっているシスログの名前の中から選択します。
アプリケーション名	ログをメッセージ通知する際に付与するアプリケーション情報を 32 文字以内で指定します。
オブジェクト名	ログをメッセージ通知する際に付与するオブジェクト情報を 32 文字以内で指定します。
メッセージ ID	ログをメッセージ通知する際に付与するメッセージ ID を 32 文字以内で指定します。

オプション定義では抽出したログに対する拡張設定を定義します。



図 17-160　「ログフィルタ追加（入力）」画面 オプション定義

表 17-104　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力）」画面 オプション定義）

項目名	説明
使用する	メッセージ抑制機能を使用する場合にはチェックします。
監視間隔(秒)	最初の 1 件が抽出されてからメッセージ通知しない期間を 1～3600 秒で指定します。この間隔を超えて抽出されたログはメッセージ通知され、再度、通知しない期間が開始されます。
リセットする	通知しない期間内にログを抽出してメッセージ通知を抑止した時に、監視間隔をリセットする場合にチェックします。連続して抽出されたログを抑止し続けたい場合に使用します。
抑止動作	メッセージ抑止時の動作を指定します。[監視間隔内のメッセージを削除する]監視間隔内に該当フィルタに一致したログが複数検出された場合、最初の 1 件のログのみをメッセージ通知して、以降のログは通知せず削除されます。監視間隔内に該当フィルタに一致したログは、該当フィルタより優先度が低いフィルタの設定があっても無効となります。[監視間隔内のメッセージを以降のフィルタに適用する]監視間隔内に該当フィルタに一致したログが複数検出された場合、最初の 1 件のログのみをメッセージ通知して、以降のログでは該当フィルタが無効となります。監視間隔内に該当

項目名	説明
	フィルタに一致したログは、該当フィルタより優先度が低いフィルタが存在する場合、順番にフィルタのチェックが実施され、一致するとメッセージ通知されます。

「シスログ監視設定変更」画面のログフィルタには[変更]リンクがあります。変更したいフィルタをチェックし、[変更]リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ変更（入力）」画面を表示します。この画面を使用してフィルタ定義を変更することができます。



図 17-161　「ログフィルタ変更（入力）」画面

入力項目は「ログフィルタ追加（入力）」画面と同様です。「シスログ監視設定変更」画面のログフィルタには[削除]リンクがあります。削除したいフィルタをチェックし、[削除]リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ削除」ダイアログを表示します。このダイアログを使用してフィルタ定義を削除することができます。

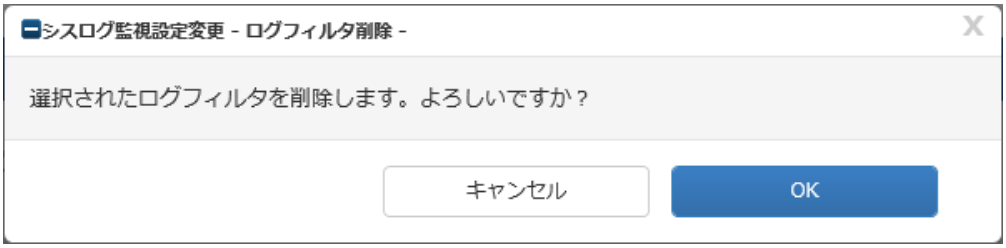


図 17-162　「ログフィルタ削除」ダイアログ

表 17-105　項目一覧（「ログフィルタ削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	フィルタを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	フィルタを削除してダイアログを閉じます。

ログフィルタの順序変更

「シスログ監視設定変更」画面のログフィルタには[順序変更]リンクがあります。[順序変更]リンクをクリックすると選択中のログの順序を上下に移動することができます。

17.4.2.7　アプリケーションログ監視

「ノード監視」画面の監視設定タブもしくは「監視テンプレート」画面の監視テンプレート詳細で[アプリケーションログ監視]をクリックするとアプリケーションログ監視設定パネルが開きます。アプリケーションログ監視設定パネルではアプリケーションログの監視状況を確認することができます。



図 17-163　アプリケーションログ監視

表 17-106　項目一覧（アプリケーションログ詳細）

項目名	説明
アプリケーションログ名	アプリケーションログの名前を表示します。
ログファイル名	アプリケーションログのファイルパスを表示します。
ログファイル文字コード	アプリケーションログの文字コードです。 • US-ASCⅡ • Unicode(UTF-8) • Unicode(Big-Endian) • Unicode • Japanese(Shift-JIS) • Japanese(JIS) • Japanese(JIS 0208-1990 and 0212-1990) • Chinese Traditional(Big5) • Chinese Simplified(GB2312) • Chinese Simplified(GB18030)
ログフィルタ	ログフィルタの一覧を表示します。

本パネルは左にアプリケーショングループのツリーを表示します。ツリー上でアプリケーショングループを選択すると、右側に選択されたグループに属するアプリケーションログの一覧が表示

されます。アプリケーションログの一覧からアプリケーションログを選択すると、下部にアプリケーションログ詳細が表示されます。アプリケーションログ詳細には以下の項目があります。

表 17-107　項目一覧（ログフィルタ）

項目名	説明
フィルタ名	ログフィルタ名を表示します。
タイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納 • 削除 [格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
カテゴリ	ログをメッセージ通知する際に付与されるカテゴリを表示します。
重要度	ログをメッセージ通知する際に付与される重要度を表示します。
アプリケーション	ログをメッセージ通知する際に付与されるアプリケーション名を表示します。
オブジェクト	ログをメッセージ通知する際に付与されるオブジェクト名を表示します。
メッセージ ID	ログをメッセージ通知する際に付与されるメッセージ ID を表示します。
メッセージテキスト	メッセージ本文に対するフィルタ条件を表示します。

アプリケーションログ監視設定変更

アプリケーションログ監視パネルで[監視設定変更]リンクをクリックすると「アプリケーションログ監視設定変更」画面が表示されます。「アプリケーションログ監視設定変更」画面ではアプリケーションログ監視パネルと同様のアプリケーショングループツリー、アプリケーションログ一覧、アプリケーションログ詳細があります。

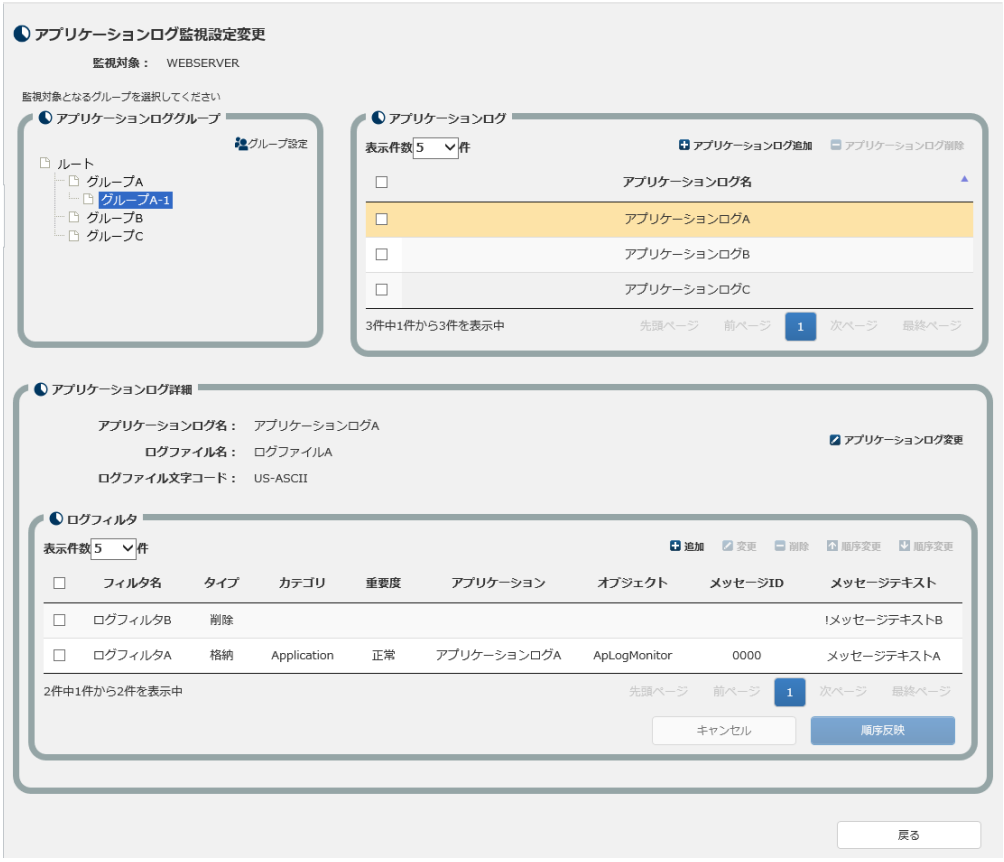


図 17-164　「アプリケーションログ監視設定変更」画面

グループ追加/変更/削除

「アプリケーションログ監視設定変更」画面のアプリケーショングループツリーには[グループ設定]リンクがあります。ここをクリックすると以下のメニューが表示され、グループの追加、変更、削除ができます。

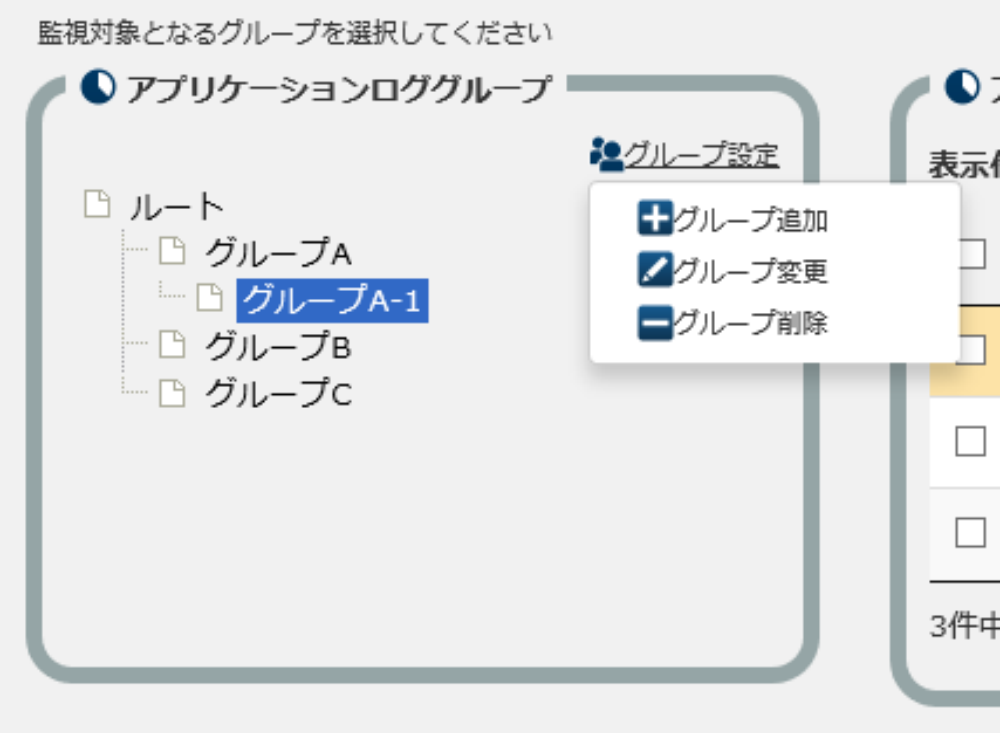


図 17-165　ポップアップメニュー

ポップアップメニューで[グループ追加]を選択すると以下に示す「グループ追加」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用してルート直下または選択されているグループの配下にグループの追加ができます。グループは階層化できます。



図 17-166　「グループ追加」ダイアログ

表 17-108　項目一覧（「グループ追加」ダイアログ）

項目名	説明
グループ名	追加するグループの名前を 64 文字以内で入力します。
キャンセル	グループを追加せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを追加してダイアログを閉じます。

グループツリーでグループを選択し、ポップアップメニューで[グループ変更]を選択すると以下に示す「グループ変更」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用して、ツリー上で選択されたグループの名前を変更することができます。



図 17-167　「グループ変更」ダイアログ

表 17-109　項目一覧（「グループ変更」ダイアログ）

項目名	説明
グループ名	変更するグループの名前を 64 文字以内で入力します。
キャンセル	グループを変更せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを変更してダイアログを閉じます。

グループツリーでグループを選択し、ポップアップメニューで[グループ削除]を選択すると以下に示す「グループ削除」ダイアログが表示されます。本ダイアログを使用して、ツリー上で選択されたグループを削除することができます。グループを削除すると配下のグループ・アプリケーションログおよびアプリケーションログフィルタも削除されます。

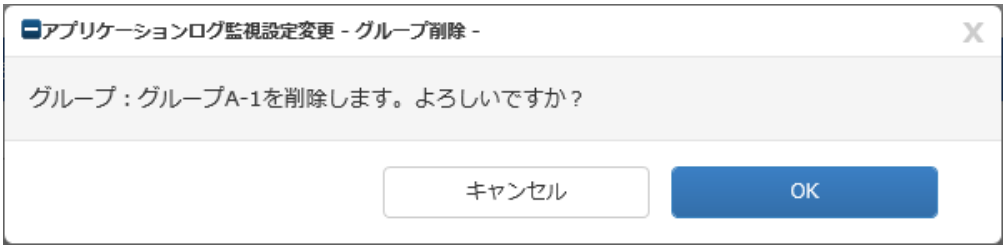


図 17-168　「グループ削除」ダイアログ

表 17-110　項目一覧（「グループ削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	グループを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	グループを削除してダイアログを閉じます。

アプリケーションログ追加/変更/削除

「アプリケーションログ監視設定変更」画面のアプリケーションログには[アプリケーションログ]追加リンクがあります。ここをクリックすると以下のアプリケーションログ追加（入力）が表示され、アプリケーションロググループにアプリケーションログを追加する事ができます。

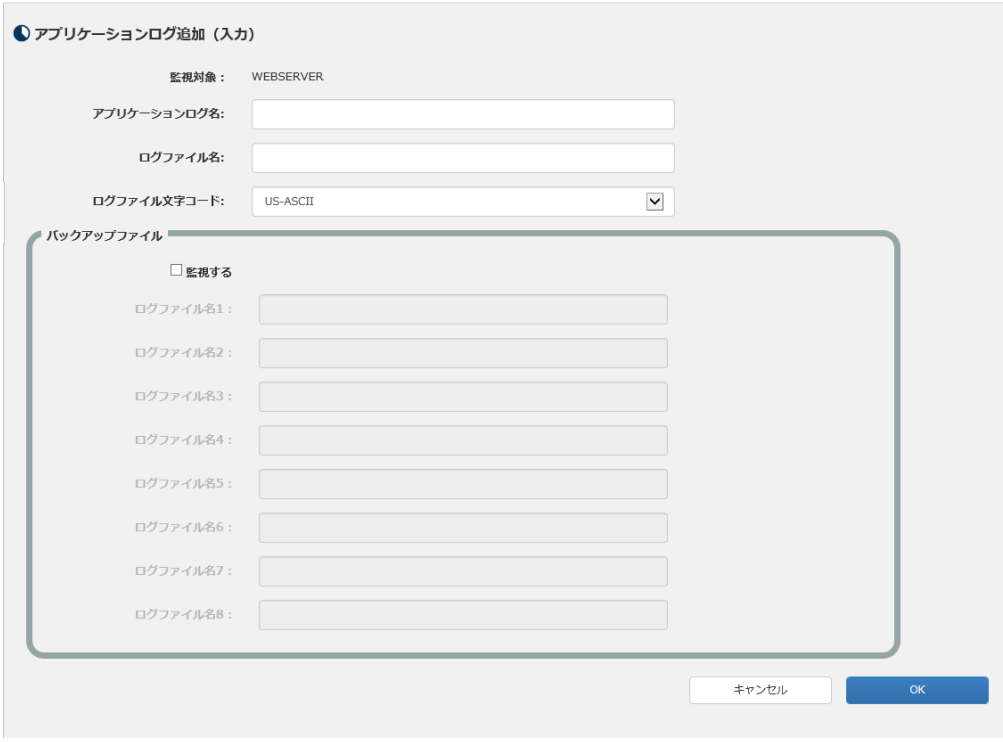


図 17-169　「アプリケーションログ追加(入力)」画面

表 17-111　項目一覧（「アプリケーションログ追加（入力)」画面）

項目名	説明
アプリケーションログ名	アプリケーションログの名前を 32 文字以内で入力します。
ログファイル名	アプリケーションログのファイルパスを 256 文字以内で入力します。
ログファイル文字コード	アプリケーションログの文字コードです。 • US-ASC Ⅱ • Unicode(UTF-8) • Unicode(Big-Endian) • Unicode • Japanese(Shift-JIS) • Japanese(JIS) • Japanese(JIS 0208-1990 and 0212-1990) • Chinese Traditional(Big5) • Chinese Simplified(GB2312) • Chinese Simplified(GB18030)
バックアップファイル	バックアップファイルを監視するかどうかを設定します。
キャンセル	設定を反映せずに前画面に戻ります。
OK	設定を反映して前画面に戻ります。

表 17-112　項目一覧（バックアップファイル）

項目名	説明
監視する	バックアップファイルを監視する場合にチェックします。
ログファイル名1～8	バックアップファイルのパスを 256 文字以内で入力します。

アプリケーションログ詳細でにはアプリケーションログ変更リンクがあります。[アプリケーションログ変更]リンクをクリックすると、以下に示す「アプリケーションログ変更（入力）」画面を表示します。アプリケーションログの監視設定を変更することができます。

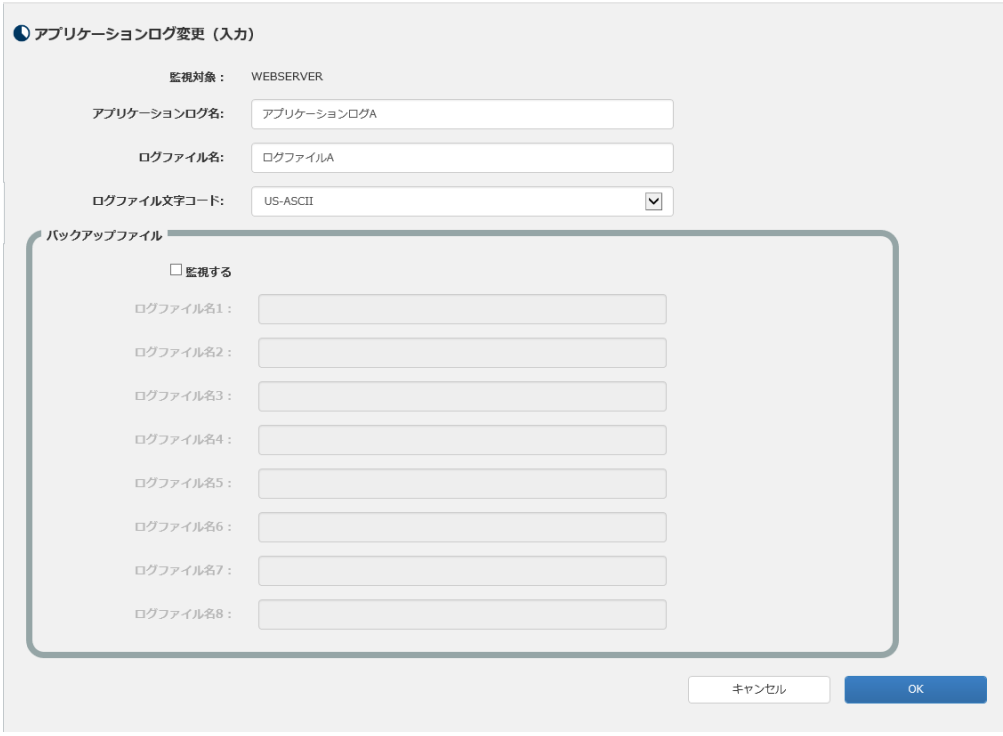


図 17-170　「アプリケーションログ変更（入力）」画面

「アプリケーションログ変更（入力）」画面の各入力項目については「アプリケーションログ追加（入力）」画面と同様です。そちらの説明を参照してください。

「アプリケーションログ監視設定変更」画面のアプリケーションログにはアプリケーションログ[削除]リンクがあります。削除したいアプリケーションログのチェックボックスをチェックした状態でここをクリックすると以下の「アプリケーションログ削除」ダイアログが表示され、アプリケーションログをグループから削除できます。アプリケーションログを削除すると配下のアプリケーションログフィルタも削除されます。

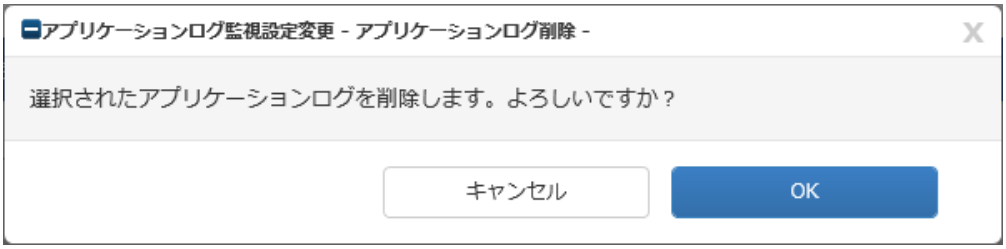


図 17-171　「アプリケーションログ削除」ダイアログ

表 17-113　項目一覧（「アプリケーションログ削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	アプリケーションログを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	アプリケーションログを削除してダイアログを閉じます。

ログフィルタ追加変更削除

「アプリケーションログ監視設定変更」画面のログフィルタには[追加]リンクがあります。[追加]リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ追加（入力）」画面を表示します。この画面を使用してフィルタ定義を追加することができます。



図 17-172　「ログフィルタ追加(入力)」画面

表 17-114　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力)」画面）

項目名	説明
ログフィルタ名	ログフィルタ名を表示します。
フィルタタイプ	フィルタタイプを以下のいずれかで表示します。 • 格納 • 削除

項目名	説明
	[格納]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されます。[削除]の場合、このフィルタに一致したログはメッセージ通知されず、後続のフィルタについてのフィルタ処理も行われません。
メッセージテキスト	メッセージ本文を 1024 文字以内の正規表現で指定します。否定指定した場合、正規表現指定に一致しなかったメッセージが選択対象となります。
位置指定	位置指定情報を指定します。
キー指定	キー情報を指定します。
表示定義	メッセージの表示に関する定義を指定します。
オプション定義	フィルタのオプション定義を指定します。
キャンセル	設定を破棄して前画面に戻ります。
OK	設定を反映して前画面に戻ります。

位置指定はメッセージテキスト中の位置指定による検索条件を 8 個まで指定します。否定指定した場合、条件に一致しなかったメッセージが選択対象となります。



図 17-173　「ログフィルタ追加(入力)」画面 位置指定

表 17-115　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力)」画面 位置指定）

項目名	説明
否定	チェックした場合には条件にマッチしないものが選択対象になります。
比較位置	メッセージテキスト中の位置を指定します。
比較条件	=,<>,>=,>,<=,<から選択します。
比較値	比較値を 64 文字以内で入力します。正規表現は指定できません。

キー指定はログの内容中のキー指定による検索条件を 8 個まで指定します。否定指定した場合、条件に一致しなかったメッセージが選択対象となります。



図 17-174　「ログフィルタ追加(入力)」画面 キー指定

表 17-116　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力)」画面 位置指定）

項目名	説明
否定	チェックした場合には条件にマッチしないものが選択対象になります。
キー値	ログの内容中のキーを 64 文字以内で指定します。

項目名	説明
比較条件	比較する値を指定します。[条件]に = を指定した場合は[比較値]は正規表現で指定します。
比較値	比較値を 64 文字以内で入力します。正規表現は指定できません。

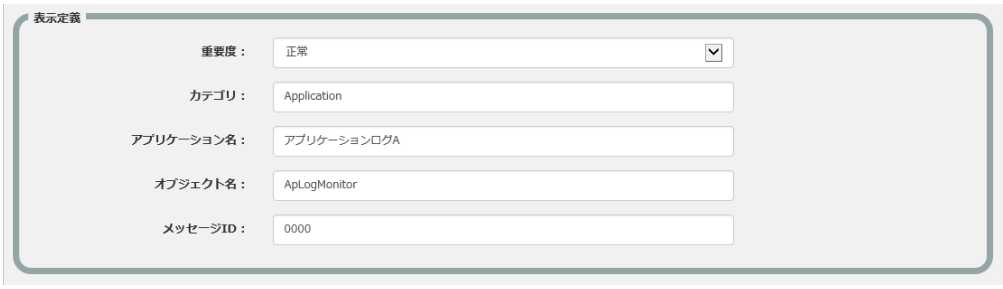


図 17-175　「ログフィルタ追加(入力)」画面 表示定義

表 17-117　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力)」画面 表示定義）

項目名	説明
重要度	ログをメッセージ通知する際に付与する重要度を選択します。
カテゴリ	カテゴリ項目を Application、Security、System から選択もしくは 32 文字以内で自由入力します。
アプリケーション名	ログをメッセージ通知する際に付与するアプリケーション情報を 32 文字以内で指定します。
オブジェクト名	ログをメッセージ通知する際に付与するオブジェクト情報を 32 文字以内で指定します。
メッセージ ID	ログをメッセージ通知する際に付与するメッセージ ID を 32 文字以内で指定します。



図 17-176　「ログフィルタ追加(入力)」画面 オプション定義

表 17-118　項目一覧（「ログフィルタ追加（入力)」画面 オプション定義）

項目名	説明
使用する	メッセージ抑制機能を使用する場合にはチェックします。
監視間隔(秒)	最初の 1 件が抽出されてからメッセージ通知しない期間を 1～3600 秒で指定します。この間隔を超えて抽出されたログはメッセージ通知され、再度、通知しない期間が開始されます。
リセットする	通知しない期間内にログを抽出してメッセージ通知を抑止した時に、監視間隔をリセットする場合にチェックします。連続して抽出されたログを抑止し続けたい場合に使用します。
抑止動作	メッセージ抑止時の動作を指定します。[監視間隔内のメッセージを削除する]監視間隔内に該当フィルタに一致したログが複数検出された場合、最初の 1 件のログのみをメッセージ通知して、以降のログは通知せず削除されます。監視間隔内に該当フィルタに一致したログは、該当フィルタより優先度が低いフィルタの設定があっても

項目名	説明
	無効となります。[監視間隔内のメッセージを以降のフィルタに適用する]監視間隔内に該当フィルタに一致したログが複数検出された場合、最初の 1 件のログのみをメッセージ通知して、以降のログでは該当フィルタが無効となります。監視間隔内に該当フィルタに一致したログは、該当フィルタより優先度が低いフィルタが存在する場合、順番にフィルタのチェックが実施され、一致するとメッセージ通知されます。

「アプリケーションログ監視設定変更」画面のログフィルタには[変更]リンクがあります。変更したいフィルタをチェックし、[変更]リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ変更(入力)」画面を表示します。この画面を使用してフィルタ定義を変更することができます。



図 17-177　「ログフィルタ変更(入力)」画面

入力項目は「ログフィルタ追加(入力)」画面と同様です。「アプリケーションログ監視設定変更」画面のログフィルタには[削除]リンクがあります。削除したいフィルタをチェックし、削除リンクをクリックすると以下に示す「ログフィルタ削除」ダイアログを表示します。このダイアログを使用してフィルタ定義を削除することができます。

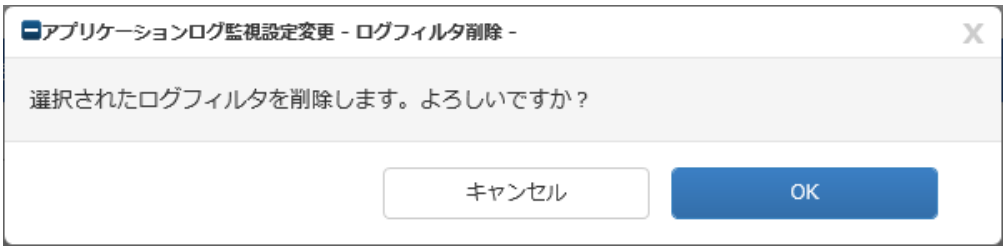


図 17-178　「ログフィルタ削除」ダイアログ

表 17-119　項目一覧（「ログフィルタ削除」ダイアログ）

項目名	説明
キャンセル	フィルタを削除せずにダイアログを閉じます。
OK	フィルタを削除してダイアログを閉じます。

ログフィルタの順序変更

「シスログ監視設定変更」画面のログフィルタには[順序変更]リンクがあります。[順序変更]リンクをクリックすると選択中のログの順序を上下に移動することができます。

17.4.3　監視テンプレート

本項では監視テンプレートを表示するための「監視テンプレート」画面について説明します。

メニューから、[監視]-[設定]-[監視テンプレート]タブをクリックすることにより、「監視テンプレート」画面が表示されます。

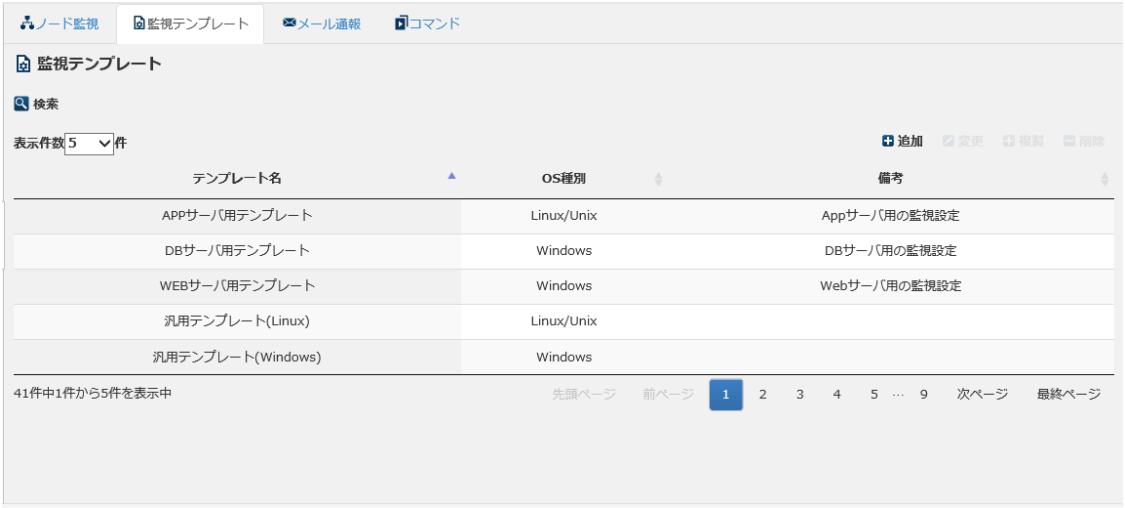


図 17-179　「監視テンプレート」画面

表 17-120　項目一覧（「監視テンプレート」画面）

項目名	説明
検索ボタン	指定した条件に合致する監視テンプレートを検索するための検索実行画面を表示するボタンです。
表示件数	一覧に表示される監視テンプレートの 1 ページ当たりの表示件数です。 表示件数は 5,10,50,100 のいずれかから選択可能です。
追加ボタン	監視テンプレートを追加します。 詳細は「17.4.3.1　監視テンプレートの追加 (375 ページ)」を参照してください。
変更ボタン	監視テンプレートを変更します。 詳細は「17.4.3.2　監視テンプレートの変更 (376 ページ)」を参照してください。
複製ボタン	監視テンプレートを複製します。 詳細は「17.4.3.3　監視テンプレートの複製 (377 ページ)」を参照してください。
削除ボタン	監視テンプレートを削除します。 詳細は「17.4.3.4　監視テンプレートの削除 (378 ページ)」を参照してください。
監視テンプレート一覧	監視テンプレートの一覧です。

監視テンプレート一覧には以下の項目が表示されます。

表 17-121　項目一覧（「監視テンプレート」画面 監視テンプレート一覧）

項目名	説明
テンプレート名	監視テンプレートの名前です。
OS 種別	監視テンプレートの OS 種別です。以下のいずれかの OS 種別が表示されます。 • Windows：OS の種別が Windows のノードに対して適用することができる監視テンプレートであることを示します • Linux/Unix：OS の種別が Linux もしくは Unix のノードに対して適用することができる監視テンプレートであることを示します
備考	監視テンプレートの備考です。

監視テンプレートを検索する場合、[検索]ボタンをクリックし「検索実行」画面を表示した後、検索条件を入力し検索を実施してください。

「検索実行」画面に表示される項目、ボタンは以下の通りです。なお文字列での検索は部分一致検索です。

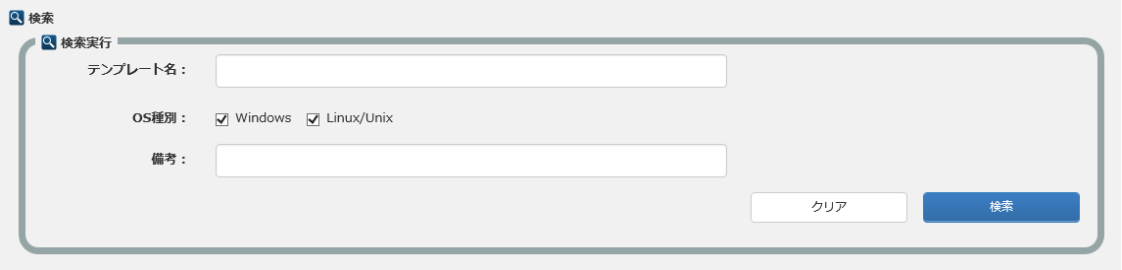


図 17-180　「監視テンプレート」画面 検索

表 17-122　項目一覧（「監視テンプレート」画面 検索）

項目名	入力規則	説明
テンプレート名	256 文字以内	入力したテンプレート名が検索対象となります。
OS 種別	少なくとも一つ	チェックした OS 種別が検索対象となります。以下の OS 種別から選択することができます。 • Windows • Linux/Unix
備考	256 文字以内	入力した備考が検索対象となります。

「監視テンプレート」画面の監視テンプレート一覧に表示されている監視テンプレートを選択すると、監視テンプレート詳細が表示されます。



図 17-181　「監視テンプレート」画面 詳細

表 17-123　項目一覧（「監視テンプレート」画面 監視テンプレート詳細）

項目名	説明
テンプレート名	監視テンプレートの名前が表示されます。
OS 種別	監視テンプレートの OS 種別が表示されます。以下のいずれかの OS 種別が表示されます。 • Windows：OS の種別が Windows のノードに対して適用することができる監視テンプレートであることを示します • Linux/Unix：OS の種別が Linux もしくは Unix のノードに対して適用することができる監視テンプレートであることを示します
備考	監視テンプレートの備考が表示されます。
Windows サービス監視パネル	監視テンプレートの Windows サービス監視設定を表示します。OS 種別が Windows の場合にのみ表示されます。詳細は「11.2.2.1　Windows サービス監視 (151 ページ)」を参照してください。
プロセス監視パネル	監視テンプレートのプロセス監視設定を表示します。詳細は「11.2.2.2　プロセス監視 (152 ページ)」を参照してください。
性能監視パネル	監視テンプレートの性能監視設定を表示します。詳細は「11.2.2.3　性能監視 (153 ページ)」を参照してください。
サービスポート監視パネル	監視テンプレートのサービスポート監視設定を表示します。詳細は「11.2.2.4　サービスポート監視 (154 ページ)」を参照してください。
イベントログ監視パネル	監視テンプレートのイベントログ監視設定を表示します。OS 種別が Windows の場合にのみ表示されます。詳細は「11.2.2.5　イベントログ監視 (156 ページ)」を参照してください。
シスログ監視パネル	監視テンプレートのシスログ監視設定を表示します。OS 種別が Linux/Unix の場合にのみ表示されます。詳細は「11.2.2.6　シスログ監視 (157 ページ)」を参照してください。
アプリケーションログ監視パネル	監視テンプレートのアプリケーションログ監視設定を表示します。詳細は「11.2.2.7　アプリケーションログ監視 (158 ページ)」を参照してください。
適用ボタン	監視テンプレートをノードに適用します。詳細は「17.4.3.5　監視テンプレートの適用 (379 ページ)」を参照してください。

17.4.3.1　監視テンプレートの追加

本項では監視テンプレートの追加方法について説明します。

「監視テンプレート」画面にて[追加]ボタンをクリックして「監視テンプレート追加」ダイアログを表示します。



図 17-182　「監視テンプレート追加」ダイアログ

表 17-124　項目一覧（「監視テンプレート追加」ダイアログ ）

項目名	必須	説明
テンプレート名	○	監視テンプレートの名前を 256 文字以内で入力します。
OS 種別	○	監視テンプレートの OS 種別を選択します。選択した OS 種別によって設定可能な監視設定が異なります。 • Windows：OS の種別が Windows のノードに対する監視設定を設定することができます • Linux/Unix：OS の種別が Linux もしくは Unix のノードに対する監視設定を設定することができます
備考		監視テンプレートの備考を 1024 文字以内で入力します。

項目の入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックして監視テンプレートを追加します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合は入力内容を破棄して「監視テンプレート」画面に戻ります。

17.4.3.2　監視テンプレートの変更

本項では監視テンプレートの変更方法について説明します。

「監視テンプレート」画面にて一覧から監視テンプレートを選択し、[変更]ボタンをクリックして「監視テンプレート変更」ダイアログを表示します。



図 17-183　「監視テンプレート変更」ダイアログ

表 17-125　項目一覧（「監視テンプレート変更」ダイアログ ）

項目名	必須	説明
テンプレート名	○	変更後の監視テンプレートの名前を 256 文字以内で入力します。初期値として変更対象の監視テンプレートのテンプレート名が表示されます。
OS 種別	○	変更対象の監視テンプレートの OS 種別が選択されます。OS 種別を変更することはできません。
備考		変更後の監視テンプレートの備考を 1024 文字以内で入力します。初期値として変更対象の監視テンプレートの備考が表示されます。

項目の入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックして監視テンプレートを変更します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合は入力内容を破棄して「監視テンプレート」画面に戻ります。

17.4.3.3　監視テンプレートの複製

本項では監視テンプレートの複製方法について説明します。

「監視テンプレート」画面にて一覧から監視テンプレートを選択し、[複製]ボタンをクリックして「監視テンプレート複製」ダイアログを表示します。



図 17-184　「監視テンプレート複製」ダイアログ

表 17-126　項目一覧（「監視テンプレート複製」ダイアログ ）

項目名	必須	説明
テンプレート名	○	監視テンプレートの名前を 256 文字以内で入力します。初期値として、複製元の監視テンプレートのテンプレート名の末尾に「(複製)」が付与された値が表示されます。
OS 種別	○	複製元の監視テンプレートの OS 種別が選択されます。OS 種別を変更することはできません。
備考		監視テンプレートの備考を 1024 文字以内で入力します。初期値として複製元の監視テンプレートの備考が表示されます。

項目の入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックして監視テンプレートを複製します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合は入力内容を破棄して「監視テンプレート」画面に戻ります。

17.4.3.4　監視テンプレートの削除

本項では監視テンプレートの削除方法について説明します。

「監視テンプレート」画面にて一覧から監視テンプレートを選択し、[削除]ボタンをクリックして「監視テンプレート削除」ダイアログを表示します。

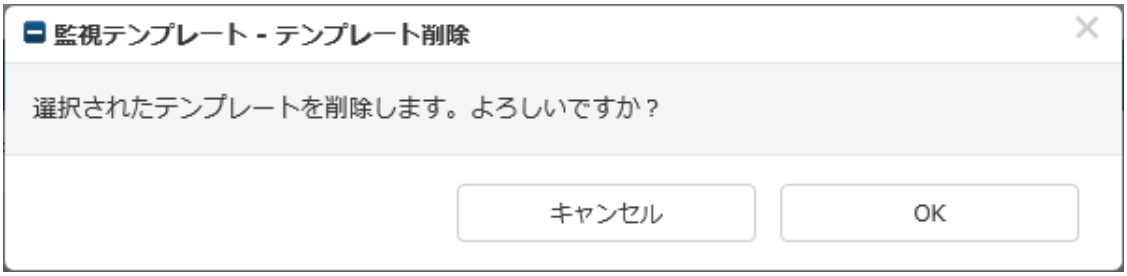


図 17-185　「監視テンプレート削除」ダイアログ

[OK]ボタンをクリックして監視テンプレートを削除します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合は監視テンプレートを削除せずに「監視テンプレート」画面に戻ります。

17.4.3.5　監視テンプレートの適用

本項では監視テンプレートの適用方法について説明します。

「監視テンプレート」画面にて一覧から監視テンプレートを選択して監視テンプレート詳細を表示します。



図 17-186　テンプレートの適用

監視テンプレート詳細にて[適用]ボタンをクリックし、「監視テンプレート適用」ダイアログを表示します。

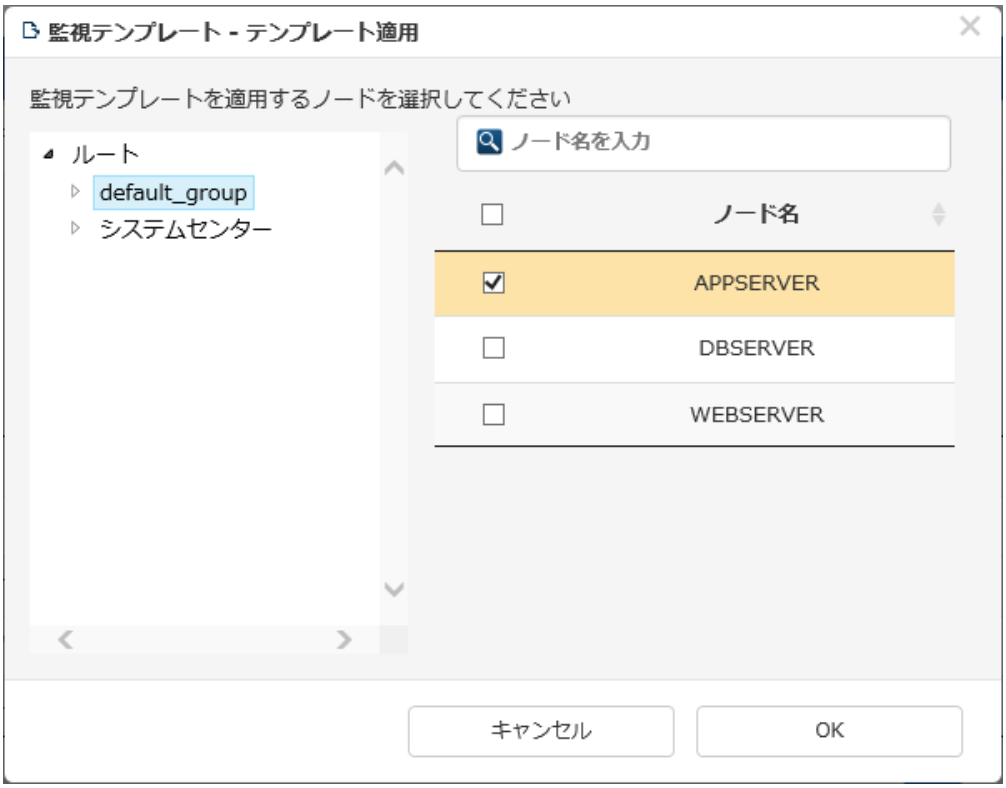


図 17-187　テンプレートの適用

表 17-127　項目一覧（「監視テンプレート適用」ダイアログ ）

項目名	説明
グループツリー	「ノード」画面にて設定したグループがツリーで表示されます。グループを選択すると選択したグループ配下のノード一覧が表示されます。
ノード一覧	グループツリーで選択したグループ配下のノード一覧が表示されます。チェックボックスで監視テンプレート適用対象のノードを選択することができます。適用対象は複数選択することができます。
検索フィールド	ノード名を検索します。入力した文字列がノード名に含まれる行のみ抽出されます。

「監視テンプレート適用」ダイアログのグループツリーからグループを選択し、ノード一覧を表示します。

ノード一覧のチェックボックスにチェックを入れて監視テンプレートを適用するノードを選択します。

ノードを選択したら、[OK]ボタンをクリックして監視テンプレートを適用します。

テンプレートの適用状況を示すタスク一覧が表示されます。タスク一覧に表示される項目については「17.1.12　タスク(267 ページ)」を参照してください。



図 17-188　タスク一覧

タスク一覧からタスクを選択すると「タスク詳細」ダイアログが表示され、テンプレートの適用の実行ログを参照することができます。タスク詳細に表示される項目については「17.1.12　タスク(267 ページ)」を参照してください。

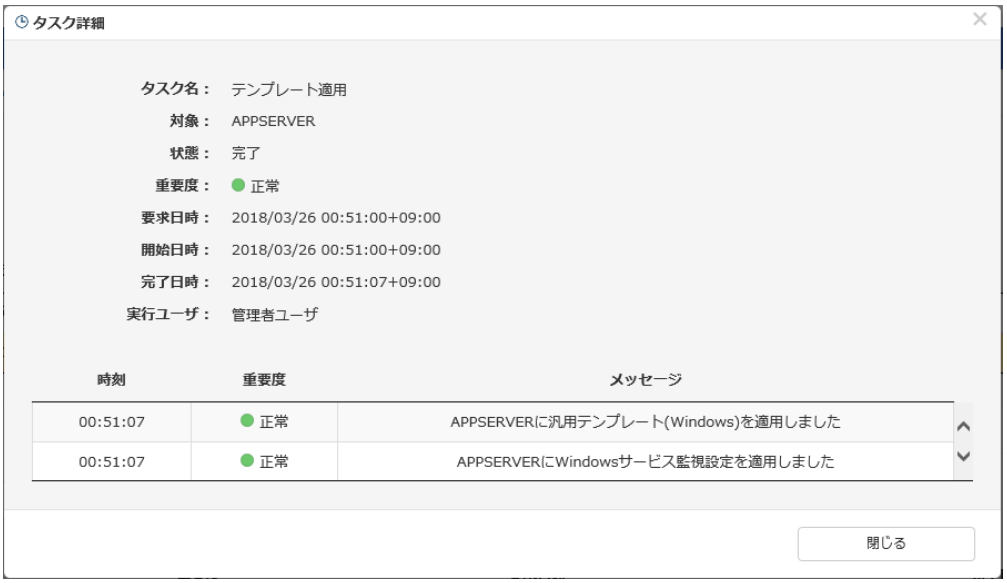


図 17-189　「タスク詳細」ダイアログ

17.4.4　自動監視

本項では自動監視ルールを表示するための「自動監視」画面について説明します。

自動監視ルールはサーバが作成されたときに自動で監視テンプレートを適用したり、自動で「ノード」画面のグループを移動させたりするためのアクションと、どのサーバに対してアクションを実行するかをサーバの業務グループやサーバ名、カタログ、OS の条件で指定する実行条件を設定します。

サーバが作成されたとき、登録されている自動監視ルールを自動監視ルール一覧の先頭から順番に実行条件に一致するかを判定し、実行条件に一致する場合にはサーバに対してアクションを実行します。

メニューから、[監視]-[設定]-[自動監視]タブをクリックすることにより、「自動監視」画面が表示されます。



図 17-190　「自動監視」画面

表 17-128　項目一覧（「自動監視」画面）

項目名	説明
表示件数	一覧に表示される自動監視ルールの 1 ページ当たりの表示件数です。表示件数は 5,10,50,100 のいずれかから選択可能です。
検索フィールド	自動監視ルール名または備考で自動監視ルール一覧を絞り込みます。入力した文字列が自動監視ルール名もしくは備考に含まれる行のみ抽出されて自動監視ルール一覧が表示されます。
追加ボタン	クリックすると自動監視ルールを追加するための「自動監視ルール追加」画面が表示されます。詳細は「17.4.4.1　自動監視ルールの追加・変更 (383 ページ)」を参照してください。
自動監視ルール一覧	自動監視ルールを自動監視ルール名の昇順で一覧表示します。

自動監視ルール一覧には以下の項目が表示されます。

表 17-129　項目一覧（「自動監視」画面 自動監視ルール一覧）

項目名	説明
自動監視ルール名	自動監視ルールの名前を表示します。

項目名	説明
備考	自動監視ルールの備考を表示します。

自動監視ルール一覧に表示されている自動監視ルールを選択すると、自動監視ルール詳細が表示されます。

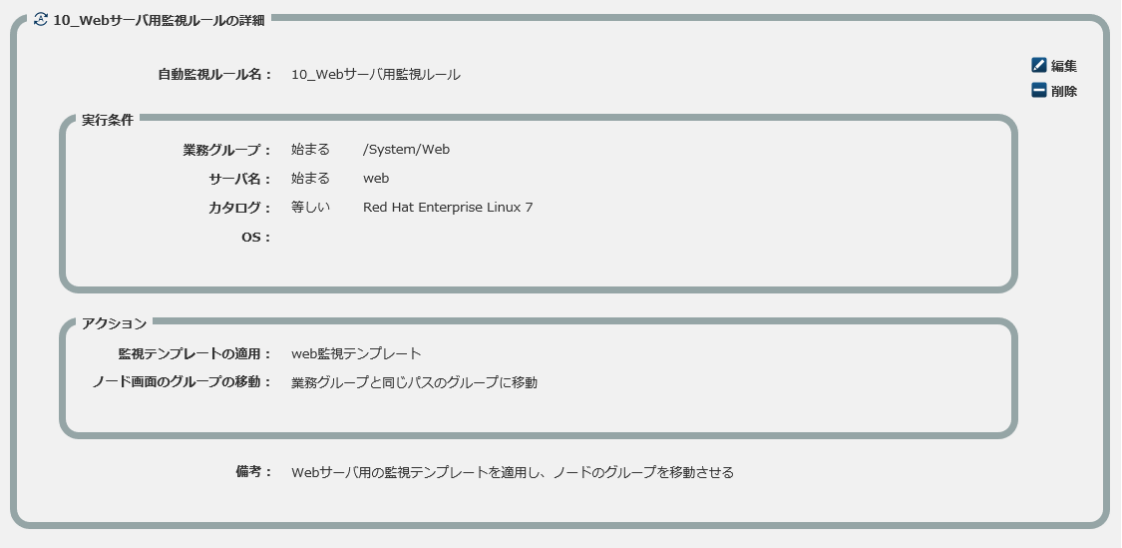


図 17-191　「自動監視」画面 自動監視ルール詳細

表 17-130　項目一覧（「自動監視」画面 自動監視ルール詳細）

項目名	説明
自動監視ルール名	自動監視ルールの名前が表示されます。
実行条件	アクションを実行する条件です。実行条件には以下の条件が設定可能で、作成されたサーバがすべての条件に一致する場合にアクションが実行されます。実行条件が一つも設定されていない場合には作成されたサーバに対して必ずアクションが実行されます。 • 業務グループ • サーバ名 • カタログ • OS また各条件に合わせて以下の比較条件が表示されます。 • 等しい:条件の文字列と等しい場合に条件に一致したと判定します • 含む:条件の文字列を含む場合に条件に一致したと判定します • 始まる:条件の文字列から始まる場合に条件に一致したと判定します • 終わる:条件の文字列で終わる場合に条件に一致したと判定します
業務グループ	自動監視ルールに設定されている業務グループの条件が表示されます。
サーバ名	自動監視ルールに設定されているサーバ名の条件が表示されます。
カタログ	自動監視ルールに設定されているカタログの条件が表示されます。
OS	自動監視ルールに設定されている OS の条件が表示されます。
アクション	実行条件に一致するサーバが作成されたときに実行されるアクションです。以下のアクションが設定可能で、実行条件に一致した場合には設定されているすべてのアクションが実行されます。 • 監視テンプレートの適用

項目名	説明
	• ノード画面のグループの移動
監視テンプレートの適用	監視テンプレートの適用アクションです。適用する監視テンプレート名が表示されます。当該アクションが設定されていない場合には空欄が表示されます。設定されていた監視テンプレートが削除されている場合には[削除済み]と表示されます。監視テンプレートが削除済みの場合には監視テンプレートは適用されません。
ノード画面のグループの移動	ノード画面のグループの移動アクションです。「ノード」画面上のグループをサーバの業務グループと同じパスのグループに移動させる場合には［業務グループと同じパスのグループに移動]と表示されます。「ノード」画面上のグループを移動させない場合には空欄が表示されます。
備考	自動監視ルールの備考が表示されます。
編集ボタン	クリックすると自動監視ルールを編集するための「自動監視ルール変更」画面が表示されます。詳細は「17.4.4.1　自動監視ルールの追加・変更(383 ページ)」を参照してください。
削除ボタン	クリックすると自動監視ルールを削除するための「自動監視ルール削除」ダイアログが表示されます。詳細は「17.4.4.2　自動監視ルールの削除(388 ページ)」を参照してください。

17.4.4.1　自動監視ルールの追加・変更

本項では自動監視ルールの追加・変更方法について説明します。

「自動監視ルール」画面にて[追加]をクリックすると「自動監視ルール追加」画面が表示されます。

また「自動監視ルール」画面の自動監視ルール詳細にて[編集]をクリックすると「自動監視ルール変更」画面が表示されます。

各項目を入力して[OK]ボタンをクリックすると自動監視ルールを追加・変更することができます。



図 17-192　「自動監視ルール登録」画面

表 17-131　項目一覧（「自動監視ルール登録」画面）

項目名	必須	説明
自動監視ルール名	○	自動監視ルールの名前を 256 文字以内で入力します。
実行条件		アクションを実行する条件を設定します。 実行条件には以下の条件が設定可能で、作成されたサーバがすべての条件に一致する場合にアクションが実行されます。 実行条件が一つも設定されていない場合には作成されたサーバに対して必ずアクションが実行されます。 • 業務グループ • サーバ名 • カタログ • OS また各条件に合わせて以下の比較条件を選択します。 • 等しい:条件の文字列と等しい場合に条件に一致したと判定します • 含む:条件の文字列を含む場合に条件に一致したと判定します • 始まる:条件の文字列から始まる場合に条件に一致したと判定します • 終わる:条件の文字列で終わる場合に条件に一致したと判定します
業務グループ		業務グループの条件を 256 文字以内で入力、もしくは「業務グループ選択」ダイアログから業務グループを選択します。 また比較条件をドロップダウンリストから選択します。 本項目はチェックボックスにチェックを入れることで有効になります。
業務グループ選択ボタン		クリックすると「業務グループ選択」ダイアログが表示されます。本項目はチェックボックスにチェックを入れることで有効になります。
サーバ名		サーバ名の条件を 256 文字以内で入力します。また比較条件をドロップダウンリストから選択します。 本項目はチェックボックスにチェックを入れることで有効になります。
カタログ		カタログの条件を 256 文字以内で入力、もしくは「カタログ選択」ダイアログからカタログを選択します。 また比較条件をドロップダウンリストから選択します。 本項目はチェックボックスにチェックを入れることで有効になります。
カタログ選択ボタン		クリックすると「カタログ選択」ダイアログが表示されます。本項目はチェックボックスにチェックを入れることで有効になります。
OS		OS の条件を 256 文字以内で入力します。また比較条件をドロップダウンリストから選択します。 本項目はチェックボックスにチェックを入れることで有効になります。
アクション		実行条件に一致するサーバが作成されたときに実行されるアクションを設定します。 以下のアクションが設定可能で、実行条件に一致した場合には設定されているすべてのアクションが実行されます。 • 監視テンプレートの適用 • ノード画面のグループの移動
監視テンプレートの適用		適用する監視テンプレートを「テンプレート選択」ダイアログから選択します。設定されていた監視テンプレートが削除されている場合には[削除済み]と表示されます。
監視テンプレート選択ボタン		クリックすると「監視テンプレート選択」ダイアログが表示されます。
監視テンプレートクリアボタン		クリックすると監視テンプレートの適用アクションがクリアされます。
ノード画面のグループの移動		「ノード」画面上のグループをサーバの業務グループと同じパスのグループに移動させるかどうかを指定します。 チェックボックスにチェックを入れた場合には「ノード」画面上のグループをサーバの業務グループと同じパスのグループに移動させます。 サーバの業務グループと同じパスのグループが「ノード」画面上のグループツリーに存在しない場合には新たにグループが

項目名	必須	説明
		追加された後にそのグループにノードを移動させます。チェックボックスのチェックを外した場合には「ノード」画面上のグループは移動させません。
備考		自動監視ルールの備考を 1024 文字以内で入力します。
キャンセルボタン		クリックすると入力内容を破棄して「自動監視」画面に戻ります。
OK ボタン		クリックすると入力内容を登録して「自動監視」画面に戻ります。

業務グループの条件は「業務グループ選択」ダイアログから選択することができます。

1. チェックボックスにチェックを入れて業務グループの条件を有効にします。
2. [選択]ボタンをクリックして「業務グループ選択」ダイアログを表示します。

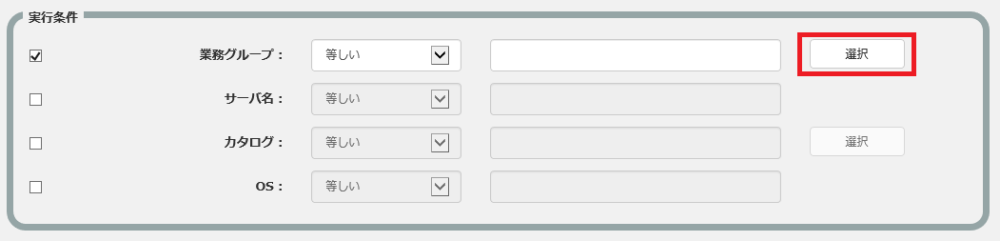


図 17-193　「自動監視ルール登録」画面 業務グループ選択

3. 「業務グループ選択」ダイアログにて業務グループツリーから業務グループを選択して、[選択]ボタンをクリックすると業務グループの条件に選択した業務グループのパスが入力されます。

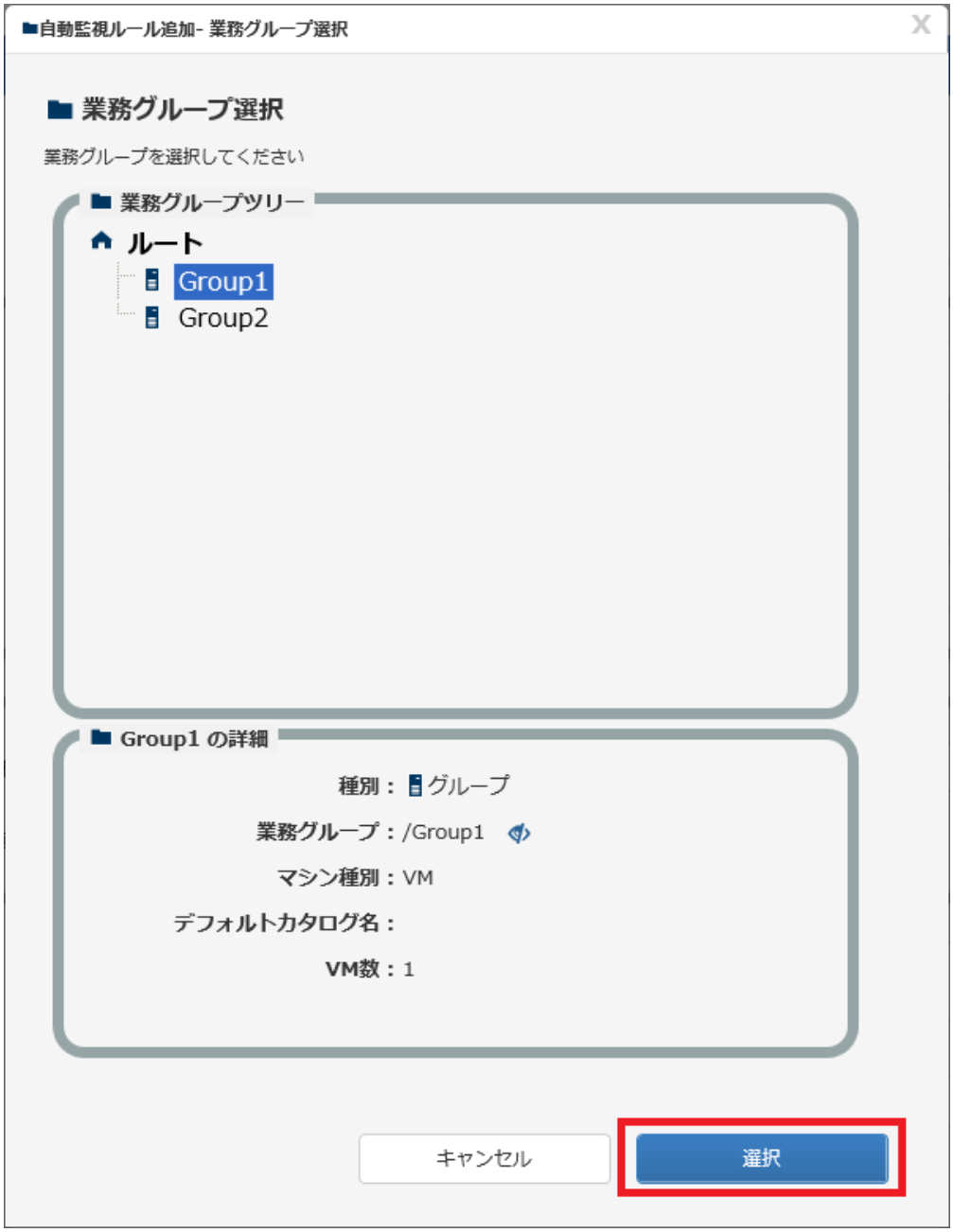


図 17-194　「業務グループ選択」ダイアログ

カタログの条件は「カタログ選択」ダイアログから選択することができます。

1. チェックボックスにチェックを入れてカタログの条件を有効にします。
2. [選択]ボタンをクリックして「カタログ選択」ダイアログを表示します。

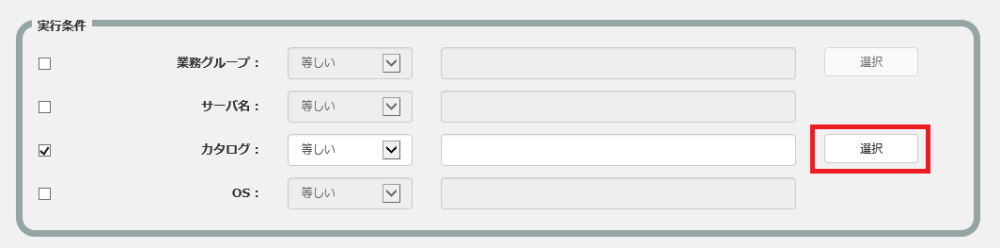


図 17-195　「自動監視ルール登録」画面 カタログ選択

3. 「カタログ選択」ダイアログにてドロップダウンリストからカタログを選択して、[OK]ボタンをクリックするとカタログの条件に選択したカタログが入力されます。



図 17-196　「カタログ選択」ダイアログ

テンプレートの適用アクションは「テンプレート選択」ダイアログから選択します。

1. [選択]ボタンをクリックして「テンプレート選択」ダイアログを表示します。

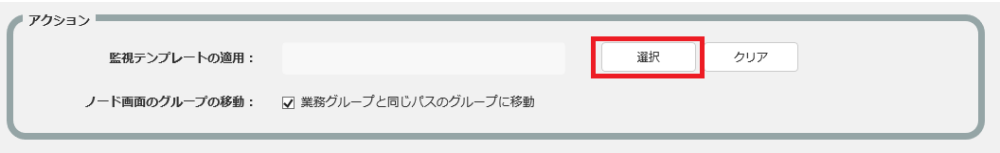


図 17-197　「自動監視ルール登録」画面 テンプレート選択

2. 「テンプレート選択」ダイアログにて監視テンプレート一覧から監視テンプレートを選択して、[OK]ボタンをクリックすると監視テンプレートが選択されます。

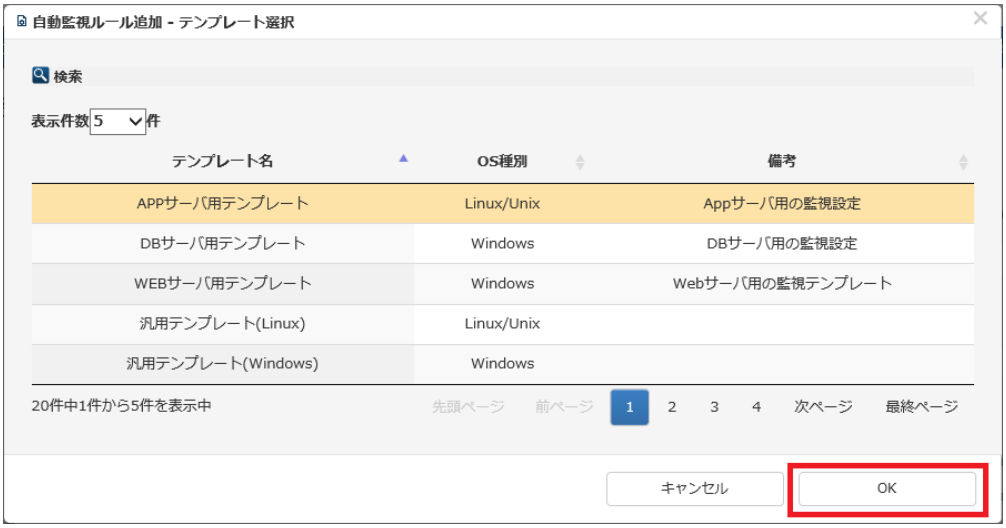


図 17-198　「テンプレート選択」ダイアログ

17.4.4.2　自動監視ルールの削除

本項では自動監視ルールの削除方法について説明します。

「自動監視」画面にて一覧から自動監視ルールを選択し、[削除]ボタンをクリックして「自動監視ルール削除」ダイアログを表示します。

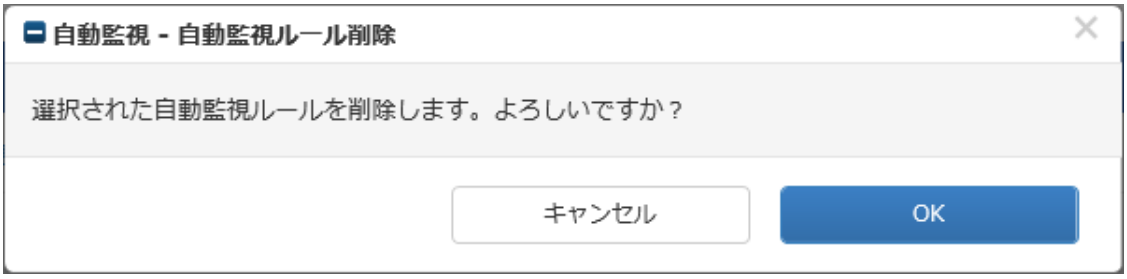


図 17-199　「自動監視ルール削除」ダイアログ

[OK]ボタンをクリックして自動監視ルールを削除します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合は自動監視ルールを削除せずに「自動監視ルール削除」ダイアログを閉じます。

17.4.4.3　自動監視ルールの実行結果の確認

本項では自動監視ルールの実行結果の確認方法について説明します。

サーバ作成後、作成したサーバが自動監視ルールの実行条件に一致する場合には自動監視ルールに設定されたアクションの実行結果がタスク一覧に表示されます。

メニューから、[監視]-[設定]をクリックして「設定」画面を表示します。その後、「ノード」画面下部の[タスク]をクリックしてタスク一覧を表示し、[全てのユーザのタスクを表示]チェックボックスにチェックを入れることでアクションの実行結果を確認することができます。なお、自動監視によって実行されたタスクの[実行ユーザ]は空欄で表示されます。

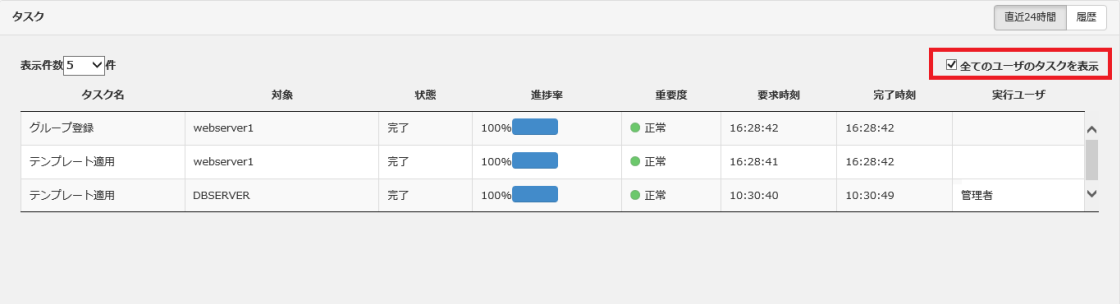


図 17-200　自動監視ルールの実行結果の確認

タスク一覧の詳細については「17.1.12　タスク(267 ページ)」を参照してください。

注

同じ業務グループに複数のサーバが同時に作成されたときに、自動監視ルールの[ノード画面のグループの移動]アクションが実行されると、同じグループが「ノード」画面のグループツリー上に作成される場合があります。その場合には「ノード」画面にて一方のグループにノードを移動させて、もう一方の重複したグループを削除してください。

ノードの移動方法については以下を参照してください。

- 「17.1.8　ノードの移動(256 ページ)」

グループの削除方法については以下を参照してください。

- 「17.1.7　グループの削除(255 ページ)」

17.4.5　メール通報

本項ではメール通報設定を表示するための「メール通報」画面について説明します。

メニューから、[監視]-[設定]-[メール通報]タブをクリックすることにより、「メール通報」画面が表示されます。



図 17-201　「メール通報」画面

表 17-132　項目一覧（「メール通報」画面）

項目名	説明
表示件数	一覧に表示されるメール通報設定の 1 ページ当たりの表示件数です。 表示件数は 5,10,50,100 のいずれかから選択可能です。
検索フィールド	メール通報設定名、または、送信先(TO)を検索します。入力した文字列がメール通報設定名または、送信先(TO)に含まれる行のみ抽出されます。
追加ボタン	メール通報設定を追加します。詳細は「17.4.5.1　メール通報設定の追加・変更(391 ページ)」を参照してください。

項目名	説明
削除チェックボックス	チェックボックスをオンにすると、メール通報設定の削除操作ができるようになります。詳細は「17.4.5.2　メール通報設定の削除(395 ページ)」を参照してください。

また、「メール通報」画面のアクション一覧に表示されているメール通報設定を選択すると、メール通報詳細が表示されます。

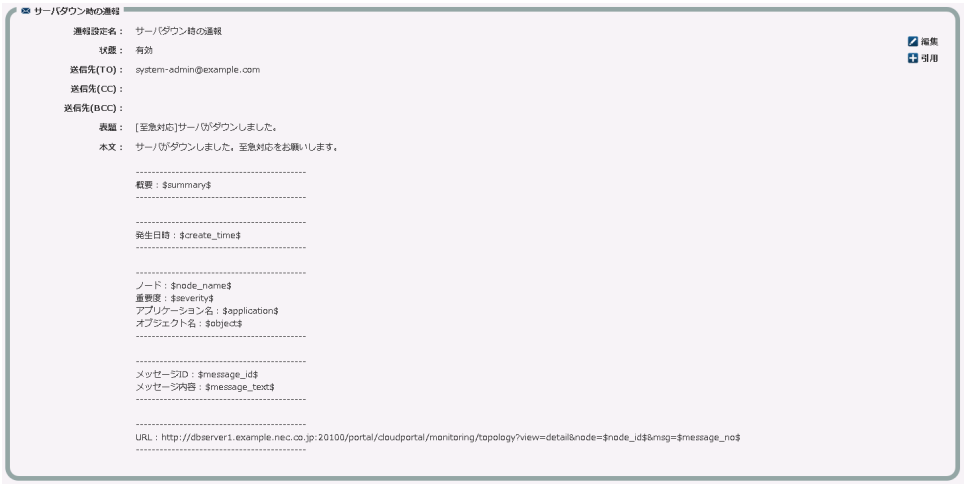


図 17-202　「メール通報」画面 メール通報詳細

表 17-133　項目一覧（「メール通報」画面 メール通報詳細）

項目名	説明
通報設定名	メール通報の定義名を表示します。
状態	メール通報設定の状態を表示します。 有効:メール通報設定として有効であることを示します。 無効:メール通報設定として無効であることを示します。
送信先(TO)	メール通報時の送信先(TO)メールアドレスを表示します。 設定されたメールアドレスが複数ある場合は ″,″(カンマ)で区切って表示します。
送信先(CC)	メール通報時の送信先(CC)メールアドレスを表示します。 設定されたメールアドレスが複数ある場合は ″,″(カンマ)で区切って表示します。
送信先(BCC)	メール通報時の送信先(BCC)メールアドレスを表示します。 設定されたメールアドレスが複数ある場合は ″,″(カンマ)で区切って表示します。
表題	送信するメールの表題を表示します。
本文	送信するメールの本文を表示します。
編集ボタン	メール通報設定を編集します。詳細は「17.4.5.1　メール通報設定の追加・変更(391 ページ)」を参照してください。
引用ボタン	詳細表示中のメール通報設定を引用してメール通報設定を追加します 詳細は「17.4.5.1　メール通報設定の追加・変更(391 ページ)」を参照してください。 追加したメール通報設定は、引用元のメール通報設定の一つ上に挿入されます。

17.4.5.1　メール通報設定の追加・変更

本項ではメール通報設定の追加方法について説明します。

「メール通報」画面にて[追加]をクリックする、または「メール通報」画面にてアクションを選択し、[引用]をクリックすることにより、「メール通報登録」画面を表示します。[引用]を選択した場合、各項目の入力フィールドには選択したアクションの項目がセットされた状態で表示されます。

「メール通報」画面にてアクションを選択し、[編集]をクリックすることにより、「メール通報変更」画面を表示します。

メール通報設定を行う場合、メール通報に利用する SMTP サーバ情報をあらかじめ設定しておく必要があります。

「環境構築ガイド」の「通報メールサーバー設定ファイル(msc_report_mail_server.properties)」を参照し、利用するメールサーバの情報を設定してください。

利用するメールサーバは必ずデフォルト設定(mail_server{n}.default=on)をしてください。



図 17-203　「メール通報」画面 追加ボタン



図 17-204　「メール通報」画面 編集、引用ボタン

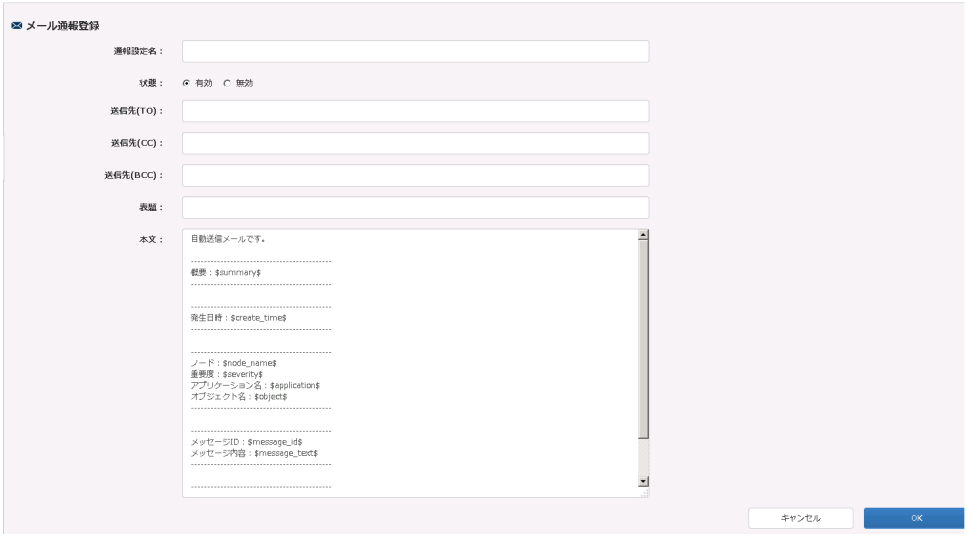


図 17-205　「メール通報登録」画面

表 17-134　項目一覧（「メール通報登録」画面 ）

項目名	必須	説明
通報設定名	○	メール通報設定の名前を 64 文字以内で入力します
状態	○	[有効]を指定した場合、メール通報設定の状態を有効とします。 [無効]を指定した場合、メール通報設定の状態を無効とします。
送信先(TO)		送信先(TO)のメールアドレスを指定します。 複数の通報先を指定する場合は カンマ、または空白文字(半角スペース、改行、タブ)で区切ってください。 1 つのメールアドレスは 256 文字以内、全体で 768 文字以内で指定してください(文字数にはカンマ、空白文字を含みます)。 メールアドレスは電子メールアドレス形式(local-part@domain)である必要があります。
送信先(CC)		送信先(CC)のメールアドレスを指定します。 複数の通報先を指定する場合は カンマ、または空白文字(半角スペース、改行、タブ)で区切ってください。 1 つのメールアドレスは 256 文字以内、全体で 768 文字以内で指定してください(文字数にはカンマ、空白文字を含みます)。 メールアドレスは電子メールアドレス形式(local-part@domain)である必要があります。
送信先(BCC)		送信先(BCC)のメールアドレスを指定します。 複数の通報先を指定する場合は カンマ、または空白文字(半角スペース、改行、タブ)で区切ってください。 1 つのメールアドレスは 256 文字以内、全体で 768 文字以内で指定してください(文字数にはカンマ、空白文字を含みます)。 メールアドレスは電子メールアドレス形式(local-part@domain)である必要があります。
表題		メールの表題を 128 文字以内で指定します 置換文字列が指定可能です。置換文字列を指定する場合は、実際に展開される文字数を考慮してください。
本文		メールの本文を 8192 文字以内で指定します。 「表 17-135　項目一覧(置換文字列) (393 ページ)」が指定可能です。置換文字列を指定する場合は、実際に展開される文字数を考慮してください。

項目名	必須	説明
		SystemManager G Manager によって通報されたメール本文から、メール通報される契機となったメッセージの、詳細ページにアクセスできます。メール本文の設定として以下の URL を指定してください。設定例の「<change host!>:<change port!>」については、SystemManager G Manager のホスト名、およびポート番号(既定値:12080)に適宜修正してください。 • 設定例1: ノード画面 メッセージ詳細への URL `http://<change host!>:<change port!>/portal/cloudportal/monitoring/topology?view=detail&node=$node_id$&msg=$message_no$` URL のクエリに指定できる各パラメータにつきましては、「17.1　ノード(247 ページ)」を参照してください • 設定例2: メッセージ画面のメッセージ詳細への URL(別途ライセンスが必要です) `http://<change host!>:<change port!>/portal/cloudportal/monitoring/business?view=detail&category=$business_node_id$&msg=$message_no$` URL のクエリに指定できる各パラメータにつきましては、「17.2　メッセージ(270 ページ)」を参照してください

表 17-135　項目一覧（置換文字列）

置換文字	説明
$message_id$	メッセージ ID
$definition_code$	メッセージ定義
$tenant_id$	テナント ID
$severity$	重要度
$create_time$	発生日時
$system_name$	システム名
$node_id$	ノード ID
$node_type$	ノード種別
$node_name$	ノード名
$object$	オブジェクト
$summary$	メッセージ概要
$message_no$	メッセージ番号
$receive_time$	受信日時
$message_text$	メッセージ本文
$business_node_id$	通報が発生する契機となったフィルタに設定されていたビジネスカテゴリノード ID。ノードの通報フィルタの場合には指定する事はできません。

メールの本文に「ノード」画面、「メッセージ」画面への URL に指定する場合に利用できる URL パラメータになります。

表 17-136　「ノード」画面 URL パラメータ

URL パラメータ	有効値	説明
view	list detail status status_count status_list msg	該当 URL にアクセスした際にデフォルトで表示状態となるパネルを指定します。未指定または view 指定が無効の場合、ノード一覧パネルのみ表示状態となります。 • list:ノード一覧パネルを表示します。 • detail:ステータスパネルとメッセージパネルを表示します。group または node の指定が必須となります。(未指定の場合、view 指定が無効となります。) • status:ステータスパネルのみを表示します(重要度の件数とステータス一覧を表示)。group または node の指定が必須となります。(未指定の場合、view 指定が無効となります。) • status_count: ステータスパネルのみを表示します(重要度の件数のみ表示)。group または node の指定が必須となります。(未指定の場合、view 指定が無効となります。)ダッシュボードでウィジェットを追加する場合にのみ有効となります。 • status_list: ステータスパネルのみを表示します(ステータス一覧のみ表示)。group または node の指定が必須となります。(未指定の場合、view 指定が無効となります。)ダッシュボードでウィジェットを追加する場合にのみ有効となります。 • msg:メッセージパネルのみを表示します。group または node が未指定の場合、すべてのメッセージを表示します。
group	グループ ID	ステータスパネル、メッセージパネルを表示する場合の表示対象のグループを指定します。ノード一覧パネルを表示する場合は指定しても無視されます。
node	ノード ID	ステータスパネル、メッセージパネルを表示する場合の表示対象のノードを指定します。ノード一覧パネルを表示する場合は指定しても無視されます。
auto	on	自動更新を行いたい場合に指定します。指定がない、または on 以外の不正な値を指定した場合は自動更新されません。

「ノード」画面の URL を指定した例として、view の URL パラメータに対して msg を指定し、node の URL パラメータにノード ID を指定した場合の画面を以下に記載します。



図 17-206　URL パラメータ利用時の「ノード」画面の例

表 17-137　「メッセージ」画面 URL パラメータ

URL パラメータ	有効値	説明
view	list list_count list_list detail msg	表示するパネルを指定します。未指定または view 指定が無効の場合、カテゴリ一覧パネルのみ表示します。 • list:カテゴリ一覧パネルと重要度別メッセージ件数一覧パネルを表示します。 • list_count: 重要度別メッセージ件数一覧パネルのみ表示します。category の指定が必須となります。(未指定の場合、view 指定が無効となります。)ダッシュボードでウィジェットを追加する場合にのみ有効となります。 • list_list: カテゴリ一覧のみ表示します。ダッシュボードでウィジェットを追加する場合にのみ有効となります。 • detail:カテゴリ一覧パネルと重要度別メッセージ件数一覧パネル、メッセージ一覧パネルを表示します。category の指定が必須となります。(未指定の場合、view 指定が無効となります。) • msg:メッセージ一覧パネルのみ表示します。category の指定が必須となります。(未指定の場合、view 指定が無効となります。)
category	カテゴリ	重要度別メッセージ件数一覧パネル、メッセージ一覧パネルを表示する場合の表示対象のカテゴリの ID を指定します。
auto	on	自動更新を行いたい場合に指定します。指定がない、または on 以外の不正な値を指定した場合は自動更新されません。

「メッセージ」画面の URL を指定した例として、view の URL パラメータに対して msg を指定し、category の URL パラメータに置換文字列の$business_node_id$を指定した場合の画面を以下に記載します。



図 17-207　URL パラメータ利用時の「メッセージ」画面の例

17.4.5.2　メール通報設定の削除

本項ではメール通報設定の削除方法について説明します。

「メール通報」画面にて[削除]をチェックすることにより、削除操作が可能になります。

メール通報一覧の削除対象にチェックし、[削除]ボタンをクリックすることにより「メール通報削除」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしメール通報設定を削除します。

注

フィルタのアクション定義に設定されているメール通報設定も削除できます。 削除した場合、フィルタのアクション定義画面には、「削除済み」と表示され メール通報は行われません。

フィルタのアクション定義については、以下を参照してください。

- 「17.1.10　通報フィルタの設定(258 ページ)」
- 「17.2.10　フィルタの追加・変更(287 ページ)」



図 17-208　「メール通報」画面 削除チェックボックス

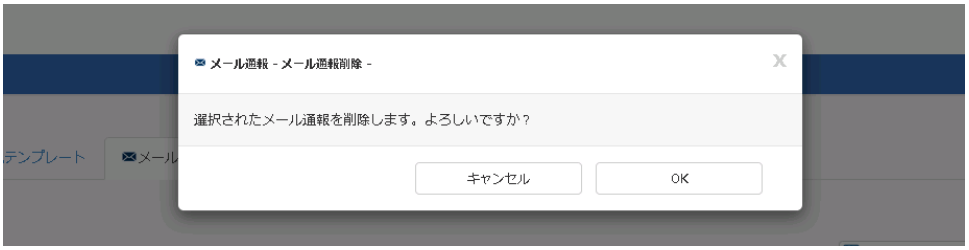


図 17-209　「メール通報削除」ダイアログ

17.4.6　コマンド

本項ではコマンド設定を表示するための「コマンド」画面について説明します。

メニューから、[監視]-[設定]-[コマンド]タブをクリックすることにより、「コマンド」画面が表示されます。

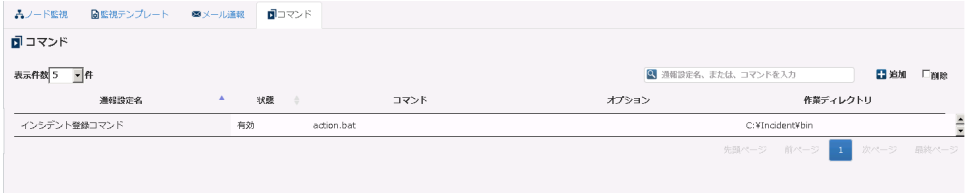


図 17-210　「コマンド」画面

表 17-138　項目一覧（「コマンド」画面）

項目名	説明
表示件数ボタン	一覧に表示されるコマンド設定の 1 ページ当たりの表示件数です。

項目名	説明
	表示件数は 5,10,50,100 のいずれかから選択可能です。
検索フィールド	コマンド通報設定、または、コマンドを検索します。入力した文字列がコマンド通報設定、または、コマンドに含まれる行のみ抽出されます。
追加ボタン	コマンド設定を追加します。詳細は「17.4.6.1　コマンド設定の追加・変更 (397 ページ)」を参照してください。
削除チェックボックス	チェックボックスをオンにすると、コマンド設定の削除操作ができるようになります。詳細は「17.4.6.2　コマンド設定の削除 (400 ページ)」を参照してください。

また、「コマンド」画面のコマンド一覧に表示されているコマンド設定を選択すると、コマンド設定詳細が表示されます。



図 17-211　「コマンド通報」画面 コマンド設定詳細

表 17-139　項目一覧（「コマンド」画面 コマンド設定詳細）

項目名	説明
通報設定名	通報設定名を表示します。
状態	コマンド設定の状態を表示します。 有効:コマンド設定として有効であることを示します。 無効:コマンド設定として有効であることを示します。
コマンド	コマンド設定として登録されているコマンドを表示します。
オプション	コマンド設定として登録されているオプションを表示します。
作業ディレクトリ	コマンド設定として登録されている作業ディレクトリを表示します。
編集ボタン	コマンド設定を編集します。詳細は「17.4.6.1　コマンド設定の追加・変更 (397 ページ)」を参照してください。
引用ボタン	詳細表示中のコマンド設定を引用してコマンド設定を追加します 詳細は「17.4.6.1　コマンド設定の追加・変更 (397 ページ)」を参照してください。 追加したコマンド設定は、引用元のコマンド設定の一つ上に挿入されます。

17.4.6.1　コマンド設定の追加・変更

本項ではコマンド設定の追加方法について説明します。

「コマンド」画面にて[追加]をクリックする、または「コマンド」画面にてコマンド設定を選択し、[引用]をクリックすることにより、「コマンド登録」画面を表示します。[引用]を選択した場合、各項目の入力フィールドには選択したコマンド設定の項目がセットされた状態で表示されます。

「コマンド」画面にてコマンド設定を選択し、[編集]をクリックすることにより、「コマンド変更」画面を表示します。



図 17-212　「コマンド」画面 追加ボタン



図 17-213　「コマンド」画面 編集、引用ボタン



図 17-214　「コマンド登録」画面

表 17-140　項目一覧（「コマンド登録」画面 ）

項目名	必須	説明
通報設定名	○	コマンド設定の名前を 64 文字以内で入力します
状態	○	[有効]を指定した場合、コマンド設定の状態を有効とします。 [無効]を指定した場合、コマンド設定の状態を無効とします。
コマンド	○	実行するコマンドを絶対パスまたは相対パスで指定します。256 文字以内で指定してください。 相対パスの場合は、作業ディレクトリからの相対パスで指定します。 コマンドは WebConsole Option をインストールしたマシンに存在する必要があります。 パスに空白が含まれる場合でも、ダブルクォーテーション「""」で囲まずに指定します。 置換文字列が指定可能です。置換文字列を指定する場合は、実際に展開される文字数を考慮してください。 なお、起動するコマンドの標準出力・エラー出力の文字コードは UTF-8 である必要があります。 コマンドの標準出力・エラー出力の文字コードは UTF-8 ではない場合、コマンドの出力結果は取得されません。
オプション		コマンドを実行する際の引数を指定します。2048 文字以内で指定してください。 置換文字列が指定可能です。置換文字列を指定する場合は、実際に展開される文字数を考慮してください。
作業ディレクトリ		コマンドを実行する際の作業ディレクトリを絶対パスで指定します。256 文字以内で指定してください。 パスに空白が含まれる場合でも、ダブルクォーテーション「""」で囲まずに指定します。

項目名	必須	説明
		置換文字列が指定可能です。置換文字列を指定する場合は、実際に展開される文字数を考慮してください。 指定がない場合、作業ディレクトリとして下記のディレクトリを使用します。 <WebConsole-install-path>¥bin

表 17-141　項目一覧（置換文字列）

置換文字	説明
$message_id$	メッセージ ID
$definition_code$	メッセージ定義
$tenant_id$	テナント ID
$severity$	重要度
$create_time$	発生日時
$system_name$	システム名
$node_id$	ノード ID
$node_type$	ノード種別
$node_name$	ノード名
$object$	オブジェクト
$summary$	メッセージ概要
$message_no$	メッセージ番号
$receive_time$	受信日時
$message_text$	メッセージ本文
$business_node_id$	通報が発生する契機となったフィルタに設定されていたビジネスカテゴリノード ID。ノードの通報フィルタの場合には指定する事はできません。

Windows で C:¥tmp を実行ディレクトリとして以下のコマンドを実行する場合の例を示します。

```
C:¥Program Files¥Scripts¥Action.bat Error Recovery
```

表 17-142　項目一覧（「コマンド登録」画面 Windows の例）

項目名	説明
通報設定名	Windows アクション
状態	有効
コマンド	C:¥Program Files¥Scripts¥Action.bat
オプション	Error Recovery
作業ディレクトリ	C:¥tmp

UNIX で/tmp を実行ディレクトリとして以下のコマンドを実行する場合の例を示します。

```
/usr/local/bin/action.sh -s error -m recovery
```

表 17-143　項目一覧（「コマンド登録」画面 UNIX の例）

項目名	説明
通報設定名	UNIX アクション
状態	有効
コマンド	/usr/local/bin/action.sh
オプション	-s error -m recovery
作業ディレクトリ	/tmp

項目の入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックして登録します。

[キャンセル]ボタンをクリックした場合、入力内容は破棄して「コマンド」画面に戻ります。

注

パトライト通報を行う場合、パトライトコマンドをコマンド登録してください。

17.4.6.2　コマンド設定の削除

本項ではコマンド設定の削除方法について説明します。

「コマンド」画面にて[削除]をチェックすることにより、削除操作が可能になります。

コマンド一覧の削除対象にチェックし、[削除]ボタンをクリックすることにより「コマンド削除」ダイアログが表示されます。[OK]をクリックしコマンド設定を削除します。

注

フィルタのアクション定義に設定されているコマンド設定も削除できます。 削除した場合、フィルタのアクション定義画面には、「削除済み」と表示され コマンドの実行は行われません。

フィルタのアクション定義については、以下を参照してください。

- 「17.1.10　通報フィルタの設定(258 ページ)」
- 「17.2.10　フィルタの追加・変更(287 ページ)」



図 17-215　「コマンド」画面 削除チェックボックス



図 17-216　「コマンド削除」ダイアログ

第 18 章
リソース管理

目次

18.1 リソース状況 403
18.2 トポロジー表示 404
18.3 サーバ管理(利用者) 406
18.4 運用作業履歴(利用者) 416

本章では、リソース管理メニューについて説明します。

リソース管理メニューには、以下の機能があります。

- リソース状況　：　リソースプールの状況確認を行う
- サーバ管理　：　サーバの確認や管理を行う
- 運用作業履歴　：　運用作業履歴を確認する

18.1　リソース状況

リソースプール状況を表示します。

また、各リソースプールが保持しているリソースの消費情報を確認することができます。

18.1.1　リソース状況の確認

メニューから、「リソース管理」－「リソース状況」をクリックすることにより、リソース状況画面を表示します。

リソースプールツリーのリソースプールをクリックすることにより、右枠にリソースプール詳細が表示されます。

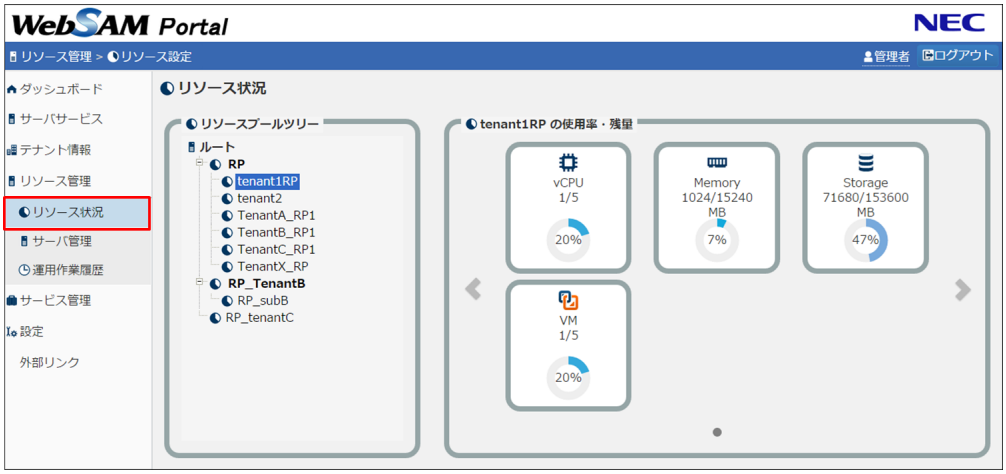


図 18-1　リソース状況画面

表 18-1　項目一覧（リソース状況）

項目名	説明
リソースプールツリー	リソースプール一覧 クリックで選択およびリソース消費情報を表示する
リソーススライダー	スライダーで各リソースを表示する
リソース名	リソース名 ※リソース名の横に旗マークがあるリソースは専有リソースを表す
リソース使用値	リソースの使用値を以下の形式で表示する 使用値／総量
リソース単位	リソースの単位

項目名	説明
リソース使用率(円グラフ)	リソースの使用率を円グラフで表示する

18.2　トポロジー表示

ネットワーク(「テナント管理 LAN(管理 LAN)」、「論理ネットワーク」)と、サーバの配置をグラフィカルに表現し、その構成を容易に把握できるようにする機能です。

メニューから、「リソース管理」－「トポロジー」をクリックすることにより、自テナント(システム管理者の場合は代行テナント)のトポロジーを表示します。

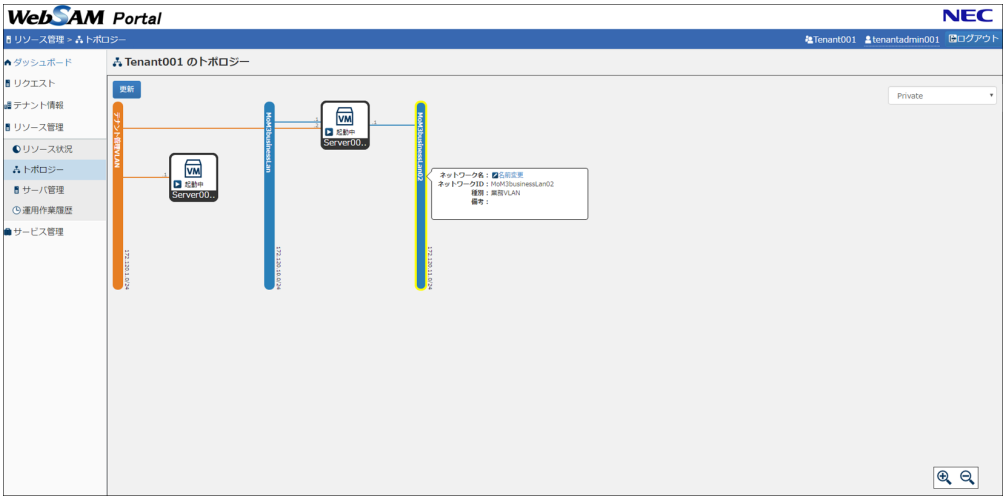


図 18-2　トポロジー

表 18-2　トポロジー

項目名	説明
更新	トポロジー図を再表示する
ロケーション選択	トポロジーを表示するロケーションを選択する WebSAM vDC Automation ポータルでは"Private"のみ選択可能
①ネットワーク	ネットワーク表示名、ネットワークアドレス・ネットワークマスクを表示する クリックすることでツールチップに以下を表示する 専有ネットワークに限り、「名前変更」から表示名を変更することが可能（「18.2.1　ネットワーク表示名の変更(405 ページ)」を参照） ・ネットワーク名 ・ネットワーク ID ・種別 ・備考 ・名前変更
②サーバ	サーバ名とサーバの電源状態を表示する クリックすることでツールチップに以下を表示する ・サーバ名:クリックすることによりサーバ詳細画面を表示する

項目名	説明
	・種別 ・OS 名 ・状態※1 ・CPU 数 ・メモリ ・ディスク ・備考
③サーバとネットワークの結線	結線先のネットワークの種別により色分けし、IP アドレスを表示する※2
④拡大（＋）	トポロジー図を拡大するボタン※3
⑤縮小（－）	トポロジー図を縮小するボタン※3

※1 状態の詳細については「表 18-5　項目一覧（サーバ一覧検索画面）（407 ページ）」の「状態」を参照してください。

※2 結線上のサーバ IP アドレスはネットワークアドレスとの差分のみ表示されます。

※3 ブラウザの問題により拡大・縮小操作をすると意図せぬ余白が表示される場合があります。このような場合、拡大率を 100%に戻してください。

なお、サーバ一覧で「その他」の状態はトポロジーでは「不明」と表示されます。

18.2.1　ネットワーク表示名の変更

テナント管理者は専有しているネットワーク名を任意の名前に変更することが可能です。変更方法を以下に示します。

1. メニューから、「リソース管理」－「トポロジー」をクリックし、表示名を変更する専有ネットワークをクリックします。

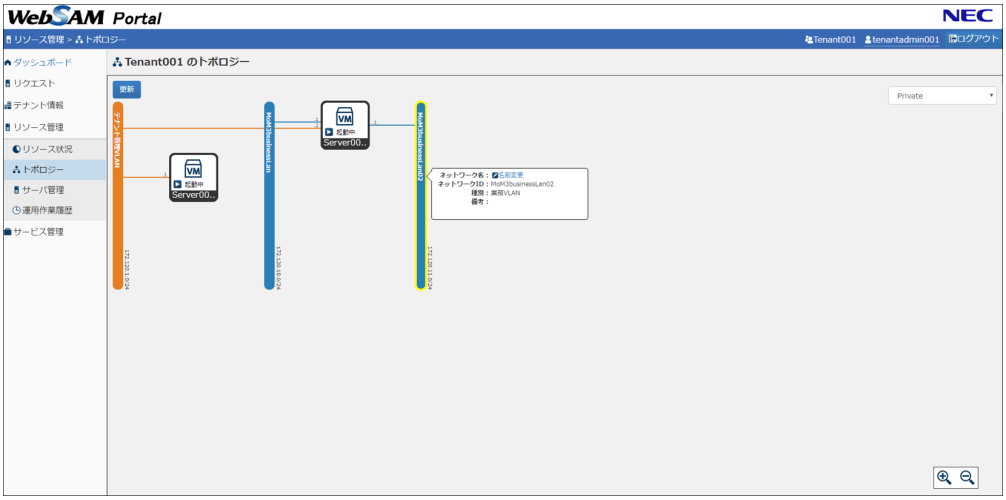


図 18-3　トポロジー

2. ネットワーク表示名変更ダイアログが表示されます。任意の表示名を入力し、「変更」ボタンをクリックすることにより、ネットワーク表示名を変更します。



図 18-4　ネットワーク名変更画面

表 18-3　ネットワーク名変更画面

項目名	説明
ネットワーク名	制御文字以外で最大 32 文字設定可能 空白で更新した場合は表示名を削除し、初期値である論理ネットワーク名を表示する
キャンセル	変更を破棄しトポロジー表示画面に戻る クリックすることでツールチップに以下を表示する
変更	ネットワーク名変更を確定し、トポロジー表示画面に戻る

18.3　サーバ管理（利用者）

本節では、サーバ管理メニューについて説明します。

サーバ管理メニューでは、登録されたサーバの確認、管理をおこないます。

18.3.1　サーバー覧

メニューから、[リソース管理]－[サーバ管理]をクリックすることにより、サーバー覧画面を表示します。

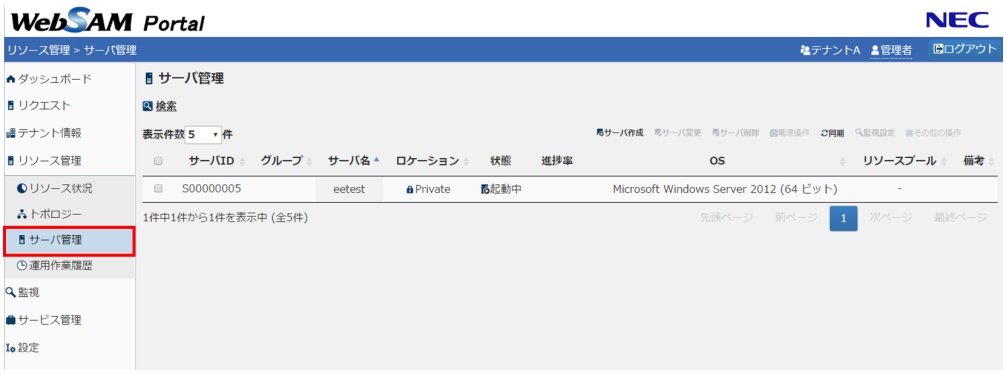


図 18-5　サーバー覧画面

表 18-4　項目一覧（サーバ一覧画面）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
サーバ作成	サーバ作成(入力)画面を表示する ※複数選択操作不可
サーバ変更	サーバ変更(入力)画面を表示する ※複数選択操作不可
サーバ削除	サーバ削除(確認)画面を表示する ※複数選択操作不可
電源操作	以下の電源操作が可能 選択すると各種ダイアログが表示される ・起動 ・シャットダウン ・電源オフ ・再起動
同期	サーバ一覧の情報を同期する
その他の操作	バックアップ 他操作 A 他操作 B ・ ・ ・
サーバ一覧	サーバ一覧を表示する 一覧の[状態]がエラーとなっている場合、[エラー]リンクをクリックすることにより、エラーメッセージが表示される

サーバを検索する場合は、サーバ一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 18-5　項目一覧（サーバ一覧検索画面）

項目名	説明
テナント名	テナント名
サーバ ID	サーバ ID
サーバ名	サーバ名
状態（複数選択可）	・起動中 ・停止中 ・電源オフ中 ・再起動中 ・サスペンド ・その他 ・削除済み ・エラー を選択する
OS	OS

項目名	説明
備考	備考
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

18.3.2　サーバを作成する

サーバ一覧画面にて[サーバ作成]をクリックすることによりサーバ作成(入力)画面が表示されます。

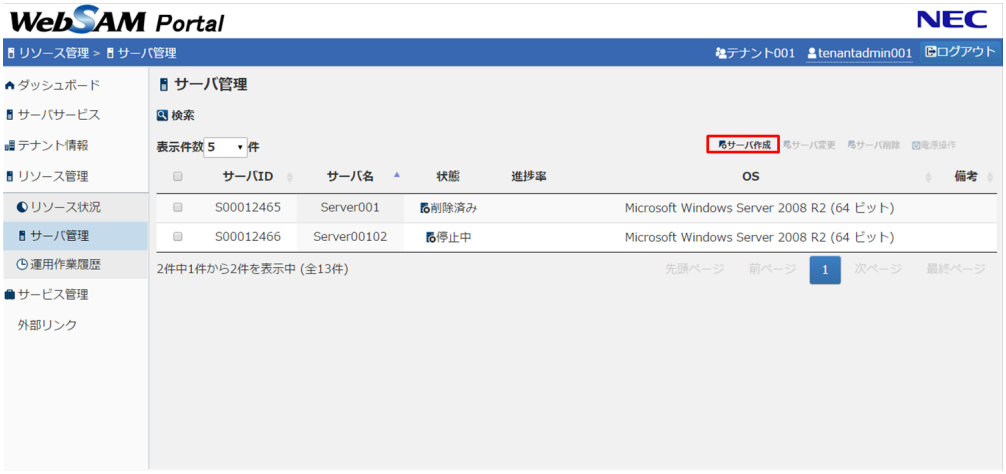


図 18-6　サーバー覧画面（作成）

作成手順については、「15.1.2　リクエストを作成する(203 ページ)」の[サーバ作成時]を参照してください。

18.3.3　サーバの詳細情報を確認する

サーバ一覧の確認したいサーバ列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。

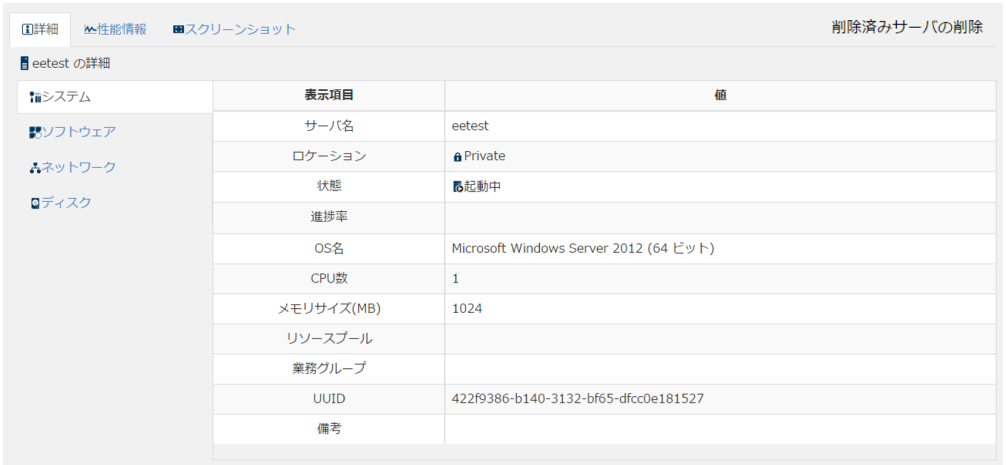


図 18-7　サーバ詳細画面

詳細情報では以下の情報が確認できます。

●詳細タブ

- システム
- ソフトウェア
- ネットワーク
- ディスク

●性能情報タブ

●スクリーンショットタブ

18.3.3.1　【詳細（システム）】

一覧からサーバをクリックした初期画面、または詳細画面表示中に[システム]タブをクリックすることにより、システム情報を表示します。

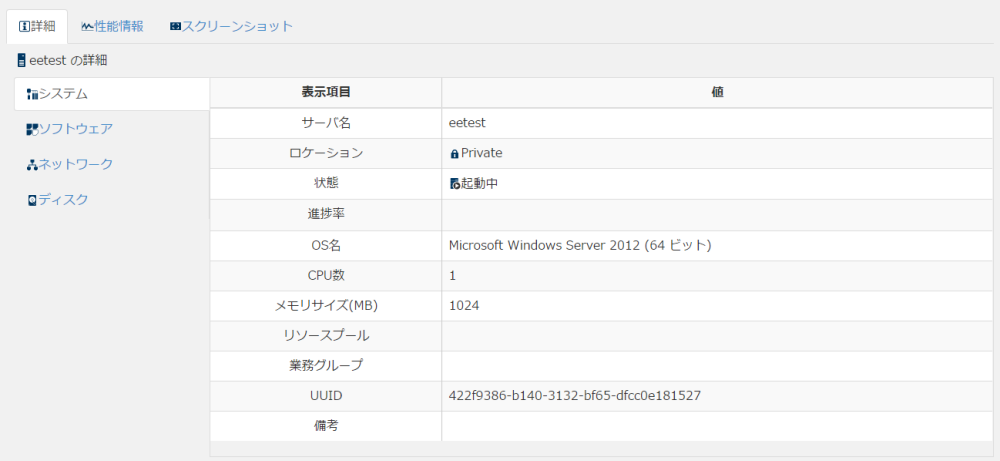


図 18-8　サーバ情報詳細画面（システム）

表 18-6　項目一覧（システム）

項目名	説明
サーバ名	サーバ名
ロケーション	当該サーバの所在地
状態	以下のいずれか 起動中 停止中 電源オフ中 再起動中 サスペンド 削除済み
進捗率	上記の状態に対する進捗率
OS 名	OS 名
CPU 数	CPU 数
メモリサイズ(MB)	メモリサイズ を MB で表示する

項目名	説明
リソースプール	リソースプール名
業務グループ※	業務グループ名
UUID	サーバの UUID
備考	備考

※ WebSAM vDC Automation ポータルでは、業務グループ名の取得・表示はできません。

18.3.3.2　【詳細（ソフトウェア）】

一覧からサーバをクリックした初期画面、または詳細画面表示中に[ソフトウェア]タブをクリックすることにより、ソフトウェア情報を表示します。



図 18-9　サーバ情報詳細画面（ソフトウェア）

表 18-7　項目一覧（ソフトウェア）

項目名	説明
ソフトウェア名	選択したソフトウェア名
バージョン	ソフトウェアのバージョン
種類	ソフトウェアの種類を表示する 以下のいずれか ・アプリケーション ・パッチ

18.3.3.3　【詳細（ネットワーク）】

詳細画面表示中に[ネットワーク]タブをクリックすることにより、ネットワーク情報を表示します。



図 18-10　サーバ情報詳細画面（ネットワーク）

表 18-8　項目一覧（ネットワーク）

項目名	説明
インターフェース名	インターフェース名
IP アドレス	IP アドレス
MAC アドレス	MAC アドレス

18.3.3.4　【詳細（ディスク）】

詳細画面表示中に[ディスク]タブをクリックすることにより、ディスク情報を表示します。



図 18-11　サーバ情報詳細画面（ディスク）

表 18-9　項目一覧（ディスク）

項目名	説明
スロット	ディスク位置
タイプ	ディスクの種類 ・システムディスク ・拡張ディスク
ディスクタイプ	ディスクタイプ ・Thin ディスク

項目名	説明
	・Thick ディスク
ディスクファイル名	LUN 名またはディスクファイル名
総量(KB)	総量を KB で表示する

18.3.3.5　【性能情報】

一覧からサーバをクリックし、詳細画面表示中に[性能情報]タブをクリックすることにより、性能情報を表示します。

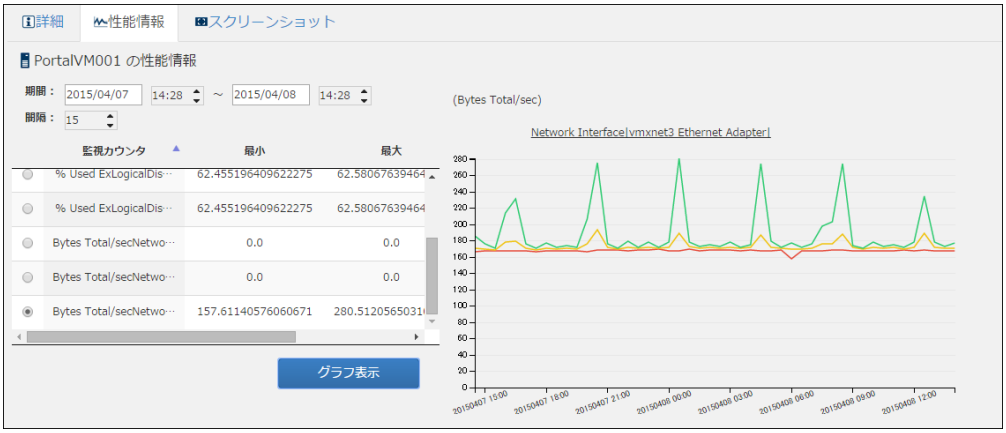


図 18-12　性能情報画面

表 18-10　項目一覧（ソフトウェア）

項目名	説明
期間	サーバ性能情報を表示する期間を設定する
間隔	グラフ情報を取得する間隔を設定する (1-1440 まで　単位:分)
カウンター覧	
監視カウンタ	グラフ表示可能なカウンタ名 ラジオボタンにて表示するカウンタを選択する
最小	最小グラフの最小値を表示する
最大	最大グラフの最大値を表示する
平均	平均グラフの平均値を表示する
グラフ表示	すべての最小、最大、平均をクリアする 期間、間隔、選択中のカウンタの性能情報を取得し、更新してグラフ表示する
性能グラフ	カウンター一覧で選択されたカウンタのグラフを表示する マウスオーバーすることにより、以下を表示する ・カウンタ値 ・プロット値 ・当該グラフの最小、最大、平均値 X 軸は日時、Y 軸は単位値を表示する

18.3.3.6　【スクリーンショット】

一覧からサーバをクリックし、詳細画面表示中に[スクリーンショット]タブをクリックすることにより、サーバのスクリーンショットを表示します。

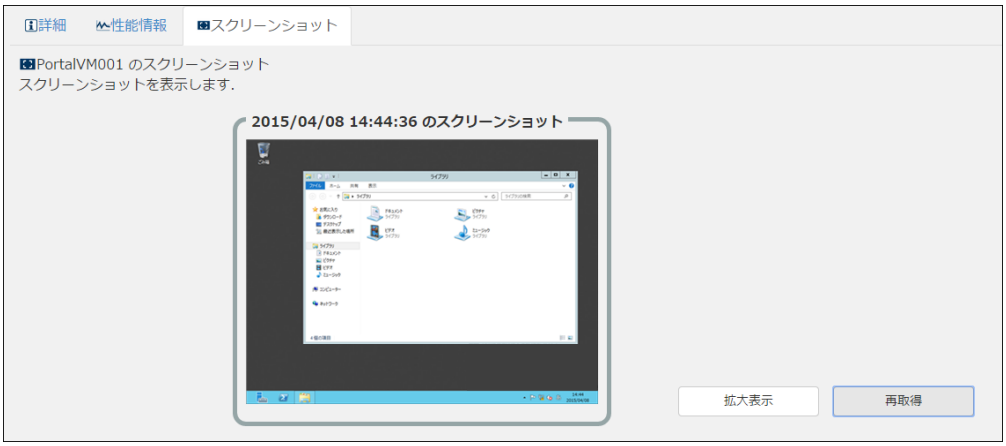


図 18-13　スクリーンショット画面

表 18-11　項目一覧（スクリーンショット）

項目名	説明
スクリーンショット画像	[スクリーンショット]タブ押下時、または[再取得]ボタン押下時に取得したスクリーンショットを表示する 画像をクリックすることで拡大表示する
拡大表示	スクリーンショットを拡大表示する 拡大表示後は[閉じる]ボタンでダイアログを閉じる
再取得	再度スクリーンショットを取得して表示する

18.3.3.7　【付加情報】

一覧からサーバをクリックし、詳細画面表示中に[付加情報]タブをクリックすることにより、サーバの付加情報を表示します。

表示する付加情報については、「A.1　テンプレートに付加情報を表示する（451 ページ）」を参照してください。

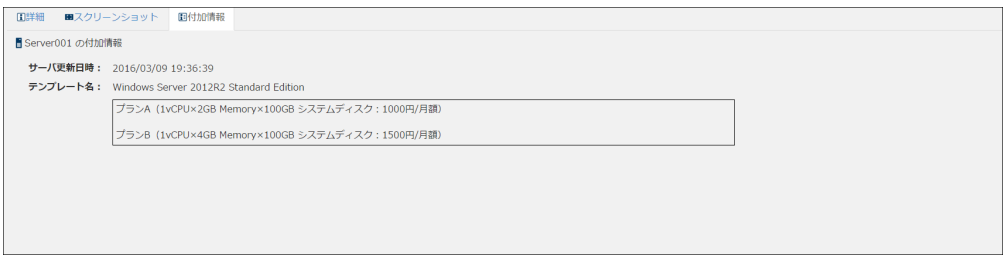


図 18-14　付加情報画面

表 18-12　項目一覧（付加情報）

項目名	説明
サーバ作成日時	リクエスト完了日時

項目名	説明
テンプレート名	設定ファイルに設定されたテンプレートの表示名
付加情報	設定ファイルに設定されたテンプレートの付加情報を表示する ※付加情報が設定されていない場合は非表示

18.3.4　サーバ構成を変更する

サーバ一覧画面にて対象サーバにチェック後、[サーバ変更]をクリックすることによりサーバ変更(入力)画面が表示されます。



図 18-15　サーバー覧画面（変更）

変更手順については、「15.1.2　リクエストを作成する(203 ページ)」の[サーバ変更時]を参照してください。

18.3.5　サーバを削除する

サーバ一覧画面にて対象サーバにチェック後、[サーバ削除]をクリックすることによりサーバ削除(確認)画面が表示されます(複数選択可能)。



図 18-16　サーバー覧画面（削除）

削除手順については、「15.1.2　リクエストを作成する(203 ページ)」の[サーバ削除時]を参照してください。

18.3.6　サーバの電源を操作する

電源操作方法について以下に示します。

1. 一覧にて対象のサーバにチェックし、[電源操作]をクリックします。



図 18-17　サーバー覧画面

2. 電源操作ダイアログが表示されます。各操作を選択することにより、確認ダイアログが表示されます。

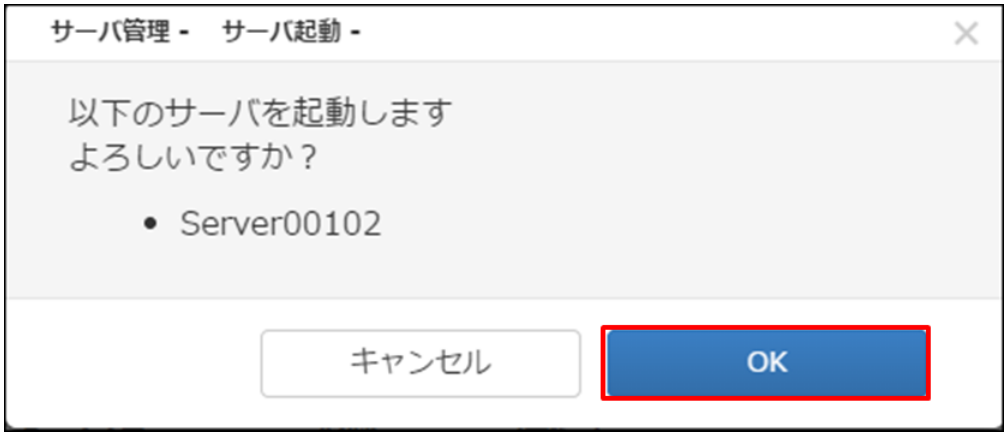


図 18-18　電源操作ダイアログ（起動の場合）

3. [OK]ボタンを押下することにより、選択した操作を実行します。なお、実行した操作の進捗をサーバ詳細画面の[システム]タブにて確認することができます。

18.3.7　サーバー覧を同期する

[同期]をクリックすることにより、ポータル以外から作成されたサーバの情報をサーバ一覧に取り込めます。

また、一覧に存在するサーバの構成情報をポータル以外から操作したことにより乖離してしまった情報を更新することがきます。



図 18-19　サーバー覧 同期ボタン

注

- 同期機能によって取り込まれたサーバは、ポータルから変更・削除することができません。
- 同期機能によって取り込まれたサーバは、サーバ一覧画面の詳細情報で表示できる項目に違いがあります。

詳細は「10.2.2　サーバの詳細情報を確認する(127 ページ)」を参照してください。

- 同期ボタンではサーバの電源状態は更新されません。

18.4　運用作業履歴（利用者）

運用作業履歴では、自テナントのサーバ電源操作履歴を参照できます。

18.4.1　運用作業履歴一覧（利用者）

メニューから、[リソース管理]－[運用作業履歴]をクリックすることにより、運用作業履歴一覧画面を表示します。

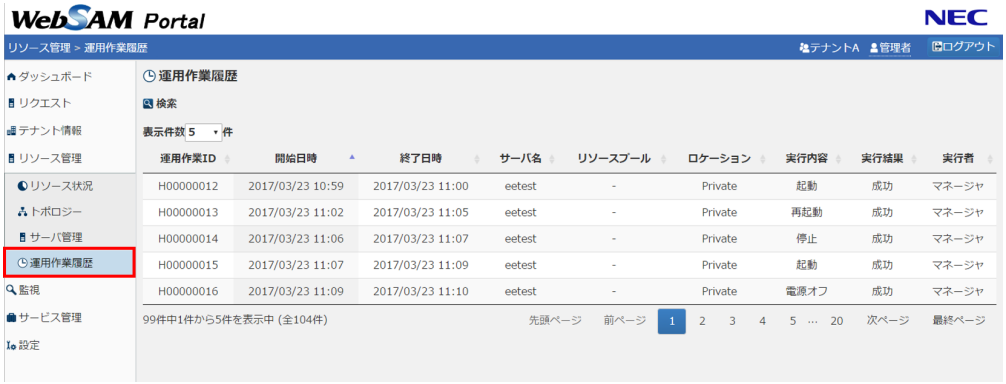


図 18-20　運用作業履歴一覧画面

表 18-13　項目一覧（運用作業履歴）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
運用作業履歴	運用作業履歴一覧を表示する

運用作業履歴を検索する場合は、運用作業履歴一覧画面の[検索]をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 18-14　項目一覧（運用作業履歴一覧検索画面）

項目名	説明
運用作業 ID	運用作業 ID ※複数サーバに対して操作を実施した場合は、同一の運用作業 ID とする
運用作業期間	運用作業期間
サーバ名	サーバ名
実行内容	以下の実行内容から選択する ・起動 ・シャットダウン ・電源オフ ・再起動 ・その他

項目名	説明
実行結果	実行結果を選択する ・成功 ・失敗
実行者	実行者
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

18.4.2　運用作業履歴の詳細情報を確認する（利用者）

運用作業履歴一覧の確認したい作業履歴列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。



図 18-21　運用作業履歴詳細画面

表 18-15　項目一覧（運用作業履歴詳細）

項目名	説明
運用作業 ID	運用作業 ID
開始日時	開始日時
終了日時	終了日時
サーバ名	サーバ名
リソースプール	当該サーバのリソースプール名
ロケーション	当該サーバの所在地
実行内容	以下のいずれかの実行内容を表示する ・サーバ起動 ・サーバシャットダウン ・サーバ電源オフ ・サーバ再起動 ・汎用オペレーションで設定した操作
実行結果	以下のいずれかの実行結果を表示する ・成功

項目名	説明
	・失敗
実行結果詳細	実行結果の詳細
実行者	実行者

第 19 章
お知らせ管理（利用者）

目次

19.1 お知らせ一覧(利用者) 420
19.2 お知らせを登録する(利用者) 420
19.3 お知らせの詳細情報を確認する(利用者) 422
19.4 お知らせの内容を変更する(利用者) 422
19.5 お知らせを削除する 423

本節では、お知らせ管理機能について説明します。

ダッシュボードにてテナント利用者に通知するお知らせを管理することができます。

テナント管理者のみ管理可能です。テナントユーザはお知らせを参照することができます。

19.1　お知らせ一覧（利用者）

メニューから、「サービス管理」－「お知らせ管理」をクリックすることにより、お知らせ一覧画面を表示します。

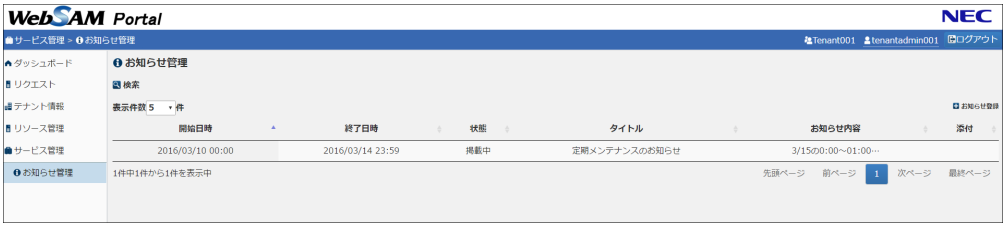


図 19-1　お知らせ管理画面

表 19-1　項目一覧（お知らせ一覧）

項目名	説明
表示件数	一覧の表示件数を変更する
お知らせ登録	お知らせ登録画面を表示する
お知らせ一覧	お知らせ一覧を表示する

お知らせを検索する場合は、お知らせ一覧画面の「検索」をクリックし、以下の項目から検索します。なお、文字列での検索は部分一致検索です。

表 19-2　項目一覧（お知らせ一覧検索画面）

項目名	説明
掲載期間	掲載期間
状態	状態のいずれか ・掲載終了 ・掲載中 ・未掲載
タイトル	タイトル
お知らせ内容	お知らせ内容
添付	添付ファイルの有無 ・あり ・なし
クリア	入力(指定)した値を初期値へ戻す
検索	ボタン押下で検索を実施する

19.2　お知らせを登録する(利用者)

お知らせの追加方法を以下に示します。

1. お知らせ一覧画面にて、「お知らせ登録」をクリックします。

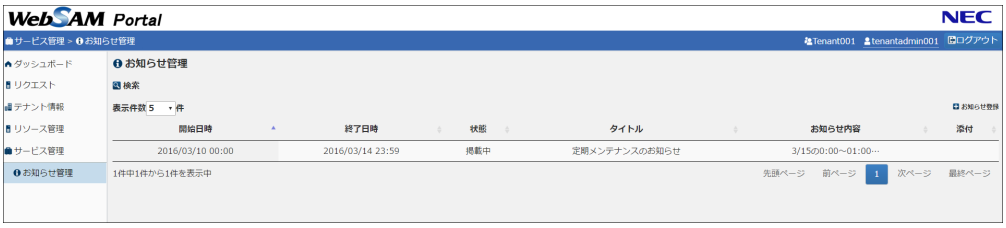


図 19-2　お知らせ一覧画面

2. お知らせ(入力)画面が表示されます。下記の表を参照し、各項目を入力後「確定」ボタンを押下します。



図 19-3　お知らせ登録（入力）画面

表 19-3　項目一覧（お知らせ登録）

項目名	入力規則	説明
開始日時	1970/01/01/ 00:00(UTC) ～ 2999/12/31 23:59(UTC)	開始日時を入力する。
終了日時	1970/01/01/ 00:00(UTC) ～ 2999/12/31 23:59(UTC)	終了日時を入力する。
タイトル	64 文字	タイトルを入力する
お知らせ内容	255 文字	お知らせ内容を入力する
添付ファイル	―	添付ファイル名を表示する
ファイルを選択	―	添付ファイルを選択するダイアログを表示する 添付ファイルは 10MB まで添付可能 ※0byte のファイルは添付できません

注

お知らせの添付ファイルに巨大なファイルを指定するとアップロード処理に非常に時間がかかります。10M バイト以上のファイルをアップロードしても登録はエラーになりますので 10M バイト以上のファイルを指定しないようにしてください。

3. お知らせが登録され、お知らせ登録(確認)画面が表示されます。「確認」ボタンを押下します。



図 19-4　お知らせ登録（確認）画面

19.3　お知らせの詳細情報を確認する（利用者）

お知らせ一覧の確認したいお知らせ列をクリックすることにより、詳細情報を表示します。



図 19-5　お知らせ詳細画面

表 19-4　項目一覧（お知らせ詳細）

項目名	説明
開始日時	開始日時
終了日時	終了日時
状態	・掲載終了 ・掲載中 ・未掲載 のいずれか
タイトル	タイトル
お知らせ内容	お知らせ内容
添付ファイル	添付ファイル名および添付ファイルへのリンク
登録者	登録者
登録日時	登録日時
お知らせ変更	お知らせ変更画面を表示する
お知らせ削除	お知らせ削除画面を表示する

19.4　お知らせの内容を変更する（利用者）

お知らせの変更方法を以下に示します。

1. お知らせ詳細画面にて、「お知らせ変更」をクリックします。



図 19-6　お知らせ詳細画面

2. お知らせ変更(入力)画面が表示されます。「19.2　お知らせを登録する(利用者)(420 ページ)」の「表 19-3　項目一覧(お知らせ登録)(421 ページ)」を参照し、各項目を編集してください。「確定」ボタンを押下することにより、変更が反映されます。

   添付ファイルを削除する場合は「添付ファイル削除」のチェックボックスにチェックしてください。

注

添付ファイル削除にチェックを付けた場合は、ファイル選択は無効になり、ファイルを選択していた場合も未選択状態になります。



図 19-7　お知らせ変更（入力）画面

3. お知らせ変更(確認)画面が表示されます。「確認」ボタンを押下します。



図 19-8　お知らせ変更（確認）画面

19.5　お知らせを削除する

お知らせの削除方法を以下に示します。

1. お知らせ詳細画面にて「お知らせ削除」をクリックします。



図 19-9　お知らせ詳細画面

2. お知らせ削除(確認)画面が表示されます。「確認」ボタンを押下することでお知らせを削除します。



図 19-10　お知らせ削除（確認）画面

第 6 編
保守情報

目次

第 20 章　バックアップとリストア 427
第 21 章　ログの出力先 430
第 22 章　メッセージ一覧 431
第 23 章　コマンド 435
第 24 章　注意・制限事項 448

本編では、以下について説明します。

- ログの確認方法
- メッセージ一覧
- 注意事項

第 20 章
バックアップとリストア

目次

20.1 バックアップ 428
20.2 リストア 428

本章ではバックアップとリストアについて説明します。

20.1　バックアップ

バックアップ方法を以下に示します。

【データベースのバックアップ】

コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行します。ここでは C ドライブの¥temp に backup.dat というバックアップファイルを作成する例を示します。

```
> sqlcmd -E -S (local)¥FWCMDB
1> backup database cloudportal to disk = 'C:¥temp¥backup.dat' with init
2> go
```

注

- インスタンス名を既定値(FWCMDB) より変更した場合、「(local)¥インスタンス名」としてください
- バックアップファイルの出力先フォルダに、C ドライブ直下、または書き込み権限がないフォルダを指定した場合は、バックアップに失敗します。書き込み権限があるフォルダを指定してください
- バックアップを実行する際は、以下のどちらかのユーザで、SigmaSystemCenter がインストールされている管理サーバにログインしてください

  ・管理サーバに FWCMDB インスタンスをインストールしたユーザ

  ・cloudportal データベースのバックアップ権限を持っているユーザ

【フォルダの退避】

以下のフォルダをコピーし、任意の場所に退避します。

- (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf
- (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥webapps¥images
- (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties の以下で指定しているフォルダ

  product.cloudportal.file.save.path=共有ディスク・ミラーディスクのパス

20.2　リストア

リストア方法を以下に示します。

【データベースのリストア】

コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行します。ここでは C ドライブの¥temp に backup.dat というバックアップファイルから復元する例を示します。

```
> sqlcmd -E -S (local)¥FWCMDB
1> restore database cloudportal from disk = 'C:¥temp¥backup.dat' with replace
2> go
```

SQL Server 2012 より前のバージョンを使用している SigmaSystemCenter 3.3 のバックアップファイルを SQL Server 2012 を使用している SigmaSystemCenter 3.3 に復元する場合は、以下のコマンドを実行します。

```
1> restore database cloudportal from disk = 'C:¥temp¥backup.dat' with file = 1, move 'clou
dportal' to 'C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL11.FWCMDB¥MSSQL¥DATA¥cloudportal.m
df', move 'cloudportal_2' to 'C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL11.FWCMDB¥MSSQL¥D
ATA¥cloudportal_2.ndf', move 'cloudportal_log' to 'C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥M
SSQL11.FWCMDB¥MSSQL¥DATA¥cloudportal_log.LDF', replace
2> go
```

注

インスタンス名を既定値(FWCMDB) より変更した場合、「(local)¥インスタンス名」としてください。

【フォルダの上書き】

1. 退避していた以下のフォルダを元のフォルダに上書きコピーします。
   - (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf
   - (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥webapps¥images
   - (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties の以下で指定しているフォルダ

     product.cloudportal.file.save.path=共有ディスク・ミラーディスクのパス
2. アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。

   サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、サービスから「Apache Tomcat 8.5 ServiceGovernor」を右クリックし、「サービスの再起動」を選択します。

第 21 章
ログの出力先

以下のフォルダ配下にログが出力されます。

※WebGUI のインストールパスを C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM にした場合

C:¥Program Files (x86)¥NEC¥vDCA¥GM¥FW¥Tomcat¥logs

Tomcat のログは定期的に消去されないかぎり、ファイルが蓄積していき、ログフォルダが肥大化します。定期的に手動で削除してください。

Tomcat のログファイルは以下です。

- commons-daemon.[日付].log
- catalina.[日付].log
- localhost.[日付].log
- localhost_access_log.[日付].txt
- servicegovernor-stderr.[日付].log
- servicegovernor-stdout.[日付].log
- host-manager.[日付].log
- manager.[日付].log

第 22 章
メッセージ一覧

機能	メッセージ	期待する対処(原因)
共通	権限がありません	各画面(機能)に設定されている権限を保有していないユーザで操作をおこなった可能性があります。「第 3 章　ユーザ権限(66 ページ)」を参照し、おこなった動作に対する権限を確認してください。
共通	システム異常が発生しました	想定外のエラーが発生した可能性があります。ログを採取し、サポートにお問い合わせください。
お知らせ管理	添付ファイルの削除に失敗しました	お知らせ削除時に添付ファイルの削除に失敗しました。添付ファイルを格納先のディレクトリから直接削除してください。
お知らせ管理	ファイルのアップロードに失敗しました	お知らせ登録時に添付ファイルのアップロードに失敗しました。お知らせ変更から対象のお知らせに添付ファイルを追加してください。
お知らせ管理	ファイルのダウンロードに失敗しました	サーバ側でエラーが発生した可能性があります。サポートにお問い合わせください。
お知らせ管理	ログインユーザが所属しているテナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
お知らせ管理・ダッシュボード	参照できないお知らせです	詳細表示、変更、削除、添付ダウンロードの操作時、お知らせがログインユーザの所属するテナント向けに公開されていないものを選択しています。 対象テナントに所属するユーザでログインし直してください。
サーバ管理	ログインユーザが所属しているテナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
ダッシュボード	ファイルが見つかりません	お知らせの添付ファイルをダウンロードする際、 対象のファイルが存在しません。添付ファイルの格納先を確認してください。
ダッシュボード	ログインユーザが所属しているテナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
テナント管理	テナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
テナント管理	テナント更新に失敗しました	サポートにお問い合わせください。
テナント管理	テナント削除に失敗しました	サポートにお問い合わせください。
テナント管理	テナント登録に失敗しました	サポートにお問い合わせください。
テナント管理	ログインユーザが所属しているテナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
ユーザ管理	テナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。

機能	メッセージ	期待する対処(原因)
ユーザ管理	ユーザが見つかりません	ユーザの詳細表示、変更、削除、パスワード変更で操作対象のユーザが見つからない場合、すでに対象ユーザが削除されている可能性があります。 ユーザ一覧を確認してください。
ユーザ管理	ユーザ更新に失敗しました	サポートにお問い合わせください。
ユーザ管理	ユーザ削除に失敗しました	サポートにお問い合わせください。
ユーザ管理	ユーザ登録に失敗しました	サポートにお問い合わせください。
ユーザ管理	ログインユーザが所属しているテナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
リクエスト管理	スペック情報を取得できませんでした	運用設定画面より、テンプレート一覧取得時刻横の「今すぐ更新」ボタンを押下してください(操作方法は「13.2.1　運用設定情報を確認する(183 ページ)」参照)。それでも同様のエラーが発生する場合、テンプレートの設定が誤っている可能性があります。「2.6.1　VM テンプレート表示名とスペックの設定(16 ページ)」を参照し、設定に問題がないかご確認ください。
リクエスト管理	テンプレート情報を取得できませんでした	「設定」－「運用設定」からテンプレート一覧取得を行ってください(「今すぐ更新」ボタン)。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
リクエスト管理	ネットワーク情報を取得できませんでした	サポートにお問い合わせください。
リクエスト管理	ログインユーザが所属しているテナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
リクエスト管理	リクエストパラメータが不正です	WebSAM vDC Automation のテンプレート設定で OSType が指定されていない可能性があります。 OSType を確認しても改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
リソース状況	リソースの取得に失敗しました	通信エラー、または WebSAM vDC Automation のエラーが発生しています。 しばらく待ってからリトライしてください。改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
リソース状況	一覧の取得に失敗しました	通信エラー、または WebSAM vDC Automation のエラーが発生しています。 しばらく待ってからリトライしてください。改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
ログインユーザ操作	代行先テナント情報を取得できませんでした	所属テナント情報の取得に失敗しました。一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
ログインユーザ操作	テナント情報の取得に失敗しました	代行先に選択したテナント情報の取得に失敗しました。 一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。

機能	メッセージ	期待する対処(原因)
ログインユーザ操作	テナント代行情報を取得できませんでした	テナント代行情報の取得に失敗しました。 一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
ログインユーザ操作	テナント代行の解除に失敗しました	テナント代行は再度ログインし直すことで解除されます。 再ログインしてもこのメッセージが頻発する場合はサポートにお問い合わせください。
ログインユーザ操作	ユーザが見つかりません	更新対象のユーザ情報を取得できませんでした。 一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
ログインユーザ操作	ログインユーザパスワード更新に失敗しました	更新対象のユーザ情報を取得できませんでした。 一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
ログインユーザ操作	ログインユーザ更新に失敗しました	更新対象のユーザ情報を取得できませんでした。 一度ログアウトした後、再度ログインしてください。 改善されない場合はサポートにお問い合わせください。
監視	監視対象の情報が取得・更新できませんでした。 / 監視対象の情報が取得できませんでした。	監視対象の情報を取得・更新できませんでした。監視対象がすでに削除されているか、他ユーザにより更新されている可能性があります。 画面を再読み込みして、再度実行してください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	監視一覧が取得できませんでした	通信エラーが発生している可能性があります。しばらく待ってからリトライしてください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	テナント情報を取得できませんでした / 一部の監視対象にテナントが割り当てられませんでした	対象のテナントが削除されている可能性があります。テナント一覧を確認してください。
監視	メッセージ一覧が取得できませんでした	通信エラー、または ServiceGovernor WebAPI Base Option のエラーが発生している可能性があります。しばらく待ってからリトライしてください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	○○が取得できませんでした。 / ○○の取得に失敗しました。 ※○○は、「プロセス監視」などの監視設定	通信エラー、または ServiceGovernor WebAPI Base Option のエラーが発生している可能性があります。しばらく待ってからリトライしてください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	○○の追加に失敗しました。 ※○○は、「プロセス監視」などの監視設定	通信エラー、または ServiceGovernor WebAPI Base Option のエラーが発生している可能性があります。しばらく待ってからリトライしてください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	○○が変更できませんでした。 / ○○の更新に失敗しました。 / 一部の○○が変更できませんでした。 ※○○は、「プロセス監視」などの監視設定	通信エラー、または ServiceGovernor WebAPI Base Option のエラーが発生している可能性があります。しばらく待ってからリトライしてください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。

機能	メッセージ	期待する対処(原因)
監視	○○の削除に失敗しました。/削除に失敗した○○があります。 ※○○は、「プロセス監視」などの監視設定	通信エラー、または ServiceGovernor WebAPI Base Option のエラーが発生している可能性があります。しばらく待ってからリトライしてください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	フィルタの順序反映に失敗しました	通信エラー、または ServiceGovernor WebAPI Base Option のエラーが発生している可能性があります。しばらく待ってからリトライしてください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	他のユーザにより更新されています。 / フィルタが更新されています。 / 処理対象のフィルタがありません	対象の監視設定が別ユーザにより更新/削除されている可能性があります。画面を再読み込みして、再実行してください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	フィルタの位置指定にエラーがあります / フィルタのキー指定にエラーがあります	フィルタの位置指定またはキー指定にエラーがあります。設定内容を見直し、再度実行してください。 改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。
監視	監視マネージャからの情報取得に失敗しました(コード:***)	「第 24 章　注意・制限事項(448 ページ)」を参照し、原因を確認して対処を行ってください。 該当するエラーがない、もしくは改善されない場合は製品サポート窓口にお問い合わせください。

第 23 章
コマンド

目次

23.1 リソース情報更新コマンド 436
23.2 リクエスト履歴出力コマンド 443

コマンドで実行する機能について説明します。

23.1　リソース情報更新コマンド

本機能は、プロビジョニングプロバイダで管理しているサーバを、ポータルで管理できるように更新する機能を提供します。システム管理者のみが利用可能です。

リソース情報更新コマンド実行後、運用設定の[今すぐ更新]ボタン(論理ネットワーク一覧取得)を押下してください。[今すぐ更新]ボタン(論理ネットワーク一覧取得)については「13.2　運用設定(183 ページ)」を参照してください。

リソース情報更新コマンドは以下です。

- 格納フォルダ

  (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥portal¥bin¥UpdateResource.bat

- 実行ファイルの編集(ポート番号を変更した場合)

  ポータルの HTTP ポートを変更した場合は、(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥portal¥bin¥UpdateResource.bat を開き、以下の「12080」を指定した HTTP ポートに編集します。

```
SET BASEURL=http://localhost:12080/portal
```

- 実行コマンド

```
UpdateResource.bat -f ファイル名
  ※ファイル名は必須入力。リソース情報ファイルの CSV ファイル名を、コマンドからの相対パスまたは絶対パスで指定する。
```

  リソース情報ファイルの作成については、「23.1.1　リソース情報ファイル(437 ページ)」を参照してください。

  【例】

```
UpdateResource.bat -f "C:¥Users¥xxxx¥Desktop¥xxxxx.csv"
```

- 出力結果

表 23-1　リソース情報更新コマンド出力結果

戻り値	メッセージ	説明
0	Command success.	正常終了
1	Command abnormal exits.	異常終了
2	Parameter error.	入力パラメータ不正

異常終了および入力パラメータ不正時のエラー内容については、「23.1.2　リソース情報更新コマンドのエラー一覧(441 ページ)」を参照してください。

ヒント

リソース情報更新読み込み時の文字コードを指定したい場合は、以下の設定を実施してください。文字コードは JAVA の文字コードが指定可能です。未設定の場合は UTF-8(BOM 無し)が設定されます。

（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開き、以下を設定します。

```
product.cloudportal.file.resourceinfo.charset=文字コード
```

【設定例】

```
product.cloudportal.file.resourceinfo.charset=UTF-8
```

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存し、アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。

※webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、 サービスから「Apache Tomcat 8.5 ServiceGovernor」を右クリック し、[サービスの再起動]を選択します。

注

リソース情報更新コマンドを実行する前に、状況に応じていくつか設定が必要です。

- プロビジョニングプロバイダで、テンプレートや論理ネットワークの作成や変更などを実施している場合

  リソース情報更新コマンドは、テンプレート情報および論理ネットワーク情報を利用します。

  リソース情報更新コマンド実行前に、プロビジョニングプロバイダとポータルの情報を同期してください。

  詳細は「13.2.1　運用設定情報を確認する（183 ページ）」を参照してください。

- 同期機能によって取り込まれたサーバに対してリソース情報更新コマンドを実行する場合、事前に同期用リクエストが登録されている必要があります。

  以下の手順で登録してください。

  1. サーバ一覧画面を開く
  2. 対象のサーバを選択し、ステータスを"シャットダウン"にする
  3. 対象のサーバを選択し、[サーバ変更]ボタンを押下する
  4. サーバ変更(入力)画面が表示されたら、[キャンセル]を押下する

23.1.1　リソース情報ファイル

リソース情報更新コマンドで使用するファイル形式は以下です。

ファイル形式：CSV（カンマ区切り）

文字コード：（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties にて以下を設定する。※設定されていない場合のデフォルト値は「UTF-8（BOM 無し）」とする。

```
product.cloudportal.file.resourceinfo.charset=Shift_JIS
[例]product.cloudportal.file.resourceinfo.charset=Shift_JIS
```

改行コード：CRLF

備考:ダブルクォーテーション及びカンマを値として含める場合は以下が必要になります。

※Excel 編集の場合は自動加工されるため不要。テキスト編集時のみ対応。

1. 対象値の前後をダブルクォーテーションで囲む
2. ダブルクォーテーションの場合は上記手順を行った上で値を重ねる

【例】「ABC"DEF」「GHI,JKL」

" ABC""DEF"," GHI,JKL"

【テナントネットワーク】

```
テナント ID,リクエスト日時,リクエスト種別,リソース名,備考

Ex)
TenantA,2015-11-10 09:10:00,11, ,備考メッセージ
```

【VLAN(業務・パブリック・WAN)】

```
テナント ID,リクエスト日時,リクエスト種別,リソース名,備考

Ex)
TenantA,2015-11-10 09:10:00,51,LogicalNW0001,備考メッセージ
```

【SSL-VPN】

```
テナント ID,リクエスト日時,リクエスト種別,リソース名,備考

Ex)
TenantA,2015-11-10 09:10:00,41,root,備考メッセージ
```

【テナント Firewall】

```
テナント ID,リクエスト日時,リクエスト種別,リソース名,備考

Ex)
TenantA,2015-11-10 09:10:00,TFW1,備考メッセージ
```

【テナント LoadBalancer】

```
テナント ID,リクエスト日時,リクエスト種別,リソース名,備考

Ex)
TenantA,2015-11-10 09:10:00,31,LB1,備考メッセージ
```

【サーバ】

```
テナント ID,リクエスト日時,リクエスト種別,UUID,リソースプール名,テンプレート名,スペック名,
備考

Ex)
TenantA,2015-11-10  09:10:00,1,42063994-5a4d-6115-d97b-94f5c2bbd06d,Tokyo,TemplateA,Spec1,
備考メッセージ
```

【取込項目一覧】

表 23-2　取込項目一覧

項番	取込項目	説明
1	テナント ID [必須]	リクエストのテナント ID
2	リクエスト日時 [必須]	リクエストの申請日時、完了日時 [1970-01-01 00:00 (UTC) ～ 2999-12-31 23:59(UTC)]の範囲内で指定。 リクエスト日時は対象リソースの最終リクエストの[リクエスト完了日時以降～現在日時まで]で指定します。 ※サーバ時間で日時を指定 指定形式:yyyy-MM-dd hh:mm:ss
3	リクエスト種別 [必須]	リクエストの種別 「表 23-3　更新対象一覧 (440 ページ)」のリクエスト種別を設定 プロビジョニングプロバイダに存在し、ポータルに存在しないリソースを更新する場合は「作成」のリクエスト種別を指定します。 プロビジョニングプロバイダに存在し、ポータルに存在するリソースを更新する場合は「更新」のリクエスト種別を指定します。 ポータルに存在し、プロビジョニングプロバイダに存在しないリソースを更新する場合は「削除」のリクエスト種別を指定します。 ポータルに存在し、プロビジョニングプロバイダに存在するがポータル上のみ消したい場合にも「削除」のリクエスト種別を指定します。
4	リソース名 [必須]	リクエストのリソース名テナントネットワーク: 指定なし テナント Firewall: テナント Firewall 名 (例:TFW1) テナント LoadBalancer: テナント LoadBalancer 名 (例:TFW1) SSL-VPN: SSL-VPN の VDOM 名 (例:root) VLAN(業務・パブリック・WAN): 論理ネットワーク名(例:LogicalNW0001) ※ネットワークリクエストのみ指定
5	UUID [必須]	サーバの UUID 確認方法: 1.SigmaSystemCenter の Web コンソールを開く 2.「リソース」-「左ペインの確認したいマシン名を選択」-「全般タブ」-「基本情報」-「UUID」の値を確認 ※サーバリクエストのみ指定
6	リソースプール名 [必須]	サーバが利用するリソースプール名 確認方法: 1.SigmaSystemCenter の Web コンソールを開く 2.「ポータル」-「左ペインの自テナントのカテゴリグループを選択」-「全般タブ」-「マシン一覧」-「確認したいマシンの VM 名」を選択 3.マシン詳細画面にて「運用情報」-「リソースプール」の値を確認

項番	取込項目	説明
		※vDCA ポータルの場合は、リソースプール識別子も含めて指定 例:(*MoM1*)RP1
7	テンプレート名 [必須]	サーバが利用するテンプレート名 確認方法: 1.SigmaSystemCenter の Web コンソールを開く 2.「ポータル」-「左ペインの自テナントのカテゴリグループを選択」-「全般タブ」-「マシン一覧」-「確認したいマシンの VM 名」を選択 3.マシン詳細画面にて「基本情報」-「作成元イメージ」の値を確認 ※サーバリクエスト(作成)のみ指定
8	スペック名 [任意]	サーバが利用するスペック名 ※サーバリクエスト(作成、変更)のみ指定
9	備考 [任意]	リクエスト申請時の申請コメント欄に該当する。 改行コードは「¥n」で指定する。 最大文字数は 255 文字(1 バイト、2 バイト、制御文字含む文字数)。 最大文字数を超えた場合は 255 文字目までを値として利用する。

表 23-3　更新対象一覧

リソース種別	種別	リクエスト種別
サーバ	作成	1
	変更	2
	削除	3
テナントネットワーク	作成	11
	削除	13
テナント Firewall	作成	21
	変更	22
	削除	23
テナント LoadBarancer	作成	31
	変更	32
	削除	33
SSL-VPN	作成	41
	削除	43
業務 VLAN	作成	51
	削除	53
WAN サービス VLAN	作成	61
	削除	63
パブリック VLAN	作成	71
	削除	73

23.1.2　リソース情報更新コマンドのエラー一覧

表 23-4　エラー一覧

項番	エラー	エラー内容
1	A parameter format is invalid.	リソース情報更新コマンドに指定した引数が正しくありません。 usage に従って引数を指定してください。
2	A resource information file is not found.	リソース情報ファイルが見つかりませんでした。 リソース情報ファイルのパスをご確認ください。
3	A resource information file is empty.	リソース情報ファイルの内容が空でした。 適切なリソース情報ファイルを指定してください。
4	A required parameter is not found.	リソース情報更新コマンドの必須引数が指定されていませんでした。 usage に従って引数を指定してください。
5	Authentication failure.	正しいアクセスではありません。 リソース情報更新コマンドから実行されているかご確認ください。
6	Failed in resource information update.	リソース情報更新に失敗しました。 リソース情報ファイルの内容をご確認ください。 ファイルの 1 行ごとにエラー詳細が出力されます。エラー詳細は「表 23-5　エラー詳細一覧 (441 ページ)」を参照してください。
7	Failed to obtain a lock for the resource information update.	ロック処理に失敗しました。 再度実行をお願いします。

表 23-5　エラー詳細一覧

項番	エラー詳細	エラー内容
1	Required fields cannot be left blank.	リソース情報ファイルの必須項目が指定されていません。
2	A numeric field cannot include a non-numeric character.	リソース情報ファイルの数値項目に数値以外が指定されています。
3	Invalid request type.	リソース情報ファイルのリクエスト種別に存在しないリクエスト種別が設定されています。
4	The file must not include duplicated updates to a resource.	リソース情報ファイル内で同一の UUID が複数設定されています。 同一 UUID (サーバ) への複数回操作はできません。
5	Failed to get resource information from a provisioning provider.	プロビジョニングプロバイダからリソース情報の取得ができませんでした。 以下の点についてご確認ください。 ・プロビジョニングプロバイダが動作しているか、設定は適切か ・リソース情報ファイルに指定した UUID が適切か
6	Error(s) in a check on the configured values in the resource information file.	リソース情報ファイルの指定値に誤りがあります。 リソース情報ファイルの指定値をご確認ください。
7	Invalid format in the request date or time.	リソース情報ファイルのリクエスト日時の書式に誤りがあります。 適切な形式 (yyyy-MM-dd hh:mm:ss) で指定されているかご確認ください。

項番	エラー詳細	エラー内容
8	The request date or time is out of range.	リソース情報ファイルのリクエスト日時の指定範囲に誤りがあります。 適切な範囲内（[1970-01-01 00:00（UTC）～ 2999-12-31 23:59(UTC)]）で指定されているかご確認ください。
9	Nonexistent tenant ID	リソース情報ファイルのテナント ID が存在しません。
10	Template name configuration not found.	リソース情報ファイルのテンプレート名が存在しません。 以下の点についてご確認ください。 ・リソース情報ファイルに指定されたテンプレート名が設定ファイル（（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties）に存在するか ・リソース情報ファイルに指定されたテンプレート名がプロビジョニングプロバイダに存在するか
11	Failed to set the data.	データ設定に失敗しました。 プロビジョニングプロバイダから意図しないデータを取得した可能性があります。 プロビジョニングプロバイダ上の設定が正しいかご確認ください。
12	Failed to set the data.	ポータルへの登録が失敗しました。 各種設定を見直して再度実行してください。
13	The portal already has the server information of the targeted resource. The same server cannot be created.	ポータル上に指定の UUID を持つサーバ情報が存在します。 以下の点についてご確認ください。 ・リソース情報ファイルに指定した UUID が適切か ・リソース情報ファイルに指定した UUID のサーバへの操作（リクエスト種別）は適切か
14	The portal has no network information of the VLAN.	ポータル上に接続 VLAN のネットワーク情報が存在しません。 ポータルで対象のネットワークが認識されていない場合、運用設定から論理ネットワーク一覧取得を行ってください。 詳細は「13.2.1　運用設定情報を確認する（183 ページ）」を参照してください。
15	The request date or time is later than the current date and time.	リソース情報ファイルのリクエスト日時が現在日時より未来が指定されています。
16	An error occured by data of the targeted line. Please revise the configurations related to the file and SSC.	対象行のデータでエラーが発生したためリソース情報ファイルおよびプロビジョニングプロバイダの設定等を見直してください。
17	Failed to get the designated resource pool from the provisioning provider.	プロビジョニングプロバイダにリソース情報ファイルのリソースプール名が存在しません。 以下の点をご確認ください。 ・リソース情報ファイルのリソースプール名は適切か ・リソース情報ファイルのリソースプール名はプロビジョニングプロバイダ上に存在するか
18	その他	ポータルでのリクエスト状況によってリソース情報更新ができない場合、上記以外のエラーが出力されます。 エラー内容に応じて対応を行ってください。

23.2　リクエスト履歴出力コマンド

本機能は、各テナントの課金の元となるリクエストの履歴情報をテナント、リクエストの期間を指定して CSV へ出力できる機能を提供します。

システム管理者のみが利用可能です。「テナント ID、UUID、リクエスト完了日時」の昇順で出力されます。

CSV ファイルには以下のリクエスト種別およびリクエスト状態のリクエストが出力されます。

表 23-6　出力対象リクエスト一覧

リクエスト種別	リクエスト種別名	リクエスト状態
1	サーバ作成	完了
2	サーバ変更	完了
11	テナントネットワーク作成	完了
21	テナント Firewall 作成	完了
22	テナント Firewall 変更	完了
31	テナント LoadBalancer 作成	完了
32	テナント LoadBalancer 変更	完了
41	SSL-VPN 作成	完了
51	業務 VLAN 作成	完了
61	WAN サービス VLAN 作成	完了
71	パブリック VLAN 作成	完了

ヒント

リクエスト履歴出力時の文字コードを指定したい場合は、以下の設定を実施してください。文字コードは JAVA の文字コードが指定可能です。未設定の場合は UTF-8（BOM 無し）が設定されます。

（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開き、以下を設定します。

※webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

```
product.cloudportal.file.requesthistory.charset=文字コード
```

【設定例】

```
product.cloudportal.file.requesthistory.charset=UTF-8
```

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存し、アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、 サービスから「Apache Tomcat 8.5 ServiceGovernor」を右クリック し、[サービスの再起動]を選択します。

リクエスト履歴情報出力コマンドは以下です。

- 格納フォルダ

  （インストールディレクトリ）¥Tomcat¥portal¥bin¥RequestHistory.bat

- 実行ファイルの編集（ポート番号を変更した場合）

ポータルの HTTP ポートを変更した場合は、(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥portal¥bin ¥RequestHistory.bat を開き、以下の「12080」を指定した HTTP ポートに編集します。

```
SET BASEURL=http://localhost:12080/portal
```

- 実行コマンド

```
RequestHistory.bat [-tid テナント ID] [-sdate "開始日時"] [-edate "終了日時"] [-o 出力パス]
```

- 引数

表 23-7　リクエスト履歴出力コマンドの引数

引数	説明
テナント ID(任意)	出力対象のテナント ID を指定。省略時は全テナントが対象。
開始日時(任意)	指定の開始日時以降に有効なリソースのリクエスト履歴を出力する [1970-01-01 00:00 (UTC) ～ 2999-12-31 23:59(UTC)]の範囲内で指定 指定日時はサーバ時間で指定する 終了日時より未来の日時指定はエラー 日時は以下の形式で指定 形式:yyyy-MM-dd hh:mm ※ダブルクォートで囲むこと 省略時は全範囲日時が対象(終了日時指定有の場合は終了日時までが対象)
終了日時(任意)	指定の終了日時まで有効なリソースのリクエスト履歴を出力する [1970-01-01 00:00 (UTC) ～ 2999-12-31 23:59 (UTC)]の範囲内で指定 指定日時はサーバ時間で指定する 開始日時より過去の日時指定はエラー 日時は以下の形式で指定 形式:yyyy-MM-dd hh:mm ※ダブルクォートで囲むこと 省略時は全範囲日時が対象(開始日時指定有の場合は開始日時からが対象)となります。
出力パス(任意)	出力 CSV ファイルのファイル名を含む、コマンドからの相対パスまたは絶対パス付きで指定 出力パスのフォルダが存在しない場合はエラー 指定パスのファイルが既に存在した場合は上書き出力 省略時はリクエスト履歴結果を標準出力

- 出力結果

表 23-8　リクエスト履歴コマンド出力結果

戻り値	メッセージ	説明
0	Command success.	正常終了
1	Command abnormal exits.	異常終了
2	Parameter error.	入力パラメータ不正

23.2.1　リクエスト履歴ファイル

リクエスト履歴出力コマンドで使用するファイル形式は以下です。

ファイル形式：CSV（カンマ区切り・ダブルクォート囲み）

文字コード：（インストールディレクトリ）¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties にて以下を設定する。※設定されていない場合のデフォルト値は「UTF-8（BOM 無し）」とする。

```
product.cloudportal.file.requesthistory.charset=文字コード
[例]product.cloudportal.file.requesthistory.charset=Shift_JIS
```

改行コード：CRLF

備考：ダブルクォーテーション及びカンマを値として含める場合は以下の通り出力します。

1. 対象値の前後をダブルクォーテーションで囲む
2. 上記手順を行った上で値を重ねる

【例】「"ABC"DEF"」" ABC""DEF"

接続 VLAN（論理ネットワーク名）にカンマを含む場合は、接続 VLAN の区切り文字と区別するためカンマを重ねて出力します。

Ex)「VLAN,A」「VLAN,B」

"VLAN,,A,VLAN,,B"

```
“テナント ID” ,” UUID” ,” リソース名” ,” リクエスト種別”,” リクエスト申請日時”,” リクエスト完了日時” ,” リクエスト有効期限日時”,” リソースプール名”,” リソースグループ名”,” サーバ名”,” テンプレート名”,” スペック名”,” CPU”,” Mem”,” ディスクサイズ”,” 拡張ディスクサイズ” ,” 接続 VLAN”,” 備考”,” リソース情報更新フラグ”

Ex)
"TenantA","42063994-5a4d-6115-d97b-94f5c2bbd06d","","1","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00",” resourcepool1” ,"" ,"ServerA","TemplateA","SpecA","1","2","1024:gold-disk","1024:silver-disk","","","1"
"TenantA","42063994-5a4d-6115-d97b-94f5c2bbd06d","","3","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00",” resourcepool1” ,"" ,"ServerA","TemplateA","SpecA","1","2","1024:gold-disk","1024:gold-disk,1024:silver-disk","","","0"
"TenantA","","LogicalNW0001","11","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","","resorucegroup1","","","","","","","","","","","備考メッセージ","1"
"TenantA","","LogicalNW1000","51","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","","resorucegroup1","","","","","","","","","","","","0"
"TenantA","","LogicalNW1001","51","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","","resorucegroup1","","","","","","","","","","","","0"
"TenantA","","TFW1","21","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","2015-11-10 09:10:00","","resorucegroup1","","","","","","","","LogicalNW1000,LogicalNW1001","","0"
```

【ファイル出力項目一覧】

表 23-9　ファイル出力項目一覧

項番	出力項目	説明
1	テナント ID	リクエストしたテナント ID
2	UUID	サーバの UUID

項番	出力項目	説明
		※サーバリクエストのみ出力
3	リソース名	リクエストで作成されたリソース名 テナントネットワーク: 出力無し テナント Firewall: テナント Firewall 名（例:TFW1） テナント LoadBalancer: テナント LoadBalancer 名（例:LB1） SSL-VPN: SSL-VPN の VDOM 名（例:root） VLAN（業務・パブリック・WAN）: 論理ネットワーク名（例:LogicalNW0001） ※ネットワークリクエストのみ出力
4	リクエスト種別	リクエスト種別 「表 23-6　出力対象リクエスト一覧（443 ページ）」のリクエスト種別を参照
5	リクエスト申請日時	リクエスト申請された日時 ※出力日時はサーバ時間 出力形式:yyyy-MM-dd hh:mm:ss
6	リクエスト完了日時	リクエスト状態が完了となった日時 ※出力日時はサーバ時間 出力形式:yyyy-MM-dd hh:mm:ss
7	リクエスト有効期限日時	リクエストの有効期限。 対象リクエストの後に実行されたリクエストのリクエスト完了日時。 実行されていない場合は空が設定される。 ※出力日時はサーバ時間 出力形式:yyyy-MM-dd hh:mm:ss
8	リソースプール	リソースプール名 ※vDCA ポータルの場合は、リソースプール識別子も含めて出力する。 ※サーバリクエストのみ出力
9	リソースグループ	リソースグループ名 ※ネットワークリクエストのみ出力
10	サーバ名	サーバ名 ※サーバリクエストのみ出力
11	テンプレート名	サーバ作成に利用したテンプレート名 ※サーバリクエストのみ出力
12	スペック名	サーバ作成に利用したスペック名 ※サーバリクエストのみ出力
13	CPU	サーバ作成に利用した CPU（CPU 数） ※サーバリクエストのみ出力
14	Mem	サーバ作成に利用したメモリ（GB） ※サーバリクエストのみ出力

項番	出力項目	説明
15	ディスクサイズ	サーバ作成に利用したディスクサイズ(GB)と、指定したディスクタグ ※サーバリクエストのみ出力
16	拡張ディスクサイズ	サーバ作成に利用した拡張ディスクサイズ(GB)と、指定したディスクタグ 複数存在する場合はカンマ区切りのダブルクォート囲みで出力する。 ※サーバリクエストのみ出力
17	接続 VLAN	接続 VLAN 複数存在する場合はカンマ区切りで出力する。 ※接続 VLAN(論理ネットワーク名)にカンマを含む場合はカンマを重ねて出力 ※ネットワークリクエストのみ出力(テナント Firewall、テナント LoadBalancer)
18	備考	リクエスト申請時の申請コメント欄もしくはリソース情報更新時の備考を出力する。 改行コードは「¥n」で出力する。
19	リソース情報更新フラグ	リソース情報更新機能で更新リクエストかの判定フラグ 通常リクエスト:0 リソース情報更新:1

23.2.2　リクエスト履歴出力コマンドのエラー一覧

表 23-10　エラー一覧

項番	エラー	エラー内容
1	A parameter format is invalid.	リクエスト履歴出力コマンドに指定した引数が正しくありません。 usage に従って引数を指定してください。
2	The output path does not exist.	出力パスのフォルダが見つかりませんでした。 適切な出力パスを指定してください。
3	Failed to write on the output path.	出力パスに書き込みできませんでした。 適切な出力パスを指定してください。
4	Authentication failure.	正しいアクセスではありません。 リクエスト履歴出力コマンドから実行されているかご確認ください。
5	Please input [Start/End] date and time at the reach of 2999-12-31 23:59(UTC) from 1970-01-01 00:00(UTC).	引数[sdate/edate]が適切な範囲内([1970-01-01 00:00 (UTC) ～ 2999-12-31 23:59(UTC)])で指定されているかご確認ください。
6	Please enter [Start/End] date and time as yyyy-MM-dd HH:mm.	引数[sdate/edate]が適切な形式(yyyy-MM-dd HH:mm)で指定されているかご確認ください。
7	The Start date and time must be before the End date and time.	引数[edate]が引数[sdate]より過去の日付が指定されています。 引数[edate]は引数[sdate]より未来の日付を指定してください。

第 24 章
注意・制限事項

注意事項

- ポータル以外を使用して以下の操作を行わないでください。
  - ポータルを使用して作成された SSC 上の運用グループ（Windows、Linux、テナントごとのカテゴリ、リソースプールごとのカテゴリ）の削除、名前変更を行わないでください。
  - ポータルを使用して作成された VM の削除、変更を行わないでください。
  - ポータルで使用中のリソースプールに対し、ポータル以外から直接 VM の作成を行なわないでください。
- ポータルで使用中の論理ネットワーク、テンプレートの変更を行う場合にはポータルのメンテナンス機能を使用する等、変更作業期間中のポータル操作を行えないようにしてください。 また、変更後にはポータルの運用設定画面から情報同期を行ってください。
- ポータルで使用中のリソースプール、ディスクの変更を行う場合にはポータルのメンテナンス機能を使用する等、変更作業期間中のポータル操作を行えないようにしてください。
- ポータルを利用して監視設定行う場合、原則としてポータルを通して操作を行ってください。ポータル以外を使用して以下の操作は行わないでください。
  - 正規表現で入力する箇所において、その正規表現が文法的に正しいかの確認機能はありません。利用者が正しい正規表現を入力してください
  - ポータル画面上の操作で監視エージェントを削除することはできません。エージェントを削除する場合には SigmaSystemCenter 上から削除を行ってください。
  - Windows サービス監視設定にてサービスを追加した直後は設定した情報がポータルに反映されない場合があります。その場合は時間をおいて再度情報を表示してください。
  - SigmaSystemCenter 上でアクション通報、パトライト通報が設定されているフィルタのメール通報の設定をポータル上から変更すると、アクション通報、パトライト通報の設定が削除されます。
  - 性能監視のカウンタ設定変更画面の各閾値設定にはポータルからは、有効桁数 15 桁の数値（有効桁数 16 桁以降は切り捨て）が入力可能ですが、SigmaSystemCenter 上では符号やドットを含めて 15 文字までのみ取扱い可能です。ポータルから 15 文字以上の文字列を入力してもエラーにはなりません。
  - ポータルはハイパーバイザ監視、クラウドサービス監視（AWS）に対応していません。ハイパーバイザ、クラウドサービス（AWS）も監視一覧画面に表示されますが、設定を参照・編集することはできません。
- ブラウザの JavaScript を有効化してください。

制限事項

- ダイアログのボタンを何度もクリックすると画面が操作を受け付けなくなる場合があります。その場合はブラウザの機能で画面の再読み込みを行ってください。
- LDAP サーバと連携している場合には、以下の操作を LDAP サーバから直接行わないでください。
  - 有効/無効の変更
  - 名前の変更
  - テナント ID の削除
  - ユーザの削除

  もし行ってしまった場合には、LDAP サーバを操作し再び元に戻してください。
- サーバに対し、サスペンド状態にすることはできません。
- サスペンド状態のサーバは表示のみ可能です。電源操作はできません。
- 電源メニュー（ダイアログ）はメニューを開いた状態が維持されます。電源メニューを開いたあとに別画面からサーバの状態が変更した場合は、再度電源メニューを開きなおしてメニュー内容を更新してください。
- メンテナンス中画面が表示されている間にメンテナンス期間が終了した場合、画面をリロードするとメンテナンス中を示す既定のメッセージ（サーバメンテナンス中のため、全てのサービスがご利用になれません。）が表示されます。このメッセージが表示された場合、ログインし直すか、タイトルのロゴ画像を押下することでトップページに遷移してください。
- 極端に長い文字列を入力項目に入力した場合、表示が崩れることがあります。その場合、入力した文字列を短い文字列に変更してください。
- サーバ変更のリクエストでネットワークを削除する（チェックボックスを外す）場合、他のネットワークに対して変更（ネットワークの追加、IP アドレスの変更等）を加えないでください。
- サーバ作成、変更リクエスト申請において、指定可能な拡張ディスクの数は VM ホストに依存します。あまりにも大きな数を指定した場合、エラーが発生する可能性があります。
- 拡張ディスク付きのテンプレートを使用して VM 作成を行った場合、その拡張ディスクの削除やサイズ変更を行うことはできません。変更が必要な場合には VM 作成のオプションで拡張ディスクを追加してください。
- サーバ構成変更のリクエストが却下された後、再申請時に IP アドレスを追加しようとするとエラーになります。IP アドレスを追加する際にはリクエストを新規作成してください。
- リクエスト実行時にエラー詳細が出ない場合があります。その場合は『WebSAM vDC Automation コンフィグレーションガイド』を参照し、問題解決を行ってください。
- システム管理者でログインしテナント代行でリクエスト承認後、リクエスト一覧の「リクエスト作成」リンクが非表示になる場合があります。その場合は、リクエスト管理画面を再表示してください。
- サスペンド状態のサーバを選択して引用リクエストを作成することはできません。引用する場合にはサスペンド状態から復帰させて行ってください。

- 検索条件にて、"["と"]"を条件に指定した場合、正常に検索できません。検索条件には"["と"]"は指定しないでください
- お知らせ登録、変更画面において「全テナントを対象」チェックボックスにチェックをし、なおかつ公開範囲選択でテナントを指定した場合、公開範囲選択の内容に関わらず「全テナントを対象」になります。公開範囲選択と「全テナントを対象」のチェックを同時に指定しないでください。
- リモート監視はできません。監視エージェントがインストールされている端末のみ監視することができます。
- 業務グループ名に以下の記号および半角スペースを使用しないでください。また、SigmaSystemCenter を直接操作してグループを作成する場合も使用しないでください。

  # % ^ { } ` ¥ / : . ; * ? " < > |
- 拡張ディスク付きの VM を SSC 上で直接構成変更した場合、リソース情報更新コマンドでその変更を取り込むことはできますが、その VM に対してポータル上から構成変更はできません。構成変更が必要な場合には、一旦リソース情報更新コマンドでその VM を削除した後、再度リソース情報更新コマンドで取り込みなおしてください。

注

「監視マネージャからの情報取得に失敗しました(コード:xxx)」と画面に表示される場合は、以下の原因の可能性があります。

表 24-1　エラーコード別事象補足

コード	対象となる機能	説明
400	監視設定(フィルタ設定)	フィルタの比較位置が 1024 文字を超えてる可能性があります。設定値を見直してください。
400	メッセージ監視設定(フィルタ設定)	指定された正規表現が不正である場合があります。正規表現の内容を見直してください。
400	ログ監視設定(フィルタ設定)	メッセージIDフィールドに指定された文字数が範囲外(33 文字以上)の可能性があります。メッセージIDを確認してください。
404	全機能	エージェントのバージョンが古い場合に表示することがあります。エージェントのバージョンアップをしてください。
404	全機能	エージェントが停止している場合に表示されることがあります。エージェントを起動してください。
404	性能監視	グラフ表示で指定した期間に表示に該当する性能情報がない場合に表示されます。

付録 A.　カスタマイズ

A.1　テンプレートに付加情報を表示する

テンプレート毎に任意の付加情報を設定することが可能です。設定した付加情報はリクエスト画面、サーバ詳細画面の「付加情報」タブに表示されます。

以下に設定方法を示します。

(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開き、以下を設定します。

表 A-1　付加情報設定項目

設定項目	説明
product.cloudportal.template.additionalInfo.*テンプレート名*	テンプレート毎の付加情報を設定。テンプレート1つに対し、付加情報1つを設定可能 最大文字数は 255 文字(1 バイト、2 バイト、制御文字含む文字数) 改行コードは¥n で指定する。「¥n」を文字列として指定したい場合は、¥を重ねて指定することで設定可能(「¥n」→「¥¥n」)
product.cloudportal.network.*ネットワーク種別*.additionalInfo	ネットワーク種別毎の付加情報設定。ネットワーク種別1つに対し、付加情報1つを設定可能 最大文字数は 255 文字(1 バイト、2 バイト、制御文字含む文字数) 改行コードは¥n で指定する。「¥n」を文字列として指定したい場合は、¥を重ねて指定することで設定可能(「¥n」→「¥¥n」) 指定できるネットワーク種別は以下 • tnw(テナントネットワーク) • bvlan(業務 VLAN) • pvlan(パブリック VLAN) • wvlan(WAN サービス VLAN) • ssl(SSL-VPN) • fw(テナント Firewall) • lb(テナント LoadBalancer)

【設定例】

```
product.cloudportal.template.additionalInfo.Template-A =プラン A (1vCPU / 2GB Memory / 100GB) : 1000 円/月額¥n プラン B (2vCPU / 4GB Memory / 200GB) : 1800 円/月額
product.cloudportal.template.additionalInfo.Template-B =プラン A (1vCPU / 1GB Memory / 50GB) : 500 円/月額¥n プラン B (2vCPU / 2GB Memory / 200GB) : 800 円/月額¥n 期間限定プラン C (1vCPU / 1GB Memory / 100GB) : 500 円/月額

product.cloudportal.network.tnw.additionalInfo=1000 円/月額¥n 期間限定
product.cloudportal.network.bvlan.additionalInfo=100 円/日額
product.cloudportal.network.pvlan.additionalInfo =100 円/日額
product.cloudportal.network.wvlan.additionalInfo =100 円/日額
product.cloudportal.network.ssl.additionalInfo =100 円/日額
product.cloudportal.network.fw.additionalInfo =100 円/日額
product.cloudportal.network.lb.additionalInfo =100 円/日額
```

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存し、アプリケーションサーバ(Tomcat)を再起動します。 サーバーマネージャー の左側のパネルからローカルサーバーを選択し、 サービスから「Apache Tomcat 8.5 ServiceGovernor」を右クリック し、[サービスの再起動]を選択します。

注

webframework.properties ファイルの先頭コメント行は削除しないでください。

注

付加情報を変更した場合、ポータル上では変更以前のリクエストにも適用されます。

A.2　取り込まれたサーバに付加情報を表示する

同期によって取り込まれたサーバに、テナントごとに任意の付加情報を設定することが可能です。設定した付加情報はリクエスト画面、サーバ詳細画面の「付加情報」タブに表示されます。

以下に設定方法を示します。

(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties を開き、以下を設定します。

ポータルに登録されているテナント共通の付加情報のデフォルト値は以下のように定義します。

```
product.cloudportal.template.additionalInfo.default.parameter=付加情報
```

また、テナント個別に付加情報を指定する場合は、以下のように定義します。

```
product.cloudportal.template.additionalInfo.default.parameter.Tenant name=付加情報
```

取り込まれたサーバ用の付加情報は、各テナントで一意です。

入力規則は以下です。

1. 最大文字数は 255 文字(1 バイト、2 バイト、制御文字含む文字数)
2. 改行コードは¥n で指定する。「¥n」を文字列として指定したい場合は、¥を重ねて指定することで設定可能(「¥n」→「¥¥n」)

【設定例】

```
product.cloudportal.template.additionalInfo.default.parameter=※取り込まれたサーバです
product.cloudportal.template.additionalInfo.default.parameter.TenantA=※.TenantA の取り込みサーバです
```

上記を記載後、ファイルの文字コードを UTF8 で保存します。画面を再読み込みすることで、アプリケーションサーバ(Tomcat)の再起動なしで反映されます。

A.3　GUI 表示のカスタマイズ方法

設定ファイルを編集および作成することにより、GUI の表示をカスタマイズすることができます。

注

ファイルの文字コードを UTF-8(BOM 無し)で保存してください。

絶対パスの¥(バックスラッシュ)は、¥でエスケープしてください。

変更できる表示は以下です。

- アイコン
- ロゴ
- タイトル
- コピーライト
- メニュー
- テンプレートのアイコンに用いる画像
- トポロジ

各設定ファイルの作成方法を以下に示します。

なお、ポータルのインストールパスを(インストールディレクトリ)として説明します。適宜読み替えて設定してください。

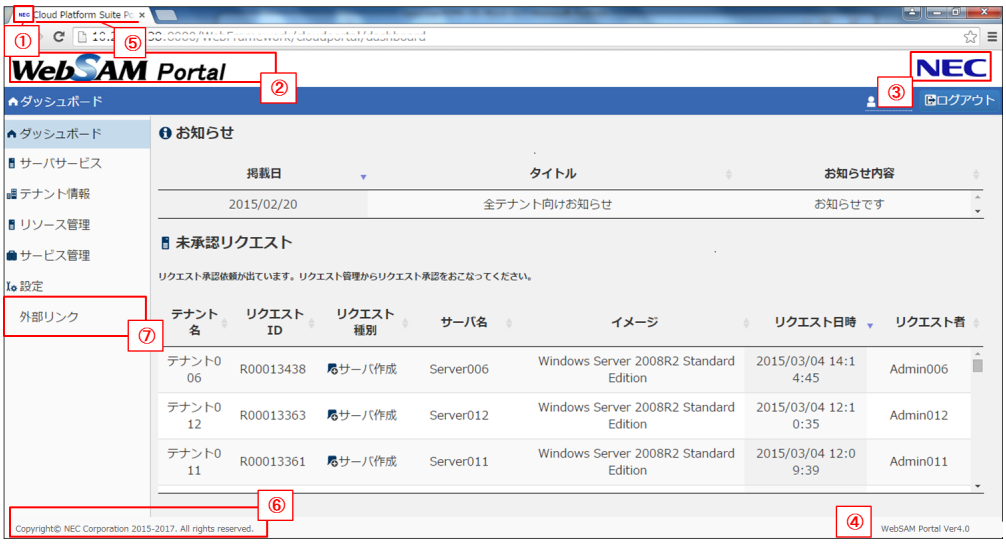


図 A-1　カスタマイズ可能箇所

- アイコン、ロゴを変更する場合

  画像ファイルへの絶対パスを設定ファイル((インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties)に記載します。

  ①アイコン

  portal.favicon = (インストールディレクトリ)¥¥Tomcat¥¥images¥¥favicon.ico(.ico 形式のみ)

②左ロゴ

portal.header.logo.left = (インストールディレクトリ)¥¥Tomcat¥¥images¥¥title.PNG(.png 形式のみ)

③右ロゴ

portal.header.logo.right = (インストールディレクトリ)¥¥Tomcat¥¥images¥¥logo.PNG(.png 形式のみ)

④フッターロゴ

portal.footer.logo = (インストールディレクトリ)¥¥Tomcat¥¥images¥¥logo.PNG(.png 形式のみ)

- タイトル、コピーライトを変更する場合

  設定ファイル((インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥webframework.properties)の以下を修正します。

  ⑤タイトル

  portal.title = *WebSAM Portal*

  ⑥コピーライト

  portal.footer.copyright = *Copyright © NEC Corporation 2015. All rights reserved.*

  注

  - 極端に長い Copyrgiht や大きなロゴを指定した場合に、画面からはみ出ることがあります。その場合には、後述するユーザ定義 CSS ファイルを使用して調整を行ってください。
  - アイコン、ロゴ画像に読み取り専用のファイルを指定しないでください。

- メニュー(⑦)に新しいメニューを追加する場合(外部リンクの追加)

  下記の方式でリンク先情報を作成し、extlinks.json というファイル名で(インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥配下に保存します。

```
[
  {
    "name" : "menuName",     (表示名)
    "url" : "url",           (リンク先)
    "index" : "index",       (挿入位置)
    "icon" : "icon",         (クラス名)
    "roles" : [roleName]  (表示可能ロール)
  }
]
```

【例】

```
[
  {
    "name": "外部リンク",
    "index": "6",
    "roles": ["ROLE_SYSTEM_ADMIN", "ROLE_TENANT_ADMIN", "ROLE_TENANT_USER"]
  },
```

```
  {
    "name": "link1",
    "url": "http://link1.aaa.co.jp/index",
    "icon": "link1-icon",
    "parent": "外部リンク",
    "roles": ["ROLE_SYSTEM_ADMIN"]
  },
  {
    "name": "link2",
    "url": "http://link2.com/webgui",
    "icon": "link2-icon",
    "parent": "外部リンク",
    "roles": ["ROLE_SYSTEM_ADMIN", "ROLE_TENANT_ADMIN", "ROLE_TENANT_USER"]
  }
]
```

- "icon"に指定した値が HTML 要素のクラスとして設定されます。icon を省略した場合、external-link という既定のクラスが設定されます。

  アイコンファイルを以下のフォルダ配下に格納します。

  (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥webapps¥images¥

  - external-link.png

  - link1.ico

  - link2.ico

  ユーザ定義 CSS ファイル((インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥userdefined.css)で以下のように指定することで、メニューにアイコンが表示されるようになります。

```
/* 外部リンクのデフォルトアイコン。icon を指定しない場合にこれが表示される*/
    .external-link {
        background-image: url(/images/external_link.png);
        height: 16px;
        width: 16px;
        background-size: 16px auto;
}

/* link1 用のアイコン */
    .link1 {
        background-image: url(/images/link1.ico);
        height: 16px;
        width: 16px;
        background-size: 16px auto;
}

/* link2 用のアイコン */
    .link2 {
        background-image: url(/images/link2.ico);
        height: 16px;
        width: 16px;
        background-size: 16px auto;
}
```

ユーザ定義 CSS ファイルで指定しない場合、メニューはアイコン無しで表示されます。

- ″index″は、外部リンクの挿入位置を指定します。ダッシュボードの下を ″1″ とし、位置を指定します。 例えばテナント情報のテナント管理の下に挿入する場合、″3.1″ と指定します。

  なお、外部リンクを同じメニューの下に並列に複数挿入する場合、同じ index を指定してください。表順序はこのファイルに記載した順序で表示されます。

- ″parent″ は、外部リンクを階層構造にする場合に、親要素となる外部リンクの名前を指定します。子要素を持つ外部リンク(″parent″ により指定された外部リンク)は、メニューグループとして扱われ、クリックすると子要素の外部リンクが展開される動作になります。そのため″url″ を指定する必要はありません。

  ※″index″ を指定した場合、″parent″ は指定できません (両方指定した場合、″parent″ の指定が優先されます)。 ″index″ も ″parent″ も存在しないものは無視されます。 子要素を持たない外部リンクは ″url″ が必須です。

- ″roles″ にはユーザ種別を表す既定の文字列を記載します。[○, ○, ...]の形式で複数指定することができます。 指定したロールを持つユーザにのみ、その外部リンクが表示されるようになります。

  以下のロールが指定できます

  ROLE_SYSTEM_ADMIN
  　→ システム管理者

  ROLE_TENANT_ADMIN
  　→ テナント管理者

  ROLE_TENANT_USER
  　→ テナントユーザ

- テンプレートのアイコンに用いる画像を設定する場合

  画像ファイルを以下のフォルダ配下に格納します。

  (インストールディレクトリ)¥Tomcat¥webapps¥images¥

  画像ファイルへのパスを、ユーザ定義 CSS ファイル((インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥userdefined.css)にて、以下のように指定します。

```
.templateName*1 {
    background-image: url(/images/os_icon.png);
}
```

  ここで指定した画像は、以下の画面に適用されます。

  - ダッシュボードの未承認リクエスト一覧内のアイコン
  - リクエスト管理(一覧画面)の詳細情報内のアイコン

*1　SigmaSystemCenter に登録されている VM テンプレートの名前 (例 : Template-WindowsServer2012R2STD)

- リクエスト管理　サーバ作成・変更・削除のイメージ選択のアイコン、タイトルバーのアイコン、サーバ選択ダイアログのサーバ一覧内のアイコン、サーバ選択ダイアログのサーバ詳細情報内のアイコン
- サーバ管理(一覧画面)のサーバ一覧内のアイコン
- サーバ管理(一覧画面)の付加情報内のアイコン
- トポロジ―のサーバツールチップ内のアイコン

ユーザ定義 CSS ファイルに、上記のアイコン表示箇所を指し示す CSS セレクタと、それぞれに対する既定のスタイルが記載されています。それらのスタイル指定を変更することで、アイコンのサイズ等を調整することができます。

注

- CSS によるスタイル変更以外のカスタマイズを行った場合は、設定を反映させるため Tomcat サービスをサービス一覧から再起動してください。
- ポータルが使用している CSS クラス名とテンプレート名が重複している場合、意図しない箇所の背景画像が置き換わってしまいます。その場合、CSS セレクタとしてテンプレート名のみを使用するのではなく、ユーザ定義 CSS ファイルに記載されているテンプレートアイコン用の CSS セレクタそれぞれに対して テンプレート名を付加した CSS セレクタを作成して背景画像を指定してください。

- トポロジを変更する場合

変更できる内容は以下です。

- サーバ選択時のハイライトの色、線の太さ
- ネットワーク選択時のハイライトの色、線の太さ
- ネットワークのデフォルト色
- ネットワーク毎の色(ネットワーク種別内での左から何本目かのネットワークの色。)

ユーザ定義 CSS ファイル((インストールディレクトリ)¥Tomcat¥conf¥NEC¥userdefined.css)で以下のように指定することで、トポロジが変更されます。

＜設定例＞

```
/* サーバ選択時のハイライトの色、線の太さ　*/
svg#topology_canvas .plain_node_normal .frameline.active {
  fill: none;
  stroke: #f00;
  stroke-width: 4;
}

/* ネットワーク選択時のハイライトの色、線の太さ */
svg#topology_canvas .network-rect.active{
  stroke: yellow;
  stroke-width: 4;
}
```

```
/* ネットワークのデフォルト色 */
svg#topology_canvas .tenant_lan-rect .network-rect {
  fill: #e67e22;
}

svg#topology_canvas .tenant_lan-line .port_line {
  stroke: #e67e22;
}

svg#topology_canvas .business_vlan-rect .network-rect {
  fill: #2980b9;
}

svg#topology_canvas .business_vlan-line .port_line {
  stroke: #2980b9;
}

/* ネットワーク毎の色　一番左を 0 とし、採番する */
svg#topology_canvas .tenant_lan-rect-0 .network-rect {
  fill: pink;
}

svg#topology_canvas .tenant_lan-line-0 .port_line {
  stroke: pink;
}

svg#topology_canvas .business_vlan-rect-0 .network-rect {
  fill: cyan;
}

svg#topology_canvas .business_vlan-line-0 .port_line {
  stroke: cyan;
}
```

A.4　サーバ起動時のサーバ変更操作可否を設定する

通常、作成されたサーバが起動している場合、サーバ変更のリクエスト画面にそのサーバは表示されず、変更不可となっています。

以下を設定することにより、サーバ電源 ON 状態でも構成変更が可能になります。

```
product.cloudportal.approve.power.on.reconfigure=true
```

付録 B.　　権限

本付録では、ポータルにて扱う以下の権限について説明します。

- ビルトインロールが保有する権限
- カスタムロールにて使用可能な権限

B.1　　ビルトインロールが保有する権限

ビルトインロールが保有する権限の一覧を以下に記載します。

表 B-1　　システム管理者が保有する権限一覧

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
ダッシュボード	-	ROLE_DASHBOARD_MENU_SHOW	ダッシュボードメニューの表示
		ROLE_DASHBOARD_NOTIFY_SHOW	ダッシュボード中のお知らせの表示
リクエスト	-	ROLE_SERVER_SERVICE_MENU_SHOW	リクエストメニューの表示
	リクエスト管理	ROLE_REQUEST_MENU_SHOW	リクエスト管理サブメニューの表示
		ROLE_REQUEST_LIST_SHOW	リクエスト一覧の表示
		ROLE_REQUEST_DETAIL_SHOW	リクエスト詳細の表示
		ROLE_REQUEST_ERROR CLEAR	リクエストエラー状態解除
	承認フロー設定	ROLE_APPROVALFLOW_MENU_SHOW	承認フロー設定メニューの表示
		ROLE_APPROVALFLOW_LIST_SHOW	承認フロー一覧表示
		ROLE_APPROVALFLOW_EDIT	承認フロー設定変更
テナント情報	-	ROLE_TENANT_INFO_MENU_SHOW	テナント情報メニューの表示
	テナント管理	ROLE_TENANT_MENU_SHOW	テナント管理サブメニューの表示
		ROLE_TENANT_LSIT_SHOW	テナント一覧の表示
		ROLE_TENANT_DETAIL_SHOW	テナント詳細表示
		ROLE_TENANT_CREATE	テナント登録
		ROLE_TENANT_EDIT	テナント変更
		ROLE_TENANT_DELETE	テナント削除

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
	ユーザ管理	ROLE_USER_MENU_SHOW	ユーザ管理メニューの表示
		ROLE_USER_LIST	ユーザ一覧表示
		ROLE_USER_DETAIL	ユーザ詳細表示
		ROLE_USER_CREATE	ユーザ登録
		ROLE_USER_EDIT	ユーザ変更
		ROLE_USER_DELETE	ユーザ削除
リソース管理	-	ROLE_RESOURCE_MENU_SHOW	リソース管理メニューの表示
	リソース状況	ROLE_RESOURCE_STATUS_MENU_SHOW	リソース状況サブメニューの表示
		ROLE_RESOURCE_STATUS_SHOW	リソース状況表示
	サーバ管理	ROLE_SERVER_MENU_SHOW	サーバ管理サブメニューの表示
		ROLE_SERVER_LIST_SHOW	サーバ一覧表示
		ROLE_SERVER_DETAIL_SHOW	サーバ詳細表示
		ROLE_SERVER_PERFORM_SHOW	サーバ性能情報表示
		ROLE_SERVER_SCREENSHOT_SHOW	サーバスクリーンショット表示
	運用作業履歴	ROLE_OPERATIONHISTORY_MENU_SHOW	運用作業履歴サブメニューの表示
		ROLE_OPERATIONHISTORY_LIST_SHOW	運用作業履歴一覧表示
		ROLE_OPERATIONHISTORY_DETAIL_SHOW	運用作業履歴詳細表示
サービス管理	-	ROLE_SERVICE_MENU_SHOW	サービス管理メニューの表示
	メンテナンス管理	ROLE_MAINMETANCE_MENU_SHOW	メンテナンス管理サブメニューの表示
		ROLE_MAINMETANCE_LIST_SHOW	メンテナンス一覧表示
		ROLE_MAINMETANCE_DETAIL_SHOW	メンテナンス詳細表示
		ROLE_MAINMETANCE_CREATE	メンテナンス登録
		ROLE_MAINMETANCE_EDIT	メンテナンス変更
		ROLE_MAINMETANCE_DELETE	メンテナンス削除
		ROLE_MAINTENANCE_LOGIN	メンテナンス中のログイン許可

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
	お知らせ管理	ROLE_NOTICE_MENU_SHOW	お知らせ管理サブメニューの表示
		ROLE_NOTICE_LIST_SHOW	お知らせ一覧表示
		ROLE_NOTICE_DETAIL_SHOW	お知らせ詳細表示
		ROLE_NOTICE_CREATE	お知らせ登録
		ROLE_NOTICE_EDIT	お知らせ変更
		ROLE_NOTICE_DELETE	お知らせ削除
設定	-	ROLE_SETTING_MENU_SHOW	設定メニューの表示
	運用設定	ROLE_OPERATIONOPTION_MENU_SHOW	運用設定サブメニューの表示
		ROLE_OPERATIONOPTION_LIST_SHOW	運用設定一覧表示
		ROLE_OPERATIONOPTION_EDIT	運用設定変更
ログインユーザ操作	-	ROLE_LOGINUSER_DETAIL_SHOW	ログインユーザ詳細表示
		ROLE_LOGINUSER_EDIT	ログインユーザ変更
		ROLE_LOGINUSER_PASSWORD_EDIT	ログインパスワード変更
		ROLE_LOGINUSER_ACTFORTENANT	ログインユーザテナント代行
監視	-	ROLE_MONITORING_SHOW※1	監視設定参照
		ROLE_MONITORING_AGENT_MANAGEMENT※1	エージェント管理
		ROLE_MONITORING_AGENT_DELETE※1	エージェント削除

表 B-2　テナント管理者が保有する権限一覧

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
ダッシュボード	-	ROLE_DASHBOARD_MENU_SHOW	ダッシュボードメニューの表示
		ROLE_DASHBOARD_NOTIFY_SHOW	ダッシュボード中のお知らせの表示
リクエスト	-	ROLE_SERVER_SERVICE_MENU_SHOW	リクエストメニューの表示
	リクエスト管理	ROLE_REQUEST_MENU_SHOW	リクエスト管理サブメニューの表示
		ROLE_REQUEST_LIST_SHOW	リクエスト一覧の表示
		ROLE_REQUEST_DETAIL_SHOW	リクエスト詳細の表示

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
		ROLE_REQUEST_CREATE	リクエストの作成
		ROLE_REQUEST_AGENCY_APPROVE	リクエストの代理承認
		ROLE_REQUEST_AGENCY_REJECT	リクエストの代理却下
		ROLE_REQUEST_REAPPLY	リクエスト再申請
		ROLE_REQUEST_EXECUTE	リクエストの実行
		ROLE_REQUEST_CANCEL	リクエストのキャンセル
		ROLE_REQUEST_SERVER_CREATE	サーバの作成
		ROLE_REQUEST_SERVER_EDIT	サーバの変更
		ROLE_REQUEST_SERVER_DELETE	サーバの削除
		ROLE_REQUEST_SERVER_REFER	サーバの引用
		ROLE_REQUEST_NETWORK_CREATE※2	ネットワークの作成
		ROLE_REQUEST_NETWORK_EDIT※2	ネットワークの更新
	ROLE_REQUEST_NETWORK_DELETE※2	ネットワークの削除	
	承認フロー設定	ROLE_APPROVALFLOW_MENU_SHOW	承認フロー設定メニューの表示
		ROLE_APPROVALFLOW_LIST_SHOW	承認フロー一覧表示
		ROLE_APPROVALFLOW_EDIT	承認フロー設定変更
	メール通知設定	ROLE_APPROVALFLOW_MENU_SHOW	メール通知設定メニューの表示
		ROLE_MAILNOTICE_LIST_SHOW	メール通知設定一覧表示
		ROLE_MAIL_NOTICE_EDIT	メール通知設定変更
テナント情報	-	ROLE_TENANT_INFO_MENU_SHOW	テナント情報メニューの表示
	テナント管理	ROLE_TENANT_MENU_SHOW	テナント管理サブメニューの表示
		ROLE_TENANT_LSIT_SHOW	テナント一覧の表示
		ROLE_TENANT_DETAIL_SHOW	テナント詳細表示

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
		ROLE_TENANT_EDIT	テナント変更
	ユーザ管理	ROLE_USER_MENU_SHOW	ユーザ管理メニューの表示
		ROLE_USER_LIST	ユーザ一覧表示
		ROLE_USER_DETAIL	ユーザ詳細表示
		ROLE_USER_CREATE	ユーザ登録
		ROLE_USER_EDIT	ユーザ変更
		ROLE_USER_DELETE	ユーザ削除
リソース管理	-	ROLE_RESOURCE_MENU_SHOW	リソース管理メニューの表示
	リソース状況	ROLE_RESOURCE_STATUS_MENU_SHOW	リソース状況サブメニューの表示
		ROLE_RESOURCE_STATUS_SHOW	リソース状況表示
	トポロジー表示	ROLE_TOPOLOGY_SHOW	トポロジー表示サブメニューの表示
		ROLE_TOPOLOGY_NETWORK_NAME_EDIT	ネットワーク表示名変更
	サーバ管理	ROLE_SERVER_MENU_SHOW	サーバ管理サブメニューの表示
		ROLE_SERVER_LIST_SHOW	サーバ一覧表示
		ROLE_SERVER_DETAIL_SHOW	サーバ詳細表示
		ROLE_SERVER_PERFORM_SHOW	サーバ性能情報表示
		ROLE_SERVER_SCREENSHOT_SHOW	サーバスクリーンショット表示
		ROLE_SERVER_STARTUP	サーバ起動
		ROLE_SERVER_SHUTDOWN	サーバシャットダウン
		ROLE_SERVER_POWEROFF	サーバ電源オフ
		ROLE_SERVER_REBOOT	サーバ再起動
		ROLE_SERVER_GENERIC_OPERATION	サーバ汎用オペレーション
		ROLE_SERVER_VM_CONSOLE	VM コンソール
		ROLE_SERVER_SYNCHRONIZE	同期
	運用作業履歴	ROLE_OPERATIONHISTORY_MENU_SHOW	運用作業履歴サブメニューの表示
		ROLE_OPERATIONHISTORY_LIST_SHOW	運用作業履歴一覧表示

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
		ROLE_OPERATIONHISTORY_DETAIL_SHOW	運用作業履歴詳細表示
サービス管理	-	ROLE_SERVICE_MENU_SHOW	サービス管理メニューの表示
	お知らせ管理	ROLE_NOTICE_MENU_SHOW	お知らせ管理サブメニューの表示
		ROLE_NOTICE_LIST_SHOW	お知らせ一覧表示
		ROLE_NOTICE_DETAIL_SHOW	お知らせ詳細表示
		ROLE_NOTICE_CREATE	お知らせ登録
		ROLE_NOTICE_EDIT	お知らせ変更
		ROLE_NOTICE_DELETE	お知らせ削除
ログインユーザ操作	-	ROLE_LOGINUSER_DETAIL_SHOW	ログインユーザ詳細表示
		ROLE_LOGINUSER_EDIT	ログインユーザ変更
		ROLE_LOGINUSER_PASSWORD_EDIT	ログインパスワード変更
		ROLE_LOGINUSER_ACTFORTENANT	ログインユーザテナント代行
監視	-	ROLE_MONITORING_SHOW※1	監視設定参照
		ROLE_MONITORING_EDIT※1	監視設定変更
		ROLE_MONITORING_DELETE※1	監視設定削除
		ROLE_MONITORING_OPERATE※1	監視操作
		ROLE_MONITORING_ALERT_SHOW※1	メッセージ参照
		ROLE_MONITORING_ALERT_OPERATE※1	メッセージ操作
		ROLE_MONITORING_AGENT_DELETE※1	エージェント削除

表 B-3　テナントユーザが保有する権限一覧

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
ダッシュボード	-	ROLE_DASHBOARD_MENU_SHOW	ダッシュボードメニューの表示
		ROLE_DASHBOARD_NOTIFY_SHOW	ダッシュボード中のお知らせの表示
リクエスト	-	ROLE_SERVER_SERVICE_MENU_SHOW	リクエストメニューの表示
	リクエスト管理	ROLE_REQUEST_MENU_SHOW	リクエスト管理サブメニューの表示

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
		ROLE_REQUEST_LIST_SHOW	リクエスト一覧の表示
		ROLE_REQUEST_DETAIL_SHOW	リクエスト詳細の表示
		ROLE_REQUEST_CREATE	リクエストの作成
		ROLE_REQUEST_REAPPLY	リクエスト再申請
		ROLE_REQUEST_EXECUTE	リクエストの実行
		ROLE_REQUEST_CANCEL	リクエストのキャンセル
		ROLE_REQUEST_SERVER_CREATE	サーバの作成
		ROLE_REQUEST_SERVER_EDIT	サーバの変更
		ROLE_REQUEST_SERVER_DELETE	サーバの削除
		ROLE_REQUEST_SERVER_REFER	サーバの引用
		ROLE_REQUEST_NETWORK_CREATE※2	ネットワークの作成
		ROLE_REQUEST_NETWORK_EDIT※2	ネットワークの更新
		ROLE_REQUEST_NETWORK_DELETE※2	ネットワークの削除
テナント情報	-	ROLE_TENANT_INFO_MENU_SHOW	テナント情報メニューの表示
	ユーザ管理	ROLE_USER_MENU_SHOW	ユーザ管理メニューの表示
		ROLE_USER_LIST	ユーザ一覧表示
		ROLE_USER_DETAIL	ユーザ詳細表示
リソース管理	-	ROLE_RESOURCE_MENU_SHOW	リソース管理メニューの表示
	リソース状況	ROLE_RESOURCE_STATUS_MENU_SHOW	リソース状況サブメニューの表示
		ROLE_RESOURCE_STATUS_SHOW	リソース状況表示
	トポロジー表示	ROLE_TOPOLOGY_SHOW	トポロジー表示サブメニューの表示
	サーバ管理	ROLE_SERVER_MENU_SHOW	サーバ管理サブメニューの表示
		ROLE_SERVER_LIST_SHOW	サーバ一覧表示
		ROLE_SERVER_DETAIL_SHOW	サーバ詳細表示

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
		ROLE_SERVER_PERFORM_SHOW	サーバ性能情報表示
		ROLE_SERVER_SCREENSHOT_SHOW	サーバスクリーンショット表示
		ROLE_SERVER_STARTUP	サーバ起動
		ROLE_SERVER_SHUTDOWN	サーバシャットダウン
		ROLE_SERVER_POWEROFF	サーバ電源オフ
		ROLE_SERVER_REBOOT	サーバ再起動
		ROLE_SERVER_GENERIC_OPERATION	サーバ汎用オペレーション
		ROLE_SERVER_VM_CONSOLE	VM コンソール
	運用作業履歴	ROLE_OPERATIONHISTORY_MENU_SHOW	運用作業履歴サブメニューの表示
		ROLE_OPERATIONHISTORY_LIST_SHOW	運用作業履歴一覧表示
		ROLE_OPERATIONHISTORY_DETAIL_SHOW	運用作業履歴詳細表示
ログインユーザ操作	-	ROLE_LOGINUSER_DETAIL_SHOW	ログインユーザ詳細表示
		ROLE_LOGINUSER_EDIT	ログインユーザ変更
		ROLE_LOGINUSER_PASSWORD_EDIT	ログインパスワード変更
監視	-	ROLE_MONITORING_SHOW※1	監視設定参照
		ROLE_MONITORING_EDIT※1	監視設定変更
		ROLE_MONITORING_DELETE※1	監視設定削除
		ROLE_MONITORING_OPERATE※1	監視操作
		ROLE_MONITORING_ALERT_SHOW※1	メッセージ参照
		ROLE_MONITORING_ALERT_OPERATE※1	メッセージ操作

表 B-4　リクエスト承認者が保有する権限一覧

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
ダッシュボード	-	ROLE_DASHBOARD_UNAPPROVED_REQUEST_SHOW	ダッシュボード中の未承認リクエストの表示
リクエスト	リクエスト管理	ROLE_REQUEST_APPROVE	リクエストの承認

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
		ROLE_REQUEST_REJECT	リクエストの却下

ヒント

- ※1 監視ライセンス有効時のみ利用可能
- ※2 ネットワークプロビジョニングライセンス有効時のみ利用可能

B.2　カスタムロールにて使用可能な権限

カスタムロールにて使用できる権限の一覧を以下に記載します。

表 B-5　権限の一覧

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
ダッシュボード	-	ROLE_DASHBOARD_MENU_SHOW	ダッシュボードメニューの表示
		ROLE_DASHBOARD_UNAPPROVED_REQUEST_SHOW	ダッシュボード中の未承認リクエストの表示
		ROLE_DASHBOARD_NOTIFY_SHOW	ダッシュボード中のお知らせの表示
リクエスト	-	ROLE_SERVER_SERVICE_MENU_SHOW	リクエストメニューの表示
	リクエスト管理	ROLE_REQUEST_MENU_SHOW	リクエスト管理サブメニューの表示
		ROLE_REQUEST_LIST_SHOW	リクエスト一覧の表示
		ROLE_REQUEST_DETAIL_SHOW	リクエスト詳細の表示
		ROLE_REQUEST_CREATE	リクエストの作成
		ROLE_REQUEST_APPROVE	リクエストの承認
		ROLE_REQUEST_AGENCY_APPROVE	リクエストの代理承認
		ROLE_REQUEST_REJECT	リクエストの却下
		ROLE_REQUEST_AGENCY_REJECT	リクエストの代理却下
		ROLE_REQUEST_REAPPLY	リクエスト再申請
		ROLE_REQUEST_EXECUTE	リクエストの実行
		ROLE_REQUEST_CANCEL	リクエストのキャンセル
		ROLE_REQUEST_ERROR CLEAR	リクエストエラー状態解除

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
		ROLE_REQUEST_SERVER_CREATE	サーバの作成
		ROLE_REQUEST_SERVER_EDIT	サーバの変更
		ROLE_REQUEST_SERVER_DELETE	サーバの削除
		ROLE_REQUEST_SERVER_REFER	サーバの引用
		ROLE_REQUEST_NETWORK_CREATE※2	ネットワークの作成
		ROLE_REQUEST_NETWORK_EDIT※2	ネットワークの更新
		ROLE_REQUEST_NETWORK_DELETE※2	ネットワークの削除
	承認フロー設定	ROLE_APPROVALFLOW_MENU_SHOW	承認フロー設定メニューの表示
		ROLE_APPROVALFLOW_LIST_SHOW	承認フロー一覧表示
		ROLE_APPROVALFLOW_EDIT	承認フロー設定変更
	メール通知設定	ROLE_APPROVALFLOW_MENU_SHOW	メール通知設定メニューの表示
		ROLE_MAILNOTICE_LIST_SHOW	メール通知設定一覧表示
		ROLE_MAIL_NOTICE_EDIT	メール通知設定変更
テナント情報	-	ROLE_TENANT_INFO_MENU_SHOW	テナント情報メニューの表示
	-	ROLE_TENANT_MENU_SHOW	テナント管理サブメニューの表示
		ROLE_TENANT_LSIT_SHOW	テナント一覧の表示
		ROLE_TENANT_DETAIL_SHOW	テナント詳細表示
		ROLE_TENANT_CREATE	テナント登録
		ROLE_TENANT_EDIT	テナント変更
		ROLE_TENANT_DELETE	テナント削除
	ユーザ管理	ROLE_USER_MENU_SHOW	ユーザ管理メニューの表示
		ROLE_USER_LIST	ユーザ一覧表示
		ROLE_USER_DETAIL	ユーザ詳細表示
		ROLE_USER_CREATE	ユーザ登録
		ROLE_USER_EDIT	ユーザ変更
		ROLE_USER_DELETE	ユーザ削除

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
リソース管理	-	ROLE_RESOURCE_MENU_SHOW	リソース管理メニューの表示
	リソース状況	ROLE_RESOURCE_STATUS_MENU_SHOW	リソース状況サブメニューの表示
		ROLE_RESOURCE_STATUS_SHOW	リソース状況表示
	トポロジー表示	ROLE_TOPOLOGY_SHOW	トポロジー表示サブメニューの表示
		ROLE_TOPOLOGY_NETWORK_NAME_EDIT	ネットワーク表示名変更
	サーバ管理	ROLE_SERVER_MENU_SHOW	サーバ管理サブメニューの表示
		ROLE_SERVER_LIST_SHOW	サーバ一覧表示
		ROLE_SERVER_DETAIL_SHOW	サーバ詳細表示
		ROLE_SERVER_PERFORM_SHOW	サーバ性能情報表示
		ROLE_SERVER_SCREENSHOT_SHOW	サーバスクリーンショット表示
		ROLE_SERVER_STARTUP	サーバ起動
		ROLE_SERVER_SHUTDOWN	サーバシャットダウン
		ROLE_SERVER_POWEROFF	サーバ電源オフ
		ROLE_SERVER_REBOOT	サーバ再起動
		ROLE_SERVER_GENERIC_OPERATION	サーバ汎用オペレーション
		ROLE_SERVER_VM_CONSOLE	VM コンソール
		ROLE_SERVER_SYNCHRONIZE	同期
	運用作業履歴	ROLE_OPERATIONHISTORY_MENU_SHOW	運用作業履歴サブメニューの表示
		ROLE_OPERATIONHISTORY_LIST_SHOW	運用作業履歴一覧表示
		ROLE_OPERATIONHISTORY_DETAIL_SHOW	運用作業履歴詳細表示
サービス管理	-	ROLE_SERVICE_MENU_SHOW	サービス管理メニューの表示
	メンテナンス管理	ROLE_MAINMETANCE_MENU_SHOW	メンテナンス管理サブメニューの表示
		ROLE_MAINMETANCE_LIST_SHOW	メンテナンス一覧表示
		ROLE_MAINMETANCE_DETAIL_SHOW	メンテナンス詳細表示

大分類	小分類	権限名	利用可能になる機能
		ROLE_MAINMETANCE_CREATE	メンテナンス登録
		ROLE_MAINMETANCE_EDIT	メンテナンス変更
		ROLE_MAINMETANCE_DELETE	メンテナンス削除
		ROLE_MAINTENANCE_LOGIN	メンテナンス中のログイン許可
	お知らせ管理	ROLE_NOTICE_MENU_SHOW	お知らせ管理サブメニューの表示
		ROLE_NOTICE_LIST_SHOW	お知らせ一覧表示
		ROLE_NOTICE_DETAIL_SHOW	お知らせ詳細表示
		ROLE_NOTICE_CREATE	お知らせ登録
		ROLE_NOTICE_EDIT	お知らせ変更
		ROLE_NOTICE_DELETE	お知らせ削除
設定	-	ROLE_SETTING_MENU_SHOW	設定メニューの表示
	運用設定	ROLE_OPERATIONOPTION_MENU_SHOW	運用設定サブメニューの表示
		ROLE_OPERATIONOPTION_LIST_SHOW	運用設定一覧表示
		ROLE_OPERATIONOPTION_EDIT	運用設定変更
ログインユーザ操作	-	ROLE_LOGINUSER_DETAIL_SHOW	ログインユーザ詳細表示
		ROLE_LOGINUSER_EDIT	ログインユーザ変更
		ROLE_LOGINUSER_PASSWORD_EDIT	ログインパスワード変更
		ROLE_LOGINUSER_ACTFORTENANT	ログインユーザテナント代行
監視	-	ROLE_MONITORING_SHOW※1	監視設定参照
		ROLE_MONITORING_EDIT※1	監視設定変更
		ROLE_MONITORING_OPERATE※1	監視操作
		ROLE_MONITORING_ALERT_SHOW※1	メッセージ参照
		ROLE_MONITORING_AGENT_MANAGEMENT※1	エージェント管理
		ROLE_MONITORING_AGENT_DELETE※1	エージェント削除

ヒント

- ※1 監視ライセンス有効時のみ利用可能
- ※2 ネットワークプロビジョニングライセンス有効時のみ利用可能

用語集

英文

■ I

■ IaaS 利用者

IaaS のサービスを利用する人や組織。提供された仮想コンピュータの管理者、利用者、運用者を含む。

vDC Automation においては、テナント管理者に含まれる。

■ ID 管理サーバ

IaaS 事業者のログインアカウント、テナントに払い出した NW 機器へのログインアカウントを統一して管理するサーバ。

■ R

■ RESTful API

URL/URI でリソースを一意に識別し、Web サーバとのやり取りがステートレスで実現された API

本製品では、WebSAM vDC Automation API を示す。

■ S

■ SSC

WebSAM SigmaSystemCenter の略。

仮想化マシンを操作する外部プロビジョニングプロバイダの一つ。

■ ServiceGovernor WebAPI Base Option

vDC Automation コンポーネントの 1 つ。リクエストブローカーとクラウドプロバイダ API をまとめたものの総称。仮想マシン(サーバ)を操作する外部プロビジョニングプロバイダの 1 つ。

■ V

■ (WebSAM) vDC Automation

クラウドにおいてデータセンターのインフラ管理を実現するソフトウェア。

■ (WebSAM) vDC Automation ポータル

vDC Automation の機能を利用するための Web ベースの GUI。

■ VM テンプレート

あらかじめ作成しておく仮想マシンの情報(OS 等)のテンプレート。

和文

■ あ

■ 運用作業履歴

仮想マシンに対しての操作履歴。

■ お知らせ

ユーザに対して通知する情報。

■ か

■ 拡張パラメータ

vDC Automation の各ワークフロー実行時に拡張情報として渡すことのできるパラメータ。

■ 権限

各種機能への操作許可を示したもの。

■ 広域管理サーバ

vDC Automation 内の全リソースを一元管理・監視するサーバ。

■ さ

■ サーバ

仮想マシンを示す。

■ サーバ情報

仮想マシンの情報(vCPU 数、メモリ、ハードディスク等)。

■ 削除済みサーバ

プロビジョニングプロバイダで既に削除済みのサーバだが、ポータル上は削除されていないサーバを示す。

■ システム管理者

システム管理権限が付与されたユーザ。

■ た

■ テナント

事業者を示す。

■ テナント管理者

テナント管理権限が付与されたユーザ。

■ テナント代行

システム管理者が一時的にあるテナントに所属することが可能な機能。

■ テナントユーザ

テナントユーザ権限が付与されたユーザ。

■ は

■ 汎用オペレーション

作成されたサーバに対して、特定の vDC Automation ワークフローが実行可能な機能。

■ プロビジョニングプロバイダ

仮想マシンを操作する機能。本製品では vDC Automation をサポート。

■ や

■ ユーザ

テナントに所属し、本システムを使用する。

■ ら

■ リクエスト承認者

リクエスト承認権限が付与されたユーザ。

■ リクエスト

仮想マシン、ネットワークの操作要求情報(作成、変更、削除)。

■ リソースプール

仮想マシンが使用するリソースをまとめたもの。

■ 論理ネットワーク

仮想マシン上で使用する論理的なネットワーク。

■ わ

■ ワークフロー ID

vDC Automation にて目的を達成(命令を実行)するために必要な詳細な処理の順序を定義したものを ワークフローといい、その ID を示す。

WebSAM vDC Automation ver6.0
ポータル利用者マニュアル
（運用編）

2019年3月 第2版 発行

日本電気株式会社

©NEC Corporation 2012-2019